UFO『LEGEND』が残したものを徹底検証オオ!!

MMA & PRO-WRESTLING MAGAZINE

紙のプロレス RADICAL

全日本・武道館2連戦間近!!
武藤敬司

プロレス回帰現象、発生中!!

ハナから煙を出して待ちやがれ!!
ゴールドバーグがやってくる!!

新日本の逆襲が始まった!!
NWFトーナメントでプロレス初参戦!!
髙阪 剛

喰らえ!! ZERO-ONEガイジン三昧!!
スティーブ・コリノ/トム・ハワード

9・8闘龍門・有明コロシアム決戦直前!!
クレイジーMAX・悪の華座談会

大日本離脱!! どうなる、おサルの行く末!?
葛西 純

甦る昭和プロレス伝説
サムソン・クツワダ

決戦後の肉弾スクープインタビュー
マット・ガファリ

『LEGEND』後のテーマはなんだ!?
小川直也

爆裂!! 川村龍夫語録

帰ってきた、ぼくらのサク!!
"プロレスラー・ハンター"を刈れ!!
桜庭和志

**8・28『Dynamite!』
ド直前・濃厚企画三昧!!**

"プロレスラー"同士の
夢のかけ橋対談実現!!
高山善廣×美濃輪育久

9・7『DEEP』のディープ情報満載
一宮章一/佐伯繁代表

サク熱のバイオハザード!!

見せてくれ、サク!!
ゾンビを超える復活劇!!

53
2002

紙のプロレスRADICAL 2002 NO. 53
プロレス回帰現象の正体を探れ!!

発売元:(株)ワニマガジン社 〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地 電話/03-3357-2911
発行元:(株)ダブルクロス 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702 電話/03-3403-5188
ワニマガジン社

UFO『LEGEND』
という名の"不発弾"が
埋めこまれたマット界
次の爆発物は

ん〜〜っ
ダイナマイッ!!

マット界は連鎖するのか？
分断するのか？

そして新日本、全日本武道館3連戦へ――。

「んーッ、ダイナマイッ!!」と言ったら彼氏が出来た。
「んーッ、ダイナマイッ!!」とつぶやいたら、便秘がなおった。
「んーッ、ダイナマイッ!!」とささやいたら、100円拾った。
「んーッ、ダイナマイッ!!」と呼んだら、明るくなったねと言われた。
「んーッ、ダイナマイッ!!」と叫んだら、ご飯がおいしく食べられた。
「んーッ、ダイナマイッ!!」と書いたら、『紙プロ』に載った。
P.S 神田正輝のおやじギャグはおもしろくないね。

★

前号で「ん～、ダイナマイッ!!」という文字をところ構わず連発してたら、こんなダイナマイッ！ なハガキを、台東区にお住まいの、おちさゆりん（28歳・駅弁売り・性別はおそらく女性）の方からいただきました。
ん～、ダイナマイッ!!

★

というわけで、〝マット界灼熱の幻魔大戦〟の口火を切った8・8UFO『LEGEND』は、負の求心力、負の磁場を発生させ、ある意味で〝伝説〟となった興行だった。
興行的にも内容的にも、そしてその混乱ぶりまで含めて、見事な〝不発弾〟となってマット界に埋め込まれたわけだ。
ZERO―ONEマットを軸に「プロレス復興」を掲げる小川直也は地方を回りながら、来年、本当に〝バーリ・トゥードという名のプロレス〟でヒクソンを食い、〝リビング・レジェンド〟となれるのか？
藤田和之が安田忠夫戦後に、オープン・フィンガー・グローブを客席に投げ入れたのは、いったいどういう意味があるのか？
来年1月か2月に本当に『LEGEND．2』があるとしたら、この掘り起こされた〝不発弾〟は、どういう爆発の仕方をするのか？
『LEGEND』は、とにもかくにも我々に様々な謎を残した。

★

蝶野正洋の優勝で幕を閉じたG1の最終日には「シンニッポン」コールがこだました新日本。本隊＆T2000は、〝外敵〟や魔界倶楽部と、いったいどういうプロレスをしていき、どんなイデオロギーを表現

8・8『LEGEND』から 8・28『Dynamite!』へ――。

していこうというのか？　アントン総師はいったい何を仕掛けて、どこへ向かおうとしてるのか？

8・29「藤田和之プロデュース」として行われる藤田vs高山は、いったいどうなる？　NWFトーナメントは、いったいどうなる？

★

そして〝灼熱のマット界幻魔対戦〟の真打ち、史上最大のスケールで行われる『Dynamite!』は、どんなサマー・ナイト・フィーバーぶりを見せ、いったい誰が、どんな輝きを放つのか？

★

『Dynamite!』プロデューサーの石井館長は、今度はゴールドバーグまでプロデュースし、全日本と接点を持った。これからプロレス界にも、とてつもなく大きな風穴を開けようとしているに違いない。この新たな接点は、プロレス界を大きく様変わりさせる予感さえする。

★

いまのところ、大きな渦の中には入らずに、地方を回って熱狂的に受け入れられているZERO－ONEは、今後どこと接点を持ち、どこと持たないのか。そして何を生み出していくのか。行け、OH砲!!

★

『DEEP』、『PRIDE』、パンクラスと総合格闘技は総合格闘技で、大乱戦模様となっている。

★

リンクしているようでいて、してない。してないようで、してる。

★

マット界は〝灼熱の幻魔大戦〟が終わると、なにかとてつもない地殻変動を起こしそうだ。

★

それは地味な変動なのか、ド派手な変動なのか？

★

「プロレス回帰現象」

「ビッグイベント症候群」

「総合格闘技の方向性」

――そのどれもが、考えるには面白い材料だ。

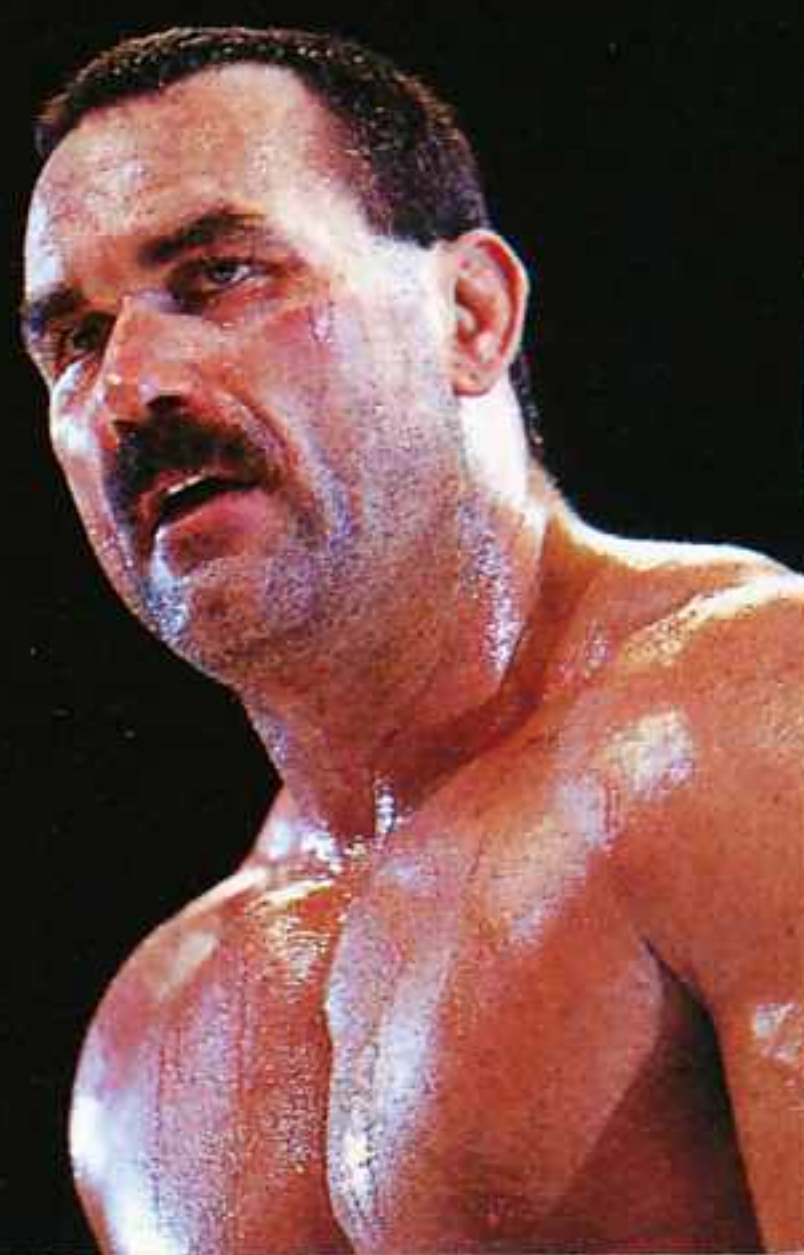
★

ん～、ダイナマイッ!!　とつぶやきながら、秋以降のマット界に目を見張りましょう。

★

字数が余ったので、もひとついきますか？

★

ん～、ダイナマイッ!!

『Dynamite!』な花火が打ち上がった後、どうするどうなるマット界！秋以降、
大地殻変動の予感!!

『Dynamite!』もカードが直前まで決まらない大混乱！

大　発売日の関係で、もしかしたら終わってから読む読者もいるかもしれないけど、まず『Dynamite!』周辺の話からしようか。桜庭vsミルコ、吉田vsホイスという文字通りダイナマイトな2大カードを発表したときは盤石かと思わせたけど、意外に直前までカードが決まらなかったり、大会の焦点がボヤけたりドタバタしてたね。同じドタバタでも、『Dynamite!』には川村社長がいないから笑えるネタはないけどね（笑）。

中　『LEGEND』が混乱三昧だったから、あれに比べればこっちは全然マシと、安心しきっちゃったんじゃないの？（笑）。試合ごとにルールを設定した〝お祭り〟ということだったんだけど、当日、〝お祭り〟っていう言葉を凌駕する盛り上がりになってることを願うけどね。

大　これだけの規模&歴史的な大会だから出たいという選手はたくさんいたんだよ。でも、7・14のK―1福岡、8・8『LEGEND』、8・17K―1ラスベガスもあったし、あと9・7『DEEP』や、9・29『PRIDE.22』&パンクラスも微妙に絡んでくる。短い期間でこれだけ格闘技の大会が行われると、選手のチョイスもしにくくなるし、選手側はコンディション調整もある。そういう意味でマッチメイクの交通整理は想像以上にたいへんだったろうね。

小　ヴァンダレイのカードがなかなか決まらなかったのはなぜですか？

大　シウバとやりたいっていう選手がたくさんいるっていうのも原因のひとつだろうな。最初の対戦候補だったK―1のレイ・セフォーがケガで出場できなくなってから、めちゃめちゃ対戦相手の候補が水面下で出まくったでしょ。日本人では金原を筆頭にして、プロレスラーでいうと、天龍、カシン、杉浦、小原、その他、信じられないことに大谷晋二郎やサスケの名前まで上がってた（笑）。交渉がどこまで行われてたかまでは言えないけどね。いまの時点（21日）では金原かステファン・レコが有力で、他のK―1戦士の名前も上がってるね。

小　ハズれてたら誌面の向こう側からガンガン突っ込まれてますよ、いまごろ。

大　いや、最終的にハズれても、そういう話もあったってことが重要なんだよ（笑）。

中　そういえば、『Dynamite!』にはゲーリー・グッドリッジの出場が決まったね。8・17ラスベガスで、K―1のリングでゲーリーがマイク・ベルナルドを完膚無きまでにKOしたのは衝撃だったよな。その勢いを買って急遽出場が決定したらしい。相手はジェロム・レ・バンナの刺客らしいけど、これを突破したら10・5さいたまスーパーアリーナのGP開幕戦で、ゲーリーvsバンナが組まれるかもしれない。ゲーリーの勝利で、PRIDEvsK―1という対立概念が一気に活きてきたね。

小　『Dynamite!』のシュルトvsホーストもさらに注目度が増しましたよね。『PRIDE』側として出場するシュルトに、ホーストはなにがなんでも負けるわけにはいかなくなりましたよ。

大　いずれにしても、『Dynamite!』で光るのが吉田なのか桜庭なのか、ホイスなのかミルコなのか、あるいは他のK―1勢な

秋以降のマット界

真実と噂

TK、バーネット投入で建て直しに本腰の新日本。その方向性は？

のかPRIDE勢なのか？　それによって今後のマット界の動きはだいぶ変わってくるだろうね。それから、『Dynamite!』側は、『LEGEND』に出場した藤田、安田。それからG1に出場した高山を使えなかったことで混乱した部分は否めないね。これは今後のマット界の動きを追う上で、けっこう重要なポイントになってくると思う。まぁ、高山は『Dynamite!』にUWFルールのエキジビションで出場するという話もあるみたいだけどね。

中　29日に武道館で藤田プロデュースを行う新日本だけど、『Dynamite!』への対抗心は想像以上のものがある。それに加えて、藤田、安田、高山の動向、それから小川の「俺はどこにいってもプロレスをやるだけ」という発言や、NWFトーナメントへのTK（高阪剛）の出場、魔界倶楽部入りした柳澤龍志、新日に上がる鈴木みのると、見てると格闘技に進出していた選手が、ここのところ一気に「プロレス回帰現象」を起こしてるよね。無意識のうちに。あるいは、総合格闘技やK—1に持っていかれた土壌を、プロレス側が本腰を入れて奪い返そうとしてる機運を感じる。

大　やっぱり『Dynamite!』と比べると、プロレス界はスケール感が小さいけど、何かを動かそうというのは見えるね。

小　結果はまだ全然出てないけどね。

中　新日本にはバス・ルッテンも上がってるし、前UFC王者のジョシュ・バーネットが今度上がるっていう話もある。本腰を入れて格闘技側に対抗しようとしてるよね。

大　ただ、問題は総合の選手、あるいは総合で名を上げた選手を使ってどんなプロレスをやるかだよな。

中　それに加えて、新日本の役員でもある（UFOの）川村社長が『LEGEND』っていう、『PRIDE』のオポジション的な場をつくったことで、なんか〝反『PRIDE』&K—1〟みたいな空気がなんとなく出てきてるね。

大　それと「プロレス回帰現象」が微妙に絡まってる。そういう中でアントン総帥がどう動くかだよな。一説によると、猪木さんの石井館長へのライバル心、ジェラシーは相当なものだというし。

中　石井館長と全日本が手を組むっていう話もその気持ちに拍車をかけてるだろうね。猪木さんの全日本への敵対心は我々の想像以上のものだから。だから、猪木さんの「対石井館長」「対全日本」、川村さんの「ガチンコ&アントニオ猪木好き」、それから総合に出てた選手の「プロレス回帰現象」、小川&橋本の「格闘技への反発心」。これらが微妙に絡まって、〝反『PRIDE』&K—1〟みたいな空気をつくってるんだと思う。連帯感は皆無だけどね（笑）。

大　猪木さんにも新日本にも、石井館長のプロレス参入を脅威に感じてるとこはあるんだろうけどね。でも言い方は悪いけど、館長を逆利用するくらいの気骨がないと、プロレス再生は難しいよ。それにね、館長はゴールドバーグをプロデュースしていくけど、全日本を乗っ取ろうとかそういう気持ちはないと思うよ。プロレス団体をやりたいということでもないし。CX（フジテレビ）で全日本の中継が決まったとまことしやかに言われてるけど、たしかにこれは館長の力に寄るところが大きいんだ。でも、それは正確にいうと、全日本の中継じゃなく、例えば『PRIDE』のように、選手をいろんなところから上げれるような〝場〟を設定して、CXが放映して、館長がプロデュースしていくっていう方向なんだよ。まだ放映開始日時も決まってないし、館長が全日本に介入してくるとかそういう話じゃない。

団体ではなく〝場〟として機能する石井館長プロデュースのプロレス

中　でも、館長とそのブレーンが、ビジネス的にもソフト的にも、プロレス界に風穴を開けようとしてるのは確かだし、それに対して新日本や猪木さんが脅威を感じてるのも確かなんだよな。どう対抗策を打っていくのか。

小　とかなんとかいって、猪木さんは『Dynamite!』で「ダーッ！」をやってるかもしれませんよ（笑）。

大　だから秋以降は、猪木さん、石井館長、新日本、全日本、ZERO—ONE、どれもこれも、まったく目が離せないよ。ホントにマット界の勢力図はガラリと変わるかもしれない。

[座談会出席者]

大　『紙プロ』編集部の誰かという気がしないでもないが、そうでもない気もする。いや、全然違う気がしてきた。

中　業界に強力な情報網を張り巡らせている事情通。この人に聞けば、業界周辺のことはわからないことはないという地獄耳。

小　まだキャリアは浅いが、そのフットワークの軽さ、取材力には定評があり、データにも強い。「小」でもShow氏とは全く関係ない。

サク熱のバイオハザード!!

灼熱のガチンコ大戦争
爆進格闘技K-DASH!

聞き手／山口日昇
撮影／森“モーリー”鷹博
designed by hisa (Two Three)

39 SAKU
Where there is a will

和志

8·28で"ん〜、ダイナマイッ!"なカムバック&ミルコ征伐へ!!

「ゾンビみたいに『ウェ〜ッ』って追い詰めましょうか」

いよいよ〝灼熱の夜の大決戦〟が幕を開ける。
しかし、サクは只今絶賛2連敗中。
しかも左肩の負傷→手術から立ち直り、
ようやく傷口が癒えたばかりのサクの周辺からは、
ここのところ「なにやら不機嫌三昧」
「今度こそ負けられないというプレッシャーが負担になっている」
「負傷明けの復帰戦ということで、不安が募りまくっている」
なんていう情報が、まことしやかに流れてくるばかりだった。
負傷の治り具合、ミルコの突進力&自信&勢い、
体重差と確かに不安材料はいくつもある。
ミルコという類い希なる強敵の影、そして〝バイオハザード〟が、
サクの身に一気に襲いかかっているかのようなイメージなのだ。
バイオハザードというのは、
「生命危機」とか「生物災害」という意味である。
「選手生命の危機」や、ミルコという「生物災害」の前に、
サクが真っ向から立ち向かおうとしている。
そんな感じがする。まさに〝サク熱のバイオハザード〟だ。
サクの笑顔は、国立の夜空に立ち昇るか——!?
勝って試合後に笑ってくれ、サク!!
ん〜〜〜っ、ダイナマイッ!!

桜庭

―今日は桜庭さんに会えるから嬉しいなぁと思ってたんだけど、「いま桜庭さんはイライラしてる」とか「サクちゃんは怖い」とか、周りからそんな声しか入ってこないから、ビビッてますよ（笑）。

桜庭　はぁ？？……たしかに昨日は1日中ムッとしてましたけどね。

―昨日は虫のいどころが悪かった？

桜庭　いや、ただ単にそういうオーラを出してみようかなと思って（ニコニコ）。

―さすがだ（笑）。最近の某有名スポーツ誌を見ても、文章や写真から、めちゃめちゃムッツリしてるのが伝わってきますよ。

桜庭　（ひと際大きな声で）あ！　あ〜れはムッツリさせられたんですもん。

―やっぱり（笑）。

桜庭　だって、前にその雑誌から「練習見せてくれ」っていう話があったんで……何年前だったかな？　その人に1回見せたことがあったんですよね。

―たしか3年前って書いてありましたね。

桜庭　そのときは「1回見れば十分だろう」って感じで、「見てもいいですよ」って許可を出したんですよ。で、今回も見せてくれって言われて。でも、基本的に練習なんか見せるのはイヤなんですよ、ボクは。だから「イヤだ」って言ってんのに……「1回見たからいいじゃん。変わんないよ」とか思って、何回か断ったんですけどね。なんで練習を見たがるんですかね？

―それは見たいのは見たいですよ（笑）。

桜庭　だって、人がせっかくおいしくて綺麗な野菜を見せようとしてるのに、畑に撒く肥料として、一所懸命溜めてるボクのウ●コを見たがってるようなもんですよ！

―ダハハハ。試合は野菜で、練習はウ●コ!?

桜庭　クックックック。

―まぁ、桜庭さんの場合、誰が相手でも、基本的に練習内容は変わらないでしょうけどね。

桜庭　で、その雑誌の取材があるのを忘れてて、ここ（高田道場）に来たら取材だっていうのを聞いて。それからムッとしちゃって。そういう意味でムッツリしてたんですよ。

―取材を忘れてるほうがヒドイ（笑）。

桜庭　（再び、ひと際大きな声で）だって同じこと何回も聞くんですよ！「試合終わって、怪我して、手術して、焦りや不安はなかったですか？」って何回も。べつに野球みたく、シーズンの期間が決まってて、いつまでに調整しなきゃいけないとか、そういうのはボクにはないわけじゃないですか。あの試合（昨年11・3のシウバ戦）が終わった時点で、次のカードなんか決まってないし。だから「休めると思ったから、べつに何とも思わないですけど」って言ったんですよ。

ボクが変わったんじゃなくて、聞く人が変わったんですよ

―「いやぁ、それでも焦りはあるでしょう。ないはずはない」っていう感じで聞いてくるんだ（笑）。

桜庭　そうそう！　途中で違う話になりながら、「でもやっぱり普通の運動選手だったら、焦りとかそういうのは出ますよね」って感じで聞いてきたんですよ、2〜3回。「だからァ！」って（笑）。

―「やっぱり誰だって不安になるでしょう」って（笑）。

桜庭　だから、「次の試合決まってるわけじゃないし、手術して治って、相手が決まって、初めて試合がスタートするから」「たとえば1年休まなきゃいけないなら、ちょうど休めるし」って感じで言ってたのに、そっちの方にハメよう、ハメようとするんですよ。

―ガハハハ！　写真も実に不機嫌そうな写真撮られてましたね（笑）。

桜庭　そういう気持ちで撮ったから、不機嫌そうに写ったんじゃないですか。

―でも、俺でさえ、あの記事を読んだら〝今回は相当プレッシャーかかってんなぁ〟って心配になりましたよ。活字の魔力って凄いですよね（笑）。

桜庭　だから、マスコミとかは怖いんですよ！

―〝うわぁ、こんなピリピリしてるのかぁ〟と思って、丸山さん（高田道場・

広報）にも、「あんまり気が進まないようだったら、今回は無理しなくていいです」みたいなこと言っちゃって。この図々しい俺が（笑）。
桜庭　ヒャハハハ。その記事の最後の最後に松井（大二郎）のセリフがあったじゃないですか。「いや、（桜庭さんは）全然変わらないですよ」みたいな。「ほら、変わんねえんじゃん！」って（笑）。だから、ボクが変わったんじゃなくて、聞く人が変わったんですよ。
——周りが勝手に変わってる。
桜庭　そう。
——なるほど。じゃ、そういうことで、焦りや不安はないんですか？（笑）。
桜庭　全然ない。
——ない！（笑）。
桜庭　あ、でも、いまはありますよ。相手も決まったし、試合まであと2週間ちょっとだから、普通に試合前の緊張感っていうのはありますけどね。もうちょっとしたら、もう少し追い込んで、ピークを過ぎればペースを落として、試合3日前にはホントに軽く。で、2日前は休みま……ああ～、ウ●コしたくなってきた。
——ズコッ！　だ、脱力するなぁ。「最近、ウ●コの出はどうですか？」っていう質問にしましょうか？（笑）。
桜庭　朝、してくるの忘れちゃったから。
——してくればいいじゃないですか！（笑）。
桜庭　いいです（笑）。

灼熱のガチンコ大戦争
爆進格闘技
K-DASH!!

——じゃあ、いまはヘルペス（※極度の疲労orストレスor発熱が誘因になり、疱疹が頭部、顔面、胸部などに出る症状）ができるぐらいのペースで練習してるということですね。
桜庭　ショックでしたよ～。またできちゃって。練習で疲れると、すぐできますからね。目の上とか、あとは口の周りとか。
——去年11月のシウバ戦の前にもできてましたよね。それ痛いんですか？
桜庭　最初は痒いんですよ。で、「ヤバいかな？」と思って朝起きると、ボツボツボツってできてる。で、そのグチュグチュ状態を通り過ぎると、今度は痛いんですよ。練習終わってシャワー浴びでも、もうシミて痛いし。
——うわぁ、イヤだなぁ。
桜庭　（豊永）稔なんかツバひっかけてくるし。
——ガハハハ！　やるなぁ、稔君。
桜庭　「こんなのツバかけりゃ治りますよ」とか言って。
——稔君のツバで広がっていくんじゃない？（笑）。
桜庭　「ツバつけときゃ治る」って、昔の人じゃないんだから（笑）。
——でも、それも一理ありますよ。最近、精神的に病んでる人が多いけど、それも昔だったら絶対「ツバつけとけば治る」って世界ですよね（笑）。
桜庭　そうですよね（笑）。だんだん時代とともに人間自体が弱くなってきたんじゃないですかね。免疫力が落ちたっていうか。
——桜庭さんは、体力が低下してるとか感じることありますか？
桜庭　感じるときありますよ。怪我したら治るのが遅いっていうのもあるし。あと一番わかりやすいのが、ウェイトやって、筋肉痛が2日後にくるっていう（笑）。
——ガハハハ！　翌日にはこない。
桜庭　翌日はこないんですよ。若い頃は翌日だったんですけど。歳を取ってくると、2日後ぐらいにくるんですよね。間が開きますね。回復力が遅くなるのかなぁ？　何なんだろう？……2日後にくるんですよ（ブッブッ）。

サク鉄のバイオハザード!!
KAZUSHI SAKURABA

——スパーリングは？
桜庭　スパーリングの疲れも抜けないときありますね。
——それはいつ頃からですか？
桜庭　去年ぐらいから。昼寝しても全然、ボーッとしてるし。
——それはあんまり関係ないような気がするなぁ（笑）。
桜庭　昼寝しても、30分ぐらいで目が覚めちゃうんですよ。
——年寄りは早く目覚める？（笑）。
桜庭　いや、ホントに。昔は1時間でも2時間でも寝れたのに、いまは30分ぐらいで1回、目が覚めるんですよ。
——それはやっぱり、得体のしれない重圧を背負ってるポジションのせいですよ、多分（笑）。
桜庭　睡眠時間、減ってないですか？
——昔に比べたら、えらい減ってますね。
桜庭　逆に寝るのが疲れますよね。
——「歳を取ったら」って言ったけど、実感として感じるわけじゃないでしょ？
桜庭　感じますよ～。オシッコの切れは悪くなってきてるし。
——悪くなりますね、確かに（笑）。
桜庭　だってションベンし終わったとき思うじゃないですか。「またションベンしてぇなぁ」ってたまにあるんですよ。
——確かに残尿感はあります（笑）。
桜庭　それですよ！　歳を食ったっていうのは。
——そうなのか！（笑）。ボクの場合、酒飲んで次の日に残るっていうほうが歳取った感じはしますけどね。
桜庭　ボクはそのへんはわかんないですね。ボクの場合は、お酒飲んだら毎回残るから（ニコニコ）。前と比べて、どう違うっていうわけでもないし。いまは禁酒令も出てるし、高田さんから。
——禁酒令！
桜庭　飲みたいけど（笑）。ボクの場合は飲んだら、わけわかんなくなるまで飲んでるから、どのぐらい飲んでるのかもわかんない。
——自分で「これ以上いったら、リミッター外しちゃうなぁ」とか、そういう感覚もないんですか？
桜庭　ないです（キッパリ）。
——残るまで飲むのが、酒（笑）。
桜庭　……それでもやめれねぇなぁ。職業柄やめれないですね（キッパリ）。
——職業柄！（笑）。
桜庭　ボクら、普通の人に比べれば、時間が決まってる仕事じゃないじゃないですか。まぁ、次の日に時間が決まってても飲んでますけどね。飲んだら止まんないんですよ。
——だから禁酒令出されるんですよ（笑）。適度に飲んで、途中でやめれる人だったら、禁酒令は出ないと思いますよ（笑）。
桜庭　普通の仕事してたら速攻でクビですよね。
——ダハハハ。ファイヤーッ！
桜庭　調子悪ければ練習しないし。飲んだら「練習できねぇ」って感じになっちゃうから。結局そういうのが試合にドカッと出てくるわけじゃないですか。そのドカッと出てくるのがズッと先だから、わかんないんですよ。でも、二日酔いで練習することもよくありますけどね（ニコニコ）。
——さあ、そういうわけで、いよいよ大一番が近づいてまいりました！（笑）。

桜庭　はぁ。

——今度は『Dynamite!』っていう大会名なんですけど、その大会名にはどんな印象がありますか？

桜庭　大会名……初めの頃は聞き慣れなかったけど、いまとなっては、いいんじゃない？って感じですかね（笑）。

——最初は違和感があった？（笑）。

桜庭　いや、言わされるのが恥ずかしい……（つぶやくように）。

——あ、プロモーションで。テレビのCMでも流れてますね。桜庭さんが「ダイナマイッ‼」って叫ぶやつ。

桜庭　日本語っぽく「ダ・イ・ナ・マイ・ト」って言うんだったらいいですけど。

——溜めてから「ダイナマイッ‼」と発音するんですよね（笑）

桜庭　そ、それが恥ずかしい。「〝ト〟の発音しないでください」とか言われて。「ダイナマイッ‼」って言うのが恥ずかしいから、「〝ト〟を発音しましょうよ」って言ったんですけどね。

国立？……べつに。普通の学校のグランドみたいじゃないですか

——〝ト〟があると、なんかリズム感がないですよ（笑）。じゃあ、いまは『Dynamite!』でも、それはそれでいいやって感じ？（笑）。

桜庭　『PRIDE』も初めはそうだったじゃないですか。ヘンな大会名って感じだったですよね。

——慣れるまでは、たいがいそうですよね。その『Dynamite!』は国立競技場で行われるんですけど、国立を見た印象はどうでした？

桜庭　いや……べつに（笑）。普通の学校のグランドみたいじゃないですか。

——ダハハハ！　国立競技場を普通の学校のグランド呼ばわり（笑）。

桜庭　サッカーするとこがあって、陸上のトラックがあって、学校のグランドみたいじゃないですか。

——あんなデカいスタンドがある学校のグランドはないですよ。

桜庭　そ〜んな大きくは感じなかったですね。後楽園ホールに比べたらデカいですけど。

——ガハハハ！　いったい何と比べてるんだ（笑）。

桜庭　後楽園ホールは異常に狭く感じますからね。「これって2千人も入るのかなぁ？」って思いますから。

——桜庭さんは、野外会場というと、Uインター時代の神宮球場以来ですよね。

桜庭　そうですね、夏の神

ミルコ、超K−1戦士への変貌史

01.8.19 あの藤田をヒザ流血葬!!

かねてから「俺はベルナルドのパンチに、アーツのキックを持っている」と豪語していたミルコだが、藤田との初の他流試合をヒザ一発で制してから、文字通り“超K—1戦士”に生まれ変わった！

01.11.3 高田を骨折に追い込み、罵倒!

サクがシウバに再び敗れてしまった『PRIDE.17』のリングで行われた高田戦。猪木—アリ状態が長く続きドローだったが、試合後は冷徹に不満をぶつけた

01.12.31 超K−1戦士がG1王者を一撃葬!!

その年のG1覇者、新日本のエース・永田裕志を『猪木祭り』のリングで迎え撃ったミルコ。わずか21秒で“見えない左ハイ”で現IWGP王者を葬った!!

灼熱のガチンコ大戦争
爆進 K-DASH!!

サク熱のバイオハザード!!

KAZUSHI SAKURABA

宮で昼と夜で2回やりましたね。昼にやったときが垣原（賢人）さんとで、夜にやったのが、バッド・ニュース・アレン。

——バッド・ニュース・アレン！　懐かしい（笑）。

桜庭　第一試合で、まだ坊主頭だったんじゃないですかね？

——あとWAR勢が上がったときもありますよ。

桜庭　あ！　折原（昌夫）さんとやったとき。じゃあ3回ですね。

——野外経験は3回！

桜庭　はい。しかも、あのクソ暑い昼間も経験してますからね。

——もともと夏は嫌いなんでしたっけ？

桜庭　いや、暑いのが嫌いですね。

——夏という季節はどうなんですか？

桜庭　どっちでもいいです。

——ガハハハ！　出た。冬と夏だったらどっちが好きですか？

桜庭　冬。

——なぜ？

桜庭　寒いから。

——んあ〜。

桜庭　寒いのは、服を何枚も着れば寒くなくなるじゃないですか。暑いのは、脱いでも脱いでも限度があるじゃないですか。だから扇風機なり、エアコンなりに頼るしかないじゃないですか。冬は服を着れば暖まるので、そういう意味で好きです。

——じゃあ冬でも暖房とかで暑いのはイヤなんだ。

桜庭　はい。ホントに暑いのがイヤ。運動以外でジワジワ汗かくのが嫌いなんですよ。

——（一昨年8月の）ヘンゾ戦の前も、やたらとモチベーションが低いように見えましたよね。

02.7.14 K-1の超新星に重戦車ラッシュ!!

K—1で日の出の勢いの“褐色の超新星”レミー・ボンヤスキーを、ハイキックではなく、ダイナマイト・パンチのラッシュで沈めた。まるで重戦車だ!!

02.4.28 どう猛三昧の激しい痛み分け!!

サクを２度も破り、PRIDEミドル級の頂点に立つシウバとの、どう猛三昧の一戦。テイクダウンを取られても粘ったミルコを倒すには１Ｒ３分は短いか？

02.3.3 “サモアの怪人”をも“妖刀”でブッタ斬り!!

超Ｋ—１戦士としての自信を嫌みなほどに身につけてきたミルコが、昨年のＫ—１ＧＰ覇者ハントからも“妖刀”の左ハイでダウンを奪い、判定勝ち

02.1.27 現・魔界倶楽部の柳澤も寄せつけず

純Ｋ—１ルールでの一戦となったが、ここでも“プロレスラー・ハンター”の面目躍如。“プロレスラー”を名乗る柳澤を自分の土俵でまったく寄せつけず！

桜庭　あのときも暑かったんですよ！　だからダラーッとしてたんです。

――この8月も……普通だったら海でも行ってる季節ですよね。

桜庭　もうお盆ですからね。

――たしかに（笑）。この暑い最中、練習して調子上げていかなきゃいけないっていうのは、暑さ嫌いの桜庭さんとしては辛いんじゃないですか？

桜庭　それはそれで面白いですよ。試合や練習をやりたくないとか、そういうことではないですから。運動して汗かくのはいいんですよ。

――じゃあ今度も夏の野外だけど、あんまり関係ないですか？

桜庭　いや、関係ありますけど……でも決まっちゃったから（笑）。

――決まっちゃったもんはしょうがない、と（笑）。マット界初の国立開催でのメインっていうのは、選手冥利に尽きるのか、それともプレッシャーなのか、どっちですか？

桜庭　ああ、それはあんまり考えてないですね。自分のなかで、どこの会場で何個目の試合っていうのは、べつに何にもないですね。そういうこだわりとかは。第一試合でも、真ん中ぐらいでも関係ないですね。ただ、前にも何回も言ったと思うんですけど、終わってから「桜庭の試合が一番面白かった」って言われる試合ができればいいと思うんで。

――ミルコという相手に対するプレッシャーのほうが大きい？

桜庭　いや、そういうんじゃなくて、やっぱり前回が負けて終わってるっていうのはありますね。

――そこからの復帰戦ですからね。

桜庭　いや、復帰戦っていうのは……復帰とは思ってないんですよ。

――じゃあ、休憩明け（笑）。

桜庭　そんな感じです（笑）。だから、試合に臨む緊張感を忘れちゃってるので、そのへんを取り戻すようにするのが……あと、ミルコがデカいっていうのがプレッシャーになってますけど。

――確かにミルコはデカいのに加えて最近、自信満々ですからね。記者会見とかで間近に見ても、やっぱりデカいなって感じます？

桜庭　そうですね。デカいっていうか、身体が厚いですね。やっぱり近くで横から見ると、ブ厚いですよ。（唐突に）松井は薄いんだよなぁ……。

――あ、松井選手の話（笑）。

桜庭　頭がちっちゃいから目立たないだけで。83～84キロの頃のボクと、90キロの松井と、横向いて鏡で比べると、ボクの方が厚いんですよ。

――一番厚いのは稔君じゃない？

桜庭　そうですね、違う意味で。稔は顔が厚い（笑）。

――ところで、ミルコの試合はビデオで見ました？

桜庭　………チョビッと。

――語るほど見てはいないと。

桜庭　あとは会場で見たくらい。

――やっぱり立ち技の達人ってイメージあります？

桜庭　達人ってほどではないと思うんですけどね。

――じゃあ、鉄人（笑）。

桜庭　はい（ニコニコ）。

――桜庭さんは寝技の達人、あるいは寝技の哲人だから、どっちの領域に引き込むかの闘いになりますよね。

桜庭　そうですね。

――「絶対こっちに引きずり込んでやる」っていう意味では楽しみな部分があるんじゃないですか？

桜庭　少しはありますね。面白いかもしれないですねぇ……どうやって殴りにいこうかって（ニコニコ）。

――また。やめてください、ホント（笑）。

桜庭　やっぱり最近は、試合に向けて緊張するのがなかったから、そういうのが緊張するっていうか、逆にプレッシャーになりますね。試合のときの緊張感って違いますからね。試合の緊張をズッと味わってないので。

ミルコは“立ち技の達人”ってほどでもないと思うんですけどね

灼熱のガチンコ大戦争
爆進 K-DASH!!

――それを早く味わいたいっていう気持ちはあります？

桜庭　いや、そんなに。

――ガハハハ！　ない。

桜庭　イヤだなぁって感じですよ。でも終わると「またやりたいな」って思うから。

――そこが「リングは麻薬みたいなもんだ」って言われるところですよね。

桜庭　そうですね。

――桜庭さんは、試合をやらなかったら、死んじゃうんじゃないですか？（笑）。

桜庭　う～ん、毎日が面白くないかもしれないですね。だから、長い間っていうか、休憩が長かったので、早く試合したいなっていうのはありますね。でも、「試合したいな」って思うのに、必ず「面倒くさい」っていうのが付いてくるんですよ。

――は？　それはいつ頃からですか？

桜庭　2～3年ぐらい前かなぁ？

――あ、そんな前から（笑）。

桜庭　2000年ぐらいからですね。だから、ホイスと試合した時点で、もう試合が全部、無制限のような感じがして面倒くさくなってきたんですよ。

――ガハハハ！「全部90分やらなきゃいけないのか」って（笑）。

桜庭　そういうのから面倒くさくなって。そういう意味で、「なんか嫌だなぁ、1分にしろよ」とか思って。

――1分じゃ極めれるもんも極めれないじゃないですか（笑）。

桜庭　そもそも面倒くさがり屋ですからね、ボク。

――もともと(笑)。

桜庭　試合当日になって国立競技場に行くのも面倒くさいし。

――ガハハハ！　そう来ますか。

桜庭　朝起きなきゃいけないっていうのも面倒くさいし。

――恐ろしい人だなぁ、ホントに（笑）。まぁ、そのへんは、取り立てていま始まったことじゃないでしょうけど（笑）。でも「国立競技場に行くのが面倒くさい」って言われてもなぁ。

桜庭　あそこらへんの手前の道なんか混んでそうじゃないですか！　あれがもう面倒くさそうですよ。

――ズコッ！

桜庭　人がせっかく時間を計算して、「何時ぐらいに着けばいいかな」って行ってんのに、渋滞にハマッたら時間がズレるじゃないですか。あれがイヤなんですよね。

――たしかに渋滞はイヤですよね。でも大丈夫ですよ、丸山さんが運転していってくれますよ。

桜庭　そうすると、「何時に迎えに来る」とかあって、それがまた面倒くさいじゃないですか！　自分の好きな時間に出れない。そういうのが面倒くさいんですよ。

――実に困った人ですね！（笑）。今度、プロモーターになって、自分の試合の開始時間も自分で決めればいいんですよ。

桜庭　「試合開始時間・やりたいとき」って？

――そうそう。日時とかも。話は変わりますけど、この夏は息抜きはどこでしたんですか？　花火大会を見に行ったとか。

桜庭　ないですね……あっ、プール！　家のベランダで、子供をビニールのプールに入れて、横で見ながら日に焼いてました。

――小学生じゃないんだから（笑）。

桜庭　ボクが入ったわけじゃないですよ。直径1メートルぐらいの小さいプールだから。子供が入ってるのを見ながら日焼けしてた。ただ椅子に座ってただけですけど。

――でも、そんなに焼けてないですね。

桜庭　日焼けしましたよ、ほら！（と言って、立ち上がって短パンの裾をめくりあげる）。

――あ、ホントだ。

桜庭　なんか面倒くさいから、パンツこうやってめくって、上半身裸になって、椅子に座ってたんですよ。そしたらこのモモンとこだけ赤くなっちゃって。

サク熱のバイオハザード!!
KAZUSHI SAKURABA

――さぁ、息抜きもしたことだし、そろそろミルコ戦について本格的に語ってもらいましょうか（笑）。

桜庭　いや……いまさら焦ってもどうしようもないし、いまさら不安になってもしょうがないんで、なにも考えないようにしてます。考えちゃうとダメですね。歳を食って眠れなくなってきたのに、そういうの考えちゃうと、余計眠れなくなるんで。そうすると疲れが取れなくて練習にもなんないし。ただでさえ、前よりスパーリングの本数は減りましたからね、やっぱり。

――でもその分、前よりは新しい知識も蓄積されてるわけですよね？

桜庭　打たれすぎて忘れ物が多いです。脳細胞が破壊されて。

――どんな立ち技のスパーリングやってるんですか！

桜庭　ヒャハハハ。物忘れが多いんですよね。ボクより稔の方が凄いけど。あいつは凄いですよ！　HPかな？　道場の日記か何か書いてるみたいなんですけど、それを書き上げてプーッと下の道場に降りて、また1時間後ぐらいに事務所に上がってきて、またやり始めるんですって。まわりが「何やってんの？」って聞いたら、「道場の日記」って。「さっき送ったじゃん」「道

「え？　やりましたっけ？」って。

――ガハハハ！　それは相当ヤバいぞ、豊永稔！（笑）。

桜庭　稔がクソ暑い国立でレフェリーやったら「ストップ、ストップ！」って言って、「カンカンカーン！」ってゴングが鳴ったら、「あれ、どっちが勝ちだっけ？　何で勝ったんだっけ？」って状態になっちゃうかもしれない（笑）。「どっちが勝ったっけ？」って選手に聞いたり。

――そこまで行ったら入院してますよ（笑）。

桜庭　ヒャハハハ。だって、よく事務所で「あれ、俺いま何しようとしたんだっけ？」ってブツブツ言ってますよ。何日か前に、車の移動を頼んだら、「ぶつけました」とか言ってるし。

――やるなぁ、稔君。

桜庭　その気持ちの移り変わりがわかるから面白かったですけどね。稔はセダンだけど、ボクんちはワンボックスだから、そういうの運転したことないんですよ、稔は。で、ちょっと運転してたら調子こいたんじゃないですかね。「何だ、俺、デカイのもいけるじゃん！」と思って、最後の最後にドーン！　とぶつけて。そういう気持ちの流れが見えるから面白いんですよね（笑）。

――ガハハハ！　予想通りに（笑）。

桜庭　そう。予想した通りだから面白いんですよ。で、「すいません」とか言ってて、別にぶつけたのはこっちが頼んだから怒らないんですけど、それを予想できるっていうのが面白いんですよね。もう大笑いしましたもん。「最後、気ィ抜いちゃいました」って言うから、「気ィ抜いたんじゃないでしょ、調子こいたんでしょ。お前の気持ちぐらい読めてるよ」って。こないだ新しい車が来たときも、「ちょっと見せてくださいよぉ」って言うんですよ。普通「見せて

くださいって言ったら、グルッと外側を見て、ちょっと運転席座ったりするだけなのに、アクセルをグワーンッてフカすとこまでやるのが面白くて。いっつも調子こくんですよ。

――ガハハハ！　稔君のことは、いつ何時でもお見通しって感じですね（笑）。

桜庭　行動が全部見えるっていうのは面白いですね。

――いまの話に無理矢理こじつけると、試合やってるときも、相手の次の動きが読めたときは面白いんじゃないですか？

桜庭　あれは最高に面白いですよ。そっちにエサを振ったら、そっちにホントに来ちゃったときなんか、もう最高ですね！

――桜庭さんの場合、ホント試合が心理戦だから面白いんですよね。

桜庭　いままでで一番ハマッたのは、（エベンゼール・フォンテス・）ブラガとやったときですね。〝こうやったらきっと手を伸ばしてくるよなぁ。伸ばしたらそのまま十字取れるよなぁ〟と思ったら、見事に手を伸ばしてくれて〝やったぁ！〟って。

――（カーロス・）ニュートン戦も比較的そうでしたよね。

桜庭　ん～、あの試合は、後半けっこうバテてたから、あんまり覚えてないですね。

――いいタイミングでハイキックが決まったりとか。

桜庭　そうでしたっけ？　ハイキックが決まったのは記憶にないですね。

――KOまでいかなかったけど、もの凄いタイミングで決まりましたね。

桜庭　あ、ホイラーとやったときにハイキックが入ったのは覚えてる！　下を向きながらハイキックやったら、ホントに入っちゃって（笑）。

――ということで、今度のミルコ戦も、エサの巻き方はバッチリなんですか？

桜庭　バッチリじゃないです。

――ほえ～。

桜庭　いや、ミルコはいままでやった試合が短いじゃないですか。何がなんだかわかんないから。

――たしかにまだ全貌は見えてないですよね。総合への対応力っていう意味では。

桜庭　K―1でやった試合っていうのも、やっぱりK―1ルールの試合だから。まったくじゃないですけど、見てもあんまり参考にならないっていうか。

――体重差があるといったら、ボブチャンチン戦がありましたよね。ボブチャンチンにあれだけタックル決めてますからね。

桜庭　う～ん……難しいですね。

――もちろんタッパも違うし、身体の質とかも違うだろうけど。

桜庭　ボブチャンチンは足が短かかったからなぁ。

――ガハハハ！　足が短い方が安定感ありそうじゃないですか。だから、ミルコからサッとタックル取って、サクッと勝ってくれそうな気もするし。

桜庭　そ、それは難しい。

――ルールは現時点ではまだ決まってないんですよね。

桜庭　まだですね。

――直前までゴネる？

桜庭　べつにゴネてないですよ（笑）。

――失礼しました（笑）。

桜庭　何にも言ってないですよ（笑）。初めの頃に、「3分は厳しいですね」とは言いましたけど、あとはそれから何にも言ってないですよ。

――1R3分だと極めれないかなって思います？

桜庭　3分……どうですかね？　何回か練習でやってみましたけどね。昨日、記録に挑戦しようと思って、練習生つかまえて、5分で何本極めれるかっていうのをやったら、2本しか極めれなかった。あ～れは悔しかった……。稔が相手だと5本ぐらい極めれるんですよ！

――ガハハハ！　何で練習生より極められるんだ！

桜庭　それだけボクは稔の心理を読んでるんですよ（笑）。もうバレバレだから、稔は。

――そうか（笑）。

桜庭　だって稔とやって、グラウンドだけで2分やったんですよ。毎回秒殺できるんですよ（笑）。一応2分以内だと秒殺ですよね？

――イメージとしては120秒以内くらいですよね。

桜庭　毎回極まるんですよ。稔だと極まるんだよなぁ。

――そういうように、ミルコの心理を試合中に読み切ってほしいなぁ。

桜庭　誘いに乗るかですよね。

――ところでミルコの一番気をつけなきゃいけない部分はどこだと思いますか？

桜庭　（シレッと）打撃じゃないですか？

――それは、そこらへん歩いてるお母さんでもわかりますよ！（笑）。

桜庭　あと、カウンターの何か。

――は？

桜庭　カウンター……。

――でも、桜庭さんは突っ込んで行かないですよね？

KAZUSHI SAKURABA

顔までキッチリつくったバージョンの〝ゾンビ戦法〟想像図。これでミルコをコーナーまで追い詰められるか？　鉄仮面ミルコを笑わせたら勝ちだ（違うか？）

桜庭　（さらにシレッと）まぁ、行かないですよね。あ！　ゾンビ戦法とか。

――ゾ、ゾンビ戦法？

桜庭　（実演しながら）「ウェ～ッ」って、コーナーに追い詰めて逃げ場なくしていくやつ。どうですか、それ？

――そろそろ映画の『バイオハザード』も公開だから、タイムリーでいいんじゃないですか（笑）。

桜庭　こういう手をやられると怖いと思うんですけどね。顔もゾンビ風に作って。これは絶対効くと思いますよ。

――き、効くかなぁ？

桜庭　これ、子供がやるんですよ。『バイオハザード』の『ガンサバイバー』をやってたら、子供がゾンビの真似して迫ってくるんですよ。それをヒントに。

――（無視して）たとえば猪木vsアリ戦法は取らないですよね？

桜庭　あれは蹴られるからイヤですよ。蹴られたら痛いじゃないですか！　結構痛いんですよ、あの状態でモモ蹴られるの。

――さんざんホイスやホイラーのモモ蹴っておいて（笑）。桜庭さんに蹴られるのが一番痛そうですよ、あの状態だと。

桜庭　あと、ベイダーアタック！

――ガハハハ！　桜庭さんの方が体重軽いじゃないですか。

桜庭　パチーンと、ハエのように叩き落とされたりして。

――掴まえられてベアハッグ決められますよ（笑）。

桜庭　じゃあ、お尻向けて行こう。「カーン！」って始まったら、背中じゃなくて、いきなりお尻を突き出して向かって行こうかな。「ここ蹴ってみろ！」って。お尻だったら痛くないかもしれない。ダメですかね？

――でも、尻を蹴っ飛ばされてKOされたら実にカッコ悪いですよ。立てなかったりしたら（笑）。

桜庭　ヒャハハハハ。魚が釣り上げられてピチピチ跳ねるときみたいに、「痛ェーッ！」ってのたうち回って。

――ま、いずれにしても楽しみですね、今度は（笑）。「楽しみだね」って言われるとプレッシャーになったりします？

（ミルコの）一番気をつけるとこ？ 打撃じゃないですか？（ニコニコ）

桜庭　いや。全部で8試合ぐらいあるんでしたっけ？

――7～8試合でしょうね。

桜庭　どれか当たりがあればいいかなって。自分がハズれちゃっても。

――ミルコ戦を乗り切ったら、次の目標……なんていうのはあるわけないですよね（笑）。

桜庭　ないですね（ニコニコ）。

――一応聞いとかないと。シウバとの3度目っていうのはありえますか？

桜庭　現役でいれば、いずれもう1回ぐらいはあるんじゃないですか？

――「現役でいれば」って、まさか辞めようとか思ってないですよね？（笑）。

桜庭　思ってないですよ！（笑）。

――ん～、ダイナマイッ!!　ということで、灼熱の夜の大爆発を期待してます。

【8月11日／東京・武蔵小山・高田道場にて収録】

というわけで、このインタビューを行った8月11日は、聞き手の山口日昇の39歳の誕生日だった。

39歳を迎えた日にサク（39）のインタビューをするというダジャレ的僥倖を迎えたわけである。

それがどうした！　と大半の人は突っ込むだろうが、山口日昇のささやかな喜びを許してやってほしい。

そして8・28国立競技場に集まると言われる10万人のファンの大半は、格闘技の国立競技場初進出という記念すべき夜に、サクに勝ってほしいと願っているはずである。『バイオハザード』のゾンビの生命力さえも超えるサクの生命力復活劇を見たいはずである。

というか、サクには早いとこ、このバイオハザード的状況をクリアしてもらって、「ん～～っ、ダイナマイッ!!」なエンディング・テーマを国立の夜空に轟かせてほしいと誰もが願っているはずなのだ。

サクが笑えば、世界は確実に笑う。

ん～～っ、ダイナマイッ!!

ん～ダイナマイッ!!

灼熱＆秋の

NEWサクグッズを太っ腹にあげますかーッ!!

8・28国立でも発売しますよーッ!!

2名

NEW Tシャツ

国立をイエローで染めろ！　国立が終わっても街をイエローで染めろ！
3800円（税抜）／熱賛発売中！

5名　5名

サク応援旗　**サク応援うちわ**

ベタベタなキャプションだけど、いくぜ！ 国立はこれを持ってサクを応援しよう！各500円（税抜）／発売中！

2名

帰ってきたぼく。

笑撃のサクの自伝が帰ってきた！　もちろんオリジナル・ステッカー付きさ。1400円十税
熱賛発売中

2名

サクキーホルダー

これを振り回して応援するとどっかに飛んでく可能性があるので、何かに付けよう！ 800円（税抜）
8月28日発売

1名

サクプリントZippo

キミのハートにオレンジ色の火を灯しますかーッ！……な～んつってね。
8000円（税抜）
発売中

1名

サクメタルZippo

シリアルナンバー入りのKSマーク＆サクベルトをあしらったジッポーさ。
10000円（税抜）
9月5日発売

試合前に読んでも試合後に読んでも面白い
8.26『Dynamite!』ド直前（とゆーか当日）

マット界の論客による大予想!!

構成／堀江ガンツ
designed by matsu（Two three）

灼熱のガチンコ大戦争 爆進格闘技 K-DASH!

サクとミルコ、時代の風はどちらに吹くのか!?
世紀の異種格闘技戦、いよいよ決戦!

桜庭和志 vs ミルコ・クロコップ

5分3R制

いよいよ間近に迫った、立ち技と寝技の哲人同士による世紀の異種格闘技戦。
注目のルールは、これまでミルコが闘ってきた3分5Rではなく、
5分3R制となった。しかも、判定有りになる模様。この決定がどう響くか!?

編集部予想

予想者	勝者	決着
山口日昇	桜庭	1R 逆十字
松澤チョロ	桜庭	2R アキレス腱固め
堀江ガンツ	桜庭	3R 判定勝ち
ジャン斉藤	ミルコ	3R 判定勝ち
ささきぃ	桜庭	2R アームロック
吉田豪		雨天中止

ぼやき格闘評論の第一人者
サクを最もよく知る男

金原 弘光

ミルコは藤田の“直球”は打てても、桜庭の“変化球”は打てない!

まず、これはルールが問題だよね。シウバvsミルコ戦みたいに3分5Rだったら五分五分だと思うけど、5分3Rだったら6－4か7－3で桜庭じゃないの？ 5分あったら関節取れると思うからね。体重差もあるけど、5分あれば桜庭有利だよ。

なぜかって言うと、桜庭はミルコみたいな打撃系の選手って一番得意だと思うからね。タックルで打撃系の足をすくうのって、桜庭が一番得意にしてるパターンだから。

桜庭は一度、シウバの打撃で負けてるから、打撃系を苦手にしてると思ってる人もいるみたいだけど、シウバは総合の打撃選手だから、K－1の打撃とはまた違うんだよね。シウバの場合、パンチ打つときでも必ず腰が落ちていて、タックルを切る体勢ができてるんだよ。でも、K－1の選手がK－1の間合いで打撃を出したら、簡単に倒されるから。

ミルコも藤田選手のタックルにヒザを合わせたりしたけど、藤田選手ってフェイント使わずにそのまま正面から行ったよね？ あれだとカウンター待ってる人にとってはタックル切りやすいのよ。もちろん藤田選手もタックルは上手いんだけど、野球で言うと豪速球投手みたいなもんで、球威は凄くあるんだけどストレートしか来ないから、それ狙ってればホームランを打ちやすいんだよね。それが桜庭の場合、緩急つけたり、変化球投げるタイプだから、ミルコじゃ的を絞れないと思う。桜庭はいやらしいピッチャーなんだよね（笑）。それでいったんテイクダウンできれば、もう（関節）取れると思うよ。

いま桜庭と高田道場で毎日一緒にスパーリングしてるけど、体調も良さそうだしね。一時期、練習ばっかりしてたから、ちょっとバテてたみたいだけど、大会までには万全の体調になってると思うよ。

それで桜庭と練習した後にさぁ、「桜庭、俺の試合なかなか決まらないよ。試合したいんだけどなぁ」とかさりげなく言ったりするんだけど、適当に流すんだよね、あの男は（笑）。桜庭は『紙プロ』で「ゾンビみたいに蘇る」って言ってるんでしょ？ 俺もゾンビみたいに蘇りたいよぉ（笑）。そんなこと言っててさ、俺も国立出てたりしてね。直前になってオファーが来てさ、予想屋がシウバとやってたら笑うよね（笑）。

活字プロレスの第一人者
言うちゃ悪いけどファイト直言

井上義啓

下り調子の桜庭が勝てるようなら、王も長嶋も引退してませんよ!

予想というのは、あんまりやりたくないんだけどね。なぜかって言うと、勝負っちゅうもんは何が起こるかわからんからね。

ただ、桜庭vsミルコについては、よっぽどのことがない限り桜庭は勝てないわな。いまのミルコの実力を見たら、そりゃ勝てませんよ！　最初の1回ぐらいは奇襲攻撃っていうのがあるからわからんけど、3回4回5回やっていくと、だんだんだんだん勝てなくなっていきますよ。だからこの前（！）の力道山と木村にしたってね、2回目3回目はわからんと言ってるの。

そういった意味では、初顔ということで面白いんじゃないの。でも、俺はミルコの方に7－3ぐらいじゃないかと思うとるんだな。このあいだのボンヤスキーにやったパンチなんか見ても凄いからね〜。左の蹴りだけじゃないんだ、あの男は！

ただ、桜庭にしたって「そうはいかんぞ」ということはあるかもしれん。あるかもしれんけど、どうも最近の桜庭の下り調子っていうのが目に見えてるからね。だから、ホイスとやったぐらいが絶頂期でね。それから後はさがっていく一方だなというね。もう格闘家っていうのは、頂上っていうのがあって、そっから下りだしたらどうしようもないんですよ！　そうなったら技術の差とか力の差とか関係ない！（ドンッ）それを言うんだったら、いまだって長嶋、王がホームラン打ってますよ！　言うちゃ悪いけど。

だから、まぁ、桜庭も最初は様子を見ることだね。殺し合いというのは様子を見んといかんのですよ。始めからバカみたいに、バーンとぶつかって行きよると永田や藤田みたいにガチャーンとやられるんですよ。

だから猪木にしたって力道山にしたって最初はじーと見とるわ。それで相手の手の内がわかって「ここぞ」というときに出て行くんですよ。力道山が木村とやったときだってそうですよ。やっぱりこれは殺し合いだなというのがよく分かる（キッパリ）もうケンカに長けてるというかね、単なる格闘家じゃないんですよ力道山は。あれはケンカ屋なんですよ！　ドスを持たしてケンカさせたら、それはもう強いですよ！

猪木にもそういうところがあってだね。目の前で死んだ人間を何人も見てるヤツは強いですよ。だから俺が言ってるのは、猪木の格闘技戦というのは、ミスター・Xは別にしてね、その他の格闘技戦はあれは八百長でもなんでもないんだ、と！あの試合をじーと見てたら、やっぱり猪木っていうのは凄いと思いますよ。技を食ってないもんな！　相手の間をきれいに外してるよ。相手の射程距離の中に入ってきてない！　それがやっぱり凄いところですよ。

ところが永田辺りはミルコとやっても射程距離のド真ん中でボーっと立ってるんだな。そんなもん誰だって蹴飛ばしますよ。しかも蹴りが来たら目をつむりよるね。猪木にしたって誰だって「目をつぶるな」と言うてるじゃないか！　それを練習せえって！　そういった基本が全っ然できてないと、俺は言いたいんだよ！（ドンッ）

まぁ、ちょっと話はズレたけれども、これからのプロ格を語る上で欠かせない一戦になることは間違いないんじゃないの。これだけの積み上げてきたものがあってね。片一方は技で行って、片一方は鋭いカミソリのような打撃を持っている。試合前にいろんなことを考えさせてくれる試合だからね。これは非常に面白い。だから、もうヒクソンだの長州だの言わんことだね。あんなもん、出てきてもらったところで、もう格闘技の本道から外れてるんだから！　だから新日本もだね……（以下、新日本に対する愛のある提言が続くため略）

武士道ジャジメントの第一人者
日本武道傳骨法創始師範

堀辺正史

桜庭にとって勝負の別れ道はいかに早い時間で寝技に持ち込めるか

私はこの試合、5分3ラウンドという形式に決まったことで、桜庭の勝つ可能性が極めて高くなったと思ってるんですね。これまでミルコがシウバなり高田なりとやってきた3分5Rという形式だと、引き分けの可能性も出てくると思うんだけど。1R5分なら3ラウンドぐらいには桜庭の技術をもってすれば一本取れそうな気がするんですよ。

やっぱり5分あればいろんな疲れとか、集中力とかの問題も出てきますから、相手の出方をみて、桜庭だったらなんとか寝技に引き込んで勝てるんじゃないかな。そういう気がするんですよね。

それとミルコと闘う場合、藤田や永田との試合を見てもわかるとおり、一番恐ろしいのはファースト・コンタクトですけど、これも桜庭はいままでのミルコの試合がわかっているんで、その辺は充分に対応できると思うんですよ。それだけの実力は本来、彼に備わっていると思うんですよね。その部分は自分はあんまり心配してないんですよね。

ただ、桜庭が苦戦するとすれば、やはり5分という時間の中で、いかにして早くそのグラウンドに引き込めるかどうかが、そこが桜庭側からみたら勝負の別れ道になると思うんですよ。

だから例えば4分何秒とかね。4分台でやっとグラウンドに持ち込んだというようになると、ミルコも1分間ぐらいだったらなんとかグラウンドを凌げるだけの技術を持っていると思うんですよね。でも桜庭なら例えば2分とか3分台で、倒せば勝てると。そういう感じがするんですよ。逆にラウンドの終わり間際になると、少し難しいと思う。

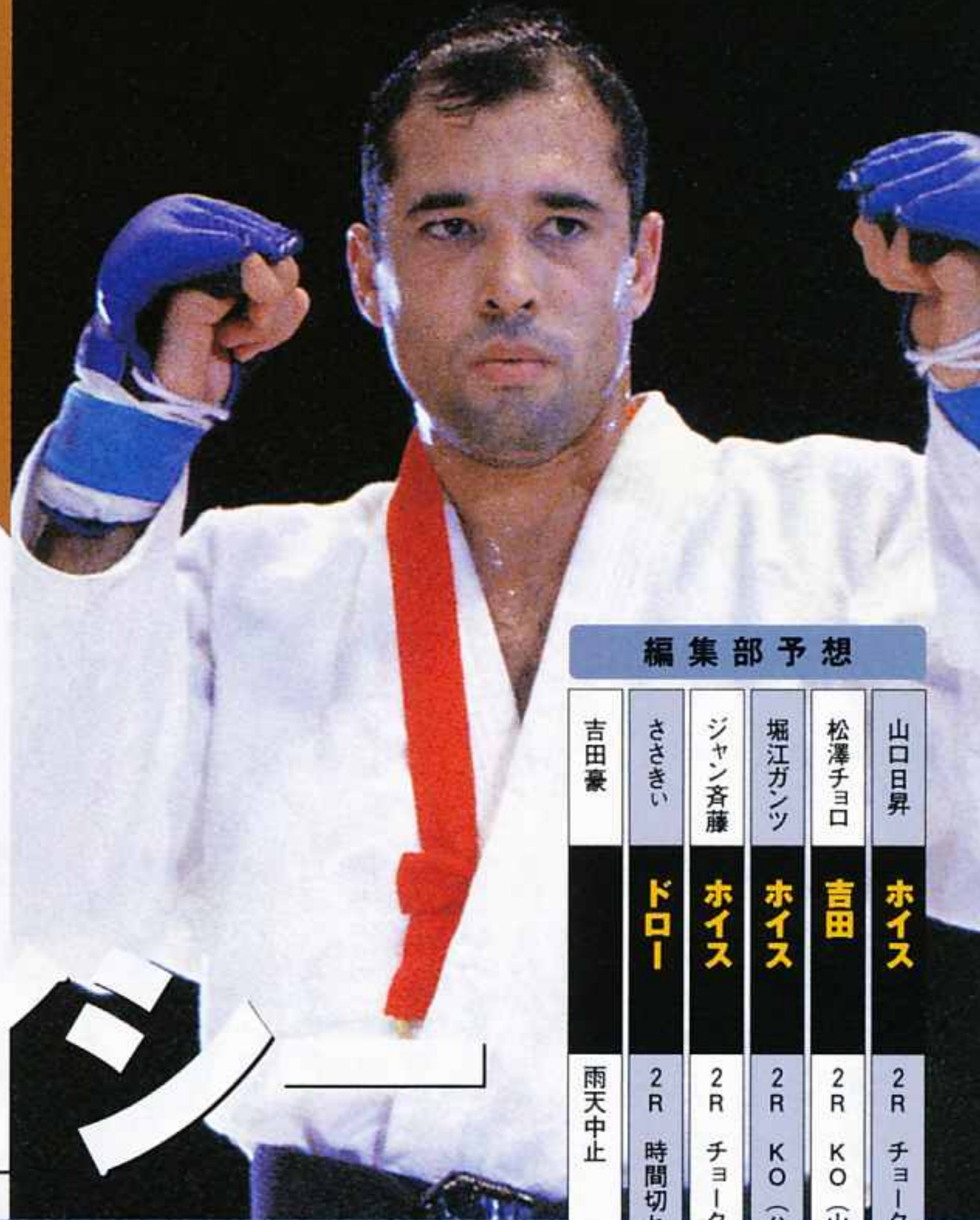
だから今回一番重要なことは、仕掛けのタイミングとスタンドでの距離になりますね。それでいかにして早くグラウンドに持ち込めるか。相手の打撃をもらわないで、早い時間で寝技に持ち込む。恐らく、桜庭も同じように考えていると思うんですよね。早くグラウンドに持ち込めば、自分が勝てるというね。そういう自信は持っていると思うんですよ。だからいかにして、そこにもっていくかということが、当日の桜庭選手の闘い方の機軸になるんじゃないですか。

ですから、ズバリ勝敗を予想すると、3Rで桜庭の一本勝ちですね。

灼熱のガチンコ大戦争
爆進 K-DASH!

試合前に読んでも試合後に読んでも面白い
8.26『Dynamite!』ド直前（とゆーか当日）

マット界の論客による大予想!!

いざ、決戦！ 日本柔道vsグレイシー柔術！

吉田秀彦vsホイス・グレイシー

ジャケットルール　10分2R制

『Dynamite!』最大の遠心力のあるこのカード。吉田秀彦とホイスの一戦がホントに実現してしまう。ルールはジャケット着用、グローブなし、スタンドでの打撃は顔面以外有り、寝技打撃ナシ、に決定。どちらの“柔”が上なのか？

編集部予想

予想者	勝者	決まり手
山口日昇	ホイス	2R チョークスリーパー
松澤チョロ	吉田	2R KO（山嵐により）
堀江ガンツ	ホイス	2R KO（ハイキック）
ジャン斉藤	ホイス	2R チョークスリーパー
ささきぃ	ドロー	2R 時間切れ
吉田豪		雨天中止

吉田を「秀彦」と呼ぶ男
次期NWFヘビー級王者候補

髙阪 剛

秀彦の能力は凄い！自分が7年かけた技を20秒でやってしまう

秀彦の持ってる能力はズバ抜けています。しかもそれをアジャストする力がスゴイんですよ。それに一番ビックリさせられた。自分がリングスに入ってから7年も懸けて道着のない選手の攻め方を見つけたのに、秀彦の場合は「ふ～ん、そうやるんだ」って20秒ぐらいでやってしまうんだから（苦笑）。全然、心配ないじゃんと思いました。

不安な点は、力のコントロールの仕方ですね。総合は力を入れっ放しにはできないんですよ。だから、力を抜きながらでも持っていかないといけないし、そのタイミングも相手によってもまったく変わってきますしね。だから総合の試合で、どのくらい力をコントロールできるのかっていうのはありますよね。こればっかりは練習じゃなくて、試合でやってみないとわからないですから。

昔の『紙プロ』のインタビューで「総合の世界に柔道の一流選手に入ってきてもらいたい」という話をしたんですよ。柔道の超一流選手がきたら、とてつもない爆弾になるし、間違いなく総合の世界が変わると思っていたんです。自分は柔道の一流選手のポテンシャルの高さとか、持ってる潜在能力の高さをイヤっていうほど思い知らされていたから（苦笑）。だから、どうしても総合の世界でその力を見せたいというか、証明してもらいたかったんですよ。当時はアマチュア・スポーツとプロスポーツに垣根がありましたけど、それがレスリングのほうから崩されていって、今回柔道から秀彦というトップ中のトップが入ってきてくれて。7年越しの想いがやっと叶って、自分はものすごく嬉しいんですよ。だから秀彦には自分にできることは協力したいし、一緒に頑張っていこうと心から思います。（吉田のセコンドには）付きます。自分は（エリオ派の）グレイシーと試合をしたことはないですけど、全体的に見て、逃げ道を潰して潰して、出てきたところを極めるというのはありますよね。ヒクソンにしても逃げ道を全部潰して、相手の腕や首が出てくるから極めれるんだと思いますよ。本当に基本的なことなんですけど、その基本がちょっとやそっとじゃ揺るがないぐらいの練習をやってる気がします。グレイシーには根本的に潰されないようにするというのと、潰されたときにヘタに腕や首を出さないことが大切ですね。

活字プロレスの第一人者
言うちゃ悪いけどファイト直言

井上義啓

試合と殺しは違う！人のいい吉田は殺しに向いてない！

これ吉田は危ないと思うけどな。東スポを読むと、髙阪あたりはなんたらかんたら言うとるけどね、俺は吉田が簡単に勝つというのは、とても考えられんからね。二人の実力差というものを考えてみても、もう圧勝して話にならんというようなことはありえないわな。

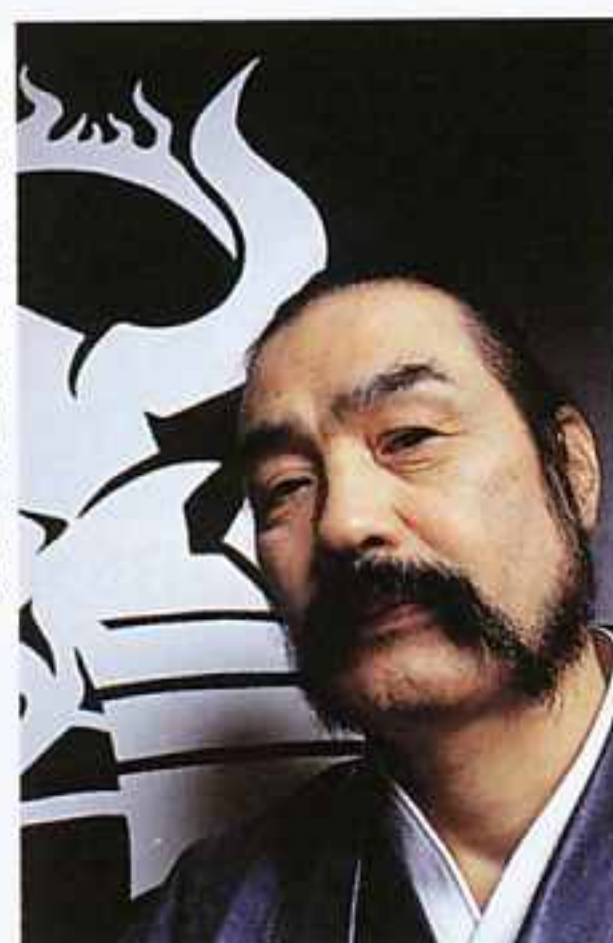
だからおそらく五分だろうけど、なんだかんだ経験の差でホイスがもっていくような気がするけどな。やっぱりお互いがお互いを知らんわけだけど、グレイシー一族はとことん研究してくるからね。よってたかって毎日研究しとるらしいわ。そこら辺で今もやってるんじゃないの？　エリオのオッサンが「吉田はこう掴んだとき危ない」とかね。そういったことをとことん研究してるはずですよ。

それにやっぱりホイスぐらいの実力者になると、ド素人の虚を突きますよ！　何だかんだ言っても吉田あたりは人がいいからね。こういった真剣勝負になると「この野郎殺してやる」というやくざ的な闘いが必要になってくる！　そういった闘い方ができれば勝つけれどもね、あんな「一本！」っていう世界で生きてきたヤツはね、小川にしたってそうですわ。人がいいからね。言うちゃ悪いけど殺し合いに向いてないんだから！　そりゃアンタ、どうしても柔術家の方が上に行くわけですよ。

桜庭なんていうのは人がいいように見えてズル賢いからねぇ。それがいままで勝ち続けた理由ですよ。だから吉田がどれだけ人の悪さやずる賢さを持ってるか、それにかかってくるわな！

これが我々が考えとった吉田であればまず勝てない！　どっかで人の良さが出てね、こんなことしたらいかんだとか、反則だとか、どうしたってそういうことが頭をかすめるんだ、ああいった連中は。それをホイスは目ざとく突いていくからね。エリオのオッサンもそう言っとるはずなんだな。「目をつぶしてもいいから相手を殺せ！」と指示を出しとるはずですよ。そうでないと勝てないわ。

とにかく殺しと試合は違うのよ！　試合でいくら強くても、殺しの場でホントの真剣勝負やった場合、どうなるかわからない。そういった意味で俺は吉田とホイスというのは、みなさんが言ってるほど吉田が楽勝するというケースを考えてない。ホイスぐらいの男がね、襟首絞められて、キューと落ちるなんて、そんなことは100にひとつも考えられない！　そういったことを考えること自体が間違ってるんだよ！（ドンッ）

日本武道傳骨法創始師範

堀辺正史

吉田の投げによる「ホイス戦闘不能」はない！

この試合の予想が一番難しいですね。なぜかと言うと、色んなことが考えられるんですよ。例えば、吉田の実力というのは、世界中で500万人とも言われる柔道人口のトップだということ。それに対してブラジリアン柔術の人口というのは比較にならないと思うんですよね。しかもホイス自身は別にブラジル柔術界のトップではない。だから、そういう層の厚さの中で闘ってきた吉田とそうでないホイスの違いがどれほどあるのか、その辺が私も計り知れないんですよ。

ただ、寝技のテクニックということに関して言うと、グレイシーというのは凄く細かいんですよね。だからグラウンドにいった時、その細かさがひょっとしてホイス側に有利になるかなっていう観点もあるんですよ。

だから非常に予測がつきにくいですけど、敢えて言うなら、グラウンドが無制限ということでホイス有利かな、と思います。

あと、シウバが桜庭に投げで勝ったことで、吉田の投げによるKOを期待する人もいると思うんですけど、柔道の投げというのは、やはり受け身が取れちゃうんですよね。シウバの使った投げ技は、レスリング系の技なんですよ。柔道でも肩車という似たような技がありますけど、ちょっとそういう技は出にくいんじゃないかなという気がします。たとえ強い投げが打ててもやっぱりそれで戦闘不能状態とかは考えられないですね。ですから、このルールでいうと時間切れになる可能性が高いですね。

ぼやき格闘評論の第一人者

金原弢

この試合の見どころは膠着してるときの駆け引き

この試合は、お互いジャケット着るんでしょ？　だったら吉田さんが投げそうな感じがするよね。そして投げた後に、下になるのがホイスで上をとるのが吉田さんという展開がずっと続くと思うんだよね。それで下からホイスがどう極めるかというところだと思うんだけど、吉田さんの方が体力はあると思うし、TKのところに練習に行ってるらしいじゃない。それだったら、あのくらい柔道の実績がある人なら、ましてやジャケットを着てるなら、総合格闘技の寝技もディフェンスならマスターできると思うんだよね。ガードポジションの練習とかも、しっかりやってるって聞くし。だから、吉田さんの方に分があるんじゃないかな。

別にグレイシーは足関節とか上手いわけじゃないし、ホイスの技で怖いのは胴着を使った絞めぐらいだと思うよ。でも、それだったら柔道家も使えるしね。だから、吉田さんがグラウンドでずっと上をキープして、判定で吉田さんの勝ちじゃないかな。

でも、これが判定ナシのルールになったら、引き分けかホイスの勝ちだと思う。どちらが極めるかと言えば、ホイスだと思うからね。

まぁ、ルールはどうあれ、この試合の見どころは「膠着」だね（笑）。どの道、グラウンドで膠着するのは間違いないと思うから、膠着している時の駆け引きとか、細かい攻防を楽しむつもりでいた方がいいと思うよ（笑）。でも、それじゃ国立競技場でつらいから、吉田さんの投げに期待したいね（笑）。

試合前に読んでも試合後に読んでも面白い
8.26『Dynamite!』ド直前（とゆーか当日）

マット界の論客による大予想!!

灼熱のガチンコ大戦争
爆進 K-DASH!

これはノゲイラへの制裁マッチか!?
柔術超獣狩りに暗黒肉弾大魔人が送り込まれた!

アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ vs ボブ・サップ

1R10分2・3R5分

8・8『LEGEND』で菊田を失神KOに下したばかりのノゲイラが、わずか20日足らずのインターバルで8・28国立に登場。何か陰謀の匂いすらするこの一戦。ノゲイラは巨大な刺客をはね除けることができるか!?

編集部予想

予想者	勝者	決まり手
山口日昇	サップ	1R　レフェリーストップ
松澤チョロ	サップ	1R　KO（セントーン）
堀江ガンツ	ノゲイラ	1R　KO（パンチ）
ジャン斉藤	ノゲイラ	2R　KO（マウントパンチ）
ささきぃ	ノゲイラ	1R　三角絞め
吉田豪		雨天中止

ボブ・サップ台風を
日本で初めて体感した男

山本憲尚

ノゲイラがサップを三角絞めで極めたら、俺が「ダイナマイト賞」を出すよ（笑）

ホント、これはパワーvs技術で凄く面白いよね。でも、大山総裁も言ってたじゃないですか？　力は……力は技術なり……だったかな？　なんかそういう言葉があったよね？　だからパワーも技術の内なんだよ。ボブ・サップもなんかテクニック身につけてきてるみたいだし、一概には言い切れないけど。

でも、どうなんでしょうね？　ボブ・サップって、アイツビビリ症だからねぇ。アイツ試合前に俺と向かい合った時、凄い足震えてたんだよね。「コイツ、ビビってる！」って思ってね。それにアイツ、スタミナないでしょ。スタミナないのに性感マッサージ行って抜いてるらしいやん（笑）。抜くとスタミナがなくなるからね。5分過ぎたら彼は未知の世界だからね。

その点ノゲイラはやっぱりスタミナあるけど、ノゲイラもチャンピオンになってチヤホヤされるようになって、最近セックスのし過ぎで腰悪くなってんじゃない？（笑）。お互い程々にしないと（笑）。

まぁ、でもサップは、あの肩とか腕といい、三角絞め掛かるのかなあって思うもんね。だから多分ノゲイラが勝つんだったら腕十字かなって思うけどね。十字っていうのはパワー必要ないからね。あれだけ腕太くても取れるからね。でも、あの身体だと三角絞め極まるのかなぁって興味あるよね。あの身体じゃ全部掛かんない気がするよね。オモプラッタとか出来ないと思うしね。だからノゲイラの得意パターンっていうのは1つや2つ仕掛けてから最後に三角っていう必勝パターンでしょ？　それが極まるかどうかだよね。

あの体型に三角極めたら凄いよね。三角で極めたらオレが賞金だそうか？　俺がダイナマイト賞出すよ（笑）。だからノゲイラが、いかに自分のスタイルを崩さないかってことだね。自分のスタイルが通用しなくて違う方に持っていくのか。自分の信念貫いて極めるのか。俺は貫いて貰いたいけどね。

まぁ、ノゲイラもあれだけ重い相手と闘うのは初めてだろうから、5分以内に決着がついたらサップ、5分を過ぎたらノゲイラが勝つと思うよ。

活字プロレスの第一人者
言うちゃ悪いけどファイト直言

井上義啓

ノゲイラほどの男ならサップなんてのは秒殺か失神ですよ!

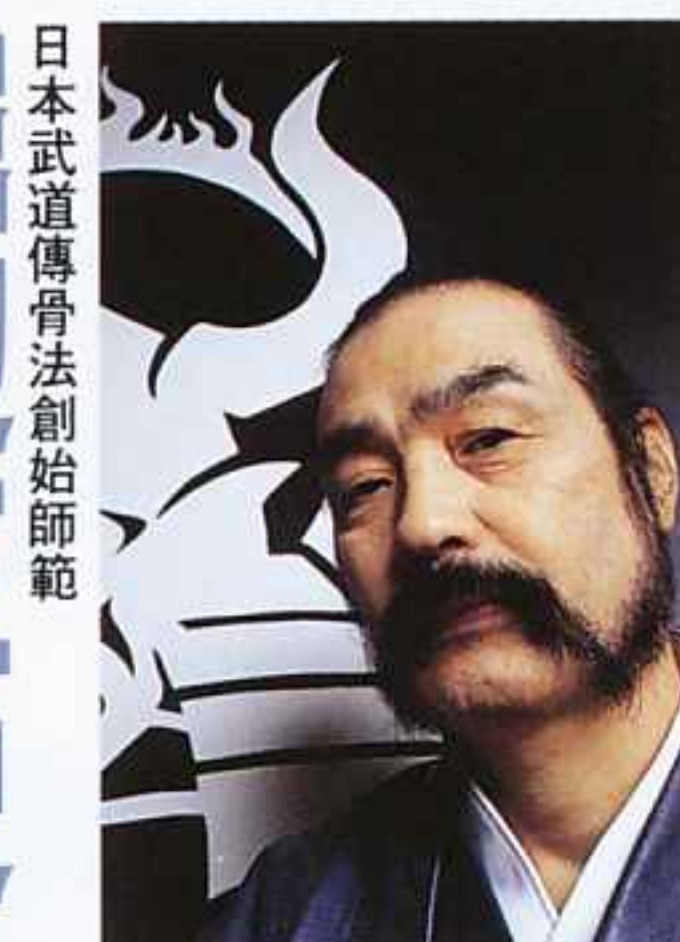
まぁ、これはボブ・サップは勝てないでしょう。いくらあんなパンチ振り回したところでね、ハッキリ言ってノゲイラぐらいの男になったら食いませんよ。言うちゃ悪いけど。ノゲイラというのはそこら辺の男と違うからね！　あの反射神経！　そういった者にね、ボブ・サップなんてのが向かって行ったところでまず勝てない！　ハッキリ言って「秒殺」というシーンを予想しとらんといかんでしょうな。

ノゲイラぐらいの男になると、サップの弱点というのをもうマスターしとるはずですよ。それに比べてボブ・サップっていうのは、アンタ粗すぎるわ。緻密なところがないからね。どんな力があろうが。そりゃあのパンチが当たればいいけどね。当たると思わんからね。あんなもん、田村じゃないんだから！　ノゲイラをあれと同じに考えとったらダメですよ。

田村なんかもあれを食ったというのは、何かダメなんだな。俺はもう少しああいったものをかわせるだけの技術と根性を持ってる男だと思ってたからね。それがシウバに続いて2回目だろ？　次に出てくるときは打撃をマスターして出て来るんだろうけど、まぁ、あんなもんかなと。

ところがノゲイラっていうのは、相手を倒す打撃というのを持ってますよ昔から。あれは最近になって打撃の練習したのと違うからね。そういったものを持ってる上に、コールマンを下から締め上げたあの技なんて神業ですよアレ！　あれを名勝負だと言わんヤツは俺は「バカだ」と言っとるんですよ！　あれを名勝負と言わずに、何を名勝負というか！（ドンッ）

簡単に決まった試合というのは凡戦じゃないのよ。たった一秒でもね、そこに凄い技というものがあったら、それが名勝負なんですよ。しかも、極めた相手であるあのコールマンというのも、伊達や酔狂のコールマンじゃないからね！　あの男をあそこまで見事に持っていったというのは、もうアレは神業ですよ！　ハッキリ言って。だからそういった技術をもっているノゲイラがまずやられることはない！　とにかく秒殺か、失神だろうな（キッパリ）。

日本武道傳骨法創始師範

堀辺正史

ズバリ予想するなら、サップが落ちます！

これは間違いなくノゲイラです！

ボブ・サップというのはこれまで凄い怪力を発揮してましたけど、ちょっと今回の試合では無理なんじゃないかなと思います。恐らく突進していってコーナーに追い詰めても、ノゲイラは側面回ったり、なんらかの形でグラウンドに誘えると思えるんですね。それでグラウンドいったら絶対勝ちます。それも長くないと思うんですよ。三角絞めとかチョークスリーパーとか。関節技よりむしろ絞め技で勝つような気がするんですよね。

あと、ボブ・サップをテイクダウンすることが難しいと思われてるみたいですけど、ノゲイラだったら、サップが突進して来るとき、その力を利用して自分から倒れるような形で引き込むことに成功すると思うんですよ。そして、グラウンドに誘い込めさえすれば、ノゲイラの技術をもってすれば、いくら180キロの怪物とは言え、簡単にスイープして上を取れると思いますよ。

そのくらい、体格差以上に技術力の差が歴然としてあると思うんですよね。ノゲイラの技術をもってさえすれば、サップの力に対して十分勝ち得るんじゃないかという予想です。だからボブ・サップにしたら、今回初めて自分の力を技で凌がれるという体験をするんじゃないですか。

というわけで、ズバリ予想すると首を絞められてタップするか、落ちるかですね。しかも10分持つことはないと思うので、1ラウンドで一本勝ちを予想します！

ぼやき格闘評論の第一人者

金原　弘

ノゲイラは三角とれる。あの足の長さが羨ましいよ

これは『PRIDE』ルールでしょ？　それだったら7－3でノゲイラじゃない？

だってボブ・サップって山本（憲尚）さんとの試合を見た感じでは、後半ちょっとバテてたから、もうちょっと山本さんが耐えてれば、勝てる可能性持ってたよ。ノゲイラは最近、打撃もいいし、寝技に持ち込めば、下から一本取れると思うよ。

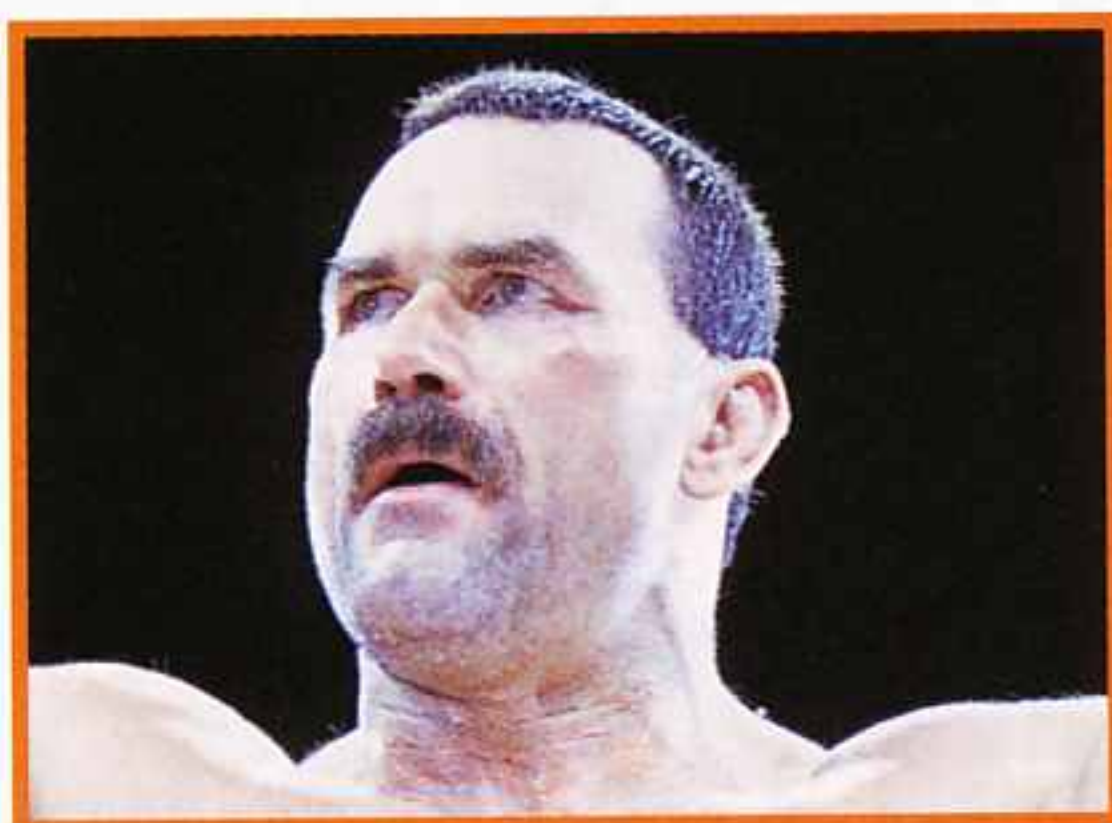
サップをテイクダウンするのも難しいと思うけど、引き込めなくても抱きつけば嫌がるだろうし、ボディスラムみたいに背中から叩きつけられても、一瞬、「ウッ！」ってくるかもしれないけど、それくらいの衝撃なら耐えられるでしょ。それでいったんガードを取れば、ノゲイラは手足が長いから三角絞めとかチョークが取れるんじゃないかな。ノゲイラの足の長さだったら、胴まわるでしょ？　俺なんか届かないけどね（笑）。和田（良覚）さんに三角絞めやろうとしても足が届かないんだもん（笑）。だからいつも練習中に「ああ、足が長かったら極まってるのにな」って思うシーンが多々あるんだよね（笑）。俺にもノゲイラの足の長さがあったらね……ホント、うらやましいよ！（笑）。

だから俺の予想は7－3でノゲイラだね。サップの一発の怖さはあるけど、やっぱりノゲイラに勝って欲しいよ。デカくて筋肉のあるヤツが一番だったら夢がないもんね。そしたら調子に乗って、ミドル級で和田サップとか出てくるかもしれないからさ（笑）。

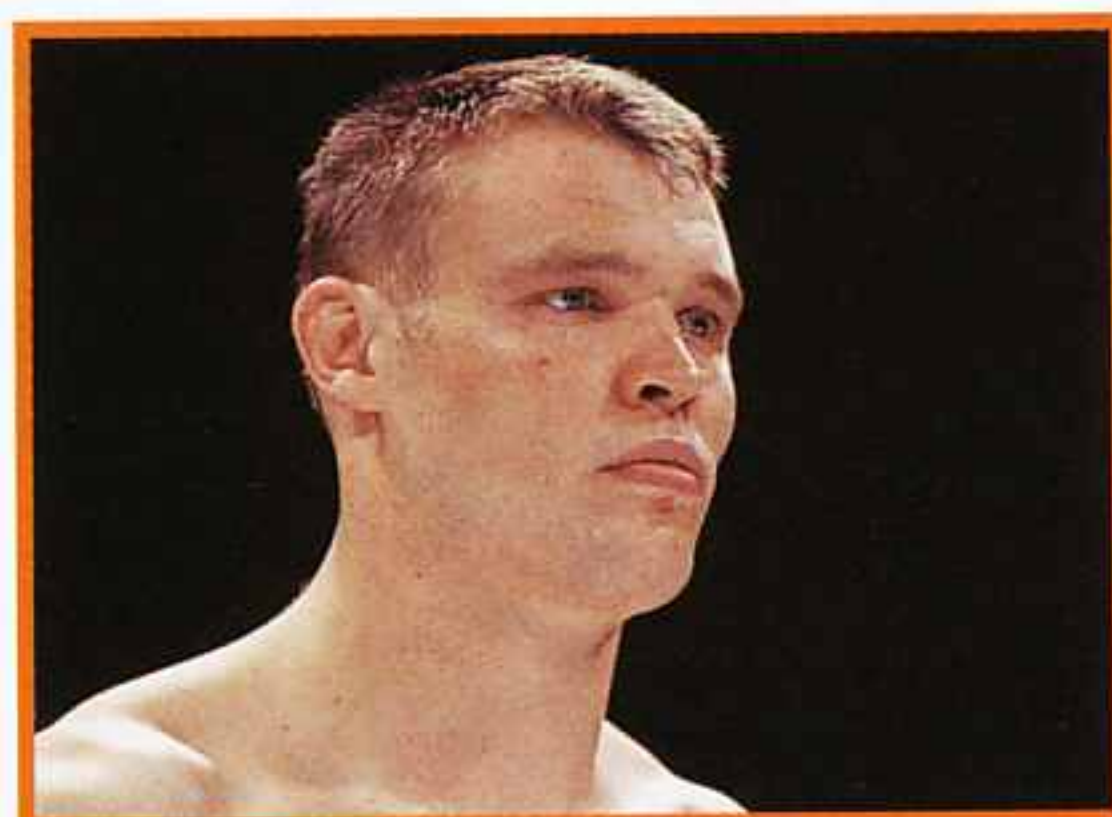
締め切りギリギリ20日まで待ったがここまでだ!

ダイナマイト級カードはまだ続く!!

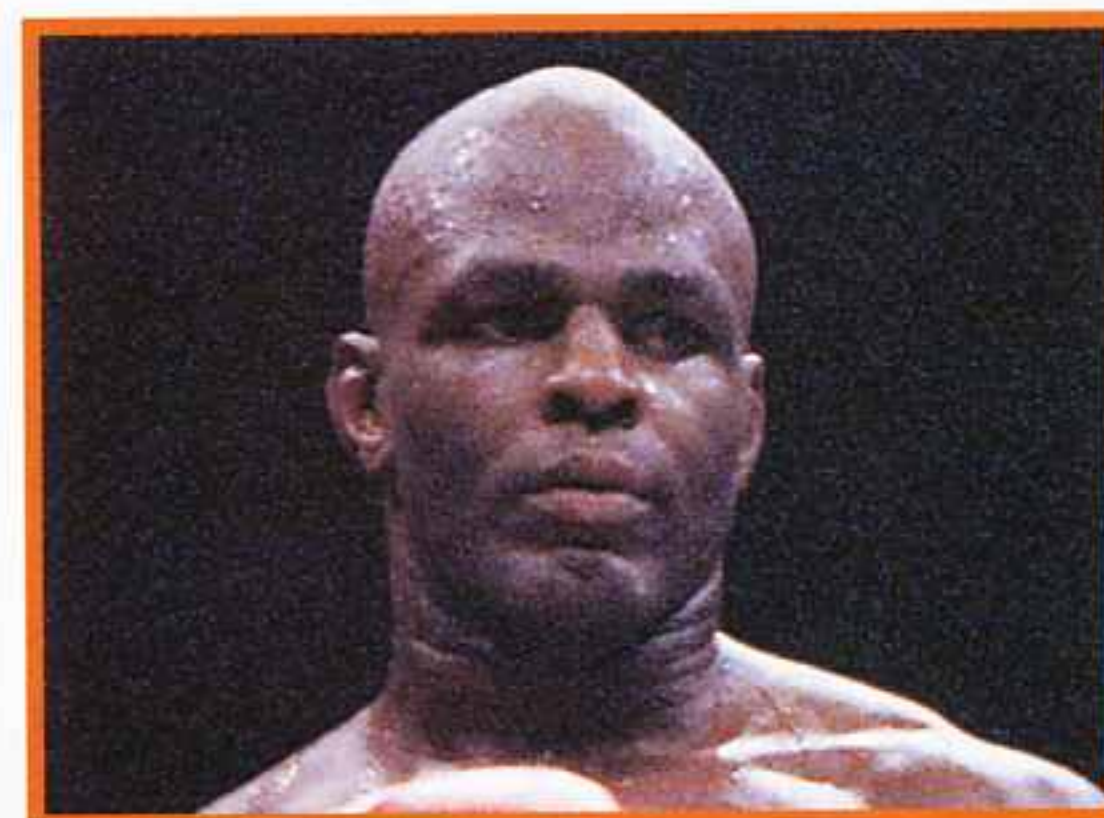
8.28『Dynamite!』

追加カード情報

あの壮絶なる高山善廣戦から2ヶ月……
今度はK-1ルールで世界一のドツキ合い!

ドン・フライ vs マーク・ハント

これぞ世界一のドツキ合いだ! 6・23『PRIDE.21』での高山戦で、「これぞ男と男の闘い!」と絶賛されたドン・フライと、K-1フランス大会でジェロム・レ・バンナとK-1史上に残る大乱打戦を演じたマーク・ハントがなんとK-1ルールで激突! 国立競技場10万人の度肝を抜く闘いとなるか!

Mr.パーフェクトが遂に他流試合に登場!
巨大格闘ロボは精密機械を破壊できるか!?

セーム・シュルト vs アーネスト・ホースト

純K-1の象徴、K-1が始まって以来トップを張り続けたリビング・レジェンドが、いよいよ他流試合に打って出る! “ミスター・パーフェクト”アーネスト・ホーストが、K-1ルールながら、セーム・シュルトと対戦することが決定! はたして、ホーストの技術はシュルトをもマットに沈めるのか!?

腹を空かせたブラジルの悪魔、今度の獲物は
大物日本人か、それともK-1戦士か!?

国内外大物選手 vs ヴァンダレイ・シウバ

?

桜庭、大山、アレク、田村と日本人大物格闘家を次々と破り、3分5Rという比較的不利なルールで対戦したミルコ戦もドローで切り抜け、向かうところ敵なしのPRIDEミドル級王者、シウバの参戦も決定! 現時点で対戦相手は決まっていないが、大物日本人選手かK-1戦士との対戦が濃厚。誰がシウバを止めるのか!?

史上最大の格闘技ワールドカップ

『Dynamite! ~SUMMER NIGHT FEVER IN国立~』

8月28日(水)国立霞ヶ関競技場

◆開場/15:30　試合開始/18:30
◆雨天順延日/8月29日(木)・30日(金)
◆入場料/RRS席……30,000円　スタンドS席……15,000円　スタンドA席……12,000円
　スタンドB席……6,000円　桜庭和志応援シート……15,000円(応援グッズ付)
◆会場アクセス/JR総武線千駄ヶ谷駅より徒歩5分
　都営地下鉄大江戸線国立競技場駅より徒歩1分
◆お問い合わせ/ドリームステージエンターテインメント　TEL.03-5775-5700

ベルちゃんを
葬った
グッドリッジも出場!
バンナの刺客と
激突!!

K-1ラスベガス大会で、M・ベルナルドをKOで下したゲーリーの出場も決定! 相手はバンナの刺客! これに勝ってバンナを引っ張りだせるか!?

9.29『PRIDE.22』名古屋　超先取り情報ーッ!!

ブラジルvsロシア

Brazil vs Russia

“トップチーム”の威信を賭けて遂に開戦!! そして日本逆襲の狼煙が上がった!!

灼熱の格闘技大戦争の狼煙に隠れてしまっていたが、9・29『PRIDE.22』名古屋大会の全貌が見え始めた。DSE・森下社長のお膝元だけに、早々とゼイタクなカードが飛び出した。まずは、リングス・ファン垂涎のあの男の参戦が決定した！

「ノゲイラは俺の寝技から逃げた」「日本にも寝技世界一を名乗ってるやつがいるらしいな？　キクタ？　いつでもやってやる」と豪語するロシアン・トップチーム（RTT）の番頭アンドレィ・コピィロフだ。

しかも対戦相手は、8・8『LEGEND』で坂田亘を破ったブラジリアン・トップチーム（BTT）の総帥、マリオ・スペーヒー！　BTTは、RTTという名を冠した元リングス・ロシア勢に対し「デリカシーに欠ける」と絶賛ご立腹中で、これは、〝トップチーム〟の名を賭けた「寝技世界一決定戦」となる。しかも「ロシアンサンボvsブラジリアン柔術」のメンツを賭けた純PRIDEのなかでの凄絶な他流試合。なんともファン心をくすぐる寝業師対決が実現したものだ。

RTTのエース・ヒョードルは11月のコマンドサンボ世界大会出場準備のため、今回は参戦はなし。その代わりに極真カラテ出身のコーチキン・ユーリーが参戦表明をしているという。

さらに6・23にヘンゾを判定ながら破った大山峻護が、今度は〝グレイシー〟のリベンジを受けて立つ。相手は喧嘩屋のハイアン！　大山の真価が問われる試合となるだろう。

また大山以外にも、今大会には、弱体化していると言われる日本勢が大挙して逆襲の狼煙を上げる。問題の菊田戦以降シアトルで特訓を積んできたアレクサンダー大塚、久しぶりの参戦となる小路晃、4月にいまをときめくボブ・サップに真っ向勝負を挑んだ山本憲尚らが、それぞれのテーマを引っさげて、さらなる躍進or復活を狙っている。

そしてさらに、昨年11月にヘンゾと凡戦を演じ、新日本プロレスを退団をしてまで『PRIDE』へのリベンジに賭ける小原道由も参戦してくる。吉田秀彦、TKとも練習に励んでいる小原の「男のケジメ」には刮目だ！

また意外なところでは、喧嘩屋タンク・アボットも『PRIDE』出陣に名乗りを挙げているという。まさか、元・新日の小原と元WCWのアボットがバーリ・トゥードで雌雄を決するなんていう試合が実現してしまうのか!?

『Dynamite!』が終わった後、続々と意外なものが飛び出すであろう『PRIDE.22』の情勢に注目だ。ん〜、プライドッ！

真寝技世界一決定戦
コピィロフvsスペーヒー決定!!

大山、ヘンゾの弟とケジメマッチ
ハイアンvs大山決定!!

PRIDE.22

9月29日（日）開場：14:00　開始：16:00（予定）
名古屋市総合体育館レインボーホール

［入場料／全席指定・消費税］
VIP（ビップ）……100,000円（特典予定：専用入場ゲート、グッズ付）
RRS（ロイヤルリングサイド）……25,000円　スタンドS……15,000円　スタンドA……7,000円

［一般発売］　9月1日

［全てに関するお問い合わせ］　DSE　03-5775-5700

“ノーフィアー”と“無謀”が運命の遭遇

高山善廣 × 美濃輪育久

NO FEAR × RECK LESS

激談!プロレスバカ一代

灼熱のガチンコ大戦争
爆進 K-DASH!

聞き手／堀江ガンツ
撮影／森“モーリー”鷹博
designed by hisa (Two Three)

純プロレス、プロ格、バーリ・トゥード、……マット界が急速に細分化される中、そんな括りにまったくこだわらないリアル・プロレスラー二人が運命の遭遇! あの熱きプロレス黄金時代復興のため、身体を張ってばく進し続けるこの男たちに乗れ!

——いや〜、このような素晴らしい対談が『紙プロ』で実現できるとは、夢にも思いませんでした（笑）。

高山　美濃輪君との対談だっていうから、今日は『ゴン格』だとばっかり思ってたよ（笑）。『紙プロ』はパンクラス出入り禁止じゃないの?

——こっそり入れていただいております（笑）。

高山　そうなんだ。じゃあ、今日は失礼のないように（笑）。

——はい（笑）。お二人は以前から接点はあったんですか?

高山　接点は不思議とチョコチョコあったんですよ。連絡取り合うとか、そういう仲ではないんだけど。俺が飲みに行ったらそこで美濃輪君がナンパしてたりとか（笑）。

美濃輪　い、いや、そんなことはないんですけど（汗）。

高山　もうお姉ちゃん抱っこしちゃって（笑）。

美濃輪　話がデカくなってます!

——そういうお店なんですか?（笑）。

高山　そうじゃなくて、クラブに行ったんだよね。

美濃輪　後輩の石井（大輔）と一緒に行って。で、たまたま高山さんと初めて会って。99年の8月ですね。

高山　そんな細かいこと覚えてんの!

——ダハハハ!　その後は会場とかで会うくらいですか?

高山　会場でも会うし、あと豊永稔の携帯で話したりとか。

——なんで豊永さんの携帯なんですか⁉（笑）。

高山　サクとか豊永と飲んでると、豊永が「美濃輪君に電話しましょう」とか言

うんですよ。こっちも酔っぱらってテンション高いから「よし、かけろ」って。3時か4時ぐらいだから寝てるに決まってんのに「寝てた?」とか言って（笑）。
美濃輪　それ3回ぐらいありましたね（苦笑）。
高山　豊永は酔っ払ってかける癖があるんだよね。
美濃輪　いや、でも……いろいろ……。
高山　迷惑?
美濃輪　…………（苦笑）。
——ダハハハ！　そういう飲みの場に一緒に行ったりとかは、なかったんですか?
高山　それはないですね。たまたま会ったときに、お姉ちゃん抱っこしてただけで（笑）。
——で、元々高山選手は美濃輪選手のファンだって聞いたんですけど?
高山　そうそう。これは冗談じゃなくて。最初に彼のことを認識したのは、パンクラスで豊永と試合したときで。あれ『ネオ・ブラッド』で優勝したんだよね?
美濃輪　はい。
高山　それで「美濃輪って選手がいるんだ」って思って。それからちょっとして、ウチが奮発してケーブルテレビを入れたんですよ。それでパンクラスの中継見たら、変な試合してるんですよ、この人が（笑）。
——ダハハハ！　変な試合（笑）。
高山　そう、パンクラスらしからぬ（笑）。「大丈夫なのか、これ?」って。勝ったら散々騒いだあとブッ倒れたり（笑）。それが凄くいいなと思って。
——美濃輪選手は高山選手の試合はご覧になってるんですか?
美濃輪　僕はファンだった頃から、UWFインターとか、ビデオずっと見てましたね。あと7年前ぐらいなんですけど、上野で高山さんを見たことあるんですよ。
——またヤバい場所ですか?（笑）。
美濃輪　いや、そのときに僕パンクロックにハマってて、革ジャンを買いに行こうってことで、上野の中田商店の近くで。
高山　ああ、上野は昔よく行ったんですよ。革ジャンとか、米軍の放出品とかが凄い好きで。いまは体がデカくなりすぎて、行っても買えなくなったから行かなくなったけど。
——米軍より大きくなっちゃった（笑）。
高山　そうそう（笑）。細い頃は、アメ横行って中田商店の店員とか呼びつけて、「これじゃ高い。お兄ちゃんじゃ話になんないから、社長呼んでくれる?」とか言う嫌な客だったんだけど（笑）。
——そういうときに目撃されてたんですね（笑）。これまで練習での交流は全然ないんですか?

廣〉美濃輪育久

高山　練習では全然ないですね。僕、練習で交流ある人は少ないですから。エンセン（井上）とも六本木の交流だし（笑）。
一同　ダハハハ！
高山　これだけ仲良くて一緒に練習したことないっていうのも珍しいですよね。それが僕の一つのステータスって感じで（笑）。
——どんなステータスですか（笑）。Uインターの六本木伝説っていろいろありますけど、パンクラスはどうですか?
美濃輪　六本木は行かないですねぇ。
——最近はクラブとか行く人が増えてたりするんですか?
美濃輪　たまに行きますけど、そんなしょっちゅうは行かないですね。さっき言った高山さんと会ったときに、ボク初めてクラブに行ったんですよ。
高山　あ、ホントに?　初めて行ってお姉ちゃん抱き上げてたんだ（笑）。
一同　ダハハハ！

中学の渡り廊下にある柱で頭突きとラリアットの練習をしてましたね

高山　遠くから見たら、お姉ちゃんが宙に浮いてるから、なにかと思ったら抱き上げてて（笑）。
美濃輪　いや、抱き上げてはないですね。
高山　あ、そう?　よじ登られたの?（笑）。
美濃輪　……いや、僕もクラブ初めてだったんで、よくわからなかったんですよ。おどおどしてましたね。
高山　じゃ、しょうがないね（笑）。石井（大輔）君なんかは慣れてるよね。
美濃輪　そうですね、クラブ行くのも彼から教わったんで。彼は地元が代々木で、昔からよく遊びに行ってるとこだったみたいで。僕は田舎から出てきて、そういうのも全然知らなかったんで「なんだ、ここは!」みたいな感じでしたね。
高山　石井君は格闘界の東幹久みたいなもんだからね。
——ダハハハ！　そうなんですか?
高山　石井君は、ああいうクラブのイベントとかやってる人と仲いいんだよね。それでモデルの姉ちゃんとかと遊んでたり。
美濃輪　いや、知らないです。
高山　あ、知らないんだ。なんで俺が知ってるんだ?
——ダハハハ！　美濃輪さん、お酒はそんなに飲まれないんですか?
美濃輪　僕はお酒はあんまり体に合わないんですよね。でも忘年会とかは飲まされるって感じで。怖いですね。
高山　暴れる?
美濃輪　僕は暴れないですけど、周りが暴

灼熱のガチンコ大戦争
爆進 K-DASH!!

れるんで。あと、道場内でやるんで、逃げれないんですよね。

高山　あ、外でやらないの？

美濃輪　外でやったこともあるんですけど、最近は道場内なんで、リングもあるんで。

——思う存分暴れられる、と（笑）。Uインター、リングスも忘年会は凄い伝説ありますけど、やっぱりパンクラスも相当あるんですか？

高山　だから道場でやるんじゃないの？ヤバいから（笑）。

——人様にご迷惑をかけないように（笑）。

高山　しかもパンクラスって、クリーンなイメージがあるじゃないですか、ルールに則ってやるっていう。それなのに酒飲んでルール無視しまくったらヤバいもんね（笑）。僕がちょっと暴れても「高山じゃしょうがねぇな」って思われるけど（笑）。

——パンクラスで飲ませる人っていうのは、やっぱりSさんとかになるんですか？

美濃輪　そうですね。でも、乗ったら誰が飲ますかわかんないですね。

高山　Sさんなんか、昔の話聞いたらそういうの大好きっぽいもんね。

美濃輪　去年の忘年会なんて、ウォッカを瓶ごとガーッて口に突っ込まれて。

一同　ダハハハハ！

美濃輪　で、避けるじゃないですか。避けたら今度は頭にかけられて。凄い目が痛いんですよ。あれはよくないと思いましたね。

——よくないですか（笑）。でも、ウォッカっていうところが、ウォッカ好きのゴッチさんの意志を継いでる感じでいいですね（笑）。食事の方は制限とかしてるんですか？

美濃輪　いや、いまはなんでも食べるようにしてますね。

高山　どう見ても制限してるように見えないじゃん。ドンブリ飯食べながら取材受けてるんだから（笑）。

——そりゃそうですね（笑）。

美濃輪　いまは自分なりの食事プランで、とりあえずなんでも食べるっていうことと、バランスよく食べるっていうことだけやってますね。昔は鶏肉の皮を剥いでとか、卵の黄身は食べないとかしてたんですけど、自分はもっと体を大きくしたいっていうのがあったんで、とりあえず昔のプロレススタイルで食った方がいいなって。その代わりバランスよく食べて、なんでも……たとえば飲みすぎとか、食べすぎとか、“すぎ”にならなければ大丈夫かなって。

高山　そうそう、「スギ」みたくならないようにね（笑）。

——その「スギ」じゃないですよ（笑）。

◆

高山善廣×美

高山　元々、なんでプロレスラーになりたいと思ったの？

美濃輪　新日本プロレスをテレビで見てですね。

高山　いつ頃の新日を見てたの？

美濃輪　ビッグバン・ベイダーが新日本に来たぐらいから見始めて、ちょうど藤波さんと猪木さんが横浜文体でドローになった試合でハマりましたね。

高山　8・8。猪木さんが泣いたヤツね。それが小学校ぐらい？

美濃輪　小学校4年か5年で。初めてプロレスを見に行ったのが5年生のとき、岐阜の大垣城ホールでしたね。

高山　どういう試合だった？

美濃輪　僕が印象に残ってるのは、ヒロ斉藤さんと誰かが組んでベイダーと2vs1のハンディキャップマッチをやったんですよ。そのときベイダーが会場を荒らしまくって、僕は逃げたんですけど転びましたね。ホントに怖かったです。

高山　怖いよね。俺なんかも子供の頃テレビで見て凄い怖かったから、ブッチャーいまだに怖いもん。夢に出てきて。追われる夢見たもん。

——泣く子も黙る高山善廣が、ブッチャーに追われる悪夢にうなされましたか（笑）。

高山　だから安生さんが東京プロレスでブッチャーとやったとき、セコンドつかなきゃいけなかったんだけど、「ブッチャーだ、怖いな」と思って、避けてたからね（笑）。

——高山さんはいつ頃からプロレスを見ていたんですか？

高山　たしか小学校3年ぐらいからだと思うんですよ。でも、その頃は全日本プロレスばっか見てたの。

——へ〜、それは意外ですね。

高山　全日本は単純にブッチャーとか、ファンクスとか、マスカラスとかキャラクターが凄かったじゃないですか。だから怪人とか怪獣の延長なんですよね。反対に新日本はタイガー・ジェット・シンが全盛だったと思うんですけど、子供の目から見ると地味だったんですよ。その違いでしょうね。

——なるほど。確かにシンが持っていた“暗さ”って大人向けでしたよね。美濃輪選手は誰のファンだったんですか？

美濃輪　僕は猪木さんでしたね。

**あ、それ俺もやった！
さすがに頭突きの練習は
しなかったけどね（笑）**

――当時でもやっぱりそうでした？

美濃輪　そうですね……なんでかわかんないですけど。

――なんでかわかんない（笑）。

美濃輪　いまはあんまりそういうの考えてないですけど、当時は結構ポスターとかビデオいろいろ持ってましたね。

高山　あ、子供の頃にビデオあるんだ！　羨ましいなぁ。

美濃輪　中学生ぐらいのときにビデオデッキを家で買ったんですけど、その頃プロレスのビデオって、ビデオ屋さんにチョロッとしか並んでなくて。岐阜から名古屋のプロレスビデオショップまで、まとめて10本ぐらい借りに行って、また1週間後に名古屋まで返しに行ったと同時にまた借りて。それを繰り返してましたね。

高山　いい客だねぇ。こういうのをカモって言うんだよ（笑）。凄いお金使ったじゃん、それ。

美濃輪　使いましたねぇ。でも、そのときにちょうどパンクラスのビデオを初めて見て「なんだこれは！」と思ったんですよ。それまでは新日本プロレス、全日本プロレスぐらいしか知らなかったんで。

――その辺からパンクラス指向に頭が切り替わったんですか？

美濃輪　はい。（U系の中で）パンクラスを見たのが最初だったんですよ。その後、UWFインター、藤原組、リングスとかを後から知って、遡って全部見ていって。そしたら段々あり得ないカードが出てきて、凄い衝撃を受けましたね。

――ああ、前田さんと船木さんが闘ってたりしますからね（笑）。

高山　俺らの世代で言う「馬場さんと猪木さんがタッグ組んでたんだ！」みたいな（笑）。美濃輪君の世代だとUWFがそうなんだね。

――その頃からプロレスラー目指してたんですか？

美濃輪　徐々に目指して、中学3年生のときに決心しましたね。で、進路を決定する三者面談で「プロレスラーになる」って。

高山　それで「バカタレ」とか言われて（笑）。

美濃輪　はい（笑）。その先生も日体大のレスリング部で、結構レスラーになってる人見てるんで、「そんな甘いもんじゃないぞ！」って言われて、とりあえず高校行こうかなって。

高山　中学のときはスポーツなにやってたの？

美濃輪　サッカーですね。『キャプテン翼』読んで。

高山　やっぱり漫画なんだね（笑）。

――高山さんは漫画とかで影響受けたりしなかったんですか？

高山　僕は『1・2の三四郎』しかないじゃないですか。

――やっぱり（笑）。

高山　ちょうど僕が中3ぐらいのときの漫画で、最初はラグビーだったんですよ。ラグビー、柔道、それでプロレスになって。

誠ジム時代は、ダイビングヘッドバットを出したりしていましたね（美濃輪）

高山善廣×美濃輪育久

で、高校入って、当時からいつかプロレスラーになりたいとか思ってたから、柔道とラグビーどっちを取るかってマジで悩んで（笑）。でも、東海大相模だったから、柔道メチャクチャ強いじゃないですか。それで、ラグビーは中学のときやってる人が少ないから、そっちにしようと思って（笑）。

――同一線上からスタートできる方を選んだと。

高山　まぁ、そうですね。だってウチの高校、1年生なのに百何十キロとかいうヤツが来るんだもん、ビビッたよ。伴宙太とか、左門豊作とか、そういう感じのヤツが全国から柔道やりに来るんだよ。そんなヤツらと一緒にできないっつうの（笑）。

――美濃輪さんは高校では何をやっていたんですか？

美濃輪　僕は柔道ですね。でも、全然強くなかったですね。地区大会の1回戦とか2回戦負けで。

――美濃輪さんにもそんな時代があったんですか！

高山　真面目にやってなかったんじゃない？

美濃輪　やってなかったですね。

――ダハハハ！

高山　柔道は体作るためだけで、先のプロレスしか考えてないわけでしょ？

美濃輪　はい（笑）。投げ込み用のマットがあるんですけど、あれも全部ジャーマンとかそういう練習に使ったり、それを立てて蹴りやったりしてましたね。

高山　そりゃ柔道じゃ勝てないよ（笑）。でも、それがあるからいまの美濃輪選手があるんだよね。無駄なことじゃなかったよ（笑）。

――高山さんも似たような感じだったんじゃないですか？

高山　似たようなもんですね。僕もラグビーは、体力つけて、ぶつかりとかに強くなりたいとか、そういう意味でやってたから。同級生はみんな『ラグビーマガジン』とか買ってんだけど、僕だけ『ゴング』とか読んでたしね（笑）。で、タックルするサンドバッグみたいなヤツで、やっぱりジャーマンの練習とかして（笑）。やってることは同じだよ。

美濃輪　でも、当時練習してた技って結構使えますよ。昔やってたことを思い出して、ホントに出してやろうかなって思いますよね。

――美濃輪さんは、『プロレス・スーパースター列伝』の影響で、ラリアットの練習をもの凄いしたらしいですね。

美濃輪　しましたね。中学の渡り廊下に柱があるんですよ。それを渡るたびにボーン、ボーンッて。

高山　あ、それ俺もやった！

――ダハハハ！　高山さんまでやってましたか！（笑）。

高山　ハンセンになりきってね（笑）。

美濃輪　あと頭突きですね。ダイビングヘッドバットが好きで、その柱が来るたびにガーンッて入れてましたね。

高山　それはやってない（笑）。

美濃輪　あと、友だちに「腕殴ってくれ」って何回も殴らせたり。で、ちょっとひどくなったら、氷で冷やすのが、「やった」っていう感じがして。

高山　「これが血となり肉となるんだな」って思ってたんだ（笑）。

美濃輪　はい。

高山　バカなことを（笑）。でも、そういう子がいると嬉しいですよね、プロレスラーとしてはね。

美濃輪　ホントだと思いましたもん。

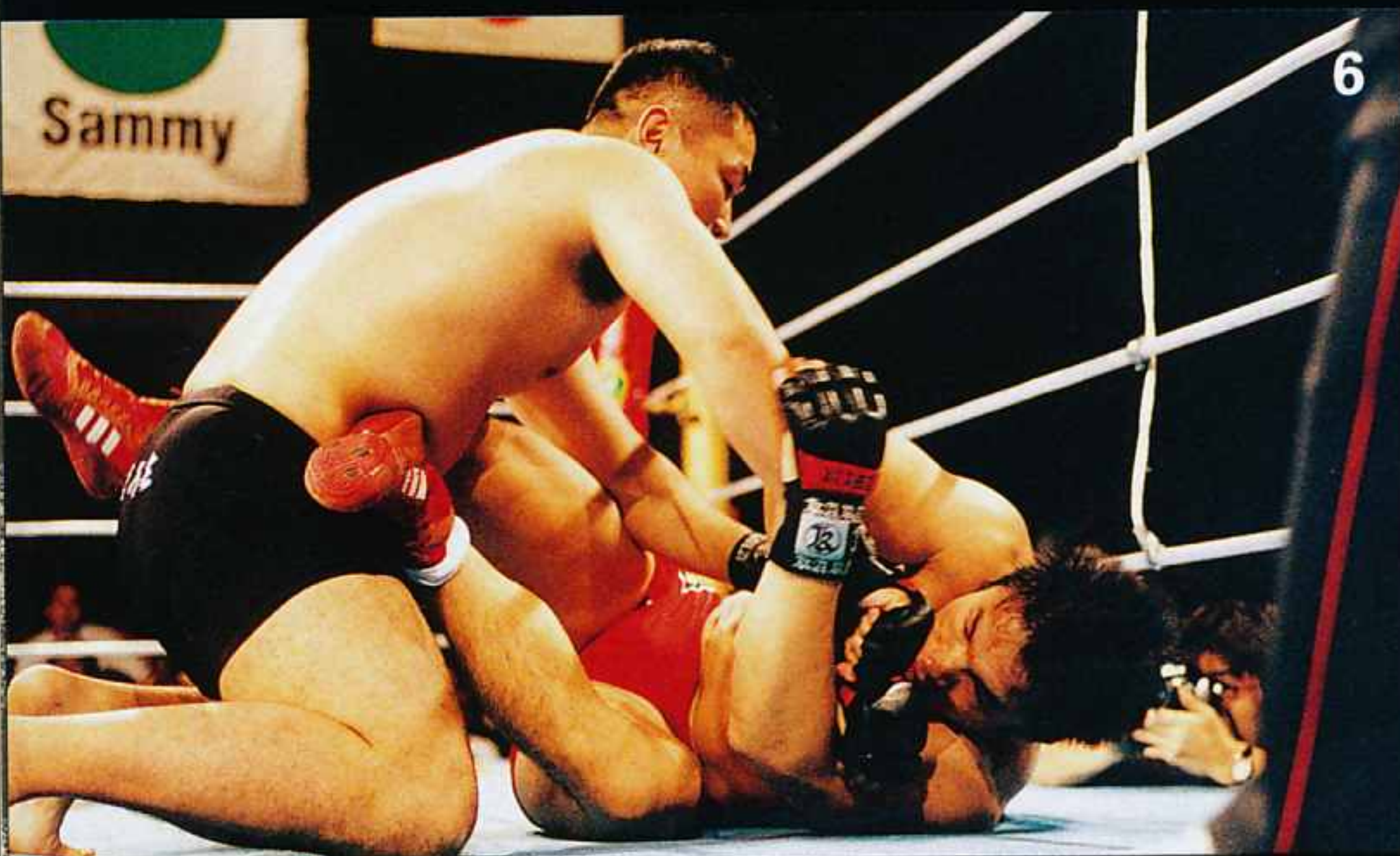
紙プロ初登場記念!

無謀

MINOWA's BOUT 1997-2002

①97年７月誠ジム所属選手としてパンクラス『ネオブラッドトーナメント』に初出場。準決勝で故・長谷川悟史に敗れたものの、闘いぶりが高く評価され同年パンクラスに入門。②99年『第５回ネオブラッド』を全試合一本勝ちで完全優勝。決勝では豊永稔と対戦している。③99年９月18日、実に40cm近い身長差をモノともせずシュルトと対戦。判定で敗れるも、後日シュルトに「パンクラスで最も強かったのは美濃輪」と言わしめる大健闘。④2000年４月、ＵＦＣ－Ｊでオクタゴンデビュー。ジョー・スリックをハイキックからの劇的ＴＫＯ勝ちを奪い、金網によじ登っての歓喜の咆吼！⑤2001年１月第１回ＤＥＥＰでブラジル柔術界の重鎮ヒカルド・リボーリオと対戦。時間切れドローとなる殊勲。⑥劇的逆転勝利という美濃輪ワールドが爆発した禅道会の秋山戦。⑦菊田とのライトヘビー級タイトルマッチはパンクラス史上ベストバウトと絶賛された。

廣〉美濃輪育久

高山さんとD・フライの〝凄いプロレス〟を見せられて「クソッ」っと思いましたね

高山　いや、ホントのことだよ！

――でも、美濃輪さんの時代って、周りにプロレスファンが少ない時代じゃなかったですか？

美濃輪　あんまりいなかったですね。１人で授業中雑誌読んでたり。

高山　孤独な戦いだったんだ。

美濃輪　そうですねぇ。とりあえず、授業の５分休みに腕立てやったり、20分休みに教室の脇でスクワットしてたりすると、やっぱり「なにやっとんの?」って感じなんですけど。「プロレスラーの練習はこういうのがあるんだよ」とか言って。

高山　「遊びじゃないんだよ」って（笑）。

――スクワットやるっていうのがプロレスファンならではですよね。

高山　そこは基本だよね。でも授業の合間にはやらなかったなぁ、家帰ってからやったもんなぁ……。

美濃輪　ちょうど３年生のときだったんで、進路を決めなきゃいけなくって焦ってたんですよ。

高山　あ、それで間に合わせたんだ（笑）。

――休み時間に受験勉強の続きやるのと同じですよね（笑）。

美濃輪　はい。

――でも、パンクラスに入ったのは高校卒業してすぐじゃないんですよね？

美濃輪　そうですね。高校卒業しても、まだ体ができてなかったんで、スポーツインストラクターを養成する専門学校に入ったんですよ。就職したら練習もなかなかできないと思ったんで、とりあえず体を鍛える学校に行ってプロレスのトレーニングをしてましたね。

――その学校にはどのぐらいいたんですか？

美濃輪　２年間ですね。で、卒業してパンクラスの入門試験受けたんですけど落ちて。１年後にデビューできたんですけど、それまでは誠ジムに入って、誠ジムの仕事しながら練習してましたね。

高山　誠ジムって俺全然わかんないんだけど、どんなところなの？

美濃輪　パンクラスのリングを作ってるジムがあって、好きな人が集まって練習してるんですよ。それで、そのジム内で興行を打ったり。なんかのお祭りで路上にリング作って、そこで試合してみたり。

高山　それはパンクラスルールでやるの？

美濃輪　いろんなルールですね。パンクラスルールからバトルロイヤルまで。

――では、当時は美濃輪さんもプロレスルールでやってたわけですか？

美濃輪　それでもやりましたね。少しだけですけど。

――おぉ！　では、お祭りのリングとかに美濃輪育久が立ったりしてたりした、と。

美濃輪　はい。

――ルチャっぽい試合したり、デスマッチ風の試合したりとかは？

美濃輪　そこまではないですね、あんま飛べなかったんで。でもトップロープからダイビングヘッドバッドはやりましたね。

高山　柱で鍛えたダイビングヘッドバットを（笑）。

――そのビデオが残ってたらメチャメチャお宝ですね！

高山　誰かが持ってんじゃないの？

美濃輪　持ってますねぇ。でも、ダイビング・ヘッドバッドとか凄いヘタクソなんで、「もう捨ててくれ」って言ってるんですよ。

高山　やっぱりこだわりがあるんだ（笑）。

――今度鈴木みのる選手が新日本に出ますけど、美濃輪選手は新日本のリングとかで、プロレスの試合をするというのは、将来的にオファーがあったら興味あったりするんですか？

美濃輪　それはまだちょっとわかんないですね。いまは自分の次の試合のことで頭がいっぱいなんで。１試合、１試合、全部出し尽くして、１回終わったら、また次の試合のことを考えるって形なんで。

高山　次（９・７DEEP有明コロシアム）、田村さんだもんね。

美濃輪　そうですね。

――高山さんから見て、田村vs美濃輪戦というのはいかがですか？

高山　単純に面白そうですよね。僕は巡業中で行けないんだけど、凄い楽しみ。あと、僕が美濃輪君をテレビで最初に見て「面白いな」って思ったときに、「ちょっと田村さんっぽいな」とか思ったときがあったの。試合スタイルじゃなくって雰囲気が……体の形とか、タイツが赤だったりして、そういう意味でも凄い面白いですね。

――体つきとか一時期凄い似てましたよね。

美濃輪　それはいろんな方に言われました。

――スタイル的にもかみ合いそうですか？

高山　かみ合うかもしれないですね。でも、美濃輪君はかみ合う、かみ合わない関係ないから（笑）。

――確かに（笑）。美濃輪さんは以前から田村さんの存在というのは、意識の中にあったんですか？

美濃輪　そうですね。なんかわかんないですけど……試合見て、凄いなと思ってて。で、実際試合をするってことになって、自分の中でいろいろシミュレーションしてみたら、絶対いい試合になると思って。試合はやってみなきゃわからないものですけど、自分の中では絶対最高の試合にしようと思ってるんで。

――高山さんから見て、田村さんと美濃輪さんって人間的にも似てるようなところってあると思いますか？

美濃輪君は面白い試合をして なおかつ勝つから尊敬できる

高山善廣×美

灼熱のガチンコ大戦争

爆進 K-DASH!

高山　人間的にはちょっと違うような気がするけど（笑）。似てるとこっていうのは……2人とも凄い真面目でしょ。田村さんもそんなに仲よしじゃないから外から見たイメージだけど、試合に対して凄く真面目だと思うし、ストイックじゃない。そういう意味では似てるかもしれない。

――田村さんも試合前は相当自分を追い込んでくるタイプですよね

高山　ね、グウーッてね。なんか病気になっちゃうんじゃないかってぐらい（笑）。それでリングに上がって面白い試合をして、ちゃんと勝つっていう。そういうのを2人とも残してくれるからね。俺なんか結構褒められるけど、やっぱ負けてるから、面白い試合を提供して、なおかつ勝つことができるこの二人は凄く尊敬ですますね。

――美濃輪さんは、先日の高山さんとドン・フライの試合はご覧になりました?

美濃輪　はい。会場で生で見たんですけど……凄いですね、ホントに鳥肌立ちましたね。あそこまで殴り合うのは、ホントの殴り合いっていうか、お互いが前に出る気持ちじゃないと、ああいう試合にならないじゃないですか。

――美濃輪選手が理想とする試合とベクトルは一緒ですか?

美濃輪　そうですね。そういう意味では、ちょっとやられたかなっていう。

――ちょっと悔しいですか（笑）。

美濃輪　僕の中では、ああいう試合がホントにカッコいいと思うんですよね。ガードもせずに相手殴って、向こうも打ち合うっていうのは……自分が漫画の中で見てきたものが、ホントにリアルにやり合ってるっていうか。自分が頭に描いていた"ホントの殴り合い"っていうのをやられたんで、ちょっと越されたなっていう。"凄いプロレス"を見せられて、「クソッ」って思いましたね。

――同業者にジェラシーを抱かせる試合だったわけですね。

美濃輪　でも、みんな感じてると思いますね。ああいういい試合をされると、また「俺も頑張んなきゃ」って。

高山　ありがたい言葉だねぇ。

――美濃輪選手は自分がやりたい相手なら、あんまり体格差は気にしないタイプなんですか?

美濃輪　そうですね。

高山　じゃあボブ・サップとやってごらん。

一同　ダハハハ!

高山　そういう問題じゃない?（笑）。

美濃輪　でも、気にしないですね。やっぱりプロレスラーの目線から見て、体重差を気にするのは嫌だし。気にしてたら視野が狭くなっちゃうんですよね。だからいろんな団体の選手を見た中で「この人だったらいい試合できるかな」っていう人の名前を挙げたりして。

――それ、高山さんが『PRIDE』出るときのスタンスと同じですよね。

高山　結構似たような感じがしますね。「視野が狭くなる」って言ったけど、いまプロレスとか格闘技見てる人は真面目すぎて、枠を作りすぎてるんだよね。だから美濃輪君みたいな試合や、俺みたいなアホな殴り合いを見るとみんなビックリしちゃうんだろうね。本来プロレスラーっていうのは、枠を取っ払って、みんなをビックリさせて、「あいつら凄かったよ」って言わせて帰すもんだから。それがたぶん同じ匂いを感じるとこなんだろうね。

――なるほど。美濃輪選手だったら、大きい人との試合も見てみたいと思いますもんね。

高山　うん、シュルトのときとか面白かったし。

――あ、あの横にゴロゴロっと1回転してタックルした試合!

高山　あれは面白かったねぇ。でも、俺は真似しちゃダメだなと思った（笑）。

美濃輪　あれは、身長190以上の人だったら足スッと取れるんですけど、同じぐらいの背の人とやると、転がったらそのまま横四方取られるんですよ（笑）。

――逆に言うと実は理に適ってるんですね、大きい人が一番嫌がるっていう。

高山　そう、足首に来られたら一番嫌だもんね。

美濃輪　大きくてもちっちゃくても、それなりに闘い方ってあるじゃないですか。だから、デカくてもちっちゃくても自分の体をどう生かすかだと思うんですよ。

高山　そうそう、使い方を知ってる人は強いよね。俺なんかも最初Uインター入って、先輩はみんな170センチから180センチの間の人同士の闘い方しかしないわけですよ。そうすると、俺の体の使い方は先輩から学べないから、「なんでできないの?」って結構ドン詰まりになってね。でも、だんだん「あ、先輩はこうやってるけど、俺はちょっとずらしてこうやった方がいいんだ」とかわかってきたら、できるようになって。それは平均的な身長の人でも、体が柔らかいとか、手が強い、足が強いで微妙に違ってくるから。たぶん、美濃輪君はそういうのがわかってる人なんだろうね。だからあんな変なことができるんだと思う（笑）。

美濃輪　だからホント、体重差は関係ないと思うんですよ。パンクラスもグローブつけてから階級始まったんですけど、いままで練習でも試合でも、散々相手が90キロ、

美濃輪育久×高山善廣

100キロ、シュルトみたいな人とやってきたんで。それがいま階級別と言われても、前に散々やってたんで、僕の中では変わらないかなって。

高山　やっぱり単純に美濃輪君みたいな体格の人が、デカい人とか重い人とかとやって勝っちゃったら、見てる人は一番面白いんだよね。お相撲がそうじゃないですか。舞の海が小錦みたいな人に挑んでくから面白いわけで。そういうのを目指せるっていうのはプロとしては凄いいいよね。

――高山さんとの試合なんて無茶苦茶面白そうですよね（笑）。

一同　ダハハハ！

高山　そこに来る！　この人、ボブ・サップ戦が見たいとか勝手なことばっかり言うから（笑）。

――でも、猪木さんも「本人同士がやりたがらない試合こそファンにとって面白い」って言ってじゃないですか。

高山　あ、でもそうかもしれないね。やりたがらない理由によるけどね（笑）。

――ま、高山選手との試合はともかく、いまは田村戦という夢のカードが目の前にあるわけですけど、美濃輪選手はこの試合にどんな意気込みで挑みますか？

美濃輪　やっぱり自分のすべてを出したいですね。いままで秘めてたものっていうか、抑えつけたもの、そういうのを全部取っ払って。もっといろんなことやりたいですね。

――高山選手はファンとして美濃輪選手にどんなものを期待しますか？

高山　まず、田村さんと有明コロシアムっていうデカい会場で美濃輪君が試合できることが単純にファンとして嬉しい。調子がガーッと上がってたときって後楽園ホールとかそういうのが多かったじゃないですか。だから、「この試合を大会場でみんなに見せたいな」とか勝手に思ってたんでね。ようやくそういうときがきたなっていうか。だから本人も言ってるけど、自分を解放して、あるものすべて出して。いままで見てて「美濃輪はこうなんだ」って思ってるさらに上のモノを出して、もっとビックリさせて欲しいなと思う。

美濃輪　革命ですね。

美濃輪君がデカい会場で試合できるのがファンとして嬉しいね

（田村戦は）自分の全てを出して絶対最高の試合にする！

みのわいくひさ■1976年1月12日、岐阜県出身。自らの闘いをすべて「プロレス」と称し、"科学的に改名不可能"と言われる、鬼気迫るファイトで総合格闘技の常識を覆し続けるプロレスラー。9・7田村戦は大注目！

たかやまよしひろ■66年9月19日、東京都墨田区出身。25歳でUインターに入門。その後、キングダム、全日本、ノアを渡り歩き、現在は『PRIDE』、新日本を股に掛け大活躍中。今年の「プロレス大賞」MVP最有力候補。

――いやぁ～、お2人には、是非これからもビックリさせ続けて欲しいですね。

高山　でも、ビックリさせようとか思っても……どうなんだろうなぁ？　今日話して思ったけど、俺も美濃輪君も自分たちがやりたいと思ってることを普通にやってりゃみんなビックリするなって（笑）。

――確かにそうですね（笑）。

高山　だから俺らは変に考えすぎないで、自分を出せばいいっていうのがよくわかったね。子供の頃から、渡り廊下の頭突きとか、同じことやってんだもん（笑）。

美濃輪　でも、頭突きも僕の中ではいつか使いたいと思ってるんですよ。パンクラチオンルールで頭突きありだったんで、あのときに、「僕は渡り廊下の柱を散々やってきたんだ」って自分に言い聞かせてやりましたね。

高山　そのとき結構使ってたの？

美濃輪　使いましたね。でも最初の一発で自分の頭が相手の歯に当たったらしくて。自分で打っといて自分で割りましたから。

高山　でも、額から流血してちょっと嬉しかったんじゃない？（笑）。

美濃輪　はい。ちょっと嬉しかったです（笑）。

――ダハハハ！　とことんプロレスファンですね（笑）。9・7田村潔司戦、最高のプロレスを期待してます！

【02年8月2日／横浜『ダイニングバー三間堂』にて収録】

灼熱のガチンコ大戦争
爆進格闘技K-DASH!

9.7 DEEP
有明コロシアム

『PRIDE』でも実現不可能!? ド級の日本人対決！

田村潔司vs美濃輪育久

すべてにおいて"プロ"の両雄が巻き起こす革命の予感

♪バーリ・トゥードでは考えられない光景がリング上で繰り広げられますゥゥウ♪

歌うシュート活字

田中正志改め

タダシ☆タナカの大予言

佐伯社長の尽力により、9·7『DEEP』有明コロシアムで実現することになった田村vs美濃輪。『LEGEND』、『Dyamite！』に続く、灼熱の格闘技大戦争のトリを飾るに相応しいカードといえよう。このド級の大一番の魅力を、タダシ☆タナカに改名し心機一転、歌うシュート活字王が迫ります！

構成&撮影／ジャン斉藤

田村潔司vs美濃輪育久

灼熱のガチンコ大戦争
爆進格闘技K-DASH!
9.7 DEEP
有明コロシアム

――田中先生！　今日は、田中先生が9・7『DEEP』で行われる田村vs美濃輪に心臓バクバクだと聞いて、この一戦の見どころについてお話を伺いにきました！

タナカ　その前に皆さんに御報告があります！〝高田馬場の狂えるシュート活字王〟こと田中正志は、〝タダシ☆タナカ〟に改名しました。以後、よろしくお願いします（田村張りに深々とオジギして）。

――タ、タダシ☆タナカですかァ⁉（笑）。

タナカ　よく漢字の間違いをされるのでね。

――はあ、わかりました（笑）。それで、まずはタダシ☆タナカ先生の『DEEP』の印象をお聞きしたいんですけど？

タナカ　あまり良い印象はないですね。ルチャをずっとみてきたボクから言わせれば、あんなのルチャに失礼ですよ！

――タナカ先生は『DEEP』のルチャ路線がお嫌いでしたか。

タナカ　ボクから言わせれば彼らは普段、バーリ・トゥードなんかより凄いことやってるわけですよ。ドスjr.が謙吾にたまたま勝ちましたけど、プロレスとバーリ・トゥードは別物ということをなんでわからないんだと！　ガン！　ガンッ‼（マイクでテーブルを叩きながら）。

――さっそく、燃えさかっていますね（笑）。でも、勝敗はともかく、ルチャ勢の評判は良いですよね。

タナカ　う〜ん、その辺が難しいところですよねえ（苦虫を潰したような顔で）。ボク的には美談にされるのは迷惑なんですけどね。でも、時には琴線に触れるカードが『DEEP』にはありましたからね。

――どんなカードが琴線に触れたんですか？

タナカ　村浜やランバー（・ソムデート吉沢）、そして、佐々木（有生）vsグスタボ・シムなんか大注目でしたよ！

――シムvs佐々木ですか⁉　またシブイですね（笑）。

タナカ　だから、マニアックなファンとして見てたことは事実ですよ。初っぱなに印象悪いと言ったけど、今回のカードなんかは「オオオオ！」凄いやんというね。

――タナカ先生に「オオオオ！」と言わしめるのが（笑）、田村潔司vs美濃輪育久になるんですよね。

タナカ　もう、いまから心臓がバクバクいってますよ！（ツバを飛ばしながら）。

――ツ、ツバも飛び交ってます！

タナカ　（一向に気にせず）スマート（※1・P37「タダシ☆タナカ」シュート活字的用語解説を参照）が思ってることと、マーク（※2）が思ってることが一致する瞬間にビジネスが爆発するというWWF（現WWE）のエピソードがあるんですよ。このカードはまさしくこの定義に当てはまるんです。月と太陽の軌道が完全に一致した！　遂にクロスするんだと！

――宇宙規模のカードでしたか（笑）。田村vs美濃輪という大きな柱があるせいか、佐伯代表も自信満々で『『LEGEND』や『Dynamite!』と比べてもウチにカードが一番良い』と言ってるんですよ。

タナカ　その自信満々の言葉が運命の皮肉なのか、実はこの夏に全てがひっくり返るもしれないとボクは確信していたわけですよ。『LEGEND』、『Dynamite!』が失敗してこのプロレス・格闘技が一度死ぬと！

――ちょ、ちょっと待ってください。『LEGEND』はともかく、『Dynamite!』はまだ終わってもないです！（笑）。

タナカ　いや、ボクから言わせると、桜庭vsミルコはシュマークからだけの支持で、スマートには支持されていない。2つの意向が一致してないんですよ！

――は、はあ、だから、失敗すると。

タナカ　そして、田村vs美濃輪によって、新しい伝説の幕が切って落とされるわけですよ！「ジャズは死んだか」ではないですけど、「プロレスは死んだか」ということなんですよ！

――いきなりジャズ（笑）。一体、どういう意味なんですか？

タナカ　『相倉久人のジャズは死んだか』という名著があるんですけどね。その本はどういう内容かというと、ジャズはこのときも死んだ、あのときも死んだといいながら、ここまで続いてきたということが記されているんですよ。

――ジャズをプロレスに置き換えて考えればいいわけですね。

タナカ　そうなんですよ！　遡れば、ドン・フライvsアマウリ・ビテッチの一戦（※3）でも一度、終わっているんですよ！　あの当時、プロレスラーなんか何年経っても勝てないとA西さんが言うほど、柔術家は脅威だったわけですよ。

――「K通」から左遷、いや、転属になったA西さんが言ってましたか（笑）。

タナカ　いや、そう言ったかどうかは知らないですよ。

――どっちですか（笑）。

タナカ　どっちでもいいんですけど、ボクシングとレスリングをやってる者なら、ビテッチというホンマに強い柔術家にでも勝てるということがわかったわけですよ。だから、フライよりレスリングの実績が上のランディ・クゥートアーなんかも「フライにできるなら」と自信を持ってUFCに出

田村潔司vs美濃輪育久

♪マークとスマートから支持されるカード。それが田村vs美濃輪なんですよォオオオ♪

てきた。ドン・フライが歴史を変えたわけですよ!

——それで、田村vs美濃輪の一戦ですけど……。

タナカ　(無視して)TKvsバス・ルッテンの〝涙のUWFメインイベント〟(※4)でも、終わっていたんですよ! あの当時は日本では『PRIDE』が始まったばかりで、アメリカの専門家に言わせれば「日本の格闘技はおかしい。UFCだけが信じられる」と言っていたわけですよ。でも、日本で育った格闘家がUFCのメインイベントを取ったじゃないかと! もう一つ言うならば、パンクラス道場出身のフランク・シャムロック(※5)が、低迷期のUFCを支えていたじゃないかと!

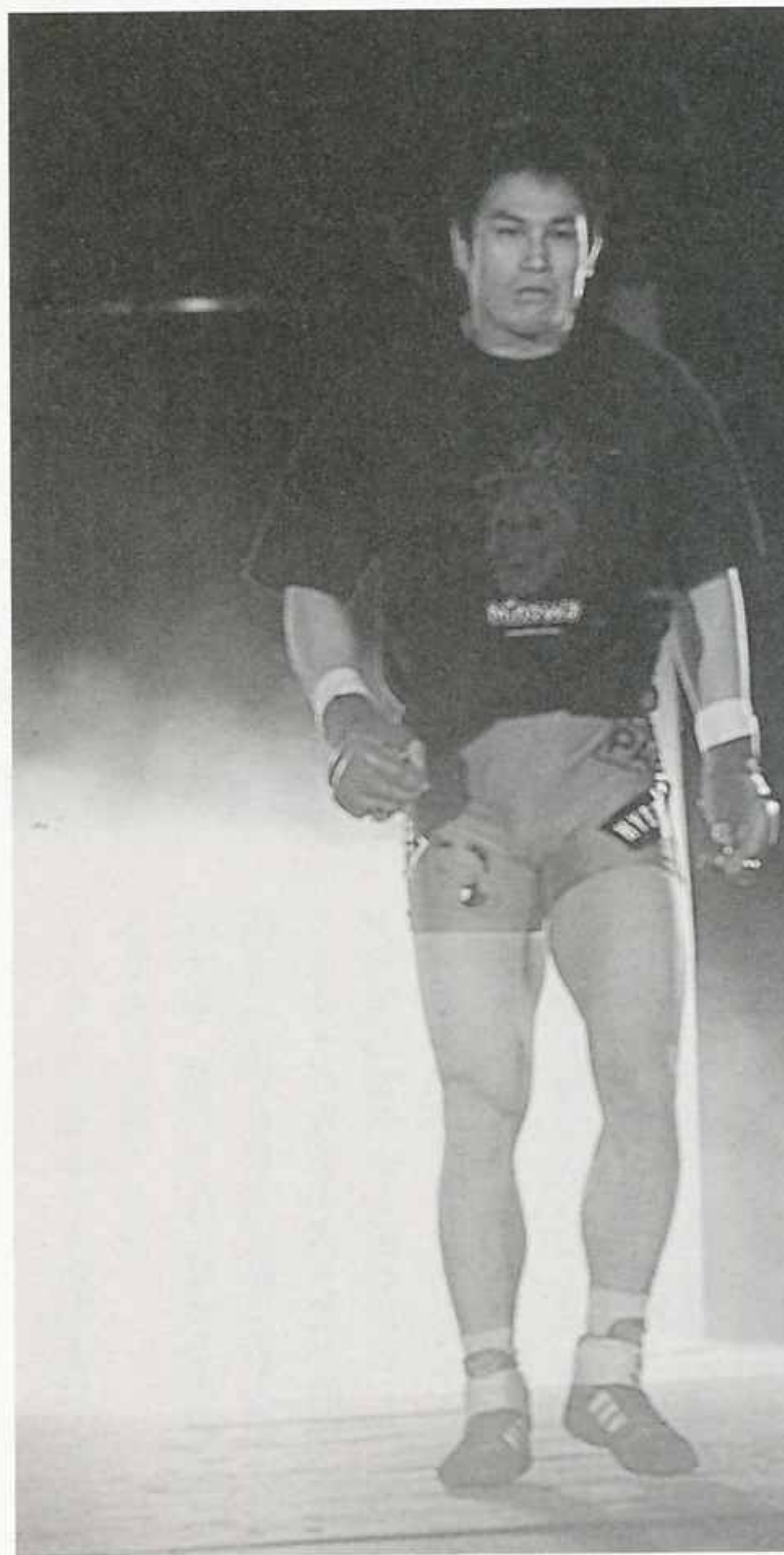
——は、はあ。それで、田村vs美濃輪の一戦ですけど……。

タナカ　(またもや無視して)そして田村潔司の、あの2・26事件(※6)が勃発して、UWF完全勝利になるわけです!

——あ、やっと田村の名前が出ましたね(笑)。それは、ヘンゾ(・グレイシー)を破った一戦ですね。

タナカ　あの田村の勝利を、ルールが違うとかバカなことを言う人がいたわけですよ。

——ターザンが『SRS』で「田村の勝利は是か非か!?」って吠えてましたね(笑)。

タナカ　山本さんはいまごろCIMAがMVPですからね。闘龍門を見続けてきたボクから言わせれば3年遅い、3年!

——タナカ先生は、ターザンの3年先を見てましたか!(笑)。

タナカ　何を見てるんだと! ヘンゾは自分の身体がちっこくてもこのルールなら勝てると思って出てきたわけですよ。しかもヘンゾがピークのときに、桜庭よりも前に田村は倒したわけですよ!

——ヘンゾはすぐあとにアブダビ(・コンバット)を制しましたからね。

タナカ　UWF伝説完全集結!! UWFは正しかったんだと! ホンモノの格闘技だったんだと! あの時点でUWFは死んだわけですよ!

——それで、田村vs美濃輪の一戦ですけど……。

タナカ　(やっぱり無視して)田村は〝神〟! 桜庭だって〝神〟ですよ! なんなら金原だって〝神〟にしたって構わないんです!!

——あ、金原選手も〝神〟でしたか!

タナカ　金原がリングスで、どれだけ凄いことやってきたかを皆さん知ってるんですかと! ダン・ヘンダソーン戦(※7)は金原が勝っていたんです。ボクのジャッジでは、ヘンダソーンには入れてないんですから!

——金原選手が喜ぶでしょうね(笑)。

タナカ　ボクは「金原vsイズマイウを実現する委員会」の会長になりたいぐらいですよ!

——金原vsイズマイウ! キングダムでの幻の一戦ですね! で、田村vs美濃輪の一戦ですけど……。

タナカ　(当然無視して)キングダム時代からの、金原・涙の歴史を知ってる者からすれば実現させたいですよねえ(感慨深げに)。イズマイウが村上(和成)に勝ったいま、金ちゃん、いまこそイズマイウとやるときですよ!(テレコに向かって囁くように)。

——金原選手の先行きはそれぐらいで(笑)。で、田村選手は〝神〟だとして、美濃輪選手はどうなんですか? 〝神〟の領域には入っているんですか?

タナカ　ここ一年間で〝神〟候補になってきましたね。ボクだって、美濃輪を去年のMVPに選んでいますからね。

【タダシ☆タナカ】
今号で田中正志より改名した元祖・シュート活字王。「週刊ファイト」出身だけあり、I編集長の匹敵する分析力を兼ね備え、ターザン山本ばりの炎上振りをみせる。近々、光文社より「アメリカンプロレスから学ぶ経済学」を刊行予定。

田村潔司 vs 美濃輪育久

——それでは、今回の田村戦で〝神〟になる可能性はあるわけですね?

タナカ　十分あります！　スマートのファンの意向とマークの意向が重なったときに、ホントの天中殺が起こるんですから！　バーリトゥードでは考えられない光景がリング上で繰り広げられるわけですよ！

——何が起こるというんですか?（笑）。

タナカ　〝UWFの真剣勝負〟が行われるんですよ！　田村のクルクル（※8）が見れるかもしれない、クルクルが！（マイクをクルクル振り回しながら）。

——バーリ・トゥードで田村の回転体が見られますか！（笑）。

タナカ　でも、悲しいことに、「それはワークですか?」とか言うバカがいるわけですよ！（悔しそうに）。それは違うと!!　両者ともお互いが負けてもいいと思っているからこそ、クルクルができるんですよと！

——田村さんは前号の『紙プロ』インタビューで「リスクは大きいけど、負けてもいい」と言ってましたね。

タナカ　美濃輪も、グラバカの佐藤（光芳）に負けて3ヶ月休養勧告まで受けてましたけど、どちらせよオーバーワーク状態で出てくることは間違いないですからね。お互いが負けてもいいというバーリ・トゥードがあったんですよ！　ファンもそれを許してるわけなんですよ！

——で、でも、普通のファンはそうは見ないと思いますよ。やっぱり勝敗が最初にくるんじゃないですか?

タナカ　この一戦の見るべきところは勝ち負けじゃないんですよ!!　そんなのは関係ないと！　一体、どこを見てるんですかと！

——ターザン塾長より3年先を見ているタナカ先生から言わせれば、見るのは勝敗じゃない、と（笑）。

タナカ　そもそも幼少時代から皆が抱いた「誰が一番強いのか?」という想いは、93年のシュート革命（※9）によって鎖がちぎられてホンマに見えてしまったわけですよ。しかし、余りにも残酷な結末が待っていて、答えがわからない底なし沼だったわけですよ。結局、一番重要なのは、シュートでも勝った負けたではなかったんですよ！

——まあ、勝ち負けではなく、その選手を生き様を見ていくことのほうが面白いですからね。

タナカ　修斗にしても、10周年大会で行われたメインが宇野薫vs佐藤ルミナだった。修斗がプロレス大陸から離れて10年の大航海の末に戻ったところは、なんとプロレス大陸！　彼らは一周して還ってきたわけなんですよ！

——2回目の宇野vsルミナは、1回目のウエルター級王座決定戦のときと比べて、競技的な意味合いでのマッチメイクではなかったですからね。

タナカ　「G格」や「K通」は結局、プロレス大陸に戻ってきたわけですよ！

——ワハハハ！　修斗の10周年を祝って、戻ってきてましたか（笑）。

タナカ　最近ではドン・フライvs高山で、またも「格闘技は死んだのか」のクライマックスが観れました。高山の自虐の美学が炸裂して、あらためて我々の求めてるのは勝った負けたではなかったのがわかった。でも、この試合をトップする名勝負は難しい。もうカードで残された道は、お互いの信頼関係に基づく真剣勝負しかないいんですよ！　だから、田村vs美濃輪でクルクルが見られるんだとボクは確信してるわけですよ！

——タダシ☆タナカの大予言といったところですね（笑）。

タナカ　お客さんに見せる本当のプロ格闘技が『DEEP』に誕生するわけですよ！

——タナカ先生の大予言が的中すれば、マット界もガラリと変わりますね。

タナカ　ただ、悲しいかな、日本のプロレス業界というのは100年経っても（編集注：日本の歴史はその半分）変わらないんですよ。『生ゴン』（サムライ！TV）で、登坂（大日本・統括部長）さんが小鹿社長の業務上横領疑惑を告発しても、「それはバックマージンだ」とたしなめた菊池（孝）さんの「あれはプロレス業界に昔から残る慣習なんだ」という弁解がそれを表しているわけですよ。

——そんな弁護をしてましたか（笑）。

タナカ　菊池さんは前にも歴史に残る言葉を残してましたからね。「ビヨンド・ザ・マット」（※10）を評して、「これはアメリカの話だ。日本の話ではない」と言ってるわけですよ。何を言ってるんだと！

——でも、歴史に残るようなら菊池さんもある意味、〝神〟なんじゃないですか（笑）。

タナカ　A級戦犯の〝神〟ですよ！　申し訳ないですけどね。悪口言うならば、日本のプロレス業界が変われなかったことで、200人しかいなかったプロレスラーがいまは500人ぐらいも増えてしまった。ただしょっぱいだけじゃなくて、アデュードからしてしょっぱいレスラーがいる世界になってしまったんですよ。

——あの～、それで、田村vs美濃輪の話は……。

タナカ　（マイクを振り回し遮って）そんなレスラーは、井上貴子を見習えという話ですよ！　ガン！　ガン！（マイクでテーブルを叩いて）。

——い、井上貴子ですか！（笑）。

タナカ　この業界で言えることは、「客が呼べるのか」と「仕事ができるのか」の2つしかないんですよ！　ほな、井上貴子は完璧にできる！　そんなの、世界で誰がいるんだと！　北米のマニアの実数なんかヒロスエ以下の自称国際女優さんたちよりもマジに多い！

——それで、田村vs美濃輪の話なんですけど……。

タナカ　（狂ったように無視して）豊田が抜けて全女が危ないと騒いでるけど、井上貴子が救ってるんですよ！　しかも……（延々と井上貴子論が続く）。

——もうよろしいでしょうか（笑）。それで、田村と美濃輪に強引に話をつなげると、彼

灼熱のガチンコ大戦争
爆進 格闘技 K-DASH!
9.7 DEEP
有明コロシアム

美濃輪育久

らも仕事もできて、客も呼べますよね。

タナカ　それ、それ！　貴子と同じなんですよ！

――貴子と同じはどうかと思います（笑）。

タナカ　いや、貴子は凄い！　ネットでの貴子日記のクオリティーの高さといったら、凄いですよォォオ！

――貴子日記……!?　そんなの知らないですけど（笑）。

タナカ　ウソォォオオ！（この日一番の大声で）。

――いや、勉強不足なもんなんで（笑）。でも、タナカ先生の講義で田村vs美濃輪は勉強になりました！　この一戦は新しい伝説が生まれる可能性が大なわけですね。

タナカ　お互いが負けてもいいと思って、闘おうとしてるわけですからね。これは何かがあるに違いないと思ってるわけですよ。その夢に賭けてみようと！　その夢の舞台を見に行きましょうよ！

――まさにドリームステージエンターテインメントなわけですね（笑）。

タナカ　そのとおりです！　夢見る者なら行かないといけない闘いなんですよ！

――ちなみにある意味、夢がいっぱい詰まっていた昨日の『LEGEND』は、タナカ先生はご覧になったんですか？

タナカ　もちろんですよ！　会場にも行きましたし、TVもチェックしてますよ！　船木（誠勝の解説）はお茶の間に良かったと思うけどね。

――は、はあ。

タナカ　『LEGEND』の失敗の発端に戻せば、カード以前の問題として日テレの生放送企画が通って始まった興行なのに、「小川のガチ・カムバック戦の舞台は日テレ＝読売ジャイアンツの本拠地しかない」という発想をした川村社長にも非があるねぇ。

――は、はあ、ジャイアンツ。

タナカ　リングサイドに座ってない限り、あの大画面を見るだけの東京ドームですよ！　客のノリが悪いから選手たちにもやりにくく、音響効果も反響でうまくいかないなど向いてない会場の見本です！　タダとなっても、普通はテレビで見るんじゃないの？

――は、はあ。

タナカ　その反対に田村vs美濃輪の有明コロシアムは、もの凄くライブに参加して歴史の目撃証人のひとりとなるチャンスですよ！　「格闘技ライヴ」の凄さと素晴らしさを体感しなければ、先端革命の瞬間の現場には居合わせられない、というのはあります。しかもリングス・サポーターには「聖戦開戦5周年記念」の現場としてターニング・ポイントだった会場ですからねえ。

――は、はあ、聖戦。

タナカ　とにかく、9月7日は有明コロシアムに行きましょうよ！　そして、同時に井上貴子日記を読めと！　ガン!!　ガン!!（マイクでテーブルを叩きながら）。

――は、はあ。とにかく田村、美濃輪、そして井上貴子の素晴らしさが何となく分かったような気がします（笑）。タダシ☆タナカ先生、今日は長々とありがとうございました！

タナカ　いえいえ、またいらしてください（田村張りに深々とオジギして）。

【02年8月9日／高田馬場アパート・「タダシ☆タナカのメタル小屋」にて収録】

♪田村vs美濃輪で起こる、先端革命の瞬間に居合わせなければいけないイイ♪

タダシ☆タナカのシュート活字的用語解説

（※1）スマート＝プロレスの裏の仕組みまでわかった上で楽しむ組のことだが1％しかいないようだ。

（※2）マーク＝圧倒的多数を占める世間一般大衆層。一番偉い。田村vs美濃輪を「モー娘。」現象のように茶の間で話題にするにはどうしたらよいかを考えるのがスマート。ちなみに自称マニアを意味するシュマークという中間層もある。日米比較では、シュマークの割合の高さが日本の特徴とされている。

（※3）柔術神話崩壊＝「UFC9」96年5月17日。ドン・フライがわずか23秒でビテッチをKOした。

（※4）涙のUWFメインイベント＝「UFC18」99年1月8日。高阪が優位に試合を進めていたが、果敢にも打撃戦を挑み、ルッテンの前に敗れた。

（※5）F・シャムロック＝シュート革命10年史における「最高傑作ファイター」との称号と賞賛が続いている英雄。

（※6）2・26事件＝2000年の「KOK」トーナメント、「UWF」のテーマに乗り、腹固めを繰り出し、田村がヘンゾを破る。桜庭が「PRIDE」GPでホイスを降参させる2ヶ月前。

（※7）ダン・ヘンダソーン戦＝リングス「KOK」トーナメント・99年10月28日代々木第2体育館。ジェレミー・ホーン、ヘンダーソンと1日2連戦を敢行した金原。ダンに僅差の判定で敗れた。

（※8）田村のクルクル＝「WOWOW」の選曲担当者が解散したジャーマン・メタル「Fair Warning」の美旋律を奏で、田村が♪天使の舞いを魅せる奇跡の瞬間、格闘技は美しいものであるという発端に戻れる。

（※9）93年のシュート革命＝K―1、パンクラス、UFC誕生の意義は不滅。活字プロレスより先にリング上でタブーが破られてしまった。

（※10）「ビヨンド・ザ・マット」＝監督がプロレスLOVE全開で舞台裏の魅力を伝えきったドキュメンタリー。ミック・フォーリーの家族愛、引退できないテリー・ファンク、旅稼業の悲劇ジェイク・ロバーツなどに焦点が当てられている。

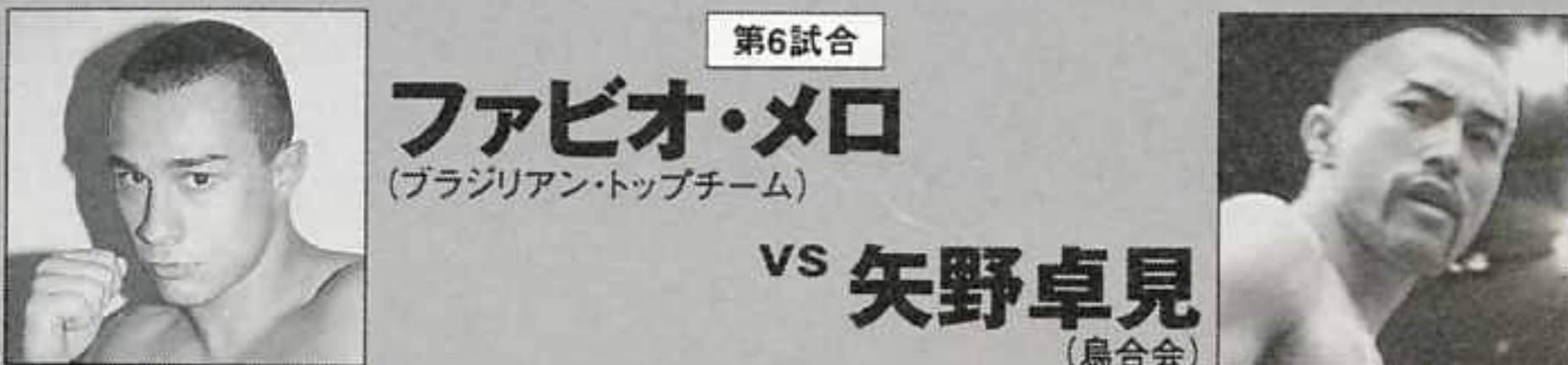
灼熱のガチンコ大戦争
爆進 格闘技 K-DASH!
9.7 DEEP 有明コロシアム

9・7『DEEP』有明大会は 田村vs美濃輪以外も 好カードのつるべ打ち!

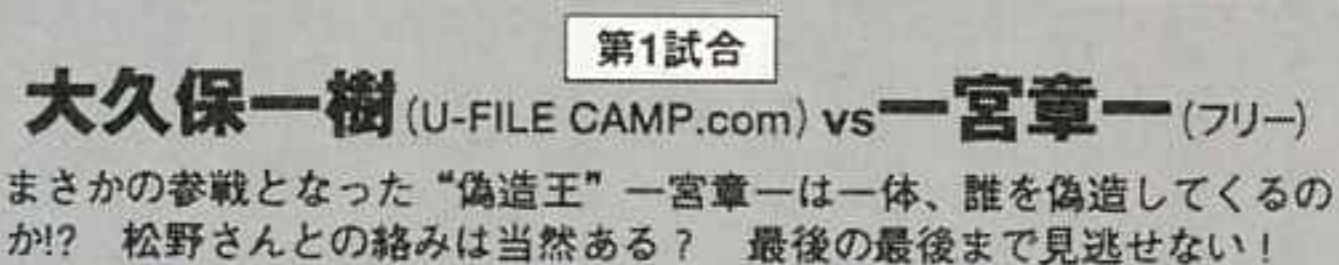
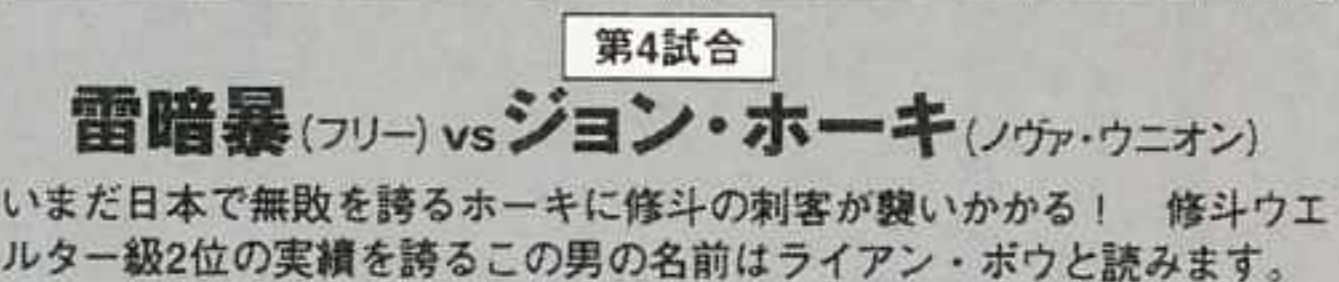
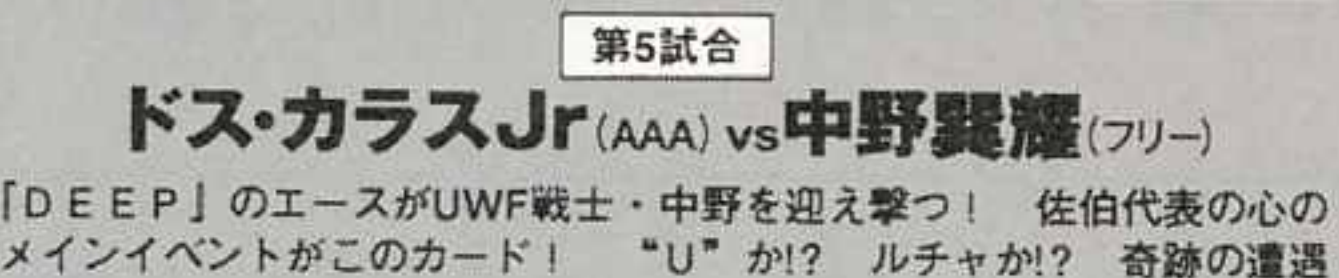
毎度毎度のことなのだが、田村vs美濃輪、修斗vsパンクラス、さらにはゴージャス松野の登場など、『DEEP』でしか実現できないカードが勢揃いの今大会。毎回、常に何かが起こる『DEEP』なだけに、今回も一試合目からメインまで全く目が離せないぞ!

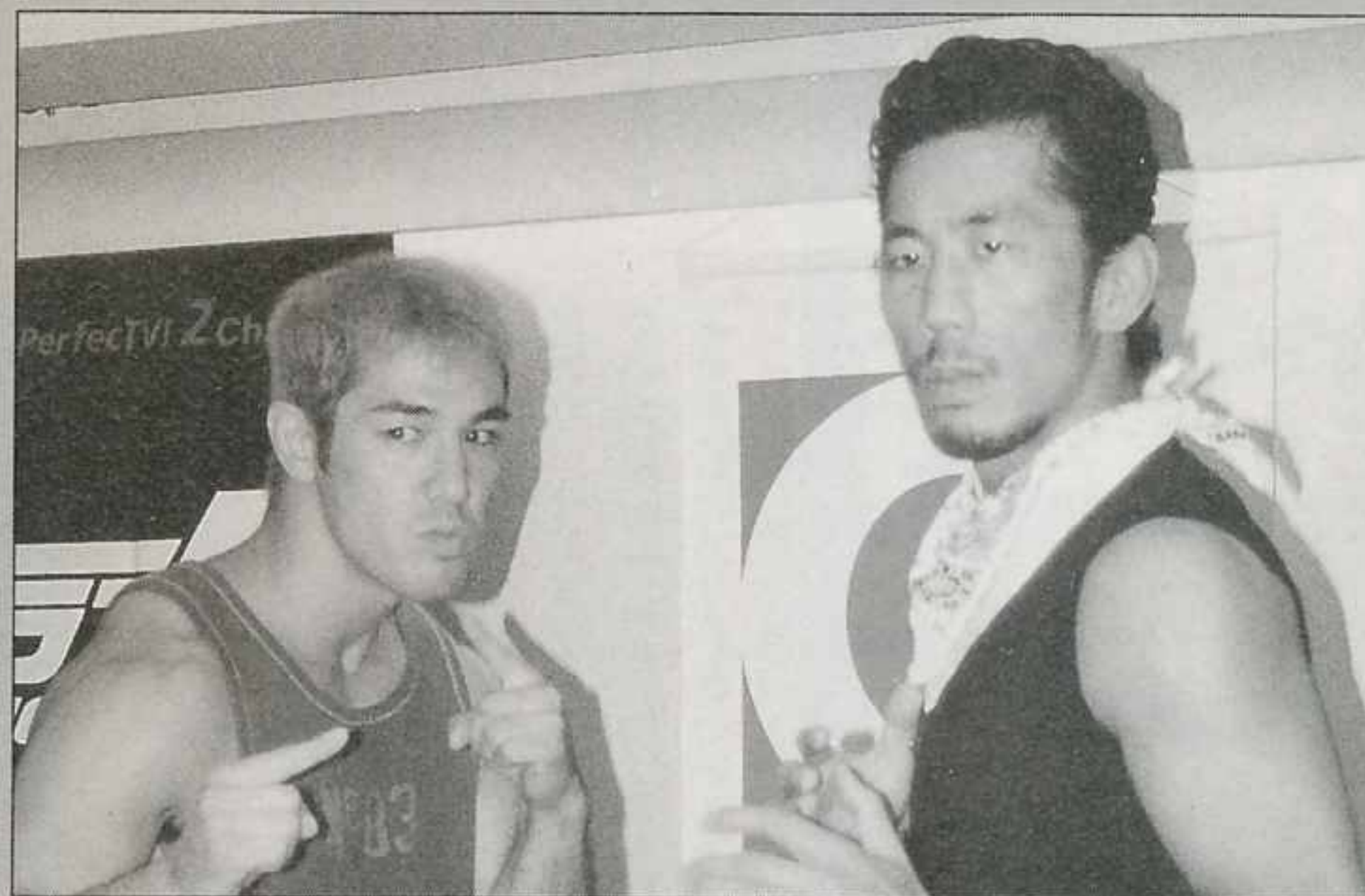
日本選抜選手vsブラジリアン・トップチーム 3対3対抗戦

第8試合
アントニオ・ホジェリオ・ノゲイラ(ブラジリアン・トップチーム)
vs
高阪剛(チームアライアンス G-スクエア)

第7試合
ギルソン・フェレイラ(ブラジリアン・トップチーム)
vs
上山龍紀(U-FILE CAMP.com)

第6試合
ファビオ・メロ(ブラジリアン・トップチーム)
vs
矢野卓見(烏合会)

本来はグラバカとの対抗戦が企画されていたブラジリアン・トップチーム。寝技世界一チーム決定戦を期待していたファンも多いと思うが、日本選抜としてリストアップされたこの3人との対抗戦も非常に魅力なマッチメイクだ。『DEEP』ミドル級トーナメントで、グラバカ石川を一本で極めて優勝した上山や、極めの神秘さではトップチームを上回るヤノタク。TKは当然、好勝負を展開する!

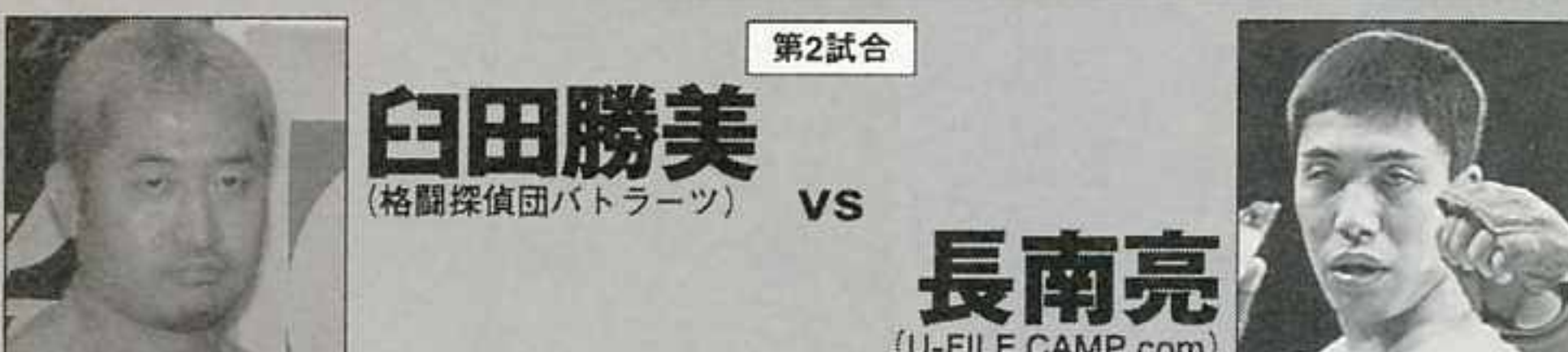
その他のカード

第1試合
大久保一樹(U-FILE CAMP.com) vs **一宮章一**(フリー)
まさかの参戦となった“偽造王”一宮章一は一体、誰を偽造してくるのか!? 松野さんとの絡みは当然ある? 最後の最後まで見逃せない!

第4試合
雷暗暴(フリー) vs **ジョン・ホーキ**(ノヴァ・ウニオン)
いまだ日本で無敗を誇るホーキに修斗の刺客が襲いかかる! 修斗ウエルター級2位の実績を誇るこの男の名前はライアン・ボウと読みます。

第5試合
ドス・カラスJr(AAA) vs **中野巽耀**(フリー)
「DEEP」のエースがUWF戦士・中野を迎え撃つ! 佐伯代表の心のメインイベントがこのカード! “U”か!? ルチャか!? 奇跡の遭遇

『LEGEND』にも『Dynamite!』にも負けないカードを用意しました!

“禁断の対決”修斗vsパンクラスが実現!

セミファイナル
三島☆ド根性ノ助(総合格闘技道場コブラ会)
vs
伊藤崇文(パンクラスism))

アマチュア枠ながら、負傷した仲間の代打としてパンクラスに参戦した三島☆ド根性ノ助の“男気”が発端になり泥沼の騒動を巻き起こした修斗とパンクラスが遂に開戦! しかも修斗より参戦するのがその三島というからテンションが上がらずにはいられない。年末の修斗のビックマッチでは五味とのタイトルマッチも噂される三島だけにリスキーな「DEEP」登場となるが、それだけ自信があっての参戦に違いない。

第3試合
滑川康仁(フリー)
vs
MAX宮沢(荒武者総合格闘術)

“和田最強伝説”を崩壊させたMAX宮沢にリングスの“熱い男”滑川が怒りの鉄槌を打ち下ろす! 滑川自身は「仇討ちとかリベンジっていう気持ちはサラサラない。とにかくブッ潰す!」と試合前から戦闘モード! 一方の宮沢にしても前回の和田戦に続き、上へ登る足がかりしたいだけに意義込みは十分だ!

第2試合
臼田勝美(格闘探偵団バトラーツ)
vs
長南亮(U-FILE CAMP.com)

誰もが予想だにしてなかった臼田勝美の参戦! 急遽決まっただけに準備不足が懸念されるが、「理想のプロレスラー像を追求するために闘う」と言う臼田には、再興を目指すバトラーツのためにも“火事場のクソ力”を期待したい! 相手は確実に名前を売りつつある長南亮! 顔もコワイが打撃もコワイぞ!

DEEP2001 6TH IMPACT in ARIAKE COLOSSEUM

9月7日(土)有明コロシアム
OPEN16:30 START18:00
(フューチャーファイト17:30START)

チケット情報
VIP(最前列2列目)¥30,000
SRS ¥20,000
RS ¥10,000/スタンドS ¥10,000
スタンドA ¥8,000/スタンドB ¥6,000
※当日は全席種500増し

[お問い合せ] DEEP2001事務局 TEL.052-339-0303
http://www.deep2001.com

今度の「DEEP」はスカパー!でPPV生中継だ!!
~FIGHTING TVサムライPresents~
DEEP2001 6TH IMPACT in ARIAKE COLOSSEUM
独占完全生中継!!

[放送局] スカイパーフェクTV!パーフェクトチョイス
[料 金] PPV視聴料1500円/1回(税別)
[日時]
《生中継》
Ch.117—9月7日(土)18:00~試合終了まで
※同日17:30から告知番組を無料放送
《リピート》
Ch.120—9月7日(土)22:00~試合終了まで
Ch.114—9月8日(日)18:00~試合終了まで
Ch.117—9月14日(土)19:00~試合終了まで

[番組視聴に関するお問い合わせ先]
スカイパーフェクTV!カスタマーセンター
TEL. 0570-039-888または045-339-0202(年中無休10:00~20:00)

9・7『DEEP』有明大会を上回る(?)

衝撃事実発覚!

『DEEP2001』代表

佐伯繁が堂々のプロレスデビュー宣言!!

見てみぃ、この腹ッ！　この見事なマッチョ・バディの持ち主は、ルチャ勢をバーリ・トゥードの世界に引き込んだり、9月7日の有明大会では田村vs美濃輪というビッグマッチを実現させた『DEEP2001』代表の佐伯繁氏である。先頃、発売された『Number』で驚愕のレスラーデビュー計画を告白した佐伯代表に話を聞いた。本気でやるんですかーッ!?

――「プロレスデビューを狙ってる」っていう『Number』（8／1発売号）での、佐伯代表の発言がかなり話題になってるんですけど、それは本当なんですか？（笑）。

佐伯　それは昔からの夢なんで。その夢を叶えた人が近くに一人いますからね。マッチョ☆パンプですけど。あと、アルシオンの小川（宏）さんも試合しましたよね。ボクも正直、狙ってますよ。でも、もうちょっと鍛えてビルドアップしないと。

――いまは鍛えてないんですか？

佐伯　いや、いまは少しプールで歩いてるぐらいで（笑）。これからちょっと真剣にやろうかなって。ボクはプロレスは甘いもんじゃないっていうのはわかってるし……でも、やっぱりやってみたいですね。

――ちなみに、佐伯代表は何か格闘技とかの経験はあるんですか？

佐伯　ボクは2年間空手やっていて、あと中学、高校と3年間ずっとウエイト・トレーニングばっかりやってましたね。その頃もプロレスラーになりたいと思ってましたから。

――あくまでもプロレスラーとしてデビューしたいってことですか？

佐伯　そうですそうです。

――『DEEP』に出るっていう考えはないんですか？（笑）。

佐伯　いやいや、やりたくないです。『DEEP』は（シュートサインを作って）こっちしかないんで（笑）。

――まあ、そうですよね（笑）。

佐伯　でも総合に出る方が簡単ですよ。だって総合に出ようと思ったら、ある程度練習してフューチャーファイトに出ればいい話でしょ？（笑）。

――代表権限で（笑）。

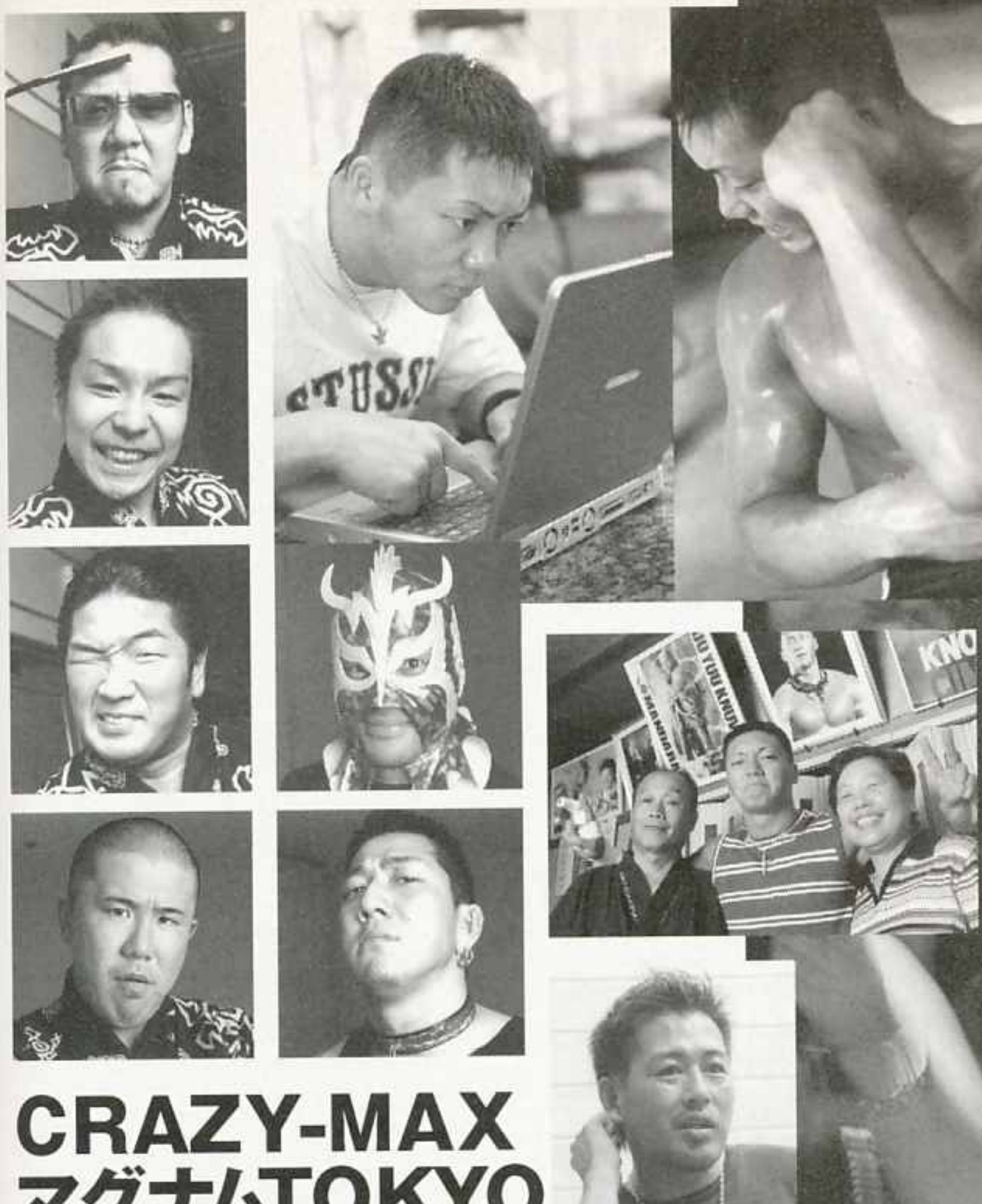
佐伯　ボクはプロレスをやるんだったら2～3年以内って思ってるんで、それを目標として。ついでに自分も痩せるきっかけにもなればと（笑）。でも実際、インディーとか見てたら自分の方が強いんじゃないかって思う時ありますしね。まあ、いまは時代的にも何でもありな部分があるんで、マジメにやるか、逆にふざけて変なキャラクターでやっちゃうか、どっちかだね。中途半端にやるとレスラーが嫌がりますからね。

――佐伯代表なら何をやっても許されると思いますけどね（笑）。

佐伯　そうですかねぇ（笑）。まあ、自分に興行価値があるかどうかの話ですよね。逆に価値がなくても、自分で興行を主催して選手集めて自分が出ちゃえば簡単ですけどね（笑）。

――それが一番手っ取り早いですよね（笑）。応援してますので、デビューに向けて頑張ってください！

インディーを見てたら自分の方が強いんじゃないかと思う時がある

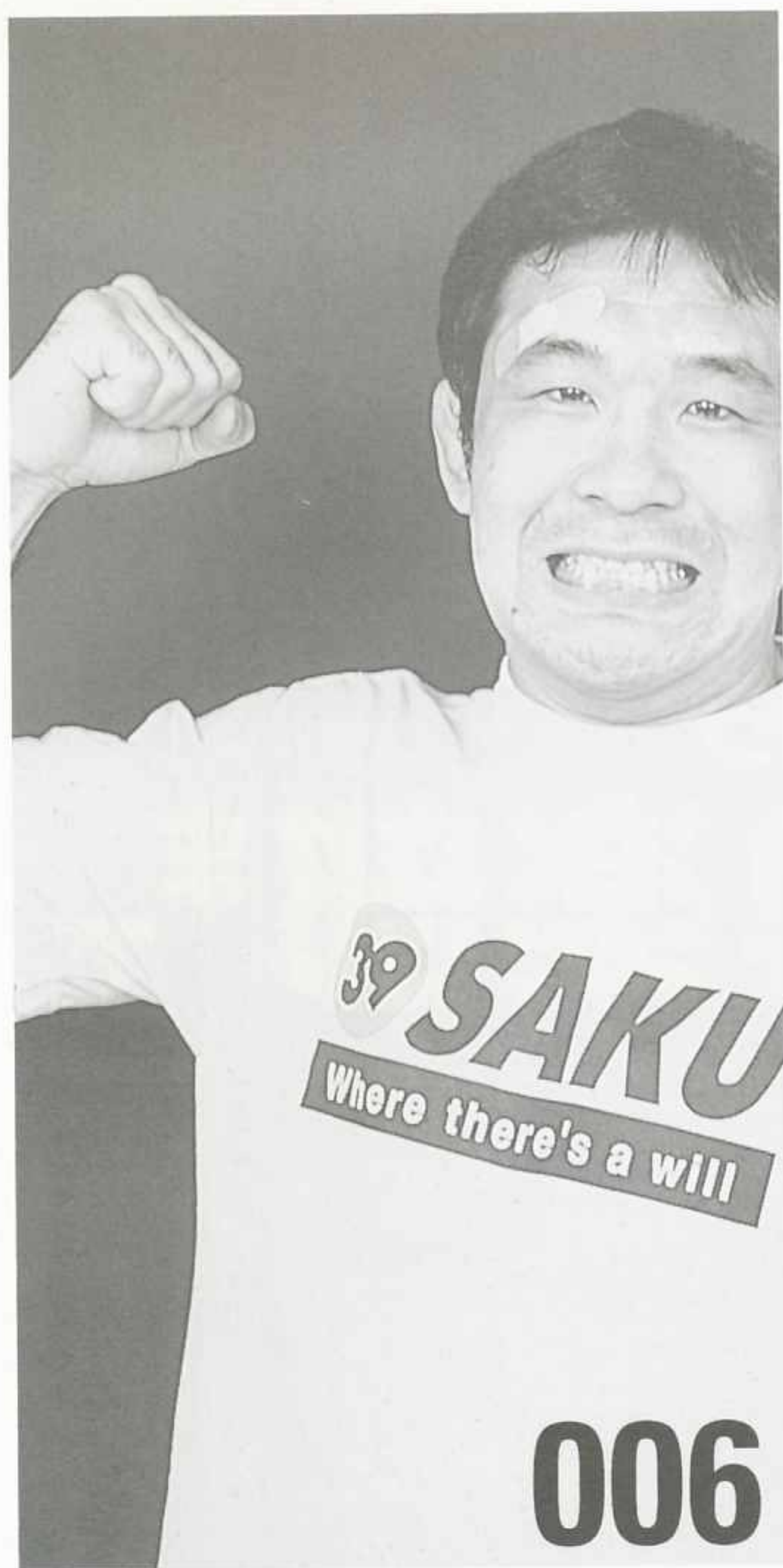
大阪プロレスみたいなプロレスをやってみたいという佐伯代表。身長170センチ、体重110キロ、バスト120センチ、ウエスト120センチ、ヒップ120センチというドラえもんボディーの持ち主だ。

紙のプロレス RADICAL

053 CONTENTS

Cover Model : Kazushi Sakuraba

006

086

130

Kakutougi-Dash Main-Event

灼熱のガチンコ大戦争に迫れ!!

爆進! 格闘技DASH!

006 桜庭和志 | 見せてくれ! ゾンビを超える復活劇!!
024 高山善廣&美濃輪育久 | "ノーフィアー"と"無謀"が夢の遭遇!
130 マット・ガファリ | 驚愕の事実発覚! 『紙プロ』独占インタビュー!
138 小川直也 | 8・8を振り返る! オーちゃんよ、どこへ行く!?

Kakutougi-Dash Semi-Final

001 ダイナマイッ!な山口日昇『Dyamite!』原稿
004『Dyamite!』灼熱の噂
016『Dyamite!』勝敗予想
033 9・7『DEEP』有明コロシアム
136 川村龍夫"ガチンコ語録"
146 アントン『LEGEND』劇場

Pro-wrestling Srpcial

065 武藤敬司 | 天才のトークショーを誌上再録!
072 ゴールドバーグ | "最後の未知なる強豪"がやってきた!
074 高阪剛 | まさか新日参戦! その真意を探れ!
081 ZERO-ONE | 今後の動きを中村部長が語った!
086 トム・ハワード | 格闘グリーンベレー、『紙プロ』に上陸!
092 スティーブ・コリノ | 策略男爵がやってきた!
105 葛西純 | 大日本離脱した 狂猿をキャッチ!
108 O.D.D. | 初代ダッドリー・ボーイズはオレ様だ!
148 クレイジーMAX | 悪の華が9・8有明に乱れ咲く!

Radical Srpcial

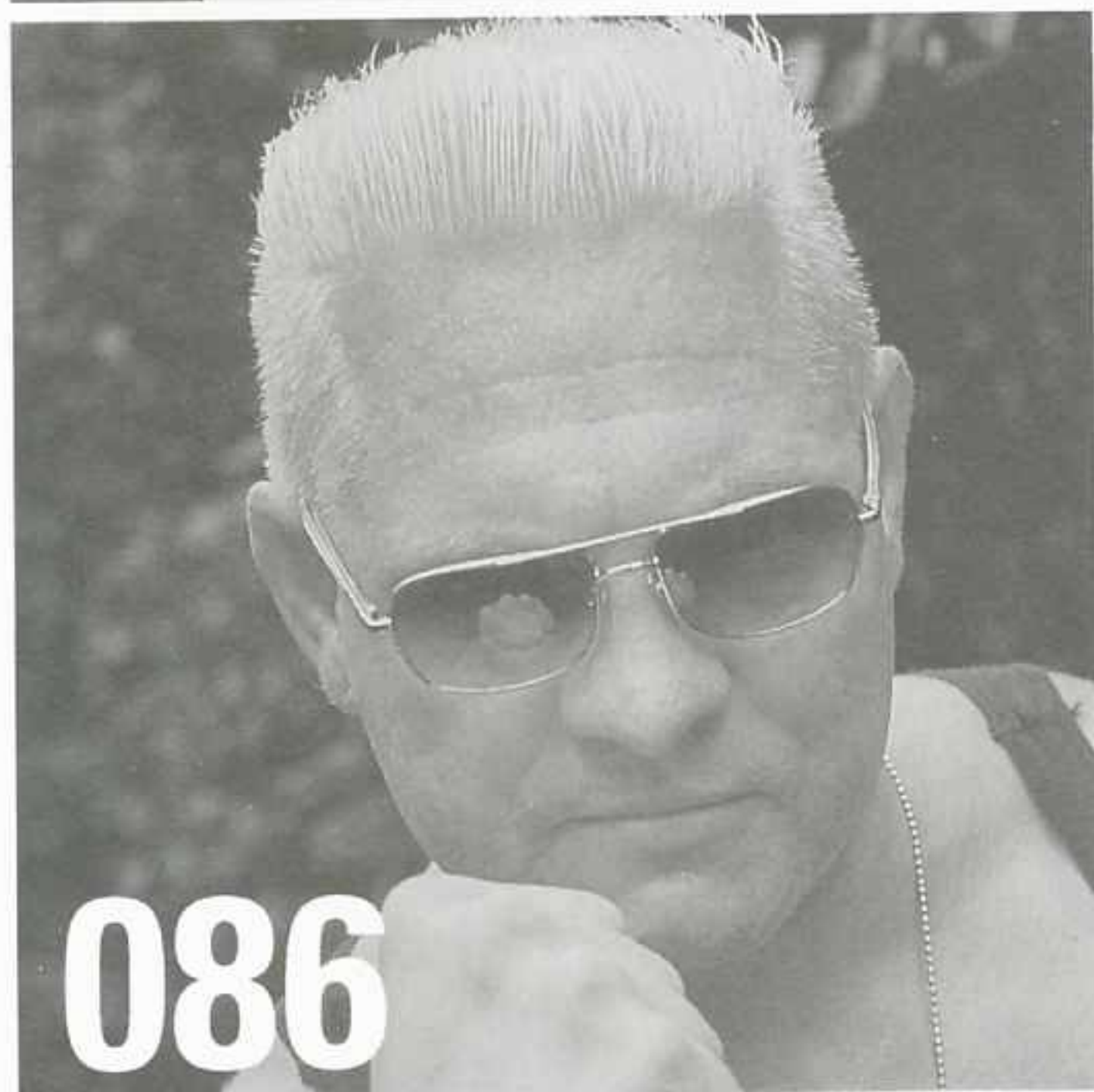
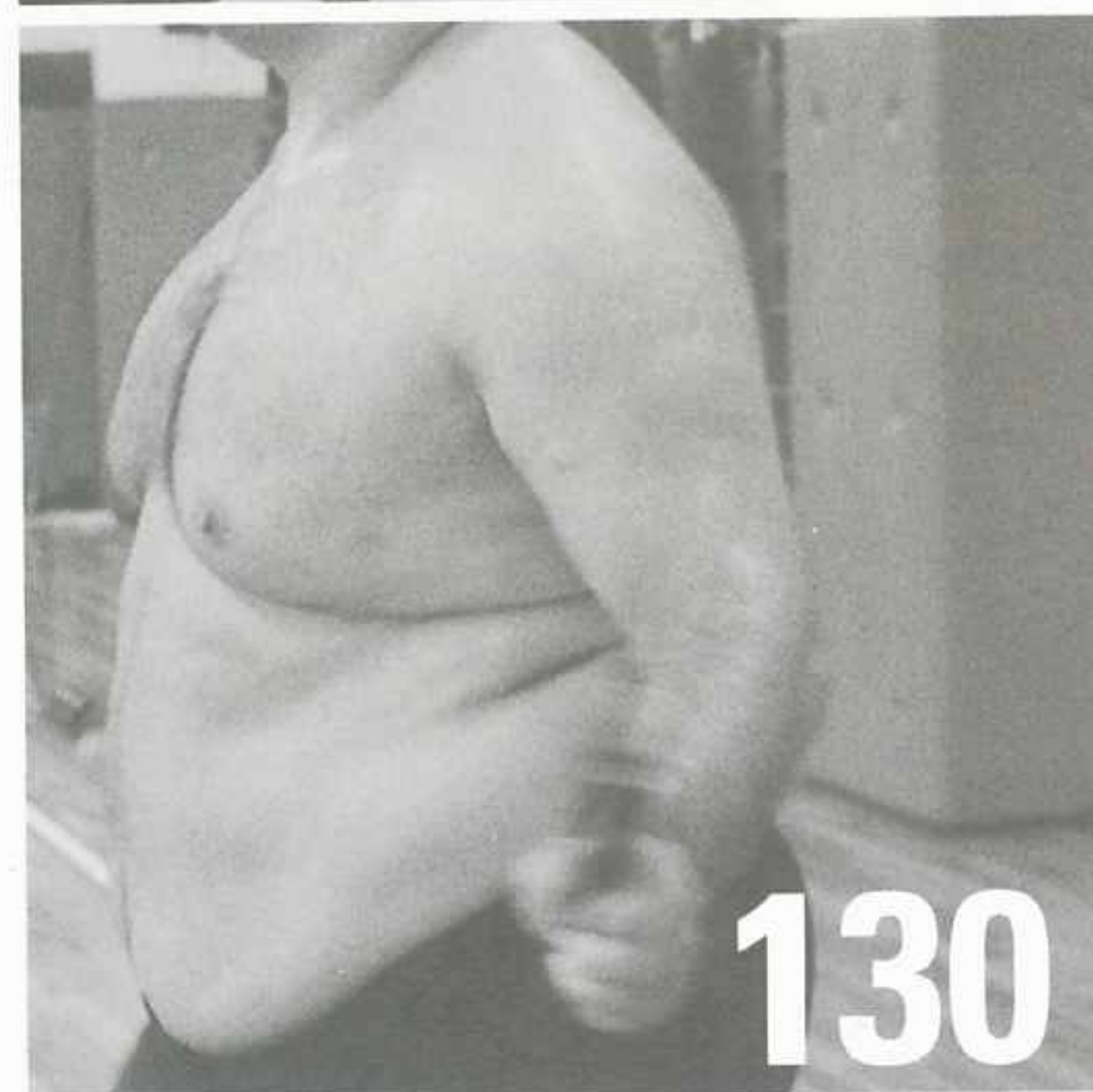
045 "プロレス回帰現象"座談会
050 I編集長
057 サムソン・クツワダ
097『相撲多重アリバイ』/"偽造王"一宮章一

Columns

114 吉田文豪人生劇場『書評の星座PART2』
121 山本憲尚/花くまゆうさく/掟ポルシェ/椎名基樹/せき詩郎
128 中川画伯のほんとにジョーク

Another

052 紙の新聞
116 RADICAL情報局
118『紙プロ』元気大学
120 ささきぃの電気部日記

RADICAL Special Pinup スティーブ・コリノ親子/Portrait 佐伯繁『DEEP』代表

真夏の夜の夢

『LEGEND』から魔界倶楽部まで

時代はバーリ・トゥードよりガチンコ!?

絶賛発生中の

“プロレス回帰現象”を語れ

〝プロレス回帰現象〟の始まりです！……といきなり叫んでも、読者の皆さんにはサッパリわからないと思いますが、とにかく言いたいことはそーゆことなんです！　LEGEND、G-1、そして、あの星野勘太郎率いる魔界倶楽部からみえた〝プロレス回帰現象〟とは!?　コンタクトレンズをしっかりハメて、座談会を読めーッ！

構成／ジャン斉藤

designed by matsu | Two three

灼熱のガチンコ大戦争
爆進 格闘技 K-DASH!

チョロ　え〜、8月のマット界は壮絶な興行戦争だったわけですが、まず先陣を切った『LEGEND』の観衆は2万8648人とドーム興行史上最低！　それでも平均視聴率は10．8パーセント！　会長（山口日昇のアダ名）、マット界有数の事情通として、8・8東京ドームはどう見たんですか⁉

山口　……（無視して携帯のメールを一心不乱に打ち込む）。

豪　いまはドームよりも携帯を見たい、と（笑）。

チョロ　か、会長、お願いします‼　『SRS・DX』でインタビューされたときにように、なんか語ってくださいよぉ……。

山口　うるさいなあ。俺はキャバクラ嬢にメール打たなきゃいけなくて忙しいから、先に進めといてよ（アッサリと）。

チョロ　……じゃあ、吉田さんはどうでしたか？　久々の会場観戦でしたけど。

豪　どうでしたって……。いろんな意味で興奮はできたけど、もうしゃべり飽きたよ（興味なさそうに）。

ガンツ　たしかに、終わったその日の夜に語り尽くしちゃいましたよね（笑）。

豪　まあ、マスコミ席が特殊だったのは評価したいけどね。なぜかスペシャルリングサイドの花道側なんだけど、そこにも客が全然いないから両サイドに手を置いて、前に足も乗っけられるという伸び伸びとしたスタイルで観戦できたのは凄いよ。トータルで何万円分だっていう（笑）。

チョロ　それよりも大会の感想を聞きたいんですけど、成功、失敗、どっちなんですか⁉

豪　（すかさず）そんなの、成功なわけねぇじゃん！

ガンツ　どっちもくそもないですねぇ（笑）。

ささきぃ　ただ、プレスルームで「こんな興行で喜んでるのは『紙プロ』ぐらいだろう」って意見が出ていたんですけど。

山口　（携帯をほっぽり出し）そういう言われ方は腹立つなぁ、なんか！　〝俺、関わらなかったもんね、してやったり〟みたいな感情含んでるもんなぁ（笑）。

豪　腹は立つけど、実際喜んでたわけじゃないですか（笑）。

ガンツ　大喜びでしたよね（笑）。

山口　たしかにそうなんだけどね（笑）。ただ、チャイナ（ジョアニー・ローラー）vs中村なんだっけ？

チョロ　中村千香ちゃんです。

山口　「あの試合で喜ぶのも『紙プロ』ぐらいだろう」ってプレスルームでどっかのバカが言ってたんでしょ？　あんなの喜ぶわけねぇじゃん！（笑）。

豪　チョロは喜びまくって写真を撮りまくってましたけどね。

チョロ　いやぁ、千香ちゃんはヒモパンだし、いいですよねぇ……（満面の笑みを浮かべて）ん〜、ダイナマイッ！

山口　……（冷たく）相変わらずオマエは趣味と実益を兼ねてるね。

豪　でもホント、こんなに語れた興行は久しぶりでしたよね。帰ってすぐビデオをチェックする興行なんて珍しいから。ただ、賞味期限は3日ぐらいだったけど（笑）。

チョロ　小川vs橋本の〝1・4事変〟以来ですかね。

豪　やっぱり、ズサンな興行に惹かれる部分があるんだよなあ。初期の『PRIDE』が好きだったのもそうだし。ただ、ここまでズサンすぎるとどうかっていうね（笑）。お金払ってる人が少ないから、みんな暖かい目で見てたんだろうけど。

山口　ガハハハ！　そんなことないよ。爆発的に当日券も売れたんだから（笑）。

豪　だけど、『LEGEND』のおかげで『PRIDE』の良さが再認識できましたよ。そういう意味では、本当に役割のある興行だったというか。

山口　俺は、『LEGEND』のおかげで昔の単なるプロレスファンだった頃を思い出したね。ある程度プロレスにハマると、プロモーター気取りで、観客動員から視聴率からマッチメイクから、なんでも気になるのがプロレスファンでしょ？　その頃の感覚で見てた部分があるね、俺は。「こんなことやってたらダメなんだけどなぁ……」って（笑）。

豪　実際、良くも悪くもこんなに「一体、何が起こるんだろう？」ってドキドキさせてくれた興行は珍しいですからね。

山口　そういうドキドキ感はあったね、久々に。

豪　煽りの映像すらも、会場では流れなかったじゃないですか？　とにかくTV主導で空白の時間が多いから、公開収録の現場に連れ込まれちゃったみたいな感じで、ホントにズサンでしたよね。

山口　まさに『真夏の夜の夢』だったよな（笑）。

ガンツ　これは長らく語り継がれる興行ではありますよ。そもそも始まりが、川村社長の「全てガチンコ」発言でしたからね（笑）。

山口　舞台裏は相当面白かったんだけど、それが観客にもファンにも伝わり切ってないからね。〝俺らだけ楽しませてもしょうがねぇだろう〟というのはあったなぁ（笑）。

豪　その舞台裏の混乱を経て、面白いものを提示してくれるんだったらいいですけど、結果的にどの試合もすべて期待のレベルを超えられなかったじゃないですか。それはもう藤田vs安田にしても、ガファリにしても、その他の試合にしてもそうだけど。

圧倒的な存在感を見せつけた川村社長！
『LEGEND. 2』を実現させてください！

ガンツ　だから、声を大にして言いたいのは、いきなりテレビやライブだけ見た人はどんなにかわいそうかということですよ。あれを見た人が、もし次に大会があったら見てくれるのかどうか心配になりましたね。

山口　まあ、テレビやイベントのスタッフの苦労は忍ばれるけど、いかにも「プロレス興行」らしいというかさ、ホントに行き当たりバッタリな興行だったからね。それをガチンコの興行でやったというのは、川村さんの底力だよな（笑）。いまの時代性のなかでは珍しいよ。猪木さんの当日のマイクじゃないけど、「誰が得する東京ドーム」って感じの興行だったけど、これだけは言えると思う。昔ながらの、世間がプロレスを見てる好奇の目、白い目にピタッとハマった興行だった。

ガンツ　ボクなんかお盆で実家に帰ったときに、叔父さんにまで「小川の試合、あれ、八百長だろ⁉」って言われましたからね（笑）。

山口　やっぱりプロレスを見るときに、世間はみんなそういう目とか言葉を用意してるわけでしょ？　今回はガチンコだったけども、世間が昔のプロレスを見てる感覚で総合格闘技を見てた。ゴールデンタイムで放送されるっていうのは、世間の好奇の目に晒されるってことだから。

チョロ　ゴールデンタイムでは流れなかったですけど、中村千香ちゃんのヒモパンも好奇の目に晒されましたからね（笑）。

山口　……（無視して）だから俺が一番言いたいのはね、総合格闘技も、ひいては最近すっかり閉じこもってたプロレスも含めて、世間の好奇の目に晒されることによってどんどんタフになれると思うんだよ。批判されることも含めて。そういう機会をつくってくれた川村社長に、俺

■■座談会出席者■■
山口日昇（本誌鬼畜編集長）
吉田豪（本誌スーパーバイザー）
松澤チョロ（ヒモパン愛好家）
堀江ガンツ（本誌鬼軍曹）
ささきぃ（本誌女）

は「ビバ、川村社長！」って言いたい。今回はその一言に尽きる（笑）。

ガンツ　その川村さんがまた、誰よりも一番楽しんで満足してましたからね（笑）。

豪　川村さんも良かったけど、最終的に得したのはZERO―ONEだけって感じでしたね。ガファリがもしZERO―ONEにでも上がったら、絶対に爆発しますすよ（笑）。

山口　ガハハハ！　オーちゃんと一緒に入場した破壊王も大歓声を浴びたし、たしかにZERO―ONEに追い風は吹いたかもしれない（笑）。

ささきぃ　横井も勝ちましたし、坂田も評価を上げて、佐藤耕平なんかは顔面アップが10秒も全国放送されましたしね（笑）。

チョロ　今回は、翌朝のスポーツ紙も4紙ぐらいが一面で扱ってましたね。あの世間への届き方っていうのは何なんですかね？

山口　やっぱり、「小川vsヒクソン」という次の展開が見えたから一面にしてるんでしょ。小川の試合は瞬間最高視聴率も21・2％だったし、やっぱり小川直也の世間への遠心力は重要だよね。

ガンツ　ただ、視聴率は取りましたけど、シビアな目で見るとプロレス・格闘技ファン的には小川の評価というのは下降したと思うんですよね。

山口　そういう声は多いね。

ガンツ　7・7のプレデター戦を含めてですけど。猪木さんとスピンクスがやったのと同じように「小川は何がやりたいの？」みたいな雰囲気がありますよ。

豪　プロレスでもガチでも本領発揮ならずっていうね。ただ、猪木さんとスピンクスの試合に例えるなら、今回は、（ドン・中矢・）ニールセンと闘って〝新格闘王〟になった前田日明的存在がいなかったのが興行として最大級の欠点なんだろうけど。

ガンツ　だから菊田とかが上に行くチャンスだったんですけど、そう甘くはなかったということですよね。

山口　総合格闘技はそこまで力を付けていないというのが、菊田の負けに象徴されてると思うよ。菊田なんて勝ち負けは別にして「俺の総合格闘技は、こういうものなんだ」というのを見せればいいだけなのに、カッコつけてバックスピンキックやったりとかさぁ。

ささきぃ　あれは、桜庭が柔術家を相手にローリングソバットを繰り出したのとは違いますよね。

山口　ヘンに「見せる」ということを意識してたように見えたし、ホント浮ついてた気がする。プロレスを批判してたっていうことだけじゃなくて、「俺は総合格闘家・菊田早苗だ！」っていうのを徹底的に見せつければ、負けてもダメージはないんだけどね。

豪　逆にノゲイラは完璧だったですね、何もかも。

山口　いま総合格闘技を代表してるのはノゲイラだよ。ノゲイラが何気に総合格闘技を背負ってる。そりゃあ『Dynamite!』と『LEGEND』でも取り合いするわって（笑）。

ガンツ　しかも今度はボブ・サップなんていうのをバケモノをあてがわれて（笑）。

豪　ノゲイラvsサップは興奮するよなぁ。どう見ても『LEGEND』出場に対する制裁でしかないカードだけど、それを快諾したわけだからね。

ガンツ　ノゲイラは「打撃でKOする」って気合い入ってましたよ。カッコイイですよね！

豪　いや、煽り番組を見てたら「サップの腕をヘシ折る！」とまで言ってたよ（笑）。

山口　（突然立ち上がり手を挙げて）ノゲイラ、バンザ〜イ！

豪　会長、興奮しすぎですよ（笑）。

山口　あ、失礼。（着席して）だけどホント、俺らが幻想として見てたプロレスラーの魂みたいなものがさ、一時期は小川に象徴されたり、桜庭に象徴されたり、『PRIDE』に出てる選手に乗り移ったりしてたけど、いまはノゲイラに移ってるよな。ノゲイラは総合格闘家だけど、超一流の〝プロレスラー〟だよ。

豪　しかし、日本人で誰かいないんですかね。小川にそこまで託すのは難しいんだろうけど。

山口　まだまだこれからでしょ。

ガンツ　小川は総合のリングでちゃんとした相手とやるか、もしくは何を言われようともプロレスをしっかりやって、信用を取り戻していくっていう地道なしんどい作業をするしかないですよ。

山口　確かにオーちゃんは、いい意味で追い込まれてるよね。格闘技ファンからもプロレスファンからもツッコみやすい、ストレスを解消する対象になっちゃった。目立つからよけいにね。

ささきぃ　でも、オーちゃんの取り巻く環境を考えると、文句を言われているのがカワイそうな気がするんですけどね。特に今回はそうだったじゃないですか。

ガンツ　かわいそうはかわいそうだよ。やりたくもないのに無理矢理やらされて、それで評価が下がったって言われたら（笑）。

豪　今回は、小川も藤田も安田も、みんな無理矢理試合をやらされるっていう、不思議な興行だったからね（笑）。

山口　でも、俺からオーちゃんに言いたいのは、瞬間最高視聴率が21・2％取って、オーちゃんの試合は平均18％取って、翌朝の新聞でも4紙で一面で飾った。そこで「いいんだよ。俺はマニアを相手にしてなくて、一般ファンを相手にしてるんだから。そういう役割なんだから」と必要以上に思わないでほしいってことだね。い

ネット上に〝ODWEBより配信された画像チケットをコピーすれば誰でも入場できる〟といった書き込みから、ちょっとした騒動に。実際はODWEB会員先着50名だけの特典であった。

8.8（木）東京ドーム　〜世界最強伝説〜UFO『LEGEND』

観衆28,648人

メインの小川直也vsマット・ガファリの一戦は、P130ガファリ、P138小川直也インタビューで紹介しています。

○ジョアニー・ローラー

［1R1分50秒　※マウントパンチ］

エキシビジョンマッチ　**中村千香●**

リング上から「ワタシだって怖いのよ！」と対戦相手を公募したジョアニー・ローラー。客席から多くの男性が手を挙げ、元リングス伊藤、ノア杉浦がイスから立ち上がったが、選ばれたのは謎のガイジン男性が強力に推薦した女子ボクサー・中村千香。エキシビジョンマッチとアナウンスしなかったこともあってか、プレスルームでは「茶番だ！」とマジ怒りする記者が出るほど、説得力のないフィニッシュでローラーが快勝。また、ヤッチャイナ（「週プロ」調）。

○ウラジミール・マティシエンコ

［3R判定　3-0］

アントニオ・ホジェリオ・ノゲイラ●

UFOで活躍していたマティシェンコがロス猪木道場の刺客して登場。“世界最強の双子”の弟ホジェリオ・ノゲイラと対戦するマニア好みの一戦となった。試合は終始、レスリング出身のマティシェンコがテイクダウンして上を取り、上からパンチを浴びせる展開。堅実な戦法にホジェリオは突破口を見出せず、3Rに下からの腕十字を極めかけるがマティシェンコがパワーで脱出。ドームに散漫とした空気が流れる中、判定でマティシェンコが制した。

○ジェンス・パルヴァー

［3R判定　2-1］

村浜武洋●

宇野薫を破り初代UFCウエルター級王者に輝いた経歴を持つジェンズ・パルヴァーが、マニア待望の初参戦！　村浜武洋との一戦は、グラウンドに移行しない打撃のみの試合となった。村浜は要所要所でパルヴァーにダメージを与えたが、“総合の打撃”に秀でるパルヴァーが手数では圧倒。微妙ながらも判定勝ちで、日本デビュー戦を勝利で飾った。村浜は今後、「K-1、プロレスに集中する」とのコメント。総合は撤退か?

○横井宏考

［1R1分47秒　チョークスリーパー］

ブルドーザー・ジョージ●

オープニングマッチに登場したのは“怪物”横井と、ジークンドーの使い手であり、カナディアントップチーム所属というフロリダのプロレスラー、ブルドーザー・ジョージ！　その厳つい風貌から醸し出す雰囲気は合格印を押せる選手であったが、試合を地力に優る横井の独壇場。瞬く間にマウントを奪い圧勝した。今後の総合方面の動きについて横井は、UFCへの参戦を希望。プロレスではもちろん、ZERO-ONEだ！ 横井、おめでとう！

ままではそれでよかったけどね。「ノゲイラから逃げるな、小川！」とブチ上げた『週刊ゴング』みたいに、小川を落とす目的だけで批判するのはみっともないけどさ、小川に求められてるハードルは、限りなく高いよ。

チョロ　しかし、『週ゴン』はいつから格闘技雑誌になってんですかねぇ（笑）。

山口　ガハハハ！　それはともかく、やっぱり今後のオーちゃんに一番望まれてるのは世間への遠心力より、世間への求心力だからね。で、その世間一般への求心力をつけるには、やっぱりプロレス・格闘技ファンを唸らせる、黙らせることがきっかけになるんだよ。

豪　そもそも遠心力にしたって、一般ファンがガファリ戦を見て「小川は凄い！」とは絶対に思わないですからね。

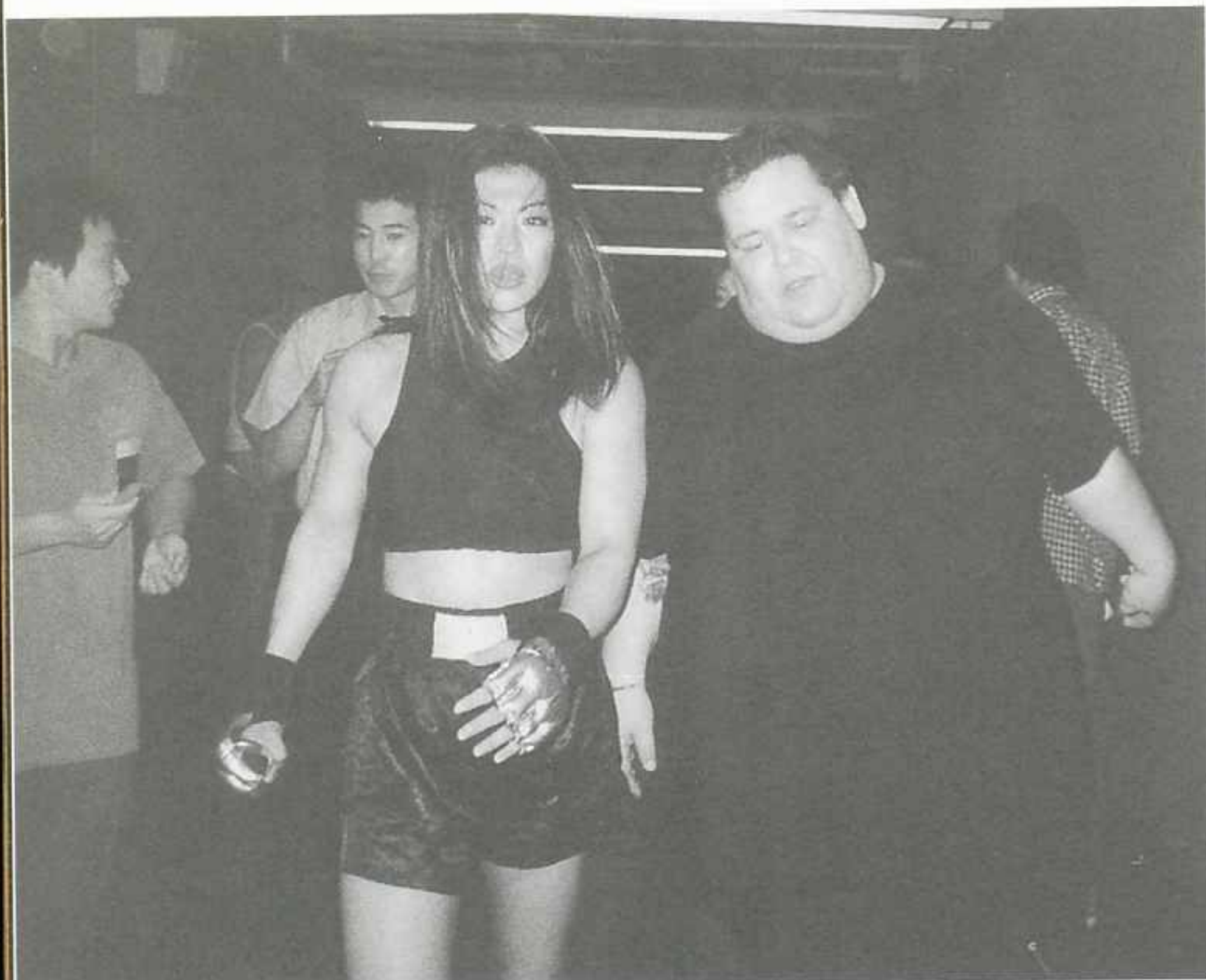
ささきぃ　むしろ、ガファリの方に目が行っちゃいますよね。「何だ、あの腹!?」って（笑）。

山口　プロレスでも、ガチンコでもいいんだけど、オーちゃんにはとにかく求心力を発揮できるカードを選んでほしいな。

チョロ　さっきガンツがちょっと言ったけど、プロレスの地道な作業はオーちゃんはできるんですかね？　ZERO―ONEで小川vsガファリをやったらいい試合になると思います？

豪　……シングルは、かなり危なっかしいなぁ。

山口　そっちの方がヒヤヒヤするなぁ（笑）。

灼熱のガチンコ大戦争
爆進 格闘技 K-DASH!

アントン総帥がタイソンの代理人として、度々名前をあげる超能力者ロン・バート氏が来日していた！（左は中村千香）。このウサン臭さ、非常にZERO-ONE向きな人物だ。

『LEGEND』は昔ながらの、世間がプロレスを見てる目にピタッとハマった興行（山口）

チョロ　全盛期の猪木さんならできると思うんですけどね。

豪　いや、猪木さんがいい試合するって幻想はあるけどさ、実はけっこう失敗してるからね。

山口　猪木さんが失敗して築いた屍の山はいくつもあるよ（笑）。でもさ、失敗していいんだよ、全然！　今回がダメだから次の小川がダメとは限らないし。マット界にいる限りは追っていける。でも、「マット界でホント、今後やっていく気があるの？」っていうところが、一部マスコミやファンがオーちゃんを信用できないところでしょう。本人はやる気満々なんだけど、まだそれが伝わりきってない。それをリング上で表現していくのが、オーちゃんのこれからの最大の仕事だよね。

ガンツ　とにかく試合で見せてほしいですよね。

山口　それと、いまの格闘技興行の息苦しいところは、失敗ができないことでしょ？　昔のプロレスは連続ドラマだったから、1回や2回失敗しようが、その失敗を糧にできたわけ。だけど、いまは1回の失敗が致命傷になる。

ガンツ　1回だけやってなくなっちゃった格闘技興行は、数え切れないほどありますからね。

山口　でも、1回の失敗でなくなるようなら、最初からやる気がないってことだからね。みんなコケたくないから、マッチメイクの時点でも頭を悩ませたりとか、政治抗争があったりとか、失敗したくないっていう方に踏み出しちゃう。

チョロ　でも、そんな踏み出し方じゃダイナミック感は出ないですよね。

山口　だから何も考えずに「失敗なんか怖くない」って言ってるヤツはお話にならないけど、『LEGEND』なんか、これだけリスク背負って失敗したんだからいいじゃんって気はするよ（笑）。

豪　それなのに川村社長は失敗したとは思ってないのが、またいいんですよね。

山口　だから「ビバ、川村社長！」だよ！　もはや川村さんはプロレスラーだもんね（笑）。『LEGEND』が昔ながらのプロレス興行に見えたのは、そういうことでしょ。

豪　勢いだけは、新間寿級ですよね（笑）。

山口　新間寿を超えてるもんなぁ。藤田と記者会見やって「ブン殴られるかと思った……」って、あんなの新間さんでも言えないよ（笑）。

豪　新間さんも言ってましたよ。「俺は会見のときに真ん中に座るなんて失礼なことはしなかった」って（笑）。

山口　ガハハハ！　川村社長にはもう一発ブチ上げてほしいよね。俺は格闘技というモノは、全然再生が効くソフトだと思ってるからね。「格闘技だからって腫れ物に触るようにやる必要ねぇじゃん」って思う。川村社長のやり方はズサン

○マリオ・スペーヒー
［3R判定　3-0］
坂田 亘●

ブラジリアン・トップチームの首領マリオと、総合やZERO-ONEで快進撃を続ける坂田の対戦からテレビ中継は幕を開けた。マリオの達人的な寝技の前に下になる局面が多かった坂田だが何とか凌ぎきり、スタミナをロスしたマリオにフロントチョークを仕掛け、あわやと思わせるシーンも。判定に屈した坂田は「ボクの実力不足」と敗者の弁を残したが、誰もが「坂田、恐るべし！」と評価を上げる闘いぶりであった。

○ヴァリッジ・イズマイウ
［2R3分03秒　グラウンドパンチ］
村上和成●

トップチームとのブラジル修行を経た村上が、狂犬イズマイウを相手に凱旋マッチに挑んだ。応援団の「殺せ！」という物騒というか非常識な声援を受けた村上。気合い十分でなんとか修行の成果を出したかったが、4人のグレイシーを撃破した実績を持つイズマイウの粘りのある寝技に大苦戦。横四方からのパンチ、ヒザ蹴りを浴びせられるなどし鼻血も吹き出す。最後は抵抗できないと村上をみたレフェリーがストップを下し、凶暴対決はイズマイウに凱歌が上がった。

○アントニオ・ホドリゴ・ノゲイラ
［2R29秒　右フック］
菊田早苗●

「寝技世界一決定戦」と銘打たれ格闘技マニアとってはメインイベントの一戦。スピンキックを何度か繰り出した菊田だが、ノゲイラは難なくキャッチ。寝技でもヒザ十字、三角締めと菊田に攻撃の手を緩めず。最後は寝転がった菊田に「立て！」と挑発し、蹴り足を掴み右フック一発でKOという絵に描いたようなフィニッシュ！　ノゲイラの魔法の寝技をかわした菊田だったが、バーリ・トゥードにおける実力差が歴然となった試合となった。

○藤田和之
［1R2分46秒　肩固め］
安田忠夫●

大会4日前に突如、決定となった同門対決だが、余った者同士が当てられた急場凌ぎの色が濃くなったのが残念。試合前にアントン総帥が「非常識な一戦が実現しました！」とマイクアピール。試合は、殺る気に満ちた藤田があっさり安田を肩固めで斬って落とした。藤田は花道を退場の際、オープンフィンガー・グローブを観客席に投げ込むパフォーマンスを披露し、ノーコメントで会場をあとにした。この行動に秘められたメッセージとは……!?

だけど、気持ちいいよ。本当に誰が得してるのかわからないけど（笑）。

ガンツ　でも、『LEGEND』はもうちょっと腫れ物として格闘技を扱っても良かったんじゃないんですかねぇ（笑）。

山口　ガハハハ！　『LEGEND』でもうひとつ浮き彫りになった問題は、猪木さんがジョアニー・ローラーvs中村千香みたいな試合をやっちゃうことだよな。あれはエキシビションだし、総合格闘技の大会であれをやっちゃダメだとかってレベルの話じゃなくて、あの試合はいまの猪木さんのプロレス観が確実に投影されてる試合なわけ。でも、時代性とまったく噛み合ってないんだよぁ（笑）。高山、藤田は「プロレスはプロレスでもっと堂々と打ち出した方がいい」って考えてるわけだし、総合格闘技やってるヤツがプロレスをやるときにも、もっとプロレスらしいプロレスをやりたいわけでしょ。

ささきぃ　横井や坂田なんかまさしく典型ですよね。

山口　猪木さんも猪木さんなりにプロレスの復興というモノを掲げているんだけど、どうも猪木さんのプロレス観がうまく表現できてないよね。猪木さんがリングに上がるわけじゃないから当然なんだけど。

豪　猪木さんが「プロレスは闘いである」と言ってるのはいいんですけど、いま世間で「闘い」の象徴だと思われている『PRIDE』を取り込まないといけないと思ってやってることが、すべて悪い方向に出ちゃってるですよね。

山口　例えばね、〝お笑い〟という概念を切り口にすると、猪木さんも〝お笑い〟はやりたいんだと思うんだよね。もともと猪木さんのプロレスにはいろんな要素が複合的に絡まってるからさ。ただ、〝お笑い〟を〝お笑い〟として見せないのが猪木さんのポリシーだと思うんだよ。〝お笑い〟を闘いに昇華させる、笑われたら逆におしまいだっていうのが残ってる。そういう意味では『LEGEND』も、小川vsガファリにしても、猪木プロデュースの方向とは符合してるかもしれないよね、内容はともかくね（笑）。

豪　結果的に笑われたとしてもってことですよね。でも、ガファリがああいうキャラだとは想像もしてなかったんだろうなあ（笑）。

チョロ　インタビューしてきましたけど、最高ですよ！（P130参照）。

豪　キャラがホント、完璧なんですよね。

山口　ホントにガファリなんていまのZERO—ONEマットの方が全然ピッタシ来ちゃうわけでしょ。プロレスだったら、ガファリをお笑い的なキャラクターとしてそのまま出せるわけだからさ。

豪　絶対、光り輝きますよね。

山口　でも、猪木さんがアンチテーゼを唱えてるのは、笑いをそのまま〝お笑い〟として表現するなってことだと思うんだよね。笑いの要素を闘いを通じて表現しろよってことでさ。それは、いまの時代性の中ではなかなかできないと思うけど。

ガンツ　できる選手はいないと思いますよ。

山口　猪木さんが望んでるレベルは高いよ。だって猪木さんの昔の試合でフザけたことやっても、笑ってたヤツなんか一人もいないからね。

豪　選手がヨダレ垂らしてたら笑いますけど、猪木さんがヨダレ垂らすのは怖いですからね（笑）。

山口　そういうこと。要はストレートな表現方法に対してアンチテーゼを唱えてるだけであって、みんなそこらへんを勘違いしてると思うんだよ。猪木さんは総合格闘技をやりたいわけじゃなくて、猪木さんなりのプロレスがやりたいんでしょ？　そういうことも含めて、この『LEGEND』をきっかけに、ホント、マット界全体の〝プロレス回帰現象〟に拍車がかかる気がするんだよね。猪木さんも新日本を軸にプロレスを考え直したいんだろうし。だから、みんなでプロレスというものを本気で捉え直そうっていう機運を感じるもの。総合一本でやっていくやつは、総合というものを捉え直そうとしてるだろうしね。で、藤田、高山、安田が、新日本を主戦場にするっていうのもハッキリしてきたし。

豪　藤田も安田も小川も、自分の意志とは関係なくこんなことやらされるんだったらプロレスの方がいいって絶対に思ったはずですからね。

山口　高山なんかは『PRIDE』にも出ていくだろうけど、自分がこの先どう進んでいこうかというのを真剣に考えてる気がするじゃない。『PRIDE』に出たりとか、K—1のマットに上がったりとかして、あんまりテーマのない総合格闘技をやっていくよりはプロレスでやりがいのあるカードをこなしていきながら、自分の物語を作っていった方がいいなっていうのが無意識のうちに出てきてるよね。

豪　高山は総合格闘技で作ったドラマを、プロレスで上手く活かしてますからね。今回の『LEGEND』で新日本のロス道場で練習してる選手たちにプロ意識がまったくないことがわかったわけだけどさあ（笑）。そういった選手たちの掛け込み寺が、これから新日になるわけですかね。

山口　猪木さんは、そうしたいんだろうね。ただローラーvs中村……なんだっけ？

チョロ　（満面の笑みを浮かべて）千香ちゃんです！

山口　それを見てると、猪木さんのやることはホントにダメ。ハッキリ言っとくけど、ホントにダメ（笑）。プロレスラーだって格闘家だって、ローラーvs中村的な試合をやりたいとは思ってないでしょ？　まぁ、あれはエキシビションとはいえ。それに高山が言う「俺らが中学生、高校生の頃に見たプロレスをそのまんま出せばいい」っていうのは、猪木さんのいまやりたいこととはまた違うと思うんだよね。

豪　そういうことやりたいんだったら、新日本を辞めてZERO—ONEや全日にでも行くしかないってなっちゃいますからね。猪木さんが、どうにか進化したプロレスを見せようとしてるのはわかるんですけど。

山口　逆に退化しちゃってる部分もあるからね（笑）。

豪　今回のG1決勝の放送見てて気づいたのは、猪木さんが絡まない部分もけっこう面白いんですよ。それが最後の乱闘で、猪木さんが絡んできて何を言うかと思ったら、「オマエら引っ込め！」ですからね（笑）。本当に引っかき回し役としては最高なんだけど、新日本で本腰を入れて何かやろうとすると猪木さんはダメなんだなあと痛感しましたよ。

山口　猪木さん個人の思惑とか思考とかは、どんどん時代の先に進んでるんだよ。電気にしても、何にしても（笑）。でも、不思議なことに猪木さんのやろうとしてるプロレスは、どんどん退化してるんだよね。

体調の悪さから「小川は危なかった」とコメントした破壊王は「オレが言うのもなんだけど、太りすぎや！」とガファリのタルんだ腹を指摘。他にも「川村のオッサンの底力を見た！」「真撃でこれをやりたかった」と、とにかくバツグンの破壊王節！　最高だ！

豪　プロレスラー・アントニオ猪木も面白いし、個人の猪木寛治も面白いんだけど、何でプロデューサー・猪木はつまんないんだろうってことですよね。

山口　そうなんだよなぁ。

豪　『PRIDE』や、『猪木祭り』にしろ、猪木さんがプロデュースして成功してるっていう錯覚があるじゃないですか？

山口　それは『PRIDE』の担ぎ方が力が入ってたからでしょ。

豪　そうなんですよね。結局、猪木さんは何か決まってるもんをグチャグチャにしたりするのは面白いけど、自分から作れる人じゃないですもんね。本質的に壊す人なんですよ。

山口　それは、現役のうちはよかったんだよね。猪木さんがプレイヤーとして責任を取って、最後に締めればいいわけだから。でも、いま猪木さんが発想して、猪木さんの考えたことに責任を取れるレスラーがいないじゃん（笑）。取りようがない。

ささきぃ　しかも猪木さん、今度は魔界倶楽部とも絡み始めましたからね（笑）。

山口　だから猪木さんのやりたいことがホントにわかんない、俺は（笑）。魔界倶楽部が猪木さんのアイディアかどうかはわからないけど。一連の動きが『Dynamite!』に対する当て付けなのか何なのかというところを推測していくのは面白いけどね。

豪　明らかに『Dynamite!』を意識してますよね。

山口　『Dynamite!』の方はK―1と『PRIDE』の連合軍だけども、今回は『猪木ボンバイエ』じゃなくて、『石井ボンバイエ』なわけでしょ。

豪　猪木さんは外されちゃって。

山口　猪木さんが外されかかってるのか、猪木さんが乗らないのか、あるいは当日、国立にいるかどうかはわからないけど、そういう中で猪木さんが自分の戦場をどこにするかっていう考えの中では……。

豪　（遮って）とりあえず、『LEGEND』は戦場にならないとは思ったでしょうね（笑）。

山口　ガハハハ！　あっさり見限った？（笑）。

豪　でも、猪木さんが今回、明らかに自分が迷走してた時期にやってきたことを新日本でまたやろうとしてるわけでですよね。

ガンツ　魔界倶楽部なんて、マシン軍団とか海賊亡霊の類ですからね（笑）。

豪　ただとりあえず乗れるのは、魔界倶楽部や〝外敵〟と呼ばれる格闘技系の選手と猪木さんに反発して、本隊とチーム2000が結託するのは、感情として完全にシュートなわけじゃないですか。

山口　対立概念としてはわかりやすいよね。

豪　T2000はまったく何の概念もない集団でしたからね。

ガンツ　ただ黒いだけという（笑）。

豪　それをどんどんリセットしてリアルな対立関係をリング上で表現していくのであれば面白いかなというのはあるけどね。でも、問題は今回登場する格闘技側の選手たちにプロレスのセンスがどれだけあるのかが未知数な部分と、あと逆に格闘技側の選手と試合をできるのが新日本隊に何人いるのかってことだよ。魔界の中身と噂される選手の名前を聞いた限りでは、ちょっと期待できないんだけど。

ガンツ　だから、器用なTKが呼ばれたわけなんですかね？

豪　しかし外敵の概念もボンヤリしてるよなぁ。TKに外敵なんて言葉、全然似合わないじゃん。あんなに敵意のない人もいないし。いつ「新日を潰す！」とか言ったんだ、TKが（笑）。高山だって「なんで俺がこっち側なんだろう？」と思ってるはずだずよ。「俺だって巡業してんのに」っていう。

山口　まあ、根気よく見よう！（笑）。

豪　「誰が得する東京ドーム」な感じで言えば、新日本にそういう格闘技の流れが入ってくるのって誰が得するんですか？　選手側は、まず望んでないですよね。

山口　逆に言えば、選手が「どうせならもっと猪木さんを利用してやろう」って気になってると思うな。

豪　どうせ手出ししてくるんだったら、それに乗ってやるってことですか。

山口　そうだね。猪木さんは総合格闘技っぽいプロレスを望むだろうけど、俺らはやらないっていうね。そういう面での闘いも見えてくれば面白いと思うんだけどさ。藤田とか高山だって、別に総合格闘技っぽいプロレスやりたいわけじゃないでしょ。

豪　でも、やることになっちゃうんじゃないんですか？

山口　むしろ俺は逆に、外敵軍団の方から「プロレスをやろうよ」というイデオロギーを感じるけどね。

豪　だったら、UWF勢が帰ってきたときみたいな「プロレスには歩み寄らない！」っていうイデオロギー対決にはならないってことですかね。実際、格闘技集団とか言ってますけど魔界倶楽部にはイデオロギーなんてまったくないだろうし（笑）。

山口　ガハハハ！　そうなんだよな。いま新日に足りないのは、イデオロギー闘争だよな。明確なイデオロギーがハッキリしない。

豪　数少ないイデオロギーが「反猪木」なんだろうけど、その思想を持ったらあとは追い出されるだけだし（笑）。

山口　ガハハハハ！　だけどさ、全体を通して『なんちゃってPRIDE』みたいなことをやったら衰退していくだけだって一番わかってるのは藤田とか高山でしょ。一番わかってないのが猪木さんだったりするわけだから（笑）。そういう意味でも、本気でプロレスを考えることに『LEGEND』は拍車をかけた気がするなぁ。

豪　というか、『LEGEND』を見た人は、まず「格闘技はやっぱつまんねえんだな」という結論になっちゃいますよ（笑）。

山口　『Dynamite!』や、K―1、『PRIDE』はいい迷惑してるって？（笑）。

ガンツ　少なくとも今後テレビ局は、総合格闘技を生中継で放送しようとは絶対思わないですよね。

豪　まぁ、他局が襟を正す結果になっただけだよな（笑）。

ささきぃ　そう考えると、テレ朝のG1決勝戦の放送の仕方は絶対正しいプロレスの放送の仕方でしたよね。

豪　面白かったよ！　いままでのG1の生中継は、その日にある試合を可能な限り見せようとしたせいでダラダラしちゃってつまんなかったのが、メインだけを生で見せて、あとは日曜の昼間にやってる風俗嬢のドキュメント番組みたい

テレ朝のG1決勝戦の放送の仕方は絶対正しいプロレスの放送の仕方ですよね（ささきぃ）

灼熱のガチンコ大戦争
爆進 格闘技 K-DASH!

灼熱のガチンコ大戦争 爆進 格闘技 K-DASH!

な作りで、選手の普段の姿をクローズアップしてたからね。

ささきぃ　高山にしろ、天山にしろ、やっぱりちゃんと〝ヒト〟を見せてあげれば試合も面白くなってくるんだなって、あらためてわかりました。

豪　人の面白さは、明らかにガチよりも伝えやすいわけでしょ？　そこをちゃんと伝えればプロレスでも立体感が出るんだから。あと、試合をほとんど放送しなかったのもあの番組が面白かった原因だね（笑）。もういっそ新日本の放送も『ライブワイヤー』みたいな感じにしちゃって、地上波では試合のダイジェストとリング内外のドラマだけ見せて、それで興味を持った人がBSのノーカット放送を見たり会場に行ったりするっていうふうにした方がビジネスが上手く転がるような気がしたな。

山口　それはそうかもね（笑）。あとさ、蝶野が高山に勝ったら「シンニッポン」コールが起こったりするじゃない。あれは客が団体の出したアングルに能動的に乗ってる証拠だもんね。ZERO－ONEの両国で起こった「ニッポン」コールもそうだし、プロレスをプロレスとして純粋に楽しもうよという雰囲気が客の方にもできてきてるわけだからね。

豪　その雰囲気の中で、健介だけが蚊帳の外になってるのがまた面白いんですよ（笑）。

山口　健介だけはいつ何時でも変わらないよなぁ（笑）。

豪　最近の新日本は、コメントも含めて微妙に生々しいのがいいんですよ。実際、最近は永田が出す新聞向きのコメントもやけに面白いし、棚橋は「SWING－LOWSは迷走してる」ってハッキリ言うし、健想は「ブルーウルフは引退しろ！」とか吠えるし、G1優勝候補だった天山は「いつもこれだよ、クソッタレ！」「俺が駄目なのか、新日本が腐ってるのか」「もう手遅れだよ」とか言い出すしで（笑）。TVに親まで引っ張り出して「決勝まで行けたら東京まで見に来てくれ」って言ったのに決勝進出すらできないんだから、全日本かZERO－ONEにでも行っちゃうんじゃないかと思ったもん（笑）。

山口　永田は最近、やけに面白いんだよなぁ（笑）。

豪　健介vs鈴木みのるだって、NWFトーナメントとかによってわざと話題を打ち消そうとしてるんじゃないかって思うぐらい話題に上らないし（笑）。会長、鈴木みのるvs健介はどうですか？

山口　は!?　び、微妙だよなぁ（笑）。

豪　そうですか？　コメント合戦だけでも絶対に面白くなると思いますけどね（笑）。

ガンツ　みのるも魔界倶楽部に入ればいいのになぁ（笑）。

俺は、外敵軍団の方から「プロレスをやろうよ」というイデオロギーを感じるよ（山口）

山口　俺もそう思うよ、ホント。鈴木みのるも、ぜひ魔界倶楽部に入ってほしい（笑）。健介vs鈴木みのるにしてもさ、いま熱くなってるのはパンクラス側でしょ。「絶対、新日本でもパンクラスルールをやる」って。でも、パンクラスだけじゃイデオロギーにならないんだよね。

豪　それも新日本の取締役の川村さんが「健介にはまだ言ってませんが、ガチンコでやらせます！」って言えば、それで済むと思うんですよね（笑）。

山口　ガハハハ！　パンクラスルールなんて小賢しいこと言わないで「すべてガチンコ」って言えばいいんだもんね。「ガチンコか？　プロレスか？」というのはイデオロギー闘争になるなぁ（笑）。

豪　パンクラスルールとか言われても何を意味するのかわかりづらいんだから、川村さんが「ガチンコでやらせます！」と一言いえばスッキリするんですよ。魔界倶楽部にしても、そうしちゃえばいいんですよね。川村さんのガチンコ要求に対して、魔界の選手がセコンドの星野勘太郎に「やっちゃっていいんですか、星野さん！」って聞いたりして（笑）。

ささきぃ　魔界倶楽部の名前でガチンコやるのはカッコいいですよね（笑）。

山口　勘太郎さんなんて、ガチンコってイメージを背負ってるもんね。あくまでもイメージだけど。

ガンツ　ビジュアルからしても、川村社長と勘太郎って何かダブりますからね。

山口　2人とも火の玉小僧って感じだもんね。だから、猪木軍団の定義は、理想として「ガチンコにでもホイホイ出て行くプロレスラー」ってことでしょ。この「ホイホイ」っていうのが肝心なんだけど（笑）。〝外敵〟も魔界倶楽部も一つの猪木軍団だって捉えればさ、やっぱり「ガチンコにホイホイ出て行くヤッら」がプロレスに向き合ってどういうイデオロギー抗争を作るのかを考えるのは楽しいよね。〝プロレス回帰現象〟っていうのは、とどのつまり、プロレスを考えることだから。

豪　でも、どんどんこういうナントカ倶楽部作りたいですね。マサ斉藤の獄門倶楽部とか、ケンカがやたら強そうな人をドンドン集めて（笑）。

チョロ　全部、喋っちゃう人を集めるピーターの流血魔術倶楽部とか（笑）。

ささきぃ　代表者の顔がちゃんと見えるのはいいですね（笑）。

豪　そういえば、インディーで魔界ネタにしてる人っていなかったっけ？

ガンツ　DDTに蛇界はいますけどね。

豪　ああ、DDTは絶対に蛇界倶楽部作るだろうね（笑）。

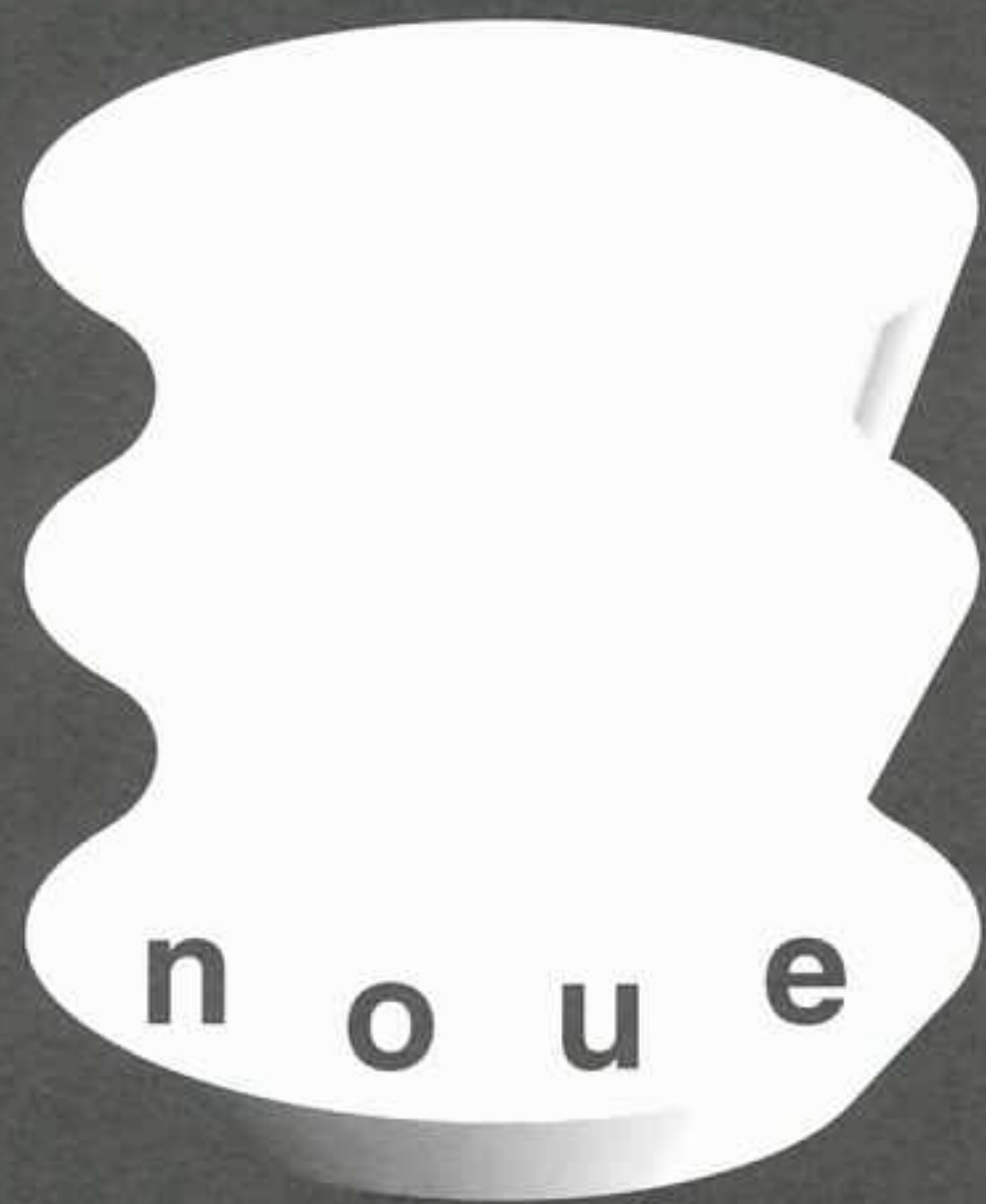
チョロ　これこそ、まさしく〝プロレス怪奇現象〟ですね。ウヒャウヒャ！

山口　……（冷静に）オマエは人間として、キチンと回帰したほうがいいよ！

【02年8月13日／編集部にて収録・敬称略】

星野勘太郎をリーダーに、『LEGEND』の裏で開催された新日広島大会で出現した魔界倶楽部。アントン総帥の近衛兵を名乗る“平成の海賊亡霊”である。

プロレスマスコミの哲人
元・週刊ファイト編集長
井上義啓氏
（通称＝I編集長）
狂乱のマット界時事批評

喫茶店トーク

Inoue MODE

—さて、井上さん。今日は8・8『LEGEND』のお話です。観客動員数がドームの過去最低だったり、大会2日前に猪木さんが「タイソンが来る！」と発表してやっぱり来なかったり（笑）、いろいろな意味で伝説を残してしまったわけですけれど、井上さんはあの大会をどのようにご覧になりましたか？

井上　ハッキリ言って、タイソンが来ないなんてのは最初からわかっとりましたよ。アレで来ると思った人はよっぽどおめでたい！

—おめでたいですか（笑）。

井上　そうですよ。だいたい、だいぶ前にも猪木が「タイソンが来て試合をやりますんで」とか言ったわな。

—人生のホームレス初登場のときですね。

井上　あの時だって来るわけがないんだよ！　だから今回もそれと同じ事でね、タイソンが来なかったからどうとか、ワースト記録がどうとかね、これはハッキリ言って初めからわかっていた約束事なんだから！（キッパリ）。

—いつものお約束でしたか（笑）。

井上　だからもう8・8がどうだったとか、こうだったとか言うよりも、来年の手配をいまからしろと！

—あ、もう来年の話（笑）。

井上　来年の2月に猪木の還暦マッチをやるとか何とか言って一部で騒いどるだろう。ただ、はたして日テレがやるかどうかと言ったらそんな事、一言も言うてないからね。

—川村社長が言ってるだけですもんね（笑）。

井上　視聴率10％じゃ日テレの上層部に企画書が通るとは思えんのよ。だからこれは実現するかどうかわからんけども、とにかく来年の手配をいまからやれということは、自力でスターを作れということですよ。8・8でも長州だとかね、既成の客寄せパンダを呼ぼうとしただろう？

—一時は大仁田参戦の噂までありましたからね（笑）。

井上　片一方ではガチンコだ、片一方では客を呼ぶためには長州だと言ってね、長州の相手に藤田を持ってきたところで、藤田が純プロレスで合わせてやるっていうことはできないからね。必ず藤田が勝ちに出るでしょう。勝ちに出た時に長州がそれを受けるのかどうか？　受けるわけないわな！

—でしょうねぇ。

井上　だから言うちゃ悪いけど、やっぱりわかってない！　日本テレビも長いこと馬場プロレスを放送しとったからね、あれと同じ感覚で8・8にも臨んどるんだ。

—ガチンコだけど、馬場プロレスの感覚ですか。そりゃ、もの凄いズレが生じますよね（笑）。

井上　だから日テレもプロレス中継をやっていた連中を全部外して、全然違う連中を連れてきて「さぁ、やりなさい！」とやれば、ああいうことにはならなかったと思うんだよな。だから俺が何遍も言うてるけど、目の前にあるものを叩き潰せと！「裏原宿プロレス」と言ったのはそれなんだな！

—裏原宿プロレスは、そういう意味でしたか！

井上　そうですよ！　とにかく目の前にあるものを何にも考えずに叩き潰せ！　と。叩きつぶした上で、もし来年やるんだとたら自力でスターを作れと。K-1なんか見てると実際、全然既成のスターなんて考えてないだろう？　出てきたヤツが次のスターになってるんだから。

—マーク・ハントなんて無名もいいとこでしたからね。

井上　これをプロレス界も見習わなければならないというか、それが当たり前だっていう感覚にならんとダメなんだよ！　プロレスでは少なくとも10年やらんとスターにさせないと思ってるけど、ドーンとやったらいいんですよ。何のためにロサンゼルスに道場なんかあるんだよ！　あれはスター作りのための道場だろうと思ったのに、全然その気配がない！（ドンッ）

—出てきたのがマティシェンコじゃ話になりませんよね（笑）。

井上　何か知らんけど猪木がやってることが、最近俺にはわからなくなってきたよ！

—井上さんにもわかりませんか！

井上　わからん！（キッパリ）。だから、もう『PRIDE』やK-1の力を借りることができないんだから、自分の力でやるということですよ。そこに長州やヒクソンを持ってきたってねぇ、ヒクソンなんてもう観客動員力を持ってませんよ！　この前の8・8を見ててね、これはもうヒクソンはダメだなと思ったね。場内の反応だととてもダメだと。

—思いのほか歓声がなかったですもんね。

井上　だから猪木とヒクソンが並んどる時なんか、とっくの昔の10年か15年前に引退した背広を着たおっさん同士が並んでる印象を受けたか

『LEGEND』とは何か？ そして、NWFとは何か？

暑い夜には、熱いインタビューがよく似合う。というわけで、今回も燃えに燃えるI編集長の喫茶店トーク。今回のお題は、話題だけはたっぷりの8・8『LEGEND』と、突如復活した猪木ゆかりの「NWFヘビー級王座復活」です。言うちゃ悪いけど、今月も熱いです！

聞き手／堀江ガンツ

らね。そういった事はキーンと感じるんですよ。

――キーンと感じましたか（笑）。

井上　ただ、ヒクソンは小川とやる気になったんじゃないかと思う。というのはヒクソンが「小川は素晴らしいレスラーだ」と言って褒めとるんだよな。

――突然おべんちゃらを言い出しましたね（笑）。

井上　あれはどういうことかと言ったら、「グッドテ～イスト！」ということですよ。

――小川は美味しいぞ、と。

井上　そう、ノゲイラと違って小川だったら勝てると、そう踏んだんだろうな。ところが新聞はそれを額面通り受け取って、「ヒクソンは『小川は素晴らしい』と賛辞をおくった」とか書いとるんだよな、何を考えてるんだって！　ヒクソンが来たのは次の試合をやるために来たのであって、小川とノゲイラを見に来たわけですよ。でもノゲイラはとてもじゃないけどダメだと、俺はそう思ったと思うね。

――小川にとってはかなり不名誉ですね、これは。

井上　やっぱりこの間の試合を見てもノゲイラっていうのは凄いわ！　だからヒクソンはノゲイラを相手にはできないと。しかし小川だったら何とかなるんじゃないかと。たとえ小川とやって負けてもね、ヒクソンはいいんですよ。次をやろうとは思ってないからね。負けたら負けたではいおしまいよと。勝ったら次もやりますよと。

――最後の一稼ぎですね。

井上　勝っても負けてもどうってことないわけですよヒクソンは。腹は括ってるんだから。問題はヒクソンにどれだけの金を積むかっていうことですよ！

――一説には6億とも言われてますからね。

井上　それは鵜呑みにできんけど、少なくとも1億5000万は要求してくるだろうな、あの男は！　だから『LEGEND』を次回もやるとすれば、その金額を払えるかだな。

――なるほど、わかりました。ところでこれは『LEGEND』とは関係ありませんけど、新日本でNWF王座が復活します。これについてはどう思いますか？

井上　やっぱり思い入れがあるだけにね、ああいうことはして欲しくなかったな。NWFヘビー級すなわちアントニオ猪木であり、アントニオ猪木すなわちNWFヘビー級なんですよ！　だからこのファンの思いを大切にして欲しいと。これが全然わかってない！

――なぜ、いまNWF？　とは誰もが思いますよね。

井上　とにかく「プロレスそのものがわかってないんじゃないの？」って言いたいですよ。一体猪木って何だったんだ？って。猪木っていうのはNWFヘビー級そのものじゃなかったんですか、と。俺はIWGPは猪木とは全然関係ないと思ってるから！（キッパリ）。NWFヘビー級っていうのは、猪木があそこまで血と汗と涙で防衛していって、あのベルトを本物にしたんだから。これはもうそのままでほっておいてくれと！　何でそんなもん出すんだと！　猪木一代という感覚がお前らにはないのかと！　あれを聞いた時は俺は泣けたよホント！

――泣きましたか！

井上　俺は何のために「NWFヘビー級の猪木」って書いてきたんだろう、と。そう思ったもんな！　俺は思ったよ。NWFのベルトの上に紙を貼ってね、絵の具で何かなぞったなと！　そんなことをせずに、新しいものを自分たちで作りだせと、俺はいいたいんだよ！（ドンッ）

――わかりました！　では次号もよろしくお願いします！

いのうえ・よしひろ■1934年岡山県出身。『週刊ファイト』の編集長を長く務めた、「活字プロレス」と呼ばれるジャンルの創始者。ターザン、GK、ケンファー佐藤等、プロレスマスコミでI編集長に影響を受けた人間は数知れない。

紙の新聞

●マット界の1ヶ月丸わかり●

編集長(?)/堀江ガンツ
文/ジャン&ささきぃ

7/19 ↓ 8/16

ビバ、佐伯社長！　これまで数々の仰天カードで我々を驚かせ、喜ばせ、呆れさせてきたDEEP佐伯社長が、その集大成とも言えるぶっ飛びカードをズラリと揃えた9・7有明コロシアム。まさか偽造王・一宮まで出るとは……。というわけで、まだまだたくさんある一宮の偽造歴をお蔵出し公開します!!

7/26

【プロレスリング・ノア】
代々木第２体育館

ボンちゃんの浅子引退試合観戦記

ピュアハート、ピュアレスリングこと元本誌編集部の片山ぼんちゃんから、ノア観戦記が届いたのでご紹介します。「この日行われた浅子引退興行は文句ナシに素晴らしかった。お金がかかっているでもなく、派手な演出があるでもなく、ささやかだけれど気持ちのこもったノアお手製引退興行だった。華を添えてくれた特別なテーマ曲、コスチューム、パートナー、対戦相手、技、ゆかりの人……どれをとっても完璧だったし、何よりそれを包み込むファンのムードも良かった。これだけのお膳立ての中、浅子本人は相当なプレッシャーなんだろうと思っていたが、最後の最後に生涯ベストバウトと思えるファイトをみせてくれた。大好き過ぎるプロレスで燃え尽きなければならない自分との闘いに浅子は苦楽をともにしてきた最愛のパートナーSDAで打ち勝てたと思う。（片山ボン）」

7/28

【ZERO－ONE】
ディファ有明

横井、まさかのシングル初黒星！

リングス時代からデビュー以来シングル戦負けなしの横井が、まさか・まさかの初黒星！　相手は……スティーブ・コリノ!!　試合は「コリノ、イチバ～ン!!」と叫ぶコリノが、絶妙のタイミングで横井の前蹴りを受けて吹っ飛ばされ、愛息コービーの見守る中サンドバック状態に。だがコリノは、コーナーでブレイクを命じられた横井のスキをついて急所攻撃を一撃！　ロープに足をかけての高速3カウントで勝利を奪った。試合後コリノは脱兎のごとく走り去り、後輩・横井の初黒星を、TKが客席で苦笑しつつ見守っていた。怪物・横井を破ったコリノ、次は小川直也戦か!?

7/24

【新日本プロレス】

ドラゴンが安田にエール

G1出場権を奪われた上、鼻骨まで折られるという災難に見舞われたドラゴン。さぞかし、いまごろ逆うらみをして得意の（？）の呪術で憎き安田を呪っていることと思いきや、意外なことに呪い殺すどころか逆に「安田の戦う姿勢は、新日本の選手も見習うべき部分がある。こうなったからには優勝してもらいたい」とエールを送り、「新日本にとっても引き締めになっただろう」と、自らの大流血負けを正当化。さらに「一番大きな壁を越えたんだからもう怖いものはないでしょう」と、自分を「一番大きな壁」と称するずうずうしさを見せつつ、安田の優勝に太鼓判を押した。ドラゴン、万歳！

7/22

【LEGEND】
成田空港

猪木、大胆提案連発！

今夏格闘技興行戦争の「交通整理役」を買って出たアントン総帥が、8・8「LEGEND」に、爆弾提案を連発した！　まず、ドラゴンを破り、G1との掛け持ち参戦が決まった安田忠夫について、「ジェット機チャーターして両方出たらいい」と、広島→東京ドームという前代未聞のダブルヘッダーを提案。連戦での体を心配する記者に対しては「関係ねぇよ。アイツは死ぬことを覚悟してたヤツなんだから、リングで死にゃぁいいんだよ」と、ビックリ発言。また、小川直也については、「ケンカすんなら、イベントなんかブチ壊して、日本テレビをすっ飛ばすぐらいのことをしてほしい」と過激なエールを送った。

7/19

【新日本プロレス】
きたえ～る

ドラゴン、大流血のG1落選

安田、G1出場権強奪！　「藤波と越中がG1に出れて、俺が出れないのはおかしい！」という、安田の正論により実現した藤波vs安田のG1入れ替え戦。安田は試合前オープンフィンガーグローブ着用を要求しながら、ドラゴンが片手だけ装着したところで突如奇襲！　左手一本で応戦するドラゴンの顔面に容赦なくパンチをブチ込こんで、ビックリするぐらいの大流血に追い込み、文字通り血の海に沈め、アッサリとG1出場権をものにした。それにしても誰よりもG1出場に執着しながら、超人タッグトーナメントにおけるスペシャルマン&カナディアンマン状態にされたドラゴン。もはやタチの悪い「どっきり」としか思えない。

8/5

【全日本プロレス】

武藤とグレート・モト（元子社長）合体!?

8・30「武藤プロデュース」の武道館にグレート・モト出現!?　元子社長にピンクのペイントを施して変身させる仰天プランを天才・武藤がブチ上げた！　事の発端は8・31「天龍プロデュース」武道館大会で、「天龍源一郎&小島聡組vs武藤&グレート・ムタ」という実現不可能なカードを天龍が突きつけたことに始まる。この理不尽要求に武藤は「条件付きで飲んでもいい。条件はさぁ、武藤&ムタ組じゃなくて、武藤&“グレート・モト”組だ。毒霧の吹き方ぐらいは十分伝授できる」と発言。毒霧の色はもちろん、ピンクでお願いします！

8/3

【新日本プロレス】
大阪府立体育会館

健介、ナメてて正直スマンかった

G1が、初っぱなから波乱三昧の幕開け!!　安田・蝶野の敗戦、そして高山が健介にまさかの黒星!!　メインに登場した“超大型の台風の目”高山善廣は、佐々木健介と白熱の肉弾戦。意外にも試合を制したのは、健介のノーザンライト・ボムだった！　高山は試合後、「井の中の蛙もケツを叩けば野獣に変わる。ハッキリ言って佐々木健介、ナメてたからね。ナメナメのナメすぎるくらいナメてた」と、負けても言いたい放題の上「健介流に言うと、ナメてて、正直スマンかった」と、心からの謝罪の言葉を送り、その素晴らしいコメントに皆が心で高山に拍手を送った。

8/2

【LEGEND】
日本テレビ・マイスタ

イズマイウ、吠えに吠えまくる！

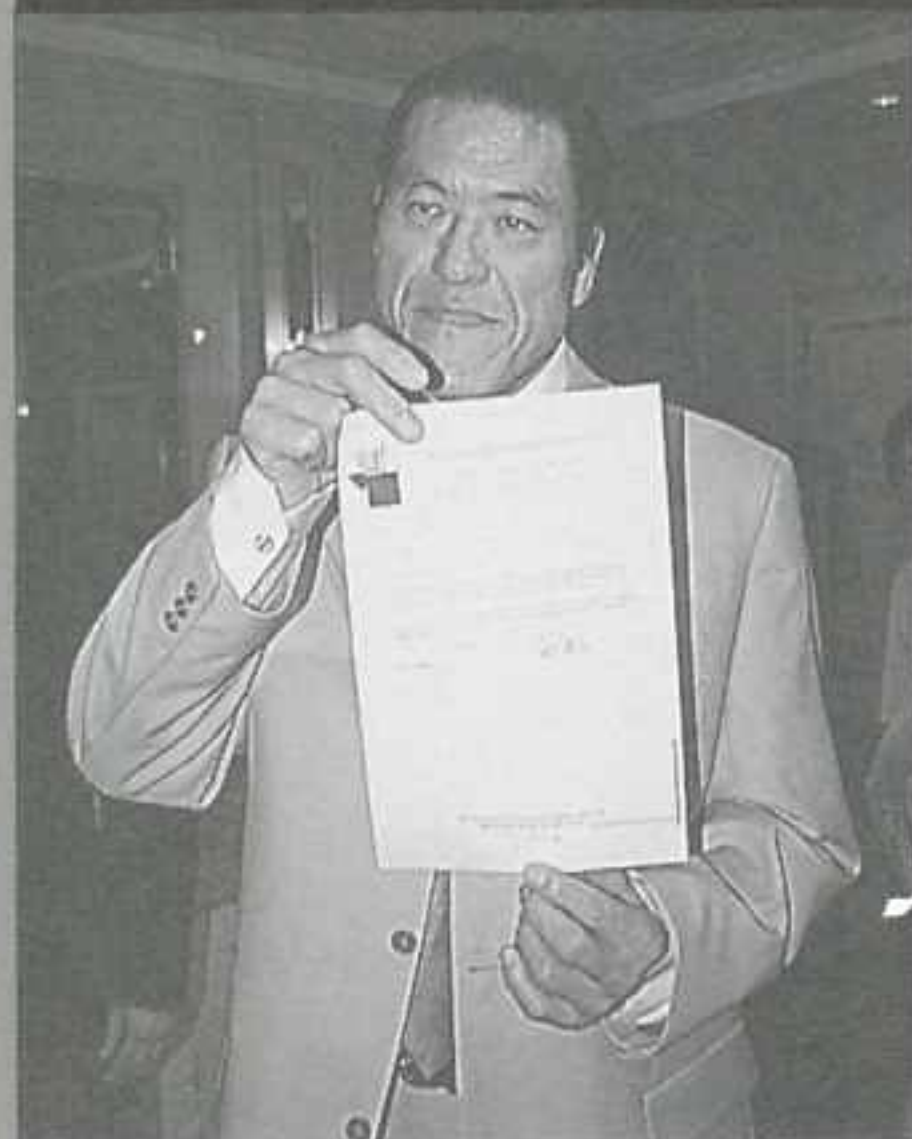
8・8『LEGEND』で村上和成と対戦するために来日した“グレイシー・ストーカー”こと、ヴァリッジ・イズマイウが、記者会見で例によって大いに吠えまくった！　まず、イズマイウは「村上がブラジルで俺の悪口を言っているのを聞いた。ヤツの居場所を教えてくれ!いますぐやってやる！」と凄まじい剣幕でまくしたて、村上のお株を奪うテロ予告！　そして「時は来た。今から空港にいって村上を襲撃しに行く！」と血走った目で吠えると、その後はお馴染み「俺は4人のグレイシーに勝った」話をいつものように大演説。しかし、いつものように新聞雑誌でちっとも記事にされないのであった。

7/31

【新日本プロレス】
新日本プロレス道場

棚橋がドラゴンに弟子入り！

悲報！　新日本プロレスの数少ない「明るい未来」として将来を嘱望される棚橋が、G1初出場を前にして、よりによって「自称・G1の一番大きな壁」こと、ドラゴン藤波社長に弟子入りしてしまった！　ドラゴンから直々に往年のドラゴン殺法を伝授された棚橋は、真夏の猛暑の中練習したせいか「マッチョ・ドラゴンになる。テーマ曲も復活させたい」と仰天発言！　このままでは、雪崩式リングイン、藤波式呼吸法、「三つ入った!?」のポーズ、城めぐり、エプロンサイドでお尻ぺろん、「こんな会社辞めてやる」発言まで伝承しかねない状況となってしまった。どうする!?新日本プロレス！

8/6

【LEGEND】
リーガロイヤルホテル

アントン断言「タイソンが来る！」

アントン総帥が、マイク・タイソンの『LEGEND』招へいを大発表ッ!!　誰も信じていなかったタイソンの来場が、急展開で正式発表!!「日本に来るというファクスが、ここに来る5分前に届きました」。「ザマァ見ろ!!」とばかりに、ファクスを掲げてご満悦のアントン総帥。しかし、翌日にはやっぱり来日中止。さすがに今回はアントン総帥もへこんだかと思われたが、8日当日にはゴシップ紙のニュースを手に「事件のせいで来れなかった。オレもたまには本当のことを言うんですよ」とブチかました。アントン&タイソン劇場には、これからも期待大である。

8/4

【新日本プロレス】
大阪府立体育会館

棚橋、「ドラゴン殺法」で健介を破る！

ドラゴン、棚橋に飛龍伝承!……という新日本の未来を担う若者を潰す飛龍革命が勃発した！　ところはG1開幕直前の新日本道場。G-1初出陣の若武者に「後はお前の力量次第。この技を進化させてものにしろ！」と、鬼の形相でドラゴン殺法を指導した藤波社長。そのかいあってか棚橋は、G-1初戦で越中に首固めで大勝利し、大一番で相手を丸め込むドラゴンイズムを受け継いでみせた。肝心のドラゴン・スープレックスは構えだけで繰り出さなかった棚橋だが、それもモーションだけで絶対出さない藤波社長の魂を受け継いでいるからに違いない。

【ZERO−ONE】
大分県立荷揚町体育館

大谷、金村に3秒でフォール勝ち！

大谷、プロレス史上最短勝利!!　相手は試合前「優勝なんてどうでもいい！大谷を潰す!!」とマイクで宣言した金村キンタロー。意気込む金村は入場してきた大谷を急襲。大谷は、お返しとばかりに突き刺すようなスワンダイブ式ミサイルキック。ここで試合開始を告げるゴング、そして、その直後に炸裂したドラゴン・スープレックス一発で、大谷がフォール勝ち!!　その時間、わずか3秒!!!!!!　『火祭り』2連覇を目指す大谷の執念が、金村を上回る結果となった。この勝利で大谷は『火祭り』優勝決定戦進出に希望をつなぎ、見事東スポの一面もゲット。おめでとう大谷！

【ZERO−ONE】
後楽園ホール

小笠原&橋本の“新OH砲”初登場！

小笠原&破壊王の“新OH砲”+崔リョウジが、ガイジントリオと対戦！　小笠原は巨大なガイジン勢にも臆するところなく大ハッスル。途中、小笠原が出した顔面直撃ハイキックに、明らかにマジギレしたトム・ハワードが、超高速タックルで小笠原をブチ倒し、馬乗りになってタコ殴りにするというショッキングなシーンもあったが、最後は破壊王が相当強引にジョーにDDTをきめて勝利。そして「行けーッ、崔ー!!」と破壊王のゲキを受けながらガイジン勢にやられまくっていた崔リョウジが、この日の夜肺血栓で緊急入院!!　さまざまな意味で、近年まれに見ないドキドキするプロレスとなった。

8/16

ロフトプラスワン

葛西純、「リキ・ナガシマ企画」に入社?

「永島のオヤジ」こと、元新日本プロレス宣伝企画部長・永島勝司氏が遂に動き出した! この日、オヤジはZERO－ONE大谷晋二郎とトークショーを行い、この席で長州力新団体設立のための会社「リキナガシマ企画」を設立したことを明らかにし、「長州とともにやっていきます。いろんな人の協力を得て、10月くらいに発表したい」と遂に長州との動きに着いて明言した。また、このトークショーのお茶くみ係りとして大日本を退団した葛西純がなぜか、裸にエプロン姿で登場。さっそく「リキナガシマ企画」入社を勝手に宣言していた。

8/12

【新日本プロレス】

アントン、なぜかヒクソン批判

「ヒクソンvs小川は実現しねえんです!」。恒例の成田会見で、アントン総帥がズバリ断言! ガ然対決への機運が高まってきた小川vsヒクソンの夢の一戦を、「実現は難しいでしょう」と粉々に打ち砕いた!! 同じ"ソン"でもタイソンにしか興味がないらしいアントン総帥は、ヒクソンを「もうかつてのオーラがない」とバッサリ! 続けて「"400戦無敗"と聞いていたが、"450戦無敗"となっている。そんないい加減なことじゃ伝説は創れねえというか」と、ヒクソンのプロフィールに難癖をつけた……って、遅いよ、アントン! 2年前から変わってます!

8/11

【闘龍門・T2P】
ディファ有明

マグナムがマスコミを痛烈批判!

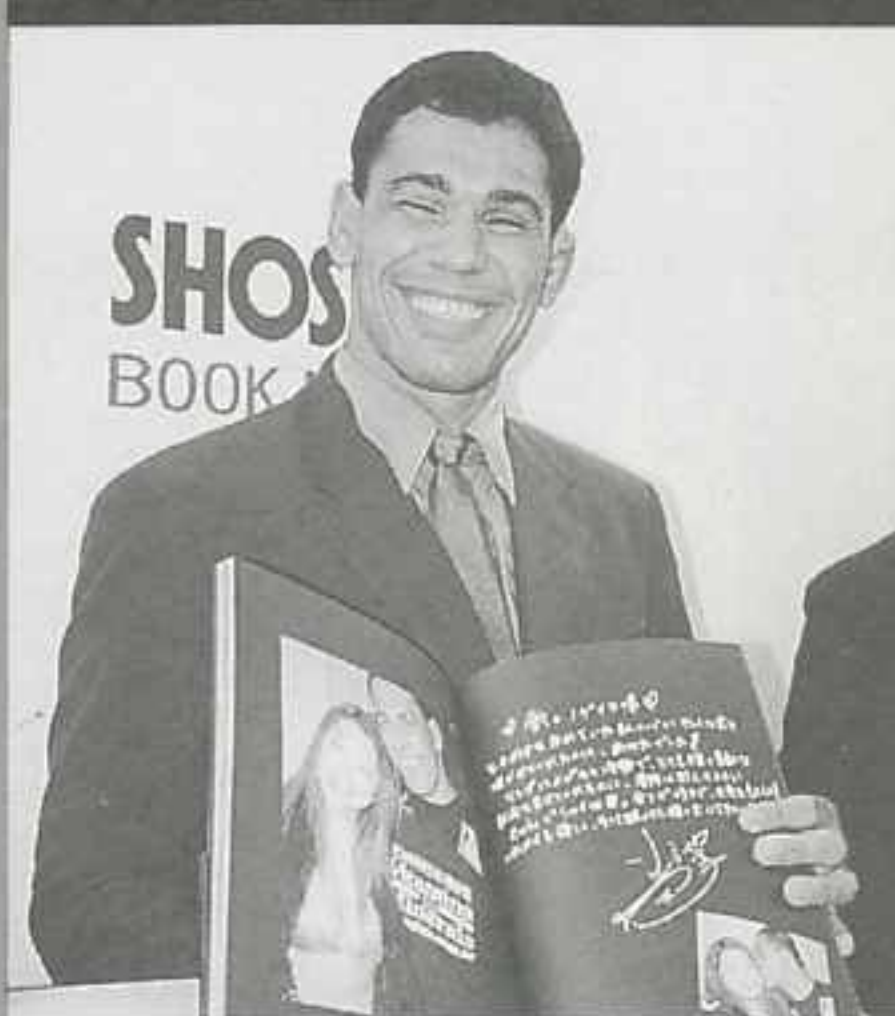
闘龍門が、プロレス界にキバを向いた!? 両国国技館では新日本プロレスがG1決勝戦を行っているこの日、闘龍門のマグナムTOKYOがマイクで大マスコミ批判!! 週プロ愛モードプレゼンツとして行われた、「闘龍門最弱決定トーナメント」の"決敗戦"しゃちほこマシーン参号&四号vsストーカー市川がの試合中、マグナムTOKYO率いるM2K勢が試合に乱入!! ストーカーと、鯱魔神4匹をメタメタにし、「最弱」とはいえトーナメントをブチ壊したマグナムは、堂々とマスコミ批判の言葉を語り上げた!!「オマエら、こんなの見て面白えのかよ。なんだよ最弱トーナメントってよ。だいたい、こんなくだらねぇ企画したの週プロ愛モードだろ。オマエら(観客)に聞きてぇことがあるんだよ。闘龍門、T2P。雑誌の扱いどう思ってんだよ。週プロ、週ゴン。テメェらマスコミいったい何だっていうんだよ。今日、この近所でどっかの団体がおっきい大会やってるそうじゃねぇか。客は入ってねぇし、つまんねぇらしいぞ。それなのに週プロ、ゴング、オメェらアホか? どっちが面白ぇと思ってるんだおい。それなのにくだらねぇ企画しやがって」。媒体名を具体的に上げた批判だけでなく、この日行われた"おっきい大会"にまでキバを向いたマグナムのマイクに観客は騒然。その反応を楽しむかのように、マグナムはさらにマイクを続けた!!「オマエらマスコミがメジャーだとかインディーだとか勝手な言葉作りやがって、媚び売りやがってよ。週刊プロレス編集長連れてこい、この野郎!! 1回くらい表紙にしてみろ、バーカ!! プロレス界をダメにしてるのは、このマスコミだよ。メジャーだとかインディーだとか、やってることは同じだろ!!」。まさに、掟破りなマグナムのマイク。現場では具体的な記者の名前まで挙げられていた。ディファ有明に集まった観客は大歓声&大拍手。G1決勝戦と同じ日、同じ東京でありながら、昼夜とも超満員の観客を集めた闘龍門が、いよいよ、"対プロレス&プロレスマスコミ"に向けて宣戦布告か!? 今後の展開は、闘龍門ファンならずとも、大注目だ!!

闘龍門9・8有明 3時間生中継決定!!

地方のファンに朗報! 闘龍門最大のビッグマッチ、9・8有明コロシアム大会が、CS放送「GAORA」にて3時間完全独占生中継されることが決定した!

9・8有明コロシアム大会放送日時
9月8日(日) PM3:00～PM7:00

問GAORA 0570-000-302
(平日10:00～18:00)

8/10

【LEGEND】
書泉ブックマート

ブラジリアン・トップチーム写真集発売!

本誌前号で既報の通り、あのノゲイラ兄弟、マリオ・スペーヒーらブラジリアン・トップチームの写真集が発売(ブックマン社刊・税込み3,500円)。それを記念して、お馴染み書泉ブックマートでノゲイラとマリオのサイン会が行われ、200人近いファンが集まる盛況ぶりだった。それにしても"世界最強の農夫"、"闘う吉田君のお父さん"の異名をほしいままにするほど素朴な風貌をしたノゲイラが写真集を出すとは驚きだ。そしてなんと言っても、特別付録としてノゲイラ、マリオ、猪木、小川直也、そして川村社長という奇跡の5ショットポスターがついているのだからもっと驚き。これは買わずにはいられないだろう。

番外

【NHK】

ユリオカ超特Qがドラゴンネタで NHK出演!

ドラゴン藤波社長や竹内宏介ゴング発行人のモノマネで本誌読者にはお馴染み、ユリオカ超特急が、8月31日深夜0時から放送の『爆笑ONAIRバトル』に出演。なんと全編ドラゴンネタでの登場という奇跡の放送が実現することとなった! これについて当のユリオカさんに話を聞くと「ドラゴンネタしかやらなかったからカットのされようがない。藤波さんがG1に出れなかった無念をボクが晴らします!」と前髪を切りながら訴えてくれた。飛龍伝承をはたしたのは棚橋だけでなく、ここにもいたのだ!当日は全日・武道館かゼロワン後楽園を見てから、夜はNHKでドラゴンのモノマネを見よう!

8/15

【全日本女子プロレス】

元ミゼット王者フランキーさん急死

ミゼットの鉄人、急死! 全日本女子プロレス所属のミゼットレスラー、リトル・フランキーさん(本名・岡本政信さん)が、都内の全日本女子プロレス寮で死亡しているところをスタッフによって発見された。享年44歳。リトル・フランキーさんは1976年にデビューし、身長112センチの体で「ミゼットレスラー」として活躍。95年6月にはWWWA世界統一ミゼット王者にも輝いた。一説によれば、鉄人ルー・テーズの936連勝をはるかに超える連勝記録を持つとも言われていた。体調不良の理由で、約1年程は試合を休んでいた。謹んでご冥福をお祈りします。

8/11

【新日本プロレス】
両国国技館

魔界倶楽部、Xの正体は柳澤だった!!

アントン総帥の近衛兵を名乗り、星野勘太郎をリーダーに新日本に出没した謎の覆面集団「プロレス結社 魔界倶楽部」! 広島大会で蝶野をKOした長身マスクマンが安田とのタッグで両国国技館にも出現し、中西&成瀬と対戦したが、試合前におもむろに覆面を脱いだからモウ大変。な、なんと中から現れたのは元パンクラスの柳澤龍志! 試合は「魔界倶楽部」の怪勝に終わり、柳澤が「大革命がおきます!」と吠えれば、星野が「俺たちの魂を見せてやる」と、魂やら革命やらコミック的な軍団名とは裏腹なパッションをみせたのであった。魔界倶楽部、最高! いき魔すかーッ!

“これがポーゴ様の“夏”だーッ!!

不定期連載

暗黒通信 Vol.2

男なら、やっぱりポーゴ様! というわけで、今回は7月20日に行われたWWS本庄グランドホテル大会の模様と、順調に進行中のポーゴ様の伊勢崎暗黒街計画の活動内容を報告します! この夏もポーゴ様は熱かった!(※ちなみにポーゴ様本人の希望により素顔の写真には目線を入れさせてもらいました)

協力／スペル・テポドン2号

なんと、自らキャットファイトのレフェリーをかってでたポーゴ様 試合タイトルは「究極のエロ世界デスマッチ・勃起したらラーメンマンの負け、全裸になったら梅宮の負け」 凄ぇ!

大会後、伊勢崎暗黒街計画に賛同したモンゴル率いるCPEと合同ミーティングを行ったポーゴ様 「これで伊勢崎か暗黒街になるのも5万年は早まったな」と満足げ 5万年かよ!

伊勢崎を暗黒街に変えてやろうと日々たくらんでいるポーゴ様は、なんと伊勢崎美茂呂町の祭典委員だった!(事実) 内部に潜り込んでのスパイ活動ということなのだろう、きっと 美茂呂町で行われたお祭りに自ら出店したポーゴ様は、1回千円の超高級ポーゴカチャカチャやポーゴTシャツ、さらには何故か、くまのプーさんのぬいぐるみを並べ、伊勢崎のチビッコを洗脳!?

「ポーゴ様『魚民』で大乱闘!?」の巻

M いやぁ～、WWSの本庄大会は凄かったなぁ。行かなかったヤツは一生後悔するぞ!

S 何がそんなに凄かったんだよ!

M 今回の会場はポーゴ様のお膝元、本庄のグランドホテルっていう凄く立派なところだったんだけど、行ってビックリ、その中のビアガーデンでプロレスやっちゃったんだよ!

S ビアガーデンでプロレスってDDTが散々やってるよ! ちっともビックリしねえよ!!

M ……あ、そうなの? でも、これを聞いたらビックリするよ、マジで! あのポーゴ様がキャットファイトとコラボしたんだよ!

S キャットファイトはターザン後藤のとこでもやってるよ! それに、何でもかんでもコラボって使えばいいってもんじゃねえよ!!

M ……あ、そうなの? じゃあ、もういいや。行けば、オッパイ見れたんだけどなぁ。

S なにッ、オッパイ!? それ早く言えよ!

M あ、それでいいんだ(笑)。その前に1試合目も凄かったんだよ! WWSの若手のサモアン櫻井が戸井(克成)ちゃんと闘ったんだけど、その試合のタイトルが聞いてビックリ「サモアン櫻井試練の一万番勝負」!

S それは凄えな。サモアン櫻井っていうリングネームもさすがポーゴって感じだけど。

M サモア・ジョーもビックリだよ!

S いや、今はキング・ジョーだよ。破壊王のセンスもポーゴ級だけど(笑)。それに、よく考えたら今のWWSの興行ペースじゃ百年経っても一万番勝負は終わらねえだろ! そ、そんなことよりオッパイはどうだった?

M それは忘れたけど、メインのポーゴ様の試合は会場の外、しかも「魚民」にまで雪崩れ込んじゃって大騒動だったんだよ!

S 「魚民」って居酒屋だろ。どうしたの?

M 「魚民」の店員が「お客様は何名様ですか?」って冷静に言ったらしいんだよ。さすがのポーゴ様も困って「(対戦相手の)ウルフと、あと客がいっぱい付いてきてるから、何名かわかんねえよ! もう帰る」だって(笑)。

CAT FIGHT WORLD

第20回

「プロスタイルのキャットファイトの魅力について」

『バトルビデオ』企画製作部・担当 木根さん

キャットファイトの知られざる世界をお伝えする『CAT FIGHT WORLD』。今回は、興奮必至のビデオを作製中の『バトルビデオ』木根さんにお話を伺いました

関節技と愛撫のダブルインパクト！ プロスタイルは必見！ ヴァーッ！

—今回は、プロスタイル・バトル……の魅力ですか？

木根 そうですね。プロスタイルです。

—それはつまりプロレス？

木根 近いです。プロスタイルのキャットファイトです。

—ああ、また頭の中でこんがらがりそうですよ。

木根 ワハハハ！ まあ、簡単に言えば、プロレス風キャットファイトですよ。

—プロレス風のですか？ まったくわかりません（笑）。

木根 だから、シロウト女性の取っ組み合い風キャットファイトがあったり、独自のルールで女の子が戦うキャットファイトがあったりと。その流れの中の一つ、プロレス風キャットファイトです。

—もちろん、女子プロレスとは違うんですよね。

木根 と、当然ですよ！ シロウトのカワイイ女の子がプロレス風のファイトを繰り広げるんです。技が稚拙だったりしますが、その辺りもキャットファイトの魅力の一つかと。

—プロスタイルなんですから、キチンとやって欲しいもんですが……。

木根 プロレス風のキャットファイトを演出していっているんですよ。シチュエーションを楽しんでください、と。そんな感じです。

—なるほど！ じゃあ、試合最中にライバルレスラーが乱入してきて……。

木根 ありません！（笑）。まだ1巻しか発売されてないんですよ。現在2巻を製作中ですが。え〜と、そう、技！

技にはこだわりました。というか、技がすべてです。

—技がすべてなんですか？

木根 やっぱりプロレスのハイレベルな技なんて、シロウトが簡単には使えないでしょう。その辺りの技を重点的に練習してもらって、全編に渡って散りばめれるんですよ。

—ほうほう、なるほど。

木根 で、キャットファイト的要素……と言っていいのかな？ その要素を強くするために、関節技を重視に撮影しました。

—それは、やっぱりキャットファイトファンは関節技ファンが多いってことですね？

木根 打撃や投げ技だと、なかなか苦悶の表情って分かりにくいじゃないですか。もちろん、打撃技もありますけどね。

—キャットファイト＝関節技ってイメージがあるんですよね。

木根 特に決まりごとってわけじゃないんですが、表情が見たいからなのかな〜？ 海外のキャットファイトビデオには、投げ技や打撃技もあるんですけどね。

—前に海外では女子プロレスもキャットファイトと認識するところがあるって、お話されてましたよね？

木根 そうですね。女子プロレスなんでしょう。きっと。でも、逆に女子プロレスじゃ表現できないような、お色気要素満載ですよ。このシリーズは。

—おお、お色気、遂にきましたか!?

木根 はい、まず水着を剥いじゃったりします（笑）。

—おおお！

木根 関節技を仕掛けながら、愛撫攻撃もしちゃいます。

—おおおお！ ……それは、単なるサービスシーンですね……。

木根 いえ、違いますよ！ 闘っている相手に感じさせられたら、屈辱的でしょう!?

—そ、そういうものですかね……。

木根 あと、敗者には屈辱的なお仕置きがあります。

—屈辱的なお仕置きですか!?

木根 敗者は全裸にされ、勝者にひたすら関節技拷問をかけられてしまうのです！

—おおおおお、エロイ！ それは、エロイです！

木根 フフフ！ でしょう？（笑） 勝負に負けた上に、拷問ですよ。勝者が満足するまで、拷問は続けられます。

—その辺り、まさにキャットファイトですね〜！

木根 プロスタイルのキャットファイト、プロレス好きの人からキャットファイト好きの人まで、是非見て頂きたい一本です!!

今月のオススメビデオ

■バトルオリジナル「プロスタイルバトル」
価格¥8000

NO.01

完全プロレス対決！ プロレス闇社会の女王として君臨している端江あいに対して同じく同好会の永美音華が激しく挑戦！ 「もうアンタの時代は終わったんだよ」と挑発する華に「公開処刑」だと言い返すあい。試合は力比べから始まり、本当に様々な技が飛び出します。決着後、敗者はカメラの前で全裸にされ、悶絶の関節技の刑に処されてしまう！

■バトルオリジナル「プロスタイルバトル」
価格¥8000

NO.02

1人の男性を巡って、姉妹喧嘩が勃発！ 姉の鮎川ともみは自称プロレスラー！ 全てにおいて自分が有利だと、自信満々。対する妹のいずみも、控えめな印象ながら、「お姉ちゃんにあの男は似合わない！」と、その瞳の奥に闘志をメラメラとたぎらせている。2人の壮絶なるプロレススタイルバトル！ 果たして妹いずみは、姉ともみを超えられるのか!?

昭和の歴史に新たな事実!!
エースは鶴田！　藤波、高見山も参戦！
10億円の資金をもとに、馬場・猪木に引退を迫る！

幻のマット界統一構想

聞き手／吉田豪　構成／ジャン斉藤
designed by matsu［Two three］

馬場の側近が図った前代未聞の大計画！
元祖・タイガーマスク、AV出演の秘話も告白！

サムソン・クツワダ

CAT FIGHT WORLD

日本プロレス、全日本プロレスと、常にジャイアント馬場の傍に寄り添っていた男、サムソン・クツワダ。190センチ、120キロの恵まれた巨体と相撲で培った根性で、馬場に次ぐ大型レスラーとして初期の全日本プロレスで活躍をしていたが、昭和52年に謎の引退。神秘のベールに包まれていたレスラー人生のステキすぎるエピソードは、クツワダの甥が作成するホームページにて数多く綴られているが、今回引退から25年振りに誌面に登場することになった。幻の第四団体計画からAV出演、そしてジャイアント馬場への想い……。長らく登場が待たれた元祖・タイガーマスクが、濃密な人生をとうとうと語る。

クツワダ （テーブルにつくなり突然喋り出し）要はね、ボクのプロレス人生は……。

クツワダ甥 （遮って）ちょ、ちょっと、まだインタビューは始まってないよ!?

クツワダ ああ、そうか。じゃあ、写真から撮るか!?

——ダハハハ！ いいです。早速、始めましょう（笑）。実はボク、クツワダさんのレコードを2枚持ってるんですよ。

クツワダ （照れながら）ああ、そうですか（笑）。プロレスラーで初めて全国発売のレコード出したのは、ボクなんだよね。

——それまで、馬場さんが非売品のソノシートを出してたぐらいですからね。そもそも、どういう経緯で出されたんですか？

クツワダ ボクは全日本プロレスで下請けをやっていたからね。その関係からですよ。

——下請けというと？

クツワダ サムソン・クツワダ事務所というね、興行会社をやっていたんですよ。

——ああ、現役当時からプロモーターもやられていたわけですね。

クツワダ それで、興行をやること以外に歌手を育ててみたいという夢があったんですよ。

——歌手育成の夢ですか（笑）。

クツワダ そうなんだよ。ボクの事務所には美空ひばりさんのマネジャーをやっていた人間がいて、「クツワダさんのレコードを出して、まずは事務所の名前を売ろうよ」ということになって、彼がセッティングしたわけ。昭和50年の話ですよ（遠い目をして、懐かしそうに）。

——売れ行きはどうだったんですか？

クツワダ ちょうど、『およげ！たいやきくん』とぶつかっちゃってね（笑）。

——ダハハハ！ 喰われちゃいましたか！

クツワダ いや、そんなことはなかったんだけど、間に入った事務所にダマされちゃってね。ボクが制作費を出しているのに、こっちには版権がなかったのよ。

——ああ、『たいやきくん』のB面で『一本でもにんじん』を歌った、なぎら健壱みたいな状態になっちゃったわけですね（笑）。

クツワダ だから500円のレコードが1枚売れても、ボクにはそのうち3円しか入ってこなかった（笑）。

——1枚つき3円！ つまり、歌手印税しか入ってこなかったわけですね（笑）。

クツワダ 2万枚売ったんですけど、6万円しかならなかった（笑）。こんなんじゃやっててもしょうがないから、もういいやってね。

——それでも2万枚は売れたんですね。

クツワダ だって、全日本の巡業中にも売りましたから。試合前にボクのレコード流して、サイン入りでね。リングに上がって歌おうかとも思ったけど、馬場さんに怒られちゃって（笑）。

——ダハハハ！ それは止められますよ（笑）。

クツワダ そもそも、あのレコードは馬場さんには黙って出したんですよ。

昭和47年 新春号

プロレス秘話

越 三四郎

韓国興行

三試合で二万九千人動員

覆面タイガーマスクで大暴れ

韓国興行でのクツワダ・タイガーマスクの活躍を伝える記事。マスク姿が撮られてないのが非常に惜しまれる。資料提供：サムソン・クツワダ

タイガーマスクのまま、税関をフリーパスで韓国に入国しましたよ

——内緒！ また、どうしてですか？

クツワダ だって、馬場さんに言ったら「ダメだ！」って止められるのはわかっていたから。それなら、出しちゃえばどうにでもなるって思ってね（笑）。

——プロレス界初のレコードデビューの裏側には、そんなことがあったんですか（笑）。

クツワダ プロレス界初と言えば、日本人で最初にタイガーマスクになったのがボクなの知ってます？

——もちろんですよ！ 日プロの韓国遠征のときにマスクを被ってたんですよね。

クツワダ 記事がある、記事が（アルバムを取り出して）。これ証拠品。マスク姿は載ってないけどな。

——マスクはちゃんとしたアニメのタイガーマスクみたいなものだったんですか？

クツワダ いや、違う。虎柄だったけど。あの頃、タイガーマスクのアニメが釜山で大人気だったんだらしいんだよ。だから、人気は凄かった。韓国には、大木（金太郎）さんと上田馬之助、リップ・タイラーの4人で行ったわけ。大木さんが「タイガーのマスクをクツワダに被せよう」ということでね。韓国に向かう機内で、「トイレで被ってこい」と言われたんだよ。それで被ってトイレから出てきたら、乗客が「タイガーマスクだ！」と大騒ぎですよ！

——機内で変身する必要はないですよね（笑）。

クツワダ それで、普通は空港の税関だとマスクは脱がないといけないでしょ？ でも、マスクを被ったままフリーパスで韓国に入国したからね。朴（正煕・大統領）政権の頃だけど、いい加減な国だなと思ったよ（笑）。

——そういう時代だったんですねえ（笑）。当然、現地でも大人気だったって聞きましたけど。

クツワダ 3千人ぐらいファンが空港で待っていてね。すぐパレードですよ！ ボクは軍隊のジープに乗って、白バイが先頭を走って、その後ろを3千人が大行進だ！

——スケールがデカい話ですねえ（笑）。試合スタイルはタイガーマスクを意識しないで、いつものままだったんですか？

クツワダ いやいや、悪役やりましたよ。「キム・イル（大木金太郎）とタイガーマスク、どっちが強い!?」って煽ってね。結局、最後にはボクが負けましたけど。

——それで、話はだいぶ進んでしまったんですが（大幅にはしょっているが、本当はこの時点で40分ほど経過）、そろそろプロレス入りした頃の話でも聞かせて下さい（笑）。

クツワダ ああ、そう（笑）。あれは昭和42年の8月の地方巡業でね、いまの●●●親方に、チョンマゲ切ってケンカを仕掛けたんですよ。それで廃業して、プロレス入りしたんです。

——チョンマゲを切ってケンカですか？

クツワダ だって切らないと、ケンカできなかったんだから。そりゃそうでしょ。俺は幕下で、あっちは大関だったからね。

——大関相手にケンカ売ったんですか！ で、そのケンカの原因は何だったんですか？

クツワダ いや、それは言えないよ。

――もしかして女性絡みですか？

クツワダ いやいや、博打です（あっさりと）。相撲列車で博打してたんですよ。

――あ、博打でしたか（笑）。なんだか大金が飛び交ってそうですけど……。

クツワダ いや、あんときは給料が安かったんですよ。だからね、プロレスにいった安達（ミスター・ヒト）や永源遙とかがね、20万ぐらい持って遊びに来るわけだ。

――相撲上がりでプロレス入りした人たちが、羽振りの良さを見せつけに来たわけですか。

クツワダ それで、ボクもプロレスの方が金儲けになるのかなと思ってさ。そういう事件もあったんで、日本プロレスに入門したんですよ。

――実際、プロレスに転向してみてどうでしたか？

クツワダ キツかったねえ……。お金もさ、俺が入る前の若手は1試合5000円貰っていたんだな。でも、俺たちから3万円の月給制になってね。

――それは、かなりの違いがあるんですか？

クツワダ あるよ！ だって、あの当時は年間で230試合ぐらいあるから、1ヶ月10万円ぐらい貰っていたわけでしょ？ それが3万円になっちゃったから。給料貰ったら6000円のアパート代払って、練習場だった渋谷のリキパレスまでの定期代3000円を払って、当時30円のチキンラーメンを100個買うわけですよ。

――チキンラーメンを100個（笑）。

クツワダ 一日、3個づつ食べてたんだよ（笑）。それでもね、毎月1万円持って銀座の高級バーに通うわけ。

――あ、そんな状況でも夜遊びは欠かさなかったわけですね（笑）。

クツワダ あの頃は富士と名乗って飲んでいたんだよねえ（しみじみと）。

――なんで偽名を使ってるんですか（笑）。

クツワダ いや、「北の富士」の富士から取ってね（笑）。ボクは必ず千円はチップでボーイにあげていたから、ボーイも気を遣ってくれてね。一度、雨が降ったときに店がタクシーを呼んだんだけど、そのとき店で遊んでいた勝新太郎を差しおいて「富士さん、車が迎えにきました」って呼んでくれてね（笑）。勝新太郎がギロって睨んで、店のママが青くなっちゃて。だからボクは「勝さん、お先にどうぞ」って先に譲ったんだよね。

――しかし、当時まだ20代なのに勝新が来るような店で銀座遊びをしてたわけですよね。

クツワダ もともとボクはいつかはプロレスラーで名前を売って、銀座でガンガン飲もうという夢があったんですよ。だから、その夢を忘れないために通っていたわけなんだよね。銀座で自分でお金払って飲んだのは、私ぐらいなもんでしょ。馬場さんや猪木さんだって、招待でしか行ったことないだろうしね。

――皆さんそう言いますよね。タニマチが一緒でもないと銀座には行かないって。

クツワダ 若い頃は月に一回しか行けなかったけど、それなり稼ぐようになってからは夕方になると銀座に足が向いちゃってね。すっかり銀座中毒になっちゃったな（笑）。

――じゃあ、プロレスラーとして名前を売ってからは相当遊んだわけですよね。

クツワダ 全部、遊んだね。

――全部ですか（笑）。

クツワダ 稼いだ金を全部使ったから。後輩のメシ代とかも全部おごったしね。全日本のときには馬場さんに頼まれて、鶴田の面倒もみたよ。でも、鶴田は後輩への面倒の仕方を教えてもダメ（笑）。

若々しさとたくましさを感じる18歳当時のクツワダ。四股名「二瀬海」。番付が幕下のときの一枚だ。
資料提供：サムソン・クツワダ

――鶴田さんってそういう関係は嫌いなタイプですからね。個人主義というか（笑）。

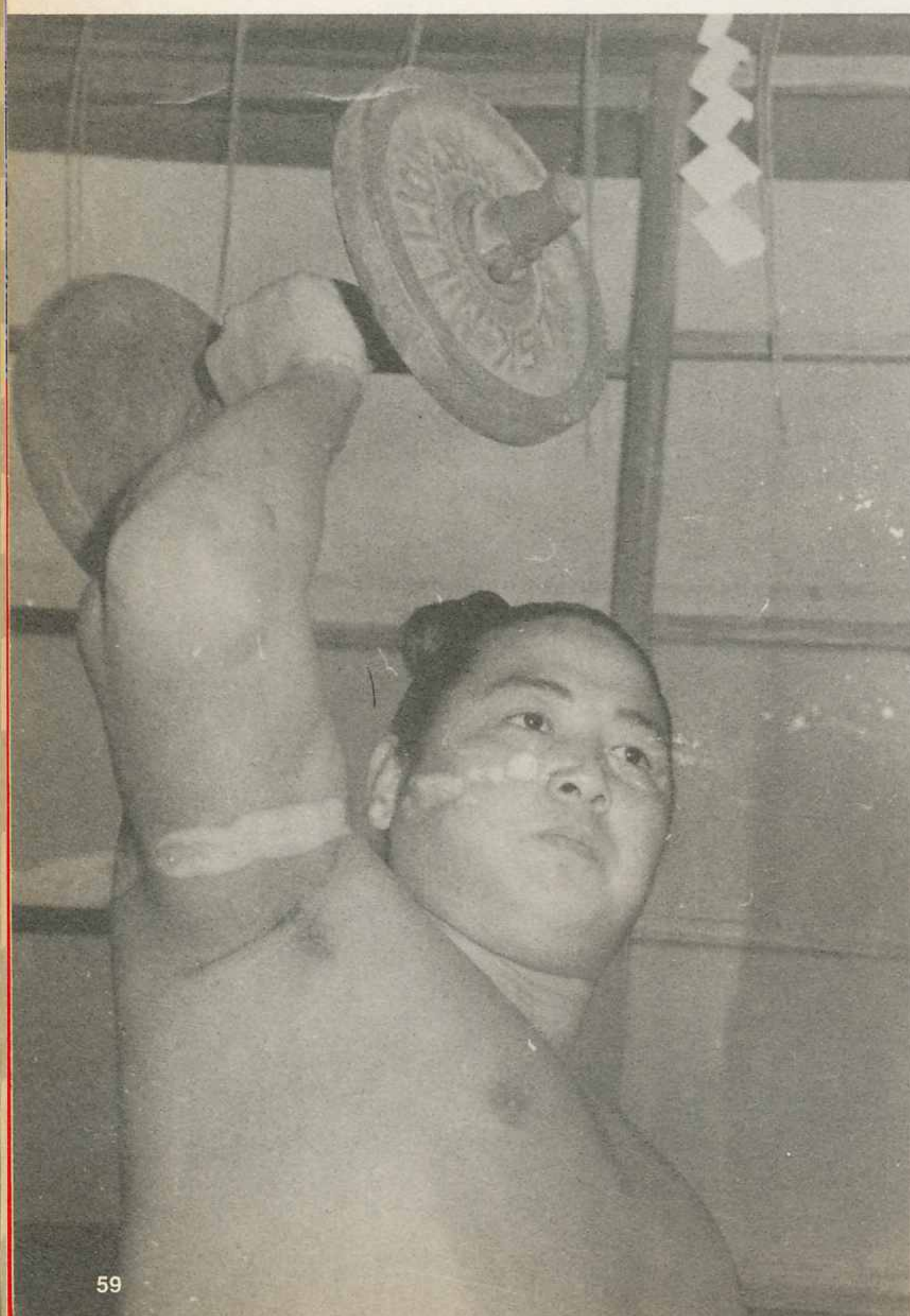
クツワダ そうそう、鶴田はそうなんだよな（笑）。我々のような相撲取りは遊びというものを知っていたけど、普通の人はわからんのかもしれんね。鶴田なんかは遊びを知らないから。

――鶴田さんにとっての遊びはテニスとかですからね（笑）。それで話を戻すとクツワダさんは日本プロレス時代、馬場さんの付き人だったそうですけど？

クツワダ そうそう。ボクだけでしょ？ 赤坂のリキマンションで2年間、馬場さんの部屋住みで付き人やったのは。馬場さんが704号室で、ボクが501号室。ボクの部屋は馬場さんの荷物置き場だったんだけどね。死んだ大熊元司が付き人やっていたんだけど、グレート小鹿とアメリカに行くっていうんで馬場さんがボクを指名したわけね。

――部屋住みで2年間はキツそうですねえ。

クツワダ 馬場さんはまだ独り者だったから、洗濯から何から全部やったよ。食事も作ってね、馬場さんは野菜が嫌いだったからちゃんと食べさせて。その食事のときにさ、昔の野球時代や脳腫瘍になったときの話をしてくれたもんだよ（しみじみと）。

――馬場さんが死を覚悟したときのエピソードですね。どこの病院に行っても「手術の成功例がない」

とか「アンマさんになれ」とか言われたという。

クツワダ それで、お母さんの財布からお金を盗んで、女を買いに行ったらしいよ。

――「童貞のままじゃ、死んでも死にきれない」と思ったんですよね（笑）。

クツワダ 馬場さんも手術で麻酔を射ってさ、「このまま死ねたら幸せだ」って思ったけど、成功して目が覚めたとき、涙が止まらなかったって。その話を聞いて、「よし、オレはこの人に付いて行こう」と思ったんだ。

――いい話ですねえ（笑）。

クツワダ 馬場さんにはボクに良くしてくれたからね。だけど付き人をやったことで、みんなのやっかみを受けたもんだよ。やっぱりチャンピオンの側に居られるし、馬場さんは優しかったからさ。入ったばっかのボクなんかが指名されたもんだから、みんなからイジメられたんだよ。俺もカーッとなる方だったけど、馬場さんが「ガマンしろ」と言ってくれて。そういう細かい気遣いを馬場さんはしてくれたんだよね。俺は身体もでかかったから、鍛えれば大成すると馬場さんも思っていたんじゃないかな。

――クツワダさんは当時の発表で身長190センチですから、かなりの大きさですよね。

クツワダ あの頃、身体が大きかったのは、ジャイアント馬場、アントニオ猪木、タイガー戸口、坂口征二ぐらいだったよね。

――そういえば坂口さんとガチンコ勝負したのも、ホームページで読みましたよ。カール・ゴッチ直伝の"肘ガン"（＝エルボー）で圧倒したっていう（笑）。

クツワダ ああ、そう（笑）。カール・ゴッチは強かったけど悪いこともできたんだよな、あの人は。

――悪いことですか（笑）。

クツワダ いきなりヒザでガーンってやったりね。ああいうことをあの人やりましたよ。

猪木には負けないよ。体格負けしないし、相撲もやっていたからね

――いわゆる裏技的なことですね。

クツワダ でも、カール・ゴッチには相撲では勝ちましたよ。一回目にブン投げて、二回目もブン投げて、三回目は負けてやりましたけどね。もし、三回目もブッ飛ばしたら、レスリングで何をされるかわかならないから（笑）。

――ギュウギュウに極められますからね（笑）。

左がクツワダ、右は高千穂明久（＝ザ・グレート・カブキ）。クツワダの自信に満ちた表情と強靭なナチュラルボディは、地獄のゴッチ教室で形成された。

クツワダ 当時は鍛えられたよ、カール・ゴッチには。あの人は凄かったよ。貧乏で器具も買えなかったから、器具がなくてもできる運動を何でも知ってるんですよ。

――ゴッチ教室ではシュートの練習だけじゃなくて、基礎練習もハードだったわけですよね。

クツワダ ウソじゃなくてさ、毎日2千回のヒンズースクワットをやらされるんだよ。馬場さんも言っていたけど、10人で2千回もスクワットやるとフローリングに汗で水たまりができるからね。一日で6キロぐらい体重が減りましたよ。

――だけど、馬場さんには「一番練習しないのはクツワダだ」って言われてたらしいじゃないですか（笑）。

クツワダ そんとき、オレはなんて言ったと思う？ 「いや、ボクは2番です。馬場さんが一番練習してません」ってね（笑）。

――ダハハハ！ 実際そうなんでしょうけど、怒られなかったんですか？

クツワダ 「何～！」とか言われたけどさ、俺と馬場さんは他人にはわからない人間関係があるんだよ。

――だからこそ、全日本に旗揚げから参加したわけですね。

クツワダ もちろん！ 昭和47年10月21日に旗揚げ前夜祭大会を原町田の体育館でやったときは、涙が出ましたよ……。全日本は選手が少ないから、旗揚げなんかできないと思われていたからね。

――全日本は恵まれた環境から発進したと思われがちですけど、そうでもなかったんですね。

クツワダ まあ、物事を興すときは何かしらアクシデントはありますからね。馬場さんは用賀に土地持ってたんだけど、それを売却してまで会社の資金にしてスタートしたんですよ。

――途中で日プロ勢が加入するまで、日本人選手は少なかったですからね。

クツワダ あれはね、俺がオーストラリアに行ってるときに、日本テレビが大木さんとか高千穂（明久＝ザ・グレート・カブキ）の日プロ勢をを引き取ろうという話を進めていたんだ。でも、全日本のみんなは反対してたんですよ。そんとき元子さんがオーストラリアの俺に手紙を寄こしたんだよ。手紙には「馬場の気持ちを理解してるのはサムソンしかいない」「ぜひ戻ってきて解決してほしい」と。

――元子さんからそんな手紙が（笑）。

クツワダ それで急遽帰国したんだけど、成田空港に着いたのは朝6時。でも、その時間に元子さんが迎えにきてくれたんだよ。

――元子さん自らお出迎えですか！

クツワダ そんなこともあったよね。それで、俺がみんなを説得したんだから。みんな、日プロの選手を迎え入れるのはイヤだった。俺もイヤだった。だけど、テレビがなくなったら生活できない。だから、「馬場さんがいるかぎりテレビ放映を打ちきらない」と日本テレビと取り付けてきてほしいと馬場さんに頼んだんだよ。それならば俺もみんなもガマンすると。

――そのとき半永久的にテレビ放映の約束をさせたからこそ、馬場さんが亡くなるまで放映が続いたわけですか。

クツワダ 一筆、二筆あったか知らないよ。俺はなかったと思ってる。口約束だと思ってるよ。だから、そんときの約束を守った日本テレビは偉いと思ってますよ。

――しかし、クツワダさんは当時の全日本では重要な位置にいたんですねえ。

クツワダ 旗揚げのときに「馬場、殺す！」という電話があって、馬場さんのボディガードもやっていたしね。

――殺す！ また物騒な電話ですけど、相手は誰だったんですか？

クツワダ まあ、ヤクザでしょう。要するに、圧力だよな。そのときオレは女と同棲したんだけど、「オレに何があっても驚くなよ」と言っていたもんだよ。映画みたいなシーンだけどね。

――ドラマチックですねえ（笑）。

クツワダ 馬場さんを毎晩、無事に家まで送ってね。そんな日が何日も続きましたよ。だって、馬場さんが殺されたらみんな困っちゃ

うからね。
——そんなの、大変な事態になりますよ！　やっぱり巡業する以上、土地土地のヤクザ関係とかで問題は多かったんですね。
クツワダ　昔はありましたよ、昔は……。そういう話、聞きたいですか？
——はい、聞きたいです（笑）。
クツワダ　たとえばね……（せっかく話していただいたものの、とても誌面にはできない物騒すぎる内容のために、泣く泣く省略）。
——はあ〜、しかしスゴイ話ですねえ（笑）。
クツワダ　でもさ、そしたら馬場さんに「クツワダの客はヤクザ者しかいない」とか言われるから、頭痛くなっちゃうんだよな（と、言いながらも嬉しそうに）。
——会社のためにやってるのに（笑）。
クツワダ　汚いことは全部、オレに押しつけるんだよなあ（笑）。
——前に小鹿さんも似たようなこと言ってましたよ（笑）。
クツワダ　俺の辞めた後は小鹿がやっていたかどうかは知らないよ。でも、みんなジャイアント馬場を表に立てて、裏で支えてきたわけですよ。
——全日本では当時、クツワダさんってポジション的にはNO．2だったんですよね。
クツワダ　まあ、そう言う人もいるよね。馬場さんの一番の腹心だったから。「馬場の後継者は、ジャンボ鶴田か、サムソン・クツワダか」と言われた時代もありましたよ。ただね、馬場さんの後継者にしようとして鶴田を入れたのは、ボクなんですよね。
——あ、そうなんですか！
クツワダ　ミュンヘン・オリンピックのときに、鶴田か吉田（長州力）のどちらかを取る計画だったんだよ。そんときボクが、身体の大きい方がいいからって鶴田を選んだんですよ。それに、実は彼が中学2年生のとき、ボクがいた朝日山部屋に入門したことがあったんだよ。逃げて帰ったけどね（笑）。
——ああ、ダマされて入ったから鶴田さんが山手線にパンツ一枚で乗って逃げ帰ったってやつですね（笑）。
クツワダ　鶴田はボクのこと、覚えていたよ（笑）。ボクとしては鶴田を馬場さんの後継者に育てて、経営の方に回りたかったんだよね。
——クツワダさんはビジネス面で馬場さんをサポートしていこう、と。
クツワダ　ボクも純然たるレスラーだけやってればいいんだけど、会社の中を見ちゃってるからね。
——興行とかやってれば、お金の流れも分かっちゃいますからね。
クツワダ　馬場さんともいろいろ話し合いましたけど、その度にケンカになるんだよね。ボクは、ジャイアント馬場というキャラクターを使って外食産業でもいいから子会社を創ろうとか言ってたの。それだったら、選手が歳を取ったらその子会社に行けばいいでしょ？　そうすれば選手の新陳代謝も良くなるしね。
——世代交代がスムーズになりますよね。
クツワダ　ラッシャー木村なんかも可哀想だよな。いまだにリングに立ってるわけだから。何で歳を取ってもプロレスをやるかっていったら、お金がないからやってるわけでしょ。
——結局、他の仕事はできないですからね。

これがサムソンＬＰ「帰って来いよ」のジャケ。小指の立ち具合がたまらないマイクを持つ手に注目。ちなみにＢ面の曲名は「涙を捨てて」。吉田豪・所有

クツワダ　だからさ、こんなプロレス界になったのは誰の責任だってオレは言うのよ。
——一体、誰の責任なんですか？
クツワダ　馬場さんと猪木さんですよ（キッパリ）。
——あ、あの2人ですか（笑）。
クツワダ　ちゃんとしたプロレス協会を設立して、下の選手にも富を分けていれば問題はなかったんですよ。それを20年も馬場・猪木の対立の時代が続いたばっかりに、こんなんなっちゃって。
——しかも、猪木さんの時代はまだ続いてますからね（笑）。
クツワダ　いまだに猪木さんなんかさ、プロレスと格闘技のゴッチャマゼにしたことやってるでしょ？　あんなことやってるから、みんなそっぽ向いちゃうんだ！　長州が不満をブチまけて辞めるのはわかるよね。（モハメド・）アリとかやってみたりね、昔からあの人は好きだね、ああいうことが。
——全ては、馬場さんの対抗心からきてるんでしょうけどね。
クツワダ　そう！　ただもう馬場さんへの対抗心の人間だから、猪木さんは。ハッキリ言うとね、日本のプロレスを築いたのはジャイアント馬場ですよ！　猪木さんじゃないんですよ（キッパリ）。猪木さんは、そのパートナーなんです。猪木だから、猪木さんは馬場さんを超えることはできないんですよ！
——ただ、猪木さんもその差を埋めようとして、執拗に挑発をしてきましたよね。
クツワダ　あの頃、猪木さんが馬場さんを攻めてたでしょ？　オレは言いましたよ。「馬場さん、猪木とやりましょう！」と。
——そんな進言までしてたんですか！
クツワダ　だけど、「その前にオレが猪木とやります！」とも言いましたよ。「オレがカ●ワになっても、ヤツをカ●ワにするから」ってね！
——うわ！　それも凄まじい話ですね！
クツワダ　……でもね、馬場さんは「クツワダ、辛抱しろ。挑発に乗ったらオシマイだ」ってオレを止めたんだよね。
——当然、クツワダさんは猪木さんに勝てると踏んでたわけですよね？
クツワダ　負けない（キッパリ）。猪木には負けないよ。体格負けしないし、こっちは相撲もやっていたしね。
——ゴッチ直伝の裏技もあるし（笑）。クツワダさんも、ガチンコではかなり強かったらしいですね。
クツワダ　ガチンコというのは極めっこのことだけど、オレは強かったよ（あっさりと）。あと強かったのは上田馬之助さん。上ちゃんは強かった！　でも、馬場さんも強かったよ。
——あ、馬場さんもガチンコは強かったんですか！
クツワダ　だって、あのデカイ馬場さんがうつぶせになったらひっくり返せないよ！
——ああ、亀になったら動かなそうですね（笑）。
クツワダ　俺だってひっくり返せないんだから、猪木さんにだって無理！　だから、ガチンコやったら、猪木さんだって勝てなかったんじゃないの？
——それはいい話ですねえ（笑）。
クツワダ　まあ、猪木さん自身も悪い人じゃないよ。ただね、馬場さんにしてもそうだけど、選手に良い会社をやるならいいけど実際はそうじゃないから。馬場さんと猪木さんは、日本プロレスの幹部が好き放題な経営やって、選手のためにならないやり方を見てきて、それじゃいかんということで団体を創ったのに、フタを空けてみたらアレですからね。だから俺は、第4団体を創る計画を立てたんですよ！
——え!?　そんなプランがあったんですか!?
クツワダ　ウソじゃない、ホントの話ですよ（キッパリ）。当時、岩田弘という国際プロレスをＴＢＳで放映するために尽くした人がいたんだけど。
——ああ、知ってます。日本プロレス時代から関係してる方ですよね。
クツワダ　その岩田さんにボクが

CAT FIGHT WORLD

熱弁を振るったわけですよ。「このまま馬場・猪木の時代が続くようだといけない。プロレス界を変えないといけない」と。それで岩田さんに「いくら金があればいいんだ」と聞かれてたから、俺は10億円という査定を出したんだよ。

――それも、すごい金額ですね（笑）。

クツワダ　なぜ10億かというと、当時、猪木さんはアリ戦をやったために5億の借金があったから、それを肩代わりした上で、さらに1億やるから引退しろ、と（キッパリ）。

――金を積んでの引退勧告ですか！

クツワダ　それから馬場さんも保証人で2億の借金をしていたから、それを肩代わりして同じく1億円やるから引退してもらうと。そして、残った1億円で団体を創るという計画だったんだよ。

――ダハハハ！　つまり、2人を引退させるための新団体だったんですか（笑）。

クツワダ　それで、もしこの要請を受けなかったら2人に挑戦状を出して、ガチンコ勝負をやろうと思ってたんだよ。

――ガチンコでBI砲に挑戦！　しかし、いちいち画期的すぎるプランですよねぇ（笑）。一体、誰が参加する予定だったんですか？

クツワダ　鶴田は入っていたよな。

――鶴田さんですか！　もしかして、鶴田さんにガチンコ勝負させるつもりだったんですか？

クツワダ　いや、鶴田にはさせないよ。エースだからね。やるのはオレ（キッパリ）。

――ちなみにクツワダさんからみて、鶴田さんのガチンコの強さはどうだったんですか？　ファンの間には、いまでも鶴田最強説というのが根強くあるんですけど……。

クツワダ　（なぜかニヤリと笑う）。

――そこで笑いますか（笑）。

クツワダ　いや、鶴田は強かったよ、馬場さんの次にね。でも、鶴田はオレとシュートの練習はしなかったからね。こっちの実力がわかってたんだろうな。

――なるほど！　鶴田さんのアマレスのテクニックを持ってしてもダメでしたか。

クツワダ　ダメだろうねえ。

――で、鶴田さんの他に参加させようと思ったレスラーは誰だったんですか？

〈写真上〉馬場の後方で、笑みを浮かべバンザイしているのが全日本プロレス所属時のクツワダ。〈写真下〉向かって右が日プロ時代のクツワダ。クツワダの「この人に付いて行こう」という言葉通り、常に馬場に寄り添っていたのだ。

クツワダ　いまの東関親方の高見山。あのとき高見山は国籍の関係で親方になれるかどうかわからなかったこともあって、「5千万と年間2千万を保証してくれるならいい」って話を付けたんだよ。

――高見山のプロレス入りには梶原一騎さんも動いてましたけど、それ以前の話ですか？

クツワダ　それ以前ですよ。なぜ高見山が必要かというと、まあ、客寄せパンダだよな。高見山は器用だから、アントン・ヘーシング（東京五輪・柔道・無差別級金メダリスト）とは違う。ヘーシングは、俺が指導係をやったんだけどね。アイツは何度、教えてもダメだったなあ……。

――そんなに不器用だったわけですか。

クツワダ　あのときも、馬場さんと揉めたんだよ。「ヘーシングはジャケットマッチをやらせましょう。プロレスは無理です！」って何度も言ったから。

――プロレスに慣れるまでは、ということですよね。

クツワダ　ただ、ジャケットを着たら、ヘーシングは強いだろ？　連勝するだろ？

――柔道の金メダリストですからね（笑）。

クツワダ　そしたら馬場さんは「プロレスは柔道より弱いのか？」っていう話になったんだよ。そうじゃないでしょ、柔道着を着てるからヘーシングは強いんでしょうって。

――ゴッチさんが相撲で負けるのと同じで、プロレスラーが柔道で負けるぶんにはいいはずですからね。

クツワダ　そうです、そうです。でも、馬場さんは頑として「ダメだ！」って言うから、しょうがなくプロレスを教えたよ。そしたら、あんなプロレスラーになっちゃった……。

――ボクは世代的にヘーシングのプロレスを観たことがないんですけど、そんなにヘタだったんですか？

クツワダ　ヘタなんてもんじゃなかったね。殴るにしたって、本気で殴れといってるのに、「ペタン」って音も立てないで殴るんだよ（笑）。プロレスは、殴る蹴るが一番難しいんだよ。

――ヘタに格闘技をマスターしてる人は、加減がいき過ぎちゃう部分がありますからね。それで話は幻の団体話に戻りますけど、全日本からは鶴田さんの他に誰を予定していたんですか？

クツワダ　渕とか大仁田とか、子飼いの選手だね。あと、藤波とかにも声を掛けてみたかったんですよね。

――藤波さんもですか！　なんだか移籍するって言いながらすぐ裏切りそうな気もするんですけど（笑）。藤波さんと接点はあったんですか？

クツワダ　こないだ、東京駅でバッタリ会ったよ。

クツワダ甥　それは、接点とは言わないよ……。

クツワダ　（無視して）そのとき藤波には言ってやりましたよ。「プロレス界はこのままでいいのか!?　統一しないのか!?」って。でも、「無理だ」って言ってましたよ。

――まあ、いまの藤波さんには何の権限もないですからね（笑）。

クツワダ　藤波は良い人なんだけどね。

昭和プロレスの凄みに触れる
実録! 豪傑一代記
紙のプロレス
スーパースター列伝

新団体を創るのに「いくら金があればいい」と聞かれたから、10億円の査定を出したんだよ

――あ、良い人なんですか?

クツワダ 良い人、良い人。でも、もう引退したほうがいいな。あれじゃ、プロレスやっても意味ないだろう。

――ダハハハ! やっぱりそう思いますか。それで、鶴田さんや全日本勢には一応、話は通ってたわけですよね。

クツワダ そうだね。みんな、俺に付いてくるっていうからさ。「ギャラを上げてくれ」とかさ、不満も馬場さんに言わないで俺に言っていたしね。

――クツワダさんが金銭面での不満を聞いていたわけですか。

クツワダ そうなんだな。たしかに馬場さんがお金を出して創った会社だけどさ、下の人間が頑張ってあそこまで大きくなったところもあるんだから、不満が出ないようにちゃんと富を分けて上げれば良いんだよ。それで、いまでも忘れない昭和52年の1月の後楽園で辞表を叩きつけたんだよ。

――クツワダさんの引退は「私生活の乱れのせい」ということになってましたけど、本当は団体設立のための離脱だったんですね。

クツワダ 私生活の乱れって、違いますよ! ……まあ、確かにボクは遊んでましたけど。

――ダハハハ! 遊びまくってましたよね(笑)。

クツワダ それに、極端なこと言うと私は引退してないんだから!

――正確には辞表を叩きつけただけだ、と(笑)。

クツワダ 辞めたあとも全日本のときの保険証を使っていたしね。

――ダハハハ! 何も言われなかったんですか?

クツワダ ううん。それだけ馬場さんは情がある人なんだよ。でも、2年ぐらいしたら、使えなくなったけどね(笑)。

――結局、全日本を離れたのはクツワダさんだけでしたよね。

クツワダ みんなには裏切られた形になった。そのあと鶴田とは何回か会ったけど、俺は「裏切ったな」なんてことは一回も言わなかったよ。でも、鶴田は心の中は痛んでいたんじゃないの?

――失敗の原因は何だったんですかね。

クツワダ それはボクに人望がなかったということだよ。それと、クツワダの動きは本当だってことで、馬場さんと国際(プロレス)の吉原さん、あとテレ朝から新日本に出向していた運動部長の3人が会談をして、選手(の離脱)を抑えたというんだよ。

――つまり、団体のトップ会談にまで発展したんですね。

クツワダ それで、鶴田のギャラが倍になったらしいんだけどね。ボクは岩田さんに涙ながらに謝りに行きましたよ。「自分の力不足で、選手を集めることができませんでした」って。でも、岩田さんが「あなたの気持ちとボクの気持ちが通じただけでも嬉しい。私も業界がこのままじゃダメだと思って、この話に乗ったんだから。またチャンスがあったら、いつでもこい」って言ってくれましたよ。それで、私はプロレス界から縁を斬ったんです。

――未練はなかったんですか?

クツワダ ありましたよ! でも、馬場さんに賭けた青春だから、馬場さんから離れた時点で終わったと思ってるから。他の団体に行くつもりもなかったし、俺のプロレス人生は、あれで終わったと思ったよね……。

――しかし、あのとき馬場さんと猪木さんが引退してたら、いまごろどうなっていたんですかねえ(笑)。

クツワダ いやあ、しっかりとしたプロレス協会ができて、笹川(良一=故人・日本船舶振興会会長を務めた日本のドン)さんが会長になってたんじゃないですか。岩田さんは笹川シンパだったからね。

――ああ、それで2人を引退させるための10億円を調達する目処が立ってたわけですね。

クツワダ まあ、馬場さんと猪木さんは引退しないでしょうけど……。でも、猪木さんも言っていたんだから、「馬場さんが引退したら、オレもする」って。馬場さんも同じこと言っていたよ。

――そこでもお互いの意地の張り合いが(笑)。

クツワダ その意地の張り合いが、いまのプロレスをダメにしたんですよ! ……でもね、いまでも好きだよ、馬場さんのことは。馬場さんと別れるなんて、微塵も考えたことはなかったからね。

――付き人として過ごした2年間があったから、何があっても許せるという部分があったんでしょうね。

クツワダ そうですね。……ただ、元子さんはねえ(笑)。

――ダハハハ! 元子さんとは対立してたんですか?

クツワダ ケンカしたわけじゃないけどね。元子さんが三沢とモメてなかったら、日本テレビが離れることもなかったと思いますよ。武藤が全日本の社長となる話が出てるけど、三沢と同じ運命を辿らないでほしいよね。

――元子さんもだいぶ変わったので、武藤さんは三沢さんよりは上手くやっていけそうですけどね。

クツワダ それならいいですけどね……。馬場さんというカリスマを持った選手がいたから、みんなガマンしたの。元子さんが同じようなことをやったって、みんな付いていくかっていったら無理。それと、やっぱりあの栄光のジャイアント馬場を長島茂雄のように引退させたかったよな。

――皆に惜しまれながらということですね。

クツワダ それをさせなかったのは元子さんだから。元子さんは馬場正平と結婚したんじゃなくて、ジャイアント馬場と結婚したんだよ。馬場さんが生きていたら、まだリングに上がってるはずだよ。でも、それだけ元子さんには、ジャイアント馬場に愛情があったからだとは思うけどね。

――それはあったと思いますね。

クツワダ 全日本はマシオ駒が死んだのが痛かったよね。彼が生きていたら、全日本の方向性が違ってきたはずだよ。あまり伝わってないけど、素晴らしいマシオ駒だったね。これだけは書いておいてよ。

――わかりました! 「素晴らしいマシオ駒」ですね(笑)。それで、クツワダさんはプロレスを離れてから事業を始めたと聞きましたけど。

クツワダ チャンコ屋とか、クラブやパブもやったよ。レスラー時代から高田馬場で女房にスナックもやらせてたしね。

――クツワダさんのレコードのジャケになった店は、もしかして……?

クツワダ ウチの店ですよ。

――やっぱり(笑)。クツワダさんは、水商売が向いてそうな感じがしますね。

クツワダ 結局、それしかできないのよ。中学の2年生で相撲に入ったでしょ? 何も世間のことを知らないわけですよ。ただ、スナックではだいぶ儲けさせてくれましたね。

――でも、やっぱりそれもパーッと使ったわけですよね(笑)。

クツワダ そりゃあ、若くて金があったらね(笑)。興行で何千万も儲けたこともあったし。でも、オイルショックの影響で1億円ぐらい借金してね。それで全日本で給料差し押さえ喰らったんだから。(全日本を)辞めるときも3000万ぐらい残っていたんじゃないの? それは退職金みたいなもんだよ。

――チャラにしちゃったんですか(笑)。で、いまの肩書きは何になるんですか?

クツワダ いまは広告代理店の顧問。芸能事務所でも、顧問を務めたこともあったよ。

――広告代理店ですか! それでですね、クツワダさんがマット界を退かれてからマット界もだいぶ

昭和プロレスの凄みに触れる
実録! 豪傑一代記
紙のプロレス

スーパースター列伝

真のチャンピオンはジャイアント馬場だけですよ。その馬場さんと過ごした時間は大切にしたいですね

様変わりしたんですけど、最近、ミスター高橋さんが本を出したのを御存知ですか？

クツワダ ミスター高橋？ いまでも新日本でレフェリーやってるんでしょ？

——いや、いまはやってないです（笑）。その人が「プロレスはすべて勝敗が決まってるショーだ」という暴露本を出したんですよ。

クツワダ ……それはおかしいな（疑うような声で）。

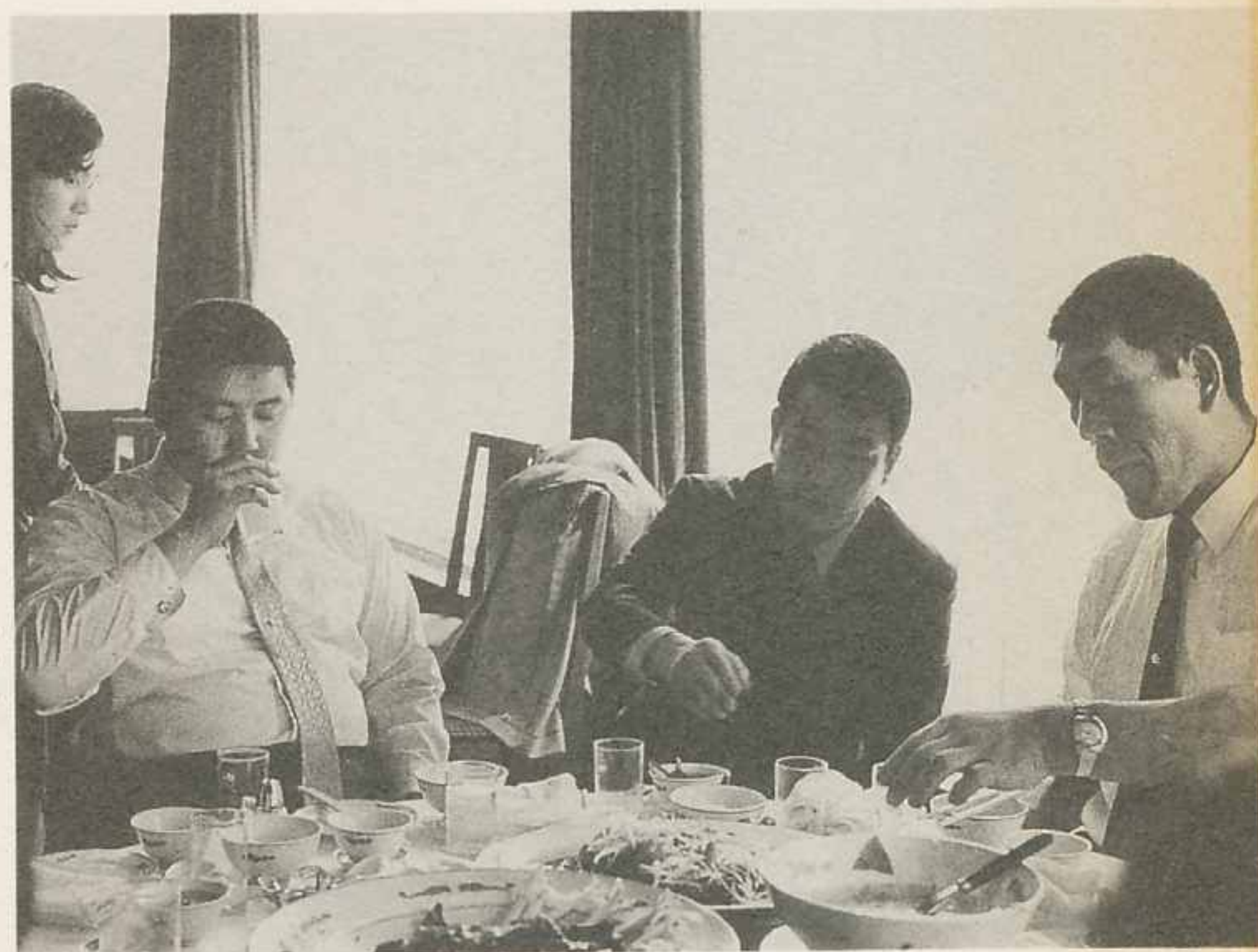
——おかしいですか。

クツワダ 「プロレスって八百長ですか？」って聞かれてもボクは弁解しないよ。でも、「じゃあ、八百長ならボクのやってることできるか？」って言ったら、100人が100人、出来ないと返答すると思う。身体も造らないといけないし、どんな技を受けてもケガしない受け身を覚えなきゃいけないしね。

——それはそうですよね。

クツワダ じゃあ、八百長じゃないですよ（キッパリ）。映画じゃねんだから、「カット！ カット！」がねえんだから。30分でも15分でもいいよ。あんなストーリーを覚えるほどみんな頭良くないよ（笑）。

——それもそうですね（笑）。

クツワダ だいたい八百長だったら、誰も見に行かないよ。勝敗が決まってるとか暴露本出してもね、見に来てる人が納得すればいいわけですから。限界の限界まで魅せる。それがプロレスの全てじゃないかな？

——でも、最近はファンを納得させられなくなってる部分もあるんじゃないかと思うんですよ。

クツワダ それは、日本人同士の対決がマンネリになってるからだよな。最初は「オッ！」って思うけど、やっぱり日本人とガイジンが闘わないとダメだよな。

——クツワダさんも全日本のチャンピオン・カーニバルとかで、世界の強豪とぶつかってきましたからね。

クツワダ 世界の超一流と闘ってねえ、勝てるわけないんだから！ ブルーノ・サンマルチノとか（フリッツ・フォン・）エリックとかと向かい合ったら、ケガしないうちに終わりたいぐらいの迫力があったよ（笑）。ドン・レオ・ジョナサンなんてね、オレを持ち上げて回すんだよ！

——190センチ、120キロのクツワダさんをですか（笑）。

クツワダ 凄いよねえ！ やっぱりアメリカの一流選手を呼んでやらないと。原点に戻らないダメですよね、やっぱり。日本人同士の闘いというのは夢であってさ、やっちゃオシマイなんだよ。

——プロレス界はZERO—ONEみたいに原点回帰すべきってことですね（笑）。クツワダさんは、プロレスラーに必要なのは巧さだと思います？ それとも強さですか？

クツワダ いや、両方でしょう。強さと巧さは一緒だから。これはイコールじゃないですか？

——イコールにならないといけないわけですね。

クツワダ 相撲で言えば、心技体。それが揃ってないと横綱にはなれない。心というのは人間性だよ。プロレスにも通じることだ。

——日本人のプロレスラーで、その三拍子が揃っていた人って誰かいますか？

クツワダ それはやっぱりジャイアント馬場でしょうねえ（当然のように）。真のチャンピオンはジャイアント馬場だけですよ！ ボクのプロレスラー人生は、その馬場さんと共に始まり、馬場さんに終わったと思ってます。馬場さんと一緒に過ごした時間を、これからも大事にしていきたいですね。他に何か聞きたいことある？

——あ、最後にクツワダさん最大の謎である、アダルトビデオ（『悶絶・おふくろさんよ！』）出演についても聞きたいんですけど（笑）。

クツワダ ああ、あれはバレないと思ってジョークで出ただけでね（笑）。

——ジョークですか！ でも、冗談にしてもなかなか踏み出せない世界ですよねえ（笑）。

クツワダ かなり売れたらしいけどね。もう懲りたよ（笑）。あのあと、また依頼を受けたけど断ったもん。女房に怒られたからね（笑）。

——それは怒られますよ（笑）。

クツワダ だって、女がAV観るとは思わないから隠して出たんだけど。そしたら、週刊誌から何から凄い反響でしょ？ 女房の弟が、電話で教えたらしいんだよ。

——その後、藤原組長やサスケさんもAVに出演しましたけど、タイガーマスクやレコードデビューに続いてこれも元祖ですよ（笑）。

クツワダ オレも好奇心が強い男だから、どんなもんかと思ってやったけど、もう懲りた（笑）。

——ダハハハハ！ 実際には本番はやってないんですよね？

クツワダ 疑似ってやつだね。疲れるよ〜（笑）。

——当時、「プロレスより疲れる」って言われてましたよね（笑）。

クツワダ そりゃそうだよ。疑似でなくても、あんなにやったことないのにさ（笑）。

——ダハハハ！ 最近は大病に掛かったと聞きましたけど、お体の方はどうなんですか？

クツワダ ちょっといろいろなってしまって、こんなになっちゃたけどね。若い頃に無理してたから、50過ぎると病気になっちゃうんだよな。70、80歳までとはいかなくても、せめてあと10年ぐらいは生きたいよね。それまでに、良くなったプロレス界が見られれば幸せだよな。

——わかりました！ 今日は長々とありがとうございます！

【02年8月4日／綾瀬「シャノアール」にて収録】

馬場と共に食事の席を囲むクツワダ（向かって左）。「馬場さんに賭けた青春」と言うクツワダの心には、馬場さんへの想いが強く焼き付いている。資料提供：サムソン・クツワダ

【サムソン・クツワダ】本名・轡田智継。昭和22年5月1日 北海道出身。病を患ったこともあり、190センチ、121キロの巨体を誇った現役当時の面影はみられない。しかし、プロレスに向ける情熱は、当時のままである。クツワダの甥が作成するホームページには、まだまだステキなクツワダのエピソードが満載。（http://www.tecnet.or.jp/yasumaru/index.htm）

天才・武藤の

元気が出るトークライブ

――このトークショーからゴールドバーグvs小島戦が動き出した！

実況再録

KEIJI MUTO TALK EVENT

8月11日、プロレス業界最大年間行事のひとつである新日のG1決勝戦が行われた日曜日の夕方、津田沼パルコでは武藤敬司のトークショーが行われていた。問題発言とハプニングの連発で集まったファンやマスコミを魅了する武藤は、やはりプロレスだけでなくトークでも天才だった！　そんな武藤の素敵な魅力を120％満載でお届けします！

構成／スモーノブ　撮影／斉藤ユーリ　designed by さおとめの事務所

ねえ、俺の携帯持ってる？（と、突然マネジャーに声をかける）。小島に話してないんで、今ここで話してみるよ！

おなじみのSHOPグレート・アントニオが、津田沼PARCOでの10日間限定出店オープンを記念して行われたこの日のトークイベント。2、300人収容の映画館のような会場は立ち見が出るほどの大盛況！
イベントの司会を務めたのは『SAMURAI!!』の「生でGONG!×2」で（浅草キッドとターザン山本が出演する月曜日担当）キャスターを務める笹田道子さん。素敵な笑顔と天使のようなボケで人気急上昇中のお姉さまだ!! そして、もう一人は本誌読者にはおなじみの鬼畜編集長・山口日昇である。

山口&笹田　みなさん、こんにちは！
【観客から「こんにちはーッ！」】
笹田　今日は武藤選手のトークショーということで、山口さんも聞きたいことがいっぱいあるんじゃないですか？
山口　いっぱいありますよ。ミル・マスカラスの正体は誰だとかね、魔界倶楽部の正体は誰だとか……。
【会場沈黙】
山口　あんまりウケないですね（笑）。
笹田　そ、そうみたいですね（笑）。さぁ、さっそく武藤選手をお呼びしたいと思います。全日本プロレス、武藤選手の登場です！
【……武藤登場せず】
笹田　こういうことってあるんですね（笑）。
山口　（スタッフから事情を聞き）いま会場横のゲーセンでゲームやってるそうです（笑）。
笹田　（しばらくしてから）それでは改めて、武藤選手の登場です！
【大武藤コールの中、武藤入場！　おなじみのムトウポーズを決めまくる武藤】
笹田　今日はいろんなことをお聞きしたいと思いますので、よろしくお願いします。

武藤　どうも武藤です。山口さん、ごぶさたしてます（と握手）。今日は新日本の情報をよろしくお願いします。新日本のG1の結果って、どうなったんですか？
山口　いやぁ、みなさんもご存じのとおり、優勝は高山選手です！（キッパリ）。
【「違うよ！」という声こそ飛ばないが無言で突っ込む会場】
山口　あ、違いますね（笑）。蝶野選手が優勝してます。
武藤　ああ、嬉しいですね。
山口　高山選手が勝つとは思ってなかったですか？
武藤　高山が勝った方が、ビジネス的にはいい方向に行くような気がしたんだけどな。
山口　さすが次期社長（笑）。今日、G1帰りの人います？
【10人以上が手を挙げる】
武藤　へぇ～、いっぱいいるんだ。よ～し、全日本の8月30日も負けずに頑張るぞ！
【会場から大拍手】
武藤　みんなチケット買った？
【あちこちから「買った！」】
武藤　オーッ、えらい！　31日の方を買った人もいるよね？　そっちも偉いっ！
山口　とかいって、中には31日のZERO―ONE後楽園大会のチケットを買った人もいると思いますよ。
【会場のファン、クビを横に振る】
武藤　ZERO―ONEも同じ日にやるんだ？　へぇ～？　『紙プロ』も、全日本を贔屓してくださいよ（笑）。
山口　も、もちろんですよ！
笹田　なにか30日のカードを決めるので、随分夏バテをされたというのを聞いたんですけどね。大変でした？
武藤　（嬉しそうに）勉強してるねぇ？

若干編集は加えてあるものの、武藤のトークがじつに魅力的であることはおわかり頂けるはずだ。常に観客を意識した武藤の天然トークで、会場中から笑いと驚きが絶えず湧き上がるナイスなイベントだった。生で見てもやはり美しい笹田道子キャスターの天然ボケ発言も、じつに絶品だったことも付け加えておきたい。

笹田　勉強しましたよぉ。
武藤　でも、それぐらいでバテるわけないじゃないかよぉ。
笹田　そうなんですか？　随分、頭を悩ませたんじゃないかなぁと思ったんですが？
武藤　頭がどうしたって？　薄くなった？
笹田　違います（笑）。
武藤　まぁ、自然淘汰されましたよ。もうひと踏ん張りなんですけどね。もう一つ……。
【会場から「何？」という声】
武藤　そんなの決まってんじゃん!!
山口　おお、決まっている！　ヒントを出してくださいよ。
武藤　まさしく俺と一緒で髪の毛がないヤツ……らしいよ。俺もよく知らないから（笑）。
山口　髪の毛がないヤツって言っておいて「30日の武道館大会にアレクサンダー大塚もしくはマット・ガファリが参戦！」とか言ったら、きっとみんな怒りますよ（笑）。そして武藤さんがね、〝グレート・モト〟を出すっていうことを言いましたよね。
武藤　へっへっへっへっ。モトさんはですね、多分出てくれないですね（笑）。
【会場から「出して！」という声】
武藤　こればっかりはさぁ、俺でもあの人には何も言えないんですよ（笑）。でも、30日と31日では30日の方がハンディあるんですよ。やっぱり金曜日だから。応援お願いします！
山口　29日には同じ武道館で新日本がありますからね。
笹田　（会場のファンに）昨日、G1見に行かれた人います？　元チャイナのジョアニー・ローラー選手が「私がこれから知り合いをドンドン、リングに上げていくわよ」と発言したんですが、その第一弾がグレート・ムタだと発表したんですよね。
武藤　……嫌味だねぇ。
笹田　武藤さんは新グレート・ムタを封印されたという話を聞いたんですけど。元子社長があまりお気に召してないらしいですね。
武藤　よく知ってるね（笑）。でも、封印な

んてしないよ。ただ、グレート・ムタって仕込みとか面倒くさいんですよ（笑）。でも、今度のアレは楽ですね。まず塗るスペースが少ないですからね。かぶりモノだから。

笹田 やっぱりペイントをしたりすると人格が変わったりするんですか。

武藤 変わるけどでも今度のかぶりモノだからなぁ。

笹田 どういうふうに変わるんですか。

武藤 えっ？……蜘蛛みたいに。

笹田 気持ちが、く、蜘蛛みたいに変わるんですか？（笑）。それは凄いですね。

武藤 俺もよくわかんねぇんだよ。

山口 ガハハハハ！　でも、元・闘魂三銃士の橋本真也選手が言ってましたよ、「今度のムタはよくない」って。

武藤 （ビックリして）えぇ〜⁉　俺、気に入っているのに。やっぱりブッチャーはセンス悪いな（笑）。

山口 「（橋本の真似で）今度のムタは良くない。なぜかというとあれは怖いやろ！　子供もビビるやろ？」って言ったらしいです（笑）。

武藤 そのためにやってるんだよ！

笹田 怖さを出したかったんですか？

武藤 いやぁ……髪の毛がない時点で自然淘汰されたんですよ、アレに。

【会場爆笑】

山口 写真を見たら、あれは観に行きたくなりますよね。

武藤 そうッスか。嬉しいですね。じゃ今度ぜひ見に来てください。

山口 ボク、この間見に行きましたよ。7月20日。三変化の時。バツグンに面白かったですよ。ただね、その三変化には一人だけ異を唱えている人がいるんですよ。ターザン山本っていうキ●ガ●の親父なんですけど（笑）。

武藤 あのオッサンがクレームつけてるの？

山口 「あの三変化は武藤敬司のプロレスのポリシーからするとおかしい」って。「大技を封印して、一試合のなかで大技を3つか4つ的確に出していく武藤が、なんで一日に三試合もやらないといけないんだ？　アレは出しすぎだ」って。

武藤 （口を尖らせて）で〜もさぁ、あの日、技はそんなに出していなかったよね。

山口 技はね。でもそういうプロレスポリシーの中で一日三試合は出しすぎである。もっと出し惜しみするのが武藤のプロレス哲学じゃないのかって言ってましたね。

武藤 いやぁ、俺も本当は出し惜しみしたかったんですよ！　やっぱり一試合の方が楽じゃないですか？　でもこればっかりはね、チケットの売れ行きとかいろいろあるし（笑）。

山口 正直だなぁ（笑）。

武藤 だけどね、全部ファンの希望に叶っているはずですよ。

笹田 この半年間というのは全日に移籍されてから突っ走ってきたんじゃないですか？

武藤 そうですね、自分の中では凄い短かったですね。

笹田 短かったですか。この半年間で一番印象に残っていることはなんですか。

武藤 印象ねぇ。今、みんなとこうやって会って話してることでしょう！

【会場拍手】

山口 バツグンですね、武藤さん（笑）。

笹田 8月30日、武藤さんがプロデュースする大会のメインが、武藤さんと太陽ケア選手が対戦するということなんですけど。これはどうしてメインになったんでしょうか？

武藤 （ビックリして）えっ？　どうしてって、それはやっぱり俺がメイン飾らないとしょうがないだろう。

【会場拍手】

武藤 本当にね、太陽ケアって素晴らしい選手なんですよ。多分、アイツ日本人だったらスッゲェスターだよ。言葉の部分とかでアイツはすごく損してるんですよ。技術的なとことか、オール・ラウンドに素晴らしい選手だと思いますね。こないだケアは天龍さんに勝ったしね。素晴らしいものありますよ。

山口 で、その太陽ケア選手とシングルマッチで、武藤さんはどんなプロレスをしようと思っているんですか？

武藤 いや、まだ考えていないですね。素晴らしい試合しますよ。

【会場拍手】

笹田 30日、ミスタープロブレムもまた登場するんですよね。

武藤 アレは石沢の強い希望でね。ねえ、アレの正体は誰なの？

山口 （会場に向けて）わかる人いますか？

【会場から「●●●●の●●選手！」の声】

武藤 おー、やっぱ、わかるヤツはわかるんだ（笑）。

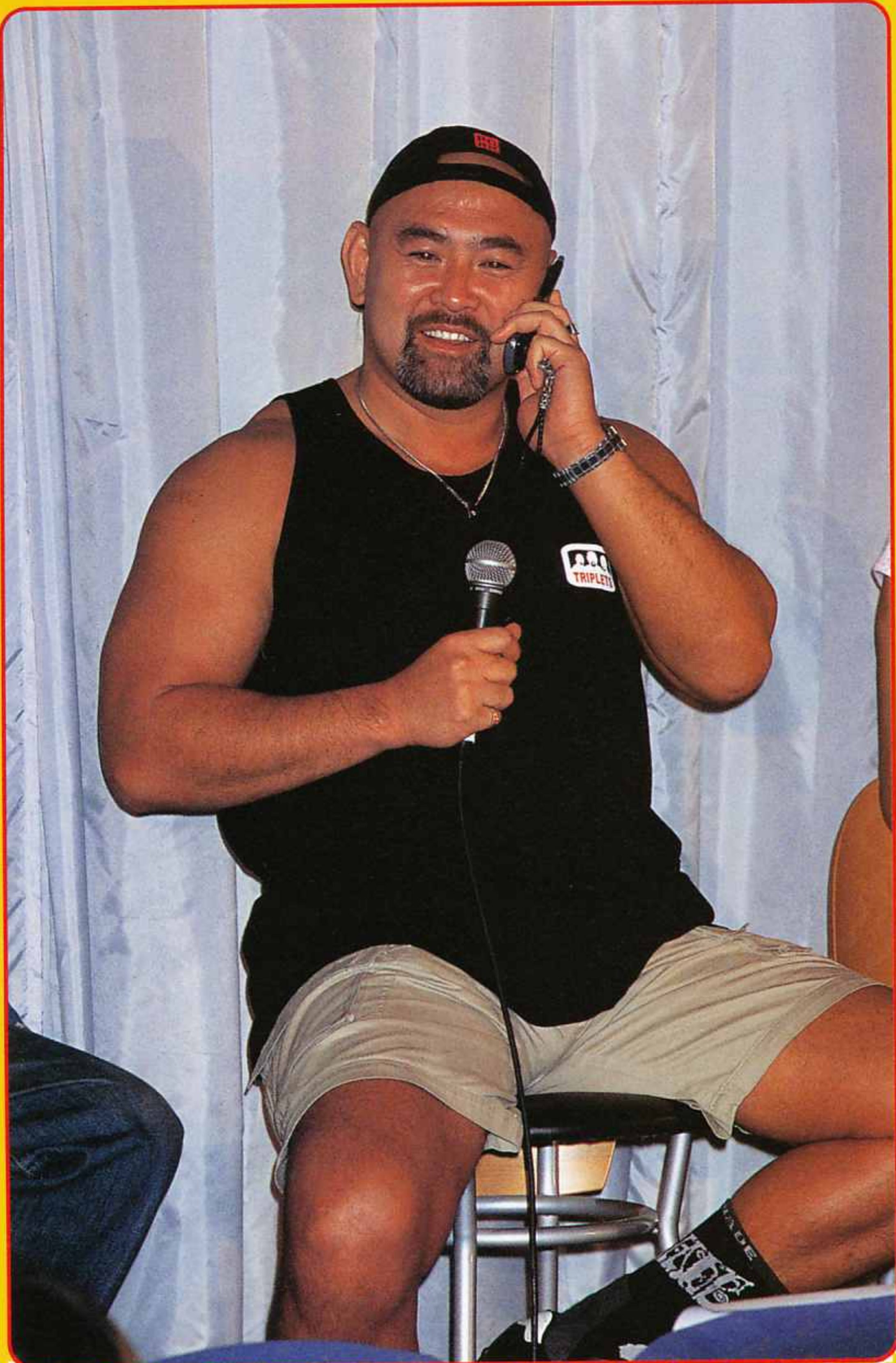
山口 またズバリと言いますね（笑）。

笹田 そうなんですか？

武藤 （イタズラっぽく）もしかしたら違うかもしれない。

山口 今日、僕、●●選手に会ったとき、「今度は出るんですか？」って聞いたら「出ません」って答えてましたからね（笑）。

笹田 それにしても、8月はいろいろ興行がたくさんありますよね？

山口 凄いですよ。8月8日には『LEGEND』という、いろんな意味でとんでもない大会があって、その同時期にG1がありましたからね。

武藤 （『LEGEND』の）視聴率はそこそこ良かったみたいですね。
山口 平均で10・8%ですね。瞬間最高視聴率は21・2%。
武藤 スッゴイですねえ。アレは日テレはOKなんですかね。
山口 だから猪木さんがマイクで「誰が得する東京ドーム」って言ってましたけど、ホントに誰が得するのかよくわかんない興行なんですよね（笑）。
【会場、爆笑】
武藤 ただ、小川とやった白人！ アレは使えそう。
山口 マット・ガファリですね！ あれはいいですよね（笑）。
武藤 なんかさぁ、愛らしさがありますよね。
笹田 じゃあ、全日のリングに登場することもあるんでしょうか？
武藤 でも、ギャラが高そうじゃん。
山口 正直だなぁ（笑）。
笹田 実際、武藤さんはテレビで『LEGEND』をご覧になったわけですよね。どういう感想を抱かれました？
武藤 いやぁ、やっぱ、前半の方の試合はチョットつらかった。
山口 それは見ている人、誰もが感じたと思うんですよ。僕らもつらいですからね（笑）。
武藤 ああいうところでグレート・ムタで毒霧を吹きてえな。
【会場大爆笑】
山口 それやったら凄いですよね（笑）。で、注目したのはマット・ガファリと（笑）。
笹田 負けた原因はコンタクトがズレてしまったからだという話でしたよね（笑）。
武藤 マジかよぉ（笑）
山口 コンタクトがズレて視界がみえないところに鼻にパンチをもらったっていう。
武藤 いいコメントだよ！ いい言い訳をしてるね。プロレスラー向きだよ（キッパリ）。
笹田 武藤選手はガファリ選手はどんな選手だと思いました？
武藤 どんなっていったって……やっぱり練習不足でしょう。お腹はでっぷりだし。
笹田 でも小川戦が決まってからガファリ選手はわざわざ体重を30キロ増やしたそうなんですけど。試合が終わってからみんなにもっと絞った方がいいって言われたらしいですね。
武藤 レスラーはさ、俺もそうだけど、まわりのレスラーもみんな、記者たちに「最近痩せたんじゃないの？」って言われたら、「いや、絞っているんだ」と。「最近、太ったんじゃないの」って言われたら、「いや、増やしているんだよ」って言い訳できるレスラーじゃないとダメだからね。
山口 コメントはそういうふうに言えないとダメですから（笑）。いやでも、破壊王がスゴイなって思いましたね。「俺が言うのもなんだけどアイツは太りすぎや」って。
武藤 ハッハッハッハッハ！
山口 ま、ガファリの話はともかく（笑）。
笹田 気になるのはK－1の石井館長が全日に参入するんじゃないかということなんです。
山口 これはみんな気になるんじゃないですか？
武藤 俺、全然知らないですよ。俺はまだまだ、いちレスラーだからね。
山口 でも、10月ぐらいからは……。
【会場から「社長！」との声】
武藤 でもさぁ、社長になると大変だよ～。何からなにまで全部自分の責任になるからね。
山口 お金の管轄も全部やるわけですからね。
武藤 多分、藤波（辰爾）社長だって、いま泡食ってますよ。
山口 藤波さんは15年くらい前から泡食いっぱなしでしょう。
【会場、爆笑】
武藤 えーっと、それでなんだっけ？
山口 石井館長が仲介してゴールドバーグを全日本にっていう噂があるんですよね。ズバリ聞きますけど、8月の30日の武道館には姿を表すんですか。
武藤 そういう可能性を踏まえて、俺としては対戦相手に小島を推しているわけですよ。
山口 おーっ！ なるほど。（ノーリアクションの笹田に向かい）……笹田さん、ここは驚くところですよ（笑）。
笹田 あ！（固まったまま）心の中で素に戻って驚いてます……（笑）。
笹田 対戦相手として小島選手が挙がってきた理由はどんなところにあるんですか？
武藤 やっぱりね、俺がいまの小島ぐらいの歳だった頃はハルク・ホーガン、リック・フレアー、当時はすっげぇスターだったスティングと試合したからね。そういう経験は絶対に必要ですよ。小島が全日本にきた目的のひとつに週刊誌の表紙をやりたいっていうことがあるみたいだし。あいつ全日本に来てから週刊紙の表紙4～5回やってるんですけど、まだスポーツ紙の一面はないんですよね。
山口 そういえばこの間、大谷（晋二郎）選手が3秒で勝っちゃって『東スポ』で一面になったんですけど、小島選手はジェラシーを燃やしていると思いますよね。
武藤 そうそうそう、些細なことなんだけどね。ねえ、俺の携帯持ってる？（と、突然マネジャーに声をかける）。小島に話してないんで、今ここで話してみるよ。
【会場から大きなどよめき】
山口 スゴいですね！『笑っていいとも』状態になってきました（笑）。
武藤 （携帯を見つめて）あれ、アンテナ立ってねえな。
山口 圏外でしたか（笑）
武藤 お、アンテナが立った。これで大丈夫だ！ ゼロ・キュウ・ゼロ……（と携帯番号を言いながらボタンを押し始める）。
笹田 あ、番号を言っちゃダメですよ！（笑）。
武藤 アイツそういうイタ電が来ると喜ぶんですよ……ああ、残念！ 留守番電話だわ。
【会場からため息がもれる。しかし武藤はお構いなしにメッセージを残し始める】
武藤 もしもし、小島？ チョットお願いがあるんだけどさぁ、あの、8月30日、ゴールドバーグと試合やってくれない？ 返事は後で待ってますので、よろしく！
山口 これはスゴい！ でも、これで小島選手が断ってきたらどうしよう？（笑）。
武藤 （ふと冷静になり）……やばいっ！ 調子に乗っちゃった。言ってから困っちゃってるよ、俺。

ゴールドバーグは石井館長のプロデュースによって、『Dynamite!』に来場。その後、全日本プロレスで二連戦に臨む。全身から漂う超大物感は全日本のリングにフィットしそうだ。武藤とのシングル対決は是非見たい！

（ふと冷静になり）……やばいっ！ 調子に乗っちゃった。言ってから困っちゃってるよ、俺。

山口　ガハハハハハ！これは、小島選手ですか、それとも愚零斗弧士でやるんですか？

武藤　いや、あいつに弧士はあまり必要ないと俺は思うんだよな。もっと小島聡を追求してほしいですね……あっ！（会場のマネジャーを見て）ウチの社員が泡喰ってマスコミにお願いしてますよ（笑）。

山口　武藤対ゴールドバーグも見たいなぁ。

武藤　まあ、その時はその時で考えますよ。

山口　武藤対ゴールドバーグなら東京ドームでやりましょうよ。『LEGEND』よりは客入りますよ（笑）。

武藤　よ～し！（客席に向かい）東京ドームで武藤敬司対ゴールドバーグ見たいか？

【「見たーい！」の大合唱】

武藤　俺、じゃあ、やる！　でも、困る人もいっぱいいるんだよなぁ（笑）。

山口　仲介に石井館長が関わるっていうことについてはいかがですか？

武藤　全然わかんないんだよ。

山口　僕が聞いた話だと、石井館長は仲介とかゴールドバーグを抱えているというわけじゃなく、あくまでもプロデュースをしていくということを聞きましたけどね。

武藤　そのうち、全日本プロレスも乗っ取られちゃうかなぁ？

山口　全日本を乗っ取られるのは絶対に嫌だという人、手を挙げてもらえますか？

【会場のほぼ全員が手を上げる】

山口　おおっ、スゴい数！（笑）。

武藤　ただささ、石井館長に許可もらわないとゴールドバーグを呼べない状況なんだよね？

山口　それは僕にはわかんないです（笑）。

武藤　俺もさ、わっかんないんだけど。でも、俺が全日本にいる限り、乗っ取られるわけねえじゃん！（キッパリ）。

【会場大拍手】

山口　さすが、武藤敬司！

笹田　武藤選手が社長になったらどんなふうにしていくんですか？

武藤　リングアナに女性を使いたいなぁ。

山口　ガハハハ！　そういうところから（笑）。

武藤　客は俺をオッサンだと思うかな？

笹田　リングアナが女性だと雰囲気がガラッと変わるわけじゃないですか。それぐらい雰囲気をガラッと変えたいんですか？

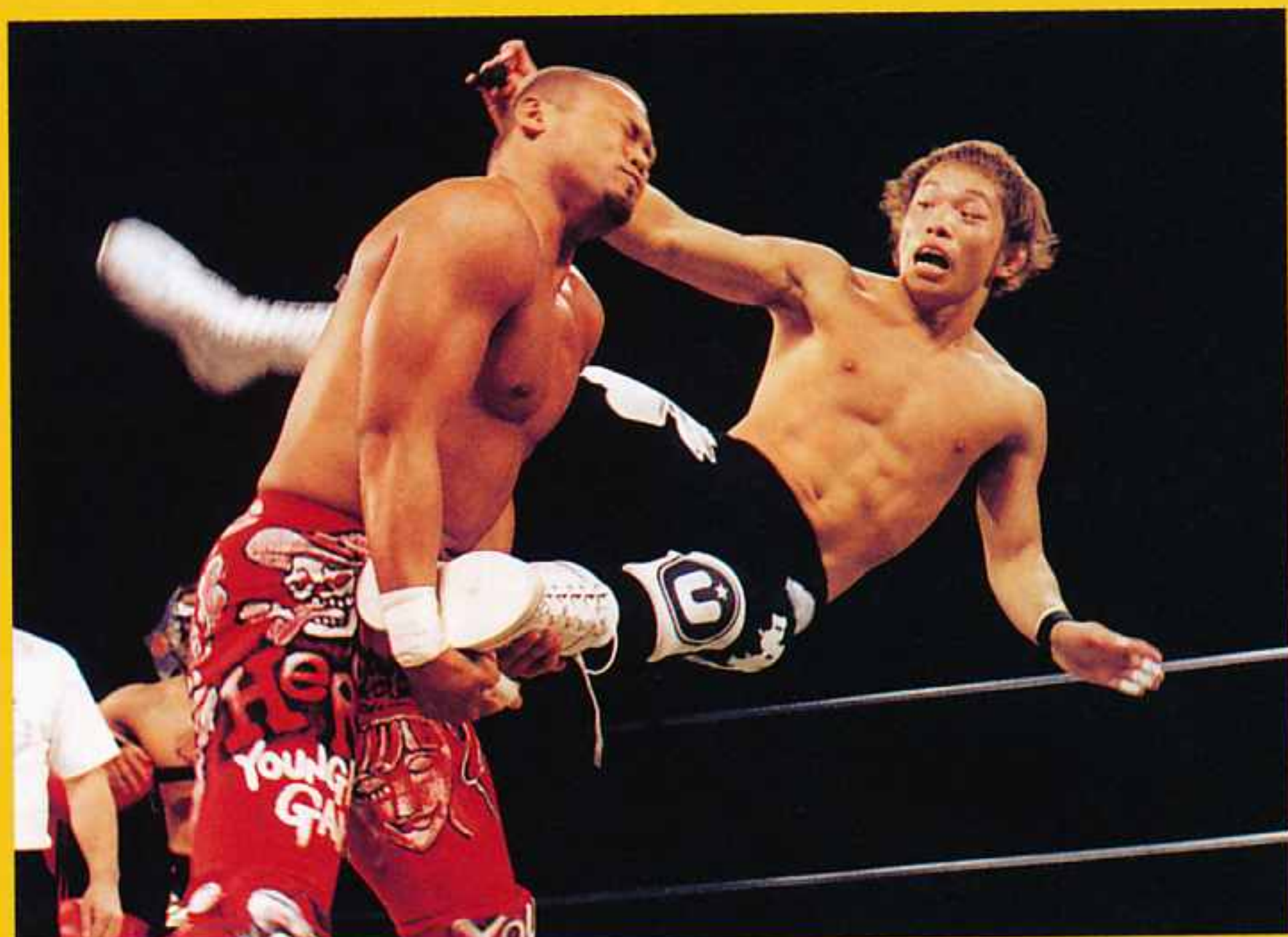
武藤　そんなことないよ。正直言ってこの半年ぐらいは、俺がリードしてきたじゃん？

山口　そんな武藤さんから見て、今の新日本はどのように見えますか？

武藤　う～ん、もがいている気がしますね。いま全日本のポリシーでは鎖国じゃないけど、自力をつけたい部分で、それはやっぱり新日本が反面教師になってるから。今回のG1なんか特に日本人ばっかりで華やかさを感じないじゃん。逆に全日本は華やかですよね。バラエティーに富んでいて。色だけは（笑）。

山口　色だけは（笑）。なんで自分で落とすんですか！　いま格闘技路線って言いましたけど、今度『Dynamite!』という国立競技場で格闘技史上最大のビッグイベントがありますけど。

武藤　あまり意識してないなぁ。ファン層がバッティングしないことを願いますよ。

山口　ただ、興行的にはバッティングしますよね。日にちも近いし。

宇野薫とマット・ガファリの「プロレスLOVE」な素質を敏感にキャッチした武藤は2人を高評価。「プロレスファンはプロレスファン」「格闘技ファンもプロレスファン」ならば「格闘家だってプロレスファン」なのである。

武藤　いやぁー、俺は、プロレスファンはプロレスファンだと信じてるからさ。

山口　おーッ！　それは名言ですね。でも、格闘技ファンもプロレスファンですからね。

武藤　あ、そうなの？

山口　もとはといえば。

笹田　他の興行で気になる対戦カードはないですか？　たとえば『Dynamite!』とか。

山口　いや、笹田さん、いま『Dynamite!』の話をしてたんですよ（笑）。

武藤　う～ん、全日本の大会なら一つ気になるのがあるんだよ。9月15日に山梨県富士吉田市で、武藤敬司の凱旋興行というのがあるんですよ！（笑）。富士急ハイランドの中のホールでやるんですけどね。じつは、友情ヘルプじゃないけど、限定でAPEさんがTシャツ作ってくれるんですよ、その日だけ。

笹田　じゃあ売り切れ確実でしょうね。

武藤　わっかんない。ただね、その俺のイベントに対するヘルプだから、もしかしたらTシャツに富士山が出たりするかもしれないけど……どんなTシャツか、わっかんないよ。

笹田　（驚いて）ふ、富士山……ですか？

武藤　富士山っていったら、みんな笑うんだよ。富士急ハイランドでやるからドドンパになるかもしれないけど（笑）。オリジナルだからさ。

山口　ガハハハハ。APEのドドンパTシャツは見てみたいな（笑）。

笹田　デザインは武藤さんが決めるんですか？

武藤　それはNIGOさんにおまかせします。俺なんか趣味悪いもん（キッパリ）。

山口　そういうのは「任せる」っていうほうがプロレスラーらしいですよ（笑）。

笹田　これからもいろいろな興行がありますけど、私達は8月30日に期待をかけておりますので。

武藤　来るの？　ホントに？

笹田　行きますよねぇ、山口さん？

山口　い、行きますよ、もちろんですよ！　30日ので、もうひとつ聞いていいですか？

俺が全日本プロレスにいる限り乗っ取られるわけねえじゃん！（キッパリ）

前の8月29日の新日本。これでNWF王座復活トーナメントをやるっていう話で、藤田、高山、高阪、安田の4人でトーナメントをやるんですよ。来年の1月にチャンピオンが決まるらしいですけど、このNWFを復活させるということに関してどう思いますか？

武藤　いやぁ、NWFって言われてもさぁ、わっかんねえんだよ。

山口　わかんない（笑）。そのNWFトーナメントには、格闘プロレスをやっている4人が出場します。高山選手にしても『PRIDE』に出たり、安田選手も藤田選手も『PRIDE』や『LEGEND』に出たりしてますね。高阪選手なんて今度初めてプロレスをやる。図らずも、みんなプロレスに帰ってきているような印象を受けるんですよ。

武藤　それはいい傾向。

山口　いい傾向だと思いますよ。逆に『PRIDE』とか総合格闘技はきつくなると思いますけどね。だから図らずも武藤さんが言っている「新・王道伝説」を築くとか、「プロレスを復興させる」という意味では、格闘技に出てた選手が、これからもプロレスに両足突っ込んでやってくれたら力になりますよね。

武藤　例えば、宇野ちゃんっていますよね？

山口　宇野薫選手ですね。

武藤　彼も格闘家じゃないですか。ただ、彼はプロレスに対する思いって、スッゲェ真剣だったですよ。彼はスッゴク練習を積みましたね。その気持ち、リングに伝わりましたよ。

山口　そもそも宇野選手はオレンジのタイツ履いている頃の武藤さんのプロレスを見て憧れてた。猪木さんのプロレスには全然かすってない、新世代のプロレスラーですよね。そういう選手を全日に引き入れていこうという考えはあるんですか？

武藤　いや〜、目指したいのは、全日本で生産できる環境？　レスラーを外から借りてくるんじゃなくて、優秀なレスラーをどんどん育てられる環境を作りたいですね。昨日も新人テストだったんですよ。馳先生が仕切っていたけど、あんな素晴らしい仕切り方ができるのは先生しかいないですね。

山口　声がカン高いですからね、先生は（笑）。

武藤　優秀なヤツが一人入りましたね。近年稀にみる素質を持ったでっかいヤツが。

笹田　今後に期待がかかる全日本プロレス、そして武藤選手なんですが……武藤さん！　そろそろお時間となってしまいました。今日はありがとうございました。

武藤　こちらこそ。

じゃんけん大会＆素敵なプレゼントの後、イベントを締めたのはノリノリな武藤が考案した「1、2、3、ブーッ!」。そして壇上でお客さん全員とお別れの握手をしてイベントは終了した。ひとりひとりの目を見つめて、固い握手を交わしていたのが印象的だった。

この後、ジャンケン大会が行われ、グレート・アントニオ特製のサイン入り武藤Tシャツが3名にプレゼントされ、最後は武藤考案の「1、2、3、ブーッ！」で、この歴史的なトークイベントは幕を閉じた。

終了後、控室に戻った頃に小島からのコールバックがあり、武藤は「遅いよぉ！」と悔しがったが、「すっげえ盛り上がったぜ！」と興奮気味に報告していた。

翌日の『東スポ』では裏一面を半分占拠してしまったこのトークショーがきっかけとなり、小島対ゴールドバーグ戦がホントに実現したのは、すでに多くの方がご存知だと思う。ひょうたんから駒ならぬ、トークショーから小島対ゴールドバーグ。さすがは閃光魔術師・武藤敬司だ。この歴史的な型破りトークショーは、ゴールドバーグ初来日とともに、後世語り継がれていくであろう。

コジコジトークショー情報

コーセーアンニュアージュトーク
第141回
小島聡（全日本プロレス）vs　**朝日健太郎**（ビーチバレーボール）

異色のビッグ・ツーショットが本音でせまる人気トークライブ「コーセーアンニュアージュトーク」に小島聡が登場！　元全日本プレイヤーでビーチバレーボールに転向した朝日健太郎相手に、コジコジは何を語るのか!?　女性必見のトークショー。チケットプレゼントもあります！　下記参照――ッ！！

日時：2002年9月17(火)　18：00／開場　19：00／開演
会場：恵比寿ガーデンプレイス/ガーデンホール
料金：前売り　¥2100　当日　¥2500（全席ドリンク付き、整理番号順の入場になります）
チケット発売：チケットぴあ　03-5237-9999／マーク・アイ　03-3464-0761
チケット発売日：8月12日(月)
お問い合わせ：マーク・アイ　03-3464-0761

5組10名様に、「第141回コーセーアンニュアージュトーク」チケットプレゼント！
はがきに住所、氏名、年齢、職業をお書きの上、下記までご応募下さい。
〈宛先〉〒150-0031　渋谷区桜丘町12-8　渋谷コーポラス506号
マーク・アイ『紙のプロレス』9/17チケプレ係

武藤が!!　意外な大物招へい　大仁田が!!
長州
ゴールドバーグ
30日武道館大会の隠し玉を公表
長州・大仁田VS小川・橋本の電流爆破じゃ〜

「G1決勝の日にブチ上げた」とこの『東スポ』にもあるように、G1の裏で行われたにもかかわらず、このビッグニュースは裏一面をゲットした（一面はG1決勝戦の模様）。噂の段階から実現の段階へ、このトークショーがきっかけとなりゴールドバーグの初来日は急展開、さっそく翌日には石井館長が翌日の『Dynamite!』の会見でゴールドバーグの来日を正式発表して、全日本もその翌日にカードを正式発表した。

全日本プロレス全日本プロレス全日本プロレス全日本プロレス

武藤vs天龍 プロデュース対決

異色の好カード次々実現!

ゴールドバーグの参戦、遂に正式決定！

マット界、8月興行大戦争の掉尾を飾るビッグイベント。全日本プロレス武道館2連戦の全対戦カードがいよいよ出揃った！

初日（30日）を武藤、二日目（31日）で天龍がプロデュースするということが話題のこの大会だが、そんな対立構造を吹き飛ばすほどの爆弾が投下された！　これまで何度も来日が噂されては消えていたゴールドバーグの参戦が、今度こそ現実となるのだ！

迎え撃つのは絶好調・太陽ケアと日本代表・小島聡。小島にとっては、新日本を辞めてまでやりたかったプロレスとは何であったかを見せるのに、絶好の機会が訪れたと言えるだろう。ズバリ両日通して一番の目玉カードだ。

また、その他にも30日は、武藤vsケアという、全日本の「10月以降」を先取りしたカードを筆頭に、天龍vs馳、カシンvsニセ・カシンのタッグ対決が実現。31日は闘龍門勢の参戦、そして最後は天龍軍（WAR）と武藤軍の5vs5イリミネーション・マッチと異色の好カードがズラリ勢揃い。「ガチンコ」旋風吹き荒れた夏の終わりに、武道館で純プロレスの神髄を見よ！

王道30 GIANT BATTLE in 武道館
2nd BATTLE 楽（たのしく）の闘い
8月30日（金）日本武道館

武藤敬司	vs	太陽ケア
「クロニック」 世界タッグ選手権試合		
ブライアン・アダムス ブライアン・クラーク	vs	マイク・バートン ジム・スティール
小島 聡	vs	ビル・ゴールドバーグ
天龍源一郎	vs	馳　浩
世界ジュニアヘビー級王座次期挑戦者決定戦		
カズ・ハヤシ	vs	ジミー・ヤン
渕　正信 ミスター・プロブレム	vs	アブドーラ・ザ・ブッチャー ケンドー・カシン
スティーブ・ウイリアムス マイク・ロトンド 愚乱・浪花	vs	ジョニー・スミス ジョージ・ハインズ グラン浜田
安生洋二 長井満也 奥村茂雄	vs	嵐 荒谷信孝 相島勇人
トリプル・スレットマッチ		
保坂秀樹 vs 平井伸和	vs	土方隆司
本間朋晃	vs	宮本和志

王道30 GIANT BATTLE in 武道館
3rd BATTLE 激（はげしく）の闘い
8月31日（土）日本武道館

5 vs 5 イリミネーション・マッチ		
天龍源一郎 スティーブ・ウイリアムス 嵐 北原光騎 折原昌夫	vs	武藤敬司 馳　浩 新崎人生 ジョージ・ハインズ カズ・ハヤシ
太陽ケア	vs	ビル・ゴールドバーグ
小島 聡	vs	荒谷信孝
安生洋二 長井満也	vs	アブドーラ・ザ・ブッチャー ケンドー・カシン
奥村茂雄 保坂秀樹	vs	マイク・バートン ジム・スティール
本間朋晃 相島勇人	vs	ブライアン・アダムス「クロニック」 ブライアン・クラーク
望月成晃 ドラゴン・キッド ジミー・ヤン	vs	マグナムTOKYO 横須賀 享 ダークネス・ドラゴン
渕　正信 グラン浜田	vs	マイク・ロトンド ジョニー・スミス
宮本和志	vs	愚乱・浪花
平井伸和	vs	土方隆司

31日のイリミネーションマッチに出陣する武藤軍は、この“武藤三人祭り”プラス新崎人生、馳浩。“5人武藤”実現のため、馳もスキンヘッドにすべし！

カシンが熱望したブッチャー＆カシン組vs渕＆〝ニセ・カシン〟（カシンJr.こと坂●晶氏とはもちろん別人）がホントに実現！　正体は……みんな知ってんのかぁ（武藤調）。

8・30&8・31スカパーでPPV完全生中継決定!!

放送ch　　SKYPerfecTV！
CH141パーフェクトチョイス（両大会とも）
放送日時　　8月30日（金）18:30～全試合終了まで
18:15より事前番組（ノースクランブル）放送予定

8月31日（土）17:00～全試合終了まで
16:45より事前番組（ノースクランブル）放送予定
大会　　全日本プロレス日本武道館2DAYS
王道30　GIANT BATTLE in武道館
■武藤敬司プロデュース
8月30日（金）日本武道館「楽（たのしく）の闘い」
■天龍源一郎プロデュース
8月31日（土）日本武道館「激（はげしく）の闘い」
視聴料金　　1500円／回

■問い合わせ　SKYパーフェクTVカスタマーセンター
【電話】0570-039-888　【携帯電話・PHSから】045-339-0202
（受付時間10:00～20:00）

2nd BATTLE 楽（たのしく）の闘い
東京・日本武道館　8月30日（金）18：30～
3rd BATTLE 激（はげしく）の闘い
東京・日本武道館　8月31日（土）17：00～
特別席　10000円　アリーナA席　7000円
アリーナB席　5000円　1階指定席　5000円
2階A指定席　4000円　2階B指定席　3000円
2階小中高生券　1500円
問い合わせ■全日本プロレス　03-3403-7344

全日本プロレス武道館2連戦全カード決定!!

ゴールドバーグ遂に登場!!

小島(30日)、ケア(31日)と激突!

8・30&31全日本・武道館に参戦！

最後の未知の強豪が遂にその姿を現す!!

WWFvsWCW「月曜生ＴＶ戦争」から生みだされた
全米を制した英雄を讃えよ！

GOLDBERG IS GOD

神秘と伝説に包まれた この怪物は一体、何者なのか？

〝怪物〟ゴールドバーグがやってくる！　神秘と伝説に包まれた〝未知の強豪〟が、またしても夢の障害を乗り越えて現実とクロスして日本という伏魔殿にデビューするわけだ。

その舞台は全日本プロレスの日本武道館2連戦。武藤プロデュース30日が小島聡戦。天龍プロデュース31日が太陽ケア戦。しかも、ゴールドバークの代理人がK-1の石井館長という豪華なお膳立てはどうだろう。ついにプロレス興行にもビジネスの守備範囲を広げることを宣言した正道会館館長が、一体「実際にはどのような内容の後見人契約を北米マット界・黄金全盛期の英雄選手と交わしたのか」の憶測まで含めて、良くも悪くも期待にワクワクさせられる初来襲となったことは間違いない。

それどころか28日の国立競技場での『Dynamite!』に関しても出場が検討されたというから驚くばかりだ。これだけ話題を振り撒いてくれる大物プロレスラーの知られざる素顔とは？

●

アメリカン・プロレス（通称アメプロ）の絶頂は、同じ月曜夜の時間帯に裏番組でメジャーの2団体が視聴率競争をしていた95年の秋から、WCWが消滅した昨年春までの期間になる。この間トップ団体のWWF（現WWE）は、99年秋に新規公開でナスダック株式上場を果たし、総資産が1200億円だと正式にウォール街から認定された。

プロレス興行会社がスポーツ芸術の生誕百周年にして、ついに正規のビジネスだと承認された記念すべき公募日前後の一般メディアでの紹介で、ライバル団体WCWもビック・ビジネスであることが報告されるのが現地の常だった。ここでストーン・コールド・スティーヴ・オースチンと並んで、もっとも頻繁に記事の写真に選ばれていたのがゴールドバークだ。成功劇の主役だし、「私生活は真面目でまともなプロレスラー」という新世代の顔でもあった。

NFLでフットボールをやっていた経歴が、特に北米では非常に都合が良かったことになる。ちょうど「スポーツ・エンタテインメント」という職種定義によって、純スポーツ側の選手からも職業格闘技の人気が尊敬を集めていた時期だったので、アトランタ・ファルコンズで活躍する姿の映像クリップが経歴の紹介に必ず繰り返し使われることで、どれだけ得をしたことだろうか。それが北米大陸でのプロレス市民権が行き渡った状態の、バロメーターのようにさえ感じたものだった。ゴールドバークは、すべてのタイミングと人種的な背景や前のスポーツ暦が絶妙のバランスだったので、本人自身にも理解不能な全国人気の著名人になってしまった。それは不思議なマット界の事実なのだ。

もはや〝ビル〟というファースト・ネームさえ本国では使われなくなって、ユダヤ系アメリカ人を強調する苗字だけが芸名になるほど、お茶の間での知名度は上り詰めていた。新しいスポーツ選手の英雄のひとりということで、CNNの「ラリー・キング・ライブ」他、人気トークショー番組にもたくさん出演していた。ジャン・クロード・ヴァン・ダムと本格共演する映画「ユニバーサル・ソルジャー2」も好評だった。

本当に絵に描いたようなシンデレラ物語なのだ。

WCW末期の悪役転向は失敗だった。本人はケガをしてそもそも画面から消えた。会社がなくなってからも長期契約の給料が支払い続けられていたので、最近までは本当に隠れていた人材ということになる。だからタイムワーナーとの契約がようやく終了したので、WWEは獲得に乗り出したのだが、日本の各団体のビッグマッチを渡り歩くという海外選択のチャンスが先にあることだけは間違いない。

超人ホーガンだって「月曜生TV戦争」でWCWに移籍したように言われているが、実際はWWFとの契約が終了したあと、新日本プロレスで仕事していた時期があった。

●

膨れ上がった怪物イメージと、実際の職人としての職務遂行能力との温度差は難しい。そもそも今日に至るまで「ゴールドバーク最強説」の根拠は何だったのか？

時代は北米でもUFCだったし、パンクラスの英語版もPPVで紹介されていた。日本用のメディアだけでなく本国向きにさえ、本人はそういう格闘技の名前をインタビューで出していた。実際のところ、過去にそういう大会に出ていた武道家出身のような錯覚が意図的に広められたことも間違いない。だからその延長で、タンク・アボットらがWCWに行くのだが、こっちはうまくいかなかった。

やはり真実よりも幻想の方が大衆には覚えられてしまったのだ。

プロレス時代に84週間もWCWナイトロがWWFのRAWに勝っていた時期、ゴールドバークは毎週3～4回、破壊的な強さで快進撃を続けていた。昔のでたらめな数字よりは、173連勝の発表は事実に近い可能性がある。フットボール出身らしい相手を吹っ飛ばす直線タックルは「スピアー」と呼ばれ、相手を持ち上げてバスターで叩くフィニッシュ技は「ジャックハマー」と命名された。アトランタのパワープラント道場で、（当時遠征修行中の）永田裕志に教わった技だという説もある。

試合はすべて秒殺。カリスマ性は十分だった。インテリであるという噂も世間メディアが流していた。黒タイツの禿頭は、そのふたつの大技の正確さのインパクトだけでスターになれた。

ある程度のプロレス試合をこなすようになってからの〝英国紳士〟スティーヴ・リーガル戦はヘロヘロだった。ロッカールームの選手間では超新星をリングでいじめた格好のリーガルが、その制裁でWCWから解雇されたと信じ込まされていたほど、〝オープンフィンガー・グローブの格闘サイボーグ〟はプロテクトされた存在だったのだ。

武道館では、彼のその存在感と、小島聡のうまさが絡み合えば名勝負に化ける。逆にブランクの長さを甘く見れば、お客様を欺くことにもなる。プロレスファン出身でもないゴールドバークにとって、プロレス心と頭を日本市場で開花できるかどうかは未知数だ。WWEのロック様が、横浜アリーナでの試合を生涯最高の試合に選んだように、新しい伝説は受け入れ側チームのメンツによっても左右されることになる。

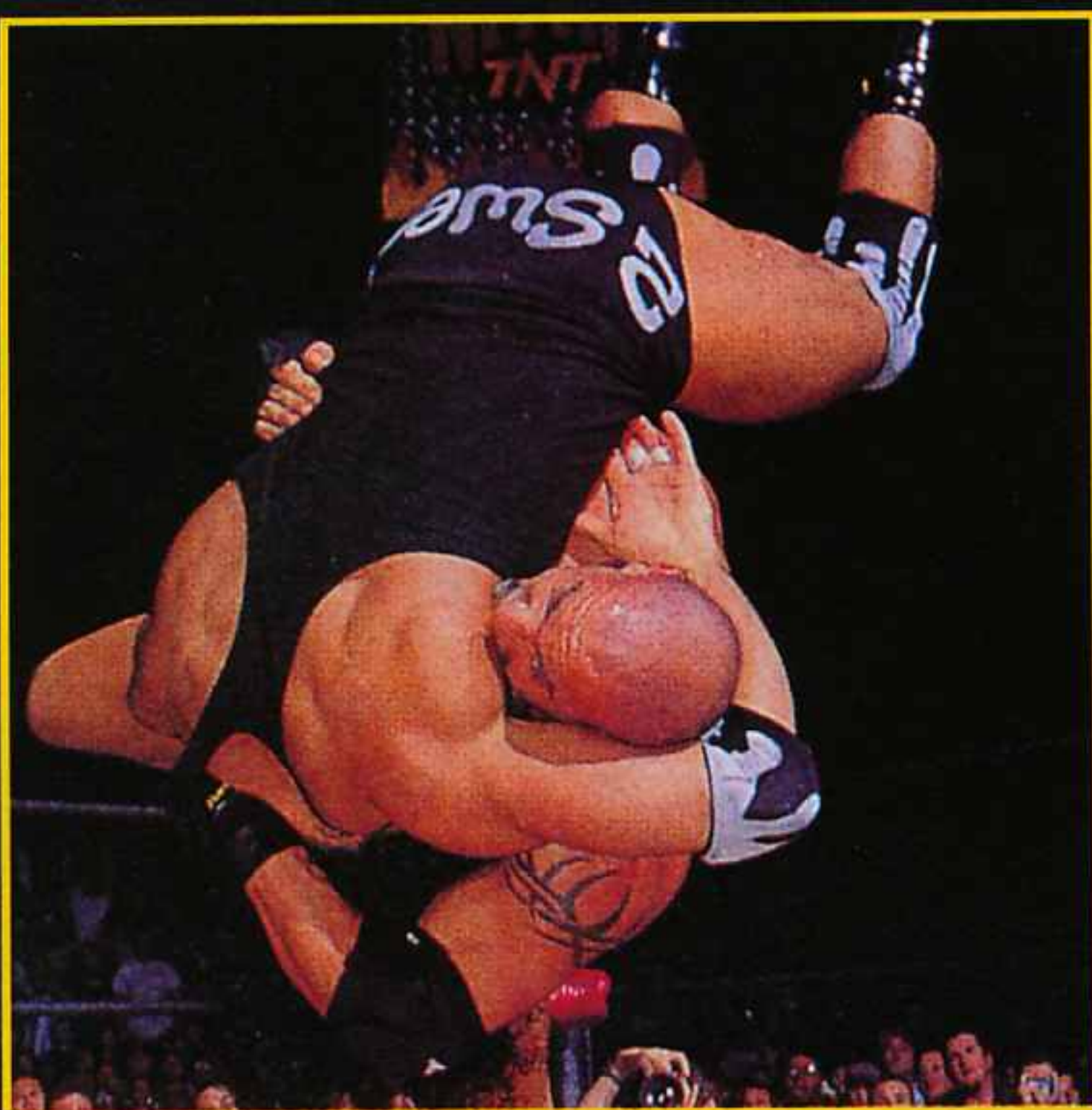
しかし、ゴールドバークは賭けに出た。マクマホンを選ばずに、日本のファンの目にさらされる道を選んだ。北米市場が一社だけに独占されている弊害は、肝心のWWEが自分の首を絞めて苦しんでいる最中にある。競争ほど、人間の能力を引き出す手段はない。あえて日本を再起の場所に指名したわけだ。

「GOLDBERG is GOD!」

WCW時代、英雄をそう讃えたプラカードが会場を埋め尽くしていた。北米マット界・黄金全盛期を支えた英雄選手に相応しい賞賛である。

その〝神〟は今回、日本の地において、どんな伝説を築こうとしてるのだろうか？

伝説の幕開けを確認するため、我々は武道館に足を運ぶ必要がある。

（文・タダシ☆タナカ）

ジョージア大学時代にフットボールで数々の記録を塗り替えたことが、どれほどアメプロ黄金期のスター選手の「過去の経歴」として役立ったことか。28歳で引退してWCW入り。デビューは97年9月だが、98年7月の地元ジョージア・ドーム大会でハルク・ホーガンを破り、WCW世界王座を奪取。わずか1年足らずで頂点まで登り詰めた特異な存在となった。2000年正月、新日本プロレスが東京ドームへの参戦を発表したが、直前に車のフロントガラスを叩き割るスケッチの撮影で本当に拳を切ってしまい来日は流れてしまった。日本人とは夢のカードのままなのであった。言うまでもないが、写真の技は「ジャックハマー」。一撃必殺である。66年生まれの35歳。

祝!! 栄光のNWF王座決定トーナメント出場!

“公の舞台”(by藤田)に踏み出したTKの真意が聞きたい!

「ところで、NWFって何？」

高阪剛

9・7DEEP ノゲイラ弟戦も決定！

大半の読者は御存知だと思うが、新日本プロレスに高阪剛が参戦するという、灼熱のビックサプライズがマット界を襲った！　舞台は藤田和之がプロデュースする「復活!!　NWF王座決定トーナメント～KING OF GLADATOR～」。高阪は10・14東京ドームにて、安田忠夫と一回戦を闘うことになる。7月29日に行われたトーナメント開催決定会見で高阪が、藤田、高山、安田らと並ぶ光景には一種の異様さを感じたものの、"世界のTK"と呼ばれる実力者の存在感は"公の舞台"に上がっていずとも他の三者に引けを取っていなかった。9・7『DEEP』ではノゲイラ弟戦も決定し、11月にはUFCの参戦も噂されるなど、元リングス勢がマット界を席巻しているが、高阪もまた然りである。今回は、新日本参戦の話題を中心に聞いてみた。

聞き手／堀江ガンツ　構成／ジャン斉藤　撮影／松本崇

design by Isamu Ebisawa (ZERO graphics)

自分にしかできないやり方で魅せる自信はありますよ

――最近の高阪さんにはお訊きしたいことが山ほどあるんですけど……まずは、まさかの新日本プロレス参戦についてお願いします！（笑）。

高阪　いきなりそれかい（笑）。まあ、みんなビックリしたでしょうね。

――当然です（笑）。高阪さん自身も、オファーがきたときはビックリしたんじゃないんですか？

高阪　そりゃビックリしましたよ（笑）。「何でオレに？」って正直思ったし。

――高山さんも「高阪さんは絶対にやらないと思っていたんで、記者会見で横にいたとき笑いそうになった」って言ってましたよ（笑）。

高阪　うん、オレも笑いそうになった（笑）。なんでオレはこんなとこにいるんだろう？　なんでオレは木村健悟さんと握手してるんだろうって（笑）。

――ワハハハ！　マジメな話、最初にオファーがきたときはどう思われました？

高阪　最初は興味が沸かなかったんですよね。オレには無理だなって思ったし。でも、何かをやり続くていくときに、その何かを爆発させる刺激が必要だと思ったんですよ。それは、自分がアメリカに行ったこともそうだし、また日本に帰ってきたこともそうだしね。

――自分が抱く目標へのステップ台みたいなもんですね。

高阪　それで、日本に帰ってきてから1年経って、ここら辺でもう一回何かしなきゃダメだろうなと思っていたんです。それにどうあがいても実際にやることに決まったら、自分にもそうだし周りにもそうだし、かなり強烈なスパイスになるじゃない。

――確実に各方面に衝撃は与えましたよね。

高阪　それは自分の中にもあったから。そうすることによって新陳代謝が生まれるし、だから決意したんですよ。

――先ほど「自分には無理だなと思った」とおっしゃいましたけど、それは「プロレスはできないな」と思ったんですか？

高阪　自分がやっている世界とは違いますからね。自分がやっている総合（格闘技）は、偶発的なことか、突発的なことで成り立ってると思うんですよ。

――瞬間瞬間をどう対処していくかと

TSUYOSHI KOSAKA

ホジェリオ戦は見ないと、本当に損する試合になりますよ

いうのが格闘技ですよね。

高阪　特に日本のファンは総合はそういうもんだと見てくれてるんだと思うんですよ。出血でストップして早く終わった場合でも、寛大な気持ちで見てくれるというかね。

——でも、プロレスファンはそうはいかない、と。

高阪　すごく目が肥えてるし、何が良くて何がダメという判断がものすごくシビア。ただ面白ければいいってわけじゃないし、技術的なことも大きなところから小さなところまで、奥の奥まで見る目を持ってると思うんですよね。そういう雰囲気もあるんで、自分がずっとやってきた世界とは全然違う世界だと思うんですよ。

——格闘技なら「勝利」という間違いないゴール地点があると思うんですけど、プロレスの場合だとこれをやったら絶対という答えがないってよく言われますよね。

高阪　いきなりできる甘いもんじゃないと思うし、難しいとは思うんですよ。しかも、自分がいま一生懸命やっているのは総合格闘技の方だから。でも、どうやって魅せてようかと考えてやることに意義があるじゃないかって。

——それこそスパイスにするためですよね。

高阪　それが良いことであろうと悪いことであろうと、全部の方面に影響が出てくるからね。そのためには真剣に取り組むつもりだし、そうしないと意味がないですから。

——影響でいうと、単純に知名度なんかにしても上がりますよね。

高阪　上がるでしょうね。

——なんといっても高阪さんは、藤田選手に言わせると「いままで公の舞台に上がらなかったのがおかしいくらいの実力者」らしいですし（笑）。

高阪　ハハハ！　まあまあ、藤田はやっと、人間のね……（笑）。

——やっと人間の言葉を覚えたということですか（笑）。

高阪　そこまでは言ってない（笑）。

——ワハハハ！　まあ、藤田さんが言うニュアンスは伝わりましたけどね。

高阪　あ、そういえば、ＮＷＦって何なんすか？（真顔で）。自分、わからないんですけど。

——ワハハハ！　知らないでトーナメントに参加するんですか！（笑）。ＮＷＦというのは、猪木さんが70年代に巻いていた栄光のベルトですよ（笑）。

高阪　70年！　オレが生まれた年だな（笑）。

——他の3人も、猪木さんのＮＷＦチャンピオン時代を知らないらしいです（笑）。ちなみに高阪さんは猪木さんとは会われたことはあるんですか？

高阪　猪木さんねえ……（笑）。実は、猪木さんが住んでるＬＡとシアトルって（成田の）ゲートが一緒だから空港で何回も会ってるんですよ。

——あ、そうだったんですか。

高阪　何回も会ってるんだけど……だけど。

——だけど？

高阪　会うたびに「初めまして」って言われる（笑）。

——ワハハハ！　さすが猪木さんです（笑）。

高阪　だから、こっちも4回目ぐらいから「初めまして、高阪です」と言うようにしてた（笑）。Ｋ—１の会場でも会ってるし、数え切れないほど会ってるんだけどな（笑）。きっと、あまり意識されてないんだろうな。

——新日本に出場することが決まってからは会ってないんですか？

高阪　ないですね。

——東京ドームの安田戦で「誰だい、アイツは？　なかなか使えるじゃねえか。ロス道場に呼ぶのも面白えな。ンムフフフ」とか言われそうですね（笑）。

高阪　「4人ともなんであんなに野獣っぽいんだ？」とかね（笑）。

——ホント、4人ともみんなゴツイですよね（笑）。

高阪　ネットで書いてあったらしいけど、「人類最強トーナメント」じゃなくて「類人猿最強トーナメント」だって。このトーナメントは、二足歩行になったギリギリの人たちの闘いなんだよ（笑）。

——人類の枠には収まらないから、新しいベルトも作らざるを得なかったと（笑）。

高阪　そう、これまでの括りを超えている（笑）。それで、高山さんが一番まともなのかもしれないね。あの中だったらの話だけど（笑）。

——高山さんが一番人類に近いですか（笑）。それで、今回のトーナメントで高阪さん以外の3人は、プロレスのリングでも活躍してますよね。高阪さん1人だけ毛色が違うわけですけど、どんなことを期待されてのオファーだと思います？

高阪　う〜ん、何だろうなあ……。いや、わかんないですよ、そんなの。

——予想するに、ＵＦＣ系ファイターがプロレスのリングに上がっても、必ずしも受け入れられていない現状の打破だと思うんですよね。

高阪　他にどんな選手がいったけ？　ドン・フライとか？

——バス・ルッテンもいますね。ルッテンは先日、ＩＷＧＰヘビー級にも挑戦したんですよ。

高阪　ＩＷＧＰ……？（棒読みで）。それはどうなったんですか？

——結局、チャンピオンの永田選手に負けちゃいました。……しっかし、高

阪さん、ホントに知らないですね（笑）。

高阪　いや、本当に知らないですよ！

――居直らないでください（笑）。で、話は戻るんですけど、格闘技の選手がプロレスをやると、どうしてもバーリ・トゥード風の闘いかたに捉われちゃってるんですよ。それだったら、バーリトゥードのほうが迫力があるじゃないですか？　それでどっちつかずになってしまって、プロレスファンからも格闘技ファンも拒絶されるような結果に陥ることが多いんですよね。

高阪　フフフ！　なに脅してるんだ、そうやって（笑）。

――いや、何も知らないんで教えているんです（笑）。

高阪　なにプレッシャーかけてるんだよ（笑）。そこまでワシもアホやちゃうし、ちゃんと考えてますよ。受け入れられるという言い方はおかしいけど、自分にしかできないやり方で、プロレスというものを魅せていくというのはあります。ま、とりあえず、先に『DEEP』がありますから。それが終わってからガッチリ考えようかなって思ってます。

――プロレスに向けての練習をする予定はないんですか？

高阪　う～ん……どうなんだろうねえ。一応、新日本に上がるんだから、道場には挨拶には行こうと思ってますけど。

――実は『紙プロ』で独自に入手した情報によると、高阪さんが……。

高阪　（遮って）そういうのは、大抵間違っているんだよな（笑）。

――まあ、聞いてください（笑）。プロレスラーの●●選手が「G―スクエア」に来ているらしいじゃないですか？

高阪　はぁ、●●……!?

――あ、間違ってましたか（笑）。

高阪　（しばらく考えて）……ああ、はいはい、●●さんね。来てます、来てますよ（笑）。

――やっぱり！　それで、高阪さんがその●●選手とプロレスの練習している噂を聞いたんですよ。

高阪　やってない、やってない（笑）。●●選手は■■■■に出るから、練習する場所を探していて、それでですよ（笑）。

――してないと（笑）。で、小原（道由）選手も来ているらしいですよね。

高阪　小原さんはね、秀彦が連れてきてるの。詳しいことはわからないけどさ。

――秀彦というと、吉田さんのことですよね。高阪さんは吉田さんを「秀彦」と呼んでるんですか。

高阪　うん、だって同い年だもん。

――いや、新鮮な響きだなと思って（笑）。吉田さんも大一番が近づいてますけど、高阪さんも『DEEP』でノゲイラ弟戦が迫ってますよね。このあいだの『LEGEND』の会場には高阪さんも来られてましたけど、ノゲイラ弟の試合を見てどう思いましたか？

高阪　全然、参考になってない（笑）。

――でしょうね。（ウラジミール・）マティシェンコが完全にホジェリオの良さを殺してましたしね。

高阪　いやあ、自分はあんな試合はできないなあ。アレも勝ち方としてアリなんだろうけど、あんな試合をして次の試合があるかといったら、もう呼ばれないですよ（キッパリ）。

――まあ、そうですよね。

高阪　その辺の危機感が（マティシェンコには）あるのかな？　あれじゃ観てる方もやってる方もつらいよ。せっかく動きがあるホジェリオなのにね。潰すのは潰すで構わないんですよ。でも、潰したあとの展開がほしいんです

00.8/23 OSAKA vs ANTONIO RODORIGO NOGUEIRA

アントニオ・ホドリコ・ノゲイラ【0―1／判定ドロー】高阪剛

ノゲイラ兄とはリングス時代に対戦経験がある高阪。上下のポジションが次々と入れ替わる"回転体"を見せる最高峰の技術戦を展開した。高阪は2R早々、ヒザの靭帯を切るアクシデントに見舞われスタンドでの攻防を回避。寝技でノゲイラと互角に渡り合ったのだ。もう一度、見たい！

よね。

——たしかに次の展開が見られなかったですね。

高阪 グレイシーは潰したあとの展開があるから認められてると思うんですよ。マティシェンコは潰したっきりで、あとが何もないんですから。自分は正直、プロとしてはどうかなって思いますけどね。

——"プロ"格闘家としてあるまじき行為（笑）。

高阪 近藤君との試合（『UFC32』／近藤の判定負け）のときもそうだったしね。だから、UFCにはもう上がれないはずなんですよ、マティシェンコは。

——UFCでもプロ失格でしたか！

高阪 試合が面白くないと、PPV観る人がいなくなちゃうからね。だから、勝ち負けも大事なんだけど、"プロ"がやるべきことってあるはずなんですよ。それができたのかといったら、自分の目からはできてないと思う。いろんな評価はあると思うんですけどね。

——とにかく、高阪さんは観るに堪えなかった、と。

高阪 途中で観ていて帰りたくなったし。実際、あの試合が終わったあと帰ったし（笑）。

——ワハハハ！ でも、そこまで言うからには当然、高阪さんは良い試合をする自信はあるんですよね。『LEGEND』でボクとちょっと話したときも、「グラウンドだけで面白い試合をする自信がある」と言ってましたし。

高阪 誰が？

——アナタです（笑）。

高阪 あ、そんなこと言ったけ!? いや、あるある、自信はあるけどね（笑）。

——その話を聞いたとき、去年のアブダビ（・コンバット）でのホーウス・グレイシー戦を思い出しちゃったんですよ。あの試合は、膠着が多いアブダビらしからぬ動きがメチャクチャあった試合でしたよね。

高阪 自分はああいう試合をやりたいんですよ。だから、アブダビにも行ったし。

——高阪さん、凄かったですもんね。攻めまくってるのにアブダビ特有の採点方法によって次々とポイントを失っていくという（笑）。

高阪 そうそう。相手をカニ挟みでドーンと倒したら、向こうのポイントになっちゃうんだよね。なんだよ、それって（笑）。

——それで足をハズしたら、相手にパスガードのポイントが入っちゃったという（笑）。

高阪 もう、どうにでもしろって思いましたよ（笑）。

——ワハハハ！ 新日本の会見でも、「自分のポテンシャルがどれだけ出せるしか興味ない」と言ってましたけど、そういう意味ではホジェリオは最適な相手でもありますよね。

高阪 それもあるんだけど、久しぶりに普通に試合ができそうな気がして嬉しいんですよ。

——普通に、ですか？

高阪 デカイ、オモイ、カタイじゃなくてね（笑）。

——久しぶりにバケモノ以外を相手にできる、と（笑）。

高阪 そんなバケモノに勝ってこそ意味があると思うんだけど、本当に嬉しい（笑）。やりたいことはいっぱいあるし、やらなきゃいけないこともあるんだけどね。でも、そういうことを含めて、濃い中身が詰まった試合ができると思ってますね。ホントに観なかったら、損するんじゃないかって思うよ（キッパリ）。「こんな試合、現実にあるんだ！」っていう試合になるから。……大風呂敷広げすぎかなあ（笑）。

エ!? オレ、外敵!? それは無理だなあ（笑）。

蝶野優勝で終わったG1のリング上において、乱闘の末、新日本隊vs外敵の闘い模様がリング上を駆けめぐった。この図式が今後の流れとなる。高阪はこの渦の中で何を魅せるのであろうか？

——ワハハハ！ ここまで言っといて（笑）。

高阪 いや、言ってて、段々不安になってきた（笑）。でも、それぐらい勝つ自信も魅せる自信もあるんですよ。

——でも、高阪さんがこんな自信満々の発言をするのはそんなにないことですよね。

高阪 そうですか？ いつも自信はあるんだけど（笑）。でも、いざUFCに行ってみたら、自分より20キロも重てえじゃねえかとか（笑）。

——相手と向かい合って、気づくことがある（笑）。

高阪 首なんか太すぎて、首と呼べるモノじゃなかったり。いっぱいあるねえ（笑）。

——高阪さんはプロレス・格闘技のことで、知らないことがいっぱいありますね（笑）。

高阪 核心を突くんじゃない！ そんなこといったら元も子もないじゃないか（笑）。

——当然、最近の新日本の流れとかも、良く知らないんですよね（笑）。

高阪 あ、この前ね、たまたまTVをつけたら蝶野さんと高山さんが試合をしていた。あれは決勝戦？

——大正解です（笑）。

高阪 あれは、何試合もやったうえでの決勝戦なの？

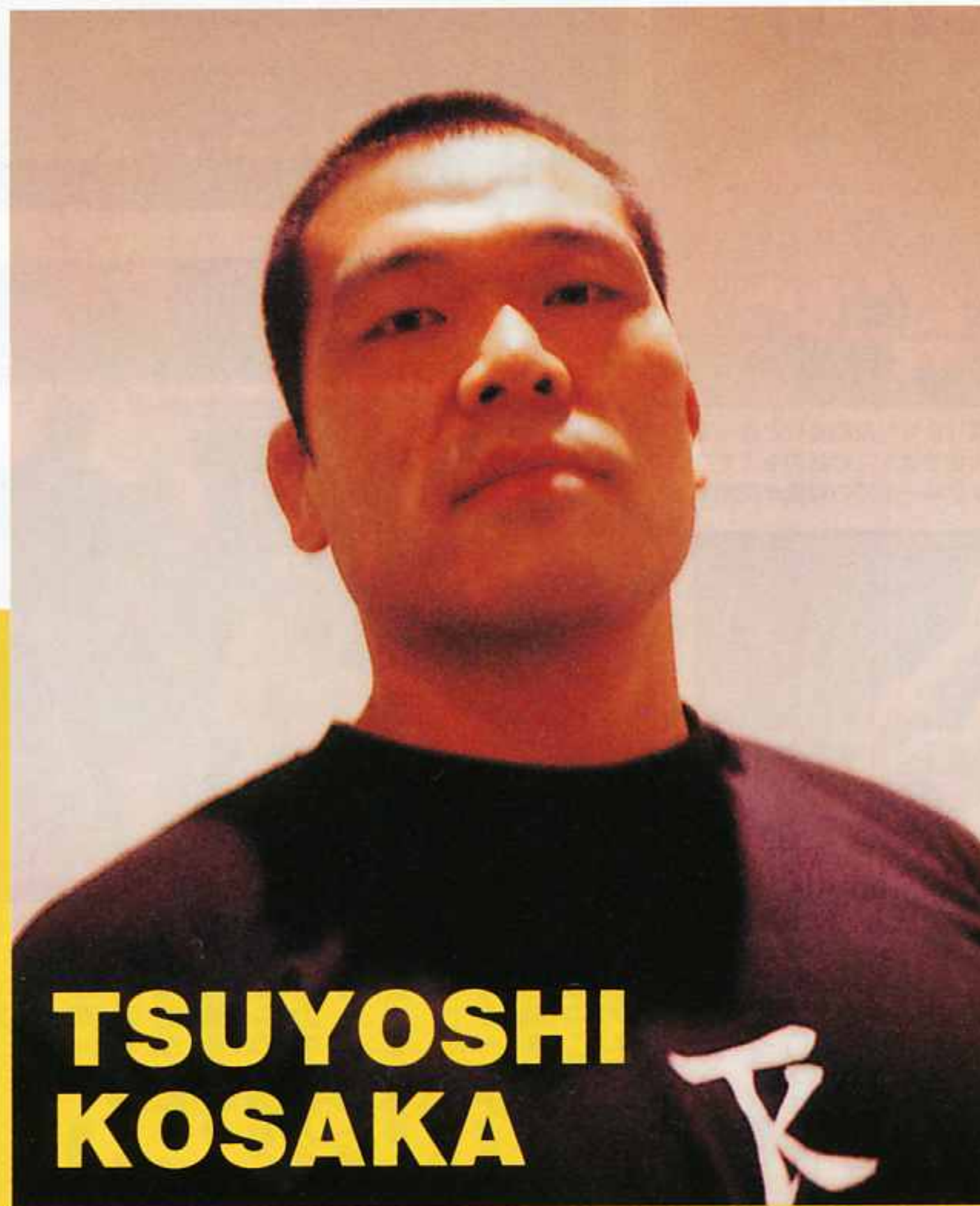
——1週間ぐらいずっとリーグ戦をやっていたんですよ。

高阪 ああ、ずっとやっていたんだ。

——G－1のシステムも知らなかったんですか（笑）。今度から新日本本隊と、藤田さん、高山さん、安田さん、そして、高阪さんら外敵との闘い模様がスタートするみたいですけど、大丈夫ですか（笑）。

高阪 ……外敵？

——そうですよ（笑）。

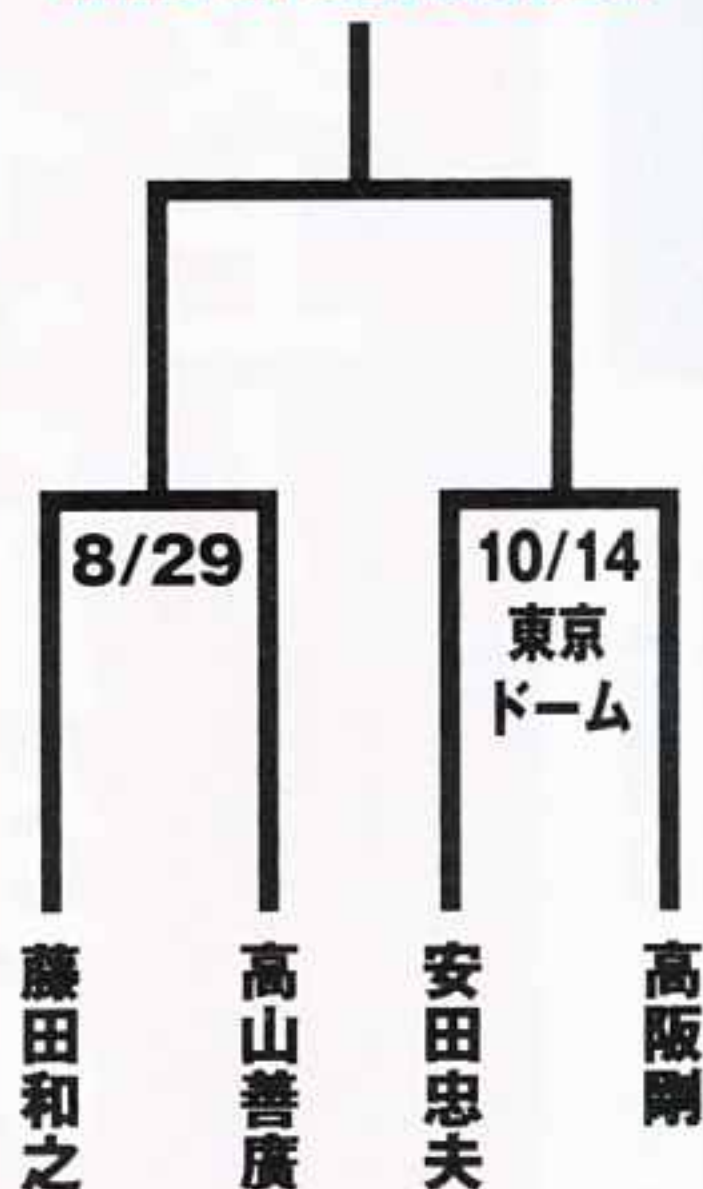
高阪　エェ!?　オレ、外敵!?（自分を指さして）。
――高阪さんほど、「外敵」というフレーズが似合わない人はいないですけどね（笑）。
高阪　ハハハハ！　頑張って悪者にならないと……いやあ、無理だなあ（笑）。
――高阪さんは、誰とでも練習して誰のセコンドにも付くという、マット界の永久中立国な存在ですからね（笑）。
高阪　スイスと呼ばれています（笑）。
――ワハハハ！　で、高阪さんは「魔界倶楽部」の存在も当然、知らないんですよね？
高阪　魔界……（棒読みで）。何、それ？
――外敵の一種で、覆面を被った格闘技集団ですよ。
高阪　オッ、あれでしょう？　柳澤（龍志）さんでしょう！（嬉しそうに）。
――おお、「魔界倶楽部」を御存知でしたか（笑）。
高阪　あ！　でも、マスクマンだから、柳澤さんって言っちゃダメか。いまの削っといてください。
――いや、もう覆面は脱いだんで大丈夫です（笑）。
高阪　あ、もう脱いだんだ。
――それは知らなかったんですね（笑）。柳澤さんはG1の決勝があった両国で素顔になったんですよ。その「魔界倶楽部」には他にも何人かマスクマンがいて、実は高阪さんがマスクを脱いで出てくるんじゃないかとワクワクしてたんですけどね（笑）。
高阪　いや、さすがにない（笑）。
――夢が拡がるんですけどねえ（笑）。
高阪　夢なんかどこにもないよ（笑）。
――いや、高阪さん1人入っただけで、新日本がガ然、楽しみなってきましたよ（笑）。

TSUYOSHI KOSAKA

高阪　だから、そういうことを含めて、明らかに自分の中では刺激になってるはずなんですよ。それが大事なことだと思うし、それをどう活かしていくかが問題だと思いますからね。変な気分だったけど、それはそれで消化しきれてるしね。
――木村健悟さんとも握手できたし（笑）。
高阪　まあね。というか、もうちょっと勉強しないとダメだなあ。新日本って、テレビでいつやってるんですか？
――土曜の深夜、2時半頃ですね。
高阪　ダメだ……寝てるか、もしくは飲んでるな（笑）。
――ビデオで録画すればいいんじゃないですか。
高阪　ああ、そうか。録画すればいいのか。
――何でそんなことを思いつかない（笑）。『DEEP』が終わったら、ゆっくり勉強してください（笑）。
高阪　でも、9月の終わり頃、アメリカに行っちゃうんだよね。UFCで宇野君の試合があるからさ。それでしばらくアッチにいようと思うんだよ。
――それじゃ帰ってくるころには新日本の流れも、だいぶ変わってるかもしれないですね。
高阪　ホント、困った。外敵って言われてもなあ（苦笑）。
――「チーム2000」も解散しましたし、悪役として頑張ってくださいよ（笑）。
高阪　ハ？　チ……チーム2000？
――ワハハハ！　とにかく活躍期待しています（笑）。
【02年8月13日／「G－スクエア」にて収録】

ＴＫは来場するのか!?
NWF王座決定トーナメント発進！

8.29新日本プロレス・日本武道館『Cross Road』（18：00スタート）

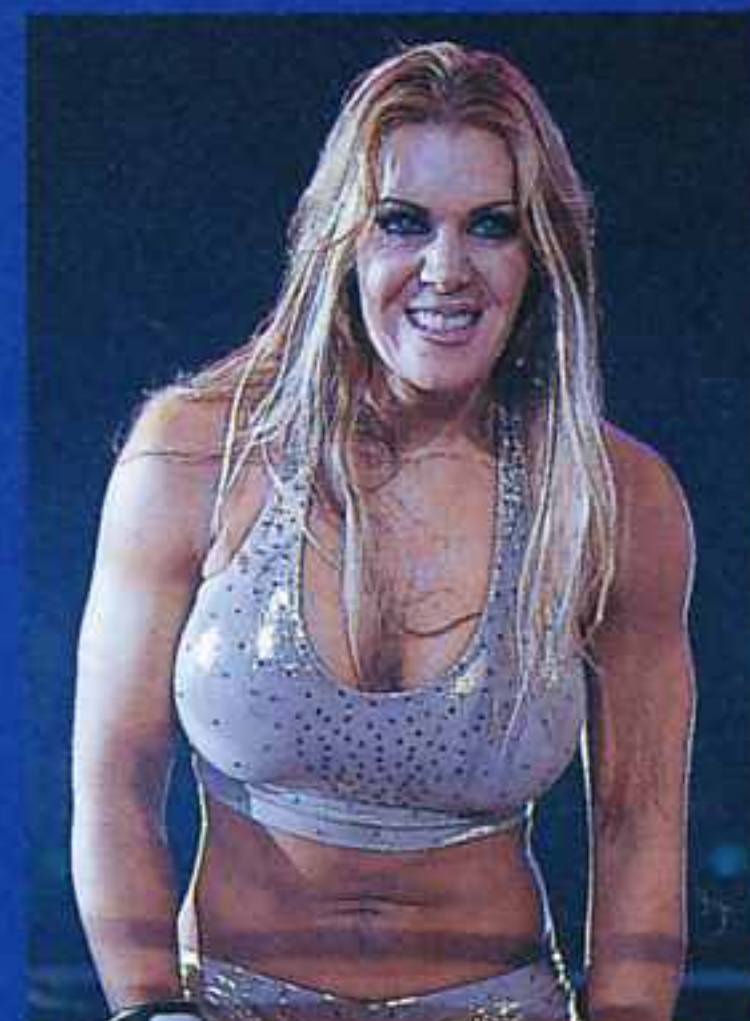
KING OF GLADIATOR

8/29　藤田和之 ― 高山善廣
10/14 東京ドーム
安田忠夫 ― 高阪剛

●「KING OF GLADIATOR」
藤田 和之 vs 高山 善廣

●5分一本勝負
佐々木 健介 vs 藤田 ミノル

●スーパールーキー・デビュー戦
中邑 真輔
vs X（永田 裕志が安田 忠夫を指名）

●新日本 vs ノアJr.三番勝負
井上 亘 vs KENTA
金本 浩 vs 橋 誠
ライガー＆田中稔 vs 金丸義人＆菊池毅
●成瀬 昌由 vs 村浜 武洋
●邪道＆外道 vs カレーマン＆日高 郁人
●タイガー・マスク＆エル・サムライ vs Hi69＆PABLO

「ワタシだって怖いのよ！」
仰天!!　ジョアニー・ローラーが新日本に参戦！　ライガー戦は必見だ！

『G1 WORLD 2002』

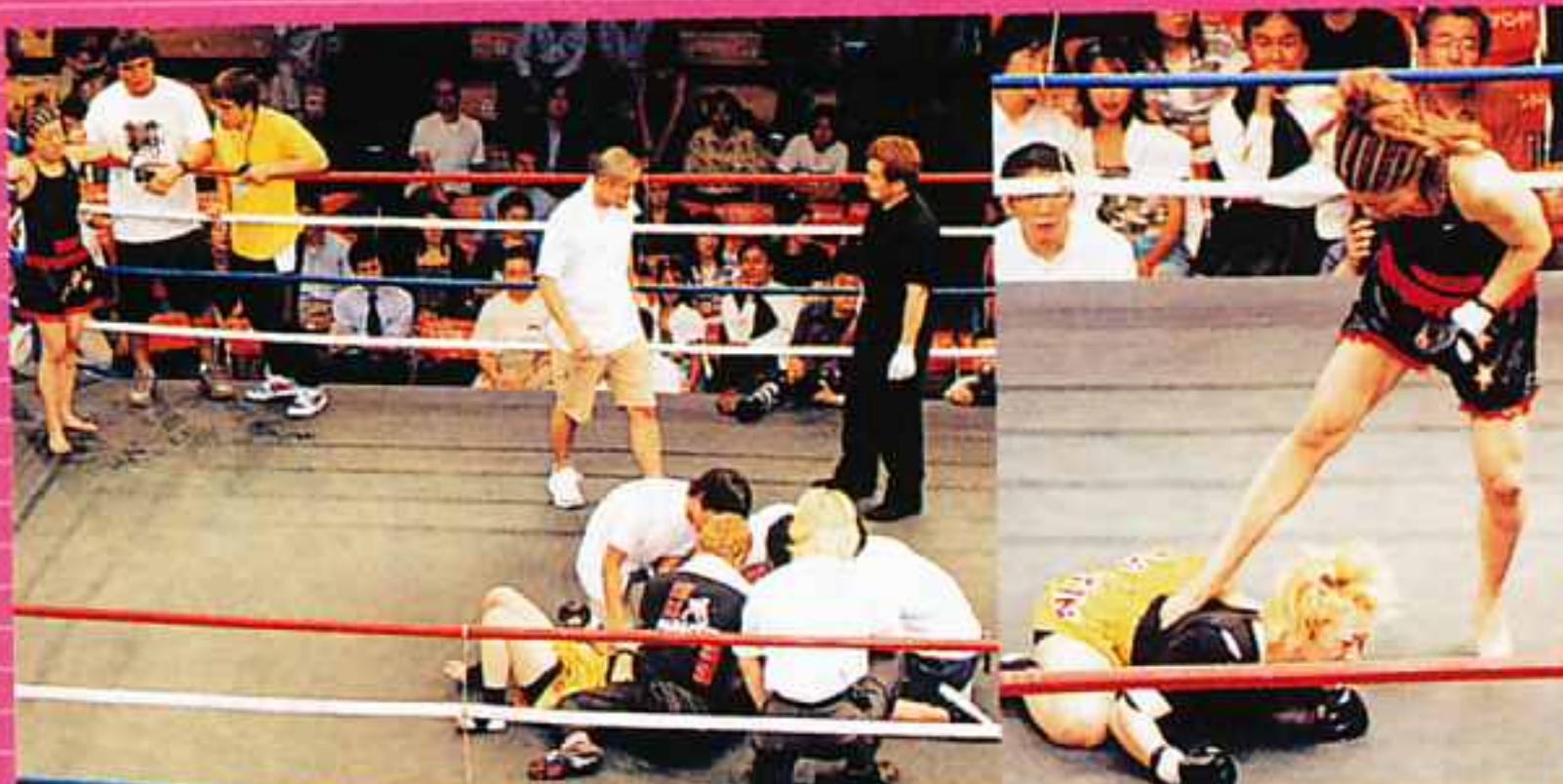
◆9月6日（金）
金沢・石川県産業展示館3号館
ジョアニー・ローラー＆ジャスティン・マッコリー＆シェーン
vs 永田裕志＆獣神サンダー・ライガー＆垣原賢人組

◆9月13日（金）
仙台・宮城県スポーツセンター
ジョアニー・ローラー＆ジャスティン・マッコリー＆シェーンvs
鈴木健想＆棚橋弘至＆ブルー・ウルフ

◆9月14日（土）神奈川・相模原市総合体育館
ジョアニー・ローラー＆シェーン vs 後藤達俊＆ヒロ斉藤

◆9月17日（火）東京・後楽園ホール
ジョアニー・ローラー＆ジャスティン・マッコリー＆シェーンvs
蝶野正洋＆獣神サンダー・ライガー＆田中稔組

マァ★ティン復活の『AX』、NEWヒロイン誕生のスマックガール、女子総合も真夏も大炎上！

女子総合格闘技AX
AX Vol.5 7・26 後楽園ホール

グラウンド状態でマァ☆ティンの顔面、そして背中を蹴りまくり反則負けとなってしまったウィンディ智美。9・6全日本キックの後楽園大会では、この日のセミでフジメグを破ったジェット・イズミと互いに"本職"のキックルールでの対戦が決定！

セミで行われた藤井恵vsジェット・イズミのグラップリングルールの一戦は、場内沸きまくりの一進一退の攻防が続き、結果は大方の予想を裏切りジェットがサンボの女王から逆転勝利！

前号でインタビューをした元クラッシュJrの桜井亜矢（米里倶人満※ちなみに「べりーぐっどまん」と読みます）は照井和瑛と闘い、スリーパーで嬉しい総合初勝利をゲット！

「帰ってきたゼェエエ〜〜ッ！」と言っても、帰ってきたのは、ぶらり、会場に現れた鈴木みのるではなく女子総合のトップスター・星野育蒔のことである。

この日のメインは、前回、星野の肩の負傷のため流れたウィンディ智美との仕切り直しの一戦。星野のセコンドにはパレストラの若林番頭、そしてパンクラスで特訓を積んだウィンディのセコンドには渋谷修身と佐藤光留が付き緊張感も倍増！

ゴングと同時にウィンディの男顔負けのド迫力の打撃と星野の素早い打撃が目まぐるしく交差した緊張感溢れる好勝負は、勢い余ってAXルールでは反則となっているグラウンドでの顔面打撃を繰り返してしまったウィンディの反則負けという結果に。

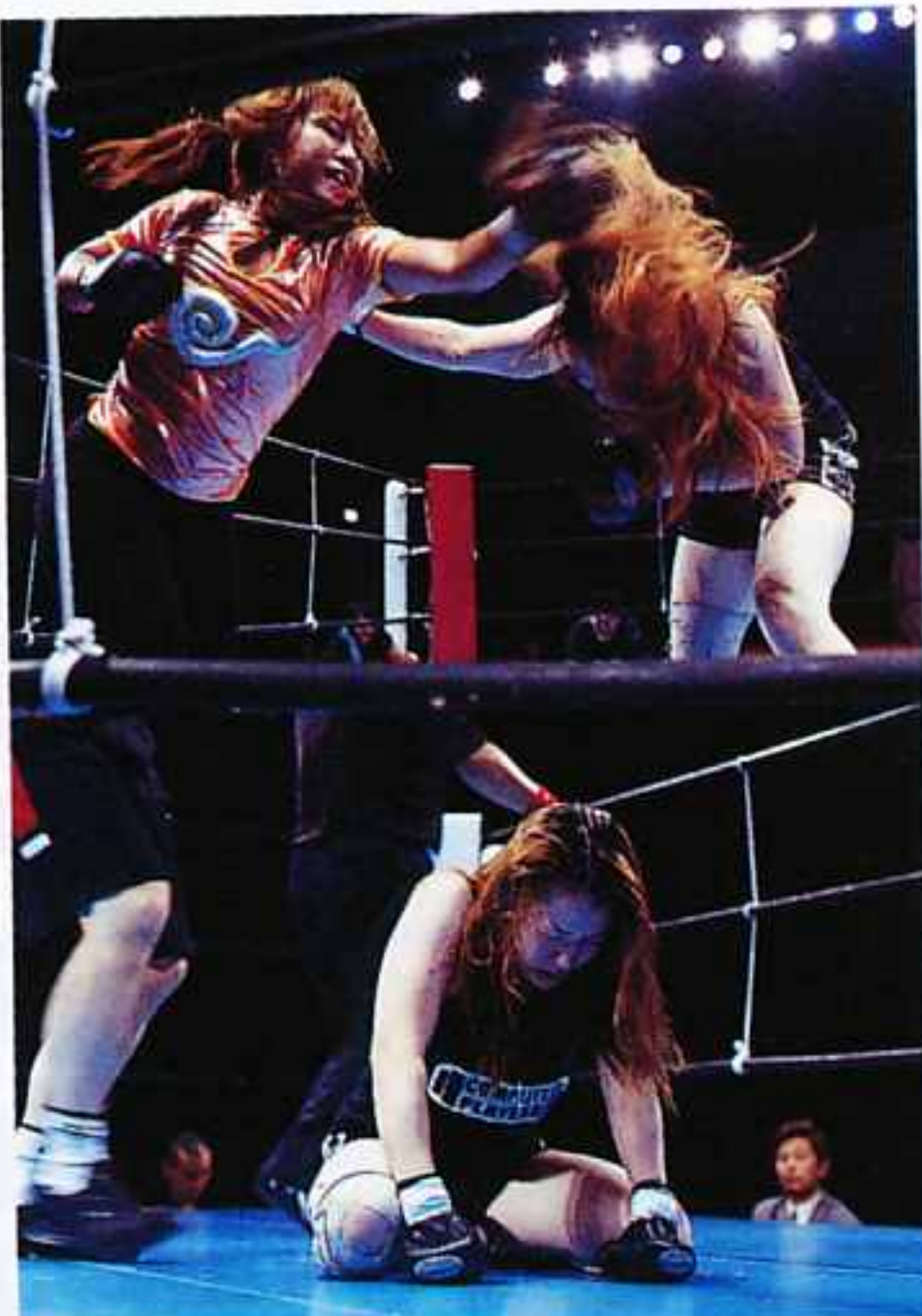
勝利を手にしたものの納得のいかない星野は「こ、今度は顔面有りでッ！（泣き出しそうな顔で）。す、すんげぇ楽しかったんよ！　すんげぇ!!（急に嬉しそうな表情になり）。も、もう一回やって下さいッ！」と相変わらず抜群のマァ☆ティン劇場を披露。

かつての力道山のようにケガをした肩をガチガチに固めてきた今回のマァ☆ティン。ケガを治し、プロレス界を切り開いてきた力道山のように女子総合を切り開け！　キミならできる!!　ふがふが（チョロ）

格闘エンタテインメント SUMACK GIRL
SUMMER GATE 2002
8・4 ディファ有明

格闘エンタテイメントSMACKGIRL
Dynamic! ~LAST SUMMER FOREVER in 有明~
9月1日（日曜日）開場17時30分　開始18時30分
ディファ有明

★一部対戦カード
●SGS公式ルール
石原美和子(155cm/74kg/禅道会)
vs エリン・トーヒル（米国）
●SGS公式ルール
辻結花(156cm/54kg/闇愚羅) vs X
●SGS公式ルール
虎島尚子(163cm/62kg/RJW CENTRAL)
vs 張替美佳(156cm/61kg/ＧＦ２)
●SGS公式ルール
川又尚美(161cm/48kg/チーム品川)
vs 松島帆の帆(159cm/49kg/和術慧舟會)
●SGS公式ルール
大室奈緒子(145cm/47kg/和術慧舟會)
vs 酒井真紀(157cm/48kg/チームアトラス)
★その他の出場予定選手
しなしさとこ(150cm/46kg/GIRL FIGHT AACC)、
ナナチャンチン(147cm/43kg/チーム南部)

主催：スマックガール実行委員会
（Tel:03-5545-4766）
チケットに関する問い合わせは
→オフィスＴ天王洲(Tel:03-5461-0276)

中山香里が「総合格闘技引退試合」として、謎のアニメ声ファイター、Ｌａｙ-ｈｏと対戦。U-FILEでの２週間の特訓も実らず、判定負けを喫し、リング上で泣き崩れた。

東京元気大学ＧＧＧ所属だけあって、須藤元気を思わせる変則的動きを見せる吉住。飛びつき三角絞めなども得意らしい。

女子総合格闘技界にまたしてもニューヒロイン誕生！　その名は吉住絹代！

あの東京元気大学ＧＧＧに所属し、7・7『Ｓ—ＣＵＰ』でのデビュー戦では、6戦6勝6連続一本勝ちを誇るしなしさとこ相手にドローを演じる殊勲を挙げた新星だ。

この日、吉住はデビュー2戦目にしてスマックのメインで、しなしとの決着戦に登場。他の試合とは明らかにレベルが違う高度なグラウンドの攻防を披露し、客席を沸きに沸かせたが、パンチでダウンを奪われたのが響き、判定負けという結果に終わった。

しかし、この試合で見せたグラウンドでのしなやかな動きと、その愛らしいルックス、見事な妹キャラ、アンニュイな喋り、本職は幼稚園の先生という萌え萌えなバックボーンなどが相まって、野郎どもの心を鷲掴みにしたことは間違いないだろう。

事実、試合後の会見では、男性格闘技記者が多数取り囲み、どうせページも取らないのに、延々と質問（というかお話）を止めなかったことでもそれを証明している（あ、この人たちはいつもそうか）。

とにかく！　未完成であるが故に、次々と新しいスターが誕生するスマックは、やっぱりやめられないのであった。（ガンツ）

スマック常連の女子プロレスラー亜利弥は、チーム品川の川又尚美と対戦。フロントネックロック狙いから、十字に移行する見事な動きで一本勝ち。確実に成長している姿に好感。

大谷連覇の『火祭り02』
ホントに熱かったのは誰!?

噂の天下一武闘会
まずはタッグで!?

ZERO-ONEマットに
長州登場!?

中村部長　オッキー沖田

ZERO-ONEのトップ2&3が語る ZERO-ONEのツボ

大谷連覇の火祭り、破壊王が提唱する天下一武闘会、さらにはZERO-ONE参戦が噂される長州問題まで、すでにゼロ中(※ちなみにゼロワン中毒の略)の人も、そうでない人も、ZERO-ONEフロントのトップ2&3が、今後のZERO-ONEのツボを優しくお教えします! これを読めば、あなたもゼロ中街道まっしぐら!

ZERO-ONE
渉外・営業部長
中村祥之

ZERO-ONE
渉外課長・リングアナ
オッキー沖田

構成／松澤チョロ
designed by matsu (Two three)

熱闘だらけの『火祭り02』一番熱かったのは誰か？

——日本一熱い男を決める火祭りは大谷さんの二連覇という形で幕を閉じたわけですけど、一番間近で観てきた沖田さん的には今年の火祭りはどうだったんですか？

沖田　いや、今回の火祭りも熱かったですねぇ。最後Bブロックなんてヘタすると全員4点で並ぶ可能性もありましたからね。

——ZERO—ONEだったら4wayで決勝進出決定戦とかあるんじゃないかと思って、ちょっと期待してたんですけどね（笑）。

沖田　ハハハハッ！

——大谷vs金村戦の3秒決着もあった直後でしたし（笑）。

沖田　あれは驚きましたねぇ。

——次はミスター・フレッドの超高速3カウントによる2秒決着とかあるかもしれませんけど（笑）。

沖田　いや、それはないでしょ（笑）。それで、もちろん優勝した大谷選手は熱かったんですけど、ボクは今年の火祭りでは改めて田中選手って凄いなって実感したんですよ。金村戦とかこれまでウチでは見せてないスタイルの試合を見せてくれたっていうか、「この人はジュニアの選手か？」というような、飛び技もできるし、凄い早い動きもできるし、ホントにビックリしましたね。

——田中さんはECWのチャンピオンにもなってますし、ハードコアスタイルも出来ますからね。

沖田　そうなんですよね。あと、やっぱり黒田選手と金村選手は上手いッスよね。田中選手もそうですし、FMWにいた選手って凄く上手いんですよね。

——そう言われてみれば、確かに、みんなFMWを通過してますね。

沖田　それで、リーグ戦の中で一番面白かったのは大阪大会での横井対黒田戦ですね。

——『ゴング』の金沢編集長も、その試合を絶賛してましたね。

沖田　マッチするかしないかっていう部分では、話題は開幕戦のコリノ対横井戦に持ってかれましたけど（笑）。あと、今回の火祭りでは、コリノの息子のコービィー人気が凄かったですからね。

——ある意味、今年の火祭りの裏MVPはコービィーだったかもしれませんね（笑）。中村さん的にはどうですか、今年の火祭りは？

中村　黒田選手が決勝まで上がってきたっていうのは意外でしたけど、いい試合をしてくれましたよね。それと自分の団体のエゴじゃないですけど、大谷選手と田中選手っていうのはプロレス界においては、存在自体が「抜けてる」なって感じましたね。

——大谷さんを上半期のMVPと推す人も多いですし、その2人はファンだけでなく、選手・関係者からも評価が高いですからね。

中村　特に大谷選手は抜けてるイメージがありますね。大谷晋二郎っていうのは知らず知らずのうちにファンから見ても一歩上のところにいるのかなって。だから今度、大谷選手は、いままで闘ってきた火祭りに出場した選手たちを、その位置まで上げてやる仕事があるんじゃないかなって思いますね。

——大谷さんには、これまで以上に火祭り刀を振り回してもらって頑張ってもらいましょう！（笑）。

中村　そうですね（笑）。でも、いまの大谷選手だったら、どこのメジャー系に行ってもメインイベンターとして出来るんじゃないかなって気がするぐらい逞しくなっちゃったなって思いましたね。

——それは間違いないですね。

中村　今度は逆に橋本さんが言っているOH砲vsUSAとか日本vsアメリカじゃないけど、その中でも間違いなく核となるのは大谷晋二郎じゃないかなっていう感じがしますね。あとは大谷選手も「どっかのデッカイリーグ戦には負けてない」って言ってましたけど（笑）。

大谷と田中はプロレス界において存在自体が「抜けてる」（中村）

——言ってましたね（笑）。

中村　ええ（笑）。ウチも2回目の火祭りが終わったんで、3回、4回って数を重ねて、どんどんネームバリューを上げてグレードアップできるようにやっていけば、すぐに肩を並べられるというわけじゃないけど、イケそうな気がしますね。それに火祭りは、もう来年のアイデアがありますから（ニヤリ）。

——さすが〝平成の仕掛け人〟と言われてるだけありますね（笑）。

中村　いやいや、ボクは仕掛け人じゃないですから（苦笑）。まあでも、今回の火祭りを見てる中で、いろいろと湧いてきましたよ。

——来年の火祭りも熱くなること間違いなしですね（笑）。そういえば、大谷さんは火祭り刀だけじゃなく、副賞としてペプシさんから、ペプシコーラを貰ってましたね。それも10年分！（笑）。

中村　そうなんですよ。全部で3650本頂いたんで、どこに置こうかなと（苦笑）。でも代表に飲ませたらヤバイですよね？（笑）。

——それはヤバイですね（笑）。

沖田　しかもダイエット・ペプシじゃなかったですから（笑）。

火祭りMVPは二連覇の大谷！裏MVPはコービィー君だ!!

【写真上】今年の火祭りの決勝は大方の予想を裏切り大谷晋二郎vs黒田哲広の間で争われた。大流血に見舞われながらも熱く激しい闘いを制したのは2年連続で大谷だった！【右下】決勝まで駒を進めることはできなかったが、オッキーも絶賛の熱い試合を連発した田中将斗【左下】後ろ姿も可愛らしい、コリノJr.ことコービィー君。ちなみに彼が着ているTシャツは世界で3着しかない特製Tシャツだ！

どうする？　どうなる？
天下一武闘会!?

――両国大会と火祭りが終わって、ZERO―ONEの次の目玉は、橋本さんが提唱している天下一武闘会になるわけですよね？

中村　そうですね。天下一武闘会っていうのを、より激しく……っていうか、より面白くするために橋本さんが言ってるとおり12ヶ国集めなきゃいけないなと（笑）。

――でも、12ヶ国集めるっていうのは現実的に可能なんですか？

中村　頑張りますよ（笑）。新しいところで言ったら、アフリカ、中国、ロシア。あと意外にドイツは蝶野さんとか遠征してるんで、ドイツにもいるはずなんですね。そういうところを入れてなんとか12ヶ国、いや、最低12ヶ国ですね。

――最低12ヶ国！　でもホントにアフリカへ行くみたいですね。

中村　近々行きますよ。アフリカはプロレス団体がまだあるみたいなんで。一応、ロープは3本だって言ってましたからね（笑）。

――アハハハハ！　一応（笑）。

中村　ただ現地のエージェントとも初めて会うんで、どんなのが来るか行ってみなきゃわからないという一抹の不安はあって（笑）。で、中国は選手を招聘するっていうんじゃなくて、まあ下見ですよね。橋本さんから探してこいって言われてるのは酔拳の達人なんですけど（笑）。

――アハハハ！　さすが破壊王ですね（笑）。

中村　でも、こっちから行かなくても海外からの売り込みは凄いんですよ。嫌になるぐらいで（苦笑）。でも、中には興味をそそられるような凄い選手っていますからね。

――そういえば、『LEGEND』では橋本さんはジョアニー・ローラーと握手を交わしてましたけど、チャイナ系の選手とかもいるんですか？

中村　新聞に一回出ましたけど、ミッキー・フーラーっていうチャイナ系がいるんですよ（笑）。これがフーラーなんですけど（と言って写真を出す。写真右参照）。

――す、凄い！（笑）。この人は何をやってる人なんですか？

中村　ボディービルをやってるらしいんですけど、本人いわく格闘家みたいなんですよ。それで「火祭りに挑戦させろ！」って（笑）。「私は男には負けない。それに私は熱い」みたいなメールが来て。熱いの意味が違うんじゃないかっていうね（笑）。

――アハハハハ！

中村　それで、ボクのお気に入りはこれなんですよ（写真左参照）。やっぱ、この格好はトム・ハワードのマネージャーでしょ？

――ハマりますよね。でも日米決戦で、そんなマネージャーが付いてきたら橋本さんもさらにエキサイトするんじゃないですか（笑）。

中村　ですよね。トムに怒らないで、女性マネージャーに気をもんじゃったりして（笑）。

ボクはガファリとジム・ミラーを並べたくてしょうがないんですよ（中村）

女子マネージャーが見たいかーッ!?　はい、見たいです!

【写真右】これが火祭りに参戦要求してきたミッキー・フーラー。本人曰く「男には負けない」らしい【写真左】本文中で中村部長が言っていたハワードのマネージャー候補がこの女。どっちでもいいから早く見たい！

――それは実に楽しみですね（笑）。でも、ストロングスタイルにこだわりを持つ橋本さんは女マネージャーとか認めてくれるんですかね。

中村　いや逆ですよ。「いつ呼ぶんだ？」って。もう夜の破壊王になってますから（笑）。

――アハハハハ！

中村　あと、ボクが考えてるのは、日本人の島国的な考えじゃなく、いわゆるアメリカ的な考えを、そのまま日本のファンに押しつけてみたいんですよ。そういう人とかの使い方は絶対にアメリカの方が上手いはずですから。だからこそ、今年中にアメリカ人だけの興行をやりたいんです！

――アメリカ人だらけのZERO―ONE興行ですか！（笑）。

中村　そうです。橋本さんにも「代表は（出なくても）いいですから」って言ってるんですけど「俺が出ないとダメやろ！」って（笑）。でもホントにアメリカ人を一気に20人は呼びたいんですよ。

――20人！　それは今年中に？

中村　そうですね。とにかくやりたい！　それだけの人数は一応もうリストアップできてますから。

――外人好きにはたまらないですね（笑）。あと、マット・ガファリをZERO―ONEで見たいという声が多いんですよ（笑）。

中村　あぁ、ガファリはいいですよね。プロレスのキャラとしては素晴らしいなって思いますね。なんか心打たれるっていうか（笑）。

――心打たれますよね（笑）。

中村　まあギャラの問題とかあるんでしょうけどね。でもボクはガファリとジム・ミラーを並べたくてしょうがないんですよ（笑）。Tシャツ脱いだら、あのお腹に「NWA」って書いてあんじゃないかって期待してたんですけど（笑）。

――アハハハ！　絵的には抜群ですね（笑）。で、天下一武闘会は年末ぐらいからになるんですかね？

中村　そうですねぇ。その前に天下一のタッグ版みたいなのをやってみてもいいのかなぁって。小川さんがそう言っていたんで。小川さんの発想をお借りして天下一タッグが先かなって思ってますね。

――タッグも12ヶ国ですか？

中村　どうなんでしょうね（笑）。日本、アメリカ、あとオランダとドイツも必要だし。ただ中国はタッグは無理ですかね。多分、2人はいないだろうなぁ。

――酔拳の達人も2人探すのは大変でしょうしね（笑）。

中村　2メートル50センチっていう中国人がいるらしいんですよ（笑）。でも、まだ背が伸びてるってことみたいなんで、それ病気じゃないのかなって（笑）。

――お後がよろしいようで（笑）。

長州力、ZERO—ONE参戦の可能性

――ここにきて大仁田さんが長州&大仁田vs小川&橋本戦をブチ上げたり、永島さんと新会社設立の話があったり、長州さんの周辺が騒がしくなってきましたが、ズバリ言ってZERO—ONEに上がる可能性はあるんでしょうか？

中村　どうなんですかねぇ？

――『ファイト』には交渉決裂って出てましたけど（笑）。

中村　いやいや、決裂っていうか、もともとボクは長州さんと交渉という交渉はしてないですよ。たしかに永島（勝司）さんとは会って話をしましたけど、それも、独立して永島さんと長州さんは一緒にやっていくのかなっていうのを確かめに行っただけですからね。

――"仕掛け人"N同士の密談は実現していたんですね（笑）。

中村　いやいや、ボクは仕掛け人じゃないんですって！（笑）。ウチなんて、ワン（橋本）、ツー（中村）、スリー（沖田）しかいないわけですし、それで、たまたまボクが窓口なだけで。タヌキ親父とタヌキ小僧みたいな感じですよ（笑）。

――タヌキ小僧ですか！（笑）。

中村　その時、永島さんから言われたのは、「どんなことがあっても交渉窓口と喧嘩したらいけないよ」って。自分の経験上のことを言ってんだなぁって思ったんですけど「でも最後に永島さんも喧嘩したんじゃないですか？」って言ったら、「俺は新日本と喧嘩してない。円満退社だ！」って（笑）。

――円満退社でしたか（笑）。

中村　でもホントに長州さんはどうするんですかねぇ？　逆に永島さんに聞きたいですね。噂されてるようにホントに全日本に上がるんであれば全日本が終わるまで待たなきゃいけないでしょうしね。まぁ、急に新日本に上がったらインパクトありますけどね（笑）。

――いきなり、外的軍団とか魔界倶楽部として新日本に登場したら

坂田選手は「大仁田は俺が消す！」って毎日のように言ってますから（中村）

抜群なんですけどね（笑）。

中村　ですよね（笑）。でもやっぱり、長州さんって日本のプロレス界の重鎮じゃないですか？

――ホント、重鎮って感じですね。

中村　長州さんも体力的に50過ぎてますから現役として闘えるのも限られてるじゃないですか。だから、もしウチに上がってもらえるなら、ヘビー級になった大谷選手とかもそうですし、田中選手にもやってもらいたいし、若手ともやってもらいたいんですよ。長州さんは「そんな小僧相手にやりたくない」って言うかもしれないけど、ボクらからしたら、そういう経験を次の世代に残すっていうのも長州さんの仕事じゃないのかなって。長州力と闘えたという経験をウチの選手に与えてあげたいなっていうのは確かですね。

――新日本での引退試合みたいに5人掛けでお願いしますか（笑）。

中村　それはどうですかね（笑）。やっぱり長州力というのは日本で伝説のレスラーなわけですよ。

――レジェンドですからね。

中村　ですよね。橋本さんや小川さんと、やるやらないっていうのは、いろんなしがらみがあるんであれば置いといて、それ以外の人たちにはぜヒやらせてあげたいという気持ちは強いですね。

――そのためには、当然、中村さんも動くつもりがあると？

中村　当然こっちから行かなきゃいけないとは思ってますけどね。ただ、いま長州さんの周りで、いろんな噂が出てますからね。

――全日本以外にも、天龍さんのWAR興行に出るんじゃないかとか、いろいろ言われてますからね。

中村　チャンスは待ってて来る時もあるんで、いまは様子をうかがってる最中ですね。自ら動かなきゃいけない時もありますけどね。

――長州さんとのタッグでOH砲との対戦を要求してきた大仁田さんともZERO—ONEは微妙に絡みはありますけど、どうなんですか？　たしかに、長州&大仁田vs OH砲っていうのは集客のあるカ

OH砲vs長州&大仁田もいいけど小笠原&橋本vs長州&大仁田が見たい!

ードだし、見たいですけどね。

中村　それだったら、OHはOHでも小笠原先生と橋本さんの方がいいんじゃないですかね？

——長州&大仁田vs橋本&小笠原！　小笠原さんと長州、大仁田の絡みは刺激的ですよね（笑）。

中村　ですよね。ちょっと前までは絶対に有りえなかったカードですから。それなら見たいですね。それに、もし小川&橋本vs長州&大仁田戦をやった時に、一番惨めなのはボクは大仁田さんだと思うんですよ。試合内容とか結果を自分なりに想像したら。だったら、やっぱり小笠原先生ですよ！（笑）。

——そっちのカードの方が見たくなりましたね（笑）。でもホント、大仁田さんはZERO−ONEでは不思議と光ってないですよね。

中村　そうですね。橋本さんは、もともと大仁田さんとは絡みたくないって言ってましたし、ボクはボクなりにファンが見たいものさえあれば、大仁田参戦も辞さずという形でやってきましたけど、いまの大仁田さんの考えはズバリ言ってしまえばファン不在かなって思うし。それに、いまのファンは、どっちかといえば「大仁田は上げるな」っていう声の方が多いですからね。

——大仁田さんはZERO−ONEでは、橋本さん、大谷さんの名前を挙げてますけど、それこそ大仁田さん嫌いで有名な坂田さんとの試合が見たいんですけどね（笑）。

中村　もう坂田選手なんかは「俺が消します！」って毎日のように言ってますからね。多分、橋本さんの所にも直接電話してると思いますよ。困っちゃってるんじゃないですか、橋本さんも（笑）。長州さんの話に戻ると、「俺は分け与える気はない」って言いながらも、プロレス界のことを思って、長州力っていう〝ジャパニーズ・レジェンド〟を、その一部分でもいいから後輩に体験させてやってくれたらなって思いますね。

——長州さんの件も含めて、これからも大いに期待してます！

【8月12日／ZERO−ONE事務所にて収録】

ZERO-ONEのファン感謝デーはひと味違う！

夏休み最後は「ゼロ中祭り」でキマリ!

「普通の試合を組んで普通のトークイベントをするだけじゃZERO-ONEじゃないですから」
（by中村部長）

●

なぬ？　破壊王と"狂猿"夢の共演!?
この日だけのために新外人投入!?
チケットもファン感謝価格だぞ!!

●

8／31（土）東京・後楽園ホール（18:30）
特別リングサイド…￥4000
リングサイド…￥3000　指定席…￥2000

【お問い合せ】
ZERO-ONE
TEL.03-5730-3401

※ZERO-ONE9月シリーズ『GenesisⅡ』日程はP138からの小川直也インタビュー最後の囲み参照!

8・4ZERO-ONE熊本大会に
上田馬之助、来場!

大谷晋二郎の二連覇で幕を閉じた『火祭り02』グランメッセ熊本大会。破壊王もCM出演している熊本のパチンコメーカー『大統領グループ』の強力バックアップのもと6800人超満員の観衆を集めた今大会に、熊本在住の〝金狼〟上田馬之助さんが来場。

第1試合からメインまでリングサイド最前列で、いま一番熱いプロレス団体と言われるZERO-ONEを現役時代と変わらぬ鋭い視線（コリノの試合はニコニコ顔）で初観戦。

交通事故から6年、昨年末に退院し現在は自宅でリハビリを続けながら同じ境遇の人たちのためにボランティア活動を行っているという馬之助さん。

第3試合終了後、破壊王の粋な計らいで馬之助さんは花道から「サライ」のテーマで入場。藤原組長が車イスを押し、その後から破壊王、小笠原を始め日本人全選手、さらにプレデター、コリノら外人選手も総登場し、馬之助さんとガッチリ握手を交わした。

今月18日には日本テレビの名物番組『24時間テレビ』にも出場した馬之助さん。東京には交通事故以来初めてとのことだったが、現役時代、何度も足を踏み入れた日本武道館への来場は、きっと感慨深いものがあったことだろう。

また逢える日を楽しみにしてます！

ZERO-ONE熊本大会の会場へ向かう前に馬之助さんの自宅を訪問。馬之助さんとは3年前に、当時、入院していた熊本市内の病院にお見舞いに行って以来だったが、昨年暮れに退院した馬之助さんは、現在はバリアフリーの自宅でリハビリに励んでいるそうだ。

バックステージまで馬之助さんを通した破壊王は懐かしそうに話し込んでいた。その後、リビング・レジェンドの馬之助さんとZERO-ONE勢の記念撮影が行なわれた。

花道に登場した馬之助さんはZERO-ONE日本人勢、そして外人選手たちともガッチリ握手。なんと、あのプレデターも神妙な面持ちで馬之助さんの手を握っていた。

馬之助 PUTIT INTERVIEW

——今日のZERO-ONEの感想を聞かせてください！

馬之助　なんかねぇ、1試合目から同じような試合が多く感じたね、メリハリがないっちゅうか。でも、外人とかもみんな一生懸命やってたから良かったんじゃないの？　それにお客さんもたくさん入ってたみたいだし。

——橋本さんの試合はどうでしたか？

馬之助　久しぶりに見たけど、ちょっと元気がなかったように感じたね。それに彼は前に引退するって言ったけど、ホントだったら一回言ったら戻ってきちゃいけないんだよ。だから、今度そう言ったときは、ちゃんと引退した方がいい。でもね、最後の試合（大谷vs黒田）はいい試合してたと思うよ。それでは、また熊本に来たら遊びに来てください。編集長にも言っといてよ。

元グリーン・ベレー、マスカラスのライバル
コールマン&ケアーの師匠、UPW道場師範

全ての噂は本当だった!

ZERO-ONE外人レスラー列伝——①

トム・ハワード

THOMAS HAWARD

昨年6月の『真撃・第I章』で初来日以来、ガイジン軍団のリーダーとして、いまやZERO-ONEマットになくてはならない存在のハワード。元グリーンベレー、メキシコではマスカラスのライバル、UFC戦士の師匠、UPW道場師範等、ズラリと並ぶ興味深い経歴を持つ男の実体に迫る!

聞き手/堀江ガンツ　撮影/菊池茂夫
designed by matsu（Two three）

——ハワード選手はいまやZERO—ONEのトップ外人レスラーとして、日本のファンにもスッカリお馴染みですけど、よく考えたら、まだ初来日から1年しか経ってないんですよね（笑）。

ハワード　サンキュー。そう言ってくれるのは嬉しいよ（ニッコリ）。でも、1年だから、まだまだいろんなことを学んでいる途中さ。これからだよ。

——ハワード選手にとって、この1年間ZERO—ONEマットに上がってみていかがでしたか?

ハワード　簡単に言えば「非常に充実していた」の一言だね。WWF（現WWE）と関わっていたころは、エンターテインメントと政治的な人間関係ばかりで、まともなレスリングをやらせてもらえなかったんだ（※ハワードは一時期、WWFのファーム団体で試合をしていた）。そういう意味では、ピュアなプロレスリングをやれるZERO—ONEでの経験は自分を変えたと思っているよ。

——もともと日本のハードヒットなスタイルは好きだったらしいですね?

ハワード　YES。基本的には90年代のニュージャパン（新日本プロレス）のスタイルが好きだったんだ。オールジャパンはたまたまビデオテープが手に入らなかったこともあって、あまり興味がなかったけど、いまはムタ（武藤）がいるから、オールジャパンにも興味を持っているよ。それから、UWF・I（Uインター）のサブミッションを加えた特別なスタイルも非常に興味深く見ていたよ。

——Uインターも見ていたんですか⁉

ハワード　ああ、PPVでやっていたし、そこから興味を持って日本語版のテープも手に入れて見ていたくらいさ。それだけじゃなく、バス・ルッテンやケン・シャムロックも同じロサンゼルスエリアに住んでいる知り合いだった関係もあって、彼らが日本から持ち帰る日本語版のテープを見せてもらっていたから、パンクラスなんかもずっと前から知っていたよ。

——へ～、そうだったんですか。レスラーになる前から、プロレスはファンとしても見ていたんですか?

ハワード　カジュアルなファンとしては見ていたけど、子供の頃からずっとプロレスファンだったというわけではないよ。

——では、特別に誰のファンだったこともない?

ハワード　まぁ、しいて挙げるならアルティメット・ウォリアーのファンだったかな。

——ア、アルティメット・ウォリアーですか!

ハワード　もちろん彼のレスリングに憧れたわけじゃないよ（笑）。彼の肉体やカリスマ性を見て、現実とは思えないような、実在の人物でないような、そんなところに惹かれたんだ。でも、オレ自身は〝エンターテイナー〟になりたいと思ったことはない。プロレスラーという職業を選んだのも、とにかく俺は〝ファイト〟が好きだからなんだ。

——それはケンカ好きだったということですか?

ハワード　いや、ストリートファイトではなく、アートとしてのファイト。レスリングのアートが好きなんだよ。自分がジムでワークアウトしているときも、アドレナリンが沸いてくるあの感覚、そういったものが自分は好きなんだと気がついた。それならこれを活かそう、これを仕事をしようと考えて、プロレスリングにフォーカスが合ってきたんだ。

——プロレスラーになる前はアメリカの軍

ZERO-ONE Foreign Wrestler LIVES

隊にいたんですよね？

ハワード　そう。6年いたよ。

――では、「グリーンベレー」というキャラクターは、ギミックではなく本当だったということですか？

ハワード　ああ、ギミックじゃない。4年間いて2年間の延長があって計6年間いたんだ。この6年間はいろんな意味でいまに役立っているよ。例えば、もともと俺は格闘技の覚えはあったが、アメリカという個人主義の国で育ったから、その技術を活かす術を知らなかったんだ。だが、軍に入ったお陰で、大きな目的のためにグループで活かすことを知った。この経験がなければ、もしかしたらプロレスを理解することができなかったかも知れないと思っているよ。

――ああ、プロレスは他者がいなければ、決して成り立たないジャンルですもんね。

ハワード　そのとおり。それから最後の2年間は、コンバットに格闘技を教える仕事をしていたから、それがそのままUPWのレスリング・スクールに役立っているよ。

――キャラクターも含めて、こんにちのハワード選手は軍での経験によって形成された部分が多分にあるわけですね。グリーンベレー時代の生活というのは、非常に興味深いんで、どんなミッションがあったとか、もう少し詳しくお聞きしたいんですけど。

ハワード　（苦笑しながら）それはちょっと勘弁してほしいな。基本的に俺はグリーンベレーのことは喋りたくないんだ。

――え⁉　なぜですか？

ハワード　なぜって、グリーンベレーというのは、基本的に人を殺すのが仕事なんだよ。でも、いま俺はワイフもいれば子供もいる。わかるだろ？　だから俺はグリーンベレーのキャラクターは日本でしか使ってないんだ。アメリカで「元グリーンベレー」と知られたら、「どんな任務をしていた？」とかいろいろ聞かれるのは避けられない。それが個人的に嫌だから聞いてほしくないんだよ。

――ああ、なるほど。了解です。では、ハワード選手がその後、どのようにプロレスラーになったか伺いたいんですけど。

ハワード　ビル・アンダーソンとジェシー・ヘルナンデスがやっているレスリング・スクールに入門したんだ。ひとりは日本スタイルがわかっていて、ひとりはルチャリブレ・スタイルがわかっている、そういう環境でスタートできたのはラッキーだったよ。そしてデビューはNWCというラスベガスにあったオーガニゼーションだった。そこにはロブ・ヴァン・ダムやサブゥー、カクタス・ジャックなんかがいて、彼らからいつも日本のことを聞いていたから、その当時から日本スタイルには興味があったんだ。

匍匐前進、レスキュー式ロープ渡りと並ぶ、ハワード得意のグリーンベレームーブがこのノーガード戦法から相手の足を踏む動き。あの小川直也と相対しても、まったくひるむことなく立ちはだかる度胸は、さすが戦場で数々の修羅場をくぐり抜けただけのことはある。

――その後はメキシコマットにも上がってるんですよね？

ハワード　YES。ちょうどその頃、AAA（メキシコのメジャー団体）がロスで最初のPPVイベントをやって、その時にアントニオ・ペーニャ（AAA代表）に「メキシコでやらないか？」と誘われたんだ。それで94年～95年にかけて1年半メキシコに住んで〝KGB〟というリングネームで闘っていたよ。

――KGB⁉　なんでアメリカのグリーンベレーが旧ソ連のKGBキャラなんですか！（笑）。

ハワード　ハッハッハ。ちょうどその頃、映画『ロッキー4』で「ドラゴ」という、ロシアのボクサーのキャラクターが流行っていた頃だったし、プロモーターが俺のタトゥーを見てミリタリーのバックグラウンドがあると気付いたんだが、アメリカのミリタリーというのはメキシコではあまりウケないんだよ。それで「お前はロシア人に見えるから、〝KGB〟だ」と言われて、KGBになったんだ（笑）。

――そんな簡単な理由（笑）。でも、メキシコでの生活はけっこうキツかったんじゃないですか？

ハワード　そんなことはないよ。コナンやレイ・ミステリオJr.、シコシスら英語の喋れる連中と一緒の地区に住んで、ジムも一緒に行ったりしていたからまったく不自由はなかった。それにメキシコは〝下〟から始めるには大変だけど、俺はメインイベンター扱いで行ったから、そんな辛くはなかった。ただ、当時の俺はメインを張るような上手いレスラーじゃなかったけどね。

――でも、メキシコではミル・マスカラスとよく試合していたんですよね？

ハワード　ああ、よく闘ったよ。メキシコではマスカラスとやるのが一番多かったんじゃないかな。

――なぜ、グリーンボーイだったハワード選手が、大御所であるマスカラスのライバルというポジションを与えられたんですか？

ハワード　当時、メキシコにはマスカラスと闘った場合、わざとケガをさせて自分の名前を上げようとする若いルチャ・ドールがたくさんいたから、マスカラスはメキシコのヤングボーイを信用せずに、闘いたがらなかったんだよ（笑）。

――ガハハハ！　マスカラスがメキシコ人不信になりましたか！（笑）。

ハワード　そこでジェシー・ヘルナンデスが「コイツは絶対にケガをさせないから」と俺を紹介してくれて、マスカラスのライバルとしてメキシコマットに上がれたんだ。自分だけ目立とうとするやつもいるけど、それは俺のスタイルじゃないから、俺はキッチリと仕事をしていた。だからマスカラスの信用をえられたよ（笑）。

――でも、マスカラスこそ「自分だけ目立とう」の権化みたいな人じゃないですか（笑）。

ハワード　ワハハハハ！　その通りだ。それに彼は〝マスク・ケーフェイ〟なんだよ。

――な、なんですか⁉　マスク・ケーフェイって？

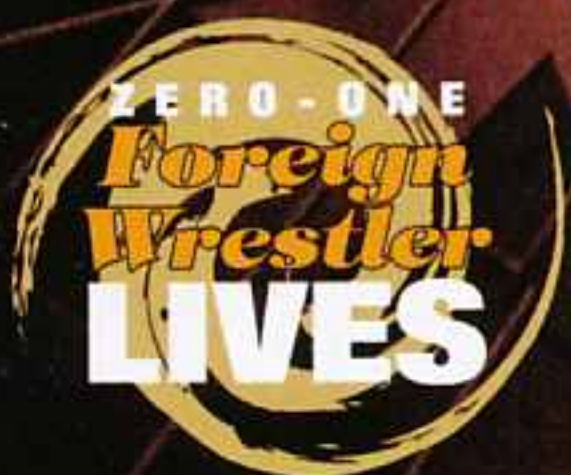
ハワード　彼は我々同業者にも決して素顔を見せないんだよ。シャワーを浴びるときですら、直前までマスクを被っている。俺もメキシコでいろんなマスクマンを見てきたけど、あれだけマスクを脱がない選手は見たことがない。マスク・ケーフェイの権化のような男さ。

――ハワード選手も一度も素顔は見たことがないんですか？

ハワード　いや、一度だけ見たことがあるよ。それもマスカラスだとは名乗らずに、

グリーン・ベレーは基本的に人を殺すのが仕事なんだ。そのころの話は勘弁してくれないか？

ZERO-ONE Foreign Wrestler LIVES

あのティト・オーティズですら俺に「プロレスを教えてくれ」と言ってくるんだ

声を聞いて「あ、この男がマスカラスなのか」とわかっただけだよ（笑）。

——ある意味、凄いプロですね（笑）。

ハワード　ああ、そうだな。ある意味、彼のそういった面は大いに勉強になったよ。

——マスカラス以外には、プロとして参考になったレスラーっていました？

ハワード　たくさんいたよ。例えばシエン・カラスみたいにアティテュードだけで試合を成立させてしまう選手も凄いなと思ったし、ビジャノ3号は実力あるシューターであり優秀なワーカーでもある、そんな彼らと一緒に試合をしたりトレーニングすることで学んだことは非常に多いよ。それにメキシコというのは、リングは硬いし、ルールもしきたりもアメリカとはまったく違う。そういうところで仕事してきたから、いい勉強になった。いま考えるともう戻りたくないけど、当時はまだ勉強の身だったから楽しかったしね。

——UPWのリック・バスマン代表と出会ったのは、メキシコからロスに帰ってきたあとですか？

ハワード　YES。メキシコから帰ってきてすぐだよ。実はそのころ俺はUFCに出ようと思って、UFCのエージェントをやっている人間を捜していたんだ。そうしたら、ロサンゼルス地区ではリック・バスマンという人物がUFCのエージェントをやっていると聞いたんで、それで会いに行って「UFCに出たい」と頼んだ。それが俺とリックの出会いだよ。

——UFCがきっかけだったんですか！

ハワード　その時リックに「何ができるんだ？」と聞かれたんで、「サンボだ」と答えたら、「俺のジムでコーチをやってくれないか？」と言われたんで、俺はリックのジムでサンボのコーチをしながらUFC出場を目指すことにしたんだ。リックのジムには当時ケビン・ランデルマン、マーク・コールマン、マーク・ケアー、キモ、オレッグ・タクタロフら多くのトップファイターが出入りしていたから、彼らにサンボの関節技を教えて、俺も彼らからNHBの技術を学べるからいい話だと思ったんだよ。ところが、ちょうどその頃、UFCがPPV中継を失ってしまい、5万ドルと言われていたファイトマネーが一気に10分の1にまで落ちてしまったんだ。

——10分の1ですか！

ハワード　それでみんな「これから食えなくなる」とナーバスになって、「プロレスを学びたい」と言い出したんだよ。そこへちょうどプロレスラーである俺が来たもんだから、サンボを教えるはずが、結局プロレスを教える先生になってしまった。（笑）。

——じゃあ、有名アルティメット・ファイターのプロレスの師匠なわけですか？

ハワード　1ヶ月しか来てないヤツもいるから、俺が先生なんて言い方はしたくないけど、そういうことになるね。マーク・コールマンなんかは非常に真面目に取り組んでいたから、上達も早かったし、当時から巧かったよ。

——逆にあまり巧くなかったのは誰ですか？

ハワード　残念ながらキモやマーク・ケアーは、真面目に取り組んでいたとは言い難いね。バンプ（受け身）を取らせたりすると「こんなに痛いのか」とやる気をなくしてしまって、「どうせ俺がやるのはUFCスタイルだろ？」と、プロレスの基礎を覚えようとしなかった。もちろん彼らがニュージャパンに行ったら、UFCスタイルのプロレスが求められるのはわかっているけれど、仮にUFCスタイルでやっても、プロレスであるならばタイミングやサイコロジーが重要なんだということを教えたんだが、この二人は最後まで理解できなかったみたいだね。

——96年に猪木さんがロスで開催したイベント『ピース・フェスティバル』のメインにオレッグ・タクタロフが出てましたけど（猪木＆スバーンvsタクタロフ＆藤原！）、彼にプロレスを教えたのもハワード選手なんですか？

ハワード　YES。『ピース・フェスティバル』のときは、オレッグと練習しただけじゃなくて、オレ自身〝KGB〟のキャラクターで第1試合でグレイグ・ピットマン（『バーリ・トゥード・ジャパン95』で中井祐樹と対戦したWCWのレスラー）と試合しているよ。

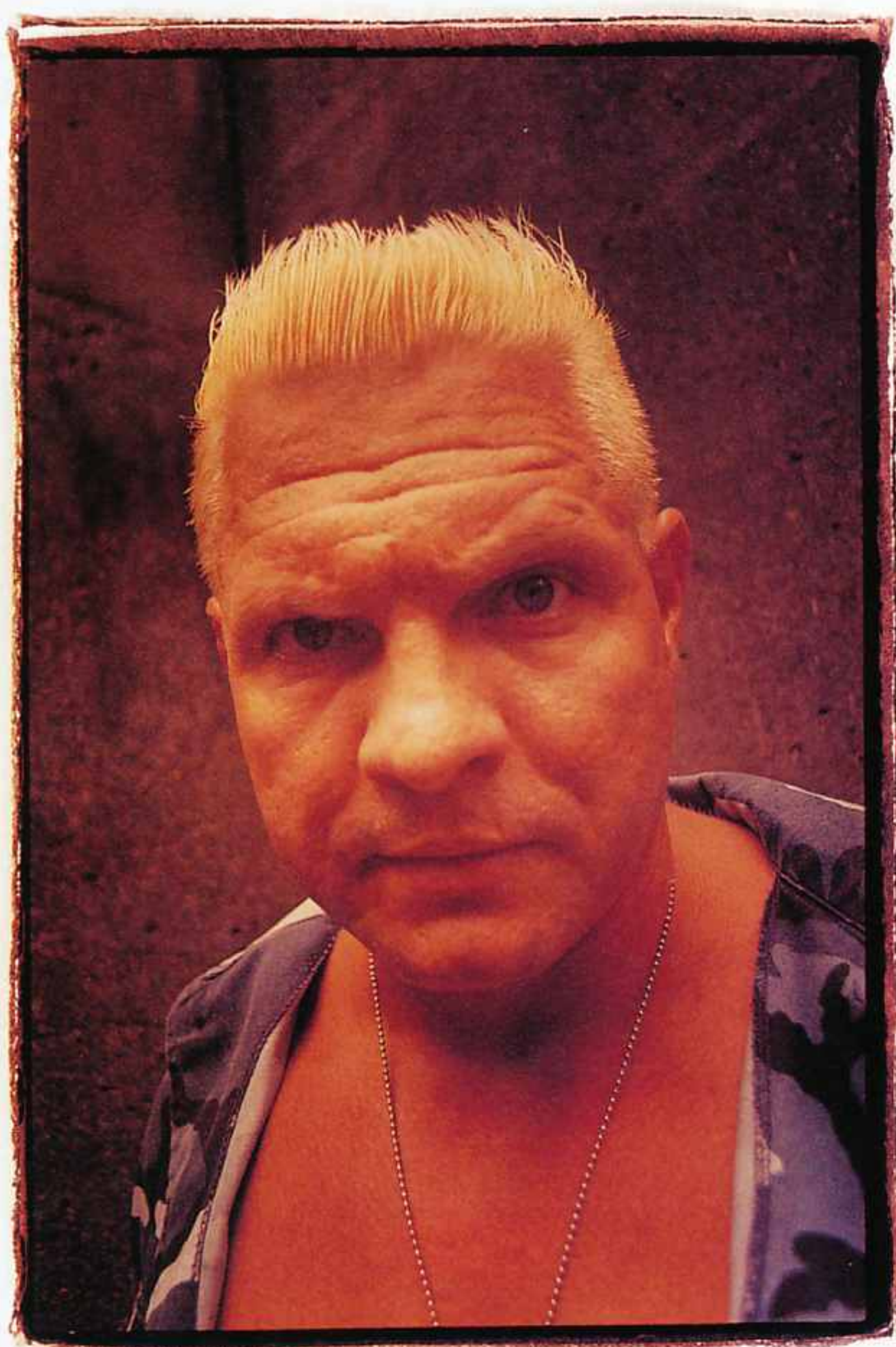
——そうだったんですか！

ハワード　『ピース・フェスティバル』にはAAAのアントニオ・ペーニャが関わっていたから、その関係で出場したんだよ。それにオレッグとは、プロレスをやる前にアルメニア人のゴコー・チベチアンという人にサンボを習っていたときに出会ったから、けっこう長いつきあいだよ。

——でも、ロスで格闘家にプロレスを教えていたなら、新日本プロレスとの関わりも出てきそうなものですけど、新日本に来日する話はなかったんですか？

ハワード　AAAのビッグマッチがロスであったときにミスター・イノキのロイヤーが来ていたし、『ピース・フェスティバル』の時も1週間一緒にロスで練習やパブリシティをしていたから、何度かチャンスはあったんだ。ただ、オレ自身がUFC出場を考えていたこともあって、タイミングが合わなかったんだ。結局、オレはニュージャパンにもUFCにも出なかったんだが、その後、リック・バスマンに「プロレスリングに戻ろう」と話かけられて、一緒にUPWをスタートすることになったんだよ。

——UPWは最初、どんな形でスタートしたんですか？

ハワード　もともとは、さっき話したよう

ZERO-ONE Foreign Wrestler LIVES

にリックの道場で、UFCからあぶれた人間やアクターなど一部の人たちだけにプロレスを教えていたんだが、途中から『アルティメット・ユニバーシティ』というオープンスクールにしたんだよ。そうしたら、だんだん人数が多くなってきて、卒業生のために発表の場を作ってやらなければならなくなった。それでアルティメット・プロレスリング＝UPWを旗揚げしたんだよ。

——もともとUPWは道場生の発表会の場だったんですか。では、UPWの多くの選手はハワードさんの生徒と考えてよろしいんでしょうか？

ハワード　YES。プレデターなんかはいまでこそメインイベンターだが、決して覚えが早い方じゃなかったよ。あいつはもともとスクールに来たばかりのときは、レスリングの確かな実績はあるにしても、基本的には単なる映画俳優だった。でも、一生懸命やったからあそこまで行ったんだ。ケアーやキモとは違うよな（笑）。

——プレデターなんかは、もともとプロレスをバカにしていたような人だったのが、「ハワードによって精神的にも肉体的にもプロレスラーに改造させられた」と言っていましたけど、アマチュアで実績がある選手に対して、どういうことに重点を置いて教えていたんですか？

ハワード　もともとアマレスラーというのは、プロレスのことが嫌いで嫌いでしょうがなかった人種なんだよ。でも、WWF（WWE）が「プロレスはエンターテインメントだ」と言ってくれたお陰で、プロレスリングはプロレスリング、アマチュア・レスリングはアマチュア・レスリングで一つのアートであるという風に意識が変わって、いがみ合う関係でなくなったんで、よくなった部分もある。

——アルティメット・ファイターも同じですか？

ハワード　アルティメット・ファイターも「あっちはフェイクで俺たちはリアル」という気持ちを持っているヤツは多いよ。でも、アルティメット・ファイターだって限界にブチ当たったんだ。勝って勝って勝ち続ける、しかし1回だけ負けたとする。そうするとたった一度負けたがために、あっちの世界では急に「弱い」というレッテルを貼られる。それがもの凄いターンダウンになってしまうんだ。

——評価が一転しますよね。

ハワード　でも、プロレスは違うだろ？　負けたときその事実に初めて気付くんだ。ファイターっていうのは基本的に「リアル・ファイトが好き」なのではなくて、もっと広い意味で「ファイトが好き」なんだよ。プロレスだって基本的にはファイトじゃないか。アドレナリンを出す快感はプロレスもUFCも変わらないよ。それだったら、勝った負けたを超えたところにあるプロレスという仕事も悪くないと気付くんだ。

——MMAのトップスターの多くがプロレスラーになりたがるのは、そういう部分があるんですね？

ハワード　そうさ。あのティト・オーティズですら、俺の顔を見る度に「今度プロレスを習いにいかせてくれ」と言ってくるんだぜ？　それが現実なんだよ。マーク・コールマンぐらい日本で売れていればいいが、そのコールマンだってプロレスをやっているんだ。MMAだけで食える奴なんていないよ。ティトですらそうなんだから、間違いないだろ？

——プロレスというのは、MMAとは別の大変な部分がたくさんあると思うんですけど、そういった転向組に対して、プロレスはどういったものだと教えているんですか？

ハワード　NFL出身、ボクシング出身、アルティメット出身、いろんなヤツを教えてきたよ。でも、そいつらは口を揃えてみんなこう言うよ。「プロレスの試合が一番厳しかった」とね。だから10％の人間しかついてこれない。それぐらいプロレスというのはタフな仕事なんだ。それを俺は生き証人として知っている。そう教えているよ。でも、俺は別に口で「プロレスはタフだ」なんて言ったりはしない。結局ハートなんだ。プロレスは決して儲かる仕事じゃないし、身体の壊れる具合を考えれば決して割の合う商売でもない。だから口で他からの転向組に口でプロレスは説明しない。でも、ついて来れた10％の人間はプロレスのタフさ、凄さをわかっているわけだから、俺は身体で教えるだけだよ。

——では、そんなハワード選手のフェイバリット・レスラーは誰ですか？

ハワード　一緒にワークしている奴だし、敵対している相手だから言いにくいけど、やっぱりハシモトだよ。

——破壊王ですか！　それはどうして？

ハワード　ハシモトは90年代最大のスターの一人であるにも関わらず、ZERO—ONEという新しい独立プロモーションを立ち上げるというキツイことをやっているだろ？　よくやっていると思うよ。いろんな人を雇い、外人レスラーも呼んで、しかも試合ではビッグマンにしてあれだけ動けるんだから凄いよ。でも、こういう風に言うと「一緒にワークしている奴だからだろ？」って言われるんだろうな（苦笑）。

——そうでしょうね（笑）。

ハワード　それでもあえてハシモトの名前を出したいくらいリスペクトしているんだ。それからワークレイトだけを言うなら、オータニとタナカも「凄い」と言わざるをえない。タイミングといい、パフォーマンスといい、彼らと試合したら誰でも光ることができだろ？　どんな試合をしても、誰が勝っても負けても全員が光る試合をする。これはホントに凄いことなんだ。この点の彼ら二人はグレートだよ。

——同じレスラーが言うともの凄く説得力がありますねぇ。

ハワード　もちろんそれ以外で挙げればムタ（武藤）だ。10年以上ずば抜けたムーブを見せ続けてきたリビング・レジェンドとして、もうリング上にいるだけでいいのに、彼もハシモトと同じく第一線で闘い続け、また新たにオールジャパンを盛り上げようとしている。そういう点でも尊敬以外の言葉はないよ。

——ハワード選手自身は今後、どんな目標やプランがあるんですか？

ハワード　形のある目標なんてないよ。でも、向上していくことが重要なんだ。俺は「スターになりたい」とは思ってないけれど、ファンと一緒に毎回少しずつでもいいから向上し続けること。それが俺にとって最大のゴールであり目標であるんだ。

——これからもぜひ、ZERO—ONEと共に向上していって下さい！

【02年7月3日／都内某所にて収録】

1970年5月15日、ロサンゼルス出身。10代の頃からサンボ、コマンド・サンボを修得。米軍入隊後は特殊部隊にて数々の修羅場をくぐり抜ける。現在はルチャリブレからNHBまで幅広い知識を活かして、UPWプロレス学校の師範もつとめる。189cm、114kg。

ZERO-ONE外人レスラー列伝——②

スティーブ・コリノ

元NWA&ECW世界王者の意外な素顔に迫る ジャパニーズ・ドリームをゲットした策略男爵

STEVE CORINO

この夏、息子のコービィーと一緒にZERO-ONEのリングで刀を片手にポーズをキメ、日本各地で、やんやの歓声を浴びたスティーブ・コリノ親子。姑息な反則攻撃と垣間見える確かなレスリングテクニックで、いまやZERO-ONEを代表する人気ガイジンの1人となったコリノ。元NWA世界王者のコリノパパの素顔に迫る!

聞き手/松澤チョロ　撮影/菊池茂夫

designed by matsu (Two three)

——それにしてもコリノさん、いつ見ても見事なブロンドヘアーですねぇ。

コリノ あ、これ?（と髪を掻き上げる）。2週間に1回はハード・ブリーチしなきゃいけないから大変だけどね（笑）。

——やっぱり（笑）。ホーガンと同じでヒゲの色と髪の色が違うんで、そうかなとは思ってたんですけど。

コリノ （再び髪を掻き上げて）ま、ホーガンとは、かなり違うでしょ?（笑）。

——量は違いますね（笑）。それでコリノさんは、自分のHP（http://www.stevecorino.com/）で、かなり書き込みをしてるんですよね。英語なんでさっぱりわからないんですけど（笑）。

コリノ 日本に来てる時でもインターネットカフェを探してマメに書き込むようにしてるからね。それにHPはね、ボクのガールフレンドのパパがコンピューターの関係の仕事をしてるんで、それでやってもらってるだけなんだ（笑）。

——そうなんですか（笑）。でも、そのガールフレンドと奥さんは別人なんですよね?

コリノ （人差し指を激しく左右に振りながら）ノーノーノー! 確かにボクには息子が1人いるんだけど、ワイフとは別れちゃったんだよ。

——あら、バツイチでしたか。余計なこと聞いちゃいましたかね（笑）。

コリノ でもね、今は、その子とヨロシクやってるからノー問題!（笑）。

——そうですか（笑）。お子さんはコリノさんが引き取ってるわけですか?

コリノ ちょっと複雑なんだけど簡単に説明すると、週末の金土日だけ前のワイフのところで、月曜日から木曜日まではボクが預かってるの。そんな感じ。それにね、前のワイフはボクの家から徒歩5分のとこに住んでるんだけど、ボクとガールフレンドと、前のワイフと彼女が近々結婚予定のボーイフレンドの4人で一緒に仲良くベースボールを観に行ったりしてるぐらいから、イイ関係だと思うよ。

——日本人にはちょっとわかりづらい感覚ですね（笑）。言える範囲でかまいませんけど、離婚の原因は何になるんですか?

コリノ Oh～～～!（と、頭を抱える）。彼女はプロレスが嫌いだったのね。家を留守にしがちなサーキット生活がイヤだったみたい。ありがちだけど。

——たしかに、昔からプロレスラーの離婚の原因としてよく聞きますね。

コリノ ま、さっきも言ったように今はイイ関係なんだけど、一時期は息子が泣き叫びながら「2人ともやめなよッ!」って止めに入るぐらいのケンカをしちゃって憎みあってたこともあったから、別れたのもしょうがないけどね（苦笑）。

——あらら、そんな時期もありましたか。

コリノ でも今はそういうこともないし、普通に友達として会えるってわけ。

——コリノさんは会場で女の子に声を掛けたりするんで、奥さんはヤキモチ焼いてケンカになったりしたんじゃないですか?（笑）。

コリノ あれはボクのキャラクターだからしょうがない（笑）。それにボクの今のガールフレンドはシンプリー・ローシャスっていう女子プロレスラーなのね。だから、その点では前のワイフと違って彼女はプロレスに理解があるから。

——それは理解があるでしょうね（笑）。でもコリノさんは5月の後楽園大会で、小池栄子さんに声を掛けてましたよね?

コリノ ベリー・プリティ!（ノリノリで小池栄子のモノと思われるバスト・ウエスト・ヒップを両手で作りながら）ボン・キ

King of Old School.

ュ・ボンッ！　Oh～Yeah!!（なぜか満足そうな笑みを浮かべる）。

——そんなノリノリのところ申し訳ないんですが、本人に聞いてみたらコリノさんみたいなタイプは苦手だってことなんですけど……（笑）。

コリノ　えっ……（一瞬固まり頭を掻きむしりながら）オー・マイ・ガッ！

——で、同じ後楽園に出てた坂田さんのことを一目惚れしたみたいなんですよ。

コリノ　はっ……（またまた固まる）。

——坂田さんと小池栄子争奪戦とかやるっていうのはどうでしょう？（笑）。

コリノ　グッド・アイディア！（笑）。（急に痛そうな顔つきになり）だけどサカタってリングスにいたシュートファイターなんでしょ？　それにリング上だけでなくバックステージで会っても、いつも険しい顔してるし笑顔を見せないから、（急に日本語になり）チョット・ムズカシイネ（苦笑）。

——アハハハ！　でもレフェリーをフレッドに頼めば勝利の可能性もグッとアップするんじゃないですか？（笑）。

コリノ（満面の笑みを浮かべ）グッド・アイディア！　それなら小池栄子はボクのもの。うん、間違いない（すっかりその気）。まあでも、ボクはダスティ・ローデスからハシモトまで相手は誰でもかまわないよ。逆に全然スタイルが違う相手とやる方がやりがいもあるしね。

——ダスティ・ローデスの名前が出てきましたけど、コリノさんはローデスとも対戦経験があるんですか？

コリノ　ダスティ・ローデスとは何度も闘ってるよ。今度の火祭りが終わった後もアメリカでシングルでやるしね。それに週に一回は電話で話してるし、なんならローデスJr（＝ゴールダスト）とも仲がいいから。

今年の火祭りの裏MVPはコリノ・ジュニアのコービィー君だ！　当初の予定では後楽園大会だけの出番だったが、入場時になってもパパから離れず、やむを得ずリングに上げたところ大人気に！

——ホント幅広い相手と闘ってるんですね。それで、日本ではコリノさんの試合の中でゴルドー戦の評価が非常に高いんですけど、あの試合はどうでした？

コリノ（驚いて）えっ、あの試合が評価が高いの？

——藤原組長も「あれはいい試合だった」て言ってましたよ。

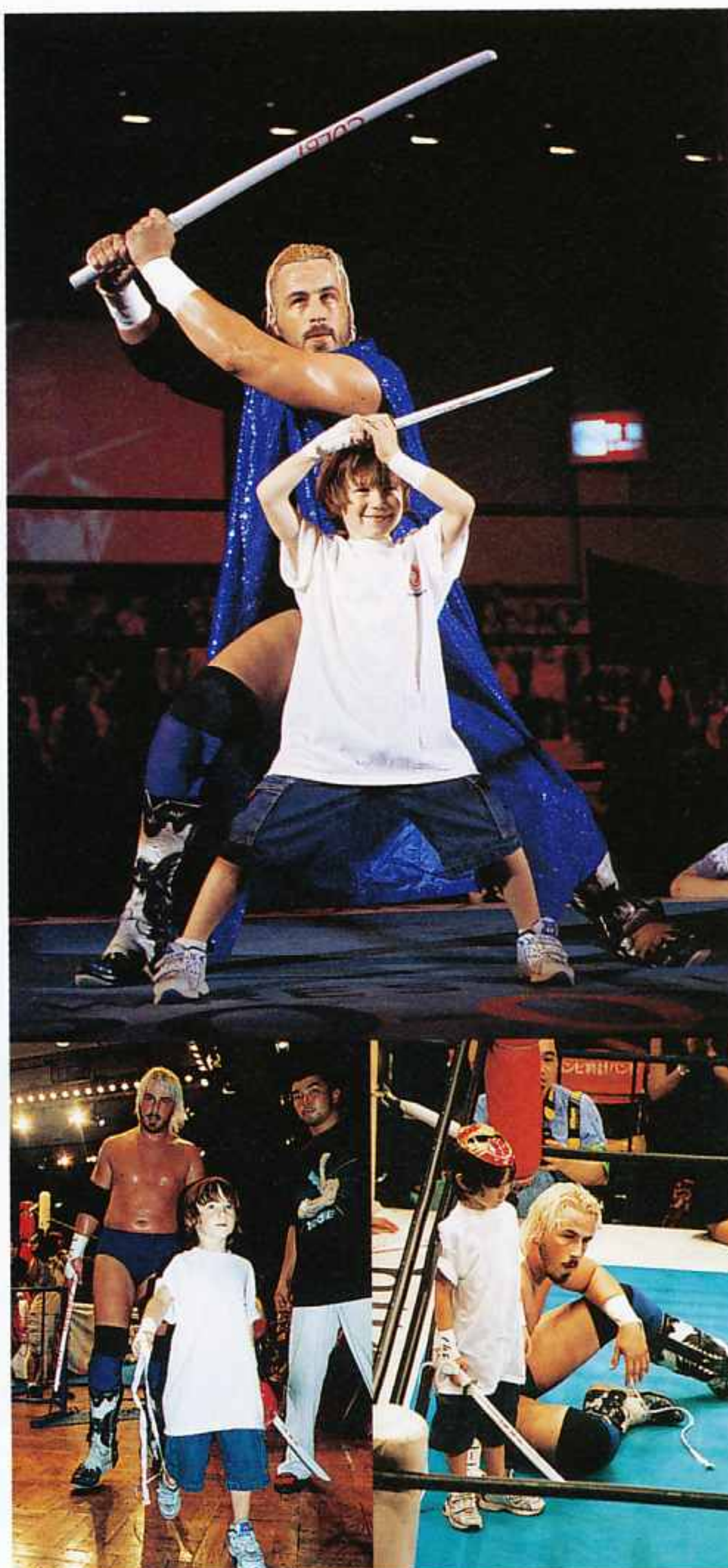
コリノ　それは嬉しいね（ニッコリ）。さっきの話じゃないけどゴルドーはサカタより笑わないからね（苦笑）。

——それは言えますね（笑）。

コリノ　それにあの試合は面白い裏話があってね、（トム・）ハワードと（サモア・）ジョー（現キング・ジョー）とノバの3人が、その試合に500円ずつ賭けてたんだよ。ボクも賭けたんだけど。

——それは勝敗をですか？

コリノ　ノーノー！　ゴルドーが本気でキレちゃうかどうかを賭けてたんだよ（笑）。

——そうだったんですか！（笑）。

コリノ　それで、3人ともゴルドーがキレてキックかパンチでボクがKOされてしまうっていう方に賭けたんだよ（笑）。

——3人とも（笑）。

コリノ　そうだよ。ボクは500円を取り戻すために絶対やられねえぞ！っていう一心だけで闘ったのさ。

——結果的にはコリノさんが高速3カウントで勝ったわけですけど、賭け的には、どういう結果になるんですかね（笑）。

コリノ（両手を広げ）アイ・ドン・ノー！（笑）。でも、みんなからいい試合って言われて、しんどい思いをしてやったかいがあったよ（フゥーと大袈裟にため息をつく）。

——やっぱり、ゴルドーは、できればやりたくない相手なんですね？

コリノ　まぁ、さっきも言ったようにボクはいろんなスタイルの相手とやりたいんだけど、本音を言わせてもらえばゴルドーは勘弁して欲しいよね（苦笑）。

——その気持ちはよくわかります（笑）。コリノさんは去年の初来日時にはマニアには評価が高かったんですけど、線も細かったですし正直言って今のブレイクぶりは想像がつかなかったんですよ。

コリノ　それは、ハッキリ言っちゃえばユーの見る目がないだけ（笑）。

——あ、そうですか（笑）。でも初来日の時と比べてファイトスタイルを意識的に変えた部分もあるんじゃないですか？

コリノ　それは正解。もう一個ハッキリ言っちゃえば（小声で）オオタニのマネをしたんだよ（笑）。良く言えば、オオタニのいいところを盗んだって感じね。

——やっぱり大谷さんの影響が大きかったんですね。

コリノ　ボクはオオタニのことを5年前から知ってるからね。新日時代の『ベスト・オブ・オオタニ』っていうビデオも持ってるし、それをずっと見てて前から凄いレスラーだって思ってたんだけど、実際闘ったら今の方がさらに凄かったってわけ（笑）。

——想像以上に凄かったと？

コリノ　YES！　オオタニは、どんな相手でもお客さんを沸かせてるし、ウェイトが増えた今でも動きは変わらずスピーディだし、それでいてストロンガーになっているからね。ボクも手に入れたいのはオオタニのようなスタイルだって思ったんで、それでオオタニのスタイルをマネ……じゃないや、盗もうと努力してるのさ。そんな感じ。

——トム・ハワードもフレッドも、「オオタニは素晴らしいレスラーだ」って評価してましたからね。

コリノ　スパンキーなんか、もっともっとミーハーなオオタニファンだからね（笑）。オオタニが前を通るだけで目をギラギラさせて「ワァ～オ！　オオタニ!!」って、そんな感じ。

——ジュニアのチャンピオンも熱心な大谷ファンなんですか（笑）。

ZERO-ONE Foreign Wrestler LIVES

ボクはいろんなスタイルの相手とやりたいんだけど、本音を言えば、ゴルドーは勘弁（苦笑）

コリノ　そうそう（笑）。もちろんハシモトさんも素晴らしいんだけど、世界でナンバー1のオールラウンドプレイヤーはオオタニだよ（キッパリ）。

―大谷さん以外の日本人選手で評価の高い選手っていうと誰になるんですか？

コリノ　（間髪入れず）ムタだね！

―武藤さんですか？

コリノ　そうそう。ムタのテープもアメリカで手に入りやすいから、ずっと見てたんだよ。もちろんハシモトさんのファイトも見てたけどね。

―ホント勉強熱心というかプロレスオタクというか（笑）。

コリノ　ま、基本的にはオオタニとかジュニアのテープを中心に見てたから、そのオオタニと、ビッグネームのハシモトがニュージャパンを辞めて新しい団体を作るって聞いたら、その団体に行くしかないなと思ってたんだよ。これホント。

―そんなところにタイミング良くZERO－ONEからオファーがあったと？

コリノ　グッド・タイミング！　ナカムラさんが声を掛けてくれたのね（笑）。

―その中村部長が言ってたんですけど、コリノさんはZERO－ONEでブレイクして、それがきっかけでWWEからオファーがあったみたいですね。

コリノ　YES。それは事実だよ。

―しかも、WWEからのオファーを蹴ってZERO－ONEマットを選んだっていうのは本当なんですか？

コリノ　ああ、本当だよ。ほとんどのアメリカのレスラーにとってWWEに上がるのは夢なのかもしれないけど、ボクにとってのWWEはジャパンなのね。これもホント。

―コリノさんにとってはZERO－ONEがWWEなわけですね。

コリノ　（首を大きく縦に振って）全くその通り！　だからWWEから声が掛かったとしても断るのは当たり前の話。

―具体的には、WWEからのオファーは、どういった内容だったんですか？

コリノ　ユーのために詳しく説明してあげると、WWEで『ヒート』って番組があるのね。そこでタズの後任としてコメンテーターをやらないかってオファーを受けたんだよね。

―あ、レスラーとしてではなくコメンテーターとしてでしたか（笑）。

コリノ　YES（笑）。コメンテーターとしてなら日本での試合にも影響はないかなと思って話を聞いてたんだけど、いざ契約書を見たら「NO JAPAN」って書いてあるから、これは話が違うよって思って断ったんだよね。やっぱりボクの第一優先はジャパンだから、それがダメって言うんだったらNOと言うしかない。違う？

―いやいや、違いませんよ。でも、そんなに日本が気に入ってるんですか？

コリノ　YES！　実際来てみて気に入ったっていうのもあるし、来る前からブレッド・ハートやクリス・ベノワ、それにダイナマイト・キッドとかが日本でやった試合もよく観てたからね。もうその頃からボクは、ズ～ッと日本に来たかったんだ。これホントね。

―いまはZERO－ONEに定期的に参戦してますけど、ちょっと前まではプロレスだけでは生活できなくてレスラーを辞めようか悩んでいたって話を聞いたこともあるんですが、実際そういう時期もあったんですか？

コリノ　そんなこともあったねぇ……（遠くを見つめ）。いまは子供の頃からの夢だったプロレスラーになれて満足してるんだけど、（急に小声になり）ここだけの話、最終的にはボクはロイヤー（日本で言う弁護士）になろうと思っててね。

―へぇ～、フレッドと一緒ですね。

コリノ　そういうこと。ボクもロイヤーになろうと思って学校に通ってたし、途中までコースは取ってあるのね。いつでも戻ろうと思ったら戻れる状態だから。もう一回学校に戻って最終的にロイヤーの研究所に入るってこともチョイスの1つとして、ずっと考えてるんだ。

―へぇ～、それは初耳です。

コリノ　正直言って、今のアメリカのインディーっていうのは明るい未来は感じられないからね。ホントいい加減な話ばっかりでウンザリしてた頃にナカムラさんに声を掛けられたってわけ。こっちも日本には、ずっと行きたいと思ってたから、それだったらってことでプロレスを続けていこうと思ったんだ。一時辞めようと思ったのはホントの話だよ。

―ちなみに試合の時、バンテージに「コービィー」って書かれてますけど、あれは息子さんの名前なんですよね？

コリノ　YES。毎試合書いてるんだけど、なんで書いてるかって知りたい？

―教えてください。

コリノ　あのね、ECW時代とか1ヶ月近くロードに出なきゃいけない時があって、その度に「行かないでぇ」って息子にボロボロ泣かれちゃって「ゴメンゴメン」って言って説得してたんだけど、（両手を広げ）ある時、ふとナイスアイディアがひらめいたんだ！

―一体どんなアイディアなんですか？

コリノ　ボクは息子にこう言ったんだ。「お前の名前をバンテージに書くからテレビを見れば、お前の名前が見えるだろ。パパとお前はいつも一緒なんだよ！」って（満足げ）。日本に来たときもビデオを持って帰って「7000マイルも離れてても、お前のことを思ってるんだ」って言って見せてるのね。バンテージは息子に対するメッセージってわけ。

——へぇ～、それはいい話ですね。

コリノ　それでね、次の火祭りにはボクの息子を連れてくるつもり。

——そうなんですか。それは楽しみです。でもバンテージを使ったタッチロープネタは藤原組長に逆にやり返されたりしてましたよね（笑）。

コリノ　フジワラさんの頭はホントに固い。いろんなレスラーと闘ってきたけど世界でイチバンだよ（苦笑）。でも、そういうとこは柔らかいね。

——うまいこと言いますね（笑）。

コリノ　ボクはフジワラさんを本気で尊敬してるのね。〝キング・オブ・オールド・スクール〟っていつもボクは言ってるでしょ？　タイツにも書いてるし。

——はいはい、書いてますね。

コリノ　フジワラさんもボクが言ってるキング・オブ・オールド・スクールの1人なのね。フジワラさんみたいに知識や経験の豊富なレスラーは闘ってて凄く勉強になるしね。

——コリノさんが言うところの〝キング・オブ・オールド・スクール〟の定義を教えて下さい。

コリノ　簡単に言うとね、ハーディー・ボーイズとかレイ・ミステリオJr.とかブンブンと派手な技を出すような選手っているでしょ？　ああいう選手ってボクは嫌いなの。どっちかと言うとボクはハーリー・レイスとかドリーファンクJr.みたいに15分～20分使って最後にクライマックスに持っていくっていうレスリングスタイルが好きだし、やっていきたいと思ってるから。ま、いまのとこボクが若手の中じゃ〝キング・オブ・オールド・スクール〟のナンバー1って思ってるし。

——違う？（大袈裟に胸を張って）。

——まあ、そうでしょうね（笑）。

コリノ　それに単にスタイルだけじゃなく、ケーフェイを守るっていうこともオールド・スクールの意味に入るってボクは思ってるから。

——ケーフェイを守らない人も最近は多いですからね。

コリノ　日本でも多いって聞いたしね。最近のマジシャンもそうだけど、タネをばらしたりするのはボクは大嫌いだから。そういうことをやってるヤツは認めたくないし、大体ね、そういうのを見てしまったら手品なんて見たくなくなるでしょ？　それはプロレスでも一緒。

——フレッドも同じようなこと言ってましたね。

コリノ　そういうのを含めてボクはオールド・スクールを守っていこうと思ってるんだ。ボクは8歳の頃からプロレスに興味を持って、いまはその世界の中にいるわけだけど、その世界をばらすようなヤツは信用できないし許さない。

写真右は昨年7月の初来日時のスティーブ・コリノ。今からは想像がつかないぐらいの痩せっぷりである。しかしながら、その細い腰にはNWA世界ヘビー級王座のベルトが燦々と輝いている。写真左はコリノが尊敬する大谷晋二郎との一戦。好きが高じて大谷の得意技、顔面ウォッシュもお手のもの。

——そういう意味では、WWEのようなエンターテインメント度が強い団体は、あまり認めていないんですか？

コリノ　そういうこと。ボクはZERO—ONEの団体名に付いている「ファイティングアスリート」って言葉が大好きなんだ。WWEみたいに「スポーツエンターテインメント」っていう言い方は、おかしいと思うしね。だって俳優はファイトはやれないけど、ボクたちレスラーはアスリートでありながらアクト（演技）も出来るんだよ。そっちの方が凄いに決まってるでしょ？　ボクはプロレスっていうのはスポーツエンターテインメントじゃなくファイティングアスリートがやるものだと思ってるから。

——その辺はキャラクターとは違って実に別にマジメなんですね（笑）。

コリノ　（胸を張って）アイ・アム・キング・オブ・オールド・スクール！

——そういえば、この間の後楽園（6／27）で大仁田さんと握手をしてましたけど、何か深い意味はあるんですか？

コリノ　深い意味はないけど、オオニタのことはもの凄くよく知ってるからね。だってECWを発明したのは、ある意味彼だと言えるし、ボクは顔を見てすぐオオニタだってわかったんで握手をしただけ。それ以上でも、それ以下でもない。

——ZERO—ONE関係の選手は大仁田さんと絡みたくないっていう人が多いですけど、コリノさんはどうなんですか？

コリノ　さっきも言ったでしょ？　ボクは誰とだってやるって。しかもオオニタがいかに有名でグレートなファイターっていうのをボクは知ってるんだから。彼とやったらテレビに映るチャンスだってあるし、そんなおいしい試合やらないヤツはアホだってこと（笑）。

——まあ、そうですよね（笑）。

コリノ　最後に一言いい？

——なんでしょうか？

コリノ　ボクはね、自分のこれまでの人生の中で最高の時を過ごしてると思っているんだ。ZERO—ONEには感謝の気持ち以外なにもないよ。これ本音ね。

——素晴らしい！　これからもZERO—ONEマットを掻き回してください!!

コリノ　OK！　ところでユーのところのマガジンはなんてタイトルなんだっけ？

——『紙のプロレス』ですけど。

コリノ　OK！（突然立ち上がり日本語で）カミプロ、イッチバ～ン!!

——あ、ありがとうございました！（笑）。

【02年7月3日／都内某所にて収録】

【すてぃーぶ・こりの】1973年3月21日カナダ・マニトバ州出身。WWFのTVマッチ要員としてプロレスラーのキャリアを積み、ECWでは4WAYバトルを制しECWヘビー級王座を奪取。その後、ECWが消滅するとNWAに活動の場を移し、そこでも世界王座を獲得するも橋本真也に奪われてしまった。

King of Old School.

9・7『DEEP2001』
有明コロシアム大会で
総合格闘技に出撃!!

帰ってきた

相撲多重アリバイ

偽造王

一宮章一

はぁ～、どすこ～い！　どすこ～い！　久々にこのキャラで登場のスモーノブでごわす。覚えてらっしゃる方も少なかろうと思うでごわすが……なんかブランクがあるんで、上手いこと言葉が出んでごわすよ。なので、インタビューは普通の口調でやらせてもらったばい。堪忍な。ばってん、話の内容は非常に濃いでごわすよ！　何しろ、久々に相撲レスラーがバーリ・トゥードに挑むばい！　それもただの相撲出身者ではござらんよ。高砂親方の長男にして、元・高校教師、偽造免許逮捕事件でその名を馳せ、あのゴージャス松野さんの好敵手という、荒勢のがぶり寄りのような怒涛の経歴を持つプロレスラー・一宮章一でごわす！　まさに多重アリバイな流浪の人生を一気に語ってもらったでごわす！　読むばい！

昭和44年　2月14日生

氏名　一宮章一

高砂　東京都北区東十条2－5－14

住所　東京都北区◎－▲－※

デビュー　平成09年07月06日01234

偽造がバレるまで有効

免許の条件等　偽造等

運転免偽証

番号　第　012345678901　号

二・小・原　平成00年00月00日

偽　平成12年11月03日

二種　平成00年00月00日

種類	—	偽造	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—

『紙プロ』公安委員会

紙プロ公安委員会印

聞き手／スモーノブ&松澤チョロ　撮影／松澤チョロ

designed by matsu[Two three]

——いきなりですけど、『DEEP』出場には驚きましたよ！

一宮 そうでしょうね（笑）。僕のプロレススタイルとシュートの『DEEP』っていう闘う場所がマッチしないと思いますから。ただ、大刀光さんとかマンモス（佐々木）が総合格闘技に出てるのを見て、僕も「やりたいな」って思ってたんです。だけど、プロレスと総合格闘技っていうのは種目的にまるっきり違うもので、似てもいないと思うんですね。でも、その中で歩み寄りがあって、プロレスで頑張ったから総合格闘技の方で名前をリストアップしてもらったということ自体嬉しいです。周囲の人には、ずっと「やりたい」っていう話はしてましたけど。

——そうだったんですか。

一宮 僕はWARでデビューしたんですけど、その前に一番最初に足を踏み入れたのが北原（光騎）さんのキャプチャーだったので、ゴツゴツしたスタイルから始まってるんですよね。あと、WARのゴツゴツしたプロレスっていうのが体に染みついてるんです。でも、WAR崩壊とともに僕の中のそういうスタイルも崩壊したんですけど（笑）。

——アハハハハハ！

一宮 でも、北原さんから受け継いだものと、天龍さんから受け継いだWAR魂っていうのは、今でも常に心の中に持ってますよ。DDTとかWEWとかIWAも含めていろんなリングに上がってますけど、ゴツゴツとした試合に流れでなった時には嬉しいですよ。石井（智宏）さんとの絡みになると、見てる人から「生き生きしてるね」って言われますから。

——実際、総合格闘技を見るのも好きだったんですか？

一宮 う〜ん……最近は、偽造っていう部分で「何かを盗みたい」っていう見方しかできない状態がずっと続いてるんですよね。格闘技を勉強しようっていう見方じゃなくて、細かい癖とかを見てる感じですよね。

——技術を盗むんじゃなくてスタイルを盗むと（笑）。

一宮 今まで格闘技では相撲が強いって言われてたのに、最近はことごとく相撲幻想が潰れてるんで何とかしなきゃいけないなって思いますから。

——おお、頼もしい！　家系的にも相撲のサラブレッドですもんね。

一宮 ここで「相撲は総合格闘技でも強いんだ！」っていうところをアピールしたんですね。ちょっとぐらいは「総合格闘技でも強い相撲関係者」っていうところを見せないなと。

——元・相撲取りではなくて相撲関係者ですか（笑）。でも、今までは相撲取りは何もしなくても強いんだっていうイメージがありましたしね？

一宮 実際、強いと思いますけどね。ただ技術がないから、倒したり、コーナーに押し込んでも何をしていいかわからない。そうしてるうちに負けてしまうじゃないですか？　大刀光さんとマンモスがいいことを教えてくれたなと思ってるんで、そのあとの対処方法を考えてるところです。

——実際、対戦相手の大久保一樹選手についてはどれくらい認識していますか？

一宮 彼はパンクラスや『DEEP』にも出てるんで、ビデオは見てるんですけど、ホントに基本的な欠点のないいい選手ですよね。田村潔司の分身と考えてもいいんじゃないかな？

——『真撃』にも出てるし、『DEEP』ではカト・クン・リーとも闘ってますしね（笑）。

一宮 自分の頭の中のシュミレーションでは、誰の偽造でいっても切り返されて、「ギャ！」って極められているような感じで（笑）。あとは、マット・ガファリのように目を押さえて倒れたり（笑）。そういうシュミレーションしか出来てないんですよね。でも、今回挑戦させていただけることに感謝してるんで、『DEEP』さんや自分を推してくれた人達に恥じないような試合をしますよ。そこに結果がついてくれば一番いいなって思いますんで。大久保選手は年齢で7、8個下なんですけど、総合格闘技の先輩として胸を借りるつもりで闘います。ただ人生の長としてはあらゆるもの、あらゆる手段を使って勝ちにいきたいっていうのはありますね（笑）。

8月14日、都内ホテルで行われた「DEEP」の会見に一宮は登場。「北尾さん、ナガサキさん、マンモス、大刀光さんと総合で結果を残せてないんで、僕は相撲に対する過信を捨てて、相撲プラス総合でいきたい」と抱負を語った。そこにゴージャス松野が登場＆毒霧攻撃！　怒った一宮はマウントパンチで制裁。当日、松野さんは大久保一樹（U-FILE CAMP）のセコンドにつくこととなった。

——一宮選手が出るからには試合はガチンコとはいえ、まわりの入場から何から期待していいわけですよね。

一宮 そうですね。一宮章一っていう名前が世に出たのは偽造からなんで、それを語らずして一宮章一はあり得ないっていう部分で（笑）。ただの一宮章一でやっていたら、『DEEP』さんからも声が掛かってないと思うんで。『DEEP』さんが望まれているようなスタイルでやりますよ。リングの中では別ですけど、試合の前後に関しては自分が盛り上がるためにも、いつもの雰囲気で入場と退場はしたいなと思います。

——いろんなネタは頭の中に描いてるとは思いますが、やはり今回は総合系の偽造ですか？

一宮 そうですね。でも、わかんないですよ。試合中シャイニングウィザードとか出るかもしれない（笑）。まあ、いろんなことは狙ってますけど、そこまでの余裕はないと思います。ただ、今はいろんな選手の分身として練習してますんで、グッドリッジの殴り方になったり、グランドでシウバの蹴りが入ったり、桜庭さんのモンゴリアンがでるかどうかはわからないですけど（笑）。誰かになりきって練習して、技術の向上をしてる段階なんで。

——偽造っていうの技術を身につける為の手段としても非常に有効だったんですね（笑）。

一宮 そうですね。僕は野球をやってたんですけど、やっぱり少年野球ってモノマネから入りますよね？　そういうようなかんじでスタートしてそこに早く応用が付け加えれば自分のものになるんじゃないかなと思ってます。ただのマネだったら進歩にならないんで。

——なるほど。9月7日はホント期待してます！　で、今日はそんな一宮さんの経歴を振り返るようなインタビューをしたいと思いますんで、よろしくお願いします。

一宮 お願いします。

——まずはお父さんが先代の高砂親方ということは、生まれた時から周りにはずっと相撲があったわけですよね。

一宮 そうですね。高見山さん（現・東関親方）とか富士櫻さん（現・中村親方）とか朝潮さん（現・高砂親方）が現役の時にかわいがってもらってましたよ。

——かわいがってもらってっていうのは稽古してもらってっていうことではないですよね（笑）。

一宮 いえいえ、まだ僕も小学生だったんで（笑）。ウチのオヤジも忙しかったんで、遊園地に行くっていうとお相撲さんが連れてってくれるとか、そういうような環境で育ちましたね。ただ、どっちかって言うと好きじゃなくて嫌いだったんですよね、相撲が。やっぱり相撲の世界を近くで見てると怖さの方が大きかったですね。いろんなところに連れてってくれる優しいお相撲さんが、稽古場では竹刀でメッタ打ちにされてると嫌ですよ。だからどっちかというと近寄りたくない場所でしたね、相撲部屋は。

多重アリバイ 相撲 RETURNS

――つまり、お父さんさんが竹刀でメッタ打ちにする側ですよね。

一宮 そうですね。小学校のプールの時にですね、僕は何気なく泳いでたんですけど背中にミミズ腫れがいっぱいできてたんですよ。それを見た学校からオフクロに電話が掛かってきて、「何があったんですか？ 家庭内の虐待ですか!?」って（笑）。そういう感じでしたね、小さい時から悪いことしたら木刀とか竹刀で殴られてる環境だったんで。

――でも、おそろしく厳しい家庭環境だったんですね。

一宮 厳しかった反面、相撲って巡業とかで一年のうち半年は東京にいないんで、オヤジがいない時には中学くらいの時からかなり道に外れたことをやってましたね。バイクに無免許で乗ったりして（笑）。

――あ、その頃は偽造じゃなくて無免許で（笑）。ちょうど暴走族とかの全盛期ですよね？

一宮 そうなんですけど、暴走族やるまでの勇気はなくて、中学生の悪い仲間で集まって、スクーターで団地の中を走り回ったりしてましたよ。その頃からヒールに成りきれない小悪党みたいな感じでしたね（笑）。

――プロレス少年として国際プロレスの会場によく通ってたそうですね。

一宮 ええ、中学の時ですね。よくウチの店（現在の店名は「相撲茶屋　高砂」）にラッシャー木村さんが来てくれてまして。その頃からラッシャーさんのファンなんです。国際プロレスが関東で試合があるというと追っかけて、ウチのオフクロも花束贈呈でリングに上がったり（笑）。

――その頃は国際だけ追っかけてたんですか？

一宮 そうですね、でも国際軍団を追っかけて新日本を見始めて。全日本に移ったら全日本を見始めて。ラッシャーさんのおかげでいろんなプロレスが見るようになりましたね（笑）。

――現在もラッシャーさんを追っかけてノアを？

一宮 はい、見てますね（笑）。

――そのおかげで三沢さんの偽造が完璧になってきたと（笑）。ま、偽造の話は後ほどたっぷりうかがいますけど、野球は小さい頃からやっていたんですよね？

一宮 小中学校はずっと野球をやってて、高校でもやってました。

――相撲は一切やらずに？

一宮 ええ。でも、高校三年生の時に肩を骨折しちゃって野球ができなくなったんですね。で、毎日のように行ってた生徒指導部の先生にお世話になって、その人が柔道部の監督でもあったんですけど、「とりあえず柔道をやってみないか？」ということで。力はあったんで、柔道の面白さにひかれて「将来は指導者になりたい」って相談したんですよね。「指導者になるんであれば、環境的なことも考えて柔道じゃなくて相撲の方がいいんじゃないか？」と。「相撲を今から勉強しても遅くないからやりなさい」ということで。その時の高砂部屋に戻って、朝潮さんとか学生相撲出身の人にいろいろ教わって、日体大相撲部に入ったんです。

――ここで初めて相撲の道に飛び込んだわけですね？

一宮 そうですね。一年の時には相撲うんぬんより基礎体力のトレーニングのみっていう感じでしたね。いい先輩にも恵まれて、学生横綱になった先輩に付いていろいろ教わってたら、二年生の時に個人戦で東日本準優勝を取れましたから。全国ではベスト8に入りましたね。野球をやってたんで、体重が80キロくらいしかなかったんですけどね。強くなるためのトレーニングと相撲を上手く学べるようになって、そこからは自分で体を大きくする努力をしました。

――大学の相撲部も「食え！ 食え！」っていう世界なんですか？

一宮 大学3、4年になると自然に太りますよね。雑用がなくなって集中してトレーニングもできますから。付いた先輩がウェイト・トレーニングが好きで、一緒になってやらしてもらってました。寮だったんですけど、その先輩は部屋の中にもウェイト器具があったんで（笑）。その頃はパンプアップしていく楽しさがわかっていく時期だったんで、体重も2年間で一気に50キロ太りました。

――それは凄い！（笑）。でも、そんなトレーニングばかりしてたんじゃ大学生活をエンジョイするどころではないですね。

一宮 いや、エンジョイはしてましたよ（笑）。そのへんはちゃんと使い分けて。あの頃が一番楽しかったですね。大学の4年間があるから今の僕のベースができてるんじゃないかなと思います。

――ちなみに、このとき大学で教員免許を取ったんですよね。

一宮 そうです。大学を卒業して教員になりました。最初、一年間は母校の立教高校と淑徳女子高っていう学校に非常勤講師で両方を受け持ってやってたんですけど。淑徳は附属の中学校が共学で、そこに弟が通っていたという繋がりからなんですけどね。

――それは保健体育じゃなくて、実技体育の教師として？

一宮 両方ですね。

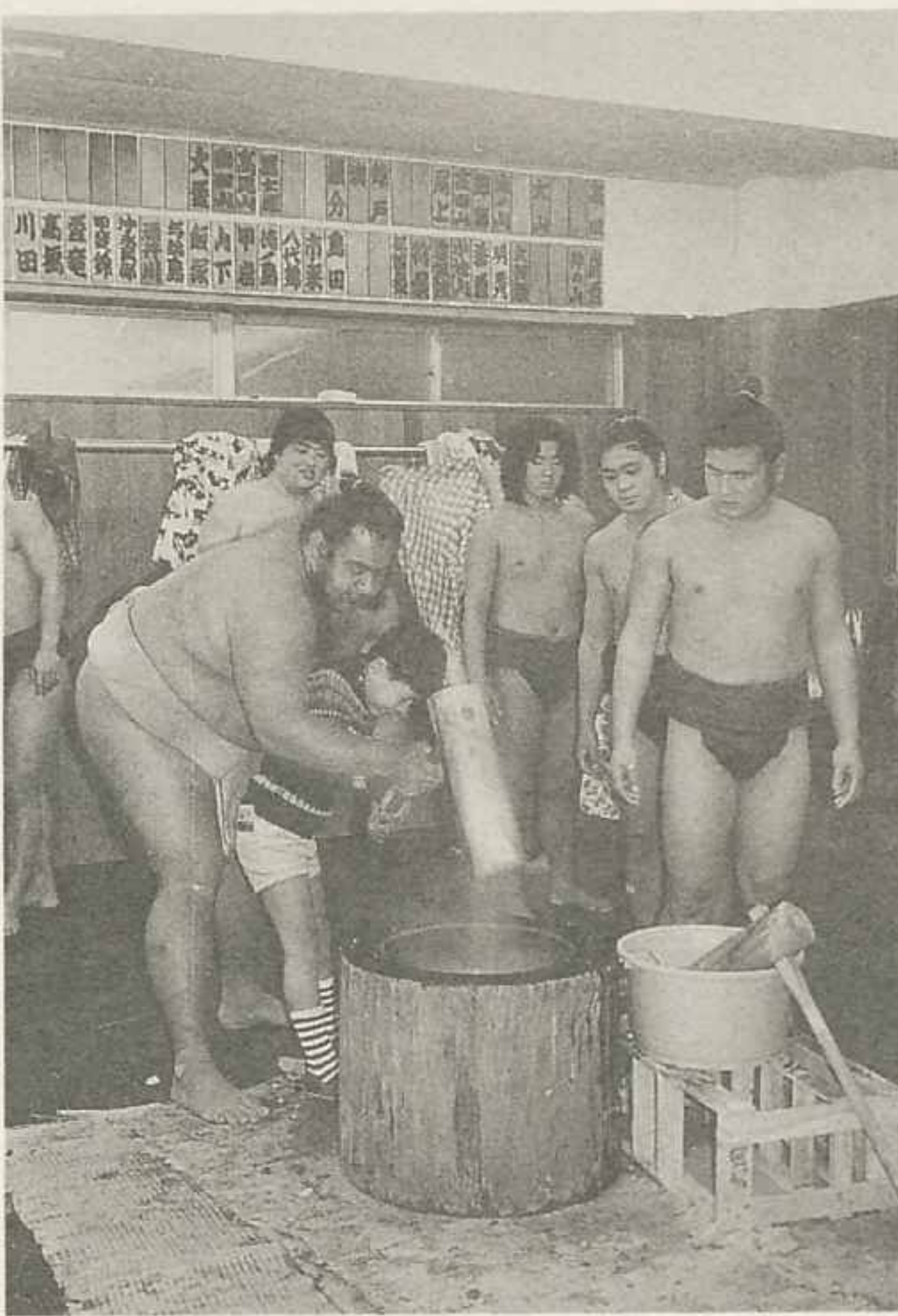
――保健体育も教えてたんですか（笑）。一番、生徒が「キャッキャッ」騒ぐ授業じゃないですか。

一宮 でも、どっちかっていうと生徒指導の方で入れてもらったみたいな感じでしたから（笑）。怒らなくても、僕の前ではみんな生徒は静かでしたよ。

――相当、迫力あったんでしょうね（笑）。

一宮 でも、逆に生徒との距離が離れないように、こちらから歩み寄るようにはしてたんですけど（笑）。ただ、一年間やって女子高の指導は向いてないなっていうのがわかりましたよ。

――そうなんですか？ おいしいじゃないですか？

一宮 いやぁ、やっぱり都内の女子高はキワド過ぎるんですよ（苦笑）。指導ができない、というか注意がしづらいというか。それでお断りして、たまたまその時、相

一宮の実家・高砂部屋は多くの名力士を生んだ名門だ。現役当時、プロレス入りが噂された高見山（現・東関親方）と一緒にもちつきをする若かりし日の一宮。こんな素晴らしい環境で育ったのだから、潜在能力はケタ違だ!!

最近ことごとく相撲最強幻想が潰れているんで何とかしなきゃいけないって思います!!

撲部を強くしたいという埼玉高校（現・埼玉平成高校）からお声がかかったんで、そちらに相撲の監督として行きました。一応、体育教師として入ったんですけど、メインの仕事は相撲部の監督ですね。相撲部を強くして学校の知名度を上げてくださいという感じで。ただ、相撲って競技人口が少ないんですよね。だから、そこで一番最初にやったのは、まず小学生向けのわんぱく相撲をつくったんですよ。で、次にその受け入れ先の中学校をつくった。そこから優秀な人材が高校に流れるっていうシステムをつくったんです。

――へぇ！　埼玉県の相撲システムをつくっちゃったんですね。

一宮　そうなんですよ。その時、埼玉栄高校って全国的にも強い高校があったんですよね。もう、わんぱく相撲の段階からウチの高校と埼玉栄高校が、セコンドみたいにちびっ子を指導して、後ろにはお互いの監督が控えているっていう代理戦争みたいな状態で（笑）。

――ちびっ子相撲が戦争だったんですか!?（笑）。

一宮　ええ。もう、小中学校の段階からスカウト合戦ですよね。それで、最終兵器として相撲取りを一年で逃げちゃった15歳の子をリストアップして、その人の家まで行って、「もう一回高校生やりなさい」って。そういう人材をいろいろを集めてきて。創部3年目で全国大会に出られる環境をつくったんですよ。

――へぇ～！　すごい手腕ですね！　普通は15歳で相撲部屋に行くっていうと、親御さんが反対する場合もあると思うんですけど、高校に入るっていったらOKですもんね。

キワド過ぎるんですよ（苦笑）

（右）小中高と立教高校で野球に没頭した一宮。高校入学前に帝京高校のセレクションも受けたほど。（左）実家が経営するチャンコ屋によく飲みに来たというラッシャー木村の追っかけだった一宮。写真は国際軍団とともに。

一宮　そうですね、相撲界がダメで戻ってきて、家でグウタラしてる男を学校で預かって、高校を卒業したらお返ししますっていう感じですからね。自分でも、この方法は画期的だなと思いましたよ（笑）。ただ、就任5年目で学校が方向転換したんですよ。体育重視じゃなくて学問重視になって、推薦入学制度がなくなったんですよ。だから生徒を推薦で相撲部に引っ張ってくることができなくなっちゃって、次の年に部員がゼロになったんですよね。

――いきなりゼロですか！　それは厳しいですね。

一宮　部員が7、8人だった頃は、稽古も僕を相手に高校生全員が向かってくる感じで。7人の高校生を相手に毎日稽古していたから、僕の方も力が維持できました。その頃は僕も国体とかにも出てたんですけど、力の方は全然衰えないで、むしろ身体もどんどん大きくなってましたよ。

――最高で何キロくらいまでいったんですか？

一宮　128キロが最高ですね。

――それだけの身体があったら大相撲に行っても通用したんじゃないですか？

一宮　行きたいっていう気持ちはあったんですけど、大学生の頃になると「大相撲に行って、将来どうなるか？」って考えてしまいますよね。考えてる割には、結局プロレス入っちゃったんですけど（笑）。

――アハハハハ！　それでもプロレスに入ったというのは、やはり天龍（源一郎）さんとの出会いが大きかったですか？

一宮　大きいですね。やっぱり惚れましたね！　今でも天龍さんを目の前にしたら、「はい！」しか言えないですよね。今でもそうですけど、この人の言ってることは100％正しいんだとしか考えられないです。知人の紹介でお会いすることが出来たのが、きっかけなんですけど。

――じゃあ、そのときに「プロレスに来ないか？」っていうような声をかけられて？

一宮　「来ないか？」っていうのは言われなかったんですけど、僕の中で天龍さんに付いていきたいっていう気持ちが強くなって。当時、WARにいたのが中村部屋出身の菊池淳さん（元・秀桜）とか、高田川部屋出身の嵐さん（元・卓越山）、みんな高砂一門の出身者だったこともあったので……。

――もう迷わず飛び込んだって感じだったんですか？

一宮　その時はちょうど節目だったこともありますからね。学校では推薦がダメになって教員としての絶望感を味わってる頃でしたけど、身体は最高潮にできあがってきてるし、プロレスっていう環境がすぐそばにあるっていうところでしたからね。何の躊躇もなく簡単に方向転換できました。

――すべてのタイミングがうまく合ったんですね。プロレスの世界に入ってみていかがですか？　相撲とはトレーニング方法も全然違いますよね。

一宮　平成8年10月から巡業について回ってたんですけど、その頃はホントにイジメられたっていうか、お世話になったっていうか（苦笑）。平井（伸和）さんとか安良岡（裕二）さんに出会ったから

良かったなって、今は思うんですよね。実際、その年の7月にはデビューさせてもらって、凄い早い時間で内容の濃い教え込みでしたから。きつかったですけどね。

——平井選手がきつさは、ある意味有名ですからね（笑）。

一宮　そういう意味では感謝はしてますね（苦笑）。ああいう人がいなくて手とり足とりの練習だったら、もっと時間はかかってしまったんだろうなって思いますけど。

——デビュー戦では、武輝道場の多留嘉一、岡村隆志、望月成晃（全員、現・闘龍門）と対戦してますけれども、当時の彼らは普通のプロレスラーとはかなり勝手が違いましたよね。

一宮　だから良かったんじゃないかなって思います。あそこでプロレスラー相手にプロレスしろって言われても、多分できなかったんじゃないかと。

——でも、後期WARはどんどん選手が辞めていく状況でした。

一宮　でも、そのおかげで天龍さんと組ませてもらったりっていうチャンスに恵まれたんで、勉強になりましたね。実際コーナーから天龍さんに睨まれてる状況でプロレスをやるっていうのは、これが一番プロレスを覚えますね（笑）。

——それは怖ろしいですね（笑）。試合後に、「こうしろよ」って声をかけられたり、アドバイスを受けたりっていうのはありましたか？

一宮　ないですね。あの人は目を見れば良かったか、悪かったかっていうのはわかる人だったんです。敵にまわって水平チョップをバチーンってもらっても耐えてると、次のチョップは喉元にバチーンって入ってくるじゃないですか？

多重アリバイ 相撲 RETURNS

一年間やって女子高の指導は向いてないなって。

（右）生徒達にも人気だった一宮先生。女子高の先生だった頃の記念写真。爽やかな笑顔が人気の秘密？（左）見てみい、この凛々しい蹲踞（そんきょ）！　アマチュア相撲では全国大会でも上位に食い込む好成績を収めていた。

で、次はチョップ一発で耐え切れなくてポーンと倒れると、「何で倒れるんだ！」って、サッカーボールキックでボコーンって蹴られて（笑）。下手に耐えると大変だし、簡単に倒れても大変だし。凄い難しい人なんだな！って（笑）。雰囲気を読みながらプロレスをやるっていうのは、天龍さんに教わりました。

——天龍選手もガチガチに頭が固い人かなって思うと、そうじゃなくて。結構柔軟性ありますもんね（笑）。いきなりハヤブサを偽造したりしますよね。

一宮　そうなんですよ！　天龍さんのスタイルをマネていくと偽造にぶつかるんですよ（しみじみ）。

——天龍イズムを突き詰めると偽造に当たる（笑）。たしかに延髄斬りもパワーボムも卍固めも他人の技かもしれないですけど、ことごとく天龍さんの色がありますよね。

一宮　ただの偽造じゃなくて、それを全部自分のものにしちゃうところが天龍さんの凄さだと思いますね。

——天龍イズムといえば、試合後の飲みも凄かったらしいですね。

一宮　凄いですね。僕も飲める方だったんで、凄くかわいがってもらいました。何でもかんでも、ドボドボってアイスペールに注がれて（笑）。（天龍のモノマネで）「こいつはプロレスはショッパイけど、酒は強いんですよ」って（笑）。

——試合より辛そうですねぇ。で、一宮さんはWAR崩壊までずっと在籍してたんですよね？

一宮　そうですね……平成11年2月までですね。そのときに所属選手が全員解雇されたんです。

——WARが終わった後はどうしたんですか？

一宮　僕は相撲関係の仕事に就いたんです。一番最初は水戸泉関の運転手、というかマネージメントの仕事ですね。言ってみれば高砂部屋の手伝いで、その後はいろんなお相撲さんのマネージメントをやるようになったんですけど。

——プロレスはそこで辞めて、その仕事に専念してたんですか？

一宮　そうですね。実際、天龍さんしか知ってる人がいなかったんで。ペーペーの人間が、どこかにオファーを出してっていうことも当時は思いつかなくて。

——じゃあ、プロレスは諦めてたんですね。

一宮　ええ、これで終わっちゃうのかなって思ってました。その後、キャプチャーの興行で何回かお世話になったっていうぐらいで、ホントに1年くらいブランクが空いちゃって。そこに高砂部屋から曙個人のマネージメントをやらないか？っていう話を頂いたんです。

——でも、プロレス入りした時にお父さんから勘当されたそうですけど？

一宮　そうです。ただ、僕がプロレスからは一線を引いたことによって、家の手伝いをするようになったんですけどね。それで曙のマネージメントをやるようになったんです。ちょうどその頃に新宿二丁目に連れてってくれる知り合いの方がいて、そこでIWAの浅野さんと面識を持ったんです。

——やっぱり浅野社長といえば新宿2丁目ですか（笑）。

一宮　そうですね。「石井と一緒にWARという看板を背負って出てくれないか？」っていうことを言われて。またプロレスが出来る

は思ってなかったんですけど、「やりたい！」という気持ちはあったんで即答でOKしました。ただ、曜の仕事もあったんで都合上、地方に行ってる時間はないし、泊まりがけの遠征もできないんで、とりあえず最初は関東限定でやらせてもらってました。

――ここからは二足のワラジって感じですよね。そんな時に免許偽造事件が出ちゃったんですね（笑）。

一宮　出ちゃいましたねぇ（笑）。びっくりしましたよ。「赤旗と聖教新聞だけには載らなかったけど、あとは五大紙（朝日、読売、毎日、産経、日経）に全部載ったよ」って知り合いには言われましたけど（笑）。

――アハハハハ！　それは凄い！　結果的に、この事件が注目を浴びるきっかけになりました。

一宮　でも、「偽造」って言われるんですけど、僕は偽造したことはないんですよ。偽造したものを使ってただけで（笑）。まあ、ちょっと事情があるんで詳しいことは言えないですけれども。でも、この事件から1ヶ月くらいで頭すぐ切り替えて、これをギミックにするしかないなって思いましたね。

――「これはギミックにするしかない」（笑）。凄い開き直り方ですよね。プロレス以外では考えられない（笑）。

一宮　そうですね。でも、この一件で相撲関係の方にもご迷惑かけちゃったんで、相撲関係の方には仕事戻るって話ができないんですよね。だから、僕の方から仕事はお断りして。成功するかしないかわからないですけど、とりあえず偽造をギミックに使ってプロレスラー一本でやってみようって心を決めました。二足のワラジでどっちも中途半端だったんで、ここからプロレス一本の生活がスタートするわけです。

――曜の関係者だったということで、話が大きくなった部分もありますよね。

一宮　そういえば、「曜がWAR入り」とか、いろいろ噂がありましたよね。

――ありましたねぇ。東京ドームでデビューとか。あれは一宮さんがいろいろ動いてたんですか？

コーナーから天龍さんに睨まれてると、これが一番プロレスを覚えます

WAR後期では天龍とタッグを組む機会の多かった一宮。コーナーから檄を飛ばされれば、踏ん張らないわけにはいかない。

一宮　いや、僕は仕掛けてないですよ（笑）。

――あの当時、一宮さんがWARの社長となって、東京ドームで曜デビューか？という噂でしたけど。あれは憶測だけで記事が出来ちゃったんですかね？

一宮　（※活字化するにはあまりにもハードな内容のため、一宮選手の希望もあり現在は掲載することができません。ご了承下さい）……まあ、近々WARの11周年興行もあるみたいですし、せっかく天龍さんとまたいい関係にまた戻れそうなんで、あんまり多くは語れないんですけど（笑）。その大会には是非出たいですねぇ。

――全日本の武道館（8月31日）には元・WARの選手が集結しますけど、一宮さんは出場しないんですか？

一宮　う～ん……これはいろんな事情があるので難しいんですよね。ただ、カズ・ハヤシとは偽者対決をどうしてもやりたかったんですけどね（笑）。

――じゃあ、それはWAR興行で実現することを期待してますんで（笑）。ところで、一宮さんはノアの泉田（純）選手と組んでタッグのベルトを取っていますよね？パートナーの泉田選手は東関部屋の出身ですけれども、プロレス入りする前にも接点はあったんですか？

一宮　泉田さんが大相撲に入った頃に東関部屋へ何回か遊びに行ったことがあって、そのときに「青雲竜さん」（泉田の四股名）って言って、結構親しくさせてもらって。じつは、泉田さんは曜が日本に来た時の教育係なんですよね。曜にいろんなことを教えたり日本語を教えたり。相当メチャクチャなことを教えたらしいんですけど（笑）。

――アハハハ！　そのせいかどうかわかりませんけど、曜さんも大変な人ですよね。

一宮　まあ、一言で言うと陽気な外人ですよ。でも、ホントに常識面では日本人より日本人らしい気持ちは持ってる人ですよ。そういう部分で外国人のレディファーストみたいな心遣いがミックスされてるんで、優しいと思いますよ。

――だから、女性受けが良かったりするんですかね。

一宮　そうでしょうね。

――それで相原勇（現・YASUKO）さんとか、いろいろ話題になりましたもんね（笑）。

一宮　ありましたねぇ……（沈黙）。

――では、話づらそうなので話を変えますね。一宮さん自身が、女性関係で一番おいしい思いをしたのはいつ頃ですか？

一宮　一番モテたのは高校で野球やった後ですかね。相撲やってた頃は、やっぱりだいぶ離れたんですけど。今はどっかで飲むといっても、金村さんとかインディーを大集結させてウチの店を貸切りにして飲み会をするっていう感じですね（笑）。ホント、大日本からDDTからIWAから全部集まって、ひたすらプロレスの話なんですけどね（笑）。特にリング上で交流がない選手同士でも普通に参加して、「ああしよう、こうしよう」ってプロレスのことを話し合ってますから、あんまり女性の話はないですね。今は24時間プロレスのことを考えていられる環境なんで、いい時期なんだなと思ってます。

——生活も完全にプロレス一本なんですね。では、注目を浴びるきっかけとなった偽造ギミックをやるに当たっては、葛藤はなかったですか？　ギミックにしちゃっていいのか？と考えたりとか。

一宮　う〜ん、何か吹っ切れた部分はあったんですよね。やっぱりお客さんに喜んでもらえるっていうのがプロレスの前提じゃないですか？

——まあ、たしかにそうですけど。

一宮　最初は衣装で膝にパスポートや銀行カード貼ってとか、そういうコスチュームでやってたんですけど。

——思い切り吹っ切れてますね（笑）。

一宮　一番最初に試合の中で長州さんを偽造したんですよね。長州さんの偽造でパーフェクトに試合を終えることができるのかな？っていう不安はあったんですけどね。そのうち格好は長州さんだけど、技は武藤さんだったりすることもあって、そういう部分での葛藤はあったんですけど（笑）。最近はいろんな人にちゃんと公認をもらえるようになりましたし（笑）。

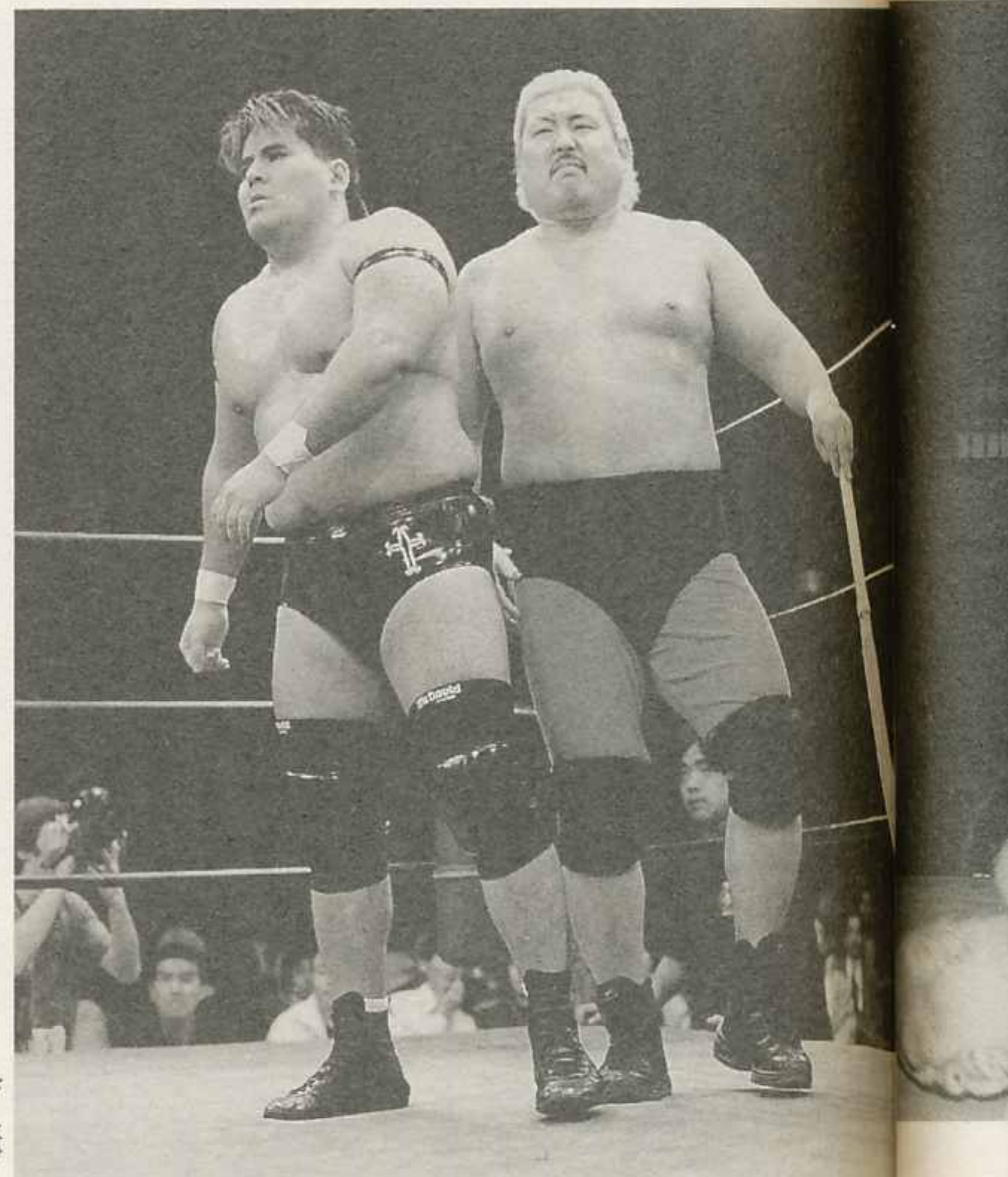
——ちなみに公認はどなたからもらってるんですか？（笑）。

一宮　ノアの大森隆男さんと、ZERO-ONEの大谷晋二郎さんですね。今度、23日のWEWのディファ有明には三沢さんも観に来るらしいんで、本人の前でOKをもらうか、エルボーをもらうか、楽しみですね（笑）。

——ZERO-ONEのオッキー沖田さんは、寝ぼけ眼でWEWの中継を見てたら、いきなり橋本選手が試合してるんでビックリしたそうですけど、じつは一宮さんだったという（笑）。寝ぼけてたとはいえフロントまで欺いてしまうから、相当偽造レベルは高いですよね（笑）。

一宮　いやぁ……でも、まだまだ偽造は自分の中で始まったばっかりなんですよ。だから出したい部分とか隠してる部分はいっぱいあるんで、出し惜しみせずに今後もずっと続けていきたいなって思います。体型が壊れず、体力が続く限りは（笑）。

——最近はどんどん、コスチュームとかの気合いの入り方が違いますよね。クオリティを維持していくのは相当大変ですよね。

一宮　周りが支持してくれてるんで、助けられてますね。ただ、快く思ってないご本人さんも絶対にいると思うんですけど（笑）。

——でも、いずれは本人と共演したりして（笑）。

一宮　できればいいですねぇ（笑）。

——「一宮選手の師匠は神無月さんだ」って噂もあるんですけど、これはホントなんですか？

一宮　そうなんですよ。神無月さんと仲が良くって、店にもよく来てくれるんですね。ネタをいろいろ仕込んでもらったりしてますよ。この間は、隣町の王子で神無月さんのディナーショーがあった時に乱入させてもらって、長州対長州をやったんですけど（笑）。

——アハハハ！　それは見たい（笑）。

一宮　やっぱり向こうはプロの芸人さんですからね、どういうところを盗むのかっていう観点は教えてもらったんで。三沢さんのセコンドで待ってる風景とか、こういう目の動きとか、顔のしかめっ面とか、間っていうのを神無月さんに教えてもらって。あとは最近、西口プロレスで長州小力さんとか活躍してますからね（笑）。見せ方とかは勉強になりますよ。ああいうところを勉強していいのかわからないですけど（笑）。お客さんもプロレスとして観には来てないと思うんですよ。プロレスとして観に来た人は怒ると思いますから（笑）。プロレスじゃない部分での間の取り方とか、そういう構成は上手くできてますよ。

——一宮さんの中にもWWEの影響っていうのはありますか？

一宮　ありますね。実際、いろいろネタは仕込んでるんですけど、出す機会がなんですよね。DDTだと、高木三四郎がストーンコールドの化身みたいな感じで、ポイズンさんもフレアーウォークとかいろいろやられてるんで、そういう部分でDDTではアメプロはいらないかなって。ただ、地域的にWWEが地上波で放送されてないところもあるんで難しいんですよ。

——会場によってはノリも違うから、ネタのチョイスも大変ですね。

一宮　ホント、地方会場の時はわからないですよね。だから、チケット窓口に行って聞くんですよね。「どの団体が好きなんですか？」「誰が好きなんですか？」とか。田舎に行くと、まだお客さんが好きなのは猪木さんとか長州さんとかが多いですね。

——えっ、お客さんに直接聞いちゃうんですか？

一宮　リサーチしてますね、はい。あまりにも子供さんが多い時にはアニメキャラに急に変えたりもします。昔、足立区の六ツ木小学校でやった時には、『千と千尋の神隠し』を偽造してみたりとか。

——それ、どうやってやるんですか？（笑）。

一宮　子供にアメを配って歩いたりとか（笑）。鈴木雅之もやったことありますし。

——ハハハハハ！　幅広いなぁ。今まで何人くらい偽造してるんですか？

一宮　まだ、50ぐらいじゃないですかね？

——今までモノマネする選手はいろいろいましたけど、勉強量が他のモノマネ選手と比べて全然違うんじゃないですか？　昔から誰かの偽造をするのは得意だったりするんですか？

一宮　ちっちゃい頃から友達とのプロレスごっこの中で、マスカラスやブッチャーやテリーをやったりっていう流れですけどね。

——純粋に「好き」っていう部分から入ってるから、最後には単なる偽造じゃなくなってますよね。あと、一宮さんの持ち味はレパートリーの幅広さですよ。天龍、越中、高木三四郎、長州、ポイズン、ブッチャー、豊田真奈美、永田、上田馬之助、新崎人生、大谷、大森、大仁田、三沢、橋本、武藤にグレート・ムタに黒師無双……あとGAMIとかもやってるんですね（笑）。

一宮　あと、MIKAMIもやってます。

——一番凝ってた偽造はムタの新バージョンですか？　新しいムタが『週プロ』の表紙になった翌日に、早くも偽造してましたけど。

一宮　あれはDDTでやった偽造ですよね。「凄いね」って言われるんですけど、全然凄くないんですよ。『週プロ』の表紙をカラーコピーで拡大して、赤い覆面を買ってきてコピーを切り貼りしただ

あらゆるレスラーを偽造してリングに上がる偽造王。コスチューム、髪型、メイク、そして細かいムーブに至るまで忠実に再現するのだ。こだわり方は半端じゃない。

相撲 多重アリバイ RETURNS

偽造には天龍さんに追いつきたい気持ちと「プロレスLOVE」が現れてるんです!!

けなんで（笑）。

——そうなんですか（笑）。凄い精巧に見えましたけどね。切り貼りは自分でやるんですか？

一宮　そうですね（笑）。すごく地味な作業なんですけど。

——あと、偽造とともに注目を浴びるきっかけとなったゴージャス松野さんとの抗争についてもうかがいたいんですけど。

一宮　あれは……あんまり視野に入れてないんですけどね（苦笑）。

——入ってないですか（笑）。松野さんとの因縁が『サンデージャポン』（TBS）で毎週放送されてましたから、お茶の間へのアピールはかなり強烈だったと思うんですけどね。

一宮　お約束男として毎回登場してますからね（笑）。ホント、きっかけですよね。だから僕は恵まれてると思ってるんですよ。IWAに入れてもらって、たまたまターザン後藤さんが試合に穴を抜けてしまったから、偽造っていうギミックで僕が上のポジションで出られたわけで。これは本来だったら後藤さんのポジションなんですよね。第2試合とかに出てた僕のことを会社がそこまで押し上げてくれましたから。松野さんとは、ちょうどその時期に絡めたんですよね。

——あの一連の抗争っていうのは、あまり納得いってないんですか？

一宮　僕としては楽しんでやってるっていうぐらいですよ（笑）。別に利用してるわけじゃないですけど、僕も松野さんのおかげで一宮章一っていう名前が世間に知れたんで、逆に松野さんにはプロレスの中では僕を踏み台にして上がってってもらいたいなって思います。

——松野さんが絡むと新聞で記事になるということを考えると、対世間的には重要なキャラクターですよね。

一宮　ただ掲載されるのが、プロレス面でいいのか芸能面でいいのかっていうのは、松野さん本人も悩んでいるとは思いますけどね（笑）。

——たしかに（笑）。松野さんに限った話ではないんですけど、IWAって記者会見は抜群に面白いからとりあえず行くんですけど、あんまり試合とは直結してないですよね（笑）。

一宮　そうなんですよね（笑）。

——そういう要素もあって、今年に入ってから一気に一宮さんへの注目度は上がってきてますよね？

一宮　でも、僕のプロレス歴って5年なんですよ。しかも途中で2年抜けてますから、実質3年しかやってないんですよ。だから、どんなプロレスラーでも、僕は敬語で話をするんです。みんなプロレス界では先輩だと思ってるんで。そういう部分でプロレスに関してまだまだ向上心がありますし、勉強しなきゃいけないっていう気持ちは変わってないですから。3年目のプロレスラーが業界的にどのへんに位置付けられるかっていうのもわかってるんで、そういう部分で一歩でも二歩でも技術的なものも伸ばしていきたいです。

——でも、キャリア3年でこれだけいろんな団体のメイン級で活躍してるっていうのは凄いですよね。

一宮　それは三田英津子さんによくツッコまれますね。というか、怒られますね（苦笑）。『パッとでてきたフリーがメインを張ってさぁ、生意気だよ！』って（笑）。そんな感じで怒られながらも、三田さんには可愛がって頂いてますね。

——それにしても、ここまでの経歴はホントに凄まじいですよね。相撲でガチガチやって、WARでガチガチやって、今度は偽造して、しまいには総合格闘技に挑戦ですからね。一宮さんの中では、プロレスをどのような解釈をしてるんですか？

一宮　力の差は歴然としてると思うんですけど天龍さんに追いつきたいっていう気持ちと、武藤さんじゃないですけど「プロレスLOVE」っていうリスペクトが、偽造に現れてるんですよね。そこからもっと自分の世界を確立しないといけないのかなって思いますけど。でも、目標は最終的に「強い！」と思われたいです！

——プロレスラーとしても格闘家としても？

一宮　はい。でも、まだ現段階ではいいのかなって（笑）。今は『DEEP』で勝ちたいっていうのが一つの目標ですよね。勝つことによって、自分のプロレスラーとしての位置づけを上にもっていきたいです。そうすると偽造のシャイニングウィザードでも、もうちょっと重みのある必殺技になるかもしれないし、ちょっとでも本人に近づけるんじゃないかなって思うんです。

——強いけど偽造してるって最高ですよね（笑）。小さい頃からプロレスラーに憧れた気持ちをそのまま持ちつつ、なおかつその世界に自分がチャレンジすると。

一宮　自分でも、まさかプロレスラーになるとは思わなかったですよ（笑）。

——この先もどうなるかもわからないですよね。

一宮　まさか、シュートの方に出るとは思わなかったし。ホントに波乱万丈って感じですね（笑）。

【8月14日／東京・北区『相撲チャンコ・高砂』にて収録】

インタビュー後記■いかがでごわしたか、一宮の壮絶な生き様！　さまざまな波乱に巻き込まれながらも、最後に語った「強い！と思われたい」という言葉に、一宮の純粋で熱い心意気を感じたでごわす！　9・7は「頑張れ、偽造王！」でごわすよ!!

いちみや・しょういち■昭和44年2月14日、東京都北区出身。先代・高砂親方の長男として生まれる。平成9年7月6日、WARの両国国技館大会にて対望月成晃＆岡村隆志＆多留嘉一戦でデビュー（パートナーは石井智宏＆奥村茂雄）。平成11年からはフリーとしてインディマットを中心に暴れまわっている。2000年11月20日、偽造有印私文証行使の容疑で逮捕されたが、これをギミックに"偽造王"となる。180センチ、100キロ。

一宮章一も試合がなければ顔を出す！
偽造王の実家だが味は本物!!

「相撲茶屋　高砂」で本場のちゃんこを食べよう!

【お店DATA】
住　所：東京都北区東十条2-5-14
電　話：03-3913-8866
営業時間：17：00～23：00
交　通：京浜東北線「東十条」駅南口から徒歩2分
　　　　埼京線「十条」駅から徒歩8分

大日本を退団した葛西純を都内某所で発見！

退団の真相から、今後のことまで洗いざらい激白!!

聞き手＆撮影／松澤チョロ

designed by gutty（Two Three）

「小鹿社長＆山川副社長が取り仕切る現体制への不満、長期欠場の原因となっているケガの治療費を会社側が補助してくれなかったこと」が要因となり葛西純が大日本プロレスを退団すると の発表が7月19日の静岡大会終了後、登坂統括本部長から本人不在のまま、ひっそりと発表された。その後も葛西自身の口から退団について語られることはなかったわけだが、当の本人を偶然都内某所で発見！ 話を聞いてみた。

――葛西さん、大日本を辞めたって聞いて心配してたんですけど、真夜中の公園で一体何やってるんですか!?

葛西 何やってるって、オメエよぉ、『東スポ』読んでたんだよ！ 見りゃわかっだろ!? それによぉ、いまは俺っちのことより松坂慶子か風間ルミの心配でもしてろっちゅーの！

――は、はい（笑）。でも大日本を辞めたっていうのは本当なんですか？ いまだにアングルだと思ってる人もたくさんいるみたいですけど。

葛西 あ？ そんなもん、とっくに辞めてるよ！ アングルでもハングルでもなんでもねえっつーの!!

――あ、そうなんですか。葛西さんの退団は本人不在のもとで発表されたわけですけど、やっぱり裏では、かなりモメたりしたんですか？

葛西 そりゃそうだよ、オメエ！ もう俺っちからしてみれば大日本には金輪際、葛西の〝か〟の字も出して欲しくないくらい（キッパリ）。

――ゲ！ そこまで言いますか！ ズバリ言って円満退社ではないと？

葛西 まあ円満ちゃあ円満だけど、俺っちの方が百歩くらい譲って辞めてっから！ 百歩だよ百歩！

――だ、だいぶ譲りましたね（笑）。正直言って、いつぐらいから大日本を辞めようと思ってたんですか？

葛西 去年の横浜アリーナ（12・2）くらいから思ってたから。俺っちのカードがしょっぱかったからな。

――当時からカードなり扱いに対しては不満を言ってましたからね。

葛西 もう連日ザンディグとやるのがイヤだったからな。あの頃のザンディグは尋常じゃないくらいワガママな人間になってたから。（天狗の鼻を作り）完全にコレになってたんだよ。

――まあ不満っていうのは誰でも多少なりともあると思うんですけど、やっぱりヒザのケガ問題っていうのが退団の一番大きな原因になるんですか？

葛西 う〜ん、まあケガちゅうのも辞める原因になってはいるけど、それは微々たるもんだよ。俺っちは山川（征二）みたいな新弟子以下のあんなショッパイ奴が復帰して、登坂と仲良いんだか何だかよくわかんねえけど、それだけで上の方で使われるちゅーのにも相当頭キテたからな！

――葛西さんの発言は、どうしてもキャラでとられがちな部分もありますけど、発言的には昔から全部シュート発言ですよね。

葛西 あったりめーだよ！ 俺っちはウソは言わねぇから。全部（シュートサインを作り）コレだから！

――そ、そうですか。でも正直言って、足のケガは、かなり重傷なんですよね。

葛西 （急に顔をしかめて）前十字靭帯一本と内側側副靭帯一本で二本切れてんだよ。これは辞めるキッカケになったと言えばなってるけど、それだけが原因ちゅうわけじゃねぇよ。

――退団発表によると、会社から治療費が払われていないってことも原因の1つだと言われてますよね。

葛西 それだと、俺っちが凄いケチな人間みたいじゃねぇか！ なんか会社側から発表された辞めた理由っていう

のが「入院費とか手術代を出してくれなかったから」って言われてっけど、その言い方が気に食わねえよな。

――真相は違うところにあると？

葛西　だってよぉ、手術代を補助してあげられないとか言ってっけど、補助って言うとナンボか出してるみたいじゃん。俺っちは選手会から一万円は貰ったけども、会社からは一銭も貰ってないから。それだけは言っとく。

――一銭も貰ってないんですか？

葛西　そうだよ、オメエ！　だから補助とかそういう次元じゃないんだよ。あと、小鹿の社長退任騒動も別に俺っちは一言もそんなこと言った覚えねぇし。あれはただ会社が、いずれ葛西は帰ってくるんじゃないかって、プロレス的な流れで匂わせるためにそういう発表をしたんだと思うけど、もう二度と上がらないから！（キッパリ）。

――大日本には、もう上がらないと？

葛西　仮に世界中にプロレス団体が大日本だけになったとしても、俺っちはやらない。大日本にはもう一切関わりたくない！

――こうなってしまった以上はしょうがない部分もあるんでしょうけど、大日本には対しては、ちょっと前まで愛情みたいなものはあったんですよね？

葛西　会社自体にはまるっきりなかったけどな。ただ選手間っていうのは敵対して闘ってても殺し合いじゃないから、やっぱ心が通じ合ってる部分ってあんだよ。自分と（シャドウ）WX、アブドーラ小林しかり、自分と伊東（竜二）しかり、自分と関本（大介）、沼澤（邪鬼）しかり。だからそういう部分で支えられてて、いままで辞めなかったっていうのも正直あるよ。

――さすがの猿も堪忍袋の尾が切れたってことですか？

葛西　それは違うな。俺っちは尻尾はあっから（ニンマリ）。

――そ、そうですよね（苦笑）。

葛西　ただ、もう生活できねぇもん。もちろん、野生に帰ればできんだけど、人間社会に染まってしまった俺っちとしては、もう野生には戻れないやね。

――そうかもしれませんね。でも辞めてから、どこかの団体からオファーはなかったんですか？

葛西　悲しいかなないんだよ（苦笑）。あ、そういえば活き活き塾から留守電が入ってたな。そんぐらいだよ。

――アハハハ！

葛西　ホント白紙もいいとこだよ、ホント真っ白！　上げてくれる団体があればいいんだけど。ちゃんと世間一般でいうサラリーマン並の生活は俺っちもしたいんでね。

――サラリーマン並でいいんですか（笑）。

葛西　サラリーマンレスラーにはなりたくないけど、まぁ、月に一回くるくる寿司食えるとか、そういう生活水準でいいから。まぁ、俺っちも自分で言うのもなんだけど、結構ショッパイレスラーだからさ（苦笑）。

――そうなんですか？

葛西　……ど、どうなんでしょうね？（急に謙虚に）。

――アハハハハ！

葛西　仕事くればいいんですけどね（苦笑）。

――やっぱり営業活動とかも、していかなきゃいけないんですかね。

葛西　ていうか、活動するのも手なんだろうけど、この足じゃ活動できねぇんだよ。「いまは試合できないんだけど使ってもらえますか？」って言ったって、どこも使ってくれないと思うんで。ここはちょっと肉体改造でもして……肉体改造と言いながら生ビール飲んでっけども（笑）、まあ肉体改造して価値を上げてからでも遅くねぇかなって。

俺っちからプロレスとっちまったら何も残んねぇ今は抜け殻もいいとこだよ

――早くて年内中までに復帰できればっていう感じなんですか？

葛西　まあ早けりゃ早いほどいいんだけどな。こっちは、すぐにでも動けるような気もしてるんだけど、病院の先生が言ってっから「あと10ヶ月は休んでくれ」って。

――でもそれは普通の人間としてじゃないんですか。

葛西　そうそう。普通の人間として言われてるんで、俺っちはプロレスラーだし、おまけに猿なんでもっと早いかもしれないけどよ。

――そうですよね（笑）。ケガも治ればいろんな団体からオファーもあるとは思いますけど、正直、どこかの団体に所属したいっていう気持ちも、やっぱりあるんじゃないですか。

葛西　そうだね、もう大日本で懲りてっからな。俺っちみたいなキ●ガイレスラーがこんな常識的なことを言っちゃいけないんだろうけど、やっぱりお金が良けりゃいいにこしたことはないしな。

――でも、これまで葛西さんはケガで欠場とかもなかったし、今回、初めてこんな大きなケガをして、かなり落ち込んだ部分はあったんじゃないですか？

葛西　っていうか、俺っちからプロレスとっちゃったら何も残んねぇしね。だからプロレスができないと凄いストレスが溜まるっちゅーか、何で生きてんだろとか考えちゃうんだよな。

――じゃあ、いまは抜け殻のような感じなんですか？

葛西　抜け殻もいいとこだよ。早く試合がしてぇよ。ちゃんとギャラくれるところだったらとんでもないデスマッチができそうな気がすっからよ。

――やっぱりデスマッチというのは譲れないところなんですか？

葛西　できるにこしたことはないんだけど、デスマッチと言わずハードコアでイス、机、脚立使ったりとかは、今の時代はどこだってできると思うしな。そういうのができれば別に蛍光灯、ガラス、火を使わなきゃ沸かす試合ができないっていうわけではないから。イス一個あれば沸かす自信あっからな（キッパリ）。

――イ、イス一個で沸かせますか！　では、頭の中でボンヤリとでも「ここの団体に上がりたいな」っていうのはあるんですか？

葛西　そうだね。あと非道クンとか松チャン（松永光弘）とかともう一回とんでもないデスマッチとかやってみたいっていうのはあっけどな。

――とんでもないデスマッチですか！

葛西　あと、やっぱり今までインディの大日本でデスマッチやってきた自分がデカイ団体でどれだけ通用するかっていうのはちょっと冒険心じゃないけど、試してみたい気持ちがないわけでもないから。まほん（本間朋晃）の例があるんで、それは凄い厳しいことだと思うんだけどな。まほんも大日で活躍してる時は水を得た魚の様に、いい試合して勝ちまくってたけど。

――やっぱりメジャー団体に入っちゃうと、どうしても押さえつけられる部分もあるだろうし、新日本に上がったら多少制限がかかっちゃう所が見えましたからね。

葛西　そういうのを余計見てるんで、自分はどうなのかなと。下手するとそれ以下で全然歯がたたないかもしれな

いし。でも俺っちは、やるからには逆に食ってやろうっちゅうのがあるんで。「俺らはメジャーだから！」ってちょっと高飛車になってるヤツらとやってみたいやね。

――インディーという言葉に対しての思い入れってあるわけですか？

葛西　デスマッチにはあっけどインディーには別にねえよ。

――チャンスがあればメジャーと呼ばれてる団体には上がりたいという気持ちを持ってるわけですね？

葛西　持ってるね。

――想像するに、いまの生活は大変なんだろうなとは思うんですけど、実際のところ、どうなんですか？

葛西　まぁ、蓄えが2000万くらいあるからな。

――2000万！　じゃあ、しばらくは大丈夫ですね（笑）。

葛西　夢を壊すようなことを言っちゃいけないんで、そのくらい言っとかねえとな。プロレスラーは夢を売る商売なんだから（苦笑）。

――そうですね(笑)。

葛西　俺っちの私生活はミステリアスで謎のベールに包まれてっから。（素になって）……ホント大変ですよ。

――アハハハ！　現状的には同情するなら金をくれと。

葛西　お客さんに金をくれとはさすがに恥ずかしくて言えないけども、そのセリフは大日本には言いたいね。まぁ、言ってしまうとまたつながりができてしまうからもういいよ。

――名前も出したくないっていうのが本音なわけですね。

葛西　そうだね。でもいまはホント失業中だからな。大日本ていう会社があんな会社だったから失業手当すら貰えてないんで、正直言って半分ホームレスみたいなもんだよ。

――サムライTV！（『チャンネル01』という番組で葛西は橋本がいない時を狙いゼロワン事務所に侵入し大暴れしている。ちなみに葛西は橋本のことを『破壊王』と呼び、すっかりマブダチ扱い）とかで絡みのある破壊王も心配してるでしょうね。

葛西　破壊王とはマブダチだからな。……（素になって）正直言うと、俺っちがケガした時（5・5WEW川崎球場）に初めて会って、そん時「あんまりウチの事務所で好き勝手やんなよ！」って言われちゃって（笑）。まあ俺っちも「マブダチなのに何、初対面ぶってんだよ、この野郎！」って言ってやったけどな。

――アハハハハハ！

葛西　でも破壊王とは試合やってみたいねぇ（しみじみと）。やっぱ時代は、ZERO-ONEか活き活き塾だからな。

――確かにそうですね（笑）。

葛西　さっきも言ったけど、俺っちからプロレスとっちゃうと何にも残らないからな。お痛の過ぎたチ●ポしか残らねえから。

――アハハハ！　どこのリングになるかはわからないけど、年内中には葛西さんのファイトが見られると思っていいんですね。

葛西　年内か……おっかねぇな（苦笑）。まあ年内を目標にやるよ！……（急に小声になり）でもな、ここだけの話、俺っちの中では一つだけ上がりたい団体っていうのがあるんだよ。

――頭の中では決まってる団体があると？

葛西　そんなとこだね。まだ口が裂けても言えないけど（苦笑）。ただ、もし俺っちがどっかの団体に入ったからにはお客さんを引っ張ってこれる自信はあっから。……（急に謙虚になり）これぐらい言っとけばどっか使ってくれますかね？

――と思います（笑）。

葛西　でも頭の中にある団体っていうのも俺っちが一方的に考えてるだけだから。そこの会社の人と話したりとかっていうのは全然ないんだけどな。それに、いまは足もこんな状態だし、すぐにでも試合できる身体ならアレだけど、どの面さげて行くんだって話だろ？「ケガしてあと半年は試合できませんけど使ってください」なんて言えないじゃん。

――そりゃそうですよね。

葛西　ただまあ、その団体は別として、やっぱりデスマッチは捨てたわけじゃないんで。いずれとんでもない試合をやってみたいね。

――とんでもないデスマッチって具体的には、どんな試合なんですか？

葛西　松チャンと非道クンとウィンガーとかで、物議を醸し出した秋葉原のファイヤーマッチを越えるようなメッチャクチャな試合をやってみたいと思ってっから。まあポーゴじゃないけど、首がちょん切れるような、とびっきりのヤツを。その時まで、ちょっとの間、待っててくれよ！　ウッキー！

【02年8月6日／都内某所にて収録】

俺っちの頭の中では1つだけ上がりたい団体っていうのがあるんだよ

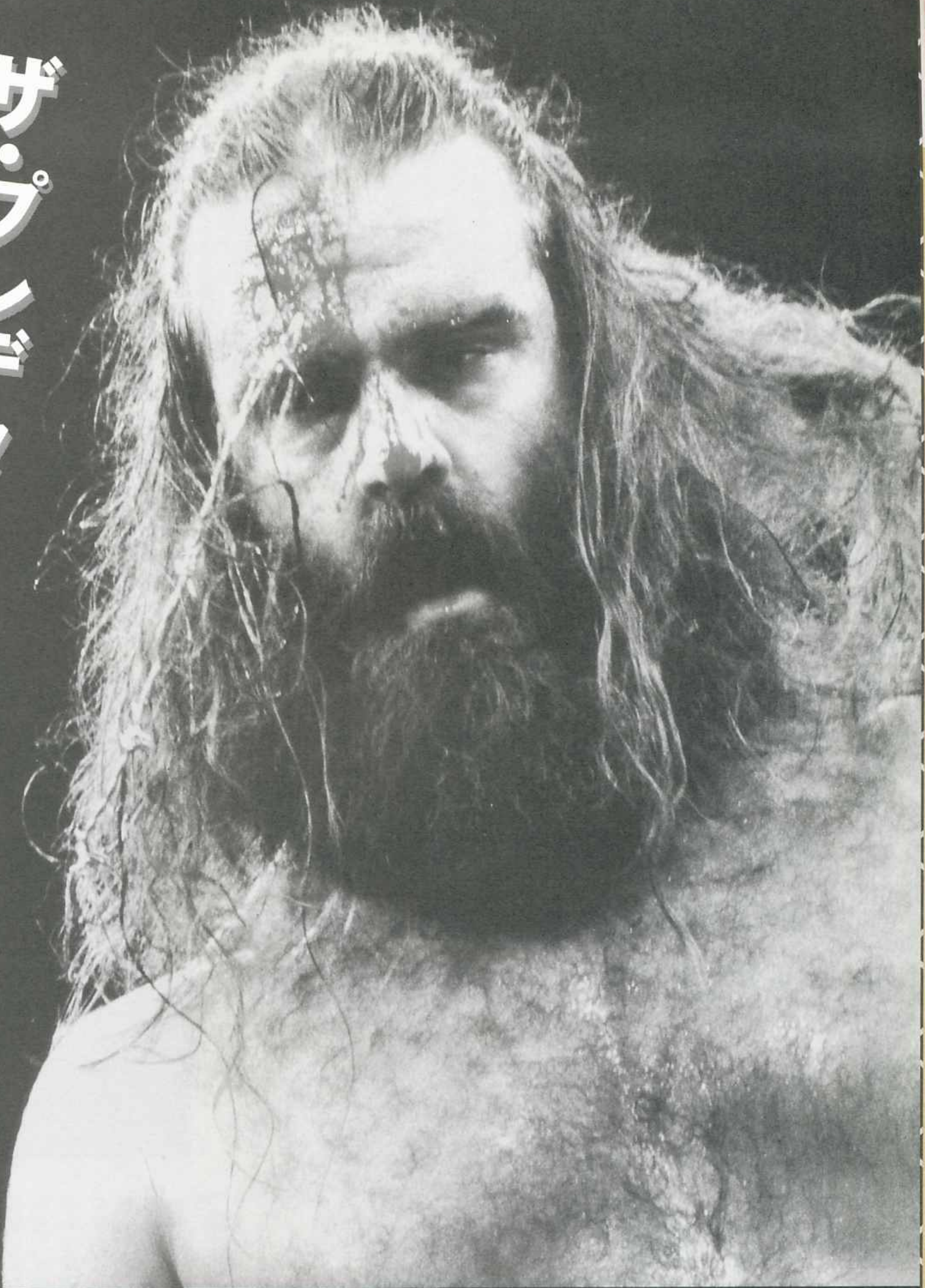
シェー!!

絶滅寸前の猿を救え！葛西AID・Tシャツを買え！「今の俺っちの収入源はこれだけ(泣)」

足のケガが治り、試合のオファーが来るまで収入ゼロの葛西純を救おうと滋賀県の洋服屋『GEP!』が「葛西AID・Tシャツ」を販売！このTシャツの売上金の一部は葛西純に寄与されるとのこと。みんな、このカッチョイイTシャツを買って葛西を救え！　ウッキーッ!!

【問い合わせ】
『GEP!』〒526-0021滋賀県長浜市八幡中山町251コルドンブルー2F
TEL.0749-64-1711
http://www.gep-u.com/

ザ・プレデターに続き、またもや

超獣、現る

大日本プロレスの"ブロディ"は カール・ゴッチの弟子だった!!

O.D.D.

オリジナル. ダッドリー. ダッドリー.

構成／ジャン斉藤　撮影／松本崇　designed by Tani-Yan（Two Three）

大日本プロレスのリングでブロディを彷彿させる暴れ振りを見せるO．D．D．ザ・プレデターのブレイクもあり、その〝新・超獣〟よりもブロディにソックリということだけでインタビューを敢行したわけだが、掲載予定の前々号ではページ編成上見送り。前号でも原稿の存在を忘れられる始末であったが、最近元気のない大日本プロレスを応援する意味も含め、満を辞してではないけど、この〝大日本の超獣〟をブッ放します！　オウッ！　オウッ！

――それにしても、〝超獣〟ブルーザー・ブロディにソックリですね！

ダッドリー　ウガーッ！　そんなことより、アルコールを持ってきやがれ！　オレ様はノドが乾いた！

――わ、わかりました！　ビールでよろしいですか!?

ダッドリー　ウガーッ！　構わん。

――そ、それでですね、ダッドリーさんはブロディにソックリなことすらも日本のプロレスファンには知られてないんで、詳しい経歴を含めていろいろお伺いしたいんですよ。

ダッドリー　（ギロリと睨んで）まあ、オレ様がこの島国にきたのは初めてだからな。いいか、耳の穴かっぽじって良く聞きやがれッ！　オレ様は、マレンコ道場でプロレスの基本を学んだあとにヒロ・マツダ道場で厳しいトレーニングに積み、そして7年前にデビューしたんだ！

――日本でも有名どころの道場で修行したんですね。マツダ道場では、新日本プロレスの西村（修）さんも練習してましたけど、知ってます？

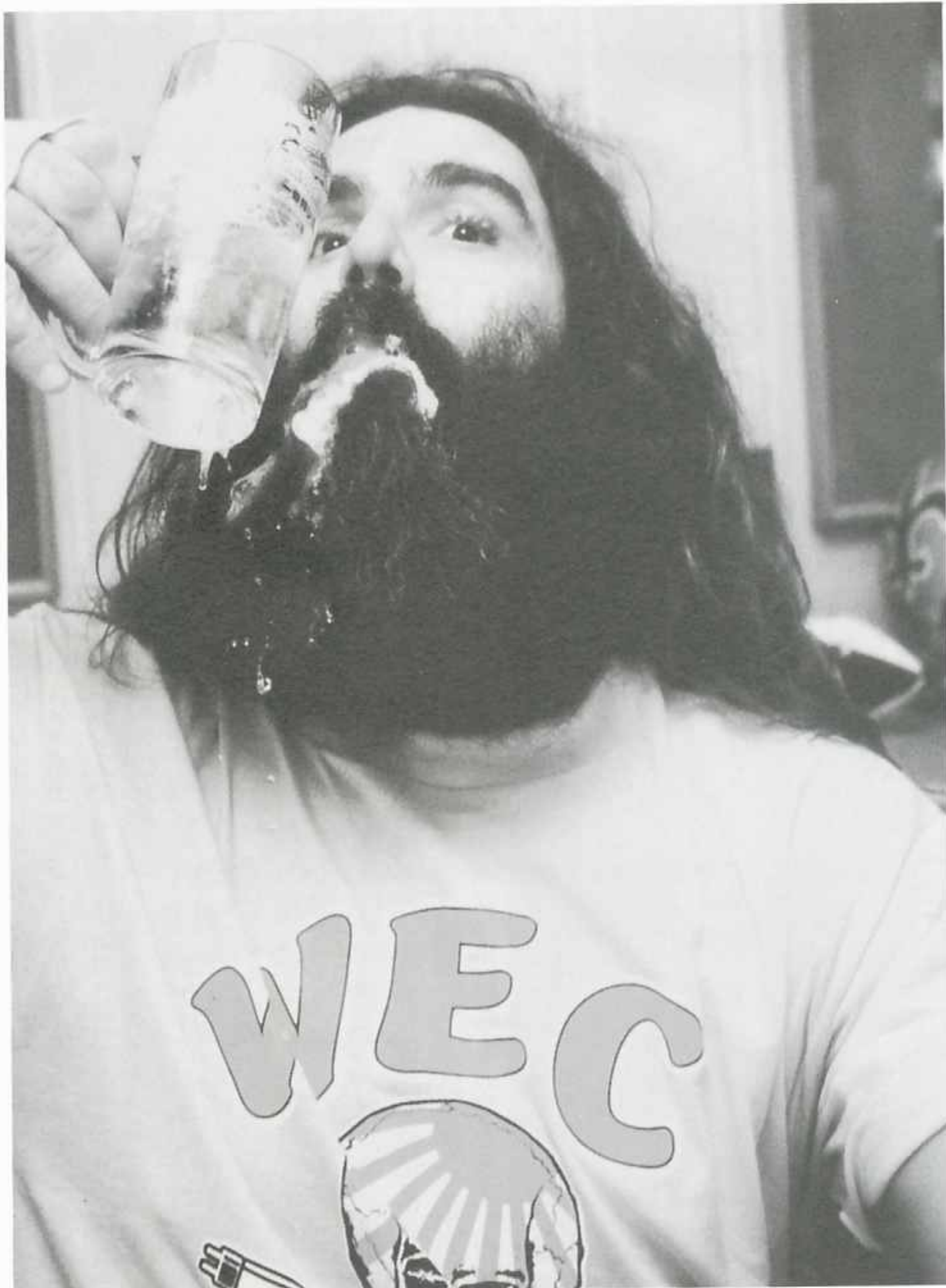
ダッドリー　ニシムラとは一緒にトレーニングしたもんだ（懐かしそうに）。彼がキャンサー（癌）になったのも知ってるよ。彼は元気なのか？

――西村さんは新日本プロレスで頑張ってますよ。マレンコ道場では誰と一緒だったんですか？

ダッドリー　カール・マレンコとかだな。

――カール・マレンコは、日本ではプロレスはもちろん、バーリ・トゥードでも活躍したんですよ。

ダッドリー　マレンコ道場では、シュート・テ

ゴッドファザーはトミー・ドリーマーだけどよ、ダッドリー・ボーイズのギミックはオレ様が最初にやりだしたんだ！

クニックのメニューもあったからな。あれは、地獄の時間だったよ……。

――そんなにハードだったんですか？

ダッドリー　あったりめえだッ！　なにしろあのカール・ゴッチが指導してたんだぜ。いわばオレ様は、ミスター・ゴッチの弟子だ！

――神様の弟子でしたか！　実はですね、最近日本では、ゴッチさんに1、2時間会っただけで弟子を名乗る大バカ者が現れたんですよ！　何か言ってやってください！

ダッドリー　なにィ～！　ミスター・ゴッチに謝れってんだ！

――ワハハハ！　前田さんみたいだ（笑）。

ダッドリー　オレ様はキチンと指導を受けたぞ。オレ様はシュートでもなんでも、どんなスタイルでも暴れ回れるんだ！

――しっかりとした基礎がダッドリーさんにはあると。デビュー当初はどこのリングで活躍されていたんですか？

ダッドリー　ECWだ。

――ということは、ポール・Eやダッドリー・ボーイズとかとは関わり合いがあったわけですか？

ダッドリー　オイ、キサマ！　いまダッドリー・ボーイズがどうのとか抜かしやがったな!!

――い、いや、ECWにいたのなら、知ってるかと思って……。

ダッドリー　知ってるもなにもな、オレ様が初代ダッドリー・ボーイズだ、コンチクショウ！

――エ!?　本当ですか？

ダッドリー　オレ様を信用できねえってのか!?　ゴッドファーザーはトミー・ドリーマーだけどよ、あのギミックはオレ様が最初にやりだしたんだ。だから、オレ様のリングネームは〝オリジナル・ダッドリー・ダッドリー〟なんだよ、このウスノロがッ！

――へえ～、それはビックリな過去ですねえ。

ダッドリー　驚いたか、このクソ野郎！　オレ様がダッドリー№1！　いまWWEでやってる連中は、№6、7、8の奴らだ！

――アルシオンのライセンスナンバーみたいですね（笑）。でも、発起人にも関わらず、なぜチームから離れてしまったのですか？

ダッドリー　オレ様の当時のギャラは100ドルだったんだ。だがな、TVの出られるなら25ドルでやってもいいというヤングボーイが出てきちまってな。25ドルだなんてガソリン代にもならねえと思ってECWをやめたのさ。

――ギャラの問題だったんですね。

ダッドリー　そういうこと！　とにかくオレがオリジナルメンバーだったことは本当だ。ストーンコールドに聞いてみろや！

――あ、ストーンコールドと知り合いなんですか？

ダッドリー　ヤツがECWでホーガンのモノマネギミックをやっていたときに、よくビールを奢ってやったぜ。

――ホーガンのモノマネですか？（笑）。

ダッドリー　そんなことしてたんだぜ、オースチンは。そろそろ奢り返してくれと伝えておけや！

――は、はあ。いつか会ったときに伝えておきますけど。ECWを離れたあとは、どこのリングを主戦場にしていたんですか？

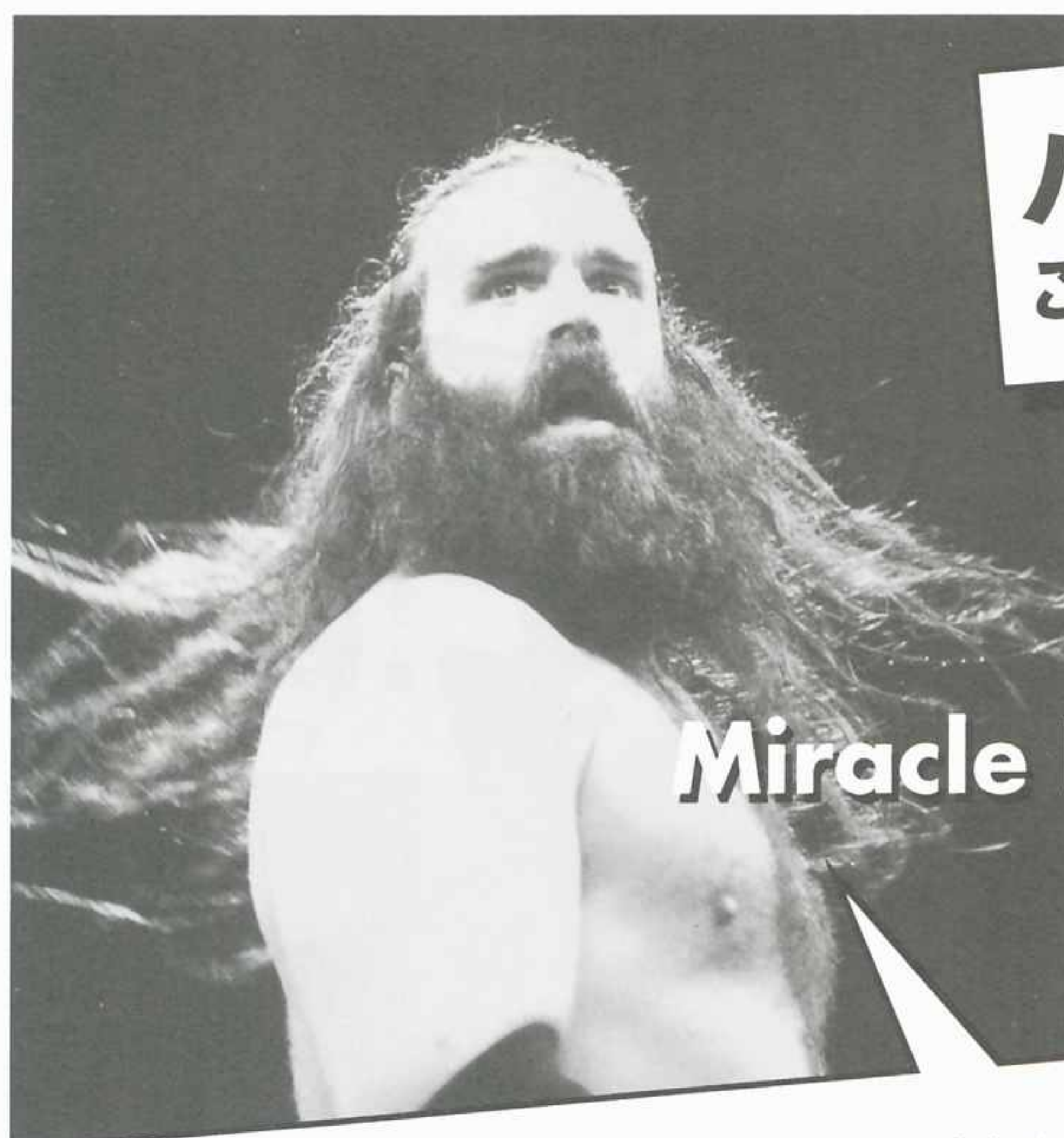
ダッドリー　プエルトリコだ。カーロス・コロンのWWCにいたんだ。

――プエルトリコ！　ブロディ刺殺事件があった場所ですね。

ダッドリー　しかもな、オレのWWCでのデビュー戦の相手は……あのインベーダーさ！

――インベーダーということは、ブロディ刺殺犯のホセ・ゴンザレスじゃないですか！

ダッドリー　どういう意図でマッチメイクしたかは知らんが、ヤツらには「ブロディに似ている」と言われたもんだぜ（不敵に笑って）。

――怖い話ですねえ。ダッドリーさんは、ブロディのことは御存知だったんですか？

ハンセンはオレのアイドル。
このコスチュームは彼の影響さ

Miracle Powers?

ブロディの様に観客を掌に
乗せるファイトをしたいもんだぜ

ダッドリー　ああ、彼が観客を掌に乗せるファイトをしていたのは知っていたよ。オレ様もあありたいもんだ。

――ダッドリーさんのアイドルだったわけですね。

ダッドリー　いや、どちらかというと、スタン・ハンセンがオレ様のアイドルだった。マレンコ道場にはオールジャパンのビデオが何本もあって、スタンのファイトを何度も喰いるように観たもんさ。このテンガロンハットやブルロープは、彼の影響だ。ウィーッ！（ロングホーンポーズを決めて）

――顔はブロディ、心はハンセン、さしずめ1人ミラクルパワーズと言ったところですね（笑）。

ダッドリー　影響を受けたグレートレスラーは彼らだけじゃないぞ！　オレ様はガキのころ、ダスティ・ローデス、ジャック・ブリスコ、ハーリー・レイス、テリー・ファンクを観て、そりゃあエキサイトしたもんさ！　あのころのプロレスではな……（マニアックなアメプロ話が30分ほど続く）

――も、もういいですか!?　それにしても、ダッドリーさんは大のプロレスファンだったんですねえ。

ダッドリー　いまでもそうだ。プロレスはファンタジーワールドで、ギミックだのアングルだな言いやがるやつもいるが、実人生とごっちゃになることだってあるからな。ケビン・サリバンとクリス・ベノワの抗争をみてみろよ。ウーマン（サリバンのマネージャーで元夫人）がホントにベノワとくっついちまって、わけがわからないだろ。

――実生活との境界線が見えないですよね。

ダッドリー　そこがプロレスの魅力なんだよな。プロレスラーの人生とリングに境界線はねえんだ。オレ様もその魅力に取り憑かれちまった。それが良かったのかどうかはわからんが、オレは身体が動く限りこの世界にドップリ浸かってるつもりだよ。死んじまったブライアン・ピルマンにしたってよ……（またもやマニアックなアメプロ話が延々と続く）。

――（いい加減聞き飽き遮って）と、ところで、いま日本ではダッドリーさん同様に、ブロディ・スタイルで暴れているガイジンレスラーがいるのはご存知ですか？

ダッドリー　なにィ？　オレ様のモノマネをしてるヤツがいるのか!?

――（小声で）いや、どっちもニセモノと言えばニセモノなんですけどねえ。

ダッドリー　何をゴチャゴチャ言ってやがる！　そのニセモノは一体、誰だァ！

――ＺＥＲＯ―ＯＮＥという団体にいるザ・プレデターという選手です。ブロディシャウトを轟かせながら、チェーンを振り回し大暴れしてるんですよ。

ダッドリー　ウガーッ！　どっちがホンモノかニセモノがはっきりさせてやる！　今日のところはその野郎はカンベンしてやるがな。ペルーでスティーブ・カーンが団体を旗揚げするんで、明日、日本を発たなきゃならねえ。

――ペルーでプロレスですか！　ブロディばりに放浪してるんですね。

ダッドリー　また大日本プロレスにも来るし、機会があればそのプレデターとかいうインチキ野郎にも、オレ様のキングコング・ニー・ドロップを炸裂させてやる！　ウガーッ！

――ブロディスタイルだけじゃなく、ダッドリー・ボーイズで暴れる姿も期待してますよ！　今後も吠え捲ってください！

ダッドリー　オウッ！　オウッ！　オウッ！　ウィーッ！（ロングホーンポーズを決めて）。

【02年6月3日／都内某所にて収録】

★Profile★

「オレ様がダッドリー・ボーイズNO.1だ！　ウガーッ！」と吠えまくった新・超獣NO.2ことO.D.D.。念のため調べてみたところ、ダッドリー・ボーイズの長男は「Dudley Dudley OF Original Dudley」というリングネームで、O.D.D.に似てなくもない風貌でした。O.D.D.の言うことはきっと、本当なのでしょう。190センチ、120キロの巨体を揺るがせ、8月の大日本プロレスのシリーズに再び参戦した。

RADICAL BOUT REVIEW

紙プロ的観戦記

『PRIDE』に昇格するのはコイツだ!!
ゴールデン・グローリーの秘密兵器アリスター・オーフレイム

7・20 THE BEST／ディファ有明

デブ同士がボコボコ殴り合うシチュエーションは互いが本気でシバキあってるのにも関わらず、その風貌のせいもあってか誰もが笑ってしまう光景に違いない。「オイッ、デブが殴り合ってるよ（笑）」と思わず足を止めてしまうのだ。そう、小学生からお年寄りまで、そして言葉や国境を超えて万国共通で楽しめる闘い。それがデブ同士の殴り合いだ！『THE BEST』で行われた橋本智彦とジャイアント落合の激しすぎる殴り合いは、そんなユーモラスさに加え、ここで負けたら後がない両者の崖っぷち感を感じさせた。橋本は柔道出身、ジャイ落は高専柔道出身なのだが、2人とも組み合わず、寝技にも移行せず、ただただ殴り合う。切羽詰まった2人には、ポジション取ってコツコツ打って判定で手が挙がるのを待つほど余裕はなかったのだ。ロボコンフックの応酬を制したのはジャイ落。マットに崩れたのは橋本だった。

『THE BEST』が標榜する"『PRIDE』の登竜門"というコンセプトからすれば、失礼ながら外れている感がある2人だが、客を満足させるという興行の大原則を身をもって体現。低めだった会場のテンションを一気に上昇させた。それゆえにこの試合を評して、あのフライvs高山と被せる人もいるかと思うが、最近は異常なほどに刺激的なニュースが駆けめぐるマット界である。高山らと違って必ずしもメインストリートに歩を進めていない両者の試合は、記憶の奥底に埋没されておかしくない。楽しさや激しさに加え、そんな哀しさまでもがほとばしるステキな試合だったと思う。

というわけで、本来は『PRIDE』昇格を感じさせる快勝をみせたアリスター・オーフレイムを中心に書く予定でしたが、ジャイ落vs橋本だけで文字数が埋まってしまいました。「決まったことを変えるというのは難しい。しかし、そこで変える勇気がほしい」とのアントン総帥の言葉もありますが、写真を取り替える時間はもうありません。ここは大英断でこのまま脱稿します。ンムフフフ。

（ジャン）

過剰防衛で監獄にブチ込まれるなどオランダイズムをしっかり受け継ぐオーフレイムは今村をわずか44秒でTKO!　ヒーロー誕生の予感大だ。

その他の試合結果

○中村大介（1R4分28秒、腕ひしぎ十字固め）シャノン・"ザ・キャノン"リッチ●

●光岡映二（2R3分13秒、ドクターストップ）ジョン・アレッシオ○（カナダ／ミレニア柔術）

●高瀬大樹（2R判定1-2）ニーノ・"エルビス"・シェンブリ○

○江宗勲（2R判定）ボブ・シュライバー●

○ファティフ・"ザ・テラー"・コカミスアング（2R判定／3-0）アングロサクソン大場●

とっくに改名していたが、試合をする機会がなく公表できずにいた大場（貴弘）。記念すべき一戦を勝利で飾りたかったが、グランドで下になる展開が続き、惜しくも判定で敗れた。

○柔圭（1R54秒／TKO）ジョー・サン●

記念すべき第一回大会のメインで狂烈なインパクトを残し、「THE BEST」のイメージキャラにアッサリ上り詰めたジョー・サン。試合前（写真参照）の準備運動虚しく、またしても途中負傷に泣いた（のか?）。

○G落合（1R2分10秒／KO）橋本友彦●

「ビデオを見たら、橋本真也のだった」とジャイ落が挑発するなど、試合前から舌戦の絡みをみせていたこのデブ対決。試合早々壮絶な殴り合いを展開し、今大会一番の盛り上がりをみせた。

謙吾、〝プチ・サップ〟コブラの怪力ジャーマンに危機一髪！
されど、最後はアームバーで逆転勝利!!

7・28 パンクラス
「SPIRIT TOUR」DAY&NIGHT ／
後楽園ホール

パンクラスに残された最後のケレン

RADICAL
BOUT REVIEW

十年目のパンクラス

今のパンクラスには、ケレンがない。

定番の夏の昼夜興行。例年通りのネオブラッドトーナメント。

今やエースの一角を占めるまでになった美濃輪が、上昇のキッカケを作ったのも、このネオブラッドだ。一回戦で慧舟會の高瀬を下から絞め落とし、決勝まで駆け上がった美濃輪。一方の枠からは、デビュー戦であった須藤元気から、気力だけで判定勝ちをもぎ取った高田道場の豊永。美濃輪は、豊永をも、あっという間に絞め落として優勝を決めて見せた。まだ、わずか三年前の出来事だ。他流試合の緊張感で、その後のパンクラスの上昇を予感させてくれた興行だった。

そこで試したことを、パンクラスは全体に拡大していった。エース船木の引退と前後して、グラバカという競技的に圧倒的な強さを持つ集団を抱え込むこと、GCM勢を始めとする外部の選手に門戸を開放することで、三年前のネオブラッドの緊張感を、ほとんどすべてのマッチメイクに反映出来るようになった。旗揚げ当時とは違う客層がつき始め、数年に渡る興行的な低迷期から脱出した。そして、他流試合の緊張感は、日常の風景となった。

例えば、修斗。ルミナやマッハという個々のファイターについて語ろうとすることは、いくらでも出来る。個々の興行についてこの日はこうであったと語ることも可能だ。が、修斗の全体を一般論で語ろうとすると、実に難しいことに気づく。恐らく、競技とはそういうものだ。細々と続いている深夜枠のボクシング中継を見る時に、ゴールデングローブとエキサイトボクシングの違いを気にする人間は誰もいないのと同じで、個々の興行に本質的な差がないのだ。修斗は修斗であるとしか、ボクシングはボクシングであるとしか、表現出来ない。そして、今やパンクラスもパンクラス。

今年のネオブラッドトーナメント。パンクラスｉｓｍも含めれば、実に六団体が参加。まさに他流試合だ。が、三年前、高瀬と美濃輪の試合にあった、元気と豊永の試合にあった、ヒリヒリするような緊張感は、もうそこにはない。修斗で、エンセン率いる大宮の選手と、中井率いるパレストラの選手が戦っても、それを他流試合とは呼ばない。ボクシングで、共栄ジムと帝拳の選手が戦っても、それを他流試合とは呼ばない。それらのスポーツ興行と同じように、他流試合が日常となった風景。それが今のパンクラスだ。結果、優勝した門馬のファイトについて云々することは出来ても（下から足の効く、慧舟會系らしい実にいい選手だと思う）、彼の所属がどこかであるかは、もう特記事項にはならない。

◯近藤有己（2R3分51秒）百瀬善規●
「プレミアム・チャレンジ」のリベンジに成功した近藤。試合後、UFC再登場、「PRIDE」参戦、そしてパンクラスでのタイトルマッチ挑戦を希望した。

だからこそ、現在のパンクラスには、ケレンがない。今のパンクラスで見ることの出来る風景は、パンクラスでしか見れない風景ではなく、今の総合の会場であれば、どこでも見ることの出来る風景だ。

そんな中、謙吾は、パンクラスに残された最後のケレンだ。ファイトスタイルだけではない。存在自体がだ。謙吾の試合が終わってしまえば席を立ってしまう程、彼にしか興味がない癖に、それでいて、謙吾の入場テーマの酷い替え歌を「♪オカマの中のオ・カ・マ」などと会場で大声で合唱している、フーリガンと呼ぶのに相応しい柄の悪いファンを大量に抱えたこの選手は、実に大味なファイトをする。

マッチメイクをする側も、見事なほど、狙った通りの選手を連れてくる。コブラと安直にネーミングされた、その黒人のパワーファイターは、観客の期待通りに、謙吾をポンポンと放り投げ続け、期待通りにあっさり逆転され、謙吾には珍しい関節技でタップを奪われるというおまけまでつけた。昼の部のセミファイナルで行われたこの試合で、興行主のケレンは見事に成功し、観客は最高にまで盛り上がってメインを向えることになった。

そして、登場した近藤。

今のパンクラスを象徴するかのように、近藤にはケレンがない。別にパワーファイターではないのに、まっすぐ相手をねじ伏せるようなファイトをする。技術やパワーで相手を上回るのではなく、存在そのものの強さで相手を上回ろうとしているかのようだ。

対する百瀬。プレミアムチャレンジで近藤に判定勝ちしたこの選手は、大道塾の分派である禅道会所属でありながらも、打撃より、学生時代にならした柔道の足技が美しいファイター。いとも簡単に、という表現がぴったりするほど、近藤から次々とテイクダウンを奪っていく。前回のファイトでは押され気味だったスタンドでの打撃でも互角に打ち合い、若さゆえの成長力も見せる。

このスタンドの打ち合いによって、一R後半、近藤は目尻を大きくカットしてしまう。場内に漂い始める嫌な空気。

ＵＦＣ－Ｊでティトに惨敗して以来、近藤は、それまでのファイトスタイルをさらに純化させようとしているかのようだ。単純に強くありたい。そう願う心の力が、身体全体から立ち昇る。溢れ出るようなとか、鬼気迫るようなとか、そういう質の気合ではない。静かに、だけども確実に、相手を上回ることだけを目指しているかのような不思議な闘志。倒されても倒されても、あっけないほどシンプルに立ち上がっていく。

上になった近藤のグラウンドパンチが、百瀬を捕らえ始める。何発も何発も。やがて、百瀬の心がポキリと折れて、近藤が勝者となった。

そうだ、近藤。倒れたら、立ち上がればいい。

これが、十年目のパンクラスの、日常の風景。

（文・長尾メモ8）

その他の試合結果

【昼の部】

★ウエルター級トーナメント・準決勝
●大石幸史（判定）國奥麒樹真○
○伊藤崇文（判定）長岡弘樹●

★ネオブラッドトーナメント・一回戦
●中台宣（2R 1分03秒／KO）鈴木雅史○
○門馬秀貴（判定）大久保一樹●
○アライケンジ（判定）小沢稔●
○北岡悟（判定）野沢洋之●

【夜の部】

●佐藤光芳（3R 2分52秒／TKO）KEI山宮○
○N・マーコート
（1R 1分37秒／腕ひしぎ十字固め）梁正基●
○渡辺大介（判定）山本孝夫●
○砂辺光久（判定）和知正仁●

初代ウエルター級トーナメントの決勝は、国奥麒樹真が伊藤崇文を1R残り1秒のところで腕十字を極め快勝！　ミドル級と併せて2冠を戴冠した。試合後、国奥はUFCウエルター級王者マットヒューズに挑戦を表明した。

今年の「ネオ・ブラット・トーナメント」を制したのは門馬秀貴。1回戦こそ大久保（U-FILE）に苦戦はしたが、2回戦では鈴木雅史（スネークピット）に一本勝ち。決勝でも開始早々、北岡（パンクラス）のタックルにヒザを合わせわずか5秒でKO！　今後が期待できるファイターだ。

夜の部に登場した鈴木みのるは「僕がかねてから熱望していた佐々木健介選手との試合を正式にオファーをいただきました」とマイク。「ただの同窓会マッチとかにはしたくないんです」と意味深なコメントを残した。“禁断の扉”が遂に開く、10・14新日東京ドームは必見！

長尾メモ8■ネット説教家　掲示板アーティスト　本業は、魂の総合格闘家　って何だそりゃ　生計はシステム屋で立てております　最近「2ちゃんねる公式ガイド」という本に「格闘技板の有名コテハン」として名前が載ってしまい、舌かんで死にたくなりました　http://homepage1.nifty.com/memo8/

PART 2

書評は平和ではない
書評は戦いである
武器のかわりが毒舌であるだけで
それは地上における最も激しい厳しい
自らを捨ててかからねばならない
戦いである――（ネール元インド首相の娘への手紙）

吉田文豪人生劇場

書評の星座

『PRIDE』の怪人・百瀬さんにインタビューしたことがきっかけとなり、なんと百瀬さんが格闘技界との関係を激白する単行本のインタビュアーとして抜擢されることが緊急決定！　そんなこともあって、遂に実現したビートたけしインタビューの最中、何度か携帯が鳴ったのを後で確認したら「百瀬博教秘書」「新間寿　携帯」との着信履歴があったりで、なんだか数ヶ月前には想像もできなかったような状況になりつつあることを実感している男の書評コーナー。〈e-mail:go@kamipro.com〉

『背広レスラー』
（永島勝司／メディアファクトリー／1300円）

第二のリキプロダクションとでもいうべき『リキ・ナガシマ企画』を長州力と2人で設立して、再びプロレス界に打って出ようと画策しているらしい平成新日本プロレスの仕掛人・永島勝司。しかし、彼の仕掛けでこれまでに面白かったものといえば実はUインターとの対抗戦ぐらいでしかないはずだと、ボクは勝手に確信している。

実際、あの対抗戦が下手に評価されてリキ・ナガシマ組が実権を握ってしまったばかりか、やがて新日が迷走しまくったのではないだろうか？

大仁田参戦と、それに伴う長州の復帰。愛弟子・健介の強引な売り出しと、言うことを聞かない橋本の解雇。盛り上がりに欠ける全日本との対抗戦と、それに伴う武藤の離脱……。その全てがどう考えてもいただけないことばかりであり、そんな永島が新日マットで展開した仕掛けの数々について自ら振り返ったのが、この本なのである。

するとどうだ。なぜか大日本との安上がりな対抗戦についても**「力道山OB会のゴルフコンペがあり、なぜか私と小鹿社長は同じ組でラウンドすることになったんです。（略）一緒に回っている時に、私は単刀直入に金額を提示しました。（略）それを小鹿社長が受け入れて、交渉成立です」**なんて対抗戦実現までの経緯を平気で明かすから、やっぱり問題ありすぎなのであった。

「この『グリーン会談』は、私の得意技の一つで、WARとの対抗戦の時には、武井社長ともよくしたものです」

この手の、読者が知ったところでこれっぽっちの幻想も膨らまない余計な裏話を明らかにしていくことに、一体何の意味があるんだろうか？

同様に、**「ミツオ……私は普段長州のことを『ミツオ』と呼んでるんです」**だの**「健介は、私がいちばんかわいがってる子で、今のあいつを見ていると、じれったくて悔しくて仕方がない。今は改まって『健介』なんて言ってますけど、本当は『ケン坊』って呼んでるんだけどね」**だのと長州派とのフレンドリーな関係をいちいちアピールするのも、辻アナが選手を目の前で呼び捨てにするのと同じぐらい鼻に付いてしょうがないというか。それで読者に伝わるのは、「永島勝司はゴルフと長州と健介が大好き」という非常にどうでもいい事実だけでしかないのだから。

さて、かくも長州好きの永島が仕掛けようとしたものの運良くというべきか運悪くというべきか流れてしまったのが、一部で噂だった長州（ミツオ）とヒクソン・グレイシーとのVT戦なのだ。

それにしても、なんでまた長州だったのかと思えば、永島は**「長州がほんとに怒ってセメントの試合をしたら、いちばん強いです。そうでなかったらヒクソンと闘おうなんて思いませんよ」**とキッパリ断言！　最強はヒクソンではなく、長州!?

ただし、具体的にどこがどう強いのかといえば、**「長州にはヒクソンに対抗できる要素が充分あるんです。その力を長州が見せたことはありませんよ。かくいう私もまったく見たことがない。でもあるんですよ。うーん……。なんですかって聞かれると困っちゃうなあ。もう長州が潜在的に持っているもの、としか言いようがない。誰も見たことないんだから」**とのことで、まったく根拠がないのも本当に驚くばかり。なんだよ、その理論！

……それでも長州対ヒクソンが実現しかけていたことだけはは紛れもない事実であり、だからこそ2001年5月5日の福岡ドーム大会で小川直也が長州に何かを仕掛けてヒクソン戦を強引に潰そうとするんじゃないかとの噂が、当時は水面下で流れていたのである。

結果的に、長州と小川のタッグ対決は〝潰し合い〟ではなく〝探り合い〟のまま終わった。だが、この試合によって**「長州の気持ちが、いわゆる闘うモードじゃなくなって」「戦闘意欲、……戦闘能力と言ってしまってもいいのかな、それがなくなった」**ため、ヒクソン戦は消滅したのだという。

そう。なんと小川は、長州から意欲どころか戦闘能力すらも奪い去ってしまったらしいのだ！

それでも永島は、長州を徹底フォロー。

「確かに小川との闘いで圧倒されて、技術的な部分で自信をなくしたという見方をできないことはないかもしれないけれど、私はそれが原因ではないと思っているんです」

つまり、長州はセメントでいちばん強いんだから、**「小川がはっきりしているなら、もっと凄惨な試合になってましたよ。長州はいつでもいいのに。エブリタイムOK」**との状態だった、と。だったら戦闘能力がなくなった原因は何かといえば、**「精神的なもの」**であり**「これは彼にしかわからない部分」**と結論付けるのであった……。

もはやサッパリわからないが、こうして長州戦が小川のせいで消滅した後に永島が企画したのが、ヒクソンとケン坊のVT戦だったのである。

「けれどもそれは全然進まなかった。ヒクソンにはヒクソンなりに、どの試合を受けるか、彼の中で計算があるわけだから。確かに健介みたいなパワー・ファイターは、ヒクソンが嫌がるタイプですからね」

こうしてヒクソンが健介を恐れたなどと一方的に言い張るのみならず、**「他の団体のレスラーと交わる時は、いちばん強い選手が出る。それが健介なんです」**と、またもや力強く断言！

この勢いで、天山も**「彼にバーリ・トゥード形式のものをやれと言えば、実はすぐにできる」**などと言い出したりもするんだが、「それって、要はなんちゃってバーリ・トゥードのこと？」と聞きたくなったりで、いちいち発言に説得力に欠けるのもこの本の大きな特徴だろう。

中西にしても、**「彼はアメリカでは、『クロサワ』というリングネームでやってたんだけど、WCWでは危険人物というか、要注意人物になっている」**と幻想を膨らませるのかと思えば、**「誰かをケガさせたとか、そういうのはなかったと思うけどね」**と平気で続けたりするから、いちいち隙だらけ。

挙げ句の果てに、永島はここまで説得力皆無かつ思いっ切り時代遅れな独自のプロレス最強論までブチ上げる始末なのであった。

「〝なんでもあり〟のバーリ・トゥードでも、たいてい、目つぶし・金的攻撃・頭突き・肘討ちは禁止されています。そうした禁止行為をやられても、プロレスラーは動じないんですよ。（略）PRIDE、K—1では、当然のことながら、試合中は相手の攻撃を防御しますよね。でも、プロレスは攻撃をあえて受けているんです。プロレスラーの体力で繰り出される技を受け合うんですから、命懸けですよ。急所に入ったら、死んでしまう。この緊迫感の中で試合をしているんだから、プロレスラーは強いですよ」

……は？　一歩間違えたら命を失う緊迫感に関しては、ガチンコの方が上じゃないのか？　そもそも、プロレスのギミックとして使われる目つぶしや金的攻撃に動じないだけで格闘技より上など誇ってどうする？

結局、説得力が感じられたのなんて、**「（永田に）一つ注文を言うと、顔つきに問題があるんですね。変な顔っていう意味じゃないですよ。本当に怒っているという顔ができない。坂口さんやジャンボ鶴田と同じ」**というそのものズバリな発言と、**「橋本は自分のこと『スター』だと思っているでしょう。でもあんなのまだ、単なるデブだもん（笑）」**という子供みたいな発言ぐらいのもの。

その破壊王に対しても、**「橋本は、もう馬鹿（笑）。馬鹿になりきれない馬鹿ね（笑）。5月2日の東京ドーム大会だって、出る出ないでさんざんもめたでしょう？　あいつから『出してくださ い』っていえばいいのに、相手が頭を下げてくるの待っている。妙に利口なんだよね。猪木さんの『馬鹿になれ』というのは、そういうこと」**などと常人には到底理解できないことを言い出すから、永島は本当にどうしようもないのである。

それに比べて因縁深い永島との対談に挑む破壊王は、発言にいちいち説得力がありまくり！

まずは**「ドームのメインの三沢対蝶野なんか、俺は別に何とも感じなかったね。お互いに何であんなに譲り合ってるのかな、と思うだけで。ケンカしてくれないから」**と容赦なく斬り捨てたり、**「（藤波が）現場にどんどん口を出していくべき」**という永島の主張を**「無理だよ」「やったって迷惑かかるよ」**とあっさり否定したりで、最後は**「ブッチ、俺はお前とケンカしたつもりなんて微塵もないぞ。むしろお前を助けようとしたじゃないか」**と言い出す永島に対して、こう言い放つのだ。

「そう思ってるんなら、それでいいよ。もう終わったことだしさ。でもな、大人はヌケヌケとこういうこと言うから腹が立つ！」

これはまったくもって破壊王の言う通りであり、新間寿の復帰が期待されても永島がファンから期待されない理由がよくわかる一冊なのであった。

背広レスラー
元新日本プロレスリング取締役企画宣伝部長
永島勝司

猪木さん、これからも笑っていこうぜ、
人生を。でも一言申し上げたい、
「バカ野郎！」と。

リング内・リング外の情報を読者にお届けする RADICAL情報局

>>>ラスカチョ、デビュー15周年記念興行に超豪華ゲスト勢揃い!!

ラスカチョこと"ラス・カチョーラス・オリエンタレス"下田美馬＆三田恵津子のデビュー15周年＆コンビ結成10周年記念興行『We Love ラスカチョ』の、全カードが発表された。多彩な人脈をフル活用した超豪華なカードが並ぶ大会のスローガンは、"なんでもあり"。この大会を行うきっかけとなったのは、脳内出血、脳動脈瘤感染症心内膜炎に倒れた"妹分"遠藤紗矢選手の存在だった。「どうしても引退セレモニーをしてあげたい」という、ふたりの強い希望が大会実現へと向かわせた。会場北側には、三田選手が介護士の資格を取得したこと及び、しながわ観光協会の後援により、障害を持つ方々の招待席が設けられる。現在の女子プロを代表する選手が大集合の今大会は、女子プロ初心者にもオススメだ。

『We Love ラスカチョ』
9月29日(日)東京・ホテルラフォーレ東京御殿山ホール
★試合開始　14:00　★パーティ　開催18:00
★入場料　SRS席 10000円(特別記念品付き)　RS席 7000円
指定 6000円　(※全席記念グッズ付き 当日は500円増)
★パーティ参加 12000円(記念品付、限定200名)
★ VIPセット　SRS席+パーティー 20000円
RS席+パーティー 18000円　指定+パーティー 17000円
ロックウエスト、チケットぴあで発売中
※パーティー券&VIPセットはロックウエストのみで発売
★問:ロックウエスト　03-5459-7988

【全対戦カード】
5.ラス・カチョーラス・オリエンタレス(三田英津子・下田美馬) VS NANA★MOMO★(高橋奈苗&中西百恵)
〜遠藤紗矢引退セレモニー〜
4.下田美馬&豊田真奈美 VS 三田英津子&山田敏代
3.ザ・グレート・サスケ&西田秀樹 VS 新崎人生&つぼ原人
2.折原昌夫&三田英津子 VS グラン浜田&浜田文子
1.アジャコング&下田美馬&ハーレー斉藤&元気美佐恵 VS ライオネス飛鳥&井上京子&チャパリータASARI&輝優優

>>>K−DOJO、後楽園ホール初進出!

TAKAみちのくのレスラー10周年記念興行となる9月のビックショーは、K−DOJO初の後楽園ホール大会！ K−DOJO所属全選手出場予定の今大会、チケットは超激安！ この機会にK−DOJOを体験しよう！ K−DOJO特集は次号以降、必ずやります!!

『CLUB-K SUPER down town』
9月30日(月)　東京・後楽園ホール　試合開始19:00
★入場料:アリーナシート　4500円　南ひな壇シート 3000円　南ひな壇小中学生シート　1000円
当日立見　2000円　チケットぴあ他で発売中
問:K−DOJO事務所　043-214-6960

>>>トーナメント前哨戦! J−DO、第4回神戸大会開催!

柔道を基盤とし、柔道最大の魅力である『投げ』に打撃を融合させた新格闘スポーツ団体『J−DO』が、第4回神戸大会を開催する。新しい格闘技の可能性を体感しに行こう！

『J−DO　第4回神戸大会』
9月16日(祝)　神戸・チキンジョージ
★試合開始16:00
★入場料:SRS席　15000円　RS席　6000円
STANDING　3000円
★問:Iam(アイエーエム):03-5464-5886
★ J−DOオフィシャルHP　http://www.j-do.jp
(J−DO本館館長・池田篤志日記もあるぞ!)

>>>高田道場がビデオセミナーを開催!

『Dynamaite！』などの試合ビデオ上映の後、山本憲尚選手から直接技術解説が受けられるという贅沢なビデオセミナーが開催される！ みんなでノリ込め〜。

【開催要項】
9月8日(日)　高田道場　受付開始15:30／開始16:00
★参加資格:15歳以上(中学生不可)の方
★持ち物:Tシャツ、短パン、タオルなど、練習の出来る服装
★参加費:一般&外部道場生　3000円　★募集人数:一般&外部道場生は30名まで(先着順)
※高田道場生は参加費無料、参加人数も制限無し。申込受付は9月1日(日)12:00より。一般&外部道場生は電話受付のみ、高田道場生は道場1Fにて受付。
★申込&問:高田道場　03-5749-5030

>>>手に職を! 骨法整体セミナー4期生募集中!

堀辺師範が整体のノウハウを惜しげもなく伝授する、大好評の骨法整体セミナーは現在、第4期生を募集している。期間は10月〜3月までの第1、第3日曜日で、時間は13〜18時。半年間の集中特訓を負え、テストに合格した暁には、晴れてプロの骨法整体師の免許証が授与される！ また、希望により骨法會の支部長として開業することも可能だ。また、日曜日に見学(予約制)を随時受け中！

★問:日本武道傳骨法會　03-3362-0010
★HPアドレス　http://www9.big.or.jp/˜koppo/

もうすぐ夏も終わり。みなさんの夏はいかがでしたか。「何もなかった」という貴方、今からでも出かけてみませんか。このページがお役に立ちます！ なんか嘘くせぇ文になってしまいましたが、載ってる情報は全て本当です。担当はささきいです。よろしくです。

ブッコミ ノリノリ★NEWS

■OH砲に次いで、吉田豪も地方に！

吉田豪、初の地方イベント！　秘蔵のプロレス系バカビデオ&トークショーを広島で楽しもう！　男気あふれるツッコミをナマで見るチャンスだ！
広島飛龍革命
8月30日（金）20:00スタート
入場料：1500円
場所：SEA CAKE STYLE（シーケイクスタイル）　広島市中区胡町3-7 ウエノヤビル4F

■プロレス居酒屋「闘魂道場」が携帯ホームページ開設！

横浜市中区のプロレス居酒屋「闘魂道場」が、携帯ホームページを開設する。店内で流されるビデオ情報や、お店で扱っているチケット情報などがチェックできる。お店も1周年。まずは詳細を携帯でチェックだ。
携帯ホームページアドレス
http://toukon.ii.infop.net/

■大阪発・『DEEP2001』観戦ツアー実施！

関西在住のファンに朗報！　田村潔司VS美濃輪育久戦が行われる9月7日の DEEP2001 6th IMPACTの観戦バスツアーが決定。往復のバス料金にパンフレット、スタンドSのチケットがついている！　是非利用して、大物日本人中量級対決をナマ観戦しよう！
料金：PsLAB会員¥20,000　一般¥23,000　スタンドS（¥10,000）&パンフレット付！
集合場所：PsLAB大阪前（大阪市浪速区大国1-5-4　MKビル）
申込〆切：8月27日（火）18:00
行程予定：9月7日（土）7:00
集合・出発→15:00有明コロシアム到着→22:00試合観戦終了後出発→9月8日（日）6:00 PsLAB大阪前到着・解散
※交通渋滞等により、予定が前後する場合があります。
★申込・問は　DEEP2001事務局 052-339-0303まで
※予約人数が20人に満たない場合は中止となりますのでご了承ください。

■真樹道場主催・オープントーナメント開催！

世界空手道連盟・真樹道場主催のオープントーナメントが開催される。今大会には、オーストラリア元極真会館チャンピオンチームや、全日本チャンピオンも数多く参戦してくる予定。ぜひ見に行ってみよう！
日時：9月22日（日）試合開始10:00
場所：愛知・豊田市体育館
（名古屋鉄道・豊田市駅徒歩10分）
入場料：全席自由　当日3000円
前売2000円　小学生1000円
問：世界空手堂連盟　真樹道場
愛知本部　0565-24-3861

■UBJ10にカト・クン・リーの出場決定！

アンダーグラウンド・ファイティング・イベント（UNDERGROUND BATTLE JAM）＝UBJの第10回大会に、メキシコからWMW世界無差別級王者・カト・クン・リー選手の出場が決定。WMWミドル級王者の長瀬館長とタッグを組み、"覆面教祖"カルト・デ・レリージョ&ランバー・ソムデート・M16組と対決する。
UNDERGROUND BATTLE JAM 10 ～2nd Anniversary
日時：9月8日（土）試合開始14:00
場所：東京・Z－ZONE永山
（京王・小田急線永山駅徒歩5分）
問：UBJ NETWORK
042-572-6795
公式HP：
http://www.ubjnetwork.com

■WOWOWがUFC特別番組を放送！

2カ月に1度開催される、総合格闘技の最高峰「UFC」。大会開催のない月にも、「何か最新情報はないのか!?」「次に出場する選手はいったいどんな選手なんだ!?」という視聴者の声にこたえるべく、WOWOWではUFC情報満載の UFC増刊号 をスタートさせる。前大会のレビューはもちろん、次大会の最新情報や日本人選手の現地密着取材、そしてラウンド・ガールの素顔まで!?　盛り沢山の内容で放送される。8月26日の初回放送は、7月13日（現地時間）イギリスはロンドンの"ロイヤルアルバート・ホール"にて開催された「UFC38」で大活躍した須藤元気の密着取材！　試合前の練習風景や現地の舞台裏など、貴重な映像満載。また「UFC増刊号」のあとには「UFC38」を再放送。須藤元気のインパクト抜群の入場からKOシーン、マット・ヒューズVSカーロス・ニュートンの因縁対決などを再び堪能しよう！
★放送スケジュール
8月26日（月）
深夜1:00～1:30　UFC増刊号
深夜1:30～3:25　UFC38
問：WOWOWカスタマーセンター
0570-008080（年中無休9～20時）

■なぜだ!? 桜庭あつこがSGP参戦!!

円谷プロ公認レスラー・ウルトラマンロビン率いる団体SGP（スペシャリスト・グローバル・プロレスリング）の、8月31日より始動する女子部特別ゲストとして、桜庭あつこの参戦が決定!! 気になる対戦相手として、SGP怪奇派軍団が「桜庭はこいつと闘え！」と送り込んできたのは、行方不明だったクイーン・ザ・ダダ。SGP特別格闘ルールで、2分5ラウンド（!）で行われるこの試合、いろんな意味で見逃せない！　この日は埼玉プロレスからサバイバル飛田も参戦、ジャンピングばばあwithセーラー服おじさんと対戦する。
SGP夏季スペシャル興行 NEW WABE LEGEND
日時：8月31日（土）開始17:30
場所：名古屋市中スポーツセンター
問：SGP事務局　052-881-0326

■JスカイスポーツでWWEの新番組が9月から放送開始！

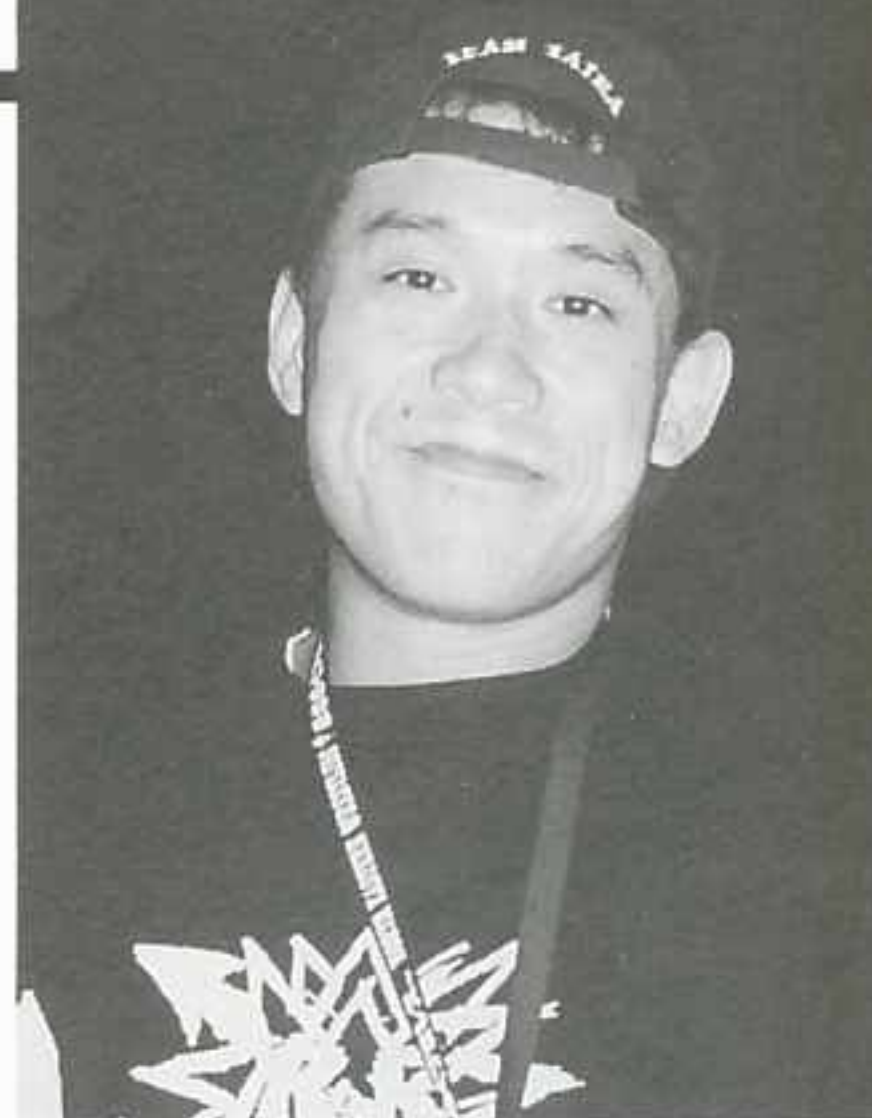
WWEといえばJスカイスポーツ！　「ロウ」「スマック・ダウン」に分裂しても、やはり日本でWWEを心ゆくまで堪能できる唯一の衛星放送局であるJスカイが、またまた新番組を放送するぞ。9月から放送される ベロシティ は現在の「スマック・ダウン」のチームの中から、「スマック・ダウン」枠内で放送されなかったカードを中心に構成されている。ということはTAJIRIの試合も思う存分堪能できるというわけだ！初回はJスカイスポーツ3で9月6日（金）22:00放送開始となる。詳しい情報は公式サイトをチェック！
http://www.jskysports.com

■今月のジニアス情報

2000年9月5日北沢タウンホールでの、リアルワールドヘビー級選手権試合、セッド・ジニアスvsグラン浜田戦／ポイズン澤田vs内藤恒仁戦のビデオを3500円（送料500円）で発売。購入ご希望の方は、現金書留に代金4000円を同封の上、下記住所まで。郵便為替でもOK!!
〒164-0003　東京都中野区東中野4-4-5-311　渡辺事務所
「"悲しき天才"サービス」係まで。

大会★GUIDE

>>>平直行、シーザー会長の元へ里帰り！

現在は柔術＆総合格闘技道場「ストライプル」を主宰する"元祖・他流試合男"平直行39歳が、デビューの場であるシュートボクシングのリングに帰ってくる！
この試合は、ありとあらゆるリングで闘ってきた平の「立ち技での引退試合」にもなるという。『グラップラー刃牙』のモデルにもなった平直行の華のある闘いぶりを、今こそその目に焼き付けておこう！

『The age of "S" vol.4』
9月22日（日）　東京・後楽園ホール　試合開始：18:00
★入場料：RS席　10000円　SS席　7000円　S席　6000円　A席　5000円
B席　4000円　チケットぴあ他で発売中
★問：シュートボクシング協会　03-3843-1212

>>>新スター誕生なるか！アマチュア女子の総合格闘技大会開催！

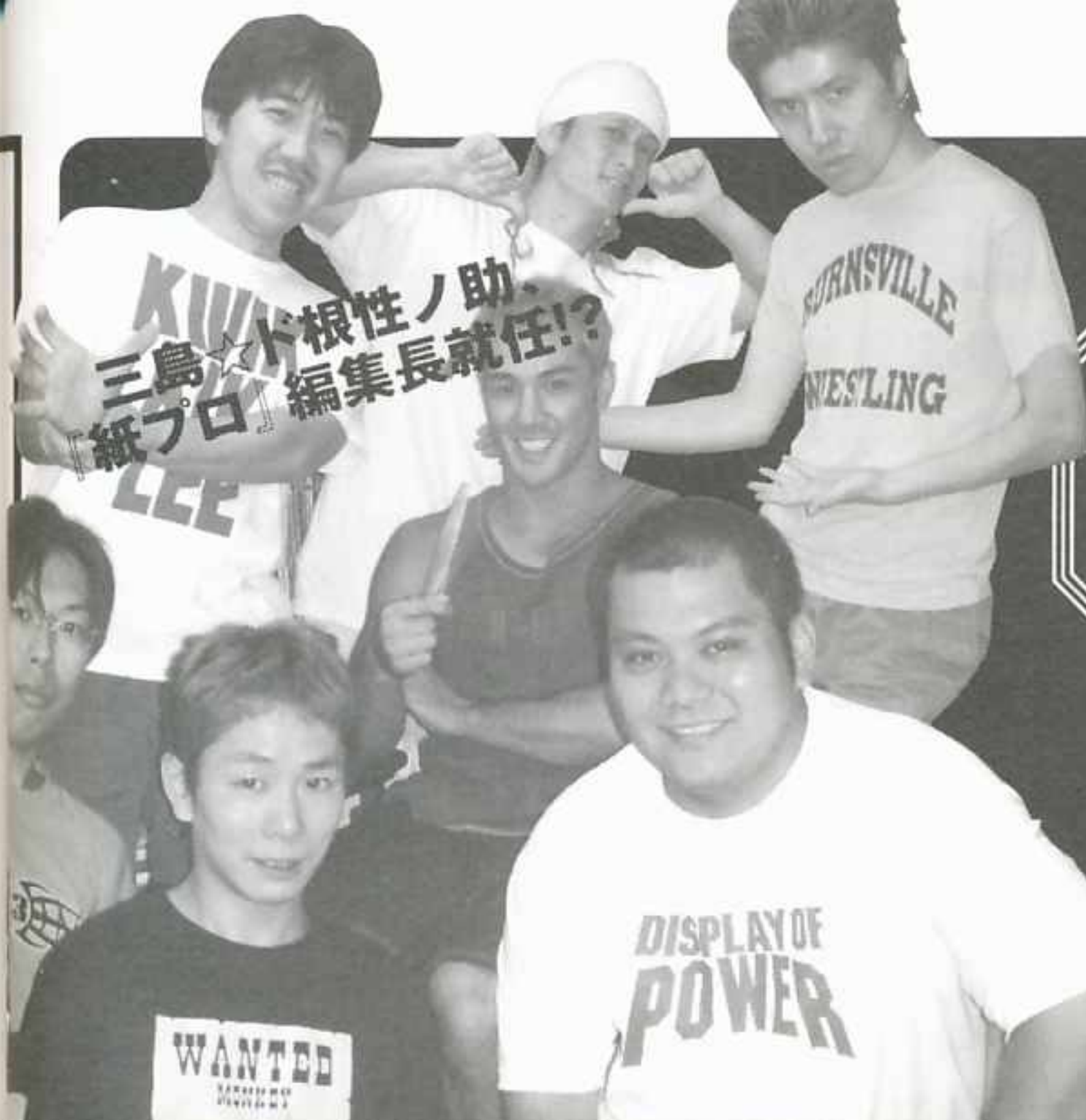
『ＡＸ』と『ＭＲＣ（マァ☆ティン・れんしゅう・サークル）』が主催するアマチュア女子総合の格闘技大会が行われる。日頃鍛えた自分の実力を試すチャンス！　ぜひ参加しよう！

【参加要項】
9月23日（祝）　東京・夢の島総合体育館　柔道場（詳細未定）
★競技方法
MMA（総合ルール）、GRAPPLING（組技ルール）、STRAIKING（打撃ルール）の3つ。
★出場資格　18歳以上の感染症のない健康優良な女子選手。
※20歳未満の方は申込み書に保護者のサインが必要。
★募集階級
全部門とも、50キロ以下／60キロ以下／70キロ以下／70キロ以上の各4階級。
★参加費　MRC会員2000円／一般3000円
★応募方法　出場希望者は、所定の参加申込書に必要事項をすべて記入、写真を添付し、参加費を同封の上、現金書留で大会事務局まで申し込むこと。
★応募〆切　9月11日（水）必着
★申込・問合せは
〒176-0012　東京都練馬区豊玉北1-6-13　カサエル江古田B1-101
パレストラ内　プロジェクトA運営事務局まで。
TEL:03-5984-3209　担当：若林

スクール★GUIDE

>>>元気があれば何でもできる！BCGが「元気なクラス」開設！

自称カリスマレフェリー・島田裕二氏の多目的格闘技ジム・ＢＣＧでは9月より小・中学生を対象としたクラスを新設する。その名も「元気なクラス」！　礼節に始まり、Ｋ－１、ＰＲＩＤＥ戦士のような強い体、いじめにも立ち向かう強い心を持った元気なちびっこを育成する。
また、新学期キャンペーンとして毎週日曜日に特別無料体験デーを実施。午前中にクラスを体験し、お昼にはＢＣＧ特製のちゃんこがふるまわれる！　いい汗かいて、おいしいちゃんこを食べて、ＢＣＧの仲間になろう！　（事前に、必ず電話で予約すること！）

BCG　東京都港区東麻布3-3-1　アイザック東麻布B1F（都営大江戸線麻布十番駅、6番出口より徒歩2分）　03-3560-7911
※BCGではジムの受付をしてくれる、明るく元気に挨拶できる女性を大募集中。レフェリーやってみたい！人などもOK。年齢不問、興味のある人は履歴書を送ろう。時間・給与に関しては履歴書確認後要相談。問&応募は、上記住所BCG野口宛まで。

祝★第4回!! もはやレジェンド!?な読者ページ

紙プロ元気大学

三島☆ド根性ノ助、『紙プロ』編集長就任!?

いやぁ～、アツがナツいですねぇ!! （周囲、困惑して無視）なんと4回目を迎えた読者ページ　紙プロ元気大学　。担当は電気部のさささいです。紙プロ　で、同じ担当が連続4回読者ページを務めるのは、ノブさん・チョロさんに続いて3人目（水戸泉さん2回、幸田珍さん3回）。……ていうか、50号以上続いてる雑誌なのに、なんで3人目なんだよ!! 少ねぇよ!! そりゃハガキも（一時期）減るわけですね。頑張ろ～っと。じゃ、始めましょうか。暑い夏には、熱いハガキがよく似合う!!

突如、三島☆ド根性ノ助選手が『紙プロ』編集部を襲来!! 編集長・山口日昇のイスを乗っ取ってしまった!! 突然の無法に編集部一同は見ての通りの毅然とした態度で記念撮影。シャッターはさささいが押しました。結局、試合が近いということで編集長就任の話はナシに。残念（え?）。ちなみに三島選手の後ろにいるのは、お友達のKEIGOさん、チョロさんの向かって右にいるのはKEIGOさんと同じバンドのドラマーの方で、和製ボブ・サップではありません。前列左端は新人の武上です。三島選手、9月7日の『DEEP』頑張ってくださいね～!!

校内巡回

【面白かった記事】

◎小川直也インタビュー◎

★小川は好きではないが、沈黙の中、何を考えているかわかっておもしろかった。今回の相手はかな～り強いと思うが、ちょっと応援してやろうかなと思いました!
（東京都・長島信一・29歳・会社員）

⬇あなたの応援のおかげで、見事勝利。もう離さないでね。

◎ボブ・サップインタビュー◎

★P96の笑顔の写真と「性感マッサージは受けていない」と弁解するところが妙に可愛らしかった。
（東京都・伊藤智彦・31歳・会社員）

⬇憎みきれない暗黒魔人・ボブサップ。私は、クモが嫌い、とポツリとつぶやいた部分を見て、新ムタなら勝てるのではないかと思いました。ムタ最強。

◎ドン・フライインタビュー◎

★奥さんに頭が上がらない所が良かった。
（埼玉県・横尾恵子・43歳・主婦）

⬇同意見は多くありましたが、43歳・主婦の方からの意見というのは、なんだか特にズシンと来ました。

◎ZERO-ONE座談会◎

★淀川を横断する崔リョウジが気になります。
（福岡市・中島由香里・26歳）

⬇トンパチエピソードには事欠かない崔くんは、急に思い立って阪急電車と競争したりもしていたそうです。なぜ?

【つまらなかった記事】

◎Mr.フレッドインタビュー◎

★ウサンくさい。
（大阪府・柴田聡・28歳・会社員）

⬇それは、もうフレッドにとってはホメ言葉です。

★なし。舐め回すように読んでます。
（静岡県・本間徹哉・19歳・学生）

⬇嬉しいですけど、普通に読んでほしい気持ちもあります。

★ぼくが見たなかでは、あまりなかったです。
（福岡県・組坂ゆうき・9歳・小学4年）

⬇それはなによりでした。でも、"あまり"というところが、おねえさんは少し気になります。

閃光魔術

（埼玉県・郷間誠司）

➡酒に酔った和田さんかな?と思ったのですが、"閃光魔術"と書かれているからには武藤でしょうか。何が違ってしまったのかわからないけど、絵としては私はすごく好きです。いやホント。

◎田村潔司インタビュー◎

★顔からして申し訳ありませんが好みではありませんので、読む気があまりしませんでした。読んで実際少しムカついてしまいました。やはりダメみたいです。
（埼玉県・山口杏奈・25歳・鍼灸師）

⬇怒りを抑えているような感じが行間から伝わってきます。そうですか。残念です。面白いんですけどダメでしたか。ね、田村。

◎電気部日記◎

★早く、紙プロ公式ホームページをつくりやがれ、ブス!
（長野市・しなやか長野・32歳・編集人）

⬇ホームページの件に関してはおっしゃる通りです。厳粛に受け止めさせていただきますが、テメエの名前は一生忘れません。

★7月から本屋でアルバイトを始めましたが、冗談抜きで売れてます。某落武者さんの雑誌はいっぱい残ってますけど。今月も頑張って下さい。もし載せるのでしたらペンネームは「高須クリニック」でお願いします。
（大阪府・高須クリニック・20歳・大学生）

⬇文章の最初からこちらのハートをがっちりキャッチする内容、スクープ、はげましの言葉と来て思いもよらないペンネーム。大学で何を学びましたか?

★『紙プロ』を読んだら「ん～ッ、ダイナマイッ!!」が頭から離れず、つい口ずさんでいたため、2歳になる娘も口ずさむ様になり、近所のおばさんに挨拶されても「ん～ッ、ダイナマイッ!!」と返事。親の悪い所ばかり似て困ります。将来は娘が『PRIDE』ガールになればいいな～と思います。
（東京都・平岡エロ仙・48歳・家事手伝い）

⬇娘さんはそのうち、どこかから1万ドルもらってくる器になる気でいるのです。自由にさせておきましょう。ハガキでは性別がつかめませんでしたが、女性でしたらそのペンネームはどうかと思います。

"紙プロ元気大学"調べ 好きなレスラー 人気ランキング!!

順位	選手	票数
1位	小川直也	181票
2位	橋本真也	144票
3位	桜庭和志	103票
4位	武藤敬司	75票
5位	高山善廣	45票

唐突にスタートしました、紙プロ読者の選ぶ好きなレスラー、ベスト10! とにかく票が割れて割れて集計泣かせでしたが、最初である今回は、複数書いてあるものも含めて集計してみました。前号52号の内容がはっきりとランキングに影響してますね。次号からもこのアンケートは続けますので、ご協力よろしくです。今月号より、投票はひとり1票です。なお、同時に皆さんにお伺いした「嫌いな選手」は、ダントツで某メジャー団体の某選手、だったのですが、諸般の事情により掲載を差し控えさせていただきます。いやぁ、正直スマン。あれ?

（7/26～8/10到着分調べ・今回のみ複数回答）

紙プロ52号・読者が選ぶ面白かった記事ベスト5

1位 小川直也インタビュー
2位 橋本真也インタビュー
3位 ボブ・サップインタビュー
4位 紙プロスーパースター列伝 ロッシー小川インタビュー
4位 武藤敬司インタビュー
4位 富豪2夢路の旅日記 ZERO-ONE両国への道

8月8日『LEGEND』直前の小川直也インタビューがブッちぎりで1位。「よく聞いてくれた」という感謝の声が沢山届きました。破壊王の熱い魂がほとばしる橋本真也インタビューに続き「意外な一面が見れた」と評判のボブ・サップインタビュー。よそではゴリラとか書かれている人だしねぇ。「確かに見た目は大事だ」という賛同意見が届いたロッシー小川インタビュー、序盤から読むのをやめることができなくなる武藤敬司インタビュー、イラストだけじゃなく文章も上手な富豪2夢路のZERO-ONE旅日記が同率4位で並びました。この後は超僅差で堀辺先生のバーリトゥード講座、田村潔司・高山善廣インタビュー、Mr.フレッドインタビュー、ZERO-ONE座談会と続いてました。

イラスト部掲示板

ゼロ族の間
ZERO-ONEファン名称

中川画伯

富豪2夢路選手に、中川画伯のイラスト贈呈!!

先月「中川画伯へのリクエスト」を受付たところ、富豪2夢路選手は「火祭り'02」開幕戦の7月28日のディファで「オレも描いてよ」と直にリクエスト! すると中川画伯はこれを7月31日の後楽園に完成させてしまった! その日は渡せなかったため、8月4日熊本でチョロさんからの贈呈。スピード仕上げだったため、画伯的には満足行く出来ではないものの富豪2選手は「嬉しいねぇ〜」とフゴフゴしてらしたそうです。自分を描いてほしい! という選手の皆さん及び「あの人を描いてほしい!」というファンの皆さん、時間があれば描いてくださるかもしれません。リクエストしてみましょう。

(江戸川区・二十歳の微熱)
➡かわいいっす。Tシャツにしたい感じです。

(埼玉県・中川雅博)
➡そしてこの2枚は私が先月リクエストした崔リョウジ&横井宏考。おおー! 大満足。『紙プロ元気大学』は肺血栓で入院した崔リョウジの、早期復帰を心から願います! ですが画伯も「暑さ&保田ショックで何ヶ月もスランプから抜けられません」。ありゃ。みんな、崔リョウジの復帰を祈るファンレターを、画伯にははげましのお便り&プレッシャーに感じるほどたくさんのリクエストを送ろう!

青木雄大

(青森県・青木雄大)
「破壊王の侠気に感動。柔道界の偉いさんにも、プロレス界のカリスマにも、芸能界のドンにもなびかない小川直也が、なぜか橋本にだけは心を開くのもわかるよ。素晴らしい!」。➡前号インタビューで明かされた破壊王の人助け話にはシビれました。トンパチ崔リョウジのまねき猫は欲しいですね。早期全快祈願に、だれか作ってあげてください。

テーマ投稿!!! イラスト

応募数が少ないので、先生はとてもドキドキしてしまいました。送ってくれた皆さん、ありがとう。載せられなかった方、ごめんなさい。次回は、新日本隊&T2000が電撃握手!なイラストと、素敵な川村社長が見たいです。と、漠然と募集してみて、あまりに集まった数が少なかったら、何事もなかったかのように普通に掲載します。以上、すべてガチンコでお願いします。

ダイナマイトな石井館長

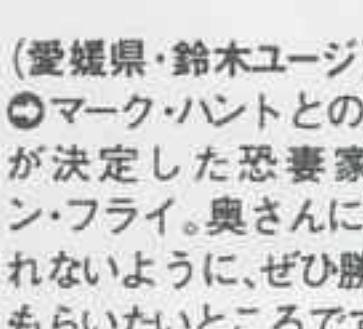
(愛知県・たっつぁん)
⬇素晴らしくテーマ通りで高度なイラストに感激。館長、試合してくれないでしょうか。「レジェンドで勝ったら小川好きになるかも」。なりましたか?

(青森県・青木雄大)
⬇遅刻王ヤスティー、やっぱりパチンコでも「お父さん勝ったぞー!」と、やってるんでしょうか。ベタな事を書いてしまった自分が少し恥ずかしいです。そして館長がリアル過ぎ。

ミルコを破れ! 桜庭和志

(青森県・青木雄大)
「桜庭にはミルコを沈めてもらって、是非とも念願の和田良覚戦を実現して頂きたい!」。➡高田道場で実現しているらしいカードですが、本気で私も見たいです。

(愛媛県・鈴木ユージ)
➡マーク・ハントとの対戦が決定した恐妻家、ドン・フライ。奥さんに怒られないように、ぜひ勝ってもらいたいところです。

(大阪府・英加直純)
⬇ラッコの「ぼのぼの」ちっくでかわいいサク。最近の写真は元気がない気がして心配でしたが、表紙用の写真をを見たら安心しました。でも、子供のような表情に複雑にもなりました。勝ってね、サク!!

(東京都・いしどやじゅん)
➡高山かな? と一瞬思いましたが、WWEのロゴもありますし、リック・フレアーですね。マネできない画風のイラスト、また送って下さい。

伝説に残るようなお便り・投稿大募集!!

(愛知県・たっつぁん) ⬇毎月恒例の(?)「ほんとにジョーク」あてに届いたイラストです。アイデアも素晴らしいのですが、ガファリが完璧なので奪いました。アントンも若くてかっこいいです。

この号が出るころは、8月も終わりで、学生の皆さんの夏休みも残り少なになっているころでしょうね。ンムフフフ、……「ザマァ見ろ!!」。失礼しました。みなさんの一夏の思い出、忘れられないこの夏の試合についてのご意見、絵心を刺激するマット・ガファリの似顔絵、その他おたよりやイラストを大募集しています。本誌へのご意見ご感想その他の宛先は、

メールは radical@kamipro.com

〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3・11・3・702
(株)ダブルクロス 紙のプロレスRADICAL編集部
紙プロ元気大学「俺達は年間150試合」係まで。
(本名NGの方はペンネームを記入することを忘れないよーに!)

!!今月のタレコミ部!!

(静岡県・森上路太郎)
「週刊少年サンデーの読者投稿欄に載ってました! よくあるペンネーム…ではないと思う。本人なのか〜? 本当なのか〜?」。⬇「つまんないネタですいません」と謝ってらっしゃいますが、相当面白いです。これは本人でしょう(勝手に断言)。問題は鈴木健さんがいい方か悪い方か、どっちかです。お2人とも、お時間があればどうぞウチにも投稿してください。

今月のみんなで考えよう

(静岡県・目ガ覚メタロウ)
➡ノーヒント!

ひとりでも

(株)ダブルクロス・IT事業部改め 電気部のページ

電気ですか〜〜〜ッ!!

2月から始動した" IT事業部" は現在「電気部」として活動中です。仕事は主に携帯サイト「紙プロHand」の更新、「紙のプロレスRADICAL」公式HP発表! さらにその先の極秘プロジェクトにむけての活動を主にしていますが、編集部のお手伝いとして読者ページやその他のページの作成もしたりしています。そんなひとり電気部・ささきぃは、今月は連日連日会見に行きまくりでした。こんな感じで仕事してます。

8月2日(木)日本テレビ→編集部→新日本道場→編集部

日本テレビで行われる『LEGEND』会見へ。藤田和之VS安田忠夫が発表に。「藤田にはいま言いました」とキッパリ言い切る川村社長、明らかにひきつった顔をしている藤田。「土壇場で組まれた苦肉のカードで、正直言って俺には不満だけど、決まったからには、仲間だけど、生き残るためなら、共食いだってしますよ。でも、小川のメインのために俺がやるってのがすごく気に入らない。一番気に入らない。小川がひとりでメインで客呼べるならひとりでやりゃあいいじゃないか。腹が立ってしょうがない。それだけ!」。

藤田は全てを言い捨てると、立ち上がって、追いかける報道陣も振りきって車に乗り込んでしまった。藤田の言葉が、異常にリアルでとても引き付けられた。この感じをなんとかニュースにして伝えなくてはいけない。会見場に戻って川村社長を囲むと「相当怒ってるんじゃないですかねぇ。荒れるなんてもんじゃないですなぁ。いやぁ、ブン殴られるかと思った。あぶないなぁって思ってねぇ」と、他人事のように言っていた。

編集部に一旦戻るが、今日の発表を受けて安田が緊急会見をするというので、新日本道場へ潜入。安田は「まだ言われて2、3時間で、ハッキリ言って、とまどいのほうが半分以上……」と、複雑そうな顔。でも、小川に対しては「本当に"ふざけるな"ですよ。なんで"小川・小川"なのか。小川で客が呼べるの。小川が何をやってきたっていうのかって。12/31(昨年の猪木祭り)は逃げたし。それなら、俺たちふたりのどっちかとやればいいじゃないかって。藤田君とやるくらいなら、小川とやりたいですよ。まわりが祭り上げるから、調子こいてるんじゃないか」と、カードを決めたのがまるで小川直也であるかのように怒っていた。この3人を取り巻く緊張感は、とても不思議でとても興味深い。

そして今日はガファリが来日。行ったチョロさんの話によると、一見、ふつうの陽気なおじさんだったらしいが「今はニコニコしているけど試合前日になったら私は別人になる」と語っていたそうだ。本人がそう言うのだから、そうなんだろう。多分。

夜中、会長(山口日昇のあだ名)からメール。ガファリが明日、公開練習を行うらしい。およよ。

8月3日(土)編集部→早稲田大学レスリング部→一風堂→編集部

とても暑い。暑い。暑い。暑い中、ガファリの公開練習へ。デジカメでたくさん「動くガファリ」を撮ってこいという指令が出ていたので、意気込んで早稲田大キャンパスへ。ほぼ時間通り、ガファリ到着。目の前で見るガファリは、想像以上の凄いお腹だった(下のいづみちゃんのコーナーの写真参照)。だが、本人はそれを気にしていない様子。

小川戦に対しても余裕で「オガワが打撃で攻めてきたとしても、そんなものは全然気にならない。蹴りにきたらクラッチしてしまうだけだ。ブロックする気はない。どんどん打ってくればいい」と、豪快さんなコメント。その体型で言われると、確かに多少打ってもな、と思わせる。動画で撮ったガファリの映像は、どれもこれも素晴らしい。特に「なわとびガファリ」と「回るガファリ」は素晴らしい。こういう映像を公開するためにも、早くHPを作らなくてはいけません。

編集部に帰って速報アップ。タイトルは『小川が潰される!! 怪物ガファリ、"巨体"初公開!!』。

8月6日(火)都内ホテル→編集部

『LEGEND』2日前、都内ホテルにて全選手が集合して会見……のはずが、小川直也欠席、村上和成欠席、藤田和之欠席、安田忠夫もG1出場中のため欠席。UFO勢全員と、猪木事務所が全員欠席。でも猪木さんは出席、マイク・タイソンの『LEGEND』来場をブチあげた! 豪華なホテルという場所柄と、そして普段おそらくスーツを着ていないであろう選手達の中で、ひとり堂々としていたのが、マット・ガファリだった。"高級な場所慣れ"していて、恰幅がいいため、スーツがよく似合う。

会見後突然、ガファリにスリーパーをかけられたささきぃ(女)。ちょっと自慢なのでピース

つねに素敵な笑顔だったガファリが、小川が会見の席にいないことに対しては怒っていた。「自分ははるばるアメリカからやってきているのに、どうして私の対戦相手であるオガワはここにいないのか。自分は彼を判断するためにここにやってきた。ここに彼がいないことに大変失望した。大変腹立たしく思っている。彼はどこにいるんだ。母親のところにでも居るのか? 彼は敬意が欠けている。木曜日(8日)は、彼をやっつける。凄い試合になると思う」。

会見後、いろいろな記者からコメントを求められるもつねに笑顔のガファリ。こちらを見てニコニコして、ヘッドロックをかけるしぐさをしていたので、こちらも笑い返してみたら技をかけてくれました。写真参照。

8月7日(水)編集部

スポーツ新聞はのきなみ"マイク・タイソン来場"を一面に。だが、タイソンの飛行機の時間がわからず。問い合わせた数時間後、今日の来日はナシになるというファクスが来た。今日来ないということは、来日中止?

8月8日(木)編集部→東京ドーム→編集部

『LEGEND』当日。横井が1試合目で勝利、それだけでかなり肩の力が抜けた。ああ良かった。あとは、小川が勝ちますように。ガファリは、陽気にTシャツを振り回しながら登場。小川の入場時に、セコンドにつく破壊王の姿が映った時、本気で感動した。ああ良かった。小川に橋本がいてくれて良かった。試合展開によっては、泣いちゃうかもしれない。……。あれ? 小川、勝利? 勝利!! 勝利か、そうか。泣かなかった。ああ、でも良かった。良かったよ。勝って良かった。

編集部に戻ってニュースをアップ。新日本広島大会には「魔界倶楽部」が登場したらしい。何事?

11日放映された新日のG1番組は最高でした。がんばれ、天山!! がんばれ、永田!!(心からの叫び)。座談会でも語った通り、『LEGEND』はとても面白かったのですが、これをテレビでだけ見ていたらどんな風に感じるんだろうという疑問がふつふつと湧いてきました。なので、元・電気部、現・病気部の武田いづみちゃんに、急遽『LEGEND』のテレビ観戦記をお願いしてみました。決してささきぃが、長く日記を書くのを面倒がったわけではありません。じゃ、いづみちゃん、後はよろしくね〜(→床で睡眠)。

(株)ダブルクロス・元電気部 現病気部の武田いづみの送る

病気ですか〜〜〜ッ!!

ハイ、ご無沙汰してます。ひとり病気部・武田いづみです。最近はフリーターと、書くお仕事をしながら健康的に食いつないでます。ご連絡は、izumi_0630@hotmail.comまで。では、行きますかーッ!……っていうか、生きますかーッ!

祭りの最後というのは、派手でなくてはいけない。花火大会も、最後の最後にどデカイ尺玉を打ち上げて終わる。祭りというのはそういうもので、最初がイチバン派手で、あとはフェードアウトしていく祭りというのは無い。

「『LEGEND』が生中継される」と知ったのは、CMでだった。最近の私は、プロレスより、もっぱら巨人戦を観ている時間のほうが長いので、情報は向こうから来るもの以外ほとんど仕入れていない。「あー、今日やるじゃん。ちょうど休みだ」ぐらいの低調さでテレビの前に座った。

それにしても、"祭り"だ。体重差のある選手同士の試合が行われたり、芸能人が気持ちよさそうにコールしたり(ヒッパレっぽい)する、ぼんやりと日常性を欠いた祭り特有の雰囲気。とくに芸能人。こういう昔のK−1みたいな感じは、賛否両論あるんだろうけど、試合の邪魔にならなければ賑やかでいいんじゃないの、という気分で観た。これは、私が大人になったからだろうか。それとも、私が渡辺謙を好きだからだろうか(8割方こっち)。

さて、花火大会でいうところの"尺玉"、小川vsガファリ。試合直前、控え室からグローブを着けた手をカメラに見せびらかして、頭の悪い小学生みたいだったガファリちゃん。すげぇ腹。ゆるゆるパンチ。「あ、やばい、ちょっと待って」という声が聞こえてきそうな戦意喪失。メダリストなんだから、潜在能力の高さが垣間見えていいはずなんだが、垣間見えたのは「アメリカ人は、陽気で、バカで、そしてなにより太りやすい」ということだった。ガファリ、素敵。

しかし、『LEGEND』という祭りの実行委員会は、クライマックスをクライマックスにしようとして、試合後に「小川は強かった」と何度も繰り返す。そんなことしても、"おもしろアメリカ人発表会"の事実は変わらないのに。最後を飾る打ち上げ花火が、音のわりに見た目が小さかった、というような、「えっ、終わり?」という雰囲気がブラウン管から伝わる。抗議するほどじゃない、ぬるさ。

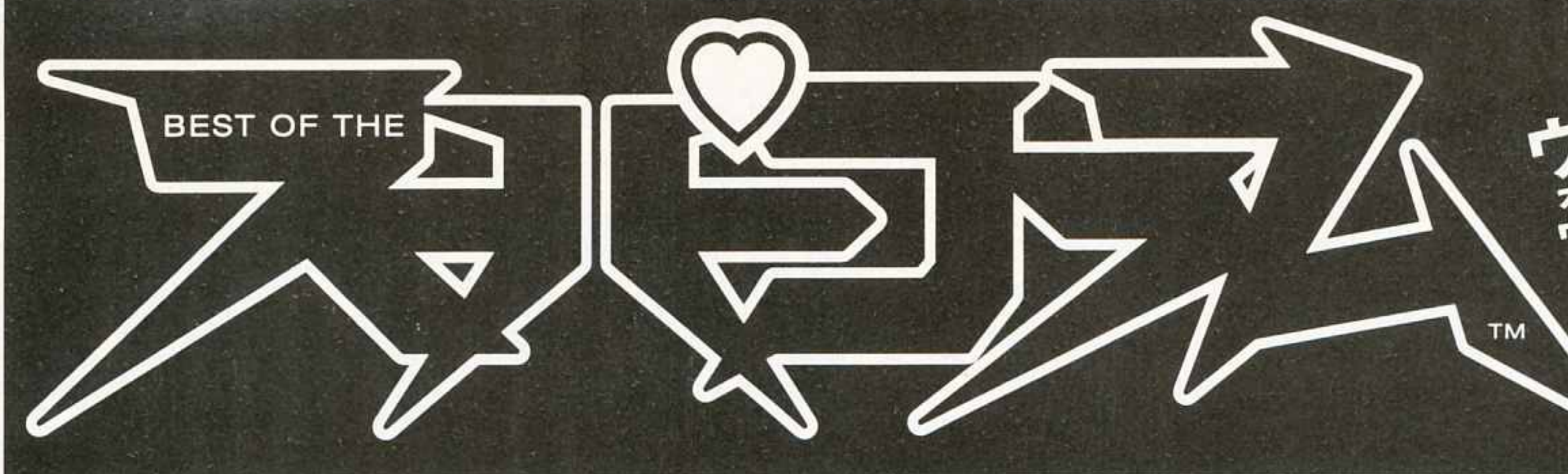
公開練習でのガファリさん(の、お腹)

結局、これはZERO−ONEの生CMだ。ラップとか洗剤とかの宣伝でよくやるアレだ。肩車したりして楽しそうなOH砲を見て、「あー、ZERO−ONE観たい」と思っている私がいる。テレビなら、終わったらチャンネルを変えればいい。でも、きっとお金を出して観た人は、妙な気持ちで家路についたんだろうな。

祭りの最後は、派手じゃなくちゃいけない。意識を変えるのは時に素敵なことだが、この意識を変えてしまってはいけない気がする。宣伝だけじゃ、小川直也がもったいなかった。そう思う私は貧乏性だろうか。

ネエさん、事件です！　ネイサン・ジョーンズの今後の動向に注目!!

BEST OF THE ™

ウォウ！
ウォウ！
プレデターも大興奮！！

高田道場の治外法権!? ヤマヨシ（現ヤマノリ）の今月のお言葉だもの

第二撃！

★今月のお言葉

宮川君（みやがわくん）

題字&お言葉／【ペン字検定3級】山本憲尚

なんかさ、前号のオレのページ読んだ人から下品って言われるんだよね（笑）。事務所でも女性の目線が厳しいしさ。えっ、アレでもソフトにしたんだ？（苦笑）。

気を取り直していこう！（笑）。今回『紙プロ』読者に伝えたい、お言葉っていうのは「宮川君」なんだよね。

広島に原爆が投下されたのって、ちょうどいまぐらいでしょ（※ちなみに取材日は8／13）。この時期になるとテレビとかで、よく放送されるけど、鹿児島にホタル館ってあるんだよ。そのホタル館にまつわる凄く悲しい話があってね。要は戦時中の話で、特攻隊員の中に宮川君って人がいたわけ。それで明日が特攻に行く日って連絡を受けて、みんなで唄歌ったりして、宿舎で最後の晩餐をしてたんだよ。それが終わって、宮川君は、いつも世話になってる下宿のおばちゃんに「一週間後、ボクはホタルになって帰って来ますから」って約束するんだよね。でも特攻隊っていうのは行ったらまず帰って来れないでしょ。おばちゃんもそれは知ってるし、何のことかなぁって思ってたんだけど、一週間経って、ふと庭先を見たら宿舎の窓に一匹のホタルが止まってて、爛々と光ってたんだって。それを見て、おばちゃんが涙するわけよ。わかる？　宮川君の魂が帰って来たんだよ。

その宮川君もそうなんだけど、国のために自分の命捧げるわけやん。人のために何かをするんだよ。それに比べて、いまの若い子は人のために何かをするってほとんどないでしょ。自分のためだけに他人を傷つけたり、自己満足のために何かをするだけでね。やっぱ当時の人たちの精神力って凄いと思うし見習いたいよね。

宮川君の話からオレが何を伝えたいかっていうと、今の日本人が忘れかけている精神を取り戻してもらいたいってこと。今の若い子は、すぐキレたり簡単に他人の命を奪ったり、そういうのばっかりでしょ。何かのために自分の持ってるものを捧げられるのか、犠牲にできるのかってことだよ。

そういう気持ちをオレは持ってるつもりだよ。忠誠心っていうか、自分が背負っている看板でありプライドがあるからね。それが何かと言えば、いまは所属している高田道場のためであったりするわけだけど。それに自分のプライドを傷付けられたくないとか相手を必ず撃破してやろうって気持ちだよね。オレは格闘家として、この世界で生き残っていくためにも、もっともっと上を目指したいし、自分を守るためには、とにかく敵を倒していくしかないからね。

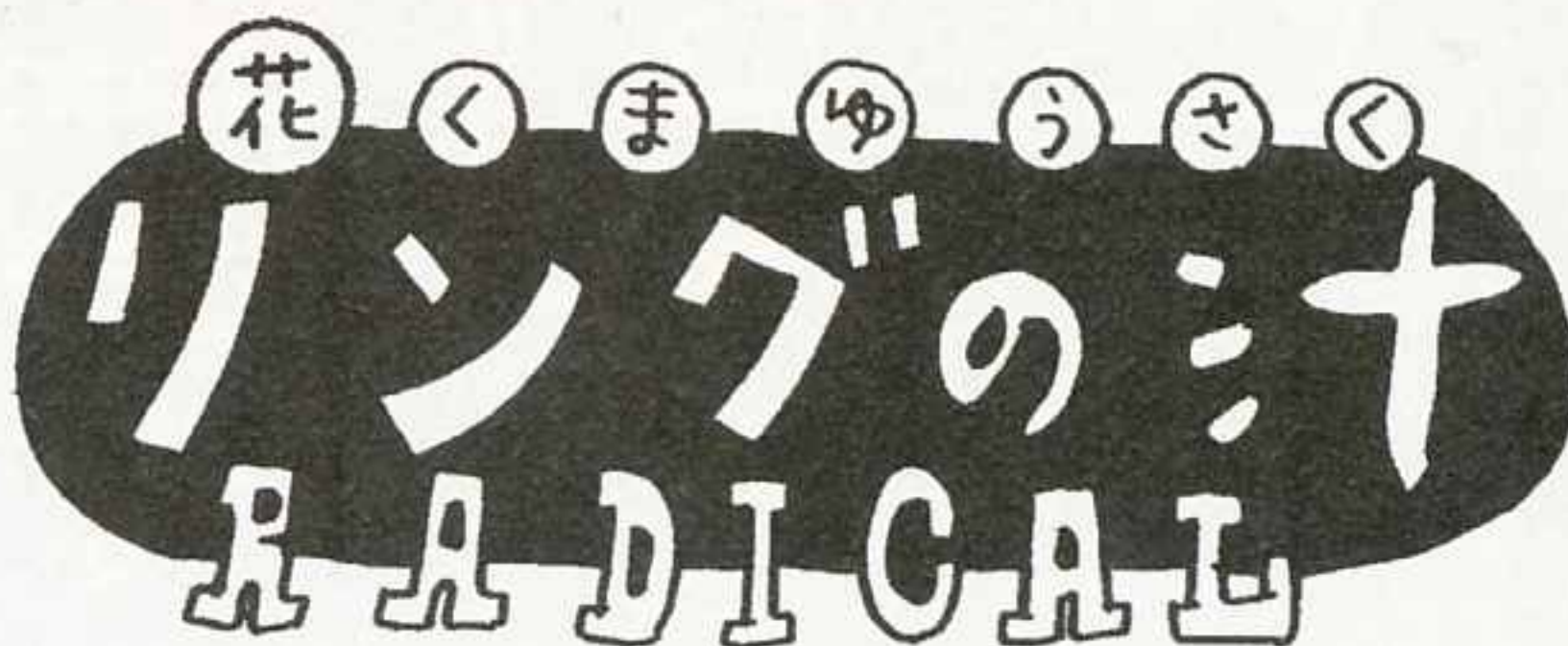
オレも宮川君ほどじゃないけど愛国心ってあるから。やっぱ日本が好きなんだよね。海外行っても米食いたいとか、みそ汁飲みたいとか、早く日本に帰りたいって思っちゃうしね（笑）。でもね、特攻隊精神っていうのは実際経験してない人にはわからないと思うよ。オレなんかはテレビとか本を読んだりして、その時代のことを想像したり勉強するぐらいしかできないけど、それでも当時の人の精神力とか生き様って、凄く奥深いなぁって思うからね。

それで、特攻隊っていうのは行ったら、かなりの確率で命を落としちゃうわけでしょ？　99％負けるって、わかってても1％の望みがあるんだったら行くっていう部分では格闘家とも通じるとこがあるよ。100％負けるってわかってるのに出て行くバカはいないけど、勝てる可能性が1％でもあったら、そこに賭けるしかないからね。

でもリング上っていうのも経験した者しかわからないと思うんだけど、独特の緊張感があるし、1回でも経験すると、もう辞められないからね。何ヶ月か自分を追い込んで練習して、試合っていうのは長くても20分とか、それぐらいでしょ。ましてや勝利の喜びっていうのは、ほんの1～2分なんだよ。喜びに浸ってたくても、すぐ退場させられちゃうしさ（笑）。オレらは、その1～2分の喜びのためだけに何ヶ月も掛けて自分を追い込んでるわけ。ホント、勝利の喜びって忘れられないんだよ。オ●ニーと一緒だよ。一瞬の快楽のためだけに必死にセン●リこくわけだからね（笑）。

なんか最後の最後で下品な話題になっちゃったけど（笑）、まあ、この機会に、「宮川君」ってお言葉の意味を、しっかり頭に叩き込んで欲しいよね。以上！

あっ、ゴッチのフィギュアだ!!

花くまゆうさく リングの汁 RADICAL

8月7日、小学生ドッジボール映画『ドッジGO!GO!』を見に行き、素直に涙腺を緩ませてきた。上映後、泣いた顔を悟られないよう一生懸命冷静な面して、パンフを買ったつもりだがバレてたかな? 夏の青い空は、人を小学生チックにさせてくれるが、そんな夏にこの映画はピッタシ。中学生映画『ゴースト・オブ・マーズ』と共に、この夏おすすめの映画です。

8月7日にこの小学生映画を見たのには訳があり、ひとつはこの日が映画の日で入場料が安いってからだが、もうひとつは珍大会『LEGEND』の前日だったから。

とてもシラフじゃ、この珍大会『LEGEND』を見れそうにないと思い、前日に小学生映画を見て素直なやさしい気持ちで8日を迎えようとした次第です。おかげで当日この珍大会見て、大沢親分ばりに「喝っ!!」といちいち叫びつっこみすることなく、脱力しゴロリまったりとテレビを眺めていられた(ただ単に夏バテ説あり)。イヤな仕事を無事に終らせ安堵の小川を橋本が出迎え肩車で花道帰る姿を、やさしい気持で見れた。案の定、アマレスを引退してブクブク太り過ぎてただけのガファリを必要以上に強豪と仕立て上げたことに怒ることなく、「あのプヨプヨの腹、ライオンとか肉食の生物から見たらすげえおいしそうに見えるのかしら」と呑気に思うぐらい。

そんな平和に見れたのはすべて小学生映画のおかげなのか? いや、ガチでの小川vs大ノゲイラはもう永久にないんだなと夢をなくした虚脱感で、もうどうでもよかったのかしら。何度も言うがほんともったいない! 小川と大ノゲイラが同じ大会に上がってるのに! 小川が貴重なガチをするってのに、相手があんな40歳のプヨプヨデブだなんて! ほんともったいねーよ! まわりも対ヒクソンヒクソンってそればっか、誰か「対ノゲイラはどうですか?」って言ってくれよ! 体格・年齢・現役バリバリと一番ピッタシの相手じゃん。大ノゲイラだって、月曜『生ゴン』で「ヒクソンと小川どっちとやりたい?」の問いに「オガワ」(通訳ジョン・パウロ)って言ってたよ。日テレも大ノゲイラのこと現在最強って言った後に、小川vsプヨプヨを格闘技世界一決定戦って、なんだよそれ。プヨプヨは今後、『THE BEST』に上がれ。そして、今村と大プヨプヨvs小プヨプヨの対戦でもしろ!

しかしホントのとこ、『LEGEND』当日いちばん目についたのはイズマイウ。まずは当日4時からの煽り番組で、カメラはプヨプヨの控室を映す。そこでプヨプヨは余裕ぶっこいてトランプしてリラックス。しかし目につくのは、プヨプヨの後にいる男……イズマイウだ。カメラの目的はプヨプヨなのに、イズマイウは必要以上に眼光鋭くカメラ目線をして自分をアピール、度を超えたサブリミナルメッセージだ。以降、頭の隅にイズマイウの顔がちらつく。

そして本番、ゴールデンタイムの生放送で試合するイズマイウ、よく考えれば奇跡

男道コーチ屋稼業・掟ポルシェ(ロマンポルシェ。)の 業☆勝ちます

『無我死魔魅血孤世露死苦!』の巻

なんでみんな平家みちよのことを「みっちゃん」って呼ぶの!? 納得いかないよ!

俺にとって「みっちゃん」といえば、LLPWの虚弱体質ヤンキーレスラー・長嶋美智子(引退)に決まってんじゃないの! なんでみんな平家みちよに対して「みっちゃん、唄上手いじゃん。結構声だっていいしさぁ~」とか誉めどころをムリヤリ見つけて賞賛したいの? 意味ないよ、それ! 長嶋美智子(引退)だって「アレ? いまの声、椎名へきる?」ってほどのアニメ声(声優っぽい声=美声という包皮カムリ感覚丸出し)だし、唄も平家みちよ並、いや、その倍は上手いに決まってるよ! 上下合わせて4オクターブは出るよ! 『大都会』だって楽勝で歌えるよ! 歌っている長嶋美智子(引退)、の姿? 見たことないよ、そんなもん! その伸びのある発声(試合中の「イタイッ!」だの「オエ~!」だの「助けて~!」だのいう嗚咽)を聴けば誰にだってわかるはずだよ! 長嶋美智子(引退)が歌い出した途端、小鳥が大量にピーチクパーチク寄って来て肩に止まったりするよ、きっと! なーがーしーまーーーー(茂雄じゃなくて一茂じゃなくて三奈じゃなくて亜希子でもなくて敏行でもなくて)!!!!!!

90年代、俺は後楽園ホールの駐車場付近で張って出待ちをしている、ただのバカだった。誰を待っていたかといえば、虚弱体質を養命酒を飲むことによって克服したのに、ヤンキーギミックレスラーをやらされていた長嶋美智子だった。後には養命酒が効きすぎたのか、毎試合ダイブで机割ったりして『シー・イズ・ハードコア!』とまでに賞賛されるレスラーになったんだが、俺が通い詰めていた頃は紅夜叉に

だ。うまくパスしまくり、大山戦のときのように、この日は強いバージョンのイズマイウ。勝った後は猪木の元へご報告し何度も猪木軍入りをアピール。その姿は狂犬というより、ペットショップでしっぽ振りまくり僕を買って買ってとアピールしまくる売れない犬のよう。

「ヘンゾに勝ちハイアンをぶっとばしホイスを絞め落とした元祖グレイシーキラーの俺様がなんでいまいちはじけた人気ないんだ？　おかしいよ！　もっとはじけてー！」な心境で出た結論が「猪木軍入りなら、フライみたく人気でそう」なのはわかるけど、ちといつもアピールしすぎでは？　自分から出ようと出ようとするのは芸人として正解かもしれないが……。

この後もイズマイウはやってくれる。メインが終わり小川はリング下の猪木の元へ、そこで小川と猪木を後から見つめる男がブラウン管に……イズマイウだ！　始めの煽り番組から最後までイズマイウはさりげなく、でも必要以上に俺オーラ出しまくり電波にのった。もし日テレのディレクターがあまり知らない人だったら「おい、また出てるよ、アイツ！　誰だよ!? 連れ出してこい」とADに命令してるかもしれない。

そんなことでこの日、頭の中はイズマイウでいっぱい。そういえば、K-1ラスベガス、新日ロス道場開き、いつもどこかにイズマイウはいたような気がする。それだけじゃない、『LEGEND』翌日の『ズームイン朝』でもガラスの向こうからカメラ目線のアイツが……、『いいとも』の最前列にアイツが……、サブリミナルって恐い。

8・8はすべてガチンコで行きます！

観客数は大量の招待券で八百長のようだけどね

はなくま・ゆうさく■
この夏は「ドリフター」（ドッジGO！GO！主題歌）がヒットチャートに上がっています（私の頭の中限定で）。

ヤンキー弟子入りしたばかりで、涙が出るほど弱かった。『虚弱体質＋プロレスラー』という二律背反するものがニコイチになった状態に非常に興奮するド変態性質の俺としては、全女出身なのにこれほどまでにジャパン女子プロレスのヌルさを感じさせる長嶋を嫌いになれるはずもなかった。

長嶋の話をするのにヤンキーギミックとまず紹介したが、正確にはそれは間違いで、本当は『デビューものギミック』である。あの、地元の高校を落ちてちょっと離れた低偏差値高暴力性高校に入学した途端、教室の隅っこでひとりで弁当を食っていたような地味な女子が急に素行が悪くなったりするというアレだ。実は長嶋自身、中学生時代はハードコアなイジメられっ子だったらしいが、そんな女の子のトラウマをギミックに活用しようというLLPWのがさつ過ぎるたくましい商魂に俺はすっかりやられてしまったのだった。本物のイジメられっ子をヤンキーレスラー・紅夜叉（実際、安田留美はヤンキーでも何でもないが）に弟子入りさせた時点で俺としては心のボッキ回路がビンビンなのに、期待を裏切らない非力な試合スタイルと声優じみたか細い声、それに当時の『週プロ』宍倉次長も認めた隠れ巨乳具合でどこもかしこもビンビンにさせられてしまった。当時、長嶋の得意技は「爪でひっかくこと」であり、試合の要所要所で相手の背中に爪を立ててギャーとか絶叫されるとたまらんかった。プロレスラーなのに試合スタイルが限りなくキャットファイターに近い。で、何も悪いことをしていないのに何故かコソコソ隠れて俺は長嶋の試合だけを目当てにLLの会場に通うことになったのである。

紅夜叉＋神取忍vs長嶋美智子という2対1ハンディキャップ・イジメマッチでは、ボコられまくり鼻血出しまくりひっかきまくりで後楽園・イズ・バーニング！　校庭裏でシメられているデビューっ子の隠し撮りビデオを見せられているような気になって一気に怒張した俺は、長嶋の出待ちをしてサインをもらった。以下はヤンキーレスラーとしてデビューした直後の長嶋美智子とのやりとりである。

掟「長嶋選手！　今日の試合（イヤらしい意味で）感動しました！　ヤラせ……いや、サイン下さい！」

長嶋「（蚊が泣くほどの小さな声で）あ、いいですよ……」

掟「もう本当に嬲（なぶ）り殺しにされるんじゃないかと思って、ビンビンに勃……じゃなかったハラハラしましたよ〜」

長嶋「（サラリと受け流すように俺が手渡したポラロイド写真に『無我死魔魅血孤』と筆記）」

掟「（字が小さすぎてスペースが空いたので）じゃあ、この空いたところに『世露死苦』って入れて下さい！」

長嶋「え？　どういう字ですか……？」

掟「〝世〟は世の中の世で、〝露〟はロシアの露で……」

長嶋「え〜、わかんないなぁ……。私ヤンキーじゃないもんで……」

ハイハイ、そんなことは当然わかってますよ。でも自分で言うな！　とツッコミたくなるパーフェクトな返答であった。存在自体に矛盾を抱えていないプロレスラーはプロレスラーじゃないのであって、そんな長嶋は実にプロレスラーであった。フォーエバー無我死魔！

おきて・ぼるしぇ■
……とか書いてたら、長嶋美智子がLLの10周年興行で一夜限り復活していた。ヒジョーに観たかったが、気づいたときには終わってました！　コスチュームは特攻服？　黄色の水着？　レディゴン　が潰れたので確認のしようがありません。

ザ・検証

結論から言うと、残念ながら越中はG1で優勝できませんでした。しかし優勝候補筆頭だった天山広吉さん（31歳）を倒し、決勝進出の高山には敗れたものの「ジジイやるよね」と言わしめ、越中自身も「これで終わりじゃないって！まだまだ前を見てチャレンジしていくから。全然疲れも痛みもないし、まだ行くぞ、俺は！」と完全復活宣言！　覇ッ!!

今月の検証 by せき詩郎

せき詩郎の越中G1日記

8月3日（土）

しまった！『TVおじゃマンボウ』（※注1）を見逃した！　自殺しよう。いや、死んでなんかいられない。だいたい今日『TVおじゃマンボウ』を放映していたのか、どうかもしらないし、調べようとも思わない。それよりなにより今日はG1クライマックス開幕戦。我らが越中詩郎の初戦の日だ。2年ぶりの出場となる越中。その勇姿を見るために今すぐ大阪へと旅立ちたいところなのだが、ワールドカップでお金を使い果たしてしまったので行くことができない。仕方なくテレビ観戦……といきたいところだがテレビでも中継しないらしい。「地上波ではやらなくても、もしかしたら……」と、そんな淡い期待を持ちながらキッズステーションにチャンネルを合わせるが、案の定放映していない。いつものように『シティハンター』ばっかりやっている。冴羽リョウがモッコリしたり、冴羽リョウが物凄く大きなトンカチで叩かれたり、冴羽リョウの頭の上に10ｔと書かれた信じられないほどの重量の重りが落ちて来たり、まったく今日も冴羽リョウはハードな一日を過ごしている。もちろんそんなことはどうでも良く、越中が棚橋に負けたという衝撃的な事実を携帯のサイトで私は知る。棚橋に負けた!?　……ところで棚橋って誰だ？　ヤングライオン？　ヤングライオンに越中は負けたのか!?　新日本プロレスの二軍に負けたのか!?　越中がたけし軍団だとしたら棚橋はたけし軍団セピアみたいなもののはず。それに負けたのか!?　油断したのか、もしくはハンデ感覚でわざと負けたのか。とにかく負けは負けだ。こんなことなら会場に行けなくてもせめて『TVおじゃマンボウ』のスタジオ観戦に申しこんで、観客紹介の時に維震の旗を振って映ればよかった。応援できなくてゴメン、越中。ハンパしちゃってゴメン、越中。日テレも『TVおじゃマンボウ』のキャラクターでもある"マンボウ"をモチーフにしたグッズを発売してる場合じゃないぞ。維震グッズを再販しろ！（やつあたり）。

※注1……日本テレビにて毎週土曜日17時から放送しているバラエティ番組。司会の中山秀征と麻木久仁子コンビが軽快なトークを交えつつ、日本テレビの番組を紹介していく。なんだかという名前の女子アナとかがマンボウ探偵団として現場へレポートに出かけたりする。全く興味ないのに文字数稼ぎにわざわざ注釈を付けてみました！

8月4日（日）

しまった！『笑点』を見逃した！　残念で残念で死んでしまいそうだ。いや、死んでなんかいられない。今日はG1クライマックス2日目、大阪にて越中が吉江と闘う日だ。永田とかと格闘たまごだかなんか、そんなのをやってた吉江ごときに星を落とすわけにはいかない。会場へ駆け付けたいところだが、去年の年末、笑点チャリティカレンダーを大量に買ってしまったのでお金がない。よし、今日もテレビで応援だ。テレビ中継していないことを知っていながら私はわざとキッズステーションにチャンネルを合わせる。しつこいくらいに今日も『シティハンター』をやっている。冴羽リョウと槇村香。二人はいつもケンカばかり。所構わずモッコリするリョウに香は鉄槌を下す毎日だ。まったく香もとんでもない男をパートナーにしてしまったものだ。しかし、ここぞという時に頼りになるリョウに対して、やがて香は仕事のパートナーとして以上の感情を持ち始めるのだった……。などとあまり興味のない話しはさておき、越中はどうやら吉江を下したらしい。10分54秒横入りエビ固め。吉江相手に10分もかかったのか！　まったく越中は何をやってるんだ。まあそれでも勝ちは勝ちだ。ここは越中相手に10分も持った吉江を褒めてあげることにしよう。

これで越中は勝ち点2。2位タイという好位置につけている（他に3人もいる）。これはもしかして優勝するかもしれないよね!?　優勝なんかしちゃったら今以上に人気爆発だ。今からでも遅くない、もし日テレに反骨心があるのなら、笑点チャリティーカレンダーの売上金で維震の自主興行を支援すべきだろう。日テレは今日から全日でもノアでもUFOでもない、維震を応援すべきだ。G1優勝者が出るのだから数字はとれるはず！（維震軍に仮装大賞の司会を任せてみたり、越中に24時間テレビのマラソンを走らせてみたりして）。

8月5日（月）

しまった！『東京フレンドパーク』を見逃した！　実に悔やまれる。この悔しさを一生背負っていかなければならないのなら、いっそのこと死のう。いや、死んでなんかいられない。今日はG1クライマックス3日目。

Aブロック2位に浮上した越中の相手は因縁の天山。かつて維震入りのそぶりを見せつつも、自主興行の神聖なリング上で反旗を翻し、蝶野と結託した天山。あの時、確かダンガリーシャツ姿だった天山。怒った越中は天山につっかかって行こうとしたのだが、越中さんが出るまでもないと小原が制止。急遽組まれた天山vs小原。しかし小原は気合いが入りすぎたのか負けてしまう……。その雪辱を晴らすのが今日というわけだ。などと考えていたら『シティハンター』が始まった……。

（果たして越中は優勝できるのか!?　そして気になるリョウと香の関係は!?　以下、次号へ続く）

かれたり、冴羽リョウの頭の上に10t
売してる場合じゃないぞ。維震グッズ
味のない話しはさておき、越中はどう
しまった！『東京フレンドパーク』
以下、次号へ続く

今月の検証 by 椎名基樹

船木イズム

すげ〜な、興誠高校。「なんだそりゃ？」じゃないですぞ！ 甲子園ですよ。今、熱戦が繰り広げられている甲子園大会の我がふるさと静岡代表校が興誠高校であります。

そして、何がすごいって、2回戦で宮崎の代表校と闘ったんだけど、21安打されて勝ってやんの。ギネス級じゃない？ だって27個アウト取るために21安打されたんじゃ、相手チームの出塁率、四死球合わせて5割位いってたんじゃねえの？ 2人に1人は塁に出てた感じであろう。それで勝っちゃうんだから、正に奇跡。実力差も歴然。なにせ向こうにはブラジル人が3人いて、それが超高校級なの。でも、外野のトンネル等、相手の信じられないエラーでなんとか食らいつき、圧巻だったのは9-8の1点リードで迎えた9回裏。ノーアウト3塁1塁の大ピンチ。と、いうか同点で収まれば大ラッキーの場面。相手ベンチの取った作戦は何とスクイズ！ それが小フライになってゲッツーだって。俺、テレビ見てて爆笑しちゃったよ。普通、郷土の代表が勝てば素直にうれしいんだけど、あまりの実力差に宮崎代表がかわいそうだった。

しかし、宮崎のブラジル3人衆はすごかった。特に4番打ってたデケエのがスゲーのよ。インコースの球、待ってましたとばかりの狙い打ちのホームラン。ライト中断に突き刺さった打球は、高校生のレベルじゃない。しかも、フォームも柔らかいんだ、コレが。今年のドラフトの目玉の一人になるだろうなあ。話題性もあるし。

そして、同じくブラジル人に狙い打(撃)ちされたのが、UFO『LEGEND』に出場した、菊田早苗選手！ 蹴り足掴んで、右ストレート。間違いなく狙ってたでしょ、アレ！ 菊田vsノゲイラに対しては「なんでノゲイラなんだよ！」と思いつつも「菊田ならもしや」と思っていた。でも、フタを開けて見れば、余裕の狙い打ちでの一発でKO！ ノゲイラ強しを強烈に印象付けた。しかも、次はすぐに『Dynamite!』でボブ・サップとやるっていうじゃないの。いや〜余裕ですなあ、すごい自信。あの菊田が立ち技に誘われて、吸い込まれるように不用意なミドルキックを出しちゃったのも、ノゲイラの余裕がそうさせたのでしょうか？

しかし、この試合がなかったら、この興行、見るべき物が何もなく、ほとんど無意味になってただろう。そういう意味では、お手柄だぞ菊田。でも、これを期に菊田には変な色気を出さず同じ階級のシウバ狩りの階段をちゃんと登って、ミドル級のチャンプを狙って欲しいです。それもイバラの道だとは思うが、そうやっていかないと、真のスターにはなれないと思います。菊田選手頑張って〜！

と、いうことで本題。テレビ東京で放送している、『格闘Xパンクラス』（8／6放送分）に出演した船木誠勝氏が、あまりにキテいて、インパクト大だったので、その模様を伝えるとともに、「船木イズム」について考えてみたいと思う。

この日の番組内容は、永遠のライバル、船木と鈴木みのるの対決が、パンクラスマットで一度しか実現せずに終わってしまったため、「ドッキリ仕掛け人対決」「釣り対決」「パチンコ対決」の3本勝負で決着をつけようという好企画であった。そして、そのどの対決にも、ちょっとサイコな船木の魅力が溢れていた。特にサイコぶりがはみ出し、完全に出演者、スタッフ、視聴者を引かせていたのが、「ドッキリ仕掛け人対決」である。

まず鈴木のドッキリの模様を紹介する。企画は番組の収録に遅れてきた若手に怒った鈴木がビンタを食らわせ、進行を務めるアイドルのオネーチャンを困らせようというモノであった。鈴木はその役を、実に如才なくこなし、その茶目っ気をかわいらしくアピールする結果となった。ツッコミどころといえば、オレンジのバカでっかいサングラスと黒地に「Japan」とか「NewYork」とか「Paris」とかの文字が無数にプリントされている、ピタっとしたTシャツという服装くらいであった。

一方船木は、スラックスにゲイラカイトの目玉がプリントされた青のTシャツだ。それに加え、今にもライダーやアカレンジャーに変身しそうなヒーロー然とした、いつもの髪型と、何を考えているのかわからない虚ろな目つき。プロファイリングが非常に難しい、ワケわかんなさ。服装でもすでに鈴木を一歩リードだ。

そして、ドッキリ。船木の場合は、映画の話を進行役のアイドルとし、自分が監督した映画を彼女が見ていないという理由だけ！でキレるというものだった。オネーチャンが自分の映画を見ていないと知ると、気分を害し神経質に前髪を触り出す船木。それは明らかに演技ではなく、ビートたけしの首的動きだ。船木は、やおら立ち上がると一直線にADに向かっていく。さらに、あっと思う暇もなく、ロシアンフックばりの、もの凄いビンタをかます、船木。両足が宙に浮き、地面と体を平行にして、1メートル位吹っ飛ぶAD。さらに、追い打ちをかけ背中を布ではあったが、鬼気迫る様子で打ち付ける船木。立て続けに、ものすごいストンピングを顔面ギリギリで落とす、船木。その様子は前田・坂田リンチ事件を思い出させる。そして「もう帰る」と言って表に出ていってしまう。その惨事の凄まじさに凍り付くスタッフ。鈴木みのるまで呆然として固まり、声すらでない。「ごめんなさい、ごめんなさい」と言いながら、引きつって泣くばかりのオネーチャン。

一方船木はと、カメラが切り替わると、表で満面の笑みで「大成功」などと言いながらVサインをしている。そのギャプがものすごく怖い！ 俺はあの笑顔を見た瞬間、身の毛が逆立った。

そして、ドッキリであることを告げると、さらにオネーチャンは引きつって泣き出し、言った言葉が「船木選手こわ〜い」。それは明らかに単に「怖い」と言ってるワケではなく、「船木選手、普通じゃな〜い」と言っていた。にもかかわらず、船木は鈴木に向かって「コレは俺の勝ちでしょう」と事も無げに言う。鈴木は「そーいう問題じゃねえだろ」という顔をしながら、ADに向かって「血が出てるよ」とこれまた如才なくその場を和ませるギリギリのフォロー。実際、ADの口の中は切れ血で真っ赤。

よく、船木、鈴木の不仲説が取りざたされたが、この二人が本当の意味で不仲になることなど絶対になく、船木は鈴木にとって永遠に「船木さん」であり、如才ない鈴木がサイコな船木を、今までこうやってフォローし続けてきたのだろうと想像させた。

他の2つの企画「釣り対決」「パチンコ対決」でも船木らしさは爆発していて、釣った魚を足で踏みながら、針を外し、生き物をまったく大事にしない精神に溢れていたり、最後のパチンコ対決の締めの言葉も、大まじめにパチンコと自分の死生観を照らし合わせてコメントするなど、端から見ると「?」が付きまくる、船木らしさ満載であった。

とにかくこの放送は、船木イズムを浮き彫りにしていた。特に「ドッキリ企画」は、シュートな要素の入れ、それに一切妥協はしないという、中卒で新日に入団した浮世離れ（常識はずれ）のエリートである船木らしさが溢れていた。そういえば、パンクラスという団体のカラーもこの「隔離」にあると、俺は前々から思っている。

きっと船木は、ADにビンタを食らわし表に出た後、空に手をかざして、こう言ったことだろう。

「天国の長谷川、俺また妥協しなかったよ……」

半額 紙のプロレス 本誌 Back Number

第8号 1994年1月号
特集 さらば新日本プロレス
仁義なきワイド座談会「さらば新日本プロレス」／仰天企画・恐山旅行のついでにマスカラス＆天龍を見る／サスケが『紙プロ』初登場！　２０ページにも及ぶ大特集！
¥700 ⇒ ¥350

第16号 1995年6月号
特集 新日本凸凹大学校
『紙プロ』的・昭和新日本プロレス大検証！マサ斉藤・キラーカン・田中リングアナ・破壊王・後藤達俊／ビックリ！　糸井重里vsサダハルンバ谷川の対談が実現！
¥780 ⇒ ¥390

2000年4月
情念～夢一途なり～石川雄規
『紙プロ』で2年半続いたバトラーツ社長石川雄規のドラマチックな連載エッセイに大幅加筆＋書き下ろし！　情念とは何かがわかる一冊である。
¥2100（税金・送料込み）

第13号 1995年3月号
特集 道場破りとは何か？
安生洋二が道場破りでヒクソンに返り討ち！　山本小鉄＆上田馬之助道場破りとは何か？インタビュー／「平成ファミコン・プロレス」馳浩・スペル・デルフィン・斉藤文彦
¥780 ⇒ ¥390

第17号 1995年7月号
特集 実況パワフル北朝鮮
あの北朝鮮での「平和の祭典」を語りまくる！　アントニオ猪木＆永島勝司・村松雄稔・破壊王・ブル中野／バトの原点はここにある！「藤原組の逆襲」
¥780 ⇒ ¥390

インタビューという名の鉄拳史
紙の前田日明
『紙プロ』、『リンタマ』、『紙プロRADICAL』誌上で展開された前田日明怒濤のエネルギー史！　引退直前時のインタビューも特別収録だ。今こそ前田日明を振りかえれ！
¥2000（税金・送料込み）

第14号 1995年4月号
特集 神秘とは何か？
佐山聡・大槻ケンヂ・プロボディガード清水白鳳・鈴木みのるたち格闘神秘を膨らます！／日本プロレス歴史の証人・遠藤幸吉セメントロングインタビュー
¥780 ⇒ ¥390

第19号 1995年9月号
特集 さようなら紙のプロレス
『紙プロ』を偲んで・　ターザン山本・ユセフトルコ・上田馬之助・糸井重里・サスケ＆高野拳磁／石井館長、ターザン、サダハルンバ、平仲信明たちの「負けず嫌い」座談会
¥780 ⇒ ¥390

パンクラス公式読本［矛］
９７年夏、横浜道場所属のパンクラシストを直撃！　鈴木みのる／近藤有己／山田学／故・長谷川悟史／そして佐山聡、カール・ゴッチも登場だ！
¥1260 ⇒ ¥630

第15号 1995年5月号
特集 インディペンデントの逆襲
あんた誰？　山口日昇試練のインディ・レスラー10番勝負！／Ｋ－とは何か？　石井館長・ターザン山本・サダハルンバ谷川らのＫ－１三兄弟（当時）インタビュー
¥780 ⇒ ¥390

極真魂溢れる16人を直撃!
極真とは何か？
松井章圭／磯部清次／N・ペタス／大山茂／大沢昇／ウイリー／フィリオ／村上竜司／中村誠／廣山初雄／佐藤勝昭／黒澤浩樹／竹山晴友／谷川貞治／山田英司／夢枕獏
¥1530 ⇒ ¥800

パンクラス公式読本［盾］
９７年夏、東京道場所属のパンクラシストが語る！　船木誠勝／パンクラス非公式座談会／ナゼか、故・ジャイアント馬場vsターザン山本が実現！
¥1260 ⇒ ¥630

No.47
WWF日本侵攻5秒前！ 激動の新日本、怒りの急展開を読む!!
●"天才"武藤敬司が『紙プロ』驚愕の初登場!
●噂の馳浩が新日分裂からミスター髙橋本までを語る!
●第一次リングス閉幕特集
●プロレススーパースター列伝・ストロング金剛
大谷普二郎／小笠原和彦／葛西純／K－1中量級／サスケ／ミスフィッツ
02年2月 ¥880

No.48
見えてきたゾ、桜庭、満開の日!!
●奇跡のメガトン対談実現! 小川直也vsノゲイラ
●和田最強伝説が遂に現実に!　語り部・金原弘光
●伝説の男が笑撃の登場! ジョー・サン
小川直也／武藤敬司／ミスターポーゴ／ウォーリー山口／ジョシー・デンプシー
02年3月 ¥880

No.49
この夏に究極の格闘技大戦争勃発!?　マット界灼熱の噂!
●和田さん快勝記念対談! 髙山&金原&和田
●アレクに怒りの火を付けた菊田早苗とは何者か!?
●凄!　小笠原和彦が火の輪くぐりを敢行!　破壊王も火のヤリ特訓だ!
レッスルマニア座談会／CIMAvsドス・カラスJr.／ウォーリー山口／小畑千代
02年4月 ¥880

No.50
早く試合がしたい!! サクが笑えば、世界が笑う!!
●「地方初世界」開始!　小川直也&橋本真也
●充電完了!　桜庭和志が久々の登場!
●パンクラス取材解禁! "尾崎の野郎"も初登場!
●I編集長が新日本に三くだり半!
菊田早苗／大仁田厚／小島聡&NIGO／アレクサンダー大塚／リングスロシア軍団の軌跡
02年5月 ¥880

No.51
ZERO-ONEに願いを!　7・7決戦迫る!
●両国国技館だよ、全員集合!　橋本真也
●「PRIDE」の魅力をマン開!　小池栄子
●天才が悩みに答える!　武藤敬司人生相談
●"男の中の男"が本誌初登場!　謙吾
小川直也／プレデター／田村潔司／鈴木健／小笠原和彦／ZERO-ONE中村部長／I編集長
02年6月 ¥880

No.52
見えない鎖を引きちぎれ! 行けーッ、小川アァァッ!
●全身プロレスラー・髙山善廣
●「トゥーッ!」の素顔を暴露!　Mr.フレッド
●USAの渡世人　ドン・フライ
●田村潔司「美濃輪戦を決めた3つの理由」
小川直也／橋本真也／武藤敬司／ロシアン・トップチーム／ブラジリアン・トップチーム
02年7月 ¥880

紙のプロレス【常備店】
■アイドール新宿店
■新宿ファイター
■大山アメリカン
■プロレスマニア館
■チャンピオン
■リングスパレス
■バディスラム
■タコシェ
■レッスル渋谷
■レッスル池袋
■書泉ブックマート
■書泉ブックタワー
■書泉グランデ
■ワールドスポーツ
プラザKINGS
・池袋
・渋谷WEST
・新宿
・名古屋
・大阪
・札幌
・福岡
■グレートアントニオ
■東京イサミ

通販申し込み方法
●お申し込みは郵便振替と現金書留の2通りになっております。（バックナンバーは通販でしか取り扱っていません。書店では買えません）。

【郵便振替】
00130-3-769154
（株）ダブルクロス
【現金書留】〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス

●郵便振替の場合は用紙の通信欄に希望号数を明記し、現金書留の場合は希望号数を書いた紙を同封して下さい。

※本誌なのかRADICALなのかを必ず明記して下さい。

●送　料
1冊＝310円　2冊＝380円
3冊～4冊＝450円　5冊＝520円
6冊以上＝700円

★『紙のプロレス』　NO.1～NO.7／NO.9～NO.12／NO.18／NO.21～NO.22　『猪木とは何か？』『猪木とは何か？キラー編』『大山倍達とは何か？』は完売!!

紙のプロレスRADICAL Back Number

デビュー間近!?

再来日はあるか!?

オレたちはやるしかない！ みんなは読むしかないんだよ！

No.5 97年8月 ¥680

高田延彦、樹海へ……初めてのヒクソン戦直前大特集！
●ドン荒川vs藤原喜明“昭和新日対談”
●前田日明の大好評人生相談「人生は語らず」
●世界格闘技連盟とは何か!? 佐山聡
長与千種＆ライオネス飛鳥／ビクター・クルーガー

No.7 97年12月 ¥680

反骨の剣ー田村潔司赤いパンツの頑固者、『紙プロ』初のロングインタビュー記念号
●プロレススーパースター列伝・木村健悟
●全女分裂！それでもローリングドリーマー松永会長
●オクタゴンの喧嘩屋・タンク・アボット
前田日明／T・ファンク／アジャコング／ジャガー横田／冬木弘道

No.10 98年6月 ¥680

大和魂は連鎖するー前田日明vsエンセン井上各方面に波紋を投げかけたスクープ対談
●松永高司vsザ・グレート・サスケ夢の経営者対談
●冬木弘道「プロレスを進化させるとWWFだ」
●元リングスレフェリー北沢幹之引退記念
谷津嘉章／桜庭和志／前田日明／ダイアナ／宮内美穂

No.15 99年2月 ¥780

目を覚ましてください!! 小川vs橋本“1・4事変”勃発！
●A旧戦犯か、それとも真の革命児か!? 佐山聡
●前田日明inUSA カレリン戦前のシアトル特訓！浅草キッドの熱烈応援文
●S多重アリバイ・佐野なおき／Mr.K
A・カレリン／高阪剛／馬場さん追悼／語ろうマサ・サイトー／A・浜口親娘／北原光騎

No.16 99年3月 ¥780

格闘ノストラダムス’99エンセン井上のプロレス雑誌表紙奪取記念号
●環境問題を「紙プロ」で語る!?ーアントニオ猪木
●語ろうジャンボ鶴田
●相撲多重アリバイ・石川孝志
前田日明／高阪剛／坂田亘／M・コールマン／石川雄規／村上一成

No.24 00年2月 ¥840

頭打ちすぎたかアレク!! 『PRIDE.GP』特集
●田村潔司がグレイシー討伐を公約！
●船木vsヒクソン座談会
●WWF大検証！
猪木・鶴田・前田・高田らが黒船を語る！
●サスケ×矢追純一UFO超私極宇宙対談！
桜庭和志／堀辺正史／守山竜介／太刀光／嵐／中西百恵

No.25 00年3月 ¥840 完売間近

格闘ロマン続行ーッ!! 猪木イズムを携えた藤田和之『紙プロ』初登場
●グレイシー撃破後の田村潔司を直撃！
●アニマル浜口は15年前から“火の呼吸”を研究！
●暴露本の原点はここにある！ ミスター高橋
前田日明／小川直也／村上一成／サスケ／ダン・ヘンダーソン／ザ・ロック座談会／石川雄規＆小路晃

No.29 00年7月 ¥840

「格闘環境」は刻一刻と変化する！ ノア解禁！方舟の舵を取るのは誰だ!? 秋山準初登場！
●今度はホイス戦！ 桜庭和志
●プロレススーパースター列伝・仲野信市
●本誌独占ジャンボ鶴田夫人真実を語る!!
三沢光晴／ノア勢フルメンバー／村上一成／ボビー・ホフマン／TKおかん／里村明衣子

No.30 00年8月 ¥840 完売間近

燃えよ！ 闘魂の火種!! 小川、ヒクソン戦へ一直線！
●元祖日本人ユセフトルコがエンセン井上を激励！
●プロレススーパースター列伝・永源遙
●ケンドー・カシン暴言言ファイル
前田日明／金原弘光／高阪剛／滑川康仁／村上一成／秋山準／ジャイアント落合／桜庭あつこ

No.31 00年9月 ¥840

真のストロングスタイルは『PRIDE』にあり!! 歴史に残るベスト興行『PRIDE.10』大特集号
●桜庭和志×高阪剛のトークバトル中継！レフェリーは浅草キッドだ!!
●川田利明語録
●プロレスという物語について・ダン・スバーン
小川直也／高山善廣／谷津嘉章／堀辺正史／永源遙／ユセフ・トルコ／島田裕二／田村潔司

No.32 00年10月 ¥840

本誌は“新プロレス”を独占します!! 10・9新プロレスvs純プロレス開戦！
●田村潔司に快勝!ーA・ホドリゴ・ノゲイラ
●打倒プロレス同盟結成!?青柳政司×小路晃
●藤波辰爾語録
●プロレススーパースター列伝
前田日明／桜庭和志／山本喧一／金原弘光×滑川康仁／本田多聞

No.34 01年1月 ¥840

プロレスは「闘い」を忘れた時に老いてゆく!!「猪木祭り」「長州vs橋本戦」を斬りまくり！
●UFCミドル級王者ティト・オーティズ
●プロレススーパースター列伝・ミスターヒト
●修斗から「猪木祭り」へ! 宇野薫
小川直也／高田延彦／桜庭和志／薮下めぐみ／ボブチャンチン＆オバチャンチン／田中正志／紙プロ大賞2000

No.35 01年2月 ¥840

ジャングルを守るだけじゃなくジャングルをつくれ!!「純プロレス」を考え倒せ！ 500人アンケートも実施！ 徹底検証号
●ZERO－ONE始動！橋本真也×アレクサンダー大塚
●プロレス界統一コミッショナー(就任予定)馳浩が爆弾発言!!
●プロレススーパースター列伝・ジョー樋口
坂田亘／成瀬昌由／滑川康仁／大仁田厚／小路晃／杉浦貴／堀辺正史／田中正志

No.36 01年3月 ¥840

新生「闘いのワンダーランド」に闘魂の火種!! 面白くなきを面白く！ 純プロレス復興記念号
●ノアから独立「PRIDE」参戦!高山善廣を確認せよ!!
●桜庭和志初のシウバ戦ド直前!!
●KOKをしゃぶりつくせ！ 5大企画で大総括!!
金原弘光／ノゲイラ／ヴォルク・ハン／レナート・バベル／TK／田村潔司
三沢光晴／橋本真也／前田日明／大山峻護／W☆ING／ザンディグ／ジニアス×ハリー・レイス／鍋野ゆき江

No.37 01年4月 ¥840 完売間近

長州!! 本性出せんのかオラッ!! 小川と三沢が遂に絡んだ!! 純プロレス戦国絵巻
●安田忠夫が借金から自殺未遂まですべてを語る！
●アブダビコンバット2001ー大探検記！ 菊田早苗／田村潔司×ヘンゾ・グレイシー／シェイク・タルヌーン王子
小川直也／橋本真也／桜庭和志／成瀬昌由×山本憲尚／村上一成×小路晃／堀辺正史／石川雄規

No.38 01年5月 ¥840

高田の“忘れ物”は小川!! ラスト・オブ・「もう一丁ッ!!」 5・5小川と長州はどちらが孤独だったのか!?
●ヴォルク・ハンの最強の遺伝子エメリヤーエンコ・ヒョードル
●プロレススーパースター列伝・阿修羅原
●死神降臨・ジェラルド・ゴルドー
高田延彦／グンダレンコ・スベトラーナ／力皇猛／杉浦貴／丸藤正道／谷津嘉章／ジミー鈴木／高山善廣

No.39 01年6月 ¥840

どうなるんだ、リングス！ 前田isデッド!? すべての“騒動”に前田日明総帥が答えた！
●選手離脱後の前田道場新エース・金原弘光／滑川康仁
●怪物か!? それとも……藤田和之座談会
●壮絶なる格闘人生・藤原敏男
秋山準／山本憲尚／小川直也／成瀬昌由／田上明／石川×臼田×島田／DEEPとは何か

No.40 01年7月 ¥880

開戦間近！ 猪木軍vsK－1に見たいものは“地上最強のプロレス”
●蘇れ！ Uインター＆キングダム伝説!高山善廣×金原弘光［前編］
●本当か？ 本当なのか!?この叫びを聞け！ 大谷晋二郎
●プロレススーパースター列伝・グラン浜田
小川直也／三沢光晴／橋本真也／サスケ／郷野聡寛／坂田亘／上山龍紀

No.41 01年8月 ¥880

Can you カミングアウト？ “最後の黒船”WWF襲来！ どうする「日本のプロレス」!!
●リングス10周年大会！ハンがリングスを振り返る
●真樹日佐夫×三池崇史巨頭対談が実現！
●W☆INGの真実・茨城清志
小川直也／高山善廣×金原弘光／WWF座談会／辻よしなり／秋山準語録

No.42 01年9月 ¥880

猪木なら何をやっても許されるのか!? アントン総帥の言葉はマット界にとって“福音書”か？“テロ行為”か!?
●失われた“新日本”がここにある!ドン荒川×橋本真也のトンパチ伝承対談
●大反響!“ヒャッホー”辻よしなり
●蘇れ! UWFインター伝説!! 高山善廣×宮戸優光×金原弘光
高田延彦／谷津嘉章／カトクンリー／マァ☆ティン／WWF上陸直前特集

No.43 01年10月 ¥880

サクと『PRIDE』のケツに火がついた!! 10・8猪木と小川が「純プロレス」と「純K－1」にリンクを張った!!
●ブラジリアン・トップチーム3大柱インタビュー
●大谷晋二郎の「俺をしんじろう!」人生相談
●金原弘光×サスケの新日本プロレス学校同窓会
小川直也／桜庭和志／谷津×グッドリッジ／中野巽耀／須藤元気

No.44 01年11月 ¥880

ノーモアBADアングル!! サクの連敗が『PRIDE』に語りかけるものは何か？
●プロレススーパースター列伝・グレート小鹿
●その修羅場の数々！ シーザー武志
●怪物伝承！ 高山善廣＆杉浦貴
ハンス・ナイマン＆ディック・フライ／田村潔司／闘龍門大特集／E・ヴァラビーチェス

No.45 01年12月 ¥880

K－1vs猪木軍」は命懸けのエンターテインメントだ!!「紙プロ」旗揚げ10周年＆RADICAL創刊5周年記念号
●「ケーフェイ」以来の爆弾本投下!ミスター高橋本特集!
ミスター高橋独占インタビュー／前田日明、ミスター・ヒト、佐山聡が「悪魔の書」を語る!
●ジェラルド・ゴルドー人生相談
●葛西純／ウルティモ・ドラゴン／望月成晃／A大塚／金原弘光／矢野×須藤／グレート小鹿／語録で振り返るマット界2001

No.46 02年1月 ¥880

PRIDE.LOVEをぶち壊す男!! 時は来た！ 田村潔司、『PRIDE』へいざ討ち入り!!
●さらばリングス！ 金原弘光／浅草キッドの「おつかれさんでした!」
●“ならず者”がDEEPで快勝!ーエル・カネック
●プロレススーパースター列伝・キラー・カン
●金メダルを落とした男・小林孝至

★『紙のプロレスRADICAL』 NO.1～NO.4／NO.6／NO.8 NO.9／NO.11～NO.14／NO.17～NO.23／NO.26 NO.28／NO.33は完売!! 常備店で探しましょう！

中川雅博 爆笑連載!?

ほんとにジョーク

第14回

私も美しい。

今月イチバンおもしろかった作品とその作者

静岡県磐田郡 **目ガ覚メタロウ**

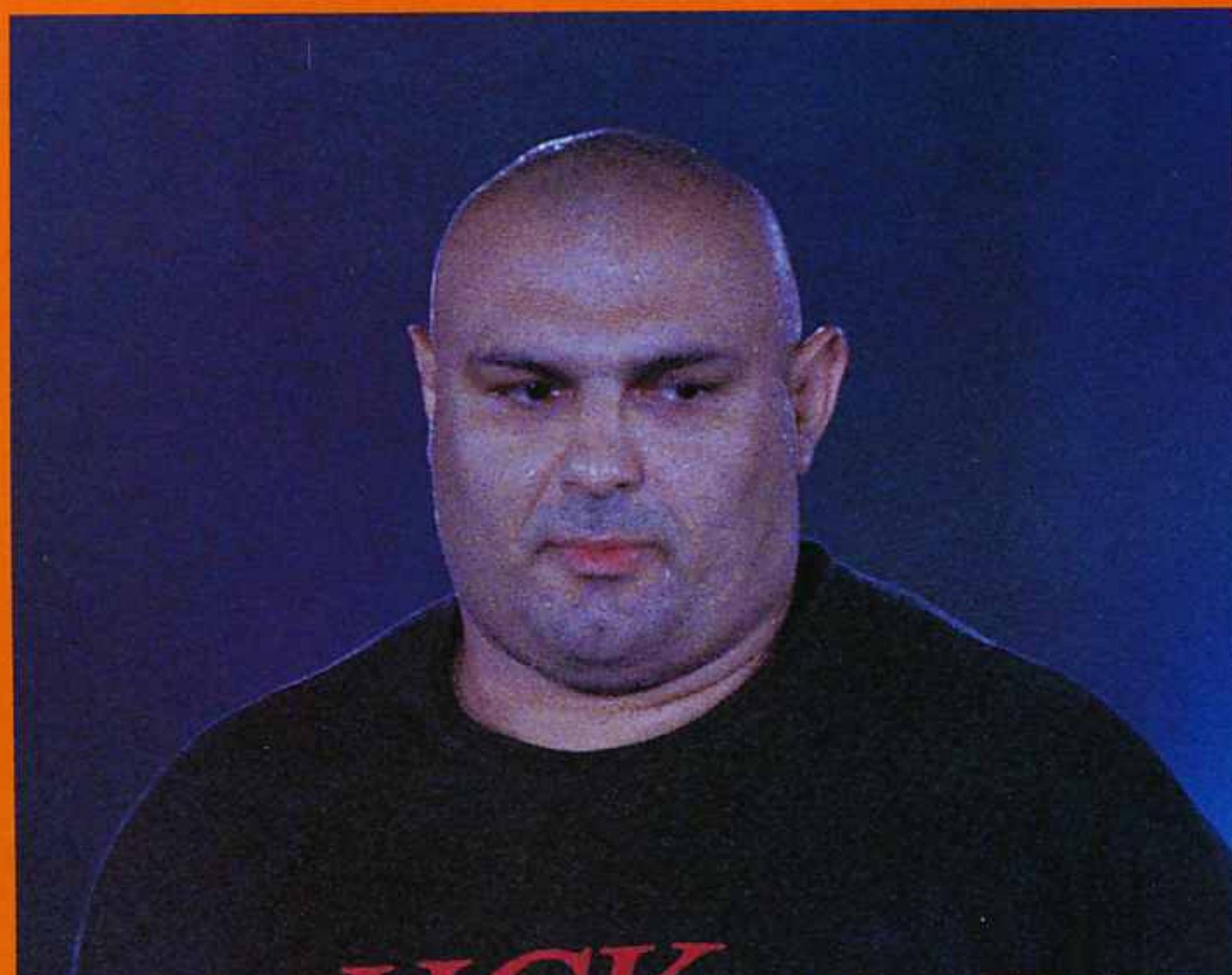
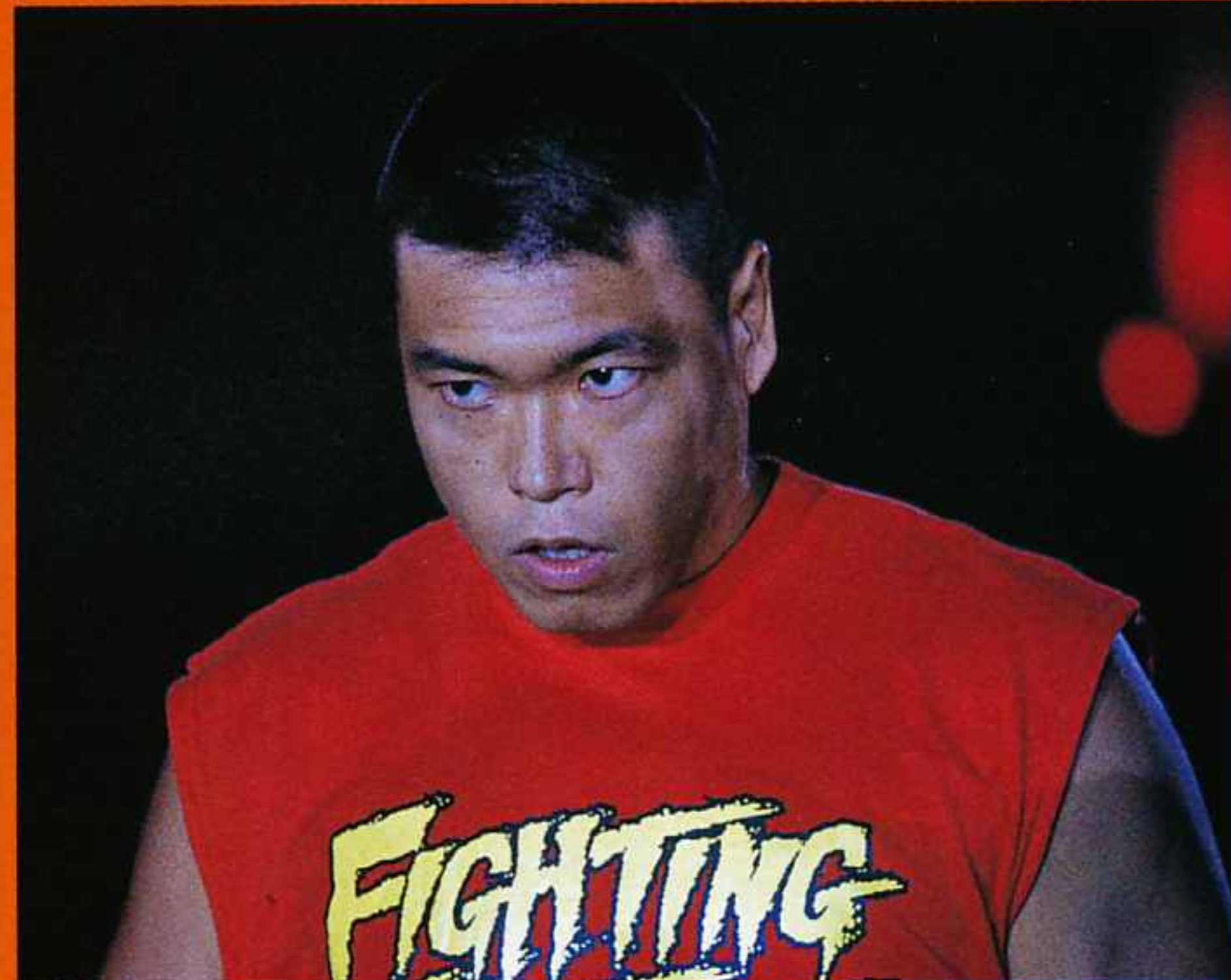
★目ガ覚メタロウさん、2号連続採用オメデトー!! 御希望の「U.F.O.」Tシャツ（M）、お楽しみに!!
★ZERO-ONEやスマック・ガールは、いつもスゴク面白いので帰り道にニヤニヤしてしまいます。特に8月4日のしなしさとこVS吉住絹代はハンVSコピィロフ（1回目）や桜庭VSビクトー以来の衝撃でした。わーい！ わーい！ パチパチパチパチ（←手抜き）。面白いものを観ると嫌な事（大好きなアノ娘が来春にモーニング娘。を抜けちゃう事など）を忘れることが出来、毎日ウキウキです。読者の皆さん！ ウキウキしたいのでハガキをガシガシ書いて下さい。よろしくお願いします。
★ハガキを送って頂いた方の中から抽選で5名様に「中川雅博手づくりステッカー」をプレゼント!!
採用された方にはTシャツをプレゼント!! 人助けだと思ってハガキ送ってチョーダイ!!
★吉住絹代選手カッコイィ〜!! ステキ♥東京元気大学HP http://tgu2001.com/

➡前号のTシャツ ビリー・ガスパー

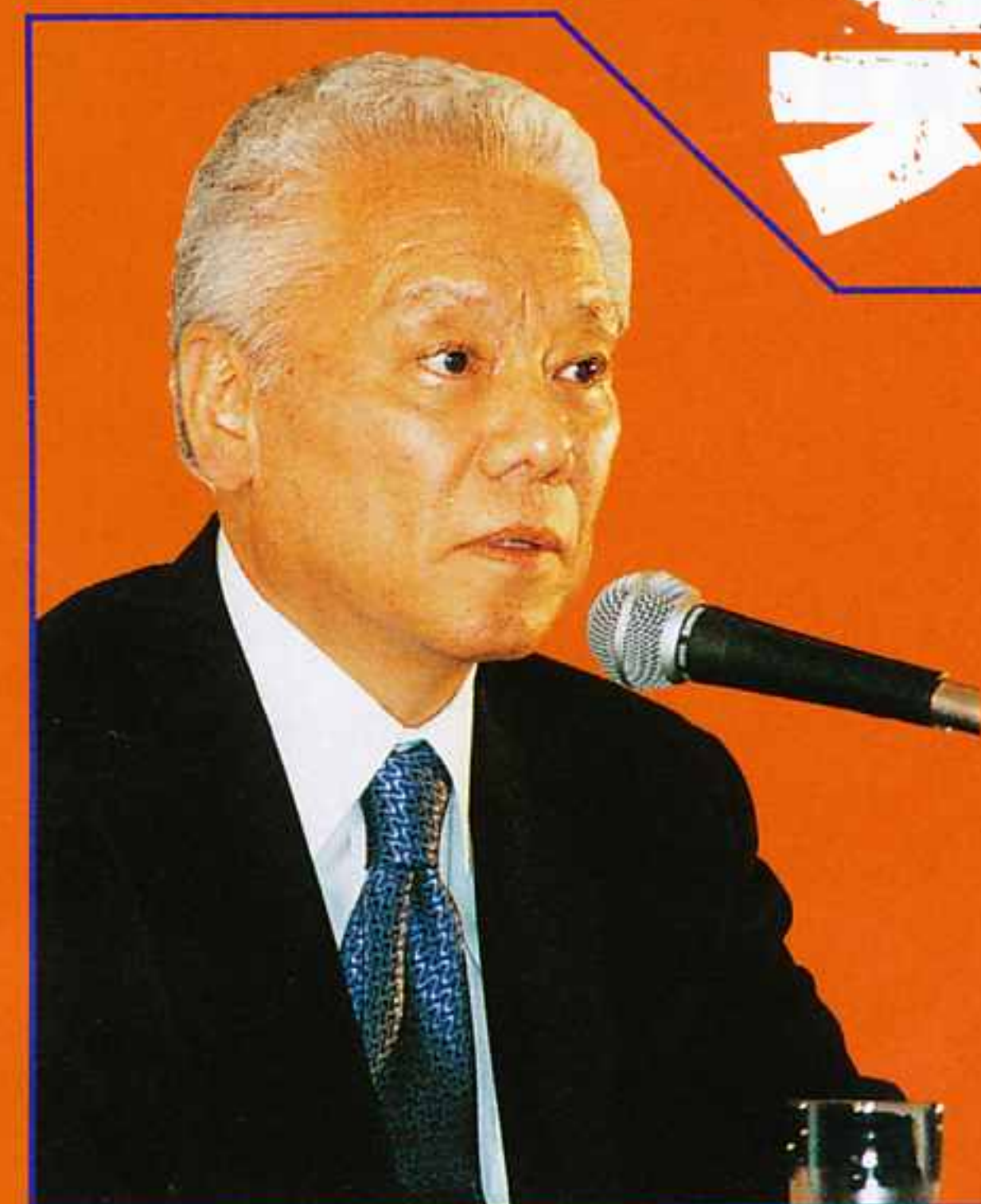
Gaspar

応募方法
プロレスに関したものなら何でもけっこう、ジョーク、ギャグ、コント、マンガ、標語、何でもいいんだ、とにかく『ホントニ面白い』ヤツをたのむ。毎月1名の作品をこのページで掲載。このページは読者投稿ですが、めでたく掲載された方には「中川画伯オリジナルTシャツ」をプレゼント。原稿発送は紙のプロレス「ほんとにジョーク係」へ、希望選手名やサイズ(S・M・L・XL)をハガキに書いて下さい。〈例〉CWアンダーソンのS

灼熱のガチンコ大戦争
爆進格闘技K-DASH!!

8・8 UFO『LEGEND』
18ページブチ抜き大特集！

P130～
マット・ガファリ
独占スクープ
interview

P138～
次なるテーマは？
小川直也
interview

小川vsガファリ戦の真実とは!?

ある意味、
伝説となった一戦

スペシャル　ボーナストラック
川村龍夫UFO社長 ガチンコ語録

&P146『LEGEND』周辺アントン劇場

一夜にして『伝説』となった男が入場”から“小川戦の真実”まで

あっけらかんと告白!

8.8『LEGEND』翌日、独占スクープインタビュー

・ガファリ

MATT GHAFFARI

――ガファリさん、帰国直前でドタバタしてるところ申し訳ないんですけど、インタビューの方、よろしくお願いします!

ガファリ OK! まず最初に、昨日の試合について、これだけは言っておきたい!

――は? いきなり、なんでしょうか?

ガファリ 昨日のオガワ戦の敗因はコンタクトレンズだったんだ(キッパリ)。

――ああ、試合後も言ってましたよね。

ガファリ それはホントだよ。アトランティックシティとかのボクシングルールではコンタクトを付けて試合をしてはいけないというルールがあるんだ。ただ、『LEGEND』に関して言えば、その辺が曖昧だったんだよ。

――でも、結局ガファリさんはコンタクトを付けて闘ったってことですよね?

ガファリ 付けようかどうか直前まで迷ってたんだけど、結局コンタクトをしたまま試合をして、そこにオガワのいいパンチをもらってしまってコンタクトがずれて前が見えなくなったんだ。言い訳するつもりはないが、正直なところタイムを取って欲しかったね。

――タ、タイムですか(笑)。

ガファリ オリンピックではコンタクトがずれた時はタイムが取れるんだよ。まあオリンピックとはルールも違うし、しょうがないけどね。(左目を指さし)ここ見てくれよ。

――あぁ、まだ真っ赤ですね。

ガファリ コンタクトが目の奥に入っちゃって、ホント針が刺さったような感じだったんだよ。試合が終わったあとに、そのコンタクトを医者に抜いてもらったんだ。

――うわっ、想像しただけで痛そうですね。

ガファリ とにかく自分の実力を出し切れないまま終わってしまったのが悔しいんだ。

――テレビの実況では「鼻骨が折れる寸前」とか言われてましたけど、大丈夫ですか?

ガファリ たしかに鼻血は出たけど、ホラ、(鼻をつまんで左右にシェイクして)お、折れてなんかないだろ?(ちょっと痛そう)。

――そ、そうみたいですね(苦笑)。

灼熱のガチンコ大戦争
爆進 K-DASH!!

ある意味、"長すぎた

私は必ず、日本に戻ってくる
オガワ、ハシモト、マエダ、
相手は誰でもかまわないよ

マット・

試合直前まで呑気にトランプをしたり、Tシャツをグルグル振り回しながらの入場、「敗因はコンタクトがずれたこと」等々、ある意味、一夜にして伝説となった男、マット・ガファリ。衝（笑？）撃の8・8『LEGEND』での小川戦の翌日、帰国のため成田空港行きのリムジンバスに乗り込むガファリを発見！必死に頼み込み、独占インタビューを敢行！

聞き手＆撮影／松澤チョロ
試合撮影／乾晋也
designed by さおとめの事務所

灼熱のガチンコ大戦争
爆進 K-DASH!

ガファリ（急に険しい顔になり）それともう1つ！　これだけは伝えておきたい!!

――こ、今度はなんですか？

ガファリ　私の試合がリアルファイトじゃないって言ってる人もいるんだって？　冗談じゃないよ！　オガワとは7時（テレビの生中継で入場セレモニーが行われた）まで一度も顔を会わせていないし、前日の記者会見だってオガワは来なかったんだから。そういうことを言われるのは心外だね。

――実際、そういう見方をする、おバカさんもかなりいましたからね。

ガファリ　日本テレビからはフェイクをやったらギャラを払わないっていうことを、ちゃんと言われてたし、それは絶対あり得ない。それにオガワは入場の時からナーバスになっていたし、試合が始まってからも私が肉厚でプレッシャーをかけると怯えたような顔をしていたからね。ああいう結果になってしまったがオガワだって怖かったはずだよ。

――たしかに入場の時とか小川さんの表情は、かなりこわばっていましたからね。

ガファリ　それに私はオガワ戦までの6週間、この闘いのために愛する家族と離れて必死に練習してたんだ。その間、一度たりとも家族に会ってないしね。そこまでしてるのにフェイクなんてやるわけがないよ。それは、どうしても伝えておきたかったんだ。

――わかりました。しっかり伝えておきます。

ガファリ　（突然）カードゲームをやりながらでもいいかい？　インタビューは、ちゃんと答えるからさ（ニッコリ）。

――アハハハ！　昨日の試合前にも控室でトランプやってましたからね（笑）。

ガファリ　あ、見られてたんだ（恥ずかしそうにポリポリと頭を掻く）。

――ボクだけじゃなく日本全国の視聴者に見られてますよ（笑）。

ガファリ　そうなんだ（と言ってセコンドたちとトランプを始める）。キミもやる？

――いや、ボクはいいです（笑）。それで、昨日は試合もインパクトがありましたけど、「ダースベイダー」のテーマでTシャツをグルグル振り回しながらの入場も、ある意味、かなり衝撃を受けましたよ（笑）。

ガファリ　あのイノキの弟子のオガワってことで日本のファンは私に勝ち目はないだろうっていう目で見てたと思うんだ。もちろん、やる前から負けることなんて考えてないが、日本のファンからすればアンダードッグ（負け犬）の私は「ダースベイダー」みたいな曲で堂々と入場するのがいいんじゃないかと思ってね（笑）。あの曲は自分で選んだんだよ。

――ガファリさんの選曲でしたか。でもテーマ曲が終わっても、なかなか入場してこなかったですけど何か意味があったんですか？

ガファリ　もちろんさ（キッパリ）。近くにいたスタッフからキューサインが出てたのも知ってたしね。私は、あとから入場してくるオガワを、なるべく待たせて焦らしてやろうと思ったんだ。（日本語で）ミヤモト・ムサシのようにね（笑）。

――そ、そうだったんですか！　ガファリvs小川戦は巌流島決戦だったんですね（笑）。あ、もしかして、両手にブラブラさせてたTシャツは宮本武蔵ばりの二刀流ですか？

ガファリ　そういうことだよ（笑）。私のあとにオガワが出てくるのは、みんなわかってることだろ？　私はワザと入場ゲートで立ち止まって、「私がマット・ガファリだ！」ってアピールをしつつ、オガワを焦らすっていう作戦だったんだよ。要は心理戦さ。

――そこまで考えていたんですか（笑）。

インタビューの最中、ホントにトランプをし始めたガファリ。かと思えば、外にベイブリッジを発見するとカメラを取り出し写真を撮りまくるなど、その行動には目が離せない。

ガファリ、日本上陸から大会までの流れ

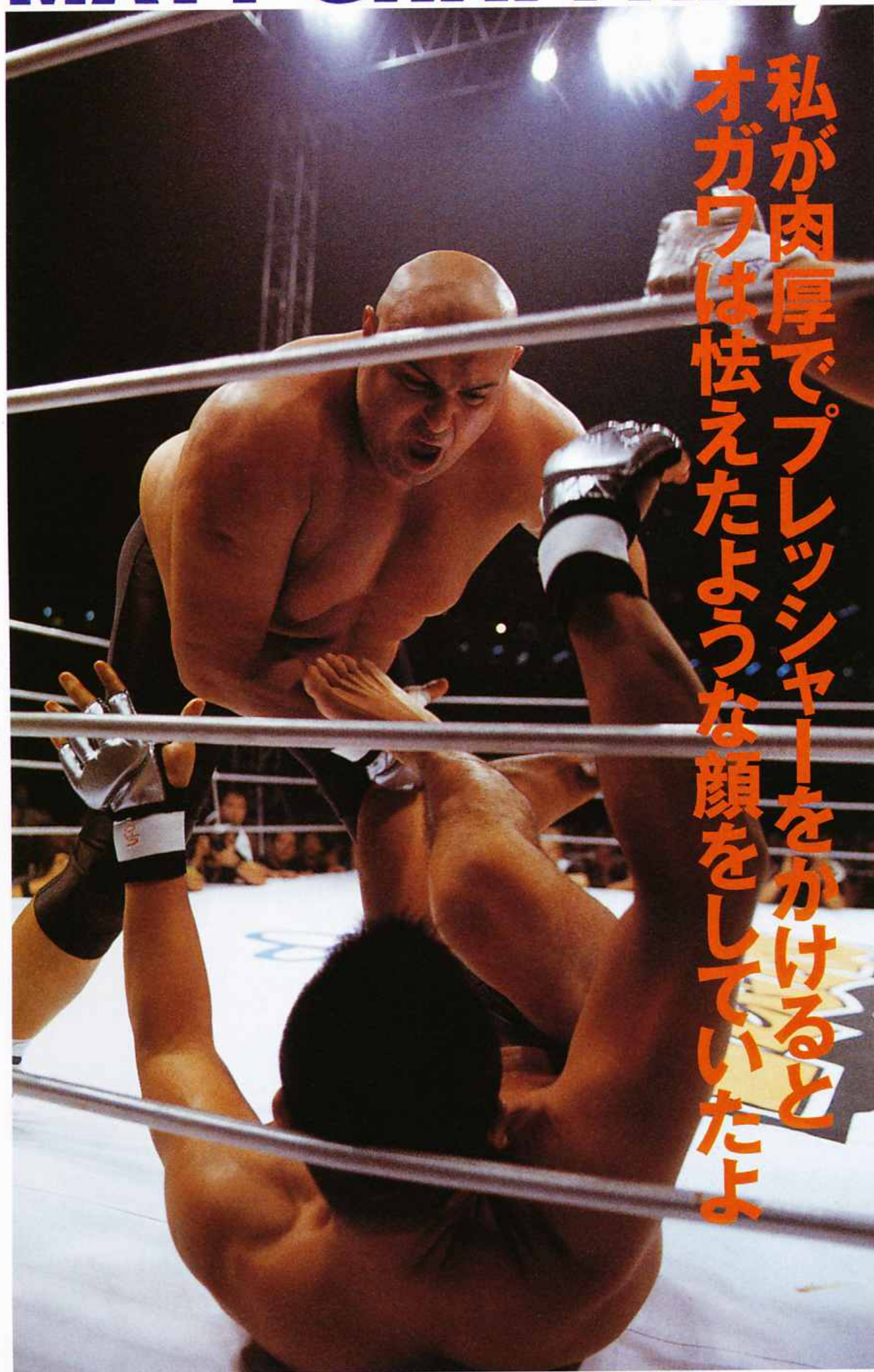
8・2ガファリ遂に来日！

機体トラブルのため当初の予定より丸一日近く遅れ、到着ゲートに1人で現れたガファリ。遠くからでも一発で確認できる、その超巨体がついに日本上陸！

記者陣に囲まれたガファリは汗をダラダラ流しつつ「1Rは小川を疲れさせ2Rで勝負をつける。小川を絞め落とすかもしれない」と不敵な笑みを浮かべた

8・3ガファリ公開練習！

来日翌日、石沢常光の粋な計らいでガファリは早稲田大学レスリング部で公開スパーリングを行った。ウォーミングアップもそこそこにガファリはビガロばりの側転を披露！

MATT GHAFFARI

私が肉厚でプレッシャーをかけるとオガワは怯えたような顔をしていたよ

ガファリ　（頭を指さして）私はクレバーだからね（笑）。お客さんのテンションを上げるために、ワザと入場をしくじったように見せかけただけなんだよ。

――ホントかなぁ？（笑）。

ガファリ　それは本当だよ。その作戦はセコンドにも言ってなかったからね。おかげで、私のあとから付いてきたコーチの髪の毛は入場ゲートの花火で焼けちゃったんだ（笑）。

――あららら（笑）。

ガファリ　あの長い花道をリングに向かいながら「私はチャレンジャーとして日の出ずる国で闘うんだ！　しかも『LEGEND』という大会の記念すべき第一回目のメインイベンターなんだ！」って思いながら、いい感じでテンションを高めていけたんだけどね。

――入場までは完璧だったと？（笑）。

ガファリ　そうだね。ところで、キミはカレリンの一番得意な戦法って知ってるかい？

――カレリンっていえば、やっぱりカレリンズ・リフトなんじゃないですか？

ガファリ　それも正解なんだけど、カレリンが一番得意だったのは、ミヤモト・ムサシ戦法なんだよ。オリンピックでも私はカレリンに何度待たされたことか。カレリンは、いつも平気で5分以上遅れてくるんだよ。

――でも、そんなに遅れてきて失格とかにはならないんですか？

ガファリ　まあカレリンだから許されたんだろうけどね（笑）。

――カレリンなら何をやっても許されると？

ガファリ　そうだね（笑）。今回、私はカレリンに焦らされたっていう苦い経験を逆にオガワ相手に試してみたんだよ。ゴングが鳴るまでは完璧だったんだけど、残念ながらゴングが鳴ってからの私は完璧ではなかった。

――来日会見の時に「いまはニコニコしているが、私は試合当日になったら別人に変わるんだ。試合が始まったらオガワを殺してしまうかもしれない」って言ってましたけど、実際のところ、当日もニコニコしてましたし、別人に変われなかったんじゃないですか？

ガファリ　それは、ちょっと私の発言がうまく伝わっていなかったんだろうね。私が別人に変わるのは当日ではなくてゴングが鳴った

バルセロナ&アトランタ五輪にも出場した鈴木貴一氏を相手にスパーリングを披露したガファリ。続けて、ぎこちないながらもド迫力のキック&パンチを公開。

練習後のガファリは「3R目で立っている男が勝者となるだろう」と昨日とは違う発言が飛び出した。最後にカメラマンのリクエストに応え、噂のお腹を公開！

8・7大会前日記者会見！

小川、藤田、安田、村上と欠席者続出の大会前日会見。ガファリは「私はアメリカから、はるばる来てるというのにオガワはなんで来ていないんだ！」と激怒！

あとなんだ。その切り替えがうまくできたから40歳になった今でも現役として闘えるんだと思うしね。でも日本のファンに「ガファリは、いつもニコニコしていて緊張感が感じられない」って思われているなら、次に来る時には、もっとシビアに、私は本当に強いんだっていうところを見せることを約束するよ。

—ということは、近い将来、また日本で試合をしたいと思ってるんですね？

ガファリ　日本で試合をするのは間違いない。それに私はプライドが高いから負けっぱなしで終わるっていうことは許せないんだ。オガワにはリベンジしないと気がすまないし、なんなら相手はヒクソンだってかまわないよ。

—ガ、ガファリvsヒクソンですか！　小川戦以上の体重差になりますけど（笑）。

ガファリ　試合後、ヒクソンと話したんだけど「一回目にしては良くやった方だね」と言われてしまったよ（苦笑）。まあでもバーリ・トゥードの世界ではヒクソンはトップファイターであるのは間違いないし、「私にサブミッションを教えてくれないか」って言ったんだ。そしたら今度は「小川戦の前に来るべきだったよ」って言われてしまった（笑）。

—さすがはヒクソンですね（笑）。でも実際、今回の小川戦が決まった経緯っていうのは、どんな感じだったんでしょうか？

ガファリ　オガワ戦に限らず、私は3ヶ月前にバーリ・トゥードをやろうと心の中で決めてたんだよ。だからといって『LEGEND』の話が最初から来ていたわけではないけどね。rawチームの代表のリコ（・チャパレリ）にコンタクトをとったら「相手はオレが見つけるから心配しなくていいよ。UFCもあるし、日本には『PRIDE』やUFOとか、いろいろあるから」って言われたんだ。でも私は長い間オリンピックで活躍してきたわけだし名前もあるので小さな所ではやるつもりはなかったし、どうせやるなら大きい所で、それもメインイベントでの出場を狙っていたんだ。そしたらタイミング良く『LEGEND』でオガワの対戦相手を捜してるっていうんで、その条件を聞いてみたら「『PRIDE』に出たことのないヘビー級のファイターで、オリンピックのメダリストがいい」ってことで、これは私しかいないと（笑）。

—たしかにあてはまりますね。

ガファリ　まあ今回は残念な結果に終わってしまったけど1回だけでやめるつもりもないし、またチャレンジしたいね。それにチャンスがあれば、私はプロレスもチャレンジしたいと思ってるんだ。

次に来る時には、私は本当に強いんだっていうところを必ず見せるよ

—プロレスの方も視野に入れているわけですね。そういえば、ガファリさんはWWF（現・WWE）から何度かオファーを受けているって聞きましたけど？

ガファリ　ビンス・マクマホンには、もう5～6年追いかけられているよ（苦笑）。でもWWFはスタイル的にも好きではないし、ビンスのことも、あまり好きではないんだ。

—そうでしたか（笑）。

ガファリ　アトランタオリンピックの時、私はカート・アングルと二人部屋の同室だったんだ。それにビンスから「プロレスをやらないか？　大金持ちになれるよ」ってWWFに誘われたのも一緒だったんだよ。でも私はヒールをやることだけは、どうしても我慢できなかったんだ。

—ビンスからヒールをやってくれと言われたんですか？

ガファリ　そうなんだよ。それもイラン人としてね。たしかに私はイランで生まれたが、ずっとアメリカ代表としてレスリングをやってきてアメリカ人だと思ってるのに、ビンス

灼熱のガチンコ大戦争

爆進 K-DASH!

は「アメリカ人は大嫌いだって言ってくれ」って言うから断ったんだよ。それに私は、その時はWCWからも誘われていたからね。

――当時のアメリカの二大メジャー団体から声を掛けられていたんですか。

ガファリ　そうだね。その頃はWCWの方が勢いがあったんだよ。それで私はビンスにハッキリ「NO！」って言ったんだ。「WCWからも声を掛けられているが、私はビジネスマンだから冷静に会社の状況を比較するとWWFとは契約できない」って。そしたらビンスに「お前は何でそんなにクレバーなんだ？」って言われたよ（笑）。

――そんなことがありましたか（笑）。

ガファリ　でもホントにオガワとはもう一度闘ってみたいね。それに、私にとってオガワっていうのは対戦が決まる前から尊敬しているファイターの1人だったんだ。

――前から小川さんの存在を知っていたと？

ガファリ　私と同じシルバーメダリストだしね。それに2年ほど前、オガワがアメリカでダイエット特訓したことも知ってるし、すべての点で私の師匠だと思っているしね。

――小川さんはガファリさんのダイエットの師匠なんですか？（笑）。

ガファリ　いや、ダイエットだけじゃないよ（苦笑）。オガワは私と同じように柔道の世界でトップまで登りつめて、その後、プロの格闘家に転向したファイターだからモデルケースとして凄く参考にしてるんだ。私もこれから本格的にダイエットを始めて、ボクシングやムエタイも学んでコンプリートファイターになりたいと本気で思っているしね。

――本格的なダイエットを始めるんですか？

ガファリ　（お腹をさすりながら）ちょっとウェイトオーバー気味だからね（苦笑）。

――ち、ちょっとどころじゃないような気がしますけど（笑）。

ガファリ　（ムキになって）わかってるよ。今回、試合をするまでは逆に自分の、この体重が有利に使えると思っていたんだが、実際にオガワと闘ってみて、彼の素早さに正直驚いたんだ。それがダイエットを本気で始めようと思った大きな理由だよ。

――ファスティングジュースでもプレゼントすれば良かったなぁ（笑）。小川さんとの再戦もいいんですけど、小川さんのセコンドに付いた橋本さんとの試合も見たいですね。

ガファリ　ハシモトのこともよく知っているんだ。ハシモトは私のボスだからね。

――エッ!?　それはどういうことですか？

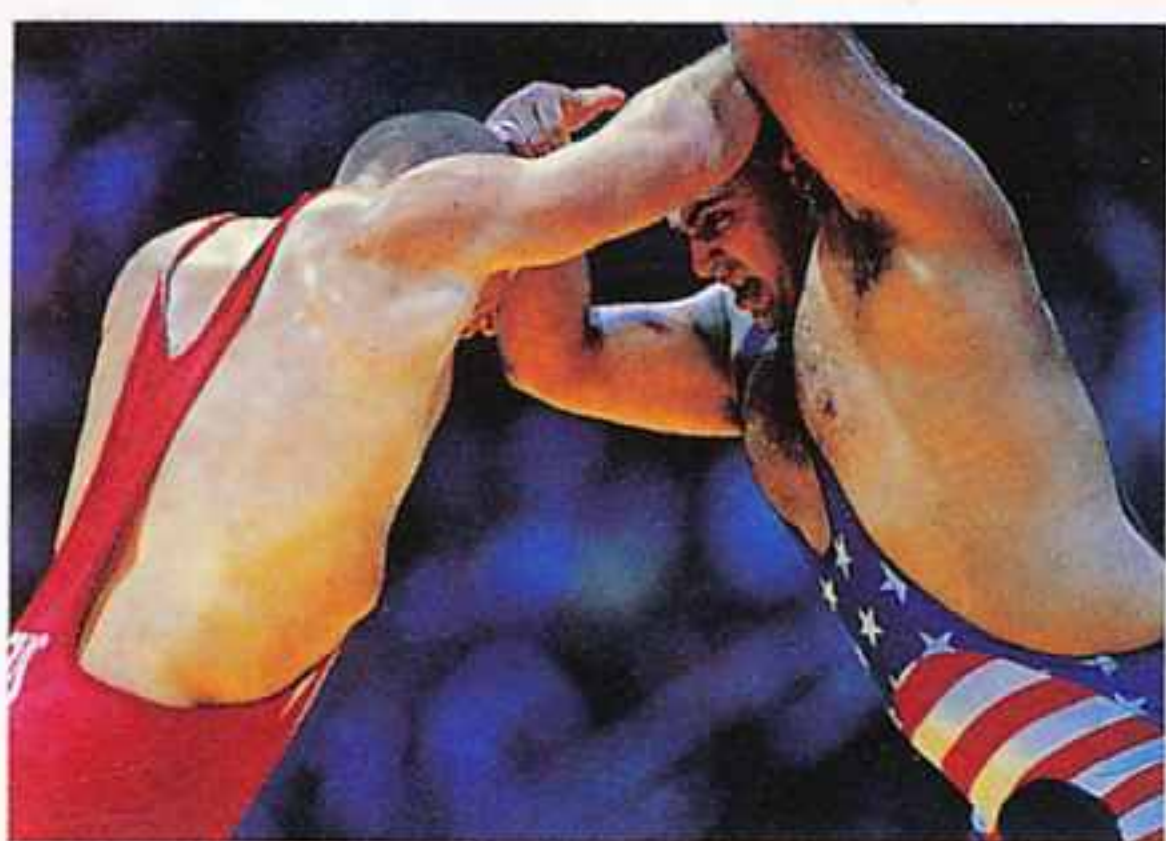
ガファリ　Uインターに出たことがあるデニス・カズラスキーとか、亡くなってしまったけどゲーリー・オブライトとか、私はいろんな選手と闘っているからね。そういった仲間から日本の情報はリサーチしてたしビデオもよく見てたんだよ。ハシモトが有名で尊敬できる選手だってことは知っていたし、それに体型も似てるってよく言われてたんで自分の中で勝手にボスだって思ってたんだ（笑）。

――あ、そういうことですか（笑）。でも、その橋本さんも昨日の試合後は「オレが言うのもなんだけど、ガファリは太り過ぎや！」って言ってましたけどね（笑）。

ガファリ　エッ!?……（ちょっとショックを受け）そんなこと言ってたんだ。でも実際会ってみたら、たしかに私に似てると思ったよ（笑）。ファッションもバッチリ決まっていたし、もみあげもエルビス（・プレスリー）みたいでカッコ良かったね。

――エ、エルビスですか（笑）。

ガファリ　ハシモトとは闘ってもいいけど、逆にブルース・ブラザーズみたいにタッグを組んでもいいんじゃないかな（笑）。

――今度はブルース・ブラザーズ！（笑）。

ガファリ　ハマると思わないかい？（笑）。それに私には弟がいるんだが、弟は私よりもプロ志向で、プロレスもやりたいって言ってるから、兄弟でハシモト&オガワ組と闘うっていうのもいいかもしれないね（笑）。

――OH砲vsガファリ兄弟！　それは本気で見たいなぁ。

ガファリ　そうかい？　実現するんだったら、試合の前にパラオに行って竹ヤリ特訓でもしなきゃいけないね（笑）。

――パラオで竹ヤリ特訓!?　なんで、そんなことまで知ってるんですか（笑）。

ガファリ　だから日本の情報は詳しいって言ったじゃないか？　ハッハッハッ！

――詳しすぎです（笑）。アメリカに戻ってからは、また総合の練習は続けるんですか？

ガファリ　もちろんだよ。オガワ戦の前は（ウラジミール・）マティシェンコとかと柔術の練習もやったんだけど、凄く楽しかったんで柔術も続けていこうと思ってるんだ。

――マティシェンコは新日本のロス道場で練習してるみたいですけど、ガファリさんも一緒に練習することもあるんですか？

ガファリ　イズマイウとも練習してるしね。いろんなところに行ってるけど基本的にはオレゴンでダン・ヘンダーソンやランディー・クートゥアーと一緒に練習してるんだ。

――他にはどういったところで？

ガファリ　UPWの道場でトム・ハワードとかと練習したこともあるし、もちろん、苦手なムエタイやボクシングのジムにもこれまで以上に行かなきゃいけないと思ってるよ。

――トム・ハワードとも練習してるんだったら、なおさらZERO―ONEマットに上がって欲しいですね。ちなみに、ガファリさんのライバルのカレリンが日本で闘った前田さんのことは知ってますか？

ガファリ　もちろん知ってるさ。日本での試合のこともカレリン本人から聞いてるよ。それにカレリンは「プロとして試合をするなら日本がいいよ」って勧めてくれたんだ。機会があればマエダともゼヒ闘ってみたいね。

――残念なことに前田さんは、そのカレリン戦で引退しましたからね。でもお互いカレリンを苦しめた男同士、その試合は見たいですね。どちらもスーパーヘビー級ですし（笑）。

ガファリ　カレリンとは何度も闘ってきたけど、一番彼を苦しめたのは私だと自負しているからね。マエダと闘ったらいい試合になると思うよ。もちろん、勝つのは私だけどね。

――でもホント、ガファリさん絡みのカードは見たい試合がたくさんありますね。

ガファリ　そう言ってくれると嬉しいよ。オガワ、ハシモト、それにマエダだってかまわない。今度日本に来た時は強くて怖くて、いまよりもスリムなガファリをお見せするよ！

――スリムなガファリさんに会える日を楽しみにしてます！（笑）。

ガファリ　OK！　しっかりダイエットして、必ず日本に戻ってくるよ!!

【8月9日／小川戦翌日、帰国のため成田空港へ向かうリムジンバス内にて収録】

MATT GHAFFARI

PROFILE

United States Olympic Committee

Greco-Roman Wrestling

1992 Olympic Summer Games, Barcelona

1996 Olympic Summer Games, Atlanta

1996 Olympic Silver Medalist

4x World Cup Champion

9x Pan-American Champion

6x U.S. National Champion

MATT GHAFFARI

【まっと・がふぁり】1961年生まれ、193cm、159kg。レスリングではグレコで96年アトランタ五輪で銀メダルを獲得。パンアメリカン選手権7回優勝、ワールドカップ4回優勝。さらにフリーでもパンアメリカン選手権で2度優勝するなど、その実績は凄まじい。今回のコスチュームは評判が悪かったらしく、次はレスリングの吊りパンツに変えるという。

川村龍夫 UFO社長 "ガチンコ"語録

「小川、動く」とのコピーが踊った8・8UFO『LEGEND』大会ポスターに、「川村、動く」と書き込む事件が都内各所で発生していたらしい。犯人はいまだ判明していないが、その気持ち、痛いほどわかる! それほどまでに川村社長の存在は、最高であった。川村社長の絶大的な"自信"と"力"から発せられた言葉の数々は、我々を惹かせて離さなかったのだ。大会終了からはや2週間。我々にいまだ消えぬ痺れをもたらした川村社長のコメントを、"ガチンコ語録"でもう一度味わえ!

【構成/ジャン斉藤】

灼熱のガチンコ大戦争
爆進 格闘技 K-DASH!!

小川選手の希望で『全てガチンコでいきたい』と、このように申しておりました!!

【6月27日/『LEGEND』開催決定会見】

■プロレス・格闘技の会見において、『全てガチンコでいきたい』などと宣誓がなされたことがあっただろうか? 『LEGEND』は、川村社長のまさしく伝説的な言葉から幕が開いたのだ。今年の名言大賞間違いなし!

(いきなり非常口から姿を現し)裏口から失礼します

【7月17日/小川VSガファリ決定会見】

■ヒーローやスーパースターは、予想もつかない場所から登場するものである。川村社長の登場に報道陣が会見場の入口に視線を注ぐなか、川村社長はなんと非常口からその姿を現した! ちなみに7月29日の会見では「裏口からもなんなんで」とキチンと正面入口から登場した。

日本テレビの総力を挙げて、小川選手の相手が決まりました

【7月17日/小川VSガファリ決定会見】

■ガファリ発掘という川口浩探検隊ばりの"総力"には疑問を感じてしかたないが、天下の日本テレビをいとも簡単に動かす川村社長の力には疑問を挟む余地はない。

まだ、小川選手は知りません。でも、私が必ずやらせます

【7月17日/小川VSガファリ決定会見】

■オレがガファリとやれといってるんだから、やるんだよ!……とばかりに開催決定会見に続き、川村社長の独壇場に終わった2回目の会見。川村社長の"力"を象徴するコメントだ。それにしても、まだ、知らないって……凄すぎる!

オレ自身アマチュアボクサーだったから!!

『猪木とは何か?』'93刊/川村社長インタビューより

■「犬から軍鶏のケンカまで、子供のころからケンカ好き」だった川村社長は、かつては"やる側"だったのだ。一歩も退かぬその姿勢は、ボクシングで培った腕っぷしの自信からに違いない。

オレも性格が激しいほうだから世界規模のビックマッチを

■そう、その"ガチンコ"過ぎる言葉の数々は、激しい性格のゆえのことなのだ。そのシビれる言葉を聞きたいがために、次回大会開催を望む声も多い。

川村社長を見ずに『LEGEND』が語れるかッ!

（小川とは）話してません！【7月17日／小川 vsガファリ決定会見】

■修復不可能？とも思える亀裂が入った小川と「お話はしてるんですか？」との報道陣のからの質問を受けた川村社長は、険しい表情でキッパリとひと言！ 対戦相手より怖い〝ガチンコの鬼〟が、ここにいた。

いま初めて藤田選手に言うことなんですが、安田選手と闘ってもらいます【8月2日／藤田 vs安田戦決定会見】

■小川同様に闘う当人が知らないという、衝撃的過ぎるカード発表をまたも敢行した川村社長。もちろん「安田選手にも伝えてない」から最高だ！ 小川、藤田にこのような扱いをできるのは、川村社長をおいて他にはいない。

（藤田に）ブン殴られるかと思った・・・

■『LEGEND』にて、小川の前座に甘んじることや同門対決となる安田戦への不満から、怒りをブチまけ会見を途中退席した藤田。元ボクサーで〝芸能界のドン〟である川村社長だったから不測の事態には陥らなかったが、もし藤波社長だったら鼻を折られて大流血したり、「東スポ」の一面でコキ下ろされていたかもしれない。

小川はこれからずっと〝デブ〟と闘わせるから。（一緒にいた橋本に向かって）オマエも強いんだから、こういうところで闘わきゃダメだ。そうだ、オマエはデブなんだから、次はオマエが小川と闘え！（笑）【大会終了後のパーティーにて】

■ガファリを評して「オレが言うのもなんだけど、太り過ぎだ！」というバッグンのコメントを残した破壊王であったが、それでも川村社長にはかなわない！ 小川、〝デブ〟ロードを突き進め！（って、いいのか!?）

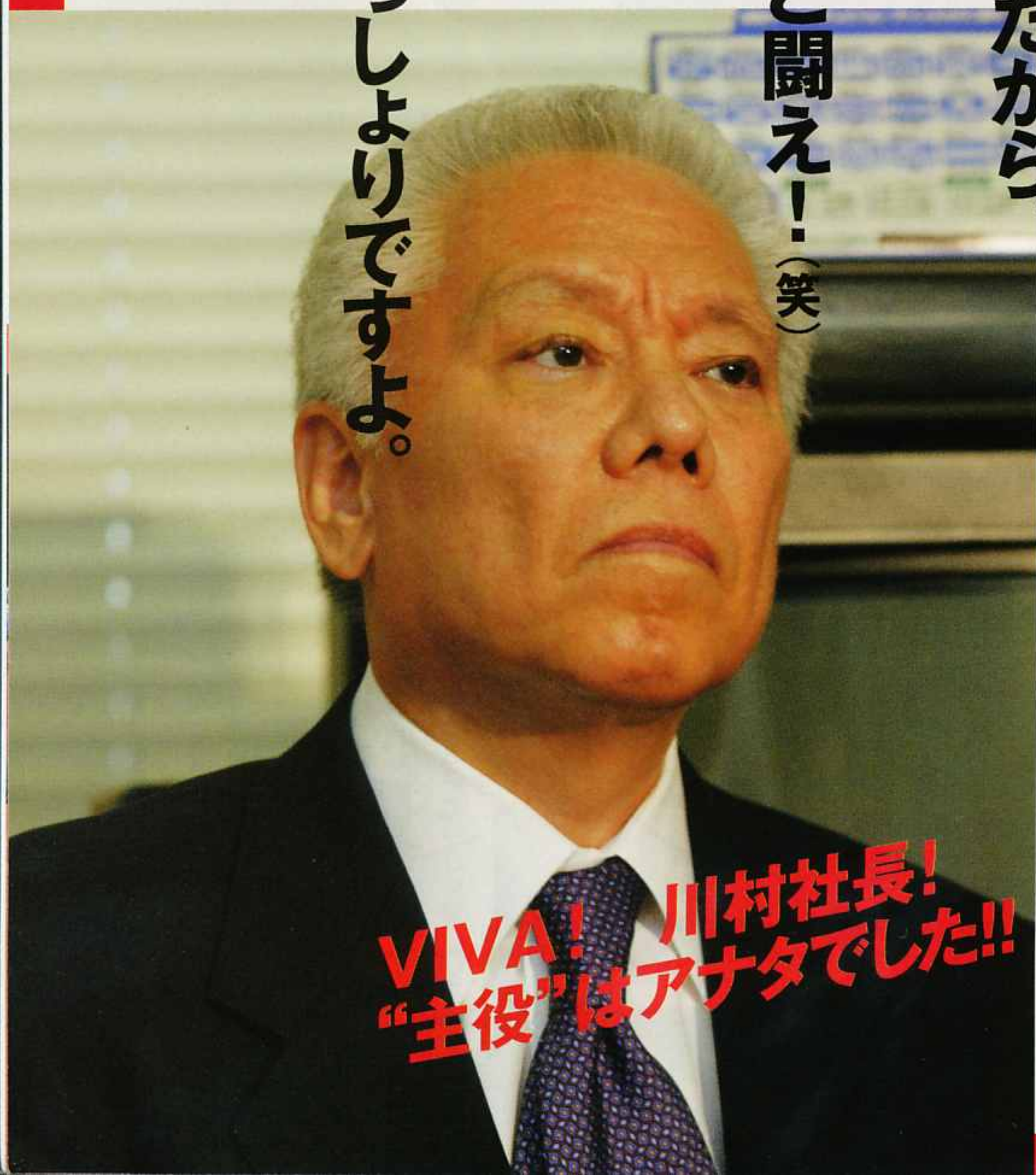
記者会見でもしゃべりましたけど、全てガチンコですから。藤田と安田なんかすっごいですもんね。もう、汗びっしょりですよ。よく冷静に見られたなぁと【『LEGEND』終了後】

■関係者が違った意味で汗びっしょりだった藤田 vs安田を興奮気味に語った川村社長。〝ガチンコ〟発言で幕が開いた『LEGEND』は、最後も〝ガチンコ〟発言で幕を降ろした。「社長ーッ！ アリガトーッ！」という客席からのファンの絶叫に川村社長は満面の笑みを浮かべ手を振り応えていたが、次回はリングに上がってその姿をみたい！ 「川村さん、川村さん、リング上でその姿をみたい！ 「川村さん、川村さん、リングに上がってください！」（船木調）。

やってほしいよ。相手はタイソンでもいいんじゃないですか？

■引退間近の「猪木に何を期待しますか？」との質問に対して、熱く夢を語った川村社長。タイソン招聘は川村社長の積年の想いでもあったのだ。退けば大損！（タイソン）。川村社長、頼んます！

『セサミ・ストリート』の日本語版で、朝の7時から15分間『アントンとイングリッシュ』という番組をつくろうと思った

■伝説の興行を手掛けた川村社長は、かつてもアントン総帥を起用して伝説の番組を製作しようとしていた！ それにしても、一流の男が考えることは、とかく凡人には驚くことばかりだ。

VIVA！ 川村社長！
〝主役〟はアナタでした!!

願ってね。俺はプロレスラー

8.8を"勝利"&"微妙に"突破!!

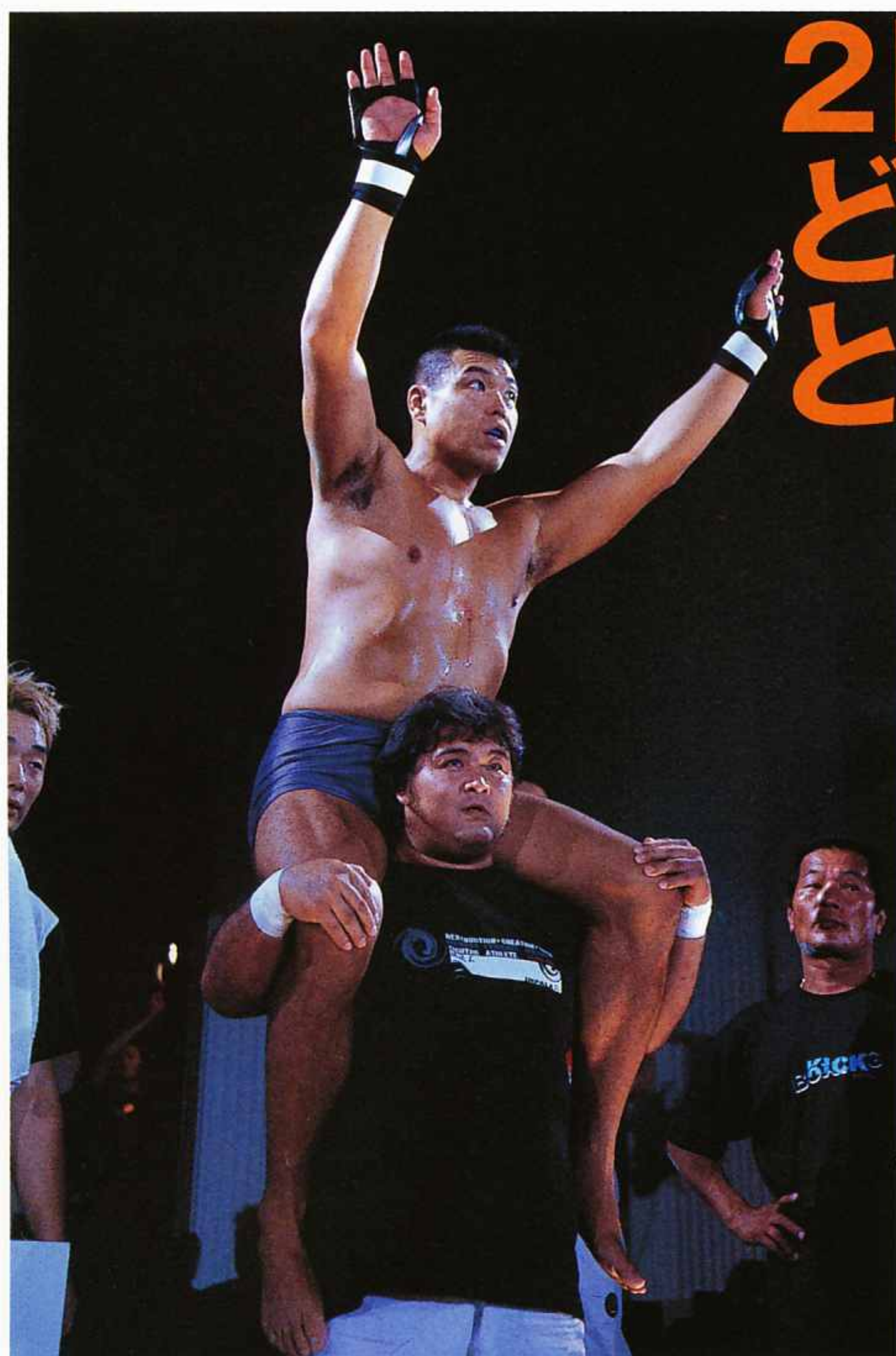
ガファリ戦後の初肉声!

小川直也

FIGHTING ARTIST ST

2回目があることを どうなるにせよ、として討って出るよ

爆進 K-DASH! 灼熱のガチンコ大戦争

聞き手／山口日昇
撮影／森“モーリー”鷹博
designed by さおとめの事務所

【「FIGHTIG ARTIST STO」のニューTシャツをバサッと床に放り投げて】

小川 モーリー、拾え！

モーリー （驚きのあまり言葉にならずに）あっ……へ？ はい？

—よかったね、ニューTもらえて（笑）。

小川 いや、俺はTシャツをあげた覚えはない！

—あくまでも、偶然落ちてるものを拾え、と（笑）。

モーリー そ、それじゃ……じ、人生のホームレスですよ！

—「あのモーリーというカメラマンは、ピンサロ、ヘルス、キャバクラで『俺は小川直也の友達だ！』ってネットで書かれてるらしいですよ（笑）。

モーリー ち、ち、違いますよ。ヘルスは入ってないですよ。

小川 じゃあピンサロやキャバクラではそういうこと言ってるんだ。へぇ～。

モーリー い、いや、違いますよ！ 事実無根ですよ！

—モーリーなら言ってそうなところが怖いよなぁ（笑）。

小川 「友達だ」くらいはまだいいけど、Tシャツ着て「これ、小川本人にもらったんだ」なんて言われた日には、それこそ俺のダメージが大きいからね。だから、あげた覚えはない（笑）。

—さ、モーリーはとっとと、写真撮ってください。でも、そのニューTシャツはいいですよね（笑）。

小川 あ、そうっスか？ ありがとうございます。

—8・8の衝撃は、まず、入場時のそのTシャツの赤でしたね（笑）。それは、まさかホーガンの「HULKAMANIA」Tシャツのパクリじゃないですよね？（笑）。

小川 ぜ、全～然違う（笑）。さ、参考にはさせてもらいましたけどね。

—というわけで、8・8はお疲れさまでした。

小川 はい。疲れたようで疲れてない。疲れてないようで疲れた。よくわかんない大会だったけどねぇ。

—とりあえず選手としては終わってホッとしてますか？

小川 ホッとしてるっていうか、いろいろ複雑ですね、心境が。まぁでも突然舞い込んできたものを、なんとか乗り越えたかなって。それがウマイ乗り越え方だったか、ヘタクソな乗り越え方だったかは別として。正直言うと、精神的に疲れたことは多いけどね。

—ゴング前は、いつになく緊張しているように見えましたね。

小川 俺に対するテレビ局側が求めてる役割っていうのは、第2回、第3回に繋げていくための役割ですからね。成績がよければ続くし、ダメなら続かない。シビアじゃないですか。まぁ、次やるかやらないかはわからないけど、とりあえず、そういう役割の部分としては緊張しましたね。あと久々にUFOと冠のつく興行だし、気合い入りましたよ。あと、やっぱり生というのがね。日本の民放でいま1番でしょ？

—視聴率NO．1ですからね。

小川 そこの番組のゴールデンの生。しかもメインを任されるっていうのは緊張しますよね。なにせ初めてのことですからね。

—さすがの小川直也でも緊張しますか。

小川 それもまた初めてだったからね（笑）。相手はマット・ガファリという選手でした。未知の強豪って言ってもいいけど、オリンピック選手ですからね。基本ができてるから、それは正直怖かったですよ。

—試合後もマイクで「体重差50キロということで、ちょっとテンパってました」って言ってましたけど、試合前からその部分にはプレッシャーは感じてたんですか。

小川 テンパるよね。単純に50キロ差っていうだけじゃなく、なにやるかわかんないし。

—50キロも差があったら、普通は試合受けないですからね（笑）。

小川 それにさ、太ったから動けないとは限らないわけじゃないですか。やっぱりオリンピックで決勝まで行けるくらいですからね。あとズッとアメリカで何回も優勝してたみたいだしね。

—レスリングのパンアメリカン大会では、グレコ、フリー併せて9回優勝してますよ。

小川 べつにヘンなヤツじゃなく、実績のある選手だから、そういった意味でフタを開けてみるまでわからないじゃないですか。

—現在のあの体型や、とくにあのお腹を見てホッとするというわけにもいかなかった？（笑）。

小川 いや～、でもね、試合前にレスリングのときのビデオ見たんですよ、カレリンとやってるやつ。彼はそのときからお腹は出てたからね！（笑）。

あ、当時から出てた（笑）。

小川　もちろんいまよりは全然締まってるけど、お腹はふっくら出てたね〜。

——たしかにあの突進力というか、前に出てくる圧力は凄いですよね。写真で追っていくと、小川さんも嫌がってるように見えるし。

小川　レスリング出身の上、あの体重だから、たしかに圧力はあったね。

——体重差もあるし、足を掬われてテイクダウンされたときは焦りました？

小川　いや、グランドはそんなに気にならない。下になったときの体勢は全然問題ない。むしろ、スタンドで、ズッと押され続けたら嫌だなぁと。押され続けると重いから、それだけでこっちのスタミナが切れちゃうかもしれないからね。体重差が50キロというと、意外とたいへんなんだよ。

——いや、意外とっていうか、とてつもない差ですよ（笑）。

小川　かなりキツいんですよ、実を言うとね（笑）。

——破壊王が試合後に、「最初の1分は全然身体が動いてなかった」と言ってましたけど、自分でも「動けてないな」って感じました？

小川　固かったね、やっぱり。でも、自分でわかってても固いときはどうしようもない……あのドライアイスがいけなかったな！

——ド、ドライアイス⁉

小川　入場のときにドライアイスが両側からブワーッって吹きかかるんですよ！　それで身体が冷えちゃって、あれは勘弁してもらいたいなって。

——花道に出るときのスモークですか？

小川　そう。かなりの冷気で吹きつけるんですよ。けっこうブルーになりましたよ、あれは。まったく予知してないことがきたから。

——そういえばガファリは、両手でTシャツをブンブン振り回してなかなか花道を進まなかったんですよ（笑）。観てた人は「出のタイミングがわかんないんだろう」と思ってたんですけど、ガファリに聞いたら、「あれは武蔵と小次郎の〝武蔵戦法〟を取って小川をジラしたんだ」って言ってましたね（笑）。

小川　ダーッハッハ。面白いね。

——でも、小川さんが先にリングに上がってるんならわかるけど、小川さんのほうが後から入場だったんで、〝それはどうかな〟と思ったんですよ（笑）。

小川　ダハハハ。客をジラしたんじゃねぇのか？　あ、一番は日テレをジラしたんじゃないの？

——でも、いまのドライアイスの話を聞くと、ガファリ戦法は功を奏してますね。ガファリがTシャツをブン回してる間、小川さんの身体はドライアイスで冷えていったわけだから（笑）。

小川　ねぇ。あれはマジでマイッタね。

——試合的には左ストレートが入って、あっけなく決まりましたよね。

小川　カウンターだったけど、俺的にはあそこから寝技にいこうかなと思ったら、倒れたままロープを掴みだしたから、これは立たせるしかないなと思って殴りにいったんだけど、その矢先ですからね。ホントに今回は勝ったことが一番いいことなんだぞ、と言い聞かせるしかないっていうか。とにかく、もっといい試合になればよかったなとは思いますけど、それは明日は我が身でね。仮に逆の立場になってることもあり得たわけだから、贅沢は言えないなって。相手が「もう、できない」ってなっちゃったら、もうそれまでじゃないですか。

——カウンターは手応えはあったんですか？

小川　あれはバッチシいきましたね。向こうも圧力あるし、出てこようとしてるときだから。カウンターっていうのは、相手も自分の体重がモロに乗っちゃうでしょ。でも、あれで止められたときは「え？　まさかな」って。

——ガファリがうずくまったときの小川さんの戸惑い方がリアルでしたね（笑）。

小川　「オイオイ！」って感じだよね。でも、「止めるのが早い」っていうことに関しては、選手も前もって説明受けてると思うんだよね。結局、日テレもこのイベントを1回で潰したくないっていうのがあるから。これは凄く考えてのことなんだと思うんだけど、「早めに止める」っていうことを決断したんだと思うんだよね。生放送で一番クローズアップされるのは血の部分じゃな

伊原ジムの伊原会長、佐藤耕平、そして破壊王をセコンドに従え、いまやスティーブ・コリノのテーマ曲にもなっている『ギャラクシー・エキスプレス』で入場

8・8 UFO LEGEND at 東京ドーム

○小川直也（1R1分56秒 TKO）マット・ガファリ●

ロープやコーナーに押し込まれないようにガブっていくオーちゃんだが、見た目以上にガファリの圧力はあった。50キロ差というのは、とてつもない差なのだ

基本はグレコの選手だけに、ガファリはその巨体＆蛇腹で突進！　差し合いからヒザまで繰り出してきた。さすがのオーちゃんもその巨体を持て余し気味

闘い以外のプレッシャーが大きかったのに加え、入場する前の、ドライアイスのスモークで身体が冷えてしまったオーちゃん。いつになく表情がカタかった

小川直也

入場の時のドライアイスで身体が冷えてきちゃってマイッタね

いですか。

——いまは昔と違うから、あっという間に問題になりますよね。

小川　生放送で残虐性が見えたりすれば社会的な問題まで入っちゃうから。ガファリは鼻血がドバーっと出て、血が滴ってたからね。プロレスも昔、流血問題でけっこう賛否両論あったけど、最近はとくにうるさいからね。そこを考慮しての、早めのストップだったんじゃないかな。編集できるんだったらいいけど、生だから編集できないでしょ？　厳しいよね。他にも「止めるのが早い」っていう試合があったかどうかわからないけど……しょうがないよね。

——試合内容的には〝プロレスラー〟としては納得してないですか。

小川　まぁ、今回はしょうがねぇかなと！（さわやかに）。

——とかいって、けっこう落ち込んでたりします？（笑）。

小川　お、落ち込みましたよ！　落ちこむっていうか、スカっとしないっていうのはありますね。勝てたことは凄くよかったんだけど……難しいですよ。見てる側にしてみれば、あっけなかっただろうから、そう言われたらそれまでだけどね。やっぱりファンの期待に応えたいとは思うんだけど、どうしようもないっていうね。言い訳になっちゃうけどさ。

——たしかに小川さんの強さがストレートに伝わらなかったのは残念だけど、でも、ガファリっていうキャラを発掘したのは凄い功績ですよ。「敗因はコンタクトレンズがズレたから」っていう試合後のコメントもバツグンですからね（笑）。

小川　あれには俺もズコッ！　ときたよ。

——ガハハハ！　コンタクトレンズがズレて視界が見えなくなって、パンチをもらったと言ってましたよね。

小川　「最初のジャブでズレた」って言ってたらしいね。

——ガファリは実にいいキャラですよ。ぜひZERO—ONEに出てほしいなぁ。

小川　まぁ、俺的には、あの試合も「プロレス」として捉えてるんで、彼が上がるリングを問わなければ、彼の気持ち次第になるんじゃないかな。

——試合後の勝利者インタビューでは、小川さんの口からは「次はここに来てる夢のある人と。最強と呼ばれる人とやってみたい」と言うにとどまりましたけど、アナウンサーがヒクソンの名前を出しましたよね。

小川　日テレのアナウンサーもうるさいことばっかり言うんだよね。名前を出しちゃダメだっていうの。アナウンサーは知らないから、本番で言わしちゃえとか思ってるんだろうけど、ヒクソンはそういうのを嫌がる男じゃないですか。だから、俺は心の中で一生懸命「ダメだ！」「やめろ！」って言ってたんですよ（笑）。だって終わった後に、（UFO・川村）社長に言われたもんね。「いやぁ、（小川が）名前出さなくて助かったよ～」って。「ああいうこと一番、彼は嫌いだからな」って。社長は日本におけるヒクソンのボスですからね。

——はい（笑）。

小川　あそこで名前なんか出して煽られたら、できるものもできなくなっちゃうっていうのがあるから。

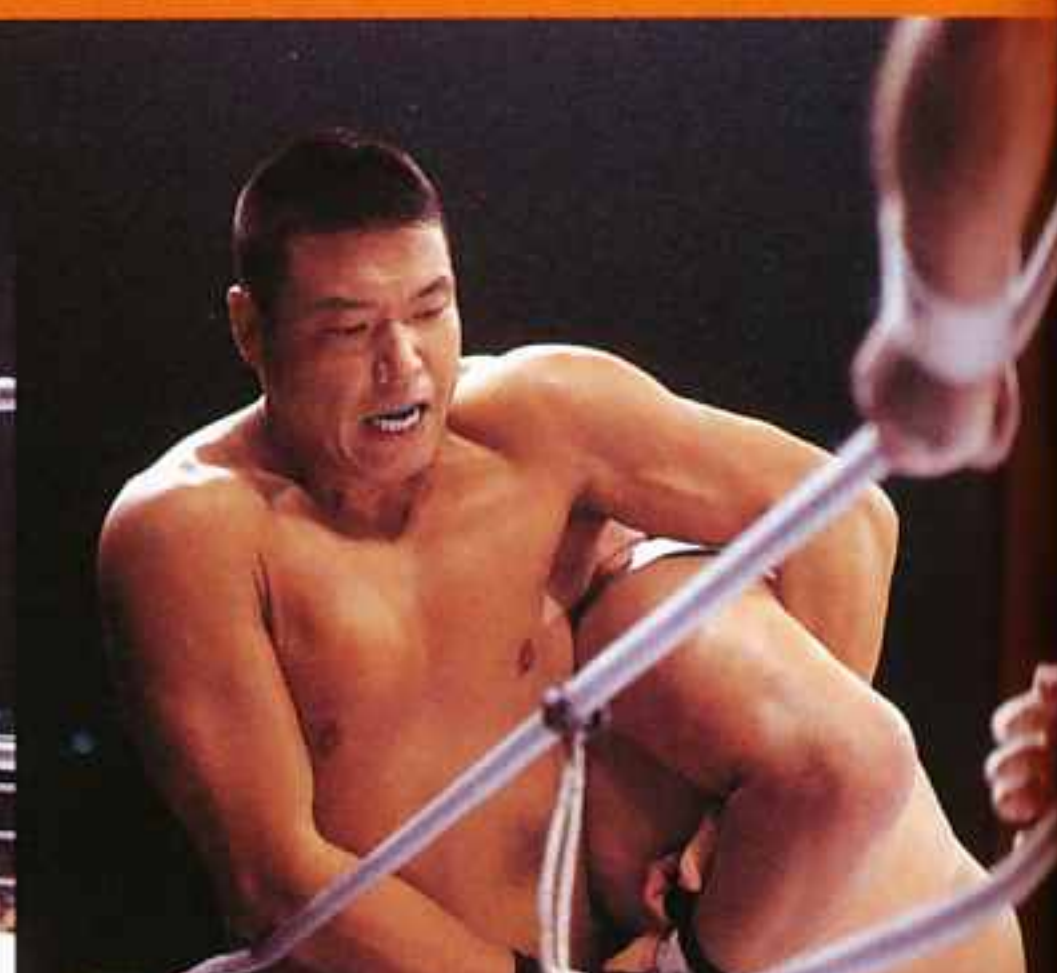
——あれでいつものように「ヒクソンさん、目を覚ましてください！」とか言っちゃったら、大変なことになってますね（笑）。

小川　俺は散々、それをやって失敗してるんだ

灼熱のガチンコ大戦争
爆進 K-DASH!!

「オガワはグッド・ファイター。オガワ、フジタ、ノゲイラ。闘うのは誰でもいい。ただ、オガワが（対戦を）名乗り出る先頭に立つ選手だ」と試合後に語ったヒクソン

「なんだよぉ、殴るなよぉ」という感じでヘタりこんだガファリ。「えっ？」と戸惑いを見せたオーちゃんだが、パンチで追撃したところでレフェリー・ストップ

そして放たれたカウンターの左ストレート！　打撃センスがありまくるオーちゃんだが、この一発で鼻血を滴らせたガファリは戦意喪失。ガファリ、カムバック！

ロープ際、バックを取らせながらもアームロックを狙うオーちゃんだが、ガファリはこれは怪力＆強引に突き放して脱出。そこからまた牛のように突進だ

足を掬われテイクダウンを奪われたオーちゃんだが、ムキになって殴りにくるガファリを冷静にインサイドガードから対処。両者は再びスタンドに戻り試合再開

からさ！（笑）。

――アナウンサーも「最後は自分が盛り上げなきゃ」っていうのがあったかもしれないですね（笑）。

小川　あの時はアナウンサーに「バカヤロー」って心の中で思ったけど、放送中だから言えないからさ。

――そのヒクソン戦に関しては、「ヒクソンに預ける」と、小川さんは試合後に言ってましたよね。

小川　チャンスはつくっとくべきでしょ。可能性がないっていうことはないんだから。正直言って、このまま伝説の格闘家になってもいいのかなっていうのはあるけどね。

――え？　ヒクソンがこのまま引退しちゃってもいいんですか？

小川　半分は仕方ねぇなって。今回みたいに「アーツやミルコとできる」って思ってたら、アレレってなっちゃうのもツライからさ（笑）。あとは川村社長とヒクソン次第！

――なるほど。プロレス村の中では、小川さんをいまだにプロレスラーとして認めたくなかったり、いわゆる"招かざるガイジン"扱いしたがってる空気も感じられますよね。

小川　は？　知らない。まぁさ、今回は俺も試合内容については言い訳しか出ねぇけど、唯一救助かったのは視聴率だよね。

――平均10・8％で、瞬間最高が小川さんの試合で21・2％でしたね。

小川　俺の試合の平均は18％くらい取ったらしいから。

――それは実に立派な数字ですよ。「ドーム史上最低の2万8千人」とか平均視聴率や瞬間最高視聴率は新聞や週刊誌でよく見かけましたけど、その数字はあんまり目にしないですね（笑）。

小川　テレビに出てることが無駄じゃなかったっていうことだよね。やっぱりテレビに出て、世間にアピールしていくっていうことは一つの道として必要だなって思ったよ。

――もっと俺をホメろと（笑）。

小川　ダーッハッハッハ。別にホメてくれっていうことじゃないけどさ、18％取ったことからどんな可能性が生まれるかとかさ、プロレス界がどんなことを考えなきゃいけないとかさ、そういう問題提起をしてほしいよね。

――最近、謝罪文事件で名を轟かせた『週プロ』の佐藤編集長は、"週プロ的アプローチ"で「小川はもっとキラーになってもよかった」と書いてますよ。要は躊躇せずにトドメを刺していれば印象は違ったんじゃないかということですよね。

小川　キラーになる前に向こうがオーバーしちゃったから。

――あのガファリのキャラを見るとトドメを刺し辛いところはあったんですか？

小川　これからっていうときにレフェリーが止めちゃったからね。

――さらにその名編集長は続けて、「小川の試合には何が欠けているかというと、ハッピーエンド。いつもどこかしらに胸のつかえのようなものが残ってしまうのだ」と書いてるんですけど、今年の試合に限っていうと、たしかに始まりが佐々木健介戦（1・4新日本・東京ドーム）の無効試合が始まりだったから、そう言うのもわかる気がしますね。

小川　なんか結局、最後はそういうふうになっちゃうんだよね。面白い具合にスカッとはしないよね。

――ZERO－ONEの地方興行では毎回スカッとさせてますけどね（笑）。

小川　でも、結果だけ見たらスカッとまではいかないんだよ。両者リングアウトとかあるから（笑）。「いまの時代に両者リングアウトはねぇぞ！」とか、凄い罵声浴びせられたけどね。なんか今年の俺は、次へ次へと課題が残っていくみたいなさ（笑）。

――結局、『週プロ』にしても、他の業界誌紙的にも、小川さんへの期待感やハードルがメチャクチャ高いということですよ。

小川　まぁ、俺的にはね、今回やったことを、ホントにプロレスに反映させていくっていうことが重要だからね。

――だから、小川さんの世間に対する遠心力は完全に証明されたと思うんですよ。でも、いま小川さんに求められてるのは、世間に対する求心力だと思いますね。それは、結果的にうるさいマニアをもひれ伏せさせる作業にも繋がるんですけど。

小川　マニアはね、永遠に「アンチ小川」なんですよ。アンチ・ジャイアンツと一緒で（笑）。

――ああ、メジャーなものは虫が好かない病ですね（笑）。

小川　それはそれで構わないんだけど、問題はどうやってプロレスというジャンルを復活させていくかってことでしょう。役割もなく永遠にプロレスを続けてるのも嫌だし。適材適所っていうのがあるんだからさ。俺は世間を一生懸命振り向かせようと思ってやってるだけだから。

Tシャツや耳当てポーズだけではなく、マッスル・ポーズまで繰り出すようになってきたオーちゃん。ホーガンのように"リビング・レジェンド"となれ！

灼熱のガチンコ大戦争 爆進 K-DASH!!

小川直也

〝ダメだ、ヒクソンの名前は出すな〟って心の中でアナに向かって呟いたよ

――いや、そういうことへの後押しをしてもらうっていう意味でも、プロレスファンやマニアのハートをワシ掴みにすることも、いまだからこそ必要ですよ。

小川　難しいだろうなぁ、それは。プロレスファンっていうのはホント難しいと思うよ。プロレスファンって思い入れで成り立ってるとこがあるからさ。俺はまだこの業界浅いから、年数重ねていくしかないかなって。しょうがないよね、10年20年やってきた人と5年くらいの人間じゃあさ。

――ああ、小川さんってまだ5年しかやってないんですね！（笑）。

小川　そうですよ。だから余計エラそうに見えるのかな？　まぁ、ザマァミロって感じだけどね（笑）。

――ガハハハハ。たしかにプロレスには歴史と記憶の蓄積が必要ですからね。いま小川さんの盟友である破壊王にしても、小川さんに潰されたときやその前後はもの凄いバッシングを受けてたにも関わらず、いまや揺るぎないですからね（笑）。

小川　そうだよね。ファンって勝手なもんでさ、人がいいときはダメなんだよ。落ち込んで復活してくるときに「いいぞ～」って応援してくれる。それがいまのZERO―ONEなんだろうし。

――だから逆説的に言えば、小川さんは、まだ大きなコケ方をしてない。それがファンといま一つ噛み合わない一番の原因かもしれないですよ（笑）。

小川　世間の目を考えるとコケちゃいけないっていうプレッシャーがあるからね。

――「なんで小川がプロレス代表なの？」と感じてるファンは多い」みたいな書き方もされてるし。

小川　だから、正直に言えばさ、これまでの歴史が長い人がね、「プロレスを背負って出て行く」ってなればさ、「頼むから出て行ってください」って言いたいもん。それを言わずに、俺がやることを、ただ文句言いながら見てるっていうのが凄いなって思いますよ。逆に言うとね。

――小川さんは、誰もやらないからやってる（笑）。

小川　そういうこと。勝手な思いこみでね。それと長期的な展望を持って。俺なりにこれしかないって思ってるから。

――その役割はホントに大変だと思いますよ。逆に純プロレス的な考え方だと、「そんなことを言う前に、プロレス的な名勝負を残して初めて一人前だ」みたいなところがあるんでしょうね。

小川　だから、プロレスがさ、どんどん衰退してるのに、いくら村の中でやっても無駄なんだよね。

――無駄！（笑）。

小川　プロレスこそが最高の舞台っていうけど、最高の舞台は作れてないじゃない。ゴールデンタイムでプロレスをやってくれるんならいいけど、それすらないわけでしょ。村の中に閉じこもっちゃってる、村の中のコメントじゃハッキリ言って話にならないって！　世間一般的に言わしてもらえば、プロレスっていうものはホントにテレビの業界のなかじゃいらない存在ですからね。もっと言えばお荷物の存在ですから。そういった事実に向き合ってほしいですよ。俺なんか相手にしてないでさ（笑）。なぜお荷物なのか？　どうお荷物じゃなくするのか？　もっと自分たちが存在する世界の地位向上を目指さないと。小川はダメだと決めつけてるなら、とっとと見切りをつけて、違う奴で商売しろよって言いたいね。

――そりゃそうだ。そっち方面でも闘う人、向き合う人がいないとどうにもならないですからね。

小川　俺も30～40年も現役生活やってるわけじゃないからさ、限られた時間でどうしていくかっていうことだよね。要はね、今回のテレビ中継見て、「プロレスって何だ？」って思った人や、プロレスっていうものを知らない人も多いと思う。俺たちの世代より10個下くらいまでかな、プロレスを知ってるのは。それ以下の人はプロレス知らないからね。

――いまや知ってるのは固定ファンだけですからね。

小川　そうそう。だって20歳くらいの人に「プロレス」って言ったって厳しいよね。固定ファンしか相手にしないいんだったら、いずれ減っていくだけでしょう。

――いま、プロレスという概念の代わりにあるのが、『PRIDE』やK―1ですよ。

小川　うん。そういうことに対して、プロレスが這いつくばってでも存在を示さなきゃならない。いまが正念場でしょう。

――ギリギリの崖っぷちですよ。

小川　それを気づかないでさ……マスコミにしても、自分たちの意のままに動いてくれるプロレスラーや団体が好きなのはわかるけ

灼熱のガチンコ大戦争
爆進 K-DASH!

どね。いまは完全決着のどっちが勝ったかで胸のつかえが取れるやつがいいわけでしょ？　でも、橋本さんと俺の中で共通するのは「一話完結にしたくないんだ」と。

——点じゃなくて線にしたいと。それにはやっぱりテレビというメディアが必要ですよね。

小川　でしょ。俺は、川村社長にハッキリ言われたよ。「地方には行かないでくれ」って。でも社長とケンカしながらでもさ、地方に行ってるのも少しはわかってほしいかな。社長としてみれば「なんで地方に行く必要があるんだ」と。地方に行くっていうのはウチの社長は昔の人だから、その感覚でいくとドサ回りっていうイメージがあるんですよ。

——ドサ回り！（笑）。

小川　要するに、昔に一世風靡した人が地方を回ってお客さんを集めてるっていうイメージがある。でも俺は、テレビがプロレスから引いている中で、リアルタイムで見られない地方のお客さん、大会場に見に来られないお客さんに見てもらいたい。そして俺やZERO—ONEの試合中継が早くキー局でレギュラー放送されるよう応援してもらいたい。そうすれば試合数も増えるし、試合数が増えればより多くの　会場に行くことができるでしょ？　だからこその地方復興なんですよ！　昔、どっかの団体が地方に行ったら手を抜く手を抜かないっていう話があったらしいけどさ、ZERO—ONEに関しては一切手を抜いてないしね。そういった意味で崖っぷちな団体だから目一杯やってるよね。

——おそらく小川直也憎しの一部マスコミやマニアにしてみれば、小川さんのプロレスというものに対する本気度が測れないっていうことなんじゃないですかね？　「すぐ飽きるんじゃないか？」っていうのがあるんだと思うんですよ（笑）。

小川　そんなことないよ、全然。失礼だな〜（笑）。ZERO—ONEは旗揚げから一緒にやってきて、途中で師匠と（猪木）意見の食い違いがあってさ、言うこと聞かないでやってるんだから。わかってほしいよね（笑）。

——いい加減、本気なのを信用しろ、と（笑）。

小川　師匠に「やめろ」って言われたとき、1回だけあったよ。師匠に背いたのは。それは橋本さんがバラしちゃったからさ、俺がえらく辛い心境だったけど。

——そういう意味では、いろんな政治力と闘ってますよね（笑）。

小川　そうですよ〜。政治力に負けたら地方には絶対出れないんだから。ウチの社長って芸能界でトップの顔じゃないですか？

——超大物ですよ！

小川　その人に刃向かって……刃向かってっていう言い方はおかしいけど、地方に行くっていうのはわかってほしいよね。ちょっとはさ。

——「政治力には負けない」っていうのはそういう部分も含まれているわけですね。

小川　でも、だからこそウチの社長に恥かかせちゃいけないっていうのがあってね。今回も大会前のゴタゴタがあって、絶対こんなことをやってたら失敗するってわかってて受けたというのはあるよね。俺はハッキリと日テレの人にも言いましたからね。「興行的に絶対こんなの無理ですよ、失敗しますよ」って。でも、「小川さんがメインで出てくれる。それだけでいいんです」「今回の試合は、小川さんが総合格闘技に出てくれることが、ボクたちの最大の目的なんです」と言われてね。だから「俺はプロレスというものに意地を張ってるから、それでもいいですか？」って言ってね。そうしたら「小川さんが、たとえ〝プロレス〟という意識でいても、〝バーリ・トゥード〟をしてくれればいいです」って。えらい考えたけど、ここで日テレとケンカしたらプロレスを放映することを頼めるチャンスもなくなってくるしね。だから、これも「プロレス」のひとつという捉え方で出ていった。とりあえずプロレスを応援してもらえる足掛かりを少しでもつくればいいかなと。

ZERO-ONEでは、師匠と政治力に背いてまでやってるんだからさ

小川直也

——『LEGEND2』があるとしたら、やっぱり総合格闘技の大会っていう位置づけになるんでしょうね。

小川　だから、『LEGEND』の主催者側は総合格闘技っていう区分けでもいい。俺がプロレスと総合格闘技を分けずに出ればいいだけで。それでゆくゆくは、『UFO・LEGEND』じゃなく、『UFO・ZERO—ONE』でできればいいなって。

——『UFO・ZERO—ONE』！

小川　そういうことをしないよりは、やれば可能性が増えていくわけじゃないですか。なんにもしなきゃ100%ナシのところが、やることによって可能性が1%でも増えれば、俺はそれでいいと思うし。そういうことに賛同してくれて橋本さんもセコンドに着いてくれたわけだから。まぁ、同じチャンネルにノアがあるっていうのは問題なんだろうけどさ（笑）。

——そういった壮大な目的があるんですね。

小川　そういう目的がなければ絶対、俺はやるつもりはなかったし、かえってこれを引き受けることで、結果的、イメージ的にマイナスになってしまう可能性だってあったわけだし。でも損して得とれじゃないけど、損する中でも、少なからず、俺と日テレとのパイプっていうのができたからね。それを俺はプロレスのために活かしていきたいからさ、今後。

——「きっかけはフジテレビ」じゃなくて「きっかけは日テレ」ですか（笑）。

小川　ダーッハッハッハ。「日テレブランド！」（笑）。

——ホント、ゴールデンタイムでZERO—ONEやってほしいですよ。マジで（笑）。

小川　それも今回の『LEGEND』出場を断ってたらなんにもなくなっちゃうしね。そういう場に出るのを閉じちゃったら、プロレスの可能性が開けないですからね。

――総合格闘技のイベントであっても、プロレスラーとして出て行けば少しでもチャンスは残ると。

小川　そういう目的があるから、まぁ今回は騙されてもいいやっていうさ。

――騙されてもいい（笑）。

小川　自分で自分を騙さないとできないじゃないですか。3週間前に相手を聞かされてコンディション作って、大会自体もなんだかよくわからない状態で、ふつうなら「フザケンナ」っていう話だけど、俺はそう言いたくても言えないからさ。

――しかもこの後すぐ、ZERO―ONEの地方巡業が控えてますからね。

小川　まだどこに出るのかもよくわかってないんだけど、破壊王のお膝元の岐阜には必ず行かなきゃね。

――小川さんの遠心力をもっともっと活かすには、首根っこを掴んででも振り向かせるための求心力が絶対必要になってきますよね。

小川　うん。

――その求心力っていうのは、大きな遠心力が働く場で、小川さんが凄ェ試合をやればカンタンにつくんですよ。だから、もし『LEGEND』の2回目があったら、ヒクソンでもノゲイラでもいいから、思いきりブッ飛ばしてほしいですね（笑）。

小川　2回目があることを願ってね。まぁ、どうなるにせよ、俺はプロレスラーとして、それも「プロレス」の試合だという位置づけでやっていくから！……ん？　モーリー、写真撮り終わったの？

モーリー　あ、はい。あとはメインカットだけです。

小川　なに言ってんだよ、今日は偶然Tシャツ拾ったんだから、もう早く帰って寝なさい。先生、さよ～なら。みなさん、さよ～なら。

モーリー　あ、いや、うへっ。小川さん、ちょ、ちょっと待ってくださ～い（泣）。

【8月16日／東京・白金台・UFO事務所にて収録】

次号で、ホーガン『HALKA MANIA』Tシャツを参考にした
オーちゃんNEW・Tシャツをプレゼント!!　耳あてポーズをして待て!!

灼熱のガチンコ大戦争
爆進格闘技 K-DASH!

『LEGEND』前『LEGEND』後もブッ飛びまくり!! アントン劇場

UFO。未確認飛行物体。未確認なら、当日まで出てきちゃいけねぇのかなと思いますが。ンムフフフ。

●（川村社長にマッチメイクを任され）一番イヤな仕事をおっつけられたなと。エッ！ というようなものを用意したいなと。ドン・フライも、もう一度オレと闘いたいなんて言っていたもんで、オレも道場に行ったら、つい、その気になったところもありまして。アクシデントがおきた場合は、もしもオレでよかったらという考えで、多少トレーニングに励んでおります。

●当日までに、いろいろまた問題が起きるのかなとは思いますが、問題は問題じゃないというのが私の持論でして。いろんなゴタゴタがあるかもしれませんが、それはかえって試合を盛り上げることになるんじゃないのかなと。

【6・27／『LEGEND』開催決定会見】

●俺は最初から触ってねえですから、何かあれば相談に乗りますけど。

●俺のほうは無責任なことを言うわけにはいかないし、できるだけ口数を少なくしようと。

●（札幌の藤田復帰戦は行くのか？）ちょっとねえ、電気のほうが急転直下動きだしてしまっているんで。大量生産に入るための準備にかかっているから。

●やっぱり一つの英断というか、決まったことを変えるというのは難しいと思うんですけどね。そういう英断をくだせればね。いろいろやってみて、結果は結果で。みなさん若いから、いろんな経験したほうがいいだろうってね

【7月17日／成田会見】

元気ですかーッ！ 元気があればなんでもできる。

元気が出れば一歩踏み出す勇気。小さい常識、ブチ破れ。家がなくても、金がなくても、おなごがいなくても、ボロは着てても心は錦。オレの心にデッカイ夢がある。誰が得する今夜の東京ドーム。出ればタイソン、戻ればヒクソン。今日のお客にソン（損）はさせない8・8は熱い夜。燃えに燃えて燃え盛れッ！

いくぞーッ！ 1、2、3、ダーッ！

【8・8／『LEGEND』リング上にて】

今回は2時間の生中継。そのためには"環状線の外側"にいる人間を意識しなければ。

●（8・8安田のダブルブッキングについて）新日本がうだうだ言うなら、ジェット機チャーターして両方出たらいい。

●（安田が連戦になることについて）関係ねぇよ。アイツは死ぬことを覚悟してたヤツなんだから、リングで死にゃあいいんだよ。

●（小川は）ケンカすんなら、イベントなんかブチ壊して、日本テレビをすっ飛ばすぐらいのことをしてほしい。

【7・22／成田会見】

手を尽くしたが、どうにもならなくてね。ンムフフフ！

●まあ、川村さんも大変な役割を背負ってるというか。俺はもうイチイチ選手にあれこれ言うのもあれなんで。

【8・5／成田会見】

●今回、（タイソンが）日本に来るという返事のファクスが、ここにくる5分前に届きました。

●タイソンをどう登場させるかは"おまかせ"と言われてしまいまして。まかせられちゃった以上、私も"パフォーマンス"をやらなければいけないのかなと。ンムフフフ。

【8・6／『LEGEND』直前会見】

●（タイソン来日中止について）時々はオレも、本当のことを言いますから。ダーッハッハッ！

●タイソンが来れなかったのはオレのせいじゃないよ。

【8・8／来日中止の理由となった「タイソン乱闘事件」の記事を見せながら】

●本人たちが一番やりたくない試合が、ファンが一番見たい試合。私も見せたくない、こんな非常識な試合が実現してしまいました。みなさんの夢に応えて、力いっぱいやってくれッ!!

【8・8／藤田 vs 安田戦のゴング直前、リング上で】

ホエアー、ヒクソン？

【8・8／『LEGEND』リング上からヒクソンに】

●ヒクソンは以前ほどのオーラがない。400戦無敗が450戦無敗とかになっている。そんないい加減なことじゃ伝説はつくれねぇというか。

●今回のように1カ月切ってから（大会の）準備をするようなケースは勘弁してほしいね。

【8・12／成田会見】

TAKAみちのく、星川尚浩、佐藤耕平に次いで
田中稔の“里帰り参戦”も決定!!

9.2後楽園、情念の男たちが大集合!!
蘇れ、バトラーツ“バチバチ”伝説!!!

新日本のIWGPジュニアタッグ王者・田中稔が、古巣バトラーツのリングに〝里帰り〟! 8月12日、越谷のバトラーツジム2F「串焼き石川屋」で、9月2日後楽園大会全カード発表の記者会見が行われた。

ZERO-ONEの佐藤耕平も出席した会見で、すでに発表済みの3カードを含む全カードのアナウンスがなされた後「この6カードが全てだったんですが、この他に、ゼヒ自分も出させろと、名乗りをあげてくれた選手がいます」と石川雄規が宣言。現れたのは、今やすっかり茶髪となって新日本ジュニアの頂点に立つ、田中稔だった!!

田中は「イヤ、今日は、串焼きを食べに来ただけですんで」とは言いながらも「9月2日は、自分から参戦を希望しました。突然のわがままだったんで、感謝しています」と、あくまで田中稔自身が〝古巣〟バトラーツのリングでの闘いを望んだということを強調。

「石川さんに恩返しもせずにやめてしまったという気持ちがあった。前回は新婚旅行でバリに行っている時だったんで、参戦できなかった。このチャンスを逃したら、またしばらく参戦はできないと思ったので、思い切って、つぼ原人を通じて話をしました」。

石川社長は、「田中が戻ってきてくれたからと言って、ノスタルジックな、振り返るだけのものにするつもりは全然ない」と、大会に対する志の高さを語っていたが、田中稔が戻ってきたことはやはり嬉しいようで、田中を満面の笑みで歓迎。だが、そんな和やかな雰囲気も、会見後、話題が前回の興行に対する反応のことになると一変。石川社長は「ワールドカップの日本vsロシアがあるから見に来れない、なんて言ってたヤツいるけどよ、そういうこと言ってたヤツは、今回ぜってー(絶対)見に来いよな。

見に来ないヤツとはもう口聞かねぇ!! (石川)

見に来ないヤツとはもう口聞かねぇ。だって、そう言ってて見に来ないって、それウソってことじゃん。ウソついてたってことじゃん!」と、小学生のように怒りだした。臼田は「ノブの野郎、『バトなんか見たうちに入らない』とか言いやがって」と、本誌前号のZERO-ONE座談会での本誌営業力士・スモーノブの発言に対し激怒。

その事を伝えると、スモーノブは「オレはそんな事言っていないんですよ!」と菊田風に逆ギレしていたが、怒っている時こそ、社長・臼田らのファイトは燃え上がり、観客の心に突き刺さって離れないものとなる! スモーノブの発言も、それを願っての〝奮起剤〟であったに違いないのである!(いい加減なフォロー)。

「ホント、たくさんの人に見に来て欲しいね。この間の再旗揚げ戦のお客さんの熱気はものすごかった。あの人数で、あの熱気が出せるのなら、満員のお客さんが入ったら、旗揚げの頃の熱気を上回ると思う」と、石川社長は目をギラつかせながら語った。「それに、今回満員にならなかったら、ホントに潰れるかもしれないしね」……。

気になる田中の対戦相手について、田中は「やるんなら、社長、臼田、カールのいずれかとやりたかったんですが、みんなカードが決まってしまっているので、相手はとりあえず〝X〟ということで。バトのバチバチスタイルがやれる相手ということで、ボクの中では相手は決まっています。そいつが名乗りをあげてくれるのを待ちます」と、名前を出さずに〝対戦表明〟。「バトのリングでずっとそいつと闘ってきました。気付いてくれるかなぁ。それとなくメールでも送っておきます」と、〝メル友〟であることのみ明かしてくれた。対戦相手であるにも関わらず、田中がアドレスを知っているほど、田中と深い関係にあるレスラーとは……⁉ 府川唯未か⁉(それは田中の奥さん)。

……新日本ジュニアの中心人物である田中を、バチバチスタイルで迎え撃つ実力を持つ対戦相手とは……⁉ 謎の男〝X〟が名乗り出るのを待て!!

(ささきぃ)

写真は、田中稔のバトラーツ最後のリング・2000年11月3日のTFMホール試合後のもの。田中は「今回を逃したら、もうあと何年かはバトラーツのリングに上がることはできないと思うんで。その謎は、新日本10月14日のリングで明らかになります」と、意味深なコメントを残していた

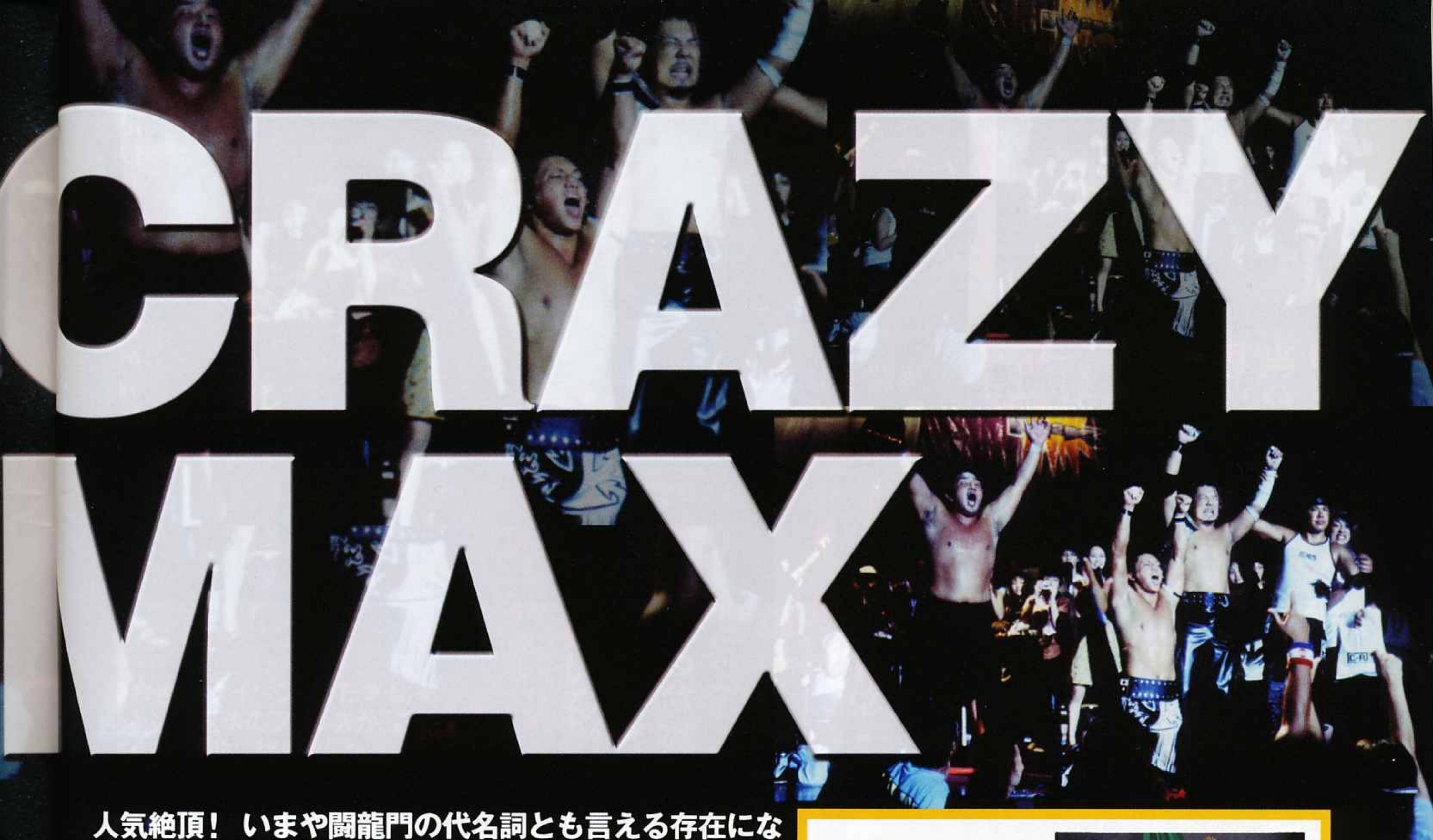
バトラーツ『PASSION』

9月2日(月)東京・後楽園ホール 試合開始:19:00

1. 真霜拳號(K-DOJO) vs サンボ大石(K-DOJO)
2. 倉島信行 vs 越後 隆(U-FILE CAMP)
3. リック・リー vs 佐藤耕平(ZERO-ONE)
4. 田中 稔(新日本プロレス) vs X
5. 原 学 vs TAKAみちのく(K-DOJO)
6. 臼田勝美 vs 星川尚浩(ZERO-ONE)
7. 石川雄規 vs カール・コンティニー(カール・マレンコ改め)

※試合開始前に、“FUTURE-B”として、アマチュアマッチ1試合を予定している。

[お問い合わせ] バトラーツ 048-963-0005

CRAZY MAX

人気絶頂！ いまや闘龍門の代名詞とも言える存在になったクレイジーMAX。かつて“世紀末の超特急列車”と呼ばれた彼らの勢いは、21世紀になってもとどまることを知らず、遂に有明コロシアムのメインにたどり着いた。そしていま、新たなる闘龍門T2Pを迎え撃つ！

9.8 ARIAKE COLOSSEUM

イタリアン・コネクションとUWA世界6人タッグ戦決定!!

聞き手／堀江ガンツ
撮影／乾 晋也
design by ZERO graphics

——今日は闘龍門旗揚げ以来最大のビッグマッチ9・8有明コロシアム大会直前ということで、その主役であるクレイジーMAXをよりよく知るために伺いました！ まず、基本的な質問なんですけど、クレイジーMAXというチームは、どのようにして結成されたんですか？

CIMA 一番わかりやすく言うと、闘龍門一期生としてマグナム（TOKYO）、フジ、SUWA、CIMAの4人がいたなかで、反マグナム派が結集したのがクレイジーMAXですね。

——反マグナムですか（笑）。

CIMA 最初、4人でメキシコに行ったとき、マグナム、CIMAペアとフジとSUWAのペアで住んでたんですけど、自分がマグナムについていけなくなって部屋を飛び出して、フジ、SUWA部屋に入れてもらったのがきっかけなんですよ。

——マグナム選手はなぜ孤立したんですか？

CIMA 日本逆上陸以来ずっとベビーフェイスでやってたんで、リング上では皆さんわからなかったと思いますけど、当時から私生活がいまのマグナムだったってことですね。

——私生活がヒール（笑）。

SUWA ようやくいまになって、リング上でも本性を現わしたんですよ（笑）。

フジイ ホント人前ではいい顔してましたからね～。

CIMA そこにやっぱり、みんなが嫌気さしたんですよ。で、自分ら三人とマグナム一人に分かれたんですけど、その後に二期生とか入ってきて。そん中でTARUさんと出会って、TARUさんとは意見が合ったんで、最初はクレイジーにTARUさんの頭文字をつけて「クレイジーMAX with T」というチーム名になったんです。

——「with T」ってどっかで聞いたような……（笑）。

CIMA 「H jungle with T」ってあったじゃないですか。当時から見ても5年遅れぐらいだったんですけど、それにかけてつけたんですけどね（笑）。

フジイ ……何やの？ そのウィズなんとかって（たどたどしく）。

TARU わかってへんのかい。あとでゆっくり説明したるから。

CIMA （注）で書いといてください。「フジイは意味がわかってない」って（笑）。

——了解です（笑）。「クレイジーMAX」というチーム名にはどんな由来があるんですか？

CIMA 校長に「お前ら三人で組むんだったら、何か名前考えろ」って言われて考えたんですけど、「クレイジーMAX」以外にもいろいろ候補はあったんですよ。

フジイ いろいろ出しましたねぇ。

SUWA 金はないけど時間だけはあったんで、三人で練習終わってからリングの上でダラダラと考えてましたからね（笑）。

CIMA その中で一番ショッパかったけど、なぜか通ってしまったのが、記号で「○×△」って書くやつですけど。

——「○×△」!? いったいなぜ（笑）。

CIMA フジイさんはいつもほがらかで丸いっていうイメージがあったんで○で、SUWAはいつもとんがってるっていうイメージだったんで△で、自分はいつも無茶苦茶なことばっかりしてたんで×だというんで、それを合わせて「○×△」それで「○×トライアングル」と読ませるという。

フジイ いい案ですよねぇ！ これ（笑）。

CIMA こんなとんでもない名前なのに、なぜかその時3人の意見が一致して。それをウルティモ・ドラゴン校長に言っ

2002年9月8日　有明コロシアム

悪の華が狂い咲く

C-MAXは当初「○×△」というチーム名になるはずだったんですよ

たら、なぜか校長もGOサインを出したんですよ。「いいよ！」って。

――ガハハハハ！　簡単に（笑）。

C-MA　自分の中ではTシャツのデザインまで出来上がってましたからね。

フジイ　写真撮る時も手で○とかつくってやってたもんね（笑）。

――ノリノリじゃないですか（笑）。

C-MA　でも、これは冷静に考えたらヤバイってなったんですけどね。やっぱり当時メキシコに二年住んでたんで、メキシコボケしてたんでしょうね。

――頭の中が浮き世離れしていた、と（笑）。

C-MA　それで「もうちょっとマシなのないか？」ということで、いろんな単語が出てきたんですよ。「クレイジー」も「MAX」もその中の一つですし、「デビル」とか「ブラッド（血）」とか、いろいろ出てきて、その中でSUWAの「クレイジーとMAXを合体させよう」という意見がみんなの中で一致して。「クレイジーMAXでいこう」となったんですよ。だからクレイジーMAXの生みの親はSUWAですね。

――SUWAさんなくしてクレイジーMAXは生まれなかった、と。

C-MA　フジイさんなんか、「神風隊」とか「愚連隊」とか、そんなんばっかし言ってましたからね（笑）。

フジイ　いけるかなっと思ったんですけど、ことごとく却下されましたね（笑）。

SUWA　もし採用されてたら、ヘンな意味でブレイクしてたかもしれない（笑）。

C-MA　「○×△」で行ったとしても、TARUさんが加わって、「クレイジーMAX　with　T」やからしっくりくるようなもんで、「○×△　with　T」やったら何のこっちゃわからないですよ。ポンキッキみたいな感じになってますよね。

――あ、「まる・さんかく・しかく」（笑）。それがC-MAXにとって第一の別れ目だったわけですね（笑）。

C-MA　「クレイジーMAX」っていう名前に行き着いたおかげで、いまの道が決まりましたよね。最初に日本逆上陸したときは、「みちのくプロレスに殴り込む」っていうシチュエーションだったんで、「クレイジーMAX」という名前のイメージ通り、ホントに最大限に狂って何でもできましたし。

SUWA　暴れてましたねぇ。

――最近のファンでは考えられないくらいルード（ヒール）として、悪の限りを尽くしていましたよね。

SUWA　メキシコでは唾とか凄くて、フジイさんなんか、目の前で真正面から唾をひっかけられてましたからね（笑）。

フジイ　子供にですよ！

――そんだけ客をヒートさせるくらい悪かったんですね。

SUWA　あの時のフジイさんをもう一度再現させたいんですけどね。

TARU　そんなん無理！

――ガハハハハ！

C-MA　でもいまメキシコに、その血を受け継いだ「ミニクレイジーMAX」っていうのができかけているんですよ。

――あ、T2Pよりさらに下の世代がミニに変身してるみたいですね。

C-MA　そこにいるスモール"ダンディ"フジっていう選手は、写真を見る限りでは非常に昔のフジイさんに近いです。痩せこけた体といい、ヒゲの具合といい、外巻きカールの具合といい。

SUWA　喉輪の仕方といいね（笑）。

――ミニクレイジーMAXの中で、フジイ選手のミニが一番出てきにくいと思ってたんですけどね（笑）。

フジイ　何か、簡単に出て来ちゃいましたねぇ（笑）。

C-MA　だからいまTARUシートがいて、SUWAシートがいて、スモール"ダンディ"フジがいて、残すはミニC-MAだけなんですよ。ま、気長に待ちます。クレイジーはもともと三人だったんで、ミニC-MAが出てきた時にはミニクレイジーMAX　with　Cで始めてもらいたいですね（笑）。

メキシコマットでは、ルード（ヒール）として悪の限りを尽くし、徹底的に観客のヒートを買っていたクレイジーMAX。9・8有明では、この頃のC-MAXが蘇るか。

――自分のミニ版がいるというのは、本人的にどうなんですか？

SUWA　メキシコ的な考えですけど、オリジナルがいてミニがいるっていうのは認められているということなんで、光栄ですよね。

――一流選手の証みたいな感じですか。

C-MA　それにアイツらがクレイジーMAXのコピーっていうわけじゃないですから。「ミニクレイジーMAX」っていうオリジナルですからね。だから俺らができないこともやるでしょうし。楽しみですよね。

――そういえば、TARUシート選手は欠場中みたいですけど、いまどうしているんですか？

C-MA　TARUシートがホントはミニクレイジーMAXのリーダーに治まる予定だったんですけど、いろんな事情で頭がパニクったんですかね。精神的なアレで離脱中なんですよ。

SUWA　ケガがあったり、あとはミニクレイジーを引っ張っていけるかというプレッシャーと、いきなりC-MAXの中に入ってビビッちゃったというか、闘龍門JAPANのメインとかに出るわけじゃないですか。それで何をやっていいかわからないとか、不安になったんじゃないですかね。

C-MA　それにマグナムとかバカなんで、手加減ナシでTARUシートを攻めてたから、かなり体にダメージを被ってるみたいですからね。

フジイ　シリーズ中、歩けなかったですから。

――シートなのにそこまでハードにやっていたんですか。

C-MA　セコンドのはずなのに、試合してる選手よりダメージ受けてましたからね。マスコットになりきれなかったマスコットですね。だからちょっと休養さして。アイツには頑張ってもらわなアカンからね。

――では、話題を変えて。逆上陸当初から、クレイジーMAXの締めとして欠かせない「クレイジー・ファッキン」はどのようにして生まれたんですか？

C-MA　最初、校長に「会場みんなでできるムーブを作れ」って言われて始めたんですけど、あれのモチーフは当時WWFで結成されていたDXですね。

――あ、「サック・イット！」ですか！

C-MA　あのポーズが当時メキシカンの間で大ブームだったんですよ。で、校長が「同じことをやっても仕方ないから、お前ら何か考えろ」ということで、「どうしよう」と思ってたら、テレビで西川のりおさんが腰を突きだして「つくつくぼーし！　つくつくぼーし！」ってやってたのを見て「これや！」と思って、あれをもっと卑猥にした感じで出来たのが「クレイジー・ファッキン」ですね。

――ダハハハ！　クレイジー・ファッキンは西川のりおの「つくつくぼーし！」でしたか！（笑）。このムーブはC-MAさんが考えたんですか？

C-MA　そうですね、必死で考えましたね。

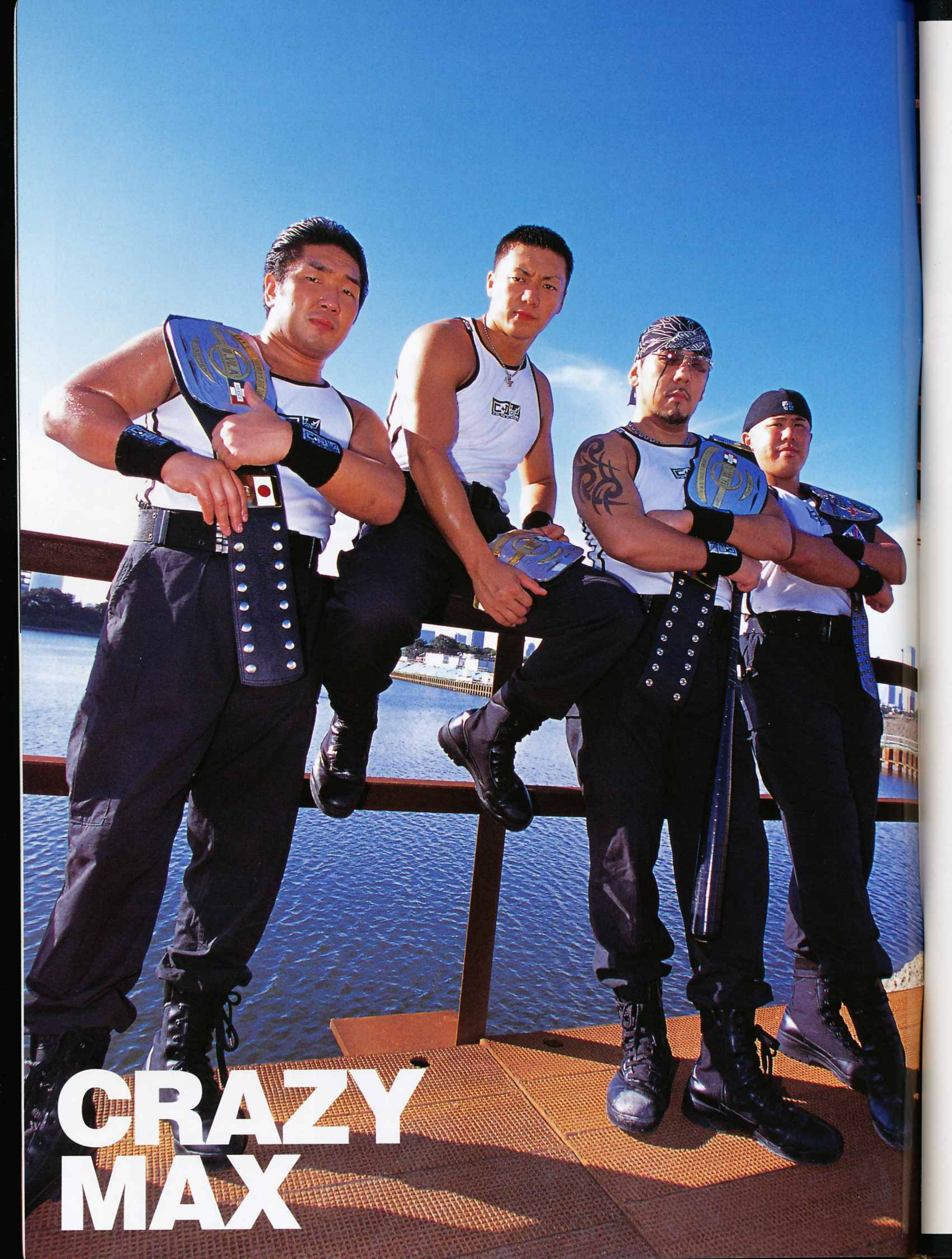
――ということは「クレイジーMAX」という名前はSUWA選手、クレイジーファッキンはC-MA選手……で、フジイ選手はいまのクレイジーMAXの何を作られたんですか？（笑）。

C-MA　フジイさんは日本での夜の遊び方ですね。

――ガハハハハ！

フジイ　ま、試合抜きの部分でいろいろと（笑）。

C-MA　フジイさんは息抜きの部分。コミュニケーション担当ですから。

フジイ　これも大事ですからね。試合終わってホテル着いて、「さぁ、どこ行こか」って。案内図もホテルからすぐ借り

CRAZY MAX

メキシコ修行時代、僕らにとってアメリカ＝ビュッフェの国でしたね

て。

TARU よー知っとるんですよ道を。

CIMA 「ここ来ましたねぇ」って。だてに宣伝カー回してないですからね。

TARU 飲み屋とかよー知ってますよ。

―そういうのにみんなで行くと結束力が生まれますよね。

フジイ CIMAもだいぶ、お酒飲めるようになりましたからね。

―CIMA選手は下戸だったんですか?

CIMA いまだに下戸です。甘いカクテルから徐々に慣らしていこかなと。

―この中で一番いけちゃうのはやっぱりフジイ選手ですか?

フジイ も～う無茶苦茶ですね（笑）。

SUWA フジイさんはビールの飲み方が半端じゃないんですよ。ジョッキで何杯っていう数が凄いですよ。

フジイ ジョッキの中に焼酎入れたりして飲ますのが好きなんですよ（嬉しそうに）。

―タチ悪いですね（笑）。

CIMA フジイさんは巡業という巡業に行った時に酒を抜かないんですよね。例えば2週間巡業に回ったら、14日飲みに行ってますから。

―ガハハハ！ それはやっぱり天龍イズムですか?（笑）。

フジイ 相撲イズムですね。15歳から飲んでますからね～。あ！（慌てて）……20歳から飲んでるんですよ。

TARU もう遅いわ。だいたい15歳で酒飲んでソープ行ったらアカンやん（笑）。

―ま、ソープはともかく、飲みに行ったりするのも、結束力を固めるのに一役買ってるんでしょうね。やっぱり、いま闘龍門にいくつもチームがありますけど、一番結束力が強いというのは自負されてますか?

CIMA やっぱり5年ですからね。他団体でもこれだけのユニットで5年やってるのはないんじゃないかと思ってますけど、まだこれからじゃないですかね。もっともっと新しいものを追求していって、いままでのプロレス界になかったものを提供するのがクレイジーの仕事やと思ってますんで。

―C-MAXのやることはまだまだいくらでもあると。

CIMA 「セ・マス・エレ」っていうブランドを立ち上げたのもその一つですし、所詮、正規軍やM2Kとは元が違うんで、そういうのが結束力の差にもつながりますよね。

―結束力の強さのひとつには、やはりメキシコ修行時代を一緒に過ごしたというのもあるんでしょうか?

CIMA 一緒にいたっていうのもそうですし、ハッキリ言って揉める時もあるんですけど、その時はTARUさんがまとめてくれるんで。やっぱり揉めれば揉めるほど、それを乗り越えたとき結束力は強くなりますよね。

TARU 骨と一緒ですよ。折れたら折れただけ治ったとき強くなっていくんですよ。

フジイ 骨と一緒ですよ！

TARU 繰り返さんでええって（笑）。

―メキシコでもいろいろあったと思うんですけれど、向こうでのエピソードが一番多い人ってどなたになるんですか?

CIMA やっぱりフジイさんじゃないんですかね。まず、住んでた所が半端じゃないですから。この中で行ったのってボクしかいないと思うんですけど、一説によると、メキシコの歴史が始まって以来、あの土地に外国人が足を踏み入れたのはフジイさんが初めてじゃないかって言われてますから（笑）。

TARU フジイさんの家に行くって言うたら、周りのメキシコ人はみんな「やめとけ！」って言うんですよ（笑）。

―ガハハハハハ！

フジイ だけど、いま日本人の溜まり場になってますからね。ボクが居候してた所は。練習生とかが気分転換でいるみたいですよ。

CIMA メキシコの人が面倒見のいい人やったってことですね。それだけフジイさんの人柄が良かったってことですよ。

フジイ そうなんですかねぇ（笑）。

―フジイさんの居候先もそうですけど、闘龍門の一期生ですから最初はかなり劣悪というか、環境的にまだ何にもないときですよね。

CIMA そうですね。何もないから、やることがいっぱいあって時間が経つのがホントに早かったですね。それに校長が「メキシコという国は治安が良くないんで、これはやったらダメだ、こういうのには気をつけろ」というのは言われてたんですけど、すべてに対して一期生は裏切ってましたからね。「やったらイカン」ということをやっちゃって、「気をつけろ」ということに気をつけなくて（笑）。

フジイ いろいろありましたねぇ（しみじみ）。

―例えば、どんなことがありました?

CIMA SUWAでいうと近所のクソガキを喰らわして、留置所に入れられたんですよ。

―え！ 捕まっちゃったんですか!?それまたなんで?

SUWA これはしつけの問題なんですよ。最近の日本でも先生が子供を叩いたら、「暴力教師、暴力教師」って問題になるくらいですけど、ボクらがガキの頃なんて悪いことをしたら頭喰らわされるのって当たり前でしたから。同じアパートにクソガキがいて、悪さばっかりするんでブチギレて、「コラー！」って頭喰らわせたんですよ。そしたら夜呼び出されて警察来ましたからね。

―暴力事件になったわけですか。

SUWA 留置所に入れられたんですけど、朝、校長が来て保釈金を払う措置をとってくれたんですよ。それで保釈金払うか、留置所で何日間かっていうことだったんですけど、当時はホントにお金なかったんで、いっそのこと泊まろかって。

CIMA メキシコで前科一犯目指してるんですよ（笑）。

SUWA 結局、保釈金払ったんですけど、お陰で生活がガラッと変わりましたね。急に贅沢できなくなってシンドかったですよ。

CIMA 当時は100円が1万円ぐらいの価値に感じるぐらいの生活でしたからね。心配で警察見に行ったらブスっとしてましたよ。

―まぁ、これもなかなか経験できないですよね。フジイさんは何か大変な目には遭わなかったんですか?

フジイ ボクは楽しい思い出しかないんですよね。

CIMA だってフジイさん、メキシコ

メキシコ時代の悪党スタイルそのままに、みちプロマットへ日本逆上陸をはたしたC－MAX。その痩せた風貌からもハングリー精神がにじみ出ている（写真・上）。
一時期、クレイジーMAXにはこのMAKOTOも加入していた。彼はいまどこへ……!?（写真・下）

CRAZY MAX

ドン・フジイ

S45年7月6日、大阪府出身。「フジイさん」の愛称で誰からも親しまれるC－MAXのお母さん的存在。トークのボケ役、またリングの仕事人として、特異な才能を発揮する

CIMA

S52年11月15日、大阪府出身。マイクアピールとリング上でのトークの上手さはマット界随一の、闘龍門を象徴する存在。多くの人が「天才」と称する才能の持ち主。

TARU

S39年8月23日、兵庫県出身。チームのまとめ役としてなくてはならないC－MAXのお父さん的存在。お笑いからハードな試合までこなす懐の深さを持っている。

SUWA

S50年8月31日、鹿児島県出身。闘龍門一の硬派であり、ハードでシリアスな闘いを見せるC－MAXの長男的存在。チーム結成初期のルードの匂いを最も強く残している。

に着いた次の次の日ぐらいに、もうストリップ行ってましたからね（笑）。

―ガハハハ！　さすがですねぇ（笑）。

フジイ　日曜が練習休みだったんで土曜日は絶対に行ってましたね。居候先に息子さんがいるんですけど、いつも一緒に「レッツゴー！」って（笑）。

―それでまた仲が深まったと（笑）。

CIMA　フジイさんはメキシコ人と生活してた時、90％以上はジェスチャーだったんですよ。いまだに校長は「フジイがメキシコ人と生活していたのが信じられない」って言ってますから（笑）。

―それがいまのリング上では役に立ってるんじゃないですか、フジイさんはあんまりマイクを持たないですけど、すべて客席に通じてますもんね（笑）。

フジイ　メキシコで1年間ジェスチャーで生きてましたから（笑）。

―住んでいた環境もそうですけど、闘龍門の後輩であるいまのT2Pなんかは、向こうでの環境がどんどん良くなってるじゃないですか。そういったことにジェラシーはないですか？

SUWA　ジェラシーっていうか、ああいう環境で修行できたことは、いま自分らにとって凄い財産になってますからね。T2Pの奴らが俺たちよりハングリー精神がないっていうのはハッキリ言えますから。

CIMA　自分らがいた頃はタンスがなかったんで、タンスはダンボールでしたし、洗濯カゴは米袋。電気がよく止まったんでロウソクで生活したりしてましたからね。でも、それが嫌だとは感じたことはなかったですね。

―生活は大体みなさん同じような感じなんですか？

CIMA　そうですね。金があった人はいないですね。フジイさんは飲む時は金を使ってましたけど（笑）。

フジイ　使ってましたねぇ！　立ち飲み居酒屋とか行ってましたからね。

CIMA　でも、メキシコっていうのは食事がやっぱり合わなかったんで、SUWAもフジイさんもかなりの体重をもっていったのが10キロ、20キロすぐに減っちゃったんですよ。そこでタイミングよく校長にWCWに連れてってもらえることになって、アメリカで食いだめして体重を元に戻して、またメキシコに戻って3ヶ月で体重が落ちて、またアメリカで食いだめしての繰り返しでしたからね。

―アメリカが生命線でしたか（笑）。

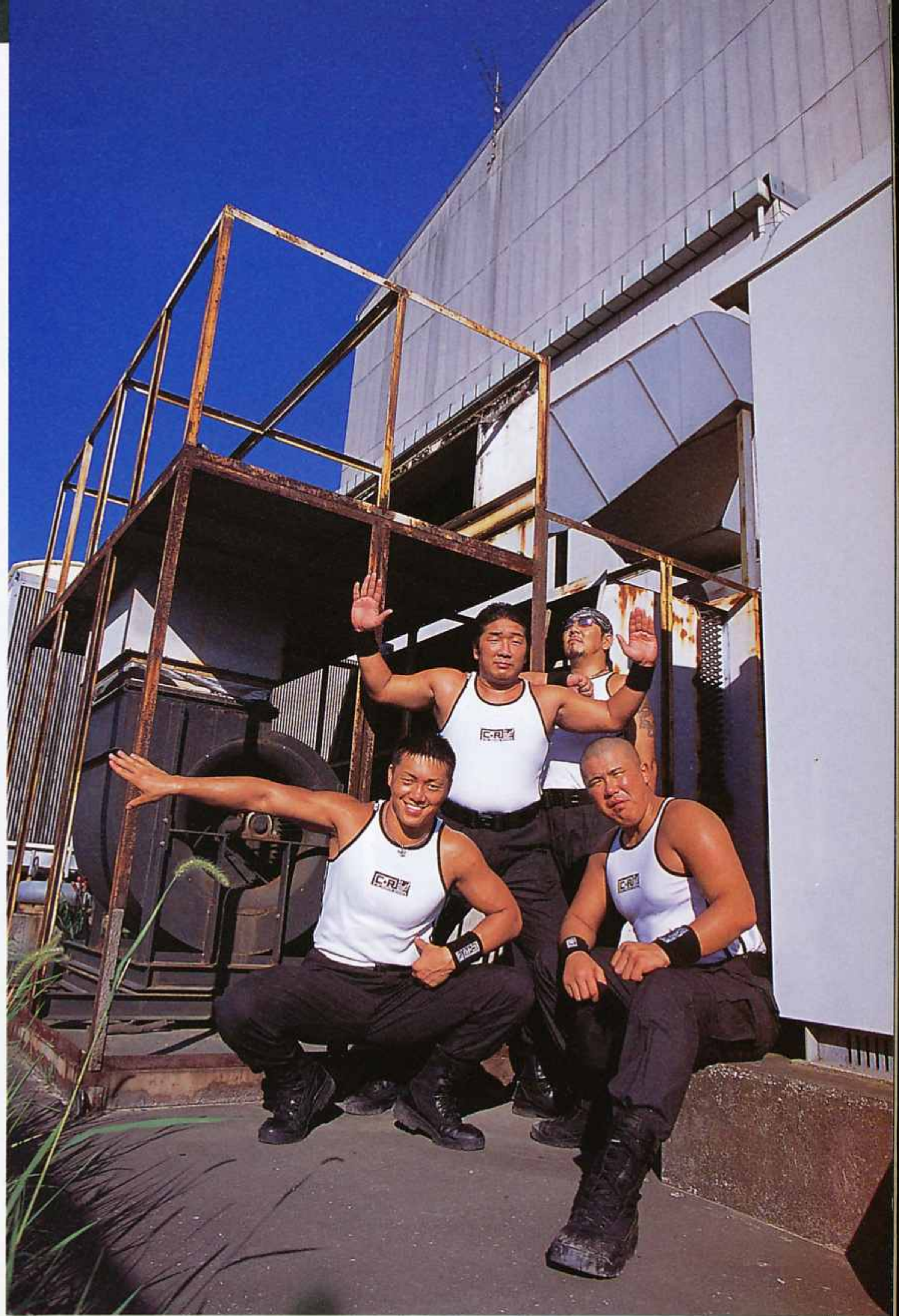
CIMA　だから自分らにとっては、アメリカ＝ビュッフェの国なんですよね（笑）。

フジイ　ボクは一回、食べ放題の中華屋行って極限まで詰め込みすぎてもどしちゃいましたからね。

SUWA　咳きこんだ瞬間、グワーって（笑）。

TARU　どんだけ貧しいねん（笑）。

TARUシート

S56年1月24日、大阪府出身。TARUのミニ版としてメキシコでデビュー。今年6月から正式にT2PからC－MAXに移籍したマスコット的存在。一日も早い復帰が待たれる

信頼関係がないとプロレスにならない だからT2Pとは”ゲンカ“になってしまう

フジイ　その当時は、ちょっとでもカロリーとって太ってやろうっていう一心でしたね。

CIMA　「ゴールデン・チャイナ」っていう同じ中華料理屋ばっかり行ってたんですけど、店の人が「またこいつら来た！」って顔してましたから。しかも俺らはチップを置かない（キッパリ）。

――ひどい！（笑）。それって向こうじゃルール違反じゃないですか。

CIMA　ホントはいけないんですけどね。当時、それくらい切羽つまってましたから。置きたいのはやまやまだけど置くものがないんです！

フジイ　ボク、アメリカ行くたびにスッカラカンになりましたからね。

――食いだめで（笑）。

CIMA　それとやっぱりフジイさんは日本食が好きなんですよ。たまに校長に日本料理店に連れてってもらうんですけど、最初はお金出してもらってたのを「プロとして自分でやりくりできるようになれ」ってことで、出してもらうのやめたんです。そしたら自分とかSUWAは、定食とか丼ものでささやかな贅沢をしてたんですけど、フジイさんはつまみ頼むわ、ビール頼むわ、定食頼むわ、一品頼むわで、校長よりもお金使ってましたからね（笑）。

フジイ　スッカラカンになりましたね～（笑）。でも、それが楽しみで生きてましたからね。

CIMA　そんな生活続けてて、ほとんど日本人の心っていうものを失いかけてた時にTARUさんがメキシコに来られて、「ああ、日本人てこんなんやったんや」って、改めて思いましたからね。

――日本人の心を思い出しましたか（笑）。TARUさんはメキシコに来て、この三人を見て最初どう思いました？

TARU　ボクはメキシコ行く前は、今時の若い子を見るにつけ目標もなしにプラプラしてる奴が多くて残念がってたんですよ。でも、彼らは違ったという感じですね。物質的に恵まれた日本の中から、わざわざこんなに恵まれてない国に行って耐えてるのは、いまの若い子やのに凄いなと。ボクらの若い時よりも凄いなって感じましたね。だから、ミラノとかT2Pに彼らが「恵まれ過ぎ」って言うてたのはそのへんやろなと。彼らはボクから見たら今時の子と一緒ですよ。クレイジーに比べたらT2Pは、コンビニの前にたむろして目的もなく時間を過ごしている若い人達と同じに見えますね。

CIMA　だから今度の有明でやるT2Pとの全面対抗戦っていうのは、雑草とビニールハウスの勝負ですよね。

フジイ　全然ちゃうからね！

CIMA　確かに向こうには立派な先生がついて、しっかりとルチャリブレを教わってるから技の綺麗さとかそういう部分では向こうが上だと思いますし、向こうのほうが強いかもしれないですけど、俺らはやっぱり雑草ですからね。踏まれたくらいじゃ折れないですし、水やらないくらいじゃ枯れないですからね。ビニールハウスで育った奴らに雑草の強さを教えてやりますよ！

――T2Pはホルヘ・リベラさんという専属の凄い先生がついてますが、クレイジーがメヒコにいた時はどうだったんですか？

CIMA　ブラックマン先生とか、スコルピオ先生とかいたんですけど、ほぼ独学です。なんか教えるっていうか、からかってるだけなんですよ（笑）。

SUWA　スコルピオ先生は昔のタイガーマスクの話とかして、それで終わってましたからね（笑）。

CIMA　一方ブラックマン先生は技術力が高過ぎて、当時の俺らではついていけなかったですね。いきなりトップロープ越しのトペ・コンヒーロとかを披露するんですけど、フジイさんにそんなことやれって言われても……。

フジイ　この俺ができるわけない！（キッパリ）。何をしろというんですか（笑）。

CIMA　そんな中で自分らはメキシコ人の練習生に混じって同じ状態でやってましたからね、そこの差ですよね。専属の先生についてもらってるんだから、進歩の速さでいえば全然T2Pのほうが早いでしょうけど、俺らはやっぱり譲れないものがありますからね。

――進歩の早さという点では、T2Pはキャリア2年足らずで自分たちの興行をやってるわけですからね。

CIMA　それはいまのプロレス界で考えるとも凄いことなんじゃないですか？　そこは確かに認めますけど、T2Pと闘龍門JAPANという名前は違っても組織は同じ闘龍門の中に組み込まれている二つの団体なんで、やっぱり俺らの職権を侵されているような気がするんですよ。だから今度の有明はT2Pとやりますけど、負けたほうはもう廃業ですよね。

――廃業ですか！

CIMA　引退なんて甘っちょろいもんやなくて廃業ですよ。アイツらに負けたら俺らがプロレスやってる意味がなくなりますし、アイツらもT2Pでジャベを学んだ意味をなくしますし、それぐらいシビアなもんだと思いますね。だから、今度の試合は強い弱いとか、綺麗汚いとかそういう以前にどっちが生き残るかですよ。

――じゃあ全然、T2Pに対して後輩っていう意識はないですか？

CIMA　後輩とかは全くないですよね。アイツらは営業妨害ですよ。アイツらが目立つことによって俺らの仕事がなくなってしまったら、俺らがいままで築いてきた生活っていうのもなくなりますし、フジイさんからしたら飲みに行くお

金もなくなっちゃいますからね。

フジイ （険しい表情で）ホンマねぇ。

TARU 痛い顔してるでしょ？（笑）。

CIMA やっぱり俺らまだまだ達成していかなアカンことといっぱいあるんでね。メキシコ時代のダンボール生活に戻るのは嫌ですからね。

TARU お客さんとかマスコミがどう見てるかわからないですけど、ボクはT2P＝校長からの刺客やと思ってるんですよ。だからT2Pのミラノ、吉野……関係ないんですよ。校長vsクレイジーっていう段階ですよね。クレイジーの成長過程の中で、校長が課した課題であり壁だと思ってますから。だからボクらがムキになっちゃうのも当然ですよね。

――なるほどなるほど。

CIMA 今回、全面対抗戦をやるっていうのは、校長としてはアイツらの方が良ければ、イタリア軍団、T2Pをもっとも持ち上げるよっていう意思表示だと思いますんで、負けれないですよね。それにT2Pの選手って俺らはどんな選手かも、ハッキリ言って名前もわからないようなヤツらがゴロゴロしてるわけですから、信頼関係が全くないんですよ。信頼関係のないヤツらに対してのプロレスっていうのは通用しませんから、どうしてもケンカになってしまうんですよね。

――後楽園での乱闘なんて、見ていて怖いくらいでしたよ！

CIMA 俺らがなんぼ、「マグナムのことが嫌い」や言うても、アイツが一期生として入った時にやってきたことは腹立ちながらも見てるんで、だからマグナムの技はまだ受けれるんですよ。望月にしても他の闘龍門JAPANの選手にしても相手を信頼した上で嫌ったり、憎んだりしてるんですけど、T2Pとの間に信頼関係は全く存在しないんですよね。だからいままでの闘龍門とはまったく違うプロレスになるかもわからないですね。俺らは絶対引かないですし、俺らが引かなかったらアイツらも絶対引かないでしょうし。食うか食われるか。ホント、野生動物の世界と一緒ですよ！

――では、今回の有明大会は闘龍門の売りである、練り上げていった攻防というよりは、ホントに緊張感がある殺伐とした試合になりそうですね。

CIMA だから俺らクレイジーのメインとしては、T2Pのイタリア軍団と6人タッグのタイトルマッチがありますけどね、とりあえずアイツらに言っときたいのは、「お前ら救急車3台用意しとけよ！」と。「お前らジャベ仕掛けてきたら、指噛みちぎったるからな！」と。

フジイ ほんなら俺、目ん玉くりぬく！

TARU でた（笑）。

CIMA もう、一針、二針じゃ済まないよと。俺らが「闘龍門とは何か」というのを有明では見せますよ。それと同時にいままでとまったく違うクレイジーMAXを見せますから。もちろんコスチュームも違いますし。どんだけ卑怯や汚いって言われても俺は絶対噛み付いてでもアイツらやりますから。

――フジイ選手もメキシコ時代の荒々しいスモーフジが戻ってくるんじゃないですか？

フジイ それをもう一回再現してやりますよ！

CIMA 戦闘用クレイジーMAXの怖さってもんを見せますから！

――じゃあ、有明では見たことないようなクレイジーMAXを期待してます！

TARU もしかしたら○×トライアングルが出てくるかもしれないですけどね（笑）。

――あ、そこで落とす（笑）。とにかく9・8有明は楽しみです！　今日はありがとうございました。

【02年8月11日／ディファ有明にて収録】

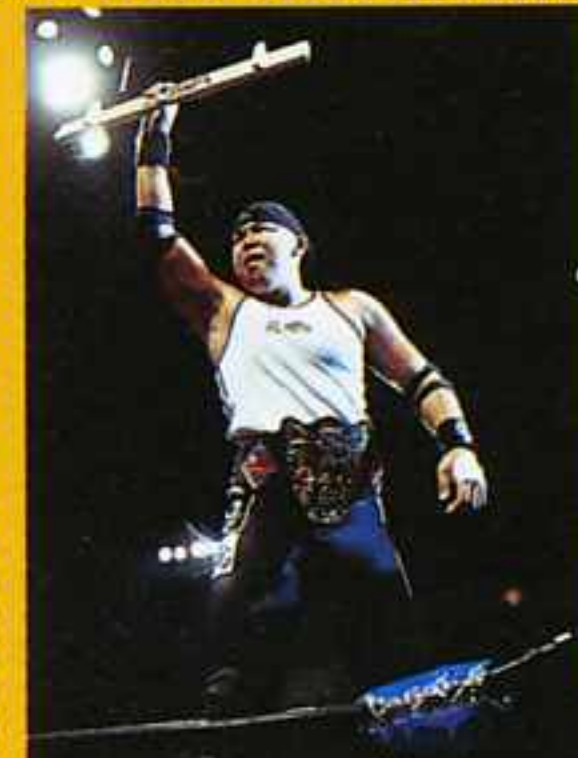
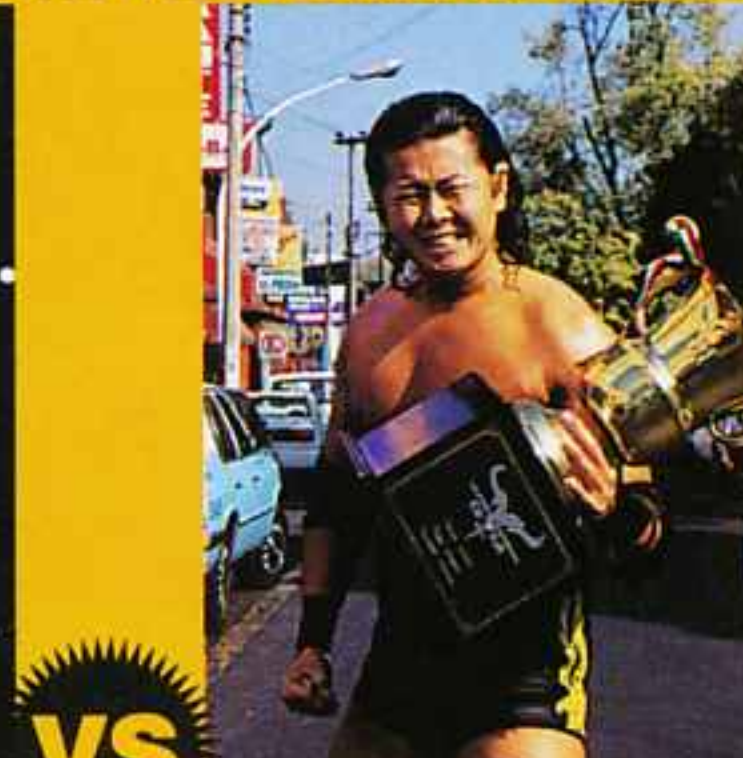
9.8 有明コロシアム
対戦カード一部決定！

遂に激突！ C-MAXvsイタリアンコネクション

CIMA
ドン・フジイ
TARU
VS
ミラノコレクションA・T
YOSSINO
"brother" YASSINI

UWA世界6人タッグ選手権

C－MAXとルチャリブレ・クラシカの遭遇は、まったく新しいプロレスが誕生する予感！　T2Pはどこまで潜在能力を発揮するか!?

マスカラ・コントラ・マスカラ
ドラゴン・キッド VS ダークネス・ドラゴン

SUWA (C-MAX) VS 大鷲透 (T2P)

チケット情報
ABSOLTAMENTE
闘龍門JAPAN vs T2P全面対抗戦
～2つの闘龍門が出会うとき、奇跡が起きる!～

9月8日（日）
有明コロシアム（15：00）

■入場料金
ドラゴンVIP 15,000円 リングサイド10,000円 コートサイド席8,000円 指定A席6,000円 指定B席5,000円 自由A席4,000円 自由B席3,000円

■問い合わせ
闘龍門JAPAN 078-333-9797

その他決定カード
闘龍門JAPAN vs イタリアン・コネクション(T2P)
マグナムTOKYO
ディスコ・インフェルノ
ラティン・ラバー
VS
コンドッティ修司
ペスカトーレ八木
ベルリネッタ・ボクサー

闘龍門JAPAN vs ロイヤル・ブラザーズ(T2P)
新井健一郎
斉藤了
スペル・シーサー
VS
アンソニー・W・森
フィリップ・J・福政
ヘンリーⅢ世・菅原

9・8有明大会観戦バスツアー！
行程は7日（土）神戸元町リングソウル前22:30集合、23時出発。車中にてビデオ上映会のほか、豪華賞品つきゲーム大会も企画されている。8日朝7時に有明コロシアム前に到着、その後は自由行動。14時開場、15時試合開始。大会終了後、有明出発。9日（月）朝5時に神戸・三ノ宮駅前到着、解散。参加費は¥22000でチケット代込み。定員は45名。特典として、参加者全員に非売品のTシャツがプレゼントされる。問＆申込みはリングソウル（078-333-6690）まで。HPアドレス　http://www.ringsoul.com/

CIMAと一泊二日のバスツアー！
CIMAとの1泊2日のバスツアー「丸ごとCIMA」が企画された。スケジュールは9/27（金）午前10時に新宿駅集合・出発→昼食→白樺湖池ノ平ホテル着（午後3時予定）→到着後、フリータイム。ホテル内イベントとして、CIMAとディナーパーティ、クイズ＆ゲーム大会、トークショー、また"CIMAがあなたのお部屋を訪問（！）"などの企画もあり。28日（土）午前はCIMAとボウリング大会（チーム対抗戦。必ずCIMAが各チームの1フレームをプレイ）。午後は昼食後出発、新宿駅着（午後4時予定）。参加費は1室3名以上で¥39800。2名で申込みの場合は1人2000円追加、1名では5000円追加。申込み及び問い合わせは近畿日本ツーリスト（03-3341-2411）担当・上村、新明、永崎まで。申込み〆切は9/12（木）、最小催行人数は30名。

闘龍門大会スケジュール
■8月
29日(木) 北海道・ベルクラシック帯広 開始18:30
30日(金) 北海道・鳥取ドーム 開始18:00
■9月
08日(日) 東京・有明コロシアム 開始15:00
15日(日) 静岡・キラメッセ沼津 (18:30)
16日(祝) 群馬・伊勢崎市民体育館 (17:00)
17日(火) 山形・酒田市営体育館 (18:30)
18日(水) 山形・山形スポーツセンター (18:30)
19日(木) 福島・福島市国体記念体育館 (18:30)
20日(金) 新潟・新潟フェイズ (19:00)
21日(土) 千葉・千葉ポートアリーナ (17:00)
22日(日) 福島・郡山市南東北総合卸センター (16:00)
23日(祝) 仙台・ZEPP仙台 (15:00)
25日(水) 岡山・倉敷山陽ハイツ (18:30)
29日(日) 神奈川・小田原アリーナ
30日(月) 神戸・チキンジョージ (19:00)

お問合せ：闘龍門JAPAN
TEL:078-333-9797

闘龍門JAPAN×T2P

チーム別選手名鑑

マグナム&C-MAXという4人の一期生からスタートした闘龍門も、現在11期生まで数えるようになったという。当然、デビューしたレスラーの数も増え続け、闘龍門JAPANとT2Pだけで、こんなにもたくさんに膨れ上がっていた。ここでは、全レスラーの顔と名前を確認すると共に、9・8有明を前に現在の闘龍門の図式を復習してみよう。

構成／堀江ガンツ　撮影／乾晋也　design by ZERO graphics

T2P正規軍

セカンド土井／大柳錦也／岩佐卓典／川畑憲昭／大鷲透／（小川内潤）

Ｔ２Ｐ内に次々と新チームが結成されたため、かなり陣容が手薄になった感が否めないＴ２Ｐ正規軍。しかも、Ｔ２Ｐイチの巨漢パワーファイター大鷲透は、正規軍と同調せず我が道を行っているため、欠場中の小川内を含めた実質５人で本隊を守っていることとなる。メンバーは５期生のセカンド土井がリーダー格となり、“ゴールドメンバー”こと岩佐卓典、得意技はフロントチョークとフロント業務の川畑、そして二等兵キャラから一転。受験生キャラで実力がメキメキアップ中の大柳錦也。それにしても二番バッターがリーダーとはシブい。

ロイヤル・ブラザース

アンソニー・W・森
フィリップ・J・福政
ヘンリーⅢ世・菅原

８・11Ｔ２Ｐディファ有明大会で行われた、UWA世界6人タッグ王座挑戦権争奪出場メンバー決定戦“ドラゴン・スクランブル”で敗れた３人が突如結成した、最も新しいユニット。“王子”ことアンソニー・Ｗ・森をリーダーに、黒タイツ黒シューズのストロングスタイルだった福政淳也がフィリップ・Ｊ・福政に、昨年12月にデビューした菅原拓也がヘンリーⅢ世・菅原に変身。「ロイヤル」の名に相応しく、気品溢れる闘いを目指す。いずれはイタコネとのイタリアvs大英帝国の国家の威信を懸けた抗争に発展するか？

しゃちほこマシーンズ

しゃちほこマシーン壱号
しゃちほこマシーン弐号
しゃちほこマシーン参号
しゃちほこマシーン四号

出身が名古屋城という以外、すべて謎に包まれた全身金色の芋づるマシーン軍団。一切の言葉を発せず、中日ドラゴンズの応援歌「燃えよドラゴンズ」で入場し、手羽先、きしめんをこよなく愛すことはとりあえず判明している。その闘いぶりは入れ替え戦術を使う以外は、弱いの一言だが、実は密かな実力者であるとの噂もあり。現在のところは４号までいるが、今後さらに増殖する気配もあるという。さらにこの４匹はファンが驚愕する秘密も隠し持っているらしいので、今後もしゃちほこ動向には注意が必要だ。

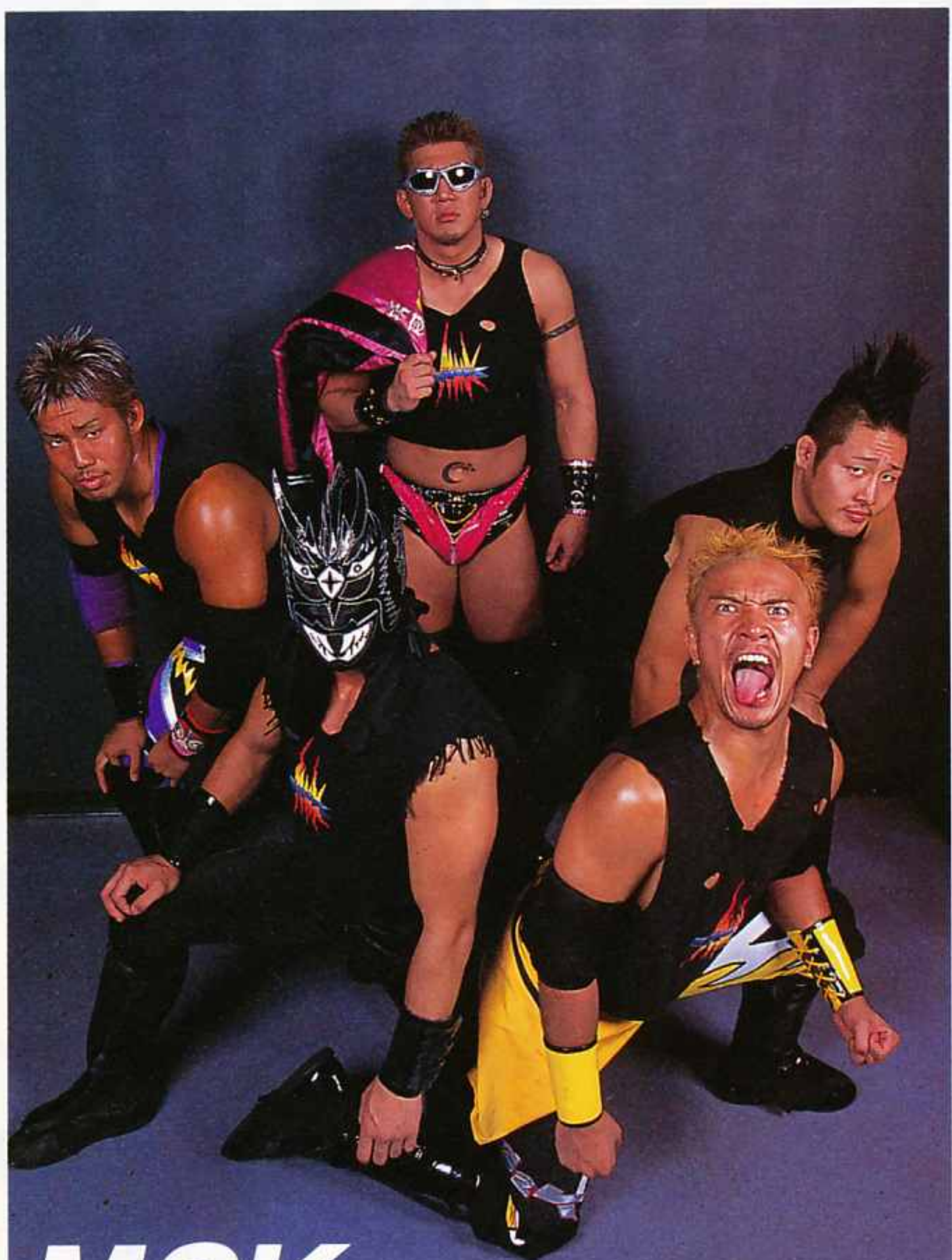
イタリアン・コネクション

ミラノコレクションA・T／YOSSINO／“brother”YASSINI／コンドッティ修司／ペスカトーレ八木／ベルリネッタ・ボクサー

“56のジャベを持つイタリアの伊達男”ミラノコレクションＡＴが結成したＴ２Ｐ最強のユニット。もともとは、ミラノ、吉野、ツジモトがＴ２Ｐのトップ３としてトリオを結成していたが、今年３月に「Ｔ２Ｐ内にイタリアと関係が深い人物が５人いた」（ミラノ）として、吉野ら５人をイタリア風（？）のコスチュームとリングネームに変え、晴れて「イタリアン・コネクション」として６人で再結成。ミラノをリーダーに、“ターザン”ＹＯＳＳＩＮＯ、“brother”ＹＡＳＳＩＮＩ、“イタリアの漁師”ペスカトーレ八木、“ストリートパワーファイター”コンドッティー、“音速のボクサー”ベルリネッタボクサーが、イタリア人としての誇りを胸に、エレガントかつファッショナブルな闘いを目指す。

クレイジーMAX

CIMA／ドン・フジイ／SUWA／TARU／（TARUシート）

他チームを大きく引き離し、ブッチギリの勢いを誇るスーパーユニット。そのクオリティーは闘龍門だけにとどまらず、日本マット界最高のユニットと言っても過言ではない。レスリングと喋りの両面で天才的な才能を発揮するＣＩＭＡをリーダーに、怖さと楽しさを併せ持つ職人フジイ、シビアさを全面に出すＳＵＷＡ、そしてチームのまとめ役ＴＡＲＵと、チームバランス、チームワーク共に申し分ない。あまりの人気に本来持っていたルードの顔がこのところ陰を潜めていたが、Ｔ２Ｐとの対抗戦を機にメキシコで悪の限りを尽くしたオリジナルのクレイジーＭＡＸを全開にしそうだ。

M2K

マグナムＴＯＫＹＯ／横須賀享／ダークネス・ドラゴン／神田裕之／堀口元気

昨年12月にランバージャックでＣＩＭＡに敗れたのを機に、年明けから「いいひと」に変身してしまたリーダーモッチーをチームから追放。元は望月成晃、望月享（現・横須賀享）、神田裕之の３人で結成。望月（Ｍ）、望月（Ｍ）、神田（Ｋ）でＭ２Ｋだったが、現在その名を残すのは神田のみとなった。その後、チームを挙げてダンス特訓に励み、新リーダーマグナムＴＯＫＹＯを迎え入れ、新生Ｍ２Ｋとして再スタート。デビュー以来初のヒール転向となったマグナムは、「私生活がナチュラルヒール」と言われるだけあり、ファンへの毒づきぶりがハンパではなく、Ｍ２Ｋのヒール度をより高める結果となった。

闘龍門JAPAN 正規軍

望月成晃／ドラゴン・キッド／斉藤了／スペル・シーサー／三島来夢／（新井健一郎）

昨年までＭ２Ｋのリーダーとして、「両者リングアウト推進委員会」を名乗るなど悪の限りを尽くしてきたモッチーだが、今年に入りスッカリ改心。「完全決着の熱い闘い」を推進すべく「いいひと」に変身したばっかりに、Ｍ２Ｋメンバーと衝突し、ついには離脱。マグナムの抜けた正規軍のリーダーへと華麗なる転身を遂げた。これまでＣ－ＭＡＸになにかと揶揄されがちだった正規軍だが、このモッチーという熱いリーダーを迎えたことで、チームの結束力が大幅にアップ。お揃いのユニフォームも新調し、テーマ曲を「ヒーロー」に変え、往年の「青春ドラマ」のような熱い熱い感動をファンに提供しようとしている。

ストーカー市川

あの伝説の番組「オレたちひょうきん族」のブラックデビルをモチーフにした、ご存じ“世界で最も弱いレスラー”。165cm、42kgぐらいという、レスラーとは思えない体格を誇り、デビュー以来、ひたすらギャク、モノマネ等イロモノだけを追求してきた姿はご立派。これまでは、ＴＡＲＵとの果てしなき抗争を続けてきたが、Ｔ２Ｐとの対抗戦がスタートしてからは、ＴＡＲＵのちっちゃい版であるＴＡＲＵシートや、しゃちほこマシーンズといった、新たなライバルとの抗争も始まりつつある。しかし、ここでもやっぱり勝ち知らずというところがこれまた立派だと思う。

RADICAL PRESENT'S

UMANOSUKE UEDA ［上田馬之助］

【金狼会提供】【TEL】090-3666-7406　※益金は障害者施設に寄付されます

各 1 名様

馬之助イラストTシャツ

馬之助タオル

馬之助トートバック

馬之助Tシャツ

馬之助バスタオル

TAKAYAMA × MINOWA

高山善廣・美濃輪育久サイン色紙

各 2 名様

BRAZILIAN TOP TEAM

1 名様

ノゲイラ&スペーヒーサイン入り
「ブラジリアン・トップチーム写真集」
（特別付録・川村社長ポスター）
【ブックマン社提供】【TEL】03-3237-7777

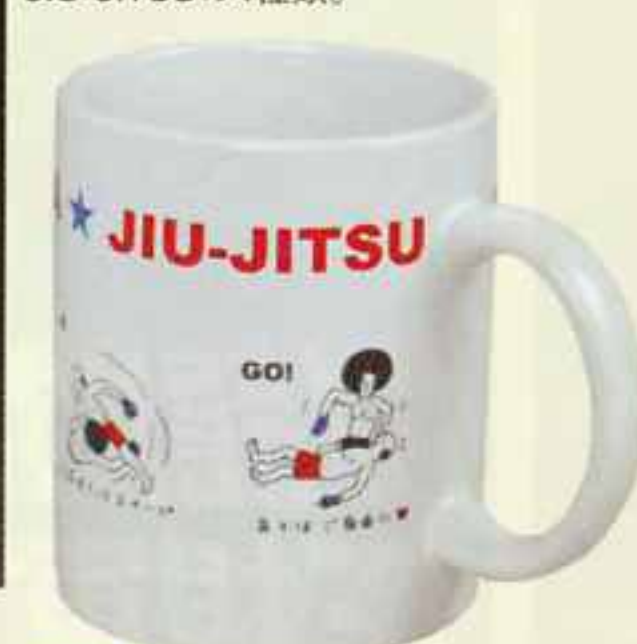
PRIDE

【DSE提供】
『PRIDE』ナビダイヤル【TEL】03-5775-5852　http//www.so-net.ne.jp/pride/

各 1 名様

アグレッシブ・シウバTシャツ（¥4,000）

ムエタイ・シウバTシャツ（¥4,000）

『PRIDE』ウオッチ（¥4,000）
サクマスク・桜庭39・サクベルト・VIVA JIU-JITSUの4種類。

VIVA JIU-JITSU
マグカップ（¥1800）

VIVA JIU-JITSUタオル（¥3000）

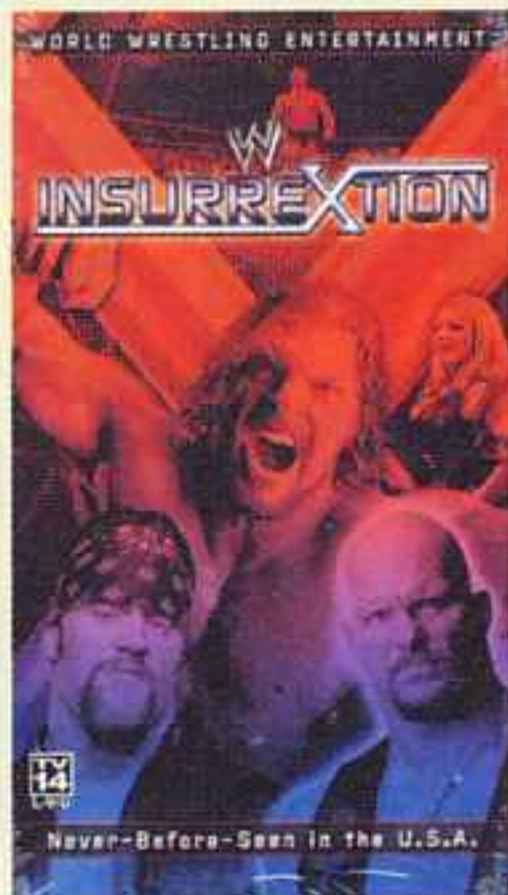
Big blue

【場所】東京都港区浜松町2-5-1石渡ビル2F
【アクセス】浜松町駅(JR)
大門駅(地下鉄浅草線・大江戸線)
芝公園駅(地下鉄三田線)
【TEL】03-3435-2883
【URL】http://s-ovation.com/bigblue.html

各1名様

「DRINK OR FIGHT!」Tシャツ

「STRATUSFACTION 100% GUARNRTEED」Tシャツ

「RAW vs SMACK DOWN」WWE TRADING CARDS(1BOX)

ビデオ「INSURRETION 2002」

INSPIRE

【インスパイア提供】【TEL】03-5629-3920

大谷晋二郎・フィギュア(¥8,800)

タイガーマスク・フィギュア(¥7,800)

タイガーマスク・マスクキーホルダー(¥1000)

各1名様

ART JUNKIE

【ART JUNKIE提供】【URL】http//open.rad.ac.jp/〜dn,artjunkie/

各1名様

FRONT / BACK

しなしさとこ「SATOKOHIME」Tシャツ(¥3,800)

阿部裕幸「AACC」Tシャツ(¥3,800)

GREAT ANTONIO

【グレート・アントニオ提供】【URL】http://www.great-antonio.jp

各1名様

FRONT / BACK

高山善廣「アパッチ男塾」Tシャツ(¥4,000・税別)

ボブ・サップTシャツ(¥4,000・税別)

UFO『LEGEND』

【『LEGEND』提供】

2名様

『LEGEND』マウスパッド

NOAH

【バップ提供】

1名様

プロレスリング・ノア第3弾テーマCD「For Evuiution」

『SHOOT 3/60』

【Jスカイスポーツ提供】
Jスカイスポーツに関するお問い合わせ
【TEL】03-5500-3488 【URL】www.jskysports.com

1名様

格闘技専門ドキュメンタリー番組「SHOOT 3/60」特製Tシャツ

応募要項

①郵便番号・住所・電話番号
②氏名
③年齢・職業
④希望商品
⑤面白かった記事&その理由
⑥つまらなかった記事&その理由
⑦好きな選手&嫌いな選手
⑧8・8『LEGEND』の感想

応募券

【宛先】
〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702
(株)ダブルクロス
『紙プロRADICAL』編集部
「田辺音楽出版」係まで

※締切は2002年9月23日(月)当日消印有効

THIS MONTH'S BOOKS

各1名様

「アサ秘ジャーナル」(浅草キッド/著)
浅草キッドと政治家のバトルトークがギッシリ詰まった一冊
新潮社・刊 ¥1300(税別)【浅草キッド提供】

「発掘」(浅草キッド/著)
『東スポ』で連載していた「ステ看板ニュース」に大幅加筆して単行本化
ロッキング・オン社・刊 ¥1500円(税別)【浅草キッド提供】

「弾むリング」(北島行徳/著)
リングの周辺に生きる人々を描いた一冊。前号「書評の星座」に登場。
文芸春秋・刊 ¥1381(税別)

「サイボーグサラリーマン メカ★アフロくん」(花くまゆうさく/著)
花くま先生が「ダ・カーポ」で連載中の人気マンガが待望の単行本化
マガジンハウス・刊 ¥933(税別)【マガジンハウス提供】

ADULT

ムーディーズ娘。Tシャツ
(色・ピンク&イエロー&ブルー)
【ムーディーズ提供】
【TEL】03-5339-1417
【URL】http://www.moodyz.com

3名様

ガチンコキャットファイト選手権
【ソフト・オン・デマンド提供】
【TEL】0120-514428
【URL】http://sod.so.jp

1名様

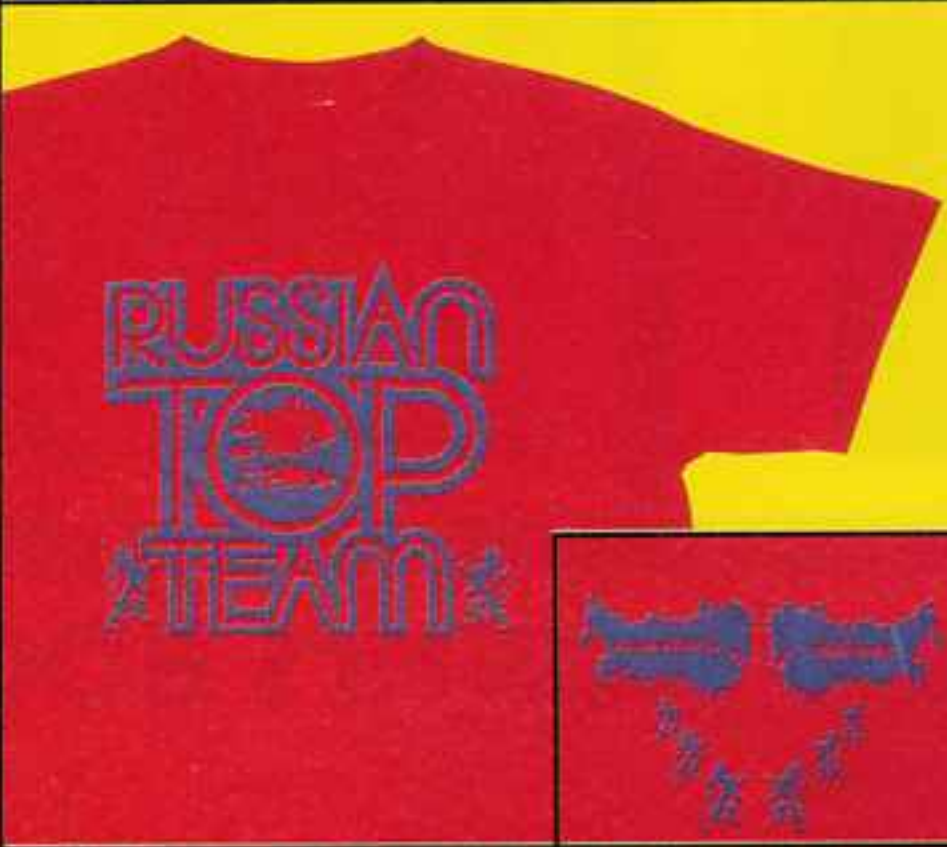
着るのは当然、汚すのも良し、ヒッカケるのもノー問題！

『紙のプロレス』夏のニューTシャツ！

デモ、イチバ〜ン！

カミプロ、ヒャ●ショウ、イナカモノ！

★★★スティーブ・コリノも「イチバ〜ン！」と絶賛！　新作を着ろ！★★★

『紙のプロレス』・紙Tシャツ〈ネイビー〉	『紙のプロレス』・紙Tシャツ〈ホワイト〉	ロシアン・トップチームTシャツ〈レッド〉	ロシアン・トップチームTシャツ〈ホワイト〉
¥3,000　S or M or L or XL	¥3,000　S or M or L or XL	¥3,800　S or M or L or XL	¥3,800　S（残りわずか） or M or L or XL

紙のプロレス RADICAL

No.53

2002年9月25日発行

No.54は9月下旬発売予定！

※多分にです。地域によっては多少発売日が遅れます。

STAFF

編集兼発行人
山口日昇

編集スタッフ
松澤チョロ
堀江ガンツ
ジャン斉藤
八木賢太郎（ガファリのたるんだ体に驚いたため非番）

編集見習い
武上康夫

スーパーバイザー
吉田豪

スーパー助っ人
スモーノブ

助っ人
中村カタブツ君
片山ボン
ジャイ子

独り電気部
さささぃ

アートディレクター
出田さん（TwoThree）

デザイン
ヒサくん
マツくん
村松さん
グッチー
タニやん（以上TwoThree）
トメさん
はなえちゃん（以上さおとめの事務所）
海老沢勇（Zero graphics）
石田理恵

カメラマン
斉藤ユーリ
森鷹博
遠藤政文
戸成嘉則
松本崇
丸山剛史
吉場正和
菊池茂夫

試合写真
平工幸雄
乾晋也
吉澤晃

お勘定&衣料部
林“ヘックション”一枝

出前
出前持ち入江（TwoThree）

フィニッシュ
ツー・スリー
さおとめの事務所

印刷
図書印刷株式会社

印刷人
大杉すぎすぎ昌也

発売元　株式会社ワニマガジン社　〒160-8580　東京都新宿区内藤町一番地　TEL.03-3357-2911（販売・営業）
発行元　株式会社ダブルクロス　〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702　TEL.03-3403-5188（編集・制作）

爆発的ヒット!「アディオス・アミーゴTシャツ」は完売です!

プレミア必至!
世の中とプロレスするウェア

紙

U.M.F. トリムシャツ〈白×黒〉
¥3,000 SOLD OUT or M or L

残りわずか!

U.M.F. トリムシャツ〈白×青〉
¥3,000 SOLD OUT or SOLD OUT or L

田村潔司WHO ARE U Tシャツ〈ホワイト〉
¥3,800 S or M or L

田村潔司WHO ARE U Tシャツ〈ネイビー〉
¥3,800 S or M or L or XL

XLサイズ追加

紙のプロレスRADICAL おもいっきりロゴT
¥~~3,800~~→大特価¥1,900［Sサイズのみ］

残りわずか!

ヴォルク・ハンTシャツ
¥3,800 S［残りわずか!］ or M or L［残りわずか］

SS Tシャツ半ソデ〈赤〉
¥3,500 SOLD OUT or M or L

SS Tシャツ半ソデ〈紺〉
¥3,500 SOLD OUT or SOLD OUT or L

残りわずか!

通販方法
希望商品の代金＋送料¥500（何枚でも可・ネックピースだけなら¥300）を郵便振替か現金書留で下記の住所まで送るんだ! 郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、希望商品（サイズとカラーを明記）を必ず表記してください! 記入しないと商品が発送できません。隣のページのTシャツの申込みもOK!

［郵便振替の宛先］
00130-3-769154

［現金書留］
〒151-0051東京都渋谷区
千駄ケ谷3-11-3-702
（株）ダブルクロス

［お問い合わせ先］
（株）ダブルクロス
03-3403-5188

リング・アフロラグラン長袖Tシャツ〈グレー×黒〉
¥4,500 S or M or L

リング・アフロラグラン半袖Tシャツ〈黒×グレー〉
¥3,800 S or M or SOLD OUT

Kapra半袖Tシャツ〈デニム〉
¥3,500 S or SOLD OUT or L

紙プロネックピース
¥~~1,200~~→大特価¥600

リングおじさんパーカー〈黒〉
¥6,000 M or SOLD OUT

リングおじさんパーカー〈白×黒〉
¥6,000 M or L

通販完売商品は直販店にある!?

【『紙プロ』ウェア常備ショップ】★チャンピオン（TEL.03-3221-6237）★東京イサミ（TEL.03-3352-4083）★岐阜・バンザイ商会（TEL.0584-75-4966）★宮城・スクワット（TEL.022-264-8160）★大阪・少年ジェッター（TEL.06-6541-3551）★グレート・アントニオ（TEL.03-3219-9550）★大阪・パディスラム（TEL.06-6645-1378）★三恵格闘技SHOP長崎（TEL.095-824-8658）★三恵格闘技SHOP諫早（TEL.0957-22-4646）

格闘技新レーベル「鐵魂」
紙のプロレス RADICAL
WANIMAGAZIN MOOK212
2002 NO. 53
プロレス回帰現象の正体を探れ!!
平成14年9月25日発行　編集発行人／山口日昇
発売元：(株)ワニマガジン社　〒160-8580 東京都新宿区内藤町1番地　電話／03-3357-2911
発行元：(株)ダブルクロス　〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-3-702　電話／03-3403-5188
ワニマガジン社　定価：本体838円＋税

9784898296929
ISBN4-89829-692-0
C9476 ¥838E
1929476008381
雑誌 69860—12

印刷：図書印刷株式会社

INDEX

*50音及びアルファベット順

名称	電話	住所
アルシオン	→03-5745-6101	〒141-0031 東京都品川区西五反田3-6-24 サンハイツ1004
大阪プロレス	→06-6636-6672	〒556-0002 大阪府浪速区恵美須東3-4-36 フェスティバルゲート2F
怪獣王国	→03-5952-1177	〒171-0033 東京都豊島区高田3-6-7-3F
キャプチャー	→044-959-3333	〒215-0011 神奈川県川崎市麻生区百合ヶ丘2-2-1 横山ビルB1
キングダム・エルガイツ	→0423-31-2797	〒206-0822東京都稲城市坂浜2305
栗栖ジム	→06-6790-8896	〒547-0014 大阪府大阪市平野区長吉川辺3-1-7
喧嘩プロレス二瓶組	→044-588-2438	〒212-0055 神奈川県川崎市幸区南加瀬5-32-2 二瓶ビル
国際プロレス	→0467-86-0197	〒253-0052神奈川県茅ヶ崎市幸町20-14
修斗コミッション	→03-5824-1324	〒111-0032 東京都台東区浅草5-56-8 若山ビル201
女子総合格闘技・AX	→03-5286-7921	〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町1-7
新日本プロレス	→03-5468-3111	〒150-0011 東京都渋谷区東2-1-11
掣圏道	→03-5456-7333	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-6-14 恵比寿スカイハイツ607
全日本女子プロレス	→03-3493-6541	〒153-0064 東京都目黒区下目黒2-17-17
全日本プロレス	→03-3403-7344	〒106-0032 東京都港区六本木7-3-12
大日本プロレス	→045-937-0811	〒224-0053 神奈川県横浜市都築区池辺町4347
ダイプロデュース(大仁田興行)	→03-5496-4900	〒141-0031 東京都品川区西五反田1-32-3 大北ビル3F
高田道場	→03-5749-5030	〒142-0062 東京都品川区小山3-6-6 ワールドパレス武蔵小山1F-B1
高山堂	→03-5464-2806	〒150-0011 東京都渋谷区東2-21-9-803ジェイパーク渋谷イーストスクエア
闘龍門JAPAN	→078-333-9797	〒650-0022 兵庫県神戸市中央区元町通り3-17-8 TOWA元町ビル901
トータルワークアウト	→03-3280-5557	〒108-0073 東京都港区三田4-7-24 明るいビル
ドリームステージエンターテインメント	→03-5775-5700	〒107-0052 東京都港区赤坂8-5-4 ルーメリ赤坂103
バトラーツ	→0489-63-0005	〒343-0807 埼玉県越谷市赤山町6-13-43
パンクラス	→03-5792-0815	〒106-0047 東京都港区南麻布4-2-25
プロレスリング・ノア	→03-3527-5311	〒135-0063 東京都江東区有明1-3-25
みちのくプロレス	→019-626-1333	〒020-0063 岩手県盛岡市材木町9-8
DDT	→03-3868-9181	〒112-0002 東京都文京区小石川2-9-7 MORIMOTO FLATS 4F
DEEP 2001事務局	→052-339-0303	〒460-0071 愛知県名古屋市中区松原1-2-23 第3栄ビル2F
GAEA JAPAN	→03-5459-3101	〒150-0036 東京都渋谷区南平台6-7 MAISON南平台1 F
GCM COMUNICATION (和術慧舟會、A'GYM、RJW)	→03-3538-5801	〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-10 松楠ビル9F
IWAジャパン	→03-3352-3366	〒160-0004 東京都新宿区四谷4-6-1 四谷サンハイツ401
Jd'	→03-5561-0522	〒107-0052 東京都港区赤坂2-3-4 ランディック赤坂ビル4F
JWP	→03-5849-2341	〒121-0052 東京都足立区六木3-6-4
K－1 事務局	→03-3796-2977	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前3-31-14
KAIENTAI DOJO	→043-214-6960	〒260-0001 千葉県千葉市中央区都町3-4-17
LLPW	→03-3945-7926	〒112-0005 東京都文京区水道2-13-4 ピクセル文京105
NEO	→044-422-8344	〒211-0011 神奈川県川崎市中原区下沼部1892-102
SMACK GIRL実行委員会	→03-5545-4766	〒106-0041 東京都港区麻布台2-3-5 ノアビル12階
SPWF	→03-3814-6371	〒113-0001 東京都文京区白山1-17-4 クロサキビル
T.A.M.A	→042-572-6795	〒185-0031 東京都国分寺市富士本1-23-5
U-FILE CAMP	→044-932-0282	〒214-0014 神奈川県川崎市多摩区登戸1568
UFO	→03-5447-2121	〒108-0071 東京都港区白金台3-19-5 OK白金台ビル7F
WEW	→03-5958-5651	〒176-0005 東京都豊島区南大塚3-34-4ニューヴァリー2F
WMF	→03-5362-7364	〒160-0004 東京都新宿区四谷4-26 テクノ四谷ビル2F
WWS	→0495-24-6900	〒367-0052 埼玉県本庄市銀座2-5-23 連合305
ZERO-ONE	→03-5730-3401	〒105-0014 東京都港区芝2-30-11 寿ビル601
ZIPANG	→03-3312-0328	〒166-0011 東京都杉並区梅里2-40-21 ハイネス梅里201

『DEEP』の最終兵器はこの男だ!

DEEP INTERNATIONAL 2001 代表

佐伯繁

驚愕のプロレスデビュー宣言!!

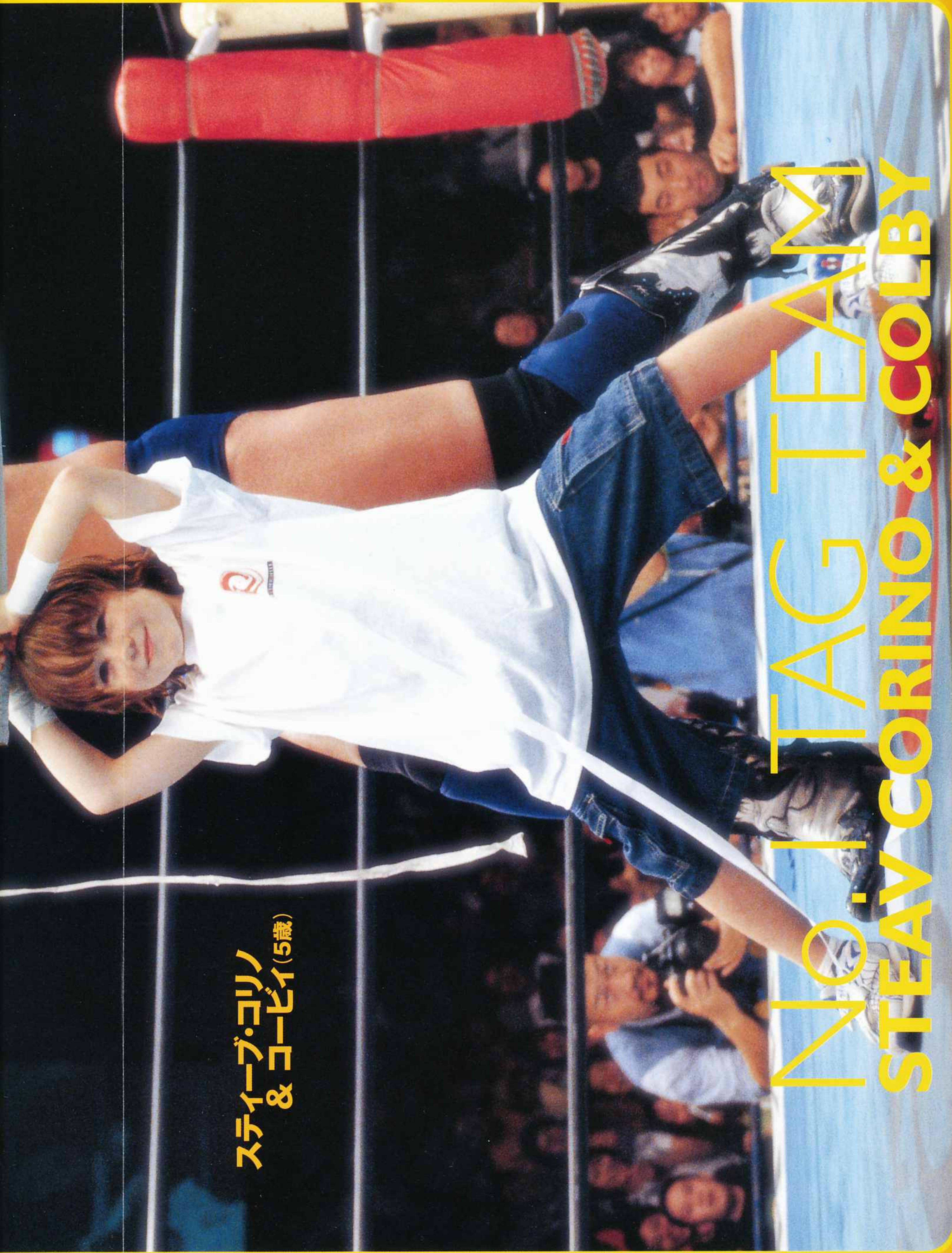
スティーブ・コリノ
& コービィ（5歳）

No.1 TAG TEAM
STEAV CORINO & COLBY

ぼくのなつやすみ

コービィの冒険編

スティーブ・コリノ

『紙プロ』編集部おススメ興行

★ 山口日昇　◎ ジャン斉藤
♠ 松澤チョロ　♥ さささぃ
◆ 堀江ガンツ

全日本■埼玉・所沢くすのきホール(16:00)
闘龍門■東京・有明コロシアム(16:00)◆
大日本■滋賀・長浜市民体育館(18:30)
UBJ■東京・Z−ZONE永山(時間未定)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)
全女■東京・後楽園ホール(12:00)
アルシオン■埼玉・越谷市桂スタジオ(18:00)
JWP■東京・キネマ倶楽部(13:00&17:00)
『ORG the 4th』■横浜・横浜赤レンガ倉庫1号館(時間未定)

9 MON.

大日本■三重・四日市オーストラリア記念館(18:30)
アルシオン■富山・高岡テクノドーム(18:30)
NEO■北海道・札幌市ジャスマックプラザ5Fザナトゥ(17:00)

10 TUE.

K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

11 WED.

新日本■岩手・釜石市民体育館(18:30)
全日本■新潟・柏崎市総合体育館(18:30)

12 THU.

新日本■青森・八戸市体育館(18:30)
全日本■福井・福井市体育館(18:30)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
全女■埼玉・岩槻市パーラー大王駐車場(18:30)
アルシオン■東京・後楽園ホール(19:00)

13 FRI.

新日本■宮城・宮城県スポーツセンター(18:30)
全日本■愛知・春日井市総合体育館(18:30)
大日本■岡山・卸センターオレンジホール(18:30)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)
Jd' ■東京・北沢タウンホール(19:00)

14 SAT.

新日本■神奈川・相模原市立総合体育館 (18:30)
全日本■埼玉・桂スタジオ(18:30)
大日本■福岡・博多スターレーン(18:30)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)
WEW■東京・ディファ有明(時間未定)
華☆激■和歌山・吉備町立体育館(18:30)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
アルシオン■茨城・八千代町総合体育館(時間未定)

15 SUN.

新日本■茨城・水戸市民体育館(15:00)
全日本■山梨・富士急ハイランドホールシアター(15:00)
闘龍門■静岡・キラメッセ沼津(18:30)
大日本■福岡・博多スターレーン(15:00)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)
大仁田興行■静岡・キラメッセ沼津(13:30)
WEW■静岡・ツインメッセ静岡(時間未定)
全女■香川・託間町マリンウェーブ(16:00)
GAEA■大阪・大阪ドームスカイホール(16:00)
NEO■東京・新宿アイランドホール(13:00)

16 MON.

新日本■愛知・愛知県体育館(15:00)
全日本■東京・後楽園ホール(12:30)
闘龍門■群馬・伊勢崎市民体育館(17:00)
大日本■福岡・小倉北体育館(18:30)
WWS■群馬・安中市スポーツセンター(時間未定)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)
全女■香川・高松市文化センター(14:00)
NEO■東京・新宿アイランドホール(13:00)
アルシオン■群馬・太田市運動公園体育館(18:00)
修斗■神奈川・横浜文化体育館(16:00)
J—DO■兵庫・神戸チキンジョージ(19:00)♥

17 TUE.

新日本■東京・後楽園ホール(18:30)
大日本■熊本・興南会館(18:30)
闘龍門■山形・酒田市営体育館(18:30)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

18 WED.

全日本■秋田・大館市体育館(18:30)
闘龍門■山形・山形スポーツセンター(18:30)
大日本■大分・臼杵勤労体育センター(18:30)
全女■長野・佐久市総合体育館(18:30)

19 THU.

闘龍門■福島・福島市国体記念体育館(18:30)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

20 FRI.

全日本■北海道・滝川市青年体育センター(18:30)
闘龍門■新潟・新潟フェイズ(19:00)
大日本■東京・後楽園ホール(19:00)
WEW■埼玉・熊谷市民体育館(時間未定)
全女■三重・桑名市体育館(18:30)
アルシオン■東京・八王子市民会館(18:30)

21 SAT.

全日本■北海道・旭川市大成市民センター体育館(18:00)
闘龍門■千葉・千葉ポートアリーナ(17:00)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
全女■神奈川・横須賀市臨海公園特設リング(18:30)
アルシオン■福島・福島市国体記念体育館(予定)

22 SUN.

新日本■大阪・なみはやドーム(15:00)
全日本■北海道・札幌テイセンホール(15:00)
闘龍門■福島・郡山南東北総合卸売りセンター(16:00)
WEW■新潟・能生町文化体育館(時間未定)
全女■東京・全女事務所ガレージ(12:00)
GAEA■東京・後楽園ホール(12:00)
アルシオン■千葉・旭少年の家体育館(予定)
LLPW■新潟・能生町文化体育館(16:00)
K—1 JAPAN■大阪・大阪城ホール(15:00)
シュートボクシング■東京・後楽園ホール(未定)

23 MON.

全日本■北海道・札幌テイセンホール(15:00)
ノア■東京・日本武道館(17:00)
闘龍門■宮城・Zepp仙台(15:00)
全女■茨城・つくばピカオ(18:30)
アルシオン■長野・上田市民体育館(18:00)
Jd' ■東京・後楽園ホール(12:00)

24 TUE.

K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)

RADICAL CALENDAR

8 August

24 SAT.

ZERO−ONE■福岡・博多スターレーン(18:00)★
ノア■東京・ディファ有明(18:00)
みちのく■山形・ウエルサンピア山形(18:30)
闘龍門■北海道・札幌テイセンホール(18:00)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)
大阪■大阪・フィスティバルゲート(18:00)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
全女■山梨・小瀬スポーツ公園体育館(18:30)
LLPW■東京・葛飾区金町地区センター(時間未定)
アルシオン■愛知・名古屋市体育館(16:30)
GAEA■埼玉・本川越ペペホール(17:00)
「Club CONTENDERS02」■東京・新宿リキッドルーム(21:00)

25 SUN.

ZERO−ONE■京都・醍醐グランドーム(17:00)★
ノア■埼玉・所沢くすのきホール(17:00)
闘龍門■北海道・札幌テイセンホール(14:00)
みちのく■宮城・仙台卸商センター産業見本市会館サンフェスタ(15:00)
SPWF■千葉・SPWFプロレス道場(14:00)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)
全女■栃木・JR宇都宮駅東口広場(19:00)
アルシオン■東京・東京流通センター・アールンホール(18:00)
パンクラス■大阪・梅田ステラホール(16:00)
シュートボクシング■大阪・大阪府立体育館サブアリーナ(13:00)

26 MON.

闘龍門■北海道・旭川大成市民センター体育館(18:30)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)
全女■神奈川・相模原市総合体育館(18:30)

27 TUE.

ノア■新潟・分水町総合体育館(18:30)
闘龍門■北海道・道立北見体育センター(18:00)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
全女■東京・お台場フジテレビ屋上庭園(18:00)
修斗■東京・北沢タウンホール(18:00)

28 WED.

『Dynamite!』■東京・国立霞ヶ丘競技場(18:30)★♥
闘龍門■北海道・岩見沢スポーツセンター(18:00)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)

29 THU.

新日本■東京・日本武道館(18:00)◎
ノア■長野・長野運動公園総合体育館(18:30)
闘龍門■北海道・ベルクラシック帯広(18:00)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
全女■岐阜・多治見・美濃焼却センター大ホール(18:30)

30 FRI.

全日本■東京・日本武道館(18:30)◆
闘龍門■北海道・鳥取ドーム(18:00)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)
全女■三重・松坂市総合体育館(18:30)
GAEA■東京・後楽園ホール(19:00)

31 SAT.

ZERO−ONE■東京・後楽園ホール(18:30)★♥
全日本■東京・日本武道館(17:00)◆
ノア■茨城・つくばカピオ(18:00)
大阪■大阪・フィスティバルゲート(18:00)
SPWF■群馬・新田市総合体育館(18:30)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
SGP■愛知・名古屋市中スポーツセンター(17:30)
全女■和歌山・和歌山県立体育館(18:30)
JWP■東京・金町地区センター5階文化ホール(18:00)
アルシオン■大阪・大阪府立体育館第2競技場(18:00)
Jd' ■新宿アイランドホール(18:00)

9 September

1 SUN.

ノア■山梨・アイメッセ山梨(16:00)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)
全女■茨城・下館市ジャスコ跡地特設リング(19:00)
NEO■東京・板橋区立産文ホール(18:00)
スマックガール■東京・ディファ有明(18:30)♠

2 MON.

ノア■群馬・伊勢崎市民体育館(18:30)
バトラーツ■東京・後楽園ホール(19:00)

4 WED.

アルシオン■埼玉秩父文化体育センター(18:30)

5 THU.

ノア■東京・後楽園ホール(18:30)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
全女■埼玉・行田市民体育館(18:30)

6 FRI.

新日本■石川・石川県産業展示館3号館(18:30)
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)
全女■群馬・西小泉駅前広場(18:30)
アルシオン■秋田・本荘市民体育館(18:30)
JWP■岐阜・マウントエース(18:47)

7 SAT.

新日本■新潟・新潟市体育館(18:00)
ノア■大阪・大阪府立体育館(18:00)
DEEP■東京・有明コロシアム(17:30)♠◎
DDT■千葉・船橋ららぽーとWEST5F屋上(19:00)
K−DOJO ■千葉・Bule Field (19:00)
「PRE−STAGE4」■千葉・銚子市体育館(時間未定)

8 SUN.

新日本■静岡・グランシップ(15:00)
全日本■埼玉・所沢く
闘龍門■東京・有明コ
大日本■滋賀・長浜市
UBJ■東京・Z−ZON
DDT■千葉・船橋らら
全女■東京・後楽園ホ
アルシオン■埼玉・越
JWP■東京・キネマ倶
『ORG the 4th』■横浜

9 MON.

大日本■三重・四日市
アルシオン■富山・高
NEO■北海道・札幌市

10 TUE.

K−DOJO ■千葉・B

11 WED.

新日本■岩手・釜石市
全日本■新潟・柏崎市

12 THU.

新日本■青森・八戸市
全日本■福井・福井市
K−DOJO ■千葉・B
全女■埼玉・岩槻市
アルシオン■東京・後

13 FRI.

新日本■宮城・宮城県
全日本■愛知・春日井
大日本■岡山・卸セン
DDT■千葉・船橋らら
Jd' ■東京・北沢タウ

14 SAT.

新日本■神奈川・相模
全日本■埼玉・桂スタ
大日本■福岡・博多ス
DDT■千葉・船橋らら
WEW■東京・ディファ
華☆激■和歌山・吉
K−DOJO ■千葉・B
アルシオン■茨城・

15 SUN.

新日本■茨城・水戸
全日本■山梨・富士
闘龍門■静岡・キラ
大日本■福岡・博多
DDT■千葉・船橋ら
大仁田興行■静岡・
WEW■静岡・ツイン
全女■香川・託間町
GAEA■大阪・大阪
NEO■東京・新宿ア

16 MON.

新日本■愛知・愛知
全日本■東京・後楽
闘龍門■群馬・伊勢